

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年6月29日

【事業年度】 自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日

【会社名】 ディー・エヌ・ビー・バンク エイ・エス・エイ
(DNB Bank ASA)

【代表者の役職氏名】 レイダー・ボルム
エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント

【本店の所在の場所】 ノルウェー王国 オスロ市 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30
(Dronning Eufemias gate 30, Oslo, Norway)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 林 達朗
弁護士 吉澤 優
弁護士 浅井 茉里菜

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1235
03-6775-1270
03-6775-1461

【縦覧に供する場所】 該当なし

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除き、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、ディー・エヌ・ピー・バンク エイ・エス・エイをいう。
「当行グループ」とは、ディー・エヌ・ピー・バンク エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。
「DNB」、「当グループ」又は「DNBグループ」とは、ディー・エヌ・ピー エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。
「ノルウェー」とは、ノルウェー王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、本書に記載のすべての「米ドル」「US\$」及び「\$」はアメリカ合衆国ドルを、「CHF」はスイス・フランを、「NOK」はノルウェー・クローネを、「円」は日本円を、「ポンド」及び「£」は英貨ポンドを、「ユーロ」、「EUR」及び「€」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき欧州経済通貨統合の第3段階の開始時に導入された通貨を指す。2018年6月1日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1ノルウェー・クローネ=13.32円であった。本書におけるノルウェー・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、ノルウェー・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「見込みである」、「目指す」、「見積もっている」、「予想している」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」、「事業等のリスク」、「経営上の重要な契約等」並びに「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」において言及される記載を含む(これらに限られない。)本書の複数箇所に登場する。このような将来の見通しに関する記述により、以下を含む事項が記載される。

- ・ 当行の事業戦略及び財務目標
- ・ 金融市場の業績
- ・ 当行の成長率予測、コスト計画に基づくコストの動向、将来の貸出金評価損等、将来の予想値
- ・ 信用リスク、市場リスク、流動性リスク及びその他のリスクの将来のエクスポージャー

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行は誠実に、かつ当行が合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当行は、2005年ノルウェー民事訴訟法第4-6条に基づき、日本の裁判所の管轄に服することを選択できる。ノルウェーの裁判所は、2005年ノルウェー民事訴訟法第19-16条に基づき、日本の裁判所で下された一定の金額の支払いを命ずる最終確定判決を有効とみなし、かつその執行を承認する。ただし、その結果がノルウェーの公序に違反しないか又はこれを損うことはないかという検討を常に条件とする。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

当行は銀行であり、公開有限責任会社として組織されている。ノルウェー法に基づき、銀行は公開有限責任会社又は非公開有限責任会社として組織されなければならない。

公開有限責任会社として、当行は1997年ノルウェー公開有限責任会社法(以下「PLCA」という。)に定める規制に服する。同法は、当行の組織、株式の譲渡、定款の要件、配当、議決権、増資等に関する規則を定めている。

銀行は、その設立、定款の要件、運営機関等に関し、2016年1月1日付で施行され、銀行及びその他の金融機関に関する一部の従前の法律を統合しかつ置き換える2015年金融機関・金融グループ法(以下「FEA」という。)に定められた追加的な規則に服する。当行の法的枠組みに関する詳細は、「()ノルウェーにおける規制の枠組み」を参照のこと。

また、当行の事業は定款により規律されている。定款は、当行を統治する基本的な規則について定めており、FEA及びPLCAの規定する銀行に関する強行規定により補完されているので、定款を読む場合には、かかる点に留意する必要がある。

会社組織

PLCAに基づき、公開有限責任会社は取締役会(以下「取締役会」という。)及び最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を設けなければならない。詳細は下記及び「(2)提出会社の定款等に規定する制度」を参照のこと。

株主資本

公開有限責任会社である銀行に要求される最低株主資本は、5百万ユーロである。当行の株主資本は、18,255,648,000ノルウェー・クローネである。

株式

当行のすべての株式(以下「当行株式」という。)には、すべての点で平等かつ完全な株主の権利が付帯しており、当行株式で異なる権利が付帯するものはない。当行株式は一種類のみである。

当行株式は自由に譲渡できる。当行の定款には、当行株式の所有に制限を課す条項は含まれず、また、ノルウェー法において、非居住者又は外国人保有者が当行株式を保有する権利又は当行株式の議決権を行使する権利に関する制限は存在しない。しかし、FEAには無差別の所有制限規則が含まれている。かかる規則に基づき、当行株式又は当行株式に対する権利の10%以上の取得にあたっては、ノルウェー規制当局による事前の許可が必要である。

議決権

当行株式1株につき、株主総会における議決権1個が付帯する。

一般に、株主がノルウェー法又は当行の定款に基づき行うことのできる決議には、投票数の過半数が必要である。しかし、以下のいずれかに関する決議を含む一定の決定のためには、株主総会において出席した投票数及び株主資本の3分の2以上の承認を得なければならない。

- () 株式、転換社債又は新株引受権の発行に際しての先買権の排除
- () 合併又は分割の承認
- () 定款の変更
- () 増資又は減資の承認
- () 転換権付ローン又は新株引受権の発行の承認
- () 取締役会が当行のために当行株式の買戻しを行うことの承認
- () 当行の解散

当行の定款の一定の変更(当行の増資又は減資を含むが、これらに限られない。)には、ノルウェー金融監督庁の承認も必要である。

() 配当の支払い若しくはその他の当行の資産に対する権利に関し、既存の株主の権利を縮小することになる決定、又は() 譲渡にあたっての同意要件、第一先買権若しくは株主となるための一定の資格要件の導入により当行株式の譲渡を制限することになる決定には、定款の変更のための要件としての過半数とともに、株主総会において代表される株主資本の90%以上にあたる賛成票が必要である。その他、発行済株式の地位の根本的な変更(株主の義務の増加、上記以外の譲渡制限及び強制償還の導入を含むが、これらに限られない。)を伴う一定の決定には、当行の定款の変更のための要件としての過半数とともに、かかる決定により影響を受けるすべての株主の同意が必要である。

この点につき、当行の定款には、PLCAと異なる条項は含まれていない。

株主総会において議決権を行使する資格を得るためには、一般的に、株主は、ノルウェー中央証券預託機関(VPS)が保管する当行の株主名簿に当行株式の保有者として登録されなければならない。

株主総会

株主総会は、ノルウェーの公開有限責任会社の最高機関である。当行は、定款に従い、各年の4月末以前に年次株主総会を開催する義務がある。かかる年次株主総会においては、特に、年次会計書類の承認及び取締役報告の承認を行う。臨時株主総会は、取締役会の決議又は監査人若しくは当行の株主資本を合計5%以上保有する株主の要求により招集される。

当行のすべての株主は、本人又は代理人により株主総会に出席し議決権を行使する権利を有する。

取締役会

取締役会の構成員は、FEAに基づき3名を下限、当行の定款に基づき4名を上限とし、うち1名は当行の従業員でなければならない。従業員以外取締役会の構成員は、株主総会により選任される。

取締役会の主たる任務は、当行の経営及び当行の業務の監督ガイドラインの制定である。また、取締役会は最高経営責任者及び最高経営責任者による日常業務運営並びに事業活動全般を監督する。

取締役会会長及び副会長は、株主総会により個別に選任される。

定足数を満たすため、取締役会の構成員の過半数が会議に出席しなければならない。取締役会の決議は、単純多数決により可決される。

業務執行取締役/最高経営責任者

最高経営責任者は、取締役会により選任される。最高経営責任者の主要任務は、当行の日常業務を取締役会の指示に従い運営することである。

取締役及び最高経営責任者の責任

取締役会及び当行の最高経営責任者は、当行に対し忠実義務を負い、したがって当行の株主に対しても忠実義務を負う。かかる忠実義務により、取締役会の構成員及び最高経営責任者は任務を遂行するにあたり当行の最善の利益になるよう行為すること、及び当行に対し善管注意義務を果たすことが要求される。取締役会の構成員及び最高経営責任者の主たる任務は、当行の利益を保護することである。

取締役会の構成員及び最高経営責任者は、過失又は故意により当行に与えた損害に関し、個別に責任を問われる場合がある。

ノルウェー法は、かかる者の責任を株主総会において免責することを認めているが、この免責は、当該決議を可決する株主総会に対し実質的に正確かつ完全な情報が提供されない限り、拘束力を持たない。

取締役又は最高経営責任者の責任を免除する株主総会の決議によって、当該取締役又は最高経営責任者は、株主以外の第三者(債権者等)が提起した請求又は訴訟から保護されない。

配当

配当は、取締役会による提案を受けて株主総会により決定され、現金又は現物により支払われる。PLCA及びFEAには、当行による配当の分配に関し、下記のとおりいくつかの制限が規定されている。

- ・ PLCA第8-1条は、会社は配当の分配後に会社の株式資本並びにPLCA第3-2条(未実現利益のための資金)及び第3-3条(評価差額のための資金)に基づくその他の制限資本をカバーする純資産を保有する範囲でのみ、配当を行うことができると定めている。かかる計算は、直近で承認された会社の財務書類の貸借対照表に基づき行われ、決定時の登記済株式資本が適用される。
- ・ 配当金は、前年度末後に生じた可能性があるか又は将来生じる見込みの損失及び資本に対する当行の必要性を勘案し、分配後に当行が健全な資本及び流動性を有する限りにおいて分配することができる。FEA第10-6条を参照のこと。

配当の分配は、取締役会からの株主総会に対する提案に基づき決議される。株主総会は、配当を分配すべきか否かを決定するが、取締役会の提案より高額の配当金を決議することはできない。ノルウェー金融監督庁は、配当の分配に関しさらなる制限を課することができる。

残余財産の分配

PLCAに基づき、会社の年次株主総会において定款の修正に必要な投票数と同じ投票数をもって株主により会社を清算する旨が決議されることにより、当該会社を清算することができる。清算の場合又はその他の事由を問わず、当該会社の資本の払戻しにおける株式の優先順位は同じである。

当行の清算決議が可決された場合、当行の資産は、当行の債務を返済するため及び現物による分配にすべての株主の賛成が得られなかった範囲での株主への分配のため、現金に変換される。当行はノルウェー金融監督庁の同意を得ずに清算することはできない。FEAを参照のこと。下記の銀行行政に関する情報も参照のこと。

流動性及び自己資本要件の問題並びに決済及び信頼性の問題に関する規制については、下記「()ノルウェーにおける規制の枠組み - 自己資本要件」も参照のこと。

()ノルウェーにおける規制の枠組み

概観

当行は、イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイとデン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイがイェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイを買収者として合併したことにより誕生し、当該合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは後にその名称をDnB NORバンク エイ・エス・エイに変更し、さらに2011年11月にDNBバンク エイ・エス・エイに変更した。

ノルウェーの銀行に適用されるノルウェーの法律のうち最も重要なものは、以下のとおりである。

- ・ PLCA
- ・ 金融機関(ノルウェー語で *finansforetak*)の承認、組織的規制、金融活動及び自己資本規制要件について規定するFEA並びに預金を保護する銀行保護基金並びに財務的困難に直面している銀行及び一部のその他の金融機関の公的管理に関する規則
- ・ ノルウェー金融監督庁による金融機関及び投資会社の監督について規定する1956年ノルウェー金融監督法

当行及び当行の子会社は、ノルウェー金融監督庁の監督に服するものである。ノルウェー金融監督庁は、規制を整備及び/又は公布し、かつノルウェーの金融機関の事業(とりわけ自己資本規制、会計、ガバナンス構造、リスク管理及びリスク処理手順に関する事項)を監督している。ノルウェー金融監督庁は、査察を実施する権利、ノルウェー金融監督庁の監督下の金融機関の従業員を尋問する権利並びに当該金融機関が所有する帳簿及び記録について検査を行う権利等、監督を促進するための様々な手段を有している。ノルウェー金融監督庁により金融機関の業務が健全でないとみなされる場合、又は当該金融機関がノルウェー金融監督庁管轄の適用法令に違反している場合、当該金融機関に対し行政処分を課し、かつ当該金融機関の免許を剥奪することもできる。

ノルウェーは、EU加盟国ではないものの、欧州経済領域の加盟国として、金融サービス関連の当該EU指令及びEU規制のほぼすべてをノルウェー国内の法律に組み入れている。ノルウェーは、CRD の枠組みによる規則に対応する規則を実施した(詳細については、下記「第3-3 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」及び「第3-4 事業等のリスク」を参照のこと。)。

免許

()一般公衆からの預金の受入れと()信用供与の両方を行う場合、ノルウェー法の下での銀行業免許が必要となる。当行は当初、貯蓄銀行として、1961年5月24日ノルウェー貯蓄銀行法第1号(現在は廃止され、FEAに置き換えられた。)に基づく免許が与えられていた。しかしながら、公開有限責任会社への組織変更後、2006年1月1日から、当行はノルウェー商業銀行法(同法もまたFEAに置き換えられた。)に基づく商業銀行として免許が与えられた。ノルウェーの銀行である当行は、現行のFEAにおける規制要件に従っている。

銀行業務の規制

FEAには、とりわけ、銀行の設立、定款、株主資本、運営機関、事業及び解散・清算に関する規則が含まれている。また、FEAにおいては、預金に関する規則並びに不動産で構成される資産合計(不動産を所有又は開発する目的で設立された会社の株式を含む。)の比率並びにその他の株式及び持分で構成される資産合計の比率に関する規定も定められている。

銀行は、慣行的又は通常の銀行の事業及びサービスのすべてを実施することができる。銀行は、貿易、工業、輸送、保険又はその他の商業活動の運営に関し、かかる事業が銀行により行われることが慣行的又は通常である場合を除き、主たる参加者又は主たる共同所有者として引受け又は参加することができない。しかしながら、銀行は、銀行が債権を回収するのに必要な範囲で、かかる事業を一時的に運営すること又は一時的にかかる事業に参加することができる。

当行は、銀行として、FEAに基づく多数の具体的規則に従っている。かかる規則に基づき、当行の定款はノルウェー金融監督庁による承認を得なければならない。その後の当該定款の変更についても同様である。さらに、ノルウェー金融監督庁により承認されない限り、留保利益を通じた方法以外で当行の資本を増やすことはできない。減資に関する決議はノルウェー金融監督庁により承認された場合のみ有効であり、当行は劣後ローンを借り入れるにあたりノルウェー金融監督庁の同意を得る必要がある。

自己資本要件

ノルウェーの銀行は現行の自己資本規制要件に従っているが、かかる自己資本規制要件はバーゼル 体制に基づきEU指令を実施するものである。バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)の提言に従い、FEAにおける規制方法は以下の3つの柱に分類されている。

- ・第1の柱-最低所要自己資本の計算：銀行は、信用リスク、オペレーショナル・リスク及び市場リスクを反映した自己資本規制要件を常に満たしていなければならない。現在、かかるリスクを反映した計算基準の8%以上は自己資本で構成されなければならない。株主資本の形式は、中核的自己資本と補完的自己資本に分類される。一般に、中核的自己資本は株式資本で構成され、補完的自己資本は劣後債で構成されている。さらに、銀行は普通株式等Tier 1資本で構成される様々なバッファを保有しなければならない。かかる自己資本要件は常に満たしていなければならない。銀行は、要件の達成につき四半期毎にノルウェー金融監督庁に報告することにより、かかる要件の達成を証拠化することを義務付けられている。

- ・第2の柱-必要資本全般及び個別の監督上の検証：当行は、自己資本水準を維持するためのリスク・プロファイル及び戦略に関連して、自己資本規制全般について評価する手続を特に有していなければならない。ノルウェー金融監督庁は、かかる内部の自己資本規制の評価及び戦略につき審査及び評価を行い、評価手続の結果に満足しない場合は監督措置を採ることができる。
- ・第3の柱-情報開示：銀行は、事業活動、リスク・プロファイル及び資本状況に関する情報を開示することを義務付けられている。

金融機関における支払い及び自己資本規制に関する問題

FEAは、一部の金融機関(銀行を含む。)の流動性及び自己資本規制に関する問題について規制している。ノルウェーに設立されているすべての銀行は、FEAによりノルウェー銀行保証基金に加盟するよう義務付けられている。加盟金融機関又は当行が債務を履行できない場合、ノルウェー銀行保証基金は、各銀行に対し1預金者当たり2百万ノルウェー・クローネの預金保険を供与する。EEAに含まれる予定の銀行保証基金に係るEU指令は、保証金の水準に制限を課す。指令に基づき、2018年から合計額は100,000ユーロを超えることはできない。

FEA第21章 は、問題となっている銀行の支払い及び堅実性に関する問題の深刻さの度合いによって、それぞれの特徴に合わせて強化される様々な通知規則及び介入規則を定めている。

金融機関の取締役会及び最高経営責任者はそれぞれ、下記の事項に関して懸念する理由がある場合にはノルウェー金融監督庁に通知を行うよう義務付けられている。

- () 当該金融機関が満期を迎える債務を履行できないこと、
- () 当該金融機関が最低自己資本要件若しくは法律若しくは規制により定められるその他の堅実性及び健全性の要件を満たすことができないこと、又は
- () 当該金融機関の堅実性を著しく弱める若しくは脅かす深刻な信用毀損若しくは損失をもたらし得る状況の発生。

ノルウェー金融監督庁は、かかる場合(通知がなされたかどうかを問わない。)において速やかに必要と考える措置を採れるよう、比較的広範な権限を与えられている。上記()の場合は、当該金融機関自身がかかる方策に参加するものとされている。ノルウェー金融監督庁の政策手段の一つに、金融機関による「監査済財政状態報告書」の提供を確保することが挙げられるが、これは金融機関の財政状態を見極めるのに不可欠な手段となっている。

監査済財政状態報告書において自己資本の「多くの部分」及び/又は株主資本の25%が失われたことが示される場合、取締役会は直ちに株主総会を招集する義務を負う。これに関して「自己資本」とは中核的自己資本及び追加資本の総額を意味する。「多くの」とはどの程度を指すかについては、裁量的評価により決定される。株主総会においては、金融機関が継続的かつ満足できる事業を行うための十分な自己資本を有しているか否かについての決定がなされ、十分な自己資本を有していると決定された場合、かかる事業を継続すべきか否かについても決定がなされる。かかる決定は3分の2以上の多数決によりなされる。かかる事業を継続すべきでないとして決定された場合、株主総会は単純多数決により、当該金融機関の事業全体を他の金融機関に移転することを決議する。かかる決議が採択されない場合、株主総会は当該金融機関を清算する決議を採択するものとされている。株主総会においてかかる決議が採択されない場合(又はノルウェー金融監督庁が承認しない決議が採択された場合)、ノルウェー金融監督庁は、当該金融機関を清算するために清算委員会を任命するものとされている。かかる場合、下記の公的管理に関する規則が適用される。

監査済財政状態報告書が株主資本の75%以上が失われたことを示す場合、取締役会は、被った損失に相当する額の株主資本を消却することを株主総会において提案するものとする。この旨の決議が株主総会において採択されない場合、ノルウェー財務省は、監査済財政状態報告書における自己資本の損失額と同額の株主資本の消却を決定することができる。劣後債の消却に関し、同様の決議を採択することができる(ただし貸出契約において別段の定めがある場合を除く。)。さらに、継続的かつ満足できる事業を確保するために必要な場合、ノルウェー財務省は、株主資本の増額を決定することができる。これに関連し、ノルウェー財務省は引受条件を指定し、既存株主の先買権を排除することを決定できる。株主資本の増額は、株式発行において民間資本及び公的資本が利用可能であることを前提とする。民間資本及び公的資本が利用可能でない場合、下記に詳述される公的管理がその代替となる。かかる過程により、1990年代初頭に、国が多数のノルウェーの銀行について持分権を取得した。

公的管理及び清算

ノルウェーの銀行は通常の破産手続(すなわち、通常の破産法制に基づいて開始される債務整理手続及び/又は倒産手続)に従うものではない。その代わりとして、FEA第21章 において規定されるとおり、ノルウェーの銀行には特別な手続の枠組み(公的管理)が適用される。

流動性を喪失した場合又は自己資本要件を達成できない場合、ノルウェー金融監督庁は直ちにノルウェー財務省に通知を行う。銀行が満期を迎える債務を履行することができない場合、また、継続的かつ満足できる事業のための十分な財政基盤が確保されない場合、ノルウェー財務省は、銀行を公的管理下に置くことを決定することができる。ノルウェー金融監督庁により自己資本規制要件が免除されない限り、銀行が自己資本規制要件を達成することができない場合についても同様である。金融グループの親会社が公的管理下に置かれた場合、ノルウェー財務省は、当該グループのすべて又は一部を公的管理下に置くことを決定することもできる。ノルウェー財務省の決定はその裁量により行われる。ノルウェー財務省が銀行を公的管理下に置かないと決定する場合、上記のFEA第21章の規定が適用される。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は当行の定款の規定の一部の概要であり、上記では言及されていない事項も含まれている。

目的

当行の目的は、定款の第1条の2に従い、その時々において有効なノルウェーの法律の範囲内で、銀行が従事する事業として慣例的又は一般的なあらゆる種類の事業及びサービスを行うことである。

取締役会

取締役会は、最長2年の任期で選任され、最大4名の取締役に構成される。取締役のうち1名は当行の従業員の中から選任されるものとする。この取締役に加え、当行の従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命することができる。従業員の中から選任される取締役及びオブザーバーには、当行の従業員の中から代理人が選任される。

取締役会の会長及び副会長の選任並びに4人目の取締役は従業員により又は従業員から選任されてはならず、選任委員会により準備され、株主総会により選任されるものとする。

選任委員会

選任委員会は最大5名の委員で構成され、その各々が2年を任期として株主総会で選任される。選任委員会は、取締役会会長、取締役会副会長及びその他の取締役会のメンバー(当行の従業員から選任される取締役を含まない。)の選任の準備を行う。選任委員会は、選任委員会の委員の選任の準備も行う。

2【外国為替管理制度】

一定の国家的危機状態にある場合を除き、現在、ノルウェーにおいて、ノルウェー国外の当行が発行した社債(日本で発行した社債を含む。)(以下「本社債」という。)の保有者への元本の支払い又は利息の支払いを制限する外国為替管理制限は存在しない。また、現在、ノルウェー国外に居住する本社債の保有者(以下「本社債権者」という。)が保有する本社債を処分し、ノルウェー国外における本社債の処分からの対価を受領する権利に影響を与える制限は存在しない。

ノルウェーへ移転できる額又はノルウェーから移転できる額の上限は存在しない。しかし、銀行は、ノルウェーへの支払い又はノルウェーからの支払いについてノルウェーの税務当局に報告するよう義務付けられている。かかる情報は、本社債権者が居住する国の当局にも伝達される場合がある。

3【課税上の取扱い】

(1)ノルウェーにおける課税上の取扱い

当行により発行される本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者に対する本社債の元本及び利息の支払いには、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられず、したがって、いかなるノルウェーの税金、賦課金又は公租公課のための源泉徴収又は控除も行われない。しかし、ノルウェー財務省は2018年の間に、利息に係る源泉徴収に関する諮問文書が協議のため提出されると発表した。かかる内部の法的規則は、早ければ2019年度から施行されると見込まれている。ただし、ノルウェーが利息の支払いに係る源泉徴収を有効に行う権限は、ノルウェーと関連する本社債権者が属する租税法域との間で締結された租税条約に基づく制限に服することがある。多数の租税条約の下では、条約の再交渉が行われない限り、ノルウェーは利息に係る源泉徴収を課すことができない可能性がある。しかし、ノルウェーが租税条約を締結していない国については、施行された場合には、源泉徴収の効力が完全に生じる。

本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益には、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられない。

現行のノルウェー法の下では、本社債の発行に関して、支払われるべきノルウェーの発行税又は印紙税は存在せず、本社債には、ノルウェーのいかなる相続税も課せられない。

税務上ノルウェーに居住しているとみなされる者(法人及び自然人)は、本社債に関して受領する利息に対して一律23%(2018年度)のノルウェーの所得税が課せられる。同様に、かかる者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益は、一律23%(2018年度)でノルウェーの課税対象となる。損失は、それと同等の税率で控除することができる。

税務上ノルウェーに居住しているとみなされる自然人は、ノルウェーの富裕税が課せられる。富裕税の限界税率は評価額の0.85%である。

有価証券台帳に登録された債券の評価目的のための価格は、評価が行われる年の1月1日現在の記載価格である。かかる記載価格が不明である場合、評価目的のための価格は、評価が行われる年の1月1日現在(すなわち、関連する事業年度の翌年)の当該債券の推定市場価格とする。

(2)日本における課税上の取扱い

日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、()申告不要制度又は()申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。ただし、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。

本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。ただし、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したものにおける本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。

日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。

本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるアドヴォカトフィルマ・ヴィエルスホルム・エイ・エスより、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

(イ)当行は、ノルウェー法に基づく公開有限責任会社として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。

(ロ)本書中の当行の設立及び法的地位並びにノルウェーの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

当行グループ¹⁾

| | 12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ) | | | | |
|--|--|-----------|----------------------|----------------------|---------------------|
| | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
| 純利息収入 | 30,379 | 32,607 | 35,535 | 34,517 | 35,914 |
| 収益合計 | 43,535 | 46,729 | 52,444 | 49,833 | 48,339 |
| 当期利益 | 15,692 | 19,110 | 23,222 | 17,914 | 19,813 |
| 1株当たり利益/希薄化後利益 ²⁾ (ノルウェー・クローネ) | 85.68 | 104.34 | 126.79 | 97.81 | 108.27 |
| 資産合計 | 2,130,779 | 2,361,990 | 2,315,603 | 2,348,272 | 2,359,860 |
| 顧客預金 | 891,256 | 951,049 | 957,322 | 945,694 | 980,374 |
| 顧客向貸出金 | 1,350,656 | 1,447,465 | 1,531,932 | 1,492,268 | 1,531,345 |
| 株主資本合計 | 126,407 | 141,309 | 173,412 | 190,078 | 203,685 |
| Tier 1資本 | 118,285 | 133,944 | 161,156 | 180,860 | 180,005 |
| 移行ルールに基づくTier 1資本比率(%) | 11.8 | 12.9 | 15.3 | 17.4 | 17.7 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (95,274) | (142,368) | (40,387) | 214,042 | (31,478) |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (581) | (989) | 1,062 | (1,206) | (2,470) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (50,430) | 16,629 | (16,415) | (20,928) | (28,459) |
| ネット・キャッシュ・フロー | (132,350) | (107,460) | (41,118) | 191,596 | (56,971) |
| 従業員数(名) | 11,601 | 11,257 | 11,047 ³⁾ | 10,801 ⁴⁾ | 8,951 ⁵⁾ |

1) ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより採用された国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。

2) 当期利益を期末現在の株式数で除した額。

3) 2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。

4) 2015年度からの従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。2016年12月末現在、バルト諸国における1,796名の従業員が当行グループに含まれていた。

5) 2016年度末現在の数値に含まれていたバルト諸国における1,796名の従業員は、2017年度第4四半期中にルミノール・グループ・エイ・ビー及びその子会社に移管された。

当行¹⁾

| | 12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ) | | | | |
|--|--|-----------|---------------------|---------------------|-----------|
| | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
| 純利息収入 | 21,378 | 21,859 | 24,215 | 23,608 | 24,416 |
| 収益合計 | 38,917 | 40,558 | 41,509 | 42,094 | 40,728 |
| 当期利益 | 14,472 | 18,458 | 20,638 | 14,789 | 18,910 |
| 1株当たり利益/希薄化後利益 ²⁾ (ノルウェー・クローネ) | 79.02 | 100.78 | 112.69 | 80.75 | 103.34 |
| 資産合計 | 1,825,656 | 1,997,646 | 1,965,419 | 2,003,906 | 2,053,787 |
| 顧客預金 | 849,137 | 903,033 | 896,488 | 920,664 | 956,525 |
| 顧客向貸出金 | 680,114 | 723,456 | 705,532 | 690,060 | 730,782 |
| 株主資本合計 | 114,591 | 127,720 | 151,533 | 168,104 | 169,720 |
| Tier 1資本 | 109,677 | 125,430 | 146,766 | 164,938 | 163,425 |
| 移行ルールに基づくTier 1資本比率(%) | 11.7 | 13.6 | 16.2 | 21.3 | 19.5 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (49,076) | (102,423) | 25,723 | 195,401 | (33,406) |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (19,670) | (5,105) | (34,662) | (4,408) | (3,181) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (79,271) | (18,891) | (42,529) | 2,555 | (28,080) |
| ネット・キャッシュ・フロー | (134,538) | (108,601) | (37,921) | 191,884 | (58,584) |
| 従業員数(名) | 8,123 | 8,084 | 7,898 ³⁾ | 7,618 ⁴⁾ | 7,449 |

1) 当行の法定財務書類は、ノルウェー財務省の年次財務書類に関する規則の、IFRSの適用に関するセクション1-5に準拠して作成されている。

2) 当期利益を期末現在の株式数で除した額。

3) 2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行のリストラクチャリング措置を反映している。

4) 2015年度からの従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数の減少は、当行のリストラクチャリング措置を反映している。

2【沿革】

DnBホールディング・エイ・エス・エイ及びイエーンシディーゲNORエイ・エス・エイの合併は、2003年12月4日付で企業登記所に登記され、DnB NORエイ・エス・エイが新たな持株会社の名称となった。DnBホールディング・エイ・エス・エイが買収側の持株会社であった。

2つの銀行子会社であった、デン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイ及びイエーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイの合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イエーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイが買収側の銀行であった。当行は様々な合併を行ってきたが、その起源はノルウェーの最初の貯蓄銀行であるクリスティアナ・スパーレバンクが設立された1822年まで遡ることができる。合併後、銀行の名称は、DnB NORバンク エイ・エス・エイとなった。

2002年9月10日、イエーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは、その形態を自己所有機関から公開有限責任会社へと変更し、1961年5月24日第2号ノルウェー商業銀行法に基づく登録番号984,851,006を持つ公開有限責任会社として法人化した。

2011年11月11日に、当行は名称をDnB NORバンク エイ・エス・エイからDNBバンク エイ・エス・エイに変更した。DNBグループのその他のいくつかの会社も同日付で名称を変更し、その中には持株会社のDnB NORエイ・エス・エイからDNBエイ・エス・エイへの名称変更も含まれる。

ノルドランズ・バンケンは、2012年10月1日付で当行に正式に統合されたが、最大2年間の移行期間は、当行グループの別ブランドとして存続する予定である。

当行の本店の所在地は、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30に所在し、電話番号は+47 915 03000である。

3【事業の内容】

概観

当行グループは、当行及びその子会社を含み、総資産で測定するとノルウェー最大の銀行グループである。当行は、ノルウェー及び海外において、顧客に対しコーポレート・バンキング、リテール・バンキング及び投資銀行のサービス及び商品を提供する。当行は、DNBグループ内で最大の会社である。2018年3月31日現在、当行グループの総資産は2,347十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,528十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2017年12月31日現在の総資産は2,360十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,531十億ノルウェー・クローネであった。当行グループの利益は、2018年3月31日に終了した3ヶ月間において5.4十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2017年度同期は4.3十億ノルウェー・クローネであった。2017年12月31日に終了した事業年度における利益は19.8十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して前年度は17.9十億ノルウェー・クローネであった。

当行グループの本店はオスロに所在する。当行は、DNBグループの持株会社であるDNBエイ・エス・エイの100%子会社である。DNBグループは、その総資産においてノルウェー最大の金融サービス・グループであり、2018年3月31日現在の総資産は2,673十億ノルウェー・クローネである(出典：DNB)。下記「DNBグループの組織体系」に記載のとおり、DNBエイ・エス・エイは、当行を通じて銀行業務を行っており、100%子会社であるDNBリフスフォルシクリン・エイ・エス(以下「DNBリフスフォルシクリン」という。)、DNBフォルシクリン・エイ・エス及びDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスを通じて生命保険商品及び年金貯蓄商品、損害保険商品並びに資産運用サービスを提供している。

2018年3月31日現在、DNBグループは約2.1百万名の個人顧客、約210,000の法人顧客並びに約1.2百万名の生命保険及び年金保険の顧客をノルウェー国内に有している。

当行は、住宅用不動産を担保とする融資をかける不動産評価額の最大75%で提供する会社であるDNBボーリ・クレジット・エイ・エス(以下「DNBボーリ・クレジット」という。)を完全所有している。DNBボーリ・クレジットは、カバード・ボンドを発行する権利を持つ抵当ローン機関としての営業許可を有しており、DNBグループの長期資金調達を確実にするための重要な役割を果たしている。

DNBグループ及び当行グループの運営体系

当行グループの中核事業は、パーソナル・バンキング部、コーポレート・バンキング部及び大企業・国際部門のそれぞれの事業分野を通じて運営する、リテール・バンキング及びコーポレート・バンキングである。

当行グループはまた、DNBマーケットズを通じて投資銀行サービスを提供し、保険及び資産運用会社が提供する一定の資産運用商品及び生命保険商品のクロス販売を行い、当行グループが手数料等を受け取っている。当行は、ノルウェーにおける大規模民間決済銀行でもある。

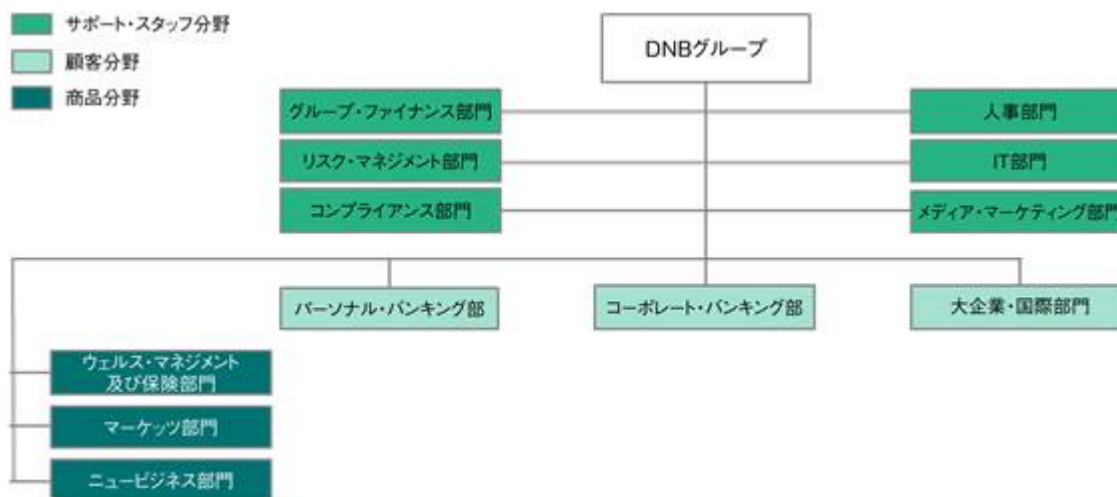
新たに設けられたニュービジネス部門は、データ、顧客洞察力、決済、決済インフラ、オープン・バンキング及びパートナーシップの一貫した管理に責任を負い、ますます重要になると考えられる。2015年度に開始されたモバイル決済ソリューションのVippsは、2017年度に個別の会社として設立され、DNBはその約52%を所有している。

2017年度第1四半期中、DNBは、モバイル・ウォレットの競争に勝つため、Vippsエイ・エスを別会社として設立することにより、105のノルウェーの貯蓄銀行と提携を結んだ。Vippsエイ・エスの設立により、DNBは2017年度第3四半期に利益を754百万ノルウェー・クローネ増加させる利得を計上した。DNBは、新たな法人(Vippsエイ・エス)の約52%の保有持分を有している。2017年度末にかけて、Vippsエイ・エスは、ノルウェー市場全体の競合企業との間で販売に関する協力協定を締結し、Vippsエイ・エス、バンクアクセプト・エイ・エス及びバンクIDノルゲ・エイ・エスは、3社を統合する基本合意書に署名した。かかる取引はノルウェー当局の承認待ちであり、新会社は2018年度下半期中に事業を開始する予定である。DNBとノルデアのバルト諸国事業の会社分割及びルミノール・グループ・エイ・ビーの別会社としての設立は、2017年度第4四半期に完了した。DNBのルミノール・グループ・エイ・ビーにおける保有持分は、約44%である。

2017年12月31日現在、当行グループの総資産は、DNBグループの総資産の87.5%を占めており、当行グループの当期利益は、DNBグループの当期利益の90.9%を占めていた。

DNBグループの運営体系は、組織体系とは異なる。運営体系は、DNBグループの事業運営に適応されており、質の高い顧客サービス及び商品並びに効率的な運営を確実にすることを目的としている。

以下の図は、本書の日付現在のDNBグループの運営体系を示したものである。



報告体系 - 事業セグメント

DNBの財務ガバナンスは、異なる顧客セグメントに適応している。セグメントの損益計算書及び貸借対照表は、内部の財務報告原則に従って表示されており、これにより収益、費用及び自己資本要件が多くの前提に基づきセグメントに割り当てられる。したがって、異なるセグメントに関する報告数値は、当該セグメントに対する当グループの商品及びサービスの売上合計を反映している。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び当グループの資源をどこに配分するか決定における2つの重要な側面である。

以下は、2017年12月31日現在の当行グループの財務報告上の事業セグメントに関する記載である。2018年度第1四半期から、当行グループは報告セグメントを変更し、これまでトレーディング部門として報告されていたセグメントを、その他の事業部門に統合した。その結果、当行グループの事業セグメントは、2018年度第1四半期から個人顧客部門、中小企業部門、大企業・国際顧客部門及びその他の事業部門となる。

個人顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける2.1百万名の個人顧客が含まれる。支店、24時間年中無休のテレフォン・バンキング、デジタル・バンキング、モバイル・バンキング・ソリューション、不動産仲介並びに郵便局及び店内郵便局等の外部チャネルから成るノルウェー最大の販売網を通じて、顧客に対して広範囲のサービスが提供される。

個人顧客部門には、当行グループのノルウェーにおける個人顧客に対するすべてのデジタル及び実物の形態による商品及びサービスの売上合計が含まれる。スウェーデンにおけるクレジット・カード及び消費者金融もまた、この事業分野に含まれる。

2018年3月31日に終了した3ヶ月間において、個人顧客部門は2,375百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2017年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は2,129百万ノルウェー・クローネであった。2016年度の8,788百万ノルウェー・クローネと比較して、2017年12月31日に終了した事業年度において、個人顧客部門は9,113百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2017年度及び2016年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ36.9%及び40.2%にあたる。2017年12月31日現在、顧客向貸出金は747十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は合計403十億ノルウェー・クローネとなった。

顧客によるデジタル・サービスの利用は増加しており、DNBは引続き商品及びサービスのデジタル化を進めている。さらに、セルフ・サービス比率の上昇に対応し、過去数年間で多くの支店が閉鎖された。2018年3月31日現在、当行が有する国内の支店は、57を残すのみである。

当行グループの連結財務書類において、DNBボーリ・クレジットの住宅ローン・ポートフォリオは個人顧客部門の一部として報告されている。DNBボーリ・クレジットの事業の残りの部分は、その他の事業の一部として報告されている。2018年3月31日現在、DNBボーリ・クレジットに計上された貸出金合計は、620十億ノルウェー・クローネとなった。固定金利抵当ローン貸出金のポートフォリオは、過去数年間でDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。2018年3月末現在において、譲渡された貸出金は17.1十億ノルウェー・クローネとなった。

DNBアイェンダム・エイ・エス(以下「DNBアイェンダム」という。)はノルウェー最大の不動産仲介業者であり、個人顧客部門に含まれて報告される。同社は、住宅用不動産及び別荘の販売並びに住宅開発プロジェクトに関連するサービス並びにその他の不動産の売却に関するアドバイザリー・サービスを提供している。近年、DNBアイェンダムの市場シェア及び売上高は堅調に伸びており、2018年3月31日現在、ノルウェーに139のオフィスを有していた。

中小企業部門

この部門は、ノルウェーの中小企業向けの商品販売及びアドバイザリー・サービスに責任を負う。この部門の顧客は、小企業及び新興企業から比較的大規模な法人顧客に及び、顧客の様々なニーズに合わせた商品提供が行われる。中小企業は、デジタル・バンキング及び24時間年中無休のテレフォン・バンキングに加え、ノルウェー中の当行グループの大規模な物理的販売網を通じてサービス提供を受ける。過去数年間において、多くの手作業による法人向サービスが支店から削減され、当行のカスタマー・サービス・センターへのすべての問い合わせの大半が、現在デジタルなプラットフォームから行われている。顧客の行動の変化及びデジタル化の加速は、単純なニーズを持つ顧客に対しては、当行のデジタル・チャネルを通じて十分かつより効率的にサービスを提供できるということを意味している。

報告上、この部門には当行グループのノルウェーにおける中小企業向けの商品及びサービスの売上合計が含まれている。スウェーデン及びデンマークにおける中小企業向けのファクタリング、リーシング及びアセット・ファイナンスもまた、この事業分野に含まれる。

2018年3月31日に終了した3ヶ月間において、中小企業部門は1,502百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2017年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は1,362百万ノルウェー・クローネであった。2016年度の4,465百万ノルウェー・クローネと比較して、2017年12月31日に終了した事業年度において、中小企業部門は5,621百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2017年度及び2016年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ22.7%及び20.4%にあたる。2017年12月31日現在、顧客向貸出金は291十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は207十億ノルウェー・クローネとなった。

大企業・国際顧客部門

この部門には、当行におけるノルウェーの大企業顧客、公共部門並びにバルト諸国及びポーランドにおけるすべての顧客セグメントを含む海外の顧客が含まれる。2017年10月1日以降、DNBのバルト諸国事業はノルデアとの共同事業となった。それまでバルト諸国事業は、大企業・国際顧客部門の一部であった。

2018年3月31日に終了した3ヶ月間において、大企業・国際顧客部門は2,971百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2017年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は1,888百万ノルウェー・クローネであった。2016年度の4,925百万ノルウェー・クローネと比較して、2017年12月31日に終了した事業年度において、大企業・国際顧客部門は8,694百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2017年度及び2016年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ35.2%及び22.5%にあたる。2017年12月31日現在、顧客向貸出金は410十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は326十億ノルウェー・クローネとなった。

大企業・国際部門は、ノルウェーの大企業顧客にサービスを提供し、ポーランドの現地顧客へのサービス提供を含む当行グループの国際事業に責任を負う。業界及び商品についての適切な専門知識に基づく長期的な顧客関係は、この事業分野での成功の鍵である。国際的な取組みは、事業分野の戦略的な優先分野である海運、エネルギー及び水産の専門知識に基づいている。

DNBナールिंगス・クレジットは、当行の100%子会社である。この抵当ローン機関は、商業用不動産から成るカバー・プールによる担保が付されたカバード・ボンドの発行のために設立され、カバード・ボンドの発行を通じて当行グループのための長期資金調達に利用されるポートフォリオを管理する。DNBナールिंगス・クレジットは、大規模な商業用不動産のアドバイザー及び仲介業者である。

大企業・国際部門は、中央の顧客サービス部門、金融サービス・センター及び事業センター並びにノルウェーの地域オフィスを通じて、また当行グループのテレフォン・バンキング及びインターネット・バンキングを通じて、ノルウェーの顧客にサービスを提供している。さらに、当行グループの法人顧客に対しては、世界中のいくつかの国のオフィス及び支店を通じて国際的にサービスを提供する。

トレーディング部門*

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む債券、外国為替及びコモディティ商品並びにエクイティのマーケット・メイキング及び自己勘定取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられている。

2016年度の2,455百万ノルウェー・クローネと比較して、2017年12月31日に終了した事業年度において、トレーディング部門は1,876百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2017年度及び2016年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ7.6%及び11.2%にあたる。

中央銀行が実施した様々な措置及び予期できない国際政治の出来事により、2016年は市場が不安定化した。健全なリスク管理により、マーケット・メイキング及び自己勘定取引からの高い収益を確保した。

*注：

2018年度第1四半期から、当行グループは報告セグメントを変更し、これまでトレーディング部門として報告されていたセグメントを、その他の事業部門に統合した。

その結果、当行グループの事業セグメントは、2018年度第1四半期から個人顧客部門、中小企業部門、大企業・国際顧客部門及びその他の事業部門となる。

競争

当行グループは、特にパーソナル・バンキング部の事業分野の主要商品である住宅ローンについて、競争の激しい市場で事業を行っている。当行グループの競合他社には、ノルデア・バンク・アクツィエボラークのノルウェー支店、スパーレバンク1、ダンスケ・バンク及びハンデルスバンケンが含まれる。「第3 - 4 事業等のリスク - 当行グループの事業に関するその他のリスク - 当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある」も参照のこと。

以下の表は、2017年、2016年及び2015年12月31日現在の当行グループのノルウェーにおける貸出金及び預金の市場シェアを示したものである。

| | 12月31日現在 | | |
|-----------------------------|----------|-------|-------|
| | 2017年 | 2016年 | 2015年 |
| | (単位：％) | | |
| リテール顧客 | | | |
| 一般家庭向貸出金合計 ^{1) 2)} | 24.7 | 25.0 | 25.4 |
| 一般家庭預金 ^{2) 3)} | 29.5 | 30.0 | 30.6 |
| 法人顧客 | | | |
| 法人顧客向貸出金合計 ⁴⁾ | 11.0 | 10.8 | 10.6 |
| 法人顧客預金 ⁵⁾ | 37.2 | 37.6 | 38.3 |

額面金額に基づく。

出典：スタティスティクス・ノルウェー及びDNB

- 1) 一般家庭とは、従業員、財産所得、年金及び社会保険の受取人、学生等、住宅協同組合等、一般家庭内の非法人事業者並びに一般家庭にサービスを提供する非営利機関をいう。
- 2) 貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社並びに金融会社によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付が含まれる。
- 3) 国内の商業銀行及び貯蓄銀行。
- 4) 貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社、金融会社並びに国外機関によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付に加え、債券及びコマーシャル・ペーパーが含まれる。金融機関、中央政府及び社会保障サービスへの貸付を除く。
- 5) 金融機関、中央政府及び社会保障サービスからの預金を除く。

情報技術

IT・運用業務部は、DNBグループ内のサポート部である。IT・運用業務部は、ノルウェー及び海外のすべての事業部門及びサポート部の従業員向けにツールを提供し、また当行の顧客に対し使い勝手の良いソリューションを提供している。同部は、コーポレート・バンキング部、パーソナル・バンキング部及び大企業・国際部門に財務、与信及び決済のサービスを提供している。IT・運用業務部は、当グループの調達、建物及びセキュリティ・サービスにも責任を負う。

ITグループ理事会を含む多数の諮問機関が、DNBグループ内に設置されている。同理事会は、当行の戦略的目標の達成を確実にすることを目的とした当行のIT開発プロジェクトの優先順位の決定、意思決定及び追跡調査に関するIT・運用業務部部長のための諮問機関である。

保険

当行グループの保険プログラムは、オペレーショナル・リスク管理の不可分の要素である。当行グループは、既存の内部統制慣行及びその他のリスクの低減措置にも関わらず発生する好ましくない事象による財政面への影響を制限するため、保険契約を締結している。当行グループは幅広い保険プログラムを有しており、その中には、特に専門職業賠償責任(PI)、役員責任(D&O)並びに財産侵害及び犯罪的攻撃(「銀行包括保証及びコンピューター犯罪/サイバー・リスク」を含む内部及び外部の不正行為及び犯罪)に係るカバレッジが含まれる。

不動産

当行の本店はノルウェーのオスロ市に所在する。当行はまた、北欧市場、バルト諸国市場及びその他の海外に所在する数々のその他オフィス及び支店を通じて事業を行っている。当行は、重要な不動産を所有していない。

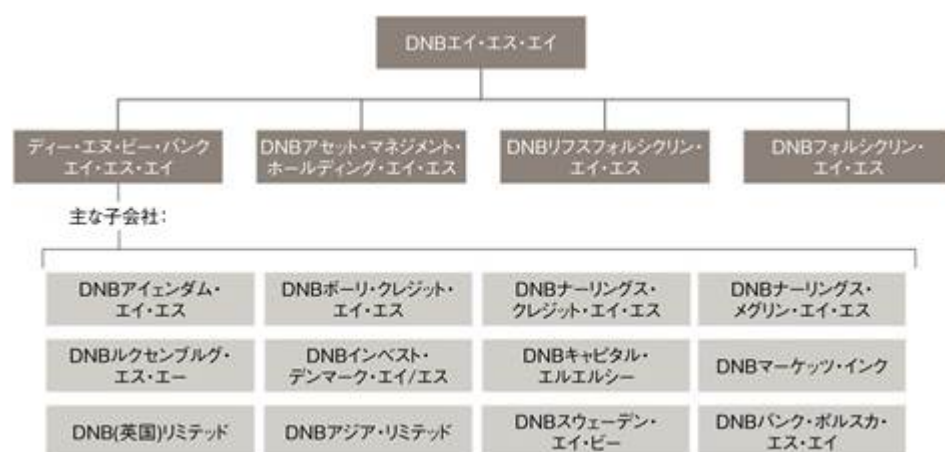
4【関係会社の状況】

DNBグループ - 本書の日付現在の組織体系

DNBグループの組織体系

ノルウェーの規制当局の要件に従い、DNBグループの銀行業務、資産運用業務及び保険業務は、持株会社であるDNBエイ・エス・エイの下で別個の有限責任会社として組織されている。銀行業務は、当行及びその子会社により運営されている。すべての資産運用業務は、共通の持株会社であるDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスの下で組織されている。DNBリフスフォルシクリン・エイ・エスは、生命保険商品及び年金貯蓄商品について、利回り保証型商品及び投資特性選択型商品の双方を提供している。DNBフォルシクリン・エイ・エスは、個人顧客及び中小企業向けの包括的な商品パッケージの一部として、損害(物損及び人身)保険商品を提供している。

以下の図は、2018年3月31日現在のDNBグループの組織体系(主な子会社)を示したものである。



当行の親会社であるDNBエイ・エス・エイは、DNBグループの持株会社である。当行は、DNBエイ・エス・エイの完全所有子会社である。DNBエイ・エス・エイは、オスロ証券取引所に上場しており、ノルウェー王国 オスロ市 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30に所在している。

以下の表は、2017年12月31日現在の当行の重要な子会社及び関連会社を示している。

千ノルウェー・クローネ単位(別途記載する場合を除きノルウェー・クローネ)

(単位：1,000

通貨：別段の指示がない限り、

| ノルウェー・クローネ) | 株主資本 | 株式数 | 額面金額 | 株式所有 割合(%) | 帳簿価額 |
|------------------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|--------------------|
| 海外子会社 | | | | | |
| DNBインベスト・デンマーク | 877,579 | 877,578,841 | 877,579 | 100 | 10,772,220 |
| | デンマーク・ クローネ | | デンマーク・ クローネ | | |
| DNBバンク・ポルスカ | 1,257,200 | 1,257,200,000 | 1,257,200 | 100 | 1,773,562 |
| | ポーランド・ ズロチ | | ポーランド・ ズロチ | | |
| DNBアジア ¹⁾ | 1,500,000米ドル | 150,000,000 | 1,500,000米ドル | 100 | 12,297,600 |
| DNBアジア ¹⁾ | 20,000 | 20,000,000 | 20,000 | 100 | 100,769 |
| | シンガポール・ド ル | | シンガポール・ ドル | | |
| DNBブラジル | 600ブラジル・ レアル | 599,999 | 600ブラジル・ レアル | 100 | 2,542 |
| DNBキャピタル ²⁾ | | | | 100 | 19,676,160 |
| DNBルクセンブルグ | 70,000ユーロ | 70,000 | 70,000ユーロ | 100 | 688,293 |
| DNBマーケット・インク | 1米ドル | 1,000 | 1米ドル | 100 | 3,004 |
| DNBスウェーデン | 100,000 | 100,000,000 | 100,000 | 100 | 14,486,571 |
| | スウェーデン・ク ローナ | | スウェーデン・ クローナ | | |
| DNB(英国)リミテッド | 1,154,200英ポンド | 1,154,200,000 | 1,154,200英ポンド | 100 | 12,791,535 |
| 国内子会社 | | | | | |
| アクシェ・オ・アイェンダムス・インベスト | 100 | 100,000 | 100 | 100 | 38,721 |
| ブリゲットルゲット・ホールディング | 3,250 | 2,500 | 3,250 | 100 | 63,230 |
| DNBボーリ・クレジット | 4,157,000 | 41,570,000 | 4,157,000 | 100 | 36,384,000 |
| DNBアイェンダム | 10,003 | 100,033 | 10,003 | 100 | 168,241 |
| DNBアイェンドムストヴィクリング | 91,000 | 91,000,000 | 91,000 | 100 | 253,931 |
| DNBヤンスタンドスアドミニストレーション | 3,000 | 30 | 3,000 | 100 | 3,000 |
| DNB ID ソリューション | 300 | 3,000 | 300 | 100 | 15,033 |
| DNBインベスト・ホールディング | 100,000 | 200,000 | 100,000 | 100 | 172,000 |
| DNBナーリングス・クレジット | 550,000 | 550,000 | 550,000 | 100 | 5,240,942 |
| DNBナーリングス・メグリ | 1,000 | 10,000 | 1,000 | 100 | 24,000 |
| DNBボーシッシュ・プロパティーズ | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 100 | 35,113 |
| ゴッドフェレット | 8,030 | 8,030 | 8,030 | 100 | 27,600 |
| ゴッドフォルデン | 1,000 | 10,000 | 1,000 | 100 | 72,000 |
| IOSツブラー・マネジメント | 900 | 750 | 900 | 100 | 42,200 |
| コングスバルグ・インダストリエイェンドム | 100 | 1,000 | 100 | 100 | 10,000 |
| 子会社への投資合計 | | | | | 115,142,267 |

注記：

- 1)DNBアジア・リミテッドは、株主資本の一部をシンガポール・ドル(現地の規制による。)、一部を米ドルで保有している。
- 2)有限責任会社であるDNBキャピタル・エルエルシーの払込資本は、2.4十億米ドルである。

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、当行グループの住宅用不動産に基づくカバード・ボンドの発行を担っている。

2017年度におけるDNBボーリ・クレジットの収益合計は、4,376百万ノルウェー・クローネであり、同期間における当行グループの収益合計の約9.1%となった。2017年度におけるDNBボーリ・クレジットの当期純利益は、2,331百万ノルウェー・クローネであった。2017年12月31日現在の資産合計は715,425百万ノルウェー・クローネであり、株主資本合計は44,108百万ノルウェー・クローネであった。

ノルウェー輸出金融公社

当行は、現在、ノルウェー輸出金融公社の40%の所有持分を有している。ノルウェー輸出金融公社の他の大株主は、ノルデア・バンク・ノルゲ エイ・エス・エイ、ノルウェー政府及びダンスケ・バンク エイ/エスである。当行グループの会計において、ノルウェー輸出金融公社に対する投資は、持分法で計上されている。2017年12月31日現在、当行グループの貸借対照表に反映されたノルウェー輸出金融公社に対する株式投資は、約2,721百万ノルウェー・クローネであった。

当行グループは、ノルウェー輸出金融公社の経営に関与していないが、当行の元最高投資責任者であるビョルン・ベルグ氏は、ノルウェー輸出金融公社の取締役会構成員であり、監査委員会及びリスク委員会双方の会長である。ゲイル・ベルグボル氏は、2014年11月に最高経営責任者に任命された。任命前、同氏は2008年からノルウェー輸出金融公社の取締役会会長を、また2007年から2014年まで当行の合併・買収部門部長を務めていた。2018年6月11日、取締役会は、ゲイル・オヴ・オルセン氏を2018年7月1日付でノルウェー輸出金融公社の新しい最高経営責任者に任命した。ゲイル・オヴ・オルセン氏は、2008年からノルウェー輸出金融公社の最高財務責任者を務めており、ゲイル・ベルグボル氏の後を継ぐ。

5【従業員の状況】

当行グループの最も重要なリソースは、常に従業員である。顧客へのサービス提供能力を通じた価値を創造しているのは、DNBの人材である。

より厳格な自己資本規制要件及び顧客の行動の急速な変化を伴う銀行を取り巻く新たな現実への適応の特徴は、2017年度における組織及びリーダーシップの構築であった。特に、顧客の行動の変化にDNBが対応するための準備が重点的に行われた。

2017年12月31日現在、当行グループは常勤ベースで算定すると8,544名の従業員を有しており、そのうち1,376名はノルウェー国外で勤務していた。2016年12月31日現在の10,366名(そのうち3,166名はノルウェー国外で勤務)から減少した。

2017年12月31日現在、常勤相当のベースで算定した当行の従業員は7,171名であり、そのうち979名はノルウェー国外で勤務していた。

顧客行動の急速な変化を伴う銀行が直面する新たな現実への適応、デジタル化及びより厳格な自己資本規制要件が、2016年度の組織及びリーダーシップの動向を特徴付けていた。当行グループが確実に適切な能力を有するようにし、また変化する能力及び従業員の貢献を促進するための組織的な取り組みが行われた。

従業員に関する詳細は、「第6 - 1 - (1) 2017年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注21」も参照のこと。

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

2【生産、受注及び販売の状況】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

3【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

戦略、ビジョン及び価値

当行はDNBグループの主要子会社であるため、当行及び当行グループの戦略はDNBグループ全体の戦略と連動する。2017年9月25日、DNBグループは新たな戦略的プラットフォームを開始したが、これはDNBグループのビジョン、価値及び共有された顧客への価値提案で構成される。DNB全体の目標は、できる限り最高な顧客体験の創造及び財務目標の達成である。新たな戦略的プラットフォームでは、イノベーションの向上、顧客洞察力の活用、従業員のスキルの向上及びDNBグループのすべてのプロセスにおける企業の社会的責任の組み込みという4つの優先事項を特定している。かかるプラットフォームは、当グループの特徴を示し、共通の目標を設定する。DNBの新たな戦略は、知識、顧客洞察力、技術及びイノベーションを活用して顧客の日常生活を向上させ、同時に銀行取引及び融資の発展を推進する。

DNBは、株主のための長期的な価値創造を優先し、北欧の同業者に対し競争力の高い株主資本利益率、成長率及び時価総額の達成を目指している。DNBは、大きな資本を必要としない商品の引受け並びに資本の再分配に加え、債券発行市場、投資格付及びノルウェーにおける高利回りな発行体としての競争力の維持といった資本のより賢明な活用を通じ、事業の進め方を変容させている。

DNBグループの包括的な目標

最高な顧客体験の創造

現代社会は、長引く低金利、高い自己資本要件、価格の透明性の高まり及び従来の銀行におけるバリュー・チェーンの崩壊によって特徴付けられる。新たな規制により、新たな競合他社の参入が可能となる。将来、フェイスブック、グーグル及びアマゾン等のグローバル・プレーヤーは、DNBの市場においてバンキング・サービスを提供すると考えられる。これらのプレーヤー(及び他の小規模プレーヤー)は、DNBとその顧客との間に入り込み、DNBをますます見えにくいインフラ提供者へと縮小させるリスクがある。したがって、強固な顧客関係は、顧客の保持及び継続的収益性の確保のために重要である。段階的でよりオープンなインフラ並びに切替コスト及び顧客ロイヤルティの低下により、顧客関係を「所有」することはますます困難になる。DNBは、当グループが顧客に提供するそれぞれの体験を通じて顧客関係を繰り返し築く必要がある。

財務目標の達成

長期的な収益性は、すべての当グループの活動における基本前提である。DNBの最優先の財務目標は、12%を超える株主資本利益率(ROE)である。同時にDNBは、40%を下回る費用/収益比率を維持すること、当局の自己資本要件を満たすこと及び利益の50%超の配当分配をすることを目指す。DNBは、これらの目標を達成するためにこれ以上収益性のない事業の段階的な廃止を積極的に行うと共に、現在の事業の改善、発展及び合理化を継続して行わなければならない。将来に備えるために変化は必要であるが、従来の事業は、引続き近い将来の財務成績に寄与する主要要素である。

当グループは成功するために、資本、開発資金及び人材等の希少な資源を再調整すると同時に、改革のペースを加速させる必要がある。

4つの戦略的優先事項

2017年度、DNBは新たな目標、新たな価値及び新たな戦略を定めた。過去数年にわたり、いくつかの要因及び動向により、新たな戦略及びそれに対応する措置の必要性が生じた。

- ・ 規制の枠組みの変更によって銀行の切替えが容易となった。
- ・ 新たな消費傾向及びデジタル・イノベーションは、当グループに対する顧客の期待を再形成した。
- ・ 新たな規制により、全く新しい競合他社の参入が可能となる。DNBは、もはや顧客を「所有する」ことはなく、最高の顧客体験を提供することにより顧客関係を日々築かなければならない。

取締役会は、当グループが最高の顧客体験を生み出すことに成功するために重要とされる、4つの分野を特定した。

- ・ **イノベティブな能力の向上**：顧客が時代の最先端にいられるようにするため、DNBもまた時代の最先端にいるようにしなければならず、またそれはイノベティブな能力の向上を必要とする。
- ・ **顧客洞察力の活用の促進**：当グループは、顧客のニーズに応えるために、顧客が誰なのか及びどの商品を必要としているのかといった洞察力を有していなければならない。
- ・ **スキルの向上**：DNBの従業員は、将来のニーズに合わせるために、関連する専門知識を有するようにしなければならない。
- ・ **すべてのプロセスにおける企業責任の組み込み**：DNBは、長期的かつ持続可能な金融価値を株主に対して創造するために、社会に対し積極的に貢献し、かかる事業に関して誠実かつ透明でなければならない。

長期的な収益性は、すべての当グループの活動における基本前提である。ノルウェーの主要金融機関としてのDNBの特有の地位が築かれる。しかしながら、これは長期的には当グループの市場地位を維持及び強化するには不十分である。したがって、当グループは、新たな競合他社の複数の強みを身に付ける必要があるが、これには重大な変更及び厳しい決断の実行が伴う。

これは、DNBが、顧客体験、イノベーション、自動化、働き方、新たなビジネス・モデル、第三者との協力、データの使用及び正しい混合スキルの取得等の分野においてテクノロジー企業のように考え行動する必要があることを意味している。かかる4つの優先事項は、DNBのこの方向での発展を後押しする。適切な技術のプラットフォームは、当グループの戦略的優先事項を実現するための基本前提である。

現在、DNBはデジタルな商品、サービス及びチャネルを有する伝統的な銀行である。DNBは、将来においても銀行であり続ける。しかしながら、将来において銀行であるということは、現在とは異なるものを伴うこととなる。

新たな戦略は、現在当グループ内で実施されている。

リスク管理

リスク管理能力は、金融サービス業界において非常に重要であり、長期的な価値創造に必要不可欠な条件である。当行は、低リスク・プロファイルを維持することを目指し、また、認識されかつ監視することのできるリスクのみを負担する。リスク管理とは、当グループが意図しないリスクから保護されるようにする一方、リスクに対する収益性が考慮されることを意味する。健全なリスク管理は、強固なリスク文化に基づき、組織内のリスク及びリスク管理に対する高い意識に特徴付けられる。DNBグループのリスク管理方針は、すべてのDNBグループのリスク管理活動に関する原則を定めており、リスク管理に係る目標、姿勢及び組織について規定している。

すべてのマネージャーは、自身の責任分野におけるリスクに責任を負う。リスクは、個人の承認及びリスク限度枠を通じて管理される。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業分野における業務から独立した部門が請け負う。

DNBグループの不可分の要素として、当行グループは本項に概説されるDNBグループのリスク管理方針に服する。

責務及び組織

DNBグループのリスク管理は、3つの防衛線のモデルに基づいている。主なリスク管理の原則は、明確な目標及び戦略、方針及び指針並びに効果的な運営体系及び透明性のある報告である。

第1の防衛線は、運営の効率性に関して定められた目標達成のためのプロセス及び活動を含む、運営管理のガバナンス及び内部統制、信頼性のある財務報告並びに法律及び規制の遵守である。運営管理は、各分野における事業部の活動及びプロセスに関連するすべてのリスクに責任を負う。事業部は、リスク管理及びリスク・エクスポージャーが、常に取締役会により決定された限度枠及び包括的原則の枠内に確実に収まるようにする。

第2の防衛線は、運営管理のガバナンス及び内部統制を監視及び追跡調査する独立した機能を表している。かかる機能は、第1の防衛線が適切に設計され、かつ意図したとおりに機能することを確実にするために設定される。第2の防衛線は、リスク管理、組織間の調整及びリスクの報告のための前提を置くことに責任を負う。

第3の防衛線は、グループ経営陣の全体的なガバナンス及び内部統制を審査及び評価するグループ監査部門である。グループ監査部門は、第1及び第2の防衛線におけるリスク管理を審査し、リスク管理及び内部監査の評価により事業の潜在的な改善点を特定する。グループ監査部門は、当グループの上級経営陣から独立しており、DNBエイ・エス・エイの取締役会に直属する。

取締役会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク及び事業範囲に対し適切な自己資本が当グループに備わっていること並びに法律及び規制に定められた自己資本要件を充足していることを確実にすることに責任を負う。DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度の枠組みを通じてDNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。取締役会は、DNBグループの資本状況を継続的に監視する。

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、DNBグループの主要なリスク分野及び内部統制を毎年審査する。かかる審査は、グループ最高経営責任者からの報告に基づき行われ、主要なリスク分野で行われた作業の質を検証し、弱点及び改善の必要性を特定することを目的としている。

リスク管理委員会は、DNBグループの内部統制体制及びリスク管理体制を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、現在及び将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当グループのリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、コンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク並びにDNBグループにおけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会がDNBグループにおけるリスク管理を監視するための準備を行い、かかる準備にはグループ経営陣のリスク報告の審査及び評価が含まれる。

監査委員会は、DNBグループ監査部門及び監査役が行った作業の質を評価し、当グループの外部及び内部の監査手続が独立かつ効果的であること、並びに財務報告が法律及び規制を十分に遵守していることを確実にする。監査委員会は、当グループの監査役の人選及び監査役の報酬に関して検討し、提言を提出する。同委員会は、監査役の独立性を評価及び監視する。また、同委員会は、財務報告のプロセスを監視し、年次財務書類及び連結財務書類の法定監査を審査する。同委員会は、取締役会が財務報告のプロセスを監視するための準備を行い、また当グループの財務報告の審査及び評価も行う。

グループ最高経営責任者及び執行機関

グループ最高経営責任者は、効果的な管理体制及び内部統制の構築を含む、DNBエイ・エス・エイの取締役会が設定した事業目標の達成に役立つリスク管理措置の実施に責任を負う。グループ経営陣の会議は、グループ・レベルの経営に関するグループ最高経営責任者の合議体である。リスク管理及び資本管理に関するすべての重要な決定

は、通常、グループ経営陣チームと協議した上でなされる。与信供与並びにすべての重要な財務分野におけるポジション及び取引の限度枠について、承認が必要である。承認は、すべて個別のものである。承認は、全体的な限度枠と併せてDNBエイ・エス・エイ及び当行の取締役会により決定され、組織に委任されるが、追加の委任には、当該個人の直属の上司による承認及び追跡調査が必要となる。

様々な専門分野における書類作成並びに監視及び統制の実施を補佐するため、多くの諮問機関が設置されている。

グループ・リスク管理部

グループ・リスク管理部は、DNBグループ内の中核かつ独立したリスク管理部である。同組織は、DNBグループの最高リスク管理責任者が率い、最高リスク管理責任者はグループ最高経営責任者に直属する。グループ最高経営責任者は、リスク負担及び内部統制のための前提を置き、DNBグループのリスク状況の評価及び報告を行う。DNBグループのリスク関連組織の大半は、グループ・リスク管理部内に組織されるが、運営上のリスク管理の一部は事業分野において組織される。

コンプライアンス

コンプライアンス機能は、DNBグループのコンプライアンス・リスクの特定、評価、助言、監視及び報告を行う独立した機能である。2017年度末、コンプライアンス部が個別のスタッフ分野として設置され、同部はグループ最高経営責任者に直属する。すべて事業部門及びサポート部並びに大規模な子会社及び海外の事業体には、関連する規制の確実な遵守に責任を負うコンプライアンス機能がある。海外の事業体並びにバルト諸国及びポーランドにおける当グループの事業におけるコンプライアンス機能は、グループ・コンプライアンス・オフィサーに直属する。DNBグループにおける倫理責任についても、コンプライアンス機能の下に組織される。

自己資本管理

リスク・プロファイルの評価及び自己資本要件

ノルウェー公開有限責任会社法に従い、すべての会社は、常に、会社の活動及び関与するリスクの範囲を考慮した適正な株主資本を保たなければならない。自己資本規制では、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを含む最低第一次資本要件が定められている。DNBグループは、当該最低要件を満たすとともに、様々なバッファー要件を満たさなければならない。バッファー要件と最低要件との違いは、遵守しなかった場合の結果による。最低要件を遵守しなかった場合、当該銀行の再編又は清算につながる可能性がある一方、バッファー要件を遵守しなかった場合は、自己資本を強化するための措置が行われなければならない。バッファー要件を遵守しなかった場合、配当金の支払い、ハイブリッド証券の利息の支払い及び従業員に対する様々な報酬の支払いが制限されることになる。ノルウェー金融監督庁は、個々の金融機関における最低要件及び一般的な自己資本要件(第1の柱)の算定基準で十分にカバーされないリスク要素の有無を評価する。これらは、第2の柱に基づく要件といわれる。

当グループは、DNBグループの資本戦略及び配当方針に従い、同等の自己資本原則に基づく北欧地域における最良の自己資本を有する金融サービスグループの一つになることを目指している。配当は、十分な財務力を維持する必要性及び外部パラメータの変動などの要因に基づき決定される。当行の自己資本指針では、目標とする自己資本水準、当行の自己資本の状況の見直しの頻度並びにリスク調整後自己資本及びストレス・テストの使用といった使用される評価方法が示されている。自己資本指針は、内部自己資本充実度評価プロセス(以下「ICAAP」という。)及び監督上の検証・評価プロセス(以下「SREP」という。)を通じた当局からのフィードバックに基づいて毎年見直される。

ストレス・テスト

ストレス・テストは、当グループの自己資本の評価において重要な手段であり、また、財政計画にも使用される。ストレス・テストは、マクロ経済環境の変化が自己資本の必要性にどのような影響を与えるかを判断するための自己資本計画の過程で使用される。当グループの管理チームは、ストレス・テストの改良に関わり、その結果に基づく措置及び戦略を検討している。

当行は、2011年度及び2014年度に、欧州銀行監督機構が取りまとめた欧州銀行のストレス・テストに参加した。当該ストレス・テストは、貸付損失、市場リスク及び純利息収入の減少などの深刻な衝撃及び損失に対する欧州の銀行の回復力並びにその結果が当行の普通株式等Tier 1資本の比率に与える影響を評価するものである。当行はまた、2015年度末の数値に基づくEBA2016年度ストレス・テストにも参加した。当行グループの悪化シナリオに基づくストレス・テストの結果によると、普通株式等Tier 1比率は14.30% (0.01%の減少) と、ほぼ横ばいであった。当行は、ストレス・テスト期間(2016年度～2018年度)において好調な配当前業績を維持し、これはEBAの方法論によると、資本基盤を安定させる。リスク・エクスポージャーの額もまた、リスクの影響を受けにくいパーゼル 制度に基づくノルウェーの移行ルールの効果により変動がなかった。

ICAAPのストレス・テストは、マクロ経済状況の著しい悪化を仮定し、変化した状況が当グループの全体的なリスク状況、収益性及び自己資本にどのような影響を与える可能性があるかを示す。該当するリスク要因に基づくストレス・シナリオが毎年策定される。かかるシナリオは、資産負債委員会(以下「ALCO」という。)により検討され、最高リスク管理責任者により承認される。当該ストレス・テストは、DNBの損失見積りのためのリスク調整後自己資本のモデルを使用している。

リスク選好度

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度の枠組みを通じ、DNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。リスク選好度の枠組みは、リスクが管理され、DNBグループのガバナンスのプロセスに実践的に、体系的に、透明性があり、かつ同期的な方法で統合されていることを確実にすることを意図している。リスク選好度の枠組みによって、全体的かつバランスのとれたビジネス上のリスクについての見方が提供されなければならない。かかる枠組みを支えるため、一連のガバナンスの原則及び運営手順並びにDNBグループ内の責任が定められた。目標とするリスク・プロファイルも、承認及び事業限度枠の設定を含むリスク管理の枠組みのその他の部分に反映される。リスク選好度の枠組みは、少なくとも年1回見直される。また、取締役会も定期的にリスク水準、枠組みの構造及び当該リスク・カテゴリーの報告を審査する。

DNBグループのリスク選好度に基づき決定される限度枠は、事業部門及びサポート部において運用される。DNBグループのガバナンス体制において、リスク選好度は選ばれた指標の目標数値の形で示される。カバーする業務を反映するリスク指標を監視することにより、DNBグループはリスクが目標とする水準にとどまっているかどうかを確認することができる。リスク指標は、一般に(定量化可能なリスクについては)リスク水準の限度枠又は定性的評価により表示される。これらは同様のリスク・トピック及びリスク・トレンドを裏付けるが、必ずしもDNBグループと同じ測定のパラメータを使用して表示されるとは限らない。これらの目標数値を継続的に監視することにより、最重要と定義されるリスクもまた、確実に組織の業務範囲内で監視されかつ議論される。

リスク・カテゴリー

リスク管理の目的上、当行グループは、リスク・カテゴリーを以下のとおり区別している。

信用リスク

信用リスク(又はカウンターパーティ・リスク)とは、DNBグループの顧客(取引先)側がDNBグループに対する支払債務を履行できないことに起因する財務上の損失のリスクをいう。信用リスクは主として貸出金等顧客/取引先に

対するすべての債権のみならず、その他の承認済みの信用供与、保証、債券、未使用の与信枠及び銀行間預金に係る債務並びに通貨デリバティブ取引及び金利デリバティブ取引に関して生じるカウンターパーティ・リスクを含む。

DNBグループの与信プロセスは、取締役会によって承認されるDNBグループの与信方針に基づくものである。与信業務の主たる目的は、当行の短期的及び長期的収益性を確保できる構成及び質の与信ポートフォリオを維持することである。与信ポートフォリオの質は、DNBグループの低リスク・プロファイル目標に合致しなければならない。

DNBグループは、単一の顧客又は顧客グループに対する多額のエクスポージャー、並びに高リスクのカテゴリー、産業及び地域に係る多数の融資契約等、大規模なリスクの集中を回避することを目指している。リスクの集中動向は金額、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に関して厳重に監視されている。大口の顧客及び顧客グループに対するエクスポージャーは、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に基づき追跡調査される。

リスク分類システムは意思決定支援として利用され、また、継続的なリスク監視及び報告のため利用されている。個別毎及びポートフォリオ毎の融資契約のデフォルト確率、予想損失及びリスク調整後(所要)自己資本は、与信戦略の進捗管理を含む与信プロセス及び継続的モニタリングの一環として組み込まれている。

市場リスク

市場リスクとは、外国為替、金利、コモディティ及び資本市場においてヘッジされていないポジションをとる結果生じる損失のリスクをいう。市場リスクは、市場価格又は為替レートの変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクには、通常のトレーディング活動を通じて生じるリスク並びに銀行活動及びその他の業務の一部として生じるリスクの双方が含まれる。

流動性リスク

流動性リスクとは、DNBグループが支払期限の到来した債務を履行できなくなるリスク及びDNBグループが付随する費用を大幅に増加させなくては流動性債務を履行できなくなるリスクをいう。このリスク・カテゴリーは、他の事象によりDNBグループの債務履行能力に関心が生じるまで実体化しないという点で、しばしば条件付とされるが、流動性は金融事業にとって極めて重要である。流動性リスクは、リスク調整後(所要)自己資本の形で数値化されてはいないが、限度枠管理及びストレステストを通じて追跡調査される。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、内部のプロセス及びシステムの不備若しくは誤謬、人為的過失、又は外部の事由に起因する損失のリスクをいう。また、オペレーショナル・リスクには、コンプライアンス・リスク、法的リスク、実施リスク及びITリスクも含まれる。コンプライアンス・リスクとは、法律及び規制又は類似の義務の違反による損失のリスクであり、法的リスクとは、契約書の作成及び解釈並びにDNBグループが事業を行う地域における異なる法的慣行に関連してしばしば生じるリスクである。

事業リスク

事業リスクは、市況、政府の規制又はレピュテーションの低下による収益の喪失等の外的要因の変化に起因する利益の変動に関連している。レピュテーション・リスクは、他のリスク・カテゴリーによる結果であることが多い。DNBグループの事業リスクには、主に戦略プロセス及びDNBグループのレピュテーションを守り、向上させる継続的な努力を通じて対処する。DNBグループのリスク選好度を決定し追跡調査する際には、レピュテーション・リスクは個別のリスク要因として定義される。

以上に記載したリスクのほか、DNBグループは戦略リスクにもさらされており、かかるリスクはDNBグループが既存の戦略的機会を生かせなかった場合に利益が減少するリスクと定義できる。DNBグループの戦略リスクについて個別の測定又は報告はなされていないが、年間の戦略プロセスの一部として議論される。

新たな規制の枠組み

過去数年にわたり、金融サービス業界についてより厳格な要件を定めた多くの新たな規制が導入又は発表された。ノルウェー当局は、EUと比較してより厳格な自己資本規制要件を導入し、より早期に実施した。最新のバーゼル規制の採用により、かかる要件の調和がとられる見込みである。

EUの修正版決済サービス指令(PSD2)

PSD2は、2018年1月13日付でEUにおいて施行され、決済サービス市場の規制の枠組みに大きな影響を及ぼすことが予想される。かかる指令は、EEA協定に正式に組み込まれておらず、ノルウェーにおける実施期限は設定されていない。

かかる指令は、オンライン決済を含む決済全般について規制しており、決済サービス業者の業務の新たな規則の制定に大きな役割を果たしている。特に、銀行は第三者の業者に対し、顧客の承認に基づき、顧客の口座残高及び取引履歴を直接利用できるようにしなければならない、また口座から又は口座への送金機会を提供しなければならない。かかる第三者の業者は、独自の口座の提供を行わない他の銀行、リテール業界のプレーヤー、純粋な決済サービス業者、大手のIT企業又はフィンテック企業などの可能性がある。銀行は、最終顧客に課す通常の価格より高い価格を課すことはできない。

第三者による口座情報の利用及び決済をできるようにすることは、スウェーデン、英国、中国及び米国等のノルウェー以外の国々でより一般的である。これらの市場での経験を踏まえ、かかるサービスの規制がなされ、欧州経済領域を通じて一般に利用可能となったため、多くの顧客がかかるサービスの利用を希望するであろうと考えるに足る理由がある。

また、かかる指令では、顧客認証の要件を通じた厳しいセキュリティ規制、不正に対する保護及び消費者の権利向上も導入されている。顧客が第三者の業者を通じて行った決済の安全性に関する欧州銀行監督機構(EBA)の指針は、決済サービス及び口座の資金の安全性に対する国民の信頼にとって非常に重要である。これらの規制は、2019年9月に施行される予定である。

PSD2は、銀行のバリュー・チェーン及び顧客基盤が新たなプレーヤーに開かれるため、従来の銀行にとって脅威となる。しかし、この変化は、銀行にとって新たな商品、サービス及びビジネス・モデルを開発する機会にもなる。テクノロジーは業界を急速に変化させており、顧客の期待はより急速に変化している。

ノルウェー財務省は、PSD2の公法的側面を実行する金融機関法、金融監督法及び決済システム法の改正についてパブリック・コメントを求めて回覧した。同様に、ノルウェー法務・危機管理省は、かかる指令の私法的側面を実行する新たな金融契約法の提案についてパブリック・コメントを求めて回覧した。PSD2は、早ければ2019年1月にノルウェーで導入される予定であるが、多くのプレーヤーは、EUにおける発効日に合わせて業務を適応させると見込まれる。DNBは、ノルウェー当局のPSD2施行への取組みに積極的に従っており、また銀行の業務を新たな規制に適応させかつ新たな機会を開拓するために多大な努力を払っている。

消費者の権利を強化する新たな個人データ法

ノルウェー法務・危機管理省は、新たな個人データ法案をパブリック・コメントを求めて回覧した。同法は、ノルウェー法においてEUの一般データ保護規則(GDPR)を実施する。新たな規制を必要とする主な推進力の一つには、個人に関する情報を蓄積する個人データの量が、デジタル・チャネルによって著しく増加したという事実が背景にある。かかる新法は、事業運営を行うほぼすべての当事者にとって大幅な変更があることを意味している。DNBは、顧客に関する大量の情報の保護に長年の経験を有しているため、準備が十分に整っている。

GDPRの目的は、個人データを処理する際のプライバシー保護を強化及び調和することである。さらに、欧州市場におけるデジタル・サービスの自由な流れが促進され、また情報処理は一般に、消費者にとってより透明かつ予測可能なものとなる。特に、企業が保管する消費者に関するすべての個人データを受領する権利及びかかる情報を訂正、削除又はあるサービス業者から別の業者に移管する権利が消費者に対し新たに導入される。ノルウェー・データ保護機関は、高額な不履行手数料を課すことができる。

GDPRは、新たな個人データ法で推薦された規定を通じて、ノルウェー法において実施される。これはEEA協定に沿っており、かかる規制が、「現状のまま」導入されることを意味している。新たな規制は、2018年5月25日にEUにおいて発効したが、ノルウェーにおいては2018年度後半まで発効しない。DNBは、今後の要件を遵守するよう取り組んでいる。

自己資本及び流動性の要件

銀行の自己資本規制要件

CRR/CRD 規制と呼ばれるEUの自己資本要件の規制は、2014年1月1日付で施行された。CRRは規則であり、CRDは指令である。これらの規制は、自己資本及び流動性の基準についてのバーゼル委員会による2010年12月の提言であるバーゼルに基づいている。CRR/CRD 規制には、自己資本、長期資金調達及び流動性準備に関する要件が含まれる。これらの規制は、EEA内のすべての銀行に適用され、2019年度まで段階的に実施される。

CRR/CRD 規制は、EEAと関連しているが、EEA協定にはまだ含まれていない。しかしCRR/CRD の要件は、規制を含む金融機関法によりノルウェー法において一般に施行された。EEA/EFTA加盟国及びEUは、CRR及びCRD をEEA協定に正式に組み込むための作業を行っている。ノルウェー政府は、いくつかの分野においてEUの規制と異なるノルウェーの規則を保持する許可を得ようとしていると、2018年度の国家予算においてノルウェー財務省が見解を示した。

3つの柱

自己資本規制は、3つのいわゆる柱に基づいている。第1の柱には、政治上の権限者が決定する最低要件及びバッファ要件が含まれる。第2の柱には、その他の要件に追加された要件が含まれ、第1の柱ではカバーされないか又は一部しかカバーされないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件を反映することを企図している。第2の柱に基づく要件は個別的であり、ノルウェー金融監督庁による当該銀行のリスクに関する評価に左右される。第3の柱は、情報開示についてである。

2017年12月31日現在、DNBの普通株式等Tier 1資本に関する第1の柱に基づく要件の合計13.6%である。カウンターシクリカルなバッファ要件は、銀行が信用エクスポージャーを有している国に対するバッファ・レートの加重平均である。かかるレートは、ノルウェーにおいて2.0%であるが、DNBがエクスポージャーを有している一部の国では、かかる要件を0%と設定している。DNBにとって有効なカウンターシクリカルなバッファ要件は、結果的に約1.6%に減少した。ノルウェー金融監督庁は、DNBに対する第2の柱に基づく要件を1.6%と設定した。全体として、2017年度末現在の第1の柱及び第2の柱に基づくDNBの普通株式等Tier 1資本要件は、約15.2%となった。

為替レート及び市場価格が変動することを勘案し、普通株式等Tier 1資本要件の合計を上回るマージンを有する必要がある。ノルウェー金融監督庁の見解によると、DNBは約1パーセント・ポイントのマージンを有する必要がある。これは当グループが2017年度末現在で約16.1%の普通株式等Tier 1資本比率を有する必要があったことを意味する。ノルウェー金融監督庁がこのマージンを設定した理由は、厳しい市場環境においても当グループの自己資本の強化が資本市場へのアクセス確保に役立たなければならない一方、DNBが低迷期においても通常の貸出金の伸びを保持できなければならないためである。DNBグループの普通株式等Tier 1資本比率は、2017年12月末現在で16.4%であった。

撤廃予定のバーゼル のフロア

銀行が満たすべき自己資本規制要件は、銀行の資産における自己資金の割合の最低要件として定式化される。資産は、予想される損失のリスクに基づきリスクウェイトされなければならない。従前のバーゼル 規制には、異なる種類の資産に関する標準化されたリスクウェイトが含まれていた。2007年度から、バーゼル 基準により銀行はリスクウェイトの算定に独自のモデルを使用することができるようになった(IRB(内部格付)手法)。使用するモデルがリスクウェイトを過小に算定しないようにするため、リスクウェイト資産の価値合計の下限に関するフロアが設定された。かかる価値は、バーゼル 規制の下での価値の80%を下回ってはならない。これが、いわゆるバーゼル のフロアである。

ノルウェーは、リスクウェイト資産に対するかかるフロアを保持することを選択した唯一の国である。これによる影響の一つとして、EUの規制が適用された場合に比べ、ノルウェーの銀行が国際的な比較で資本が少なく見える。

2017年12月、バーゼル委員会は、特に銀行の報告済みの自己資本数値と自己資本要件の間のより一層の整合性を確保するため、自己資本の評価に関するバーゼル 基準の一部の変更を採択した。かかる変更には、標準化された手法及びIRB(内部格付)手法の調整並びに新たな資本フロアの導入が含まれる。新たな資本フロアの要件によりリスクウェイトの差異は減少し、国境を越えて自己資本要件がより調和する。しかし、バーゼル の変更には5年間の段階的導入期間があり、2022年1月1日まで発効が予定されていない。EUは、法律の改正により提言を採択する見込みである。この法律は、EEA協定を通じてノルウェーにおいても適用される。

ノルウェーの法律には、CRR及びCRD の要件が完全には反映されていない。2018年4月30日、ノルウェー金融監督庁は、CRR/CRD のノルウェーにおける最終的な実施に関する提案を公表した。かかる提案は、現在公開審議中であり、2018年度末までに実施される見込みである。提案に基づき、CRRは現状のまま実施される。そのため、ノルウェーがEUとの協議を通じてフロアを維持する許可を得ない限り、バーゼル のフロアは撤廃される。フロアが撤廃された場合、ノルウェー金融監督庁は、CRR/CRD 要件の下で利用可能なその他の措置を通じて堅実性を確保することを提案している。

法人向貸出金に対する自己資本要件の引下げ

2017年3月、ノルウェー政府は、中小企業向貸出金に対する自己資本要件の引下げに関するEUの規制(中小企業サポート・ファクター)をノルウェーに導入すると発表した。しかし、これはCRR/CRD がEEA協定に組み込まれるまで導入されない。中小企業サポート・ファクターは、1.5百万ユーロまでの中小企業向貸出金に対する通常の自己資本要件が、23.8%引き下げられることを意味する。欧州委員会は、1.5百万ユーロを超える金額について自己資本要件をさらに15%引き下げることにより、中小企業サポート・ファクターの継続及び拡大を提案した。中小企業サポート・ファクターがすべてのノルウェーの銀行に対し効力を有すると仮定すると、かかる導入は経済界における資本の利用及び価値の創造にプラスの影響を及ぼす。

リスクに基づかない自己資本要件であるレバレッジ比率

リスク加重自己資本要件の補足並びに規制の調整及び乖離への対応措置として、EUはリスクに基づかない自己資本要件である「レバレッジ比率」を導入する予定である。欧州銀行監督機構(EBA)の提言に基づき、欧州委員会は、最低要件を3%とすることを提案した。

ノルウェーでは、ノルウェー財務省がレバレッジ比率の最低要件を2017年6月30日現在で3%と設定した。すべてのノルウェーの銀行が、最低2%の最低要件に加え、バッファータを持たなくてはならない。システム上重要な銀行(0-SIIs)は、最低1%の追加のバッファータを持たなくてはならない。したがって、ノルウェーのシステム上重要な銀行として、DNBの要件合計は6%となる。2017年12月末現在、DNBのレバレッジ比率は7.2%であった。

銀行の流動性要件

EUの自己資本要件の規制には、流動性カバレッジ比率(LCR)及び安定調達比率(NSFR)の2つの定量的な流動性要件に関する規定が含まれている。LCRの規制は2015年10月1日付でEUにおいて発効し、2018年度まで段階的に導入される。2016年11月、欧州委員会は、NSFR要件の算定に関する提案を示した。NSFR要件の導入時期は、まだ不透明である。

ノルウェーでは、EUの予定より前にLCRが導入された。O-SIIsは、早くも2015年12月31日からLCR要件を100%充足することを求められた。その他の銀行については、LCRは2016年12月31日現在で80%以上、2017年12月31日現在で100%必要であった。

2017年9月30日現在、ノルウェー財務省は重要な通貨に関するLCR要件を導入した。当該通貨建ての負債総額が銀行の負債合計の5%以上となった場合、その通貨は重要と見なされる。重要な通貨がユーロ又は米ドルであるDNBを含む銀行は、50%以上の流動性準備をノルウェー・クローネで保有しなければならない。かかる変更は、2017年9月30日付で発効した。

ノルウェー金融監督庁はノルウェー財務省に対し、O-SIIs及び資産合計が20十億ノルウェー・クローネを超えるその他の企業の最低要件として、EUにおいてNSFRについての最終決定がなされた後直ちにNSFRを導入すべきである旨の提言を行った。ノルウェーにおいてNSFRが導入されるまで、ノルウェー金融監督庁は、銀行の長期資金調達の監視に際し流動性指標1を引続き使用する予定である。流動性指標1は、2018年度に段階的に廃止され、NSFRに置き換えられる。

危機管理に関する新たな規則

金融危機により、銀行の解散及びリストラクチャリングについてより良いソリューションの必要性が明らかになった。EUは、この分野に広範な規制である銀行再建・破綻処理に関する指令(BRRD)を導入した。

かかる指令の目的は、危機を予防しかつ初期段階で対処するために必要な手段を銀行及び当局に提供することにより、金融の安定性を確保する危機管理システムを構築することである。危機管理システムにより、預金及び公的資金が保護される一方、金融の安定性を脅かすことなく大規模銀行の清算又は財政の立て直しが可能になった。

破綻処理基金及び預金保険基金

BRRDに基づき、各国は危機管理の手段として破綻処理当局が利用する国営の破綻処理基金を設立する。修正版預金保険指令、DGSDに従い、各国は預金保険基金も設立しなければならない。

ノルウェーの預金保険制度は、現在銀行1行で預金者1名につき2百万ノルウェー・クローネをカバーしている。預金保険指令は、基本的にノルウェーが保証を100,000ユーロに引き下げなければならないことを意味している。政府は、修正版預金保険指令がEEA協定において施行される時に、ノルウェーの高い預金保険水準を保持し続けることについて、EUと協議している。

内部的資本構成の変更(ベイルイン)

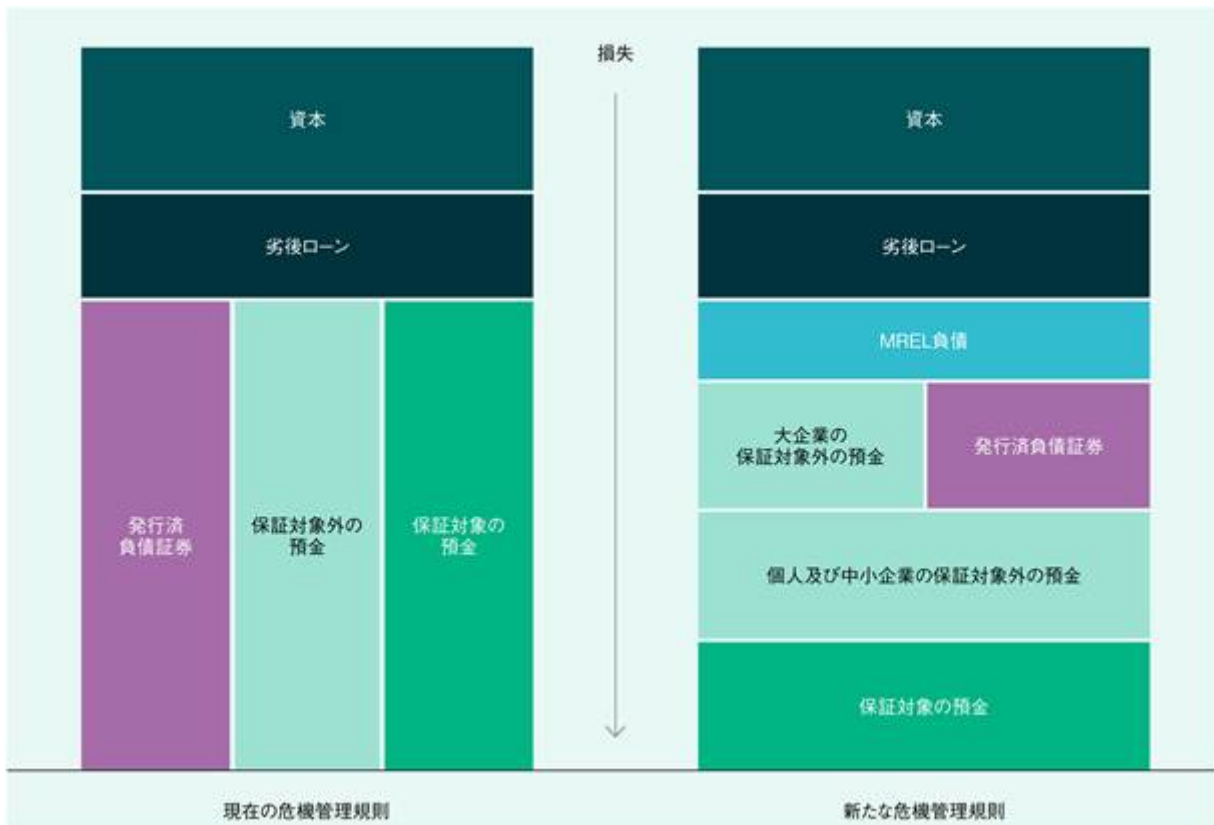
BRRDの重要な要素は、銀行の清算又は資本構成の変更に関するいかなる損失も銀行の投資家が負担し、納税者は負担しないということである。そのため、指令は銀行の負債の内部的資本構成の変更、いわゆる「ベイルイン」を可能とした。これは危機解決の一環として、無担保債権者が、債権の減額及び/又は資本への転換を経験する可能性があることを意味している。その結果、損失はカバーされ、銀行は資本構成を変更し、業務を継続することができる。このような状況では、投資家は、銀行に通常の清算規則に基づく清算を要求することができないため、銀行の業務継続が金融の安定性及び経済にとって重要とみなされた場合、当局に対する影響力を失う。

BRRDによると、ベイルインは最後の選択肢であり、銀行がほぼ支払不能となるまで開始されてはならない措置である。投資家は最低限、通常の破産手続に基づき銀行が清算された場合と同様の金銭的リターンを得るべきである、というのが基本的な原則である。預金保険により保護される預金は、通常損失から保護される。

劣後債務の最低要件

EUにおけるすべての銀行は、銀行が清算寸前となった場合に減額するか又は資本に転換(ペイルイン)することのできる、最低限度の自己資金及び適格債務(自己資本及び適格債務の最低基準(MREL))を保有しなければならない。かかる要件は、債務減額の必要性をカバーする要素及び資本構成の変更の必要性をカバーする要素から成る。当初は、各要素はバッファーを含む銀行の自己資本要件合計に等しく、それによりMRELは自己資本要件合計の2倍となる。しかし、MRELは各銀行について個別に決定され、どのような規制を策定するかについては国家に大きな行動範囲がある。ノルウェー金融監督庁は、2019年1月1日付で発効予定のノルウェー向けのMREL要件の提案を2018年度に公表する見込みである。

預金の保護をより確実にする新たな規制



危機プラン

BRRDは、その他数々の要件を定めている。特に、財政が著しく減損している場合、銀行は自己資本規制の強化方法並びに流動性及び資金繰りの改善方法について記載した再建計画を作成しなくてはならない。かかる計画は、国の監督当局により承認されなければならない。一方、当局は、銀行の破綻処理計画を作成しなければならない。この計画は金融業界のために資源を多く割かなければならず、監督当局は新たに膨大な手続が必要となる。

ノルウェーにおける法的手続

2018年2月9日、BRRDがEEA協定において施行された。

BRRDをノルウェー法において施行するため、2018年3月23日に金融機関法の改正が採択された。金融機関法の改正は、主に第19章及び第20章についてであり、2019年1月1日付で発効する予定である。

BRRDをノルウェーにおいて施行することにより、主に法律の詳細さの度合い及び既存のノルウェー法の一部の拡大に関し様々な変化が生じる。新たな法律ではノルウェー金融監督庁が破綻処理当局に指定されているが、金融機関が破綻処理の条件を満たすか否かを判断する権限はノルウェー財務省に委ねられている。BRRDの規制の枠組みの

重要な要素は、破綻した金融機関及びその資本基盤のリストラクチャリングの一環として、破綻処理当局に()金融機関の承認されたTier 1資本又は承認されたTier 2資本の当該資本商品の双方に関する債務減額又は資本への転換及び()金融債権者に生じる金融機関に対する損害賠償請求についての決定を下す権利を付与する一連の規則である。ノルウェー当局は、すでに金融機関法第21章に基づき資本及び劣後債の債務を減額する権限をある程度有しているが、これらの権限がその他の種類の資本にも拡大される。

ノルウェーには、現在欧州において最も資本を十分に備えた預金保険基金の一つがある。2017年度末現在、その資金は34.5十億ノルウェー・クローネにのぼり、これは保険対象の預金合計の2.7%に相当する。EU指令に従い、これらの資金が預金保険及び破綻処理措置に資金を供給する2つの新たな基金に移転される。同指令では、2024年度までに2つの基金が合計で保険対象の預金の最低1.8%を構成するように求められている。その結果、ノルウェーの2つの基金は、発効日において、すでにEUが定めた目標を数年早く上回る水準まで資本を備えることになる。

ノルウェー財務省は、銀行から基金への年間支払要件の保持を提案している。DNBから基金への支払いは、現在より高くなる見込みである。これは、主にDNBボーリ・クレジット及びDNBナーリングス・クレジットも、破綻処理基金への拠出が求められるという事実によるものである。現在、これらの会社はノルウェー銀行預金保険基金への負担金の支払いは行っていない。

EEA協定への組み込みが決まっていない重要な規制

2016年度、ノルウェー議会は、銀行、保険及び有価証券についてノルウェーをEUの監督当局と連携させることに同意した。この連携は、ノルウェーの金融サービス業界がEEA市場全体にアクセスを有し続けるようにするため、構成条件を整えるために必要である。しかし、まだ多くの作業が残っている。2018年度初めの時点で、PSD2、CRR/CRD 及び預金保険指令を含む250を超える金融サービスに関する指令及び規制が、まだEEA協定に組み込まれていなかった。金融サービス業界は、このプロセスを加速させようとしている。公平な競争条件を確保するため、今後、新規制をEU及びEEA/EFTA加盟国と同時期に導入することが重要である。

2018年度からノルウェーで施行される予定のMiFID 及びMiFIR

2018年1月3日、証券市場に関するEUの新たな規制(MiFID 及びMiFIR)がEUにおいて発効したが、EEA協定にはまだ組み込まれていない。新たな規制は、投資家保護の強化、リスクの低減、効率の向上及びより透明な金融市場の確保を企図している。EEA協定を通じて、ノルウェーの証券市場は単一市場の一部であり、欧州市場と密接に一体化している。証券市場を正しく機能させるため、ノルウェーの規則がEUの規則と一致することが重要である。そのため、ノルウェー金融監督庁は、ノルウェーの投資会社にEUの投資会社と同じ要件を課す規制を採択した。これは、ノルウェーの投資会社が同じ規制の枠組みの対象となり、EUの投資会社と同等に扱われるようにすることを目的としている。かかる規制は、2018年1月1日付で発効した。MiFID 及びMiFIRの正式な実施に関する法案が2018年6月4日に議会で可決され、2019年1月1日付で発効する見込みである。

債務の登録及び消費者ローンのマーケティング

2017年度中、ノルウェー政府及びノルウェー金融監督庁は、消費者ローンの指針、クレジットのマーケティング規制、クレジット・カード債務の請求に関する規制及び信用度採点に関して与信情報を提供する許可を民間企業に付与する新法を含め、銀行における健全な与信評価を確実にし、無責任な貸出慣行から消費者を保護するための数々の措置を導入した。

消費者金融は、消費者ローン、クレジット・カード及び購入資金貸付に関する銀行の新たな戦略に照らし、DNBにとって非常に関連の深い話題である。DNBは、かかるサービスの責任ある提供業者として明確な立場をとることにより、顧客との関係を築くことを目指している。

消費者ローン及びクレジット・カードの取扱いに関する指針

かかる指針は、後に返済できなくなる水準の債務を顧客が負うリスクを低減させる一方、健全な銀行に寄与することを目的としている。指針は、クレジット・カード及び決済カードを含む消費者向けのすべての無担保与信に適用される。特に、指針では債務返済能力、返済負担率の上限及び分割払いに関する要件を定めている。

クレジットのマーケティング規制

かかる規制の目的は、多額の借入れによりマイナスの結果をもたらす可能性から顧客の注意をそらすような、しつこく強引なマーケティングを防ぐことである。クレジットのマーケティングでは、いかに手軽に利用可能かを強調してはならない。さらに、マイル、割引、加入ギフト及び保険といった追加の特典を強調することも制限される。また、訪問販売によるクレジットのマーケティングも禁止されている。かかる規制は、2017年7月1日付で発効した。

クレジット・カード債務の請求に関する規制

かかる規制は、とりわけ、金融機関からの請求書の金額欄が、与信残高の全体を示すよう求めている。これは、顧客が実際の債務及びその返済方法について適切な情報を受け取れるようにすることを目的としている。金融機関は、2017年6月15日までにかかる規制に適應することが求められていた。

与信情報会社に関する新法

2017年11月1日現在、民間企業は信用度採点に関し、与信情報を提供する会社を設立する認可を取得することができる。そのため、銀行は、新規の融資申込者がすでに有している与信及び消費者債務の額を確認することができる。顧客に対しより良い信用度採点を行うことができる。与信情報会社は、当局からの認可を有し、公の監督に服さなければならない。同法に基づき、消費者与信を提供するすべての金融機関は、与信情報会社に対しすべての無担保債務に関する情報を報告するか又は利用可能にする義務を負う。

貯蓄及び年金

株式貯蓄口座

2017年9月1日現在、個人による株式貯蓄口座の開設を認める制度が導入された。この制度の目的は、ノルウェー企業における民間の保有持分を増加させるため、個人が株式により貯蓄することをより簡単かつ柔軟にすることである。そのため、ノルウェー人は、現在以上にノルウェーのビジネス・コミュニティの価値創造に参加するようになる。株式貯蓄口座により、個人が非課税でその他の株式及び投資信託に再投資できるようになる。資金が株式貯蓄口座から後日引き出される時まで、利得には課税されない。株式貯蓄口座への移行を促すため、ノルウェー議会は、2018年度中も引続き効力を有する移行規則を採択し、それにより顧客は非課税で株式及び投資信託を株式貯蓄口座に移行することができる。

新たな年金貯蓄制度

多くの従業員にとって、職業年金制度及び国民年金制度を通じた年金給付金合計額は、退職年金として不十分である。そのため、補完的な民間の年金貯蓄が必要となる。2017年度の修正国家予算の検討に関連して、ノルウェー議会は、従前の税制優遇措置のある個人向け年金貯蓄制度を、新たな制度である個人向け年金貯蓄制度(IPS)に置き換えることを決定した。従前の制度は、主に年金の支払いに係る所得税率が、金銭が制度に預託される際の課税控除より高かったため、ほとんど活用されていなかった。

2017年11月1日付で発効した新たなIPS制度は、最大で年間40,000ノルウェー・クローネの預金について、通常の収入に係る課税が控除されることを意味している。残高は富裕税を免除され、運用益は一般の課税の対象とならない。年金の支払いは年金収入として等級税及び社会保障拠出金を課税されず、通常の収入として課税される。金銭

は、早ければ62歳で引き出すことができる。支払いは少なくとも10年間に分散されなければならない、原則として顧客が80歳になるまで終了することができない。

専用年金口座

民間部門の従業員の大半は、確定拠出型職業年金制度に加入している。この商品自体は透明性が高い。しかし、従業員は転職するたびに年金証書を受領し、自分自身でそれらの証書の記録をつけ責任を取らなくてはならないため、次第に複雑になる。

2017年秋、ノルウェー財務省は、専用年金口座の導入に関する法案をパブリック・コメントを求めて回覧した。かかる提案は、従業員が拒否する権利を留保しない限り、過去の雇用主からの年金証書が現在の雇用主の年金制度に統合及び移行されることを意味している。すべての金銭を1ヶ所に集めることは、大半の従業員にとって好ましいことである。非常に多くの従業員が、現在、異なる会社の過去の雇用主からの少額の年金証書を複数保有している。専用年金口座を通じて、個々の従業員は、すべての年金給付金を累積させることができ、コストの削減を実現でき、資金の概要をよりつかむことができ、資金の運用により積極的に関与することができる。政府は、まだノルウェー議会に法案を提出していない。

金融サービス業界の税金及び手数料

国際的な動向

税金を巡る規制の枠組みの国際的な動向は、国際的に事業を行うすべての会社に影響する。「課税ベース侵食と利益移転」(BEPS)のプロジェクトを通じて、OECDは現地の税制との間の相関関係を高め、透明性を向上させ、価値が創造された場所での課税につながる提言を行った。BEPSは、現地の税制及び租税条約に加え、OECD移転価格ガイドラインの変更により施行される。

EUにおいて、一貫性のある方法でBEPSを施行するための指令が採択された。租税回避対策指令には、租税回避及び強引な税金対策に対応するためのいくつかの要件が含まれており、かかる指令は2019年1月1日までにEUにおいて施行される予定である。

ノルウェーは、BEPSで提言されている措置を可能な限り早期にノルウェー法において施行すると示した。金利制限規則及び国ごとの税務当局への報告は、BEPSの提言に基づき変更された事項の例である。

OECD移転価格ガイドライン

2017年度にOECD移転価格ガイドラインが更新され、より厳格かつ詳細なドキュメンテーション要件、内部取引の価格設定規則の調整及び国ごとの税務当局への報告を含む新たな報告要件が加わった。

国ごとの税務当局への報告

BEPSの提言に基づき、ノルウェーは2017年度から、2016年度の連結売上高が750百万ユーロを超える多国籍企業に対し、国ごとの報告を導入した。最終的な親会社は、本国の税務当局の監督下にある。国ごとの報告は、会社が子会社又は恒久的な運営設備を有するすべての国の税務当局の間で自動的に交換される。これは、透明性を向上させ、価値が創造された場所で会社が課税されているかどうかを評価する根拠を税務当局に付与し、それによりより詳細な調査が必要なところを特定することを目的としている。報告には、会社が事業を行う各国における、内部及び外部への総売上高、税引前利益、支払済み及び未払いの税金、資本金、有形資産並びに従業員数が含まれる。

租税条約の効果的な改正のための多国間条約

2017年度、ノルウェーを含む70を超える国々により多国間条約が締結された。同条約は、一般に各租税条約の再交渉が必要となるため非常に時間のかかるプロセスである租税条約の改正に、新しい効果的な方法を提供する。同条約は、租税条約の文言の変更が必要なBEPSの提言の効果的な施行を確実にすることを企図している。世界中に

は、3,000を超える条約がある。同条約は、2018年度に満たされる見込みの特定の条項を条件として発効する予定であり、2019年度から発効する。

金利制限規則の拡大

2017年度、現在の金利制限規則に外部貸付に係る金利も含めるよう拡大するための諮問文書が発行された。同時に、通常の貸付を保護するための例外規則も提案された。新規則は、2019年度までは発効しないと見られると発表されている。

金融活動税

2018年度における金融活動税は、企業の人件費に対する5%及び利益に対する25%で変更はなかった。金融活動税の対象でない企業の税率は23%に引き下げされたが、これは金融活動税の対象となる企業の税負担が、その他の企業と比較して増すことを意味している。

ノルウェー国外で支払われる利息に係る源泉税

2016年度、ノルウェー政府は、クロスボーダーな利息の支払いに係る源泉税の導入に関する提言を検討すると発表した。具体的な提言がパブリック・コメントを求めて回覧される時期は未定である。クロスボーダーな利息の支払いに係る源泉税は、海外の債権者に対するノルウェーの税金となる。

保険会社及び年金保険会社の税制

保険会社及び年金保険会社の引当金控除の請求を制限する提案が、パブリック・コメントを求めて回覧された。さらに、生命保険会社及び年金保険会社の共通ポートフォリオ及び投資選択ポートフォリオの収益及び費用に対し、これらの項目の会計上の取扱いに従って課税するべきであると提案された。当局の意見では、現在の規則は、引当金控除の形で損害保険会社に税制優遇措置を付与しており、目的どおりに機能していない。生命保険会社及び年金保険会社には、引当金の控除を求める場合には、多額の繰越損失及び未払法人税の減少の形で意図しない影響を及ぼした。かかる規則は、2018年度から直ちに発効する。移行ルールが提案されている。

米国の税制改革

米国は、2018年度から適用される大規模な税制改革を採択した。法人所得税率は引き下げられる一方、課税ベースは拡大される。以下は、変更の一部である。

名目法人所得税率である連邦税率は、35%から21%に引き下げされる。純支払利息の税金控除を制限する規則が導入された。さらに、外国(米国外)の関連企業に対する特定の支払いに対する「追加税」である課税ベース侵食・濫用防止税(BEAT)が導入された。BEATは、とりわけ米国において事業を行う外国の銀行に対する二重課税につながる可能性がある。

4【事業等のリスク】

当行に関するリスク

マクロ経済情勢に関するリスク

世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。

近年の世界の資本市場及び信用市場は、変動により特徴付けられた。厳しい市場環境により、ボラティリティが上昇しただけでなく流動性が低下し、信用スプレッドが拡大し、信用市場における価格の透明性が失われてきている。世界の市場環境及び経済情勢は、ギリシア、アイルランド、イタリア、ポルトガル及びスペインを含む一部のEU加盟国のソブリン債務の返済能力についての市場認識を含む様々な要因により、数年間にわたってマイナスの影響を受けてきた。信用リスク(政府の信用リスクを含む。)に関する懸念は、世界経済全般についての市場認識及び欧州の銀行部門の強さについての認識に影響される。欧州、中国及びその他の経済大国における予想を上回る成長の鈍化及び失業率の上昇は、金融市場の信用リスクの増大をもたらす可能性がある。

ノルウェーは欧州連合の一員ではないが、欧州連合はノルウェーの主要な貿易相手の一つであり、またノルウェーはより広範な欧州経済領域の一員であることから、欧州連合の経済動向はノルウェー及び当行グループに大きな影響を及ぼす。欧州連合の経済情勢は、欧州連合離脱に関する2016年6月23日の英国国民投票をめぐる非常に不確実な状況や、かかる離脱が欧州市場にもマイナスの影響を及ぼすか否か、及びその程度が不確実であることにより、後退及び変動のリスクにさらされている。

世界経済の見通しの結果、DNBが直面するすべてのリスク及び不確定要素の性質を正確に特定することはできず、これらのリスクの多くはDNBに制御できる範囲を超えている。いずれの市場における将来の経済情勢又はいずれの市場における発展の持続可能性についても、保証することはできない。

信用市場又はその他の市場のさらなる混乱は、とりわけ、許容範囲内の金銭的条件で当行グループが資本及び流動性を利用する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。上記の要因のいずれも、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う市場における好ましくない経済動向及び経済情勢は、当行グループの事業及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があり、それらの状況が継続又は再発した場合、悪影響が継続する可能性がある。

当行グループの事業活動は、顧客から要求される銀行取引、資金調達及び金融サービスの水準に依存している。特に、借入れの水準は、顧客の信用、雇用傾向、経済情勢及び随時の市場金利に大きく依存している。当行グループの業績は、ノルウェーの経済情勢全般により大きく影響され、またこの影響に比べると程度は小さいものの、事業を行うその他の国々の経済情勢及び当行グループの事業にとって重要な特定の経済分野に影響を及ぼす可能性のある世界の経済情勢全般にも影響を受ける。当行グループは現在、事業の大部分をノルウェーにおいて運営しているため、当行グループの業績はノルウェーにおける事業活動の水準及びその周期性に影響され、それらは、上記「 - 世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。」に記載の世界の金融市場にマイナスの影響を及ぼすものを含む、(例えば、石油価格及びガス価格の変動といった)国内及び国際的な経済的要因及び政治事象に影響される。

特に、ノルウェー経済の状況は、石油業界及びガス業界の業績に左右される。2014年度半ばにピークに達した後、石油価格は同年度下半期に大幅に下落した。その後数年間でいくぶん変動したものの、石油価格は2014年度のピーク時を十分下回る平均的な水準で安定していた。ノルウェー本土のGDP成長率は、2014年度の2.2%から2015年度において1.1%、2016年度において1.0%へと低下した(出典：スタティスティクス・ノルウェー)。2017年度、GDP成長率は勢いを増し、スタティスティクス・ノルウェーによると、2017年度は1.9%であり、2018年度は2.4%と予想されている(出典：スタティスティクス・ノルウェー、2018年3月)。石油価格の大幅な下落及び国際経済の低成長により、石油業界及びガス業界における投資及び活動は減少した。2014年度から2016年度において、石油関連投資は約35%減少した(出典：スタティスティクス・ノルウェー)。2017年度において、石油関連投資はさらに減

少したもののペースが緩やかとなり、2018年度には、石油関連投資は3%増加すると予想されている(出典：中央銀行金融政策報告書、2018年6月)。かかる予想どおりになる保証、又は投資額がさらに減少しないという保証はない。したがって、石油価格の安値及び石油関連投資の減少が継続すると、ノルウェー経済及びDNBグループの顧客にさらなる悪影響を及ぼす可能性がある。これらの状況は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

リアルエステート・ノルウェーによると、ノルウェーの住宅価格は2016年12月31日に終了した3年間で28.0%上昇した後、2017年12月に終了した12ヶ月間において2.2%低下した。オスロでは、住宅価格の上昇が特に顕著で、これはノルウェー政府が2017年1月1日付での新たな住宅ローン規制の可決により、住宅ローンの規制を強化したことの主な理由であった。住宅価格の低下は特にオスロにおいて顕著で、2017年度にわたりノルウェー全体の約2倍低下した。2017年4月にピークに達した後、2017年度末現在の住宅価格は、2016年度と比較してオスロにおいて11.5%、ノルウェー全体で6.7%低下した。2017年12月における12ヶ月間の成長率は、ノルウェー全体が-2.1%、オスロが-6.2%であった。低下の傾向が継続すると、ノルウェーでは住宅価格のより大規模な調整が行われる可能性がある。過去数年間にわたり、住宅建設は高水準で推移していた。同時に、人口の増加は以前ほど堅調ではない。これにより、住宅価格の今後の動向及びかかる調整に関する不透明感が増大し、経済情勢の後退及び/又は失業率の上昇と同時に生じる範囲で、ノルウェー経済に重大な悪影響を及ぼし、それにより当行の顧客に、そして当行グループの業績及び財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

ノルウェーの失業率は、欧州において記録的な低水準であった。2008年12月31日現在のノルウェーの失業率は、2.9%であった(労働力調査に基づく。出典：スタティステクス・ノルウェー及びノルウェー中央銀行)。失業者は2014年春から2015年秋にかけて急激に上昇したが、失業率は2016年半ばに5.0%とピークに達して以降、低下してきている。失業率はそれ以降低下しており、スタティステクス・ノルウェーの労働力調査による測定で2017年11月には2.5%となった。労働市場の動向は、石油業界及びより広範なノルウェー経済の後退を反映している。さらに活動が低下すると、失業率の動向にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。

上記のような経済動向の悪化に加え、特に欧州諸国における市場の混乱及び経済情勢の後退は、当行グループの事業に多くの点で影響を及ぼし、かかる動向は、特に当行グループの顧客の収益、財産、流動性、事業及び/又は財政状態に引続き影響を及ぼす可能性があり、その結果、今度は当行グループの(住宅ローンを含む)貸出金ポートフォリオの信用の質が低下し、当行グループの金融商品及び金融サービスへの需要がさらに減少する可能性がある。さらに、市場の混乱が継続し、経済情勢が後退しかつ消費者支出の減少を伴って失業率が上昇する状況において、当行グループの担保付貸出金を担保する資産の価値が大幅に下落し、減損が増加する可能性がある。「 - 当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。」を参照のこと。

上記の状況のいずれか又はすべてが、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性があり、当行グループが実施する措置が信用リスク、市場リスク及び流動性リスクの低減のために十分でない可能性がある。

当行グループの貸出金ポートフォリオに関するリスク

当行グループの事業は、信用リスクの影響を大きく受ける。

当行グループは、信用リスク、すなわち当行グループの借手及びその他の相手方当事者が支払義務を履行できないリスクにさらされている。当行グループの借手若しくは相手方当事者の信用の質の悪化、若しくはノルウェー、米国、欧州若しくは世界の経済情勢全般の悪化又は世界の金融システムのシステミック・リスクに起因する悪化は、当行グループの資産の復元可能性及び価値に影響を及ぼし、当行グループの減損の増加が必要となる可能性がある。当行グループの信用リスクの大幅な高まりは、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。

当行グループは、IFRSに基づき貸出金及び保証に係る減損を計上しているが、減損は利用可能な情報、見積り及び仮定に基づいており、不確実なものであるため、損失が発生した際に実際の損失額を網羅するために十分な金額であるという保証はない。当行グループの減損は、2016年12月31日及び2015年12月31日に終了した年度におけるそれぞれ7,424百万ノルウェー・クローネ及び2,270百万ノルウェー・クローネと比較して、2017年12月31日に終了した年度において合計で2,428百万ノルウェー・クローネとなった。当行グループの借手及び相手方当事者の信用の質の悪化又は担保価値の減少により減損の増加が必要となる可能性があり、その結果当行グループの業績が悪化する可能性がある。

当行グループの法人顧客に対するエクスポージャーは、特に当行グループの市場における現在の経済情勢における信用の質の悪化にさらされている。さらに、実際の貸倒損失及びその他の約定に係る損失は、景気循環にわたり変化する。例えば、当行グループが事業を行う市場の経済の一部が過去3年にわたり悪化しており、これらの市場の一部の借手及び相手方当事者に関連する信用リスクは増大している。当行グループの減損規模又は減損でカバーされない貸出金及び保証の償却の大幅な増加は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

石油関連のエクスポージャー

2017年12月31日現在、当行グループの石油、ガス及びオフショアのポートフォリオは、合わせてデフォルト時エクスポージャー合計の6.0%に相当した。2014年度下半期以降の大幅な石油価格の下落により、このポートフォリオに関連するリスクが高まっている。深海掘削の日量平均は、それ以降下落しており、掘削利用も同様である。全体的な市場のバランスが、今後数年間改善されないリスクがある。掘削活動の低下は、OSV(海洋補給船)への需要の減少にもつながり、係船中の船団が増加している。2016年度における当グループの多額の減損損失は、主に石油関連業界及び海運におけるものであったが、経済情勢がより安定したこと及び以前は償却されていた貸出金及び保証の一部が回収されたことを反映して個別減損損失及び集会的減損損失がいずれも減少したため、2017年度における減損損失は2016年度より少なかった。石油価格の下落は、引続き石油関連業界に影響を与えるとみられ、この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フローに重大な悪影響を及ぼし、石油、ガス及びオフショアの企業の収益性、また結果的にそれらの各企業の信用の質に潜在的に重大な影響を与え、貸出金ポートフォリオに係る当行グループの減損及び/又は損失の大幅な増加につながる可能性がある。当行グループの貸出金及び保証の減損は、2016年度において7.4十億ノルウェー・クローネとなり、2015年度の2.3十億ノルウェー・クローネから大幅に増加した。かかる増加は、主に石油関連のポートフォリオにおいて減損が増加したことによるものであった。2017年度において、正常化した水準に戻った貸出金及び保証に係る減損は、2.4十億ノルウェー・クローネとなった。

海運業界

2017年12月31日現在、海運業界の顧客向貸出金は、デフォルト時エクスポージャー合計の4.7%に相当した。当行グループは、海運業界に対する主要な与信の供給者である。海運業界は、特に国際貿易の成長が推進力である。近年の世界経済の後退は国際貿易にマイナスの影響を及ぼし、その結果海運業界の貨物量及び船舶運賃が大幅に減少し、またこれに付随する海運業界の事業収益も大幅に減少した。タンカー業界、ドライ・バルク業界及びコンテナ業界は、特に運賃への著しい下落圧力の影響を受けた。ドライ・バルク市場及びコンテナ市場における運賃への圧力は大幅に弱まったとみられるが、2017年度において新規船舶が大量に市場に導入されたため、タンカー市場は引続き厳しい状況である。当行グループの海運業界に関する内部の与信分析は、低水準の予想運賃の見積りに基づいているが、DNBグループの海運業界に対する実際の運賃は今までになく不安定で、予想を下回る可能性がある。

経済情勢の悪化が引続き海運業界に影響を及ぼし、その結果この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フロー並びに船舶価値及びこの業界内で貸手に提供される与信の担保となるその他の資産の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。これらの悪影響のいずれかが、海運企業の収益性、また結果的にそれぞれの信用の質に重大な影響を及ぼし、貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損及び損失の大幅な増加につながる可能性がある。

不動産市場

当行グループは、リテール市場及び法人市場の双方に抵当貸付を提供している。歴史的に、金融危機の間、商業用不動産ローンに係る損失は銀行の損失全体で最も大きな割合を占めてきており、ノルウェーの銀行は商業用不動産市場に対し多額のエクスポージャーを有している。2017年12月31日現在、当行グループの不動産(商業用)における貸出金及びコミットメントは、デフォルト時エクスポージャー合計の10.0%に相当する689十億ノルウェー・クローネに達した。さらに、個人に対する貸出金及びコミットメントは、大半が住宅ローン貸付であり、2017年12月31日現在で2,029十億ノルウェー・クローネとなった。したがって、不動産価値のさらなる下落は、より広範な経済動向、与信の利用可能性の減少又はその他の要因によるものであるか否かを問わず、これらの貸出金のための担保価値を大幅に減少させ、経済情勢の後退及び/又は失業率の上昇が伴った場合、当行グループの不動産貸付の質に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。その結果、この部門において貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損が大幅に増加する可能性がある。

相手方当事者の債務不履行が、当行グループに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ブローカー及びディーラー、商業銀行、投資銀行、ファンド並びにその他の機関顧客及び法人顧客を含む金融サービス業界の相手方当事者と日常的に取引を行っている。これらの取引の多くにより、当行グループは、外国為替、金利、コモディティ、株式又はクレジット・デリバティブ契約において、当行グループが相手方当事者に対し未決済の債権を有している場合、相手方当事者が満期到来前に債務不履行に陥るリスクにさらされている。外国為替市場及びフィックス・インカム市場が2007年以降不安定であるため、世界的な金融及び経済危機の前の期間と比較して、このリスクは高水準にとどまっている。このカウンターパーティ・リスクは、当行グループが保有する担保が現金化できないか、又はカウンターパーティ・エクスポージャーの全額を回収するのに不十分な価格でしか清算できない場合にも、悪化する可能性がある。前述のいずれの要因も、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。外国為替レート及びデリバティブ契約を含む金融商品の取引の結果、当行グループは決済リスク及び送金リスクにもさらされている。決済リスクは、相手方当事者の債務不履行により、又は当行グループが取消不能の元本若しくは有価証券の移転指示を出した後かつ対応する支払い若しくは有価証券の受取りが最終的に確認される前に、金融取引契約の元本を失うリスクである。送金リスクは、借手の居住国以外の国からの送金が、当該国の経済情勢及び政治情勢の変化の影響を受けていることに起因するリスクである。

当行グループは、部門別及び個人の借手の与信集中リスクにさらされている。

当行グループは、一部の部門に対し多額の信用エクスポージャーを有している。その最大部門は住宅ローンで、2017年12月31日現在でデフォルト時エクスポージャー合計の45.0%に相当し、次いでこれより小さな程度ではあるものの、商業用不動産(信用エクスポージャー合計の10.0%に相当)、石油、ガス及びオフショア(信用エクスポージャー合計の6.0%に相当)並びに海運(エクスポージャー合計の5.0%)と続く。これらの部門のいずれかの事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの資産の質及び経営成績、財政状態又は見通しに重大な影響を及ぼす可能性がある。2017年12月31日に終了した年度において、当行が計上した石油、ガス及びオフショアのポートフォリオに関連した個別減損及び集合的減損は減少したが、これは主にこれらの業界における経済情勢の好転及び

ポートフォリオにおける業界間の再調整によるものであった。業界間の再調整は継続し、一部の海運、オフショア及び石油関連のエクスポージャーは専用のユニットに移転されたが、これらの業界における好ましい傾向が継続するという保証はなく、かかる戻入が貸出金ポートフォリオの質に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

さらに、当行グループは、一部の個人の借手に対し多額の信用エクスポージャーを有している。これらのうちいずれかの借手の事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

市場エクスポージャーに関するリスク

当行グループの事業は、金利のボラティリティ、並びに当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響する競争環境の変化の影響を受ける。

当行グループは、金利の変動等、銀行業務に特有のリスクにさらされている。金利水準、イールド・カーブ及びスプレッドの変動は、当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、預金に対して支払う金利又はホールセールに係る資金調達コストと、顧客向貸出金及びその他の銀行向けの貸出金に課す金利との間のスプレッドの変動にさらされている。当行グループが預金に対して支払う金利並びに顧客向貸出金及び金融機関向貸出金に課す金利はいずれも、主として変動金利であるか又は変動金利にスワップされるものであるが、当行グループは、その変動金利資産及び負債について金利改定を同時に行うことができず、短期又は長期的に金利改定ギャップが生じるリスクがある。いくつかの預金の適用金利はほぼゼロであるため、将来において、顧客向貸出金の金利低下分の全部又は一部を、預金の金利を同様に引き下げることにより相殺することができない可能性がある。

また、当行グループは顧客預金に関して競争の激化にさらされており、現行の低金利環境も当行グループの預金スプレッドに圧力をかけている。当行グループは、その有利子資産の金利低下に見合う水準へ、(預金に関するか又はホールセール資金調達に関するかを問わず)資金調達コストを削減することができない可能性がある。

金利は、政府及び中央銀行の財政政策及び金融政策並びに国内外の政治情勢等、当行グループの支配の及ばない様々な要因の影響を受ける。金利が上昇した場合、信用への需要が減少し、また当行グループの顧客の債務不履行が増加する可能性がある。逆に、金利水準が低下した場合、当行グループは、とりわけ、預金需要の減少並びに預金受入及び顧客向貸出金における競争の激化により、悪影響を受ける可能性がある。これらの要因に起因して、金利の大幅な変動又はボラティリティは、当行グループの事業、財政状態又は経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、これらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び経営成績に対して与え得る影響について予想することは困難である。当行グループは、金利リスクに対するエクスポージャーを軽減する目的でヘッジ取引を行っているが、すべてのリスクに対するエクスポージャーをヘッジするものではないため、そのヘッジ戦略が成功裡に遂行されるという保証はない。当行グループが預金に対して支払う金利を、貸出金について受け取る市場金利の変動に合わせて調整することができない場合、又は当行グループの監視手続により金利リスクを適切に管理することができない場合、受取利息はあまり増加しないか又は支払利息を下回る可能性があり、その場合、当行グループの経営成績及び財政状態又は見通しに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、為替リスク及び当行グループが事業を行う通貨の切下げ又は下落のリスクにさらされている。

為替レート(特にノルウェー・クローネ/米ドル間及びノルウェー・クローネ/ユーロ間)の変動は、外貨建ての資産及び負債の評価額に影響し、また、外国為替貸出金及び取引による収入に影響を及ぼす可能性がある。2014年度下半期及び2015年度において石油価格が大幅に下落した結果、ノルウェー・クローネは米ドル、ユーロ及びその他

の通貨に対して大幅安となった。2016年度及び2017年度を通じて石油価格はいくぶん上昇したが、ノルウェー・クロネ安は継続した。さらに、英国のEU離脱が協議されている期間には、為替レートは特に不安定になる可能性がある。米ドル/ノルウェー・クロネ間の平均レートは2015年度において8.0739であったが、2016年度には8.3987に上昇し、2017年12月の米ドル/ノルウェー・クロネ間の平均レートは8.2050であった(出典：中央銀行)。ユーロ/ノルウェー・クロネ間のレートは、同期間についてそれぞれ9.2899、8.9530及び9.8403であった(出典：中央銀行)。当行グループの報告通貨は、ノルウェー・クロネである。しかし、その資産及び負債の大部分は、ノルウェー・クロネ以外の通貨建てであるため、換算リスクが生じる。ノルウェー・クロネ以外の通貨による海外支店及び子会社の貸借対照表項目(貨幣性資産及び負債を含む。)については、貸借対照表日の実勢為替レートでノルウェー・クロネに換算され、損益項目については、取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じる純資産の変動は、損益計算書において認識される。当行グループが事業を行う(又は信用エクスポージャーを有する)他通貨の切下げ又は下落により、当行グループは多額の損失を被る可能性がある。さらに、顧客向貸出金が高通貨による場合、当該他通貨に対するノルウェー・クロネの下落により、当行グループの貸出金ポートフォリオは増加し、その結果、リスク加重資産が増加し、自己資本比率に悪影響が及ぶ可能性がある。かかる換算リスクを軽減する目的で、当行グループは、資産の通貨とその調達源泉である負債の通貨をマッチングさせることにより、為替リスクのヘッジを図っている。しかし、かかるヘッジ活動の全部又は一部が有効となるという保証はなく、ヘッジ・カウンターパーティは信用リスクにさらされている。

当行グループは、市場リスクにさらされている。

市場リスクには、通常のトレーディング活動により生じるリスク並びに銀行業務及びその他の営業活動により生じるリスクの両方が含まれる。当行のトレーディング活動には、主にマーケット・メイキング、企業金融の促進及び自己勘定取引が含まれる。銀行業務における市場リスクは、株式投資の運用に関連するリスク及びグループ・トレジャリーから生じるリスクに大別することができる。グループ・トレジャリーは、資金調達活動、流動性管理及び資産負債管理から生じる市場リスクの管理を担っている。最も重要な市場リスク要因は、金利リスク、債券ポートフォリオにおいて生じる信用スプレッド・リスク、及び外貨での資金調達に関連する為替リスクのヘッジにより生じるベース・スワップ・スプレッド・リスクである。当行グループが保有する金融商品(債券(国債、社債及び担保付債券)、株式、各種通貨による現金、プライベート・エクイティ・ファンド、ヘッジ・ファンド及びクレジット・ファンドへの投資、コモディティ並びにデリバティブ(クレジット・デリバティブを含む。)等)の公正価値は、様々な市場変数(金利、信用スプレッド、株価及び為替レート等)のボラティリティ及び相関関係の影響を受ける。変動の激しい市況が持続するか又は繰り返される限り、当行グループの債券ポートフォリオ、デリバティブ・ポートフォリオ及びストラクチャード・クレジット・ポートフォリオ並びに他の種類の資産の公正価値は、予想を超えて下落する可能性があり、その結果として、当行グループは時価評価損を計上することとなる。当行グループが時価評価損の計上又は見積りを既に行った資産について、将来においてその時点の実勢市況を反映した評価が行われた場合、当該資産の公正価値は著しく変動する可能性がある。また、特定の金融商品は公正価値で計上されるが、かかる公正価値は、不確実性が内在する仮定、判断及び見積りを盛り込んだ財務モデルを用いて決定され、時の経過とともに変動するか又は最終的に不正確となる可能性がある。これらの要因が生じた場合、当行グループは追加で時価評価損を認識しなければならない可能性があり、その場合、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。また、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が金融市場の業績に大きく左右されることから、変動の激しい市況によって、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が著しく減少するか又はトレーディング損失が生じる可能性があり、その結果、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響が及ぶ可能性がある。

また、特定の資産クラスについて市況が流動性を欠いたため、当行グループのエクスポージャーの一部については公正価値を見積ることが困難な可能性がある。将来においてその時点の実勢市況を反映した評価が行われた場

合、当行グループのエクスポージャーの公正価値は著しく変動する可能性があり、当行グループが評価損を既に計上した信用市場エクスポージャー等のエクスポージャーについても同様である。さらに、金融商品の価値は、見積り、仮定及び入手可能な情報に基づいているため、不確実性を伴う。その結果、公正価値の見積りは、他の金融機関による見積り及び当該資産について容易に利用可能な市場が存在していたならば使用されたと想定される価値の両方と大きく乖離する可能性がある。したがって、当行グループが最終的に実現する価値は、現行の公正価値又は見積公正価値と大きく乖離する可能性がある。かかる乖離により、当行グループの財政状態及び/又は流動性に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、その資産の一部について市場原理による価格設定のボラティリティに対するエクスポージャーを軽減する目的で、長期借入金に係る金利リスクを管理するために公正価値ヘッジを行う。混乱した市場においては、ヘッジ・カウンターパーティ(クレジット・デリバティブ商品会社等)の信用力の低下も一因となって、ヘッジ戦略及びその他のリスク管理戦略は通常の市況における場合ほど有効ではないことが証明されている。経済情勢及び金融市場の状況が悪化した場合、減損損失及び評価減が生じる可能性があり、また、金融商品について流動性を欠く市況は、スプレッドを拡大させ、金融商品の価格設定に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループがさらされているこれらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び事業運営に対して与え得る影響について予想することは困難である。

流動性及び資金調達に関するリスク

流動性リスクは、当行グループの事業に内在している。かかるリスクは、世界の金融市場の現況により高まる。

当行グループは、その債務を期日に履行するにあたり、許容可能な条件で十分な流動性を確保することに依存している。この流動性リスクは、銀行業務に特有のものであり、ホールセール資金調達への過度の依存を含む、いくつかの企業固有の要因、信用格付の変更又は市場全体の現象(市場の混乱及び大規模災害等)により高まる可能性がある。

当行グループは、その貸出業務を遂行するにあたり、十分な資金調達の確保に依存している。当行の資金調達所要額は、大半の商業銀行と同様に、主として顧客預金により賄われている。預金は、当行グループの支配の及ばない一定の要因(例えば、競争圧力、顧客の信用の喪失、景気全般、金融サービス業界又は特に当行グループに関する預金者の懸念、格付の格下げ、経済情勢の悪化、並びに預金保険(ノルウェー法において、現行では、2百万ノルウェー・クローネを上限として預金に適用されている。)の存在及び範囲)により増減する。ノルウェー政府は、2百万ノルウェー・クローネの上限の維持を目指すと表明しており、この点について依然EUと協議中である。かかる協議を受けて将来的に預金保険の上限が引き下げされた場合、当行を含むノルウェーの銀行業界における預金の利用可能性に悪影響を及ぼす可能性がある。これらの要因が単独で又組み合わせられて生じた場合、将来において許容可能な条件で顧客預金による資金調達を確保する当行グループの能力が低下し、短期間での継続的な預金流出を生じさせる可能性がある(いずれも、当行グループが事業資金を調達しかつ流動性の最低所要額を満たすことができるか否かに影響することがある。)。さらに、当行グループの財政状態に対する不安により預金が引き出される可能性があり、その場合、当行グループは資金不足に陥る。

当行グループの流動性所要額及び資金調達所要額の大部分は、ホールセール貸出市場を継続的に利用すること(カバード・ボンド等の長期債券市場商品の発行を含む。)により賄われている。特に長期の資金調達に関して、これらの資金調達源は、流動性の減少時に制限されることがある。また、金融機関がより大きな流動性リスクに直面しているとの認識が市場参加者間で生じた場合も、当該金融機関に重大な損害が及ぶ可能性がある。

当行グループがその資産を売却又は投資を回収することができない場合、その他現金が流出した場合又はその担保価値が下落した場合にも、当行グループの流動性が損なわれる可能性がある。これらの状況は、当行グループの

支配の及ばない状況(例えば、市場全般の混乱、金融市場における信用喪失、市場参加者の支払能力に関する不安及び憶測、信用格付の格下げ、又は第三者に影響する業務上の問題)に起因して生じることがある。当行グループは流動性リスクの管理に莫大な労力を費やし、短期的には流動性余剰の維持に取り組んでいるものの、当行グループは、流動性不足の一般的なリスクにさらされており、かかるリスクを管理するために実施している手続が流動性リスクの解消に適していると保証することはできない。世界の金融市場及び経済に混乱が生じた場合、当行グループの流動性、並びに特定の取引先及び顧客の当行グループと取引を行う意欲に悪影響が及ぶ可能性があり、さらに、当行グループが想定外の資金調達源の減少又は変動を予測できず、また、それに備えることができない場合、当行グループの事業、経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの資金調達コスト及び債券発行市場へのアクセスは、信用格付に大きく左右される。

当行グループの信用格付は、事業にとって重要である。本書の日付現在、当行は、ムーディーズから「Aa2」(見通し：ネガティブ)、スタンダード＆プアーズから「A+」(ポジティブ)及びDBRSから「AA(下位)」の格付を付与されている。ムーディーズによるネガティブな見通しは、主にノルウェーにおいて実施される予定のBRRDによる格付圧力の可能性を反映しており、これによりムーディーズは政府支援の想定を再評価するとみられるため、当行グループはムーディーズが実施後に「Aa3」に格付を引き下げると見込んでいる。さらに、ネガティブな見通しには石油関連ポートフォリオの困難な状況に関連したDNBの資産のリスク・プロファイルに対するマイナスの圧力の弱まりが反映されている。

また、当行グループの事業は、DNBボーリ・クレジット・エイ・エス(以下「ボーリ・クレジット」という。)の信用格付によっても大きく左右される。2017年12月31日現在、ボーリ・クレジットの発行済カバード・ボンドは、ムーディーズから「Aaa」及びスタンダード＆プアーズから「AAA」の格付を付与された。当行グループ若しくはボーリ・クレジットの財政状態又はムーディーズ及びスタンダード＆プアーズ並びにその他の関連する格付機関が使用する格付方法の変化により、格付機関が当行又は当行若しくはボーリ・クレジットの債券の格付を格下げしないという保証はない。格付機関による当行グループ又はボーリ・クレジットの評価は、金融サービス業一般に影響を与える事象等、当行グループ又はボーリ・クレジットが完全には管理できない多数の要因にも基づいている可能性がある。当行又は当行若しくはボーリ・クレジットの債券の格付の格下げは、当行グループの流動性及び競争上の地位に悪影響を及ぼし、当行グループに対する信頼を揺るがし、当行グループの借入費用を増加させ、当行グループの資本市場へのアクセスを制限し、また、当行グループとの取引を行う意思のある取引先の範囲を限定する可能性がある。かかる事態は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループの事業に関するその他のリスク

当行グループの成功は、顧客基盤をいかに維持できるかに左右される。

当行グループの成功は、いかに顧客基盤を維持し、またいかに顧客が質の高い競争力のある多様な商品(かかる商品は顧客が利用可能なチャネルを通じて販売される。)、及び一貫してレベルの高いサービスを顧客に提供できるかに左右される。当行グループは、業種により異なる様々なニーズへの対応の質を高めるため、ほとんど利用されていない支店を閉鎖する一方で、支店網のセグメント化、特にマーケティング及び販売のネットワークを通じた当グループの子会社の商品及びサービスのクロス販売並びにデジタル上の販売チャネルへの投資により、かかる目的の達成を目指してきた。当行グループが顧客基盤を維持できず又は当行グループの顧客に広範な質の高い競争力のある商品若しくは一貫してレベルの高いサービスを提供できない場合には、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、システミック・リスクにさらされている。

金融機関の間では相互依存の度合いが高いことを考慮すると、当行グループは、他の金融機関の経営及び財務の健全性、すなわち認識可能な健全性の低下のリスクにさらされており、また、さらされ続ける。金融サービス業界では、1社のデフォルトが、他社のデフォルトに繋がりがねない。多数の金融機関の経営及び財務の健全性は、信用、取引、決済又は他の関係性により、密接な関連性を有する可能性があるため、1社についての懸念又はそのデフォルトは、他社の重大な流動性に関する問題、損失又はデフォルトに繋がりがねないのである。取引先の信用度が足りないことが認識されたか、又は取引先について懸念がある場合でさえ、当行グループ又は他の機関の市場規模の流動性に関する問題及び損失又はデフォルトが生じる可能性がある。かかるリスクは、「システミック・リスク」と称されることがあり、日常的に当行グループと関わりのある決済機関、手形交換所、銀行、証券会社及び取引所等の金融仲介機関に悪影響を及ぼす可能性がある。システミック・リスクは、当行グループが新規に資金調達を行う能力、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、オペレーショナル・リスク(ネットワーク障害並びにその他のリスク管理及び内部統制手続の不備又は不完全性を含む。)にさらされる。

当行グループの事業は、いかに極めて大量の取引を効率良く正確に処理できるかに左右される。業務は、多数の事業体及びインターネット・バンキング・プラットフォームを通じて遂行される。顧客は支店営業からモバイル・バンキングを含むインターネット・バンキング・プラットフォームへ移行しているため、インターネット・バンキングは当行グループにとってますます重要になっている。デジタル化が進むにつれ、事業中断及びサイバー犯罪のリスクが増大し、財務的安定性に対する脅威となる可能性がある。

金銭的損害、風評被害、費用並びに財務上の損失及び/又は減損(直接間接を問わない。)を含むオペレーショナル・リスク及び損失は、詐欺又はその他の犯罪行為、従業員による過失、外部に委託したサービスの不履行、顧客、ベンダー、下請業者、提携関係にある会社及びその他の第三者との間の取引若しくは契約に関して適切に文書化できなかったこと、又は適切な承認を取得若しくは維持できなかったこと、適切な認可の取得又は維持ができなかったこと、顧客からの苦情、規制要件(マネー・ロンダリング禁止、データ処理及び反トラストに関する規制、又は業務規則の遂行を含むが、これらに限られない。)を遵守できなかったこと、設備の不備、当行グループの資産(知的財産権及び担保を含む。)を保全できなかったこと、身体及び安全を保護できなかったこと、天災又は外部システム(当行グループのサプライヤー又は取引先のシステムを含む。)の欠陥、当行グループに課された義務の履行懈怠(契約に基づく義務か否かを問わない。)といった内部プロセス、システム(情報技術システム等)又は外部から取得した免許の不完全性又は欠陥といった多様な事由に起因しうる。特に、当行グループ及び顧客は、近年多数の深刻なネットワーク上の問題の影響を受けており、また今後も受け続ける可能性があるが、この問題は当行グループのインターネット・バンキング及び現金払出機の特定の機能に影響を与え、これにより断続的なサービスの障害が生じている。「 - 当行グループは、情報技術システム(かかるシステムは、正常に機能しない可能性があるか、職務に適しない可能性があるか、又はもはや利用できない可能性がある。)にますます左右される。」も参照のこと。

当行グループは、リスク管理及び損失軽減予防を実施し、相当量の資源が効率的な手続の開発及び従業員研修に投入されたものの、オペレーショナル・リスクの管理において十分に効率的な手続を実施することは可能ではない。当行グループが利用するリスク軽減措置の中には過去の情報に基づくものがあり、当行グループの現行方針は、金融危機又はその他の予測不能な状況による影響のすべてに対して包括的には対処できない可能性がある。したがって、将来の展開はこれまでに見られた展開と著しく異なる可能性があるため、かかる手続は将来のリスク・エクスポージャーの予測において不十分であるというリスクが存する。さらに、リスク管理手法は、予測、仮定及び正確でない又は更新されていない可能性のある入手可能な情報に依存する可能性がある。当行グループのオペ

レーショナル・リスクの管理及び統制方針を首尾よく実施できなかった場合、当行グループの財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、情報技術システム(かかるシステムは、正常に機能しない可能性があるか、職務に適しない可能性があるか、又はもはや利用できない可能性がある。)にますます左右される。

銀行及びそれらの事業活動は、高性能の情報通信技術(以下「ICT」という。)システムにますます依存するようになってきており、かかるシステムは、インターネット・ウェブサイト並びにスマートフォンの新アプリケーションの開発及び利用に対する依存度を増してきている。上記のとおり、顧客は支店営業からモバイル・バンキングを含むインターネット・バンキング・プラットフォームへ移行しているため、インターネット・バンキングは当行グループにとってますます重要になっている。ICTシステムは、ソフトウェア又はハードウェアの機能不全、ネットワーク利用の中断、ハッキング、きわめて重要なICTセンターへの物理的損傷及びコンピュータ・ウイルスといった多くの問題に対して脆弱である。さらに、ICTシステムの不安定性又はネットワーク利用の中断といった事象により、当行グループの事業が悪影響を受ける可能性がある。また、一貫性のあるICTアーキテクチャの構築を目的として、当行グループ全体でICTシステムの整合性を図ることが、重大な課題として課されている。

ICTシステムは、変わりゆく事業及び規制要件のニーズを満たし、また、新規市場への参入の可能性、並びに情報通信技術のより一層の利用、開発及びこれへの依存により幅広く対応するため、定期的にアップグレードすることが必要である。当行グループは、適時に必要なアップグレードを実行できない可能性があり、また、アップグレードは計画どおりに機能しない可能性がある。ICTシステムのアップグレードに一般的にかかる費用及びICTシステムの不備又はICTシステムのアップグレードに関連する技術的問題を解決できないことにより発生する可能性がある費用に加えて、当行グループが、ICTシステムのために、適用される銀行業又は報告に関する規則(データ保護に関する規則を含む。)を遵守できなかった場合、銀行規制当局から罰金を課されることもあり得る。

当行グループは、業務目的のバックアップ・システムを維持しているが、そのうちの一つは敷地外のノルウェーに存在する。しかしながら、当行グループが、例えば、ノルウェー国内業務について直近の入力済データの一部を消失するか又は海外業務について大部分を超える部分のデータを消失するといった、情報システムに不備が生じた結果として大惨事となるような事態は限定的である。

当行グループは、ICTシステムの維持及び運用に関して、契約に基づく外注に頼っている。万一、これらの外注先が当該外注契約に基づく義務を履行する意思がないか、又は履行できなかった場合、当行グループは、ICTシステムの重要な機能の危機に直面する。特に、当行グループ及び顧客は、ネットワーク上の問題(かかる問題は、第三者である外注先に関連があり、また、当行グループのインターネット・バンキング及び現金払出機の機能のいくつかに影響を与えており、又は将来影響を与えかねないが、かかる影響のためサービス障害が引き起こされる。)の影響を受けており、また、将来影響を受けることとなる可能性がある。当行グループのICTシステムに対する重大な障害は、上記事態又はその他の事態のいずれに基づくにせよ、当行グループの事業の通常業務、ひいては財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

サイバー犯罪

すべての主要金融機関と同様、当行グループの業務は、トロイの木馬型及びサービス拒否攻撃型のICT犯罪のリスクの増加にさらされており、また、さらされ続けることが予測され、その性質は今なお複雑化し続けている。サイバーセキュリティ・リスクは、当行グループのインターネット・バンクユーザーに最も関係あるものであり、これには部外秘の慎重に扱うべき顧客情報(インターネット・バンキングの資格審査並びに口座及びクレジットカードの情報を含む。)に対して権限なくアクセスが行われる可能性が含まれる。当行グループは、サイバー攻撃からの脅威に対処するために、投資を行っている。しかしながら、かかる投資の一部若しくは全部が成功するか、又は多額の追加費用を要しないという保証はない。当行グループは、セキュリティ上の侵害や、システム及びサー

ビスの想定外の混乱を将来経験する可能性があり、これにより今度は当行グループ、顧客及び/又は第三者に負債又は損失を負わせ、また、当行グループの事業、評判及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ノルウェーの国外市場における事業により、多様なリスクにさらされる。

当行グループのノルウェーの国外市場(ポーランド、バルト海沿岸諸国、インド及び中国等)での事業は、様々な新興国市場のリスク(ノルウェーの国内市場における事業への適用されないか、適用されるとしても低い程度で適用される。)を生じさせている。特に、当行グループは、経済リスク及び政治リスク(政情不安、モラトリアム、為替管理の実施、特定国への制裁、収用、国有化、現契約の再交渉又は解除、ソブリン・デフォルト及び法律又は租税政策の変更だけでなく、経済変動、一時的景気後退、インフレ圧力、為替変動リスク及び事業の中断を含む。)の増加という問題を抱えている。

当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループが事業を行っているノルウェーの国内市場及び海外市場の両方で、すべての業務分野(とりわけ、コーポレート・バンキング及びパーソナル・バンキング、投資銀行及び不動産仲介業務を含む。)において、熾烈な競争に直面している。顧客向け貸付及び預金に関する競争は、顧客による需要、技術進歩、銀行業界における再編の影響、規制措置及びその他の要因により影響を受けている。当行グループの競合他社は、主に商業銀行及び投資銀行である。金融危機が再び起きれば、かかる危機の間、多くの中央政府は、様々な形での支援をその法域で設立された銀行に提供しようと努力するため、さらなる競争上の課題を生じかねない。政府支援及び該当する銀行の財務力のレベルに応じて、かかる支援は、これらの銀行の競争力を強化し、また、当行グループが直面する競争を激化させることがある。ノルウェーの大手銀行が関わった合併買収により、市場シェアの著しい集中が生じており、この傾向は今後も継続する可能性がある。競争は、インターネット・バンキング及び携帯によるテレフォン・バンキング等の販売チャネルのさらなる出現により、より一層激しさを増している。仮に当行グループが競合力のある商品及びサービスを提供できない場合には、当行グループは、新規顧客を開拓し、かつ/又は既存顧客を引き留め、利息収入並びに手数料収入及び/又は市場シェアの減少を経験する可能性があり、このうちの一つでも起きた場合、事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、事業を行う市場において引続き競争力を有する強い立場にあると考えているが、この状況を維持できるという保証はない。

当行グループは、有能な上級経営陣又はその他の重要な従業員を惹きつけ、又は引き留めることができない可能性がある。

当行グループの業績は、相当程度まで、高度な特殊技能を持つ個人の資質及び努力に左右され、また、当行グループが継続的に、競争で優位に立ち、かつ、戦略を遂行できるかは、当行グループが、新入社員を惹きつけ、また、現従業員を引き留め、かつ、その士気を高められるかに左右される。重要な従業員が関わる金融サービス業以外の事業だけでなく、他の金融機関を含む金融サービス業内の競争は、熾烈を極めていく。(特に競合先への移籍により)重要な従業員による役務の提供がなくなるか、又は将来高度な特殊技能を持つ人材を惹きつけ、引き留めることができないか、又は当行グループの経営上の失策(それを認識しているか否かを問わない。)による上級経営陣の刷新の必要性が存在することは、当行グループの事業に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う法律環境及び規制環境に関するリスク

金融サービス業界は自己資本規制を含む厳しい規制に服しており、規制の枠組みに対し主要な変更が加えられている。

当行グループの事業は、現行の規制及びこれに関連するリスクによる影響を受ける。当行グループは、ノルウェー及び当行グループが事業を行うその他の各法域における金融サービスに関する法令(自己資本規制、事業経営、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、報告及びコーポレート・ガバナンスに関するものを含むがこれらに限られない。)、並びに行政処分及び政策に従っている。当行グループは、その支店及び営業所が所在する各国の規制当局の監督にも服しているが、ノルウェー金融監督庁が当行グループの主たる監督当局である。

当行グループは、ノルウェーの法令において施行されているバーゼル 規制(バーゼル の資本フロアに係る移行ルールを含む。)に基づき計算される一定の自己資本比率を維持しなくてはならない。とりわけ貸付先の内部信用格付の引下げ、市場のボラティリティ、信用スプレッドの拡大、為替レートの変動、担保価値の低下又は経済環境のさらなる悪化に起因する当行グループのリスク加重資産の増加は、当行グループの自己資本比率を低下させる潜在的可能性がある。(規制上の資本の枠組みの変更に起因する場合を含め)理由のいかんを問わず、当行グループの自己資本比率が低下するような事態になれば、当行グループは、貸出金若しくは他の事業に対する投資を削減するか、又はより深刻な状況下では追加の資本調達を行わなければならない可能性がある。

金融機関に対する監督及び規制の変更は、特にノルウェーにおいては、当行グループの事業、提供する商品及びサービス又は資産価値に重大な影響を及ぼす可能性がある。規制及び/又は監督の変更若しくは強化が悪影響を及ぼす可能性のある分野には、()投資家の判断に重大な影響を及ぼすか、又は北欧市場及びその他のヨーロッパ市場並びに当行グループが事業を行うその他の市場における事業運営コストを増加させる可能性のある、政府及び規制上の政策若しくは体制に係る全般的な変更、()自己資本規制の枠組みの変更及び負担の重いコンプライアンス義務の強制、()競争環境及び価格環境の変化、()顧客の預金に対する保証の供与及びかかる保証の条件に関する、政府による金融機関の分類、並びに()法的な不確定要因を生じさせ、ひいては当行グループの商品及びサービスに対する需要に影響を及ぼす可能性のある、資産の収用、国有化及び没収並びに外国資本の保有比率に係る法律の改正が含まれるがこれらに限られない。

自己資本規制及び流動性規制

国際的なレベルでは、近年、銀行部門において自己資本要件を引き上げ、資本の量及び質を引き上げ、流動性水準を高めるために、多くの規制及び監督に係る取組みが実施されてきた。かかる取組みには、バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)により提案され、CRD (以下に定義される。)に基づきEUにおいて実施されている多くの具体策がある。

2013年、欧州連合は銀行部門の規制を強化し、バーゼル 協定をEUの法的枠組みにおいて施行するための法案を採択し、その結果自己資本要件が強化された。この法案には、金融機関及び投資会社向けの健全性要件に関する2013年6月27日にEU官報に掲載された2013年6月26日付の欧州議会及び欧州理事会の指令である「CRD 」並びに金融機関及び投資会社向けの健全性要件に関する2013年6月26日付の欧州議会及び欧州理事会の規制第575/2013号である「CRR」が含まれていた。CRD 及びCRRは、まだEEA協定において施行されておらず、これはノルウェーがまだCRD 及びCRRに規定された規則に直接の制約を受けないことを意味している。しかし、ノルウェー当局は、自己資本要件の早期実施を進めている。

銀行の自己資本規制要件は、2つの柱で構成される。第1の柱には、金融機関法に規定される最低自己資本要件が含まれており、それらはEUの法律に基づいている。金融機関法・金融グループ法(2015年4月10日付第17号)(以下「金融機関法」という。)の規定により、銀行はリスク加重資産の少なくとも8%に相当する自己資本を保有しなければならない。そのうち少なくとも4.5%は普通株式等Tier 1資本、かつ少なくとも6%はTier 1資本でなければならない。

これに加え、金融機関法はノルウェーの金融機関が満たさなくてはならない様々な資本バッファ要件を課しており、そのすべてが普通株式等Tier 1で構成されている。2017年12月31日現在、資本バッファ要件は、()リスク加重資産の2.5%の保全バッファ、()リスク加重資産の3%のシステミック・リスク・バッファ及び()リスク加重資産の2%のカウンターシクリカルなバッファで構成されている。ノルウェー当局が0-SIIsに指定した

金融機関(全体としてのDNBグループ及び当行を含む。)は、リスクを軽減するため、リスク加重資産の2%のシステム上重要な金融機関(以下「SIFI」という。)のバッファも満たさなければならない。カウンターシクリカルなバッファ要件は、銀行が信用エクスポージャーを有する国のバッファ・レートの加重平均である。かかるレートは、ノルウェーにおいて2.0%であるが、DNBがエクスポージャーを有している一部の国では、かかる要件を0%と設定している。DNBにとって有効なカウンターシクリカルなバッファ要件は、結果的に約1.6%に減少した。

したがって、2017年12月31日現在、バッファ要件を含む普通株式等Tier 1資本の最低要件は、DNBについてリスク加重資産の13.6%に設定された。

CRD では、規制当局は規制対象の銀行に対し、「第2の柱」自己資本要件とよばれる追加の自己資本を保有するよう要求することができる。ノルウェー金融監督庁の第2の柱要件は、第1の柱要件に加えて、第1の柱でカバーされていないか又は一部しかカバーされていないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件が反映される予定である。ノルウェー金融監督庁の2017年度の監督上の検証・評価プロセスに関連して、当行、当行グループ及びDNBグループの第2の柱要件はリスク加重資産の1.6%に設定されており、普通株式等Tier 1資本で充足しなければならない。そのため、普通株式等Tier 1資本合計の要件は、2016年度末現在で約15.2%であった。2017年3月31日現在、当行、当行グループ及びDNBグループは、これらの要件を遵守している。第2の柱要件は、数々の要素についての任意の時点における監督当局の評価であり、規制対象の金融機関の特定のリスク・プロファイルに対処するため、継続的に上方又は下方に修正される可能性がある。当行、当行グループ及びDNBグループに対する2017年度の監督上の検証・評価プロセスに関するレターにおいて、ノルウェー金融監督庁は、当行、当行グループ及びDNBグループに対し普通株式等Tier 1合計の要件に加え、約1.0%の普通株式等Tier 1バッファを保有することも勧告した。2017年12月31日現在の当行グループの普通株式等Tier 1比率は16.2%、資本比率は20.6%であり、これと比較して2016年12月31日現在はそれぞれ15.7%及び20.0%であった。

バーゼル の枠組みは、レバレッジ比率要件とよばれる(リスク加重されていない)資産合計に基づく自己資本要件についても規定している。2016年12月20日、ノルウェー財務省は、銀行に対する2%の一般的なバッファ要件及びシステム上重要な銀行に対する1%の追加のバッファ要件に加え、銀行、金融企業、金融グループの持株会社及び特定の投資サービスを提供する投資会社に対し、3%のレバレッジ比率の要件を課すことを決議した。レバレッジ比率の要件を遵守しない企業は、必要なレバレッジ比率の引上げに関する予定表を付した計画書を、5営業日以内にノルウェー金融監督庁に提出しなければならない。ノルウェー金融監督庁がかかる計画書が不十分であると判断した場合、当該企業に対し状況を是正するための様々な措置を実施するよう命令することができる。レバレッジ比率の要件について定めた規制は2017年1月1日付で発効し、かかる要件は2017年6月30日から適用される。新たな要件に基づき、DNBエイ・エス・エイ及び(連結ベースでの)当行グループは、6%のレバレッジ比率を保有しなければならない。2017年12月31日現在、DNBグループのレバレッジ比率は7.2%であった。

2017年12月、バーゼル委員会は、とりわけ、銀行により報告された自己資本数値と自己資本要件との間のより一層の整合性を確保するため、自己資本規制の評価に関するバーゼル 基準の一部の変更を採択した。かかる変更には、標準化された手法及びIRB(内部格付)手法の調整並びに新たな資本フロアの導入が含まれる。新たな資本フロアの要件によりリスク加重の差異は減少し、国家を越えて自己資本要件がより調和する。しかし、バーゼル の変更には5年間の段階的導入期間があり、2022年1月1日まで発効が予定されていない。EUは、法律の改正により提言を採択する見込みである。この法律は、EEA協定を通じてノルウェーにおいても適用される。

ノルウェーの法律には、EUの自己資本規制であるCRR及びCRD の要件が完全には反映されていない。2018年4月30日、ノルウェー金融監督庁は、CRR/CRD のノルウェーにおける最終的な実施に関する提案を公表した。かかる提案は、現在公開審議中である。

当行グループの事業の性質及び外部状況は、常に変化している。その結果として、また、変化する規制情勢に確実に適合できるようにするため、当行グループは、将来的に、貸出金若しくはその他の事業に対する投資の削減又は追加の資金調達により、自己資本比率を引き上げなくてはならない可能性がある。かかる資本は、デット・ファ

イナンス、ハイブリッド・キャピタル又は追加資本の形であるかを問わず、魅力的な条件で利用可能とはならないか、又は全く利用できない可能性がある。さらに、将来どのような資本に関する規制要件が課されるかを予想すること又は現在提案されている規制の変更が、当行グループが提供する事業、商品及びサービス並びにそれらの資産価値に与える影響を正確に見積ることは困難である。例えば、金融機関の規制強化への取組みの結果、当行グループの企業が追加の引当金の計上、準備金若しくは資本の強化又は特定の事業へのアプローチの終了若しくは変更を求められた場合、当行グループ及び/又はDNBグループの業績又は財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

ノルウェー財務省は、重要な各通貨(銀行の債務総額の5%超を構成する各通貨)に関する100%のLCR要件を導入した。多額のユーロ又は米ドルを保有する銀行は、すべての通貨の合計に関するLCR要件に加え、ノルウェー・クローネによりLCR要件の最低50%を遵守しなければならない。重要な通貨に関するLCR要件は、2017年9月30日から適用される。その結果として、また、当該規則の変更に確実に適合できるようにするため、当行グループ及びDNBグループは、追加の流動資産を保有しなければならない可能性があり、このことはその業績又は財政状態に悪影響を及ぼす可能性がある。

NSFRもまた、バーゼル の枠組みで提案されている。この調達比率は、長期の安定した調達により資金調達された長期資産の割合を算定するものである。ノルウェーはこれまでのところ、NSFR流動性規則を実施しておらず、NSFRを規定するEUの規則にさらなる進展を待っている。

銀行の清算及び危機管理

2014年7月2日、金融機関及び投資会社の再建と破綻処理のためにEU域内共通の枠組みを構築することを定めた指令2014/59/EUが施行された。BRRDは、該当企業(「該当企業」とは、信用供与機関、投資会社、一定の金融機関及び一定の持株会社をいう。)の破綻が経済及び金融システムに及ぼす影響を最小化しつつ、該当企業の重要な財務上及び経済上の機能が継続することを確保するため、不健全又は破綻している該当企業に十分に早期かつ迅速に介入するための信頼できる一連の手段を当局に与えることを目的として策定されている。

BRRDは、その規定により、2016年1月1日から適用が求められた一般的バйлイン・ツール(以下を参照のこと。)を除き、2015年1月1日からEU加盟国への適用が求められていた。ノルウェーは、1994年1月1日に発効した欧州経済領域に関する協定(以下「EEA協定」という。)において実施されるよりも前にBRRDに直接拘束されることはない。BRRDは、2018年2月9日付でEEA協定において施行された。かかる指令を組み込んだノルウェー法が2018年3月に議会で可決され、2019年1月1日付で発効する予定である。

BRRDには、(a)該当企業が破綻しているか、破綻する可能性があり、(b)民間部門の代替措置がかかる該当企業の破綻を合理的な時間の枠内で防ぐという合理的な見込みがなく、かつ(c)破綻処理が公共の利益になると当該破綻処理当局が判断した場合に、単独で又は組み合わせて使用される以下の4つの破綻処理ツール及び権限が含まれる。

- () 事業の売却 - これにより、破綻処理当局は、商業上の条件で該当企業又はその事業の全部若しくは一部の売却を指示することができる。
- () 承継金融機関 - これにより、破綻処理当局は、該当企業の事業の全部又は一部を(かかる目的のために設立され、完全に又は部分的に公的支配の下にある)「承継金融機関」に移転することができる。これは、該当企業の債務返済能力を制限する可能性がある。
- () 資産の分離 - これにより、破綻処理当局は、最終的な売却又は秩序だった業務縮小を通じて減損した資産又は問題のある資産の価値を最大化する目的で、1つ又は複数の公営資産運用ビークルに管理を委ねるためかかる資産を移転することができる(これは、他の破綻処理ツールとの併用でのみ使用される。)
- () バйлイン - これは、破綻処理当局に、破綻している該当企業の無担保債権者の一定の未償還の債券(日本で発行した社債を含む。)等の有価証券に係る債権を含む場合がある。)を減額する権限及び/又は未償還の

債券等の有価証券を含む一定の無担保債権を資本に転換する権限(以下「一般的ペイルイン・ツール」という。)を付与する。かかる資本もまた、一般的ペイルイン・ツールの将来の適用対象である。

BRRDはまた、上記の破綻処理ツールのみでは財務上の安定性を維持するために不十分である場合、追加の財務安定化ツールを通じて、加盟国が臨時の公的財務支援を提供できると規定している。これは、パブリックエクイティ・サポート及び一時的な公的所有ツールで構成される。かかる臨時の財務支援は、EU加盟国の救済枠組みに基づき提供されなければならない。

認可継続の要件に違反しているか、近い将来に違反する可能性がある場合、資産が負債を下回っているか、近い将来に下回る可能性がある場合、支払期限が到来する債務が支払えないか、近い将来支払えなくなる可能性がある場合、又は(限られた状況を除き、)臨時の公的財務支援を必要とする場合、該当企業は、破綻しているか、破綻する可能性があると思なされる。

一般的ペイルイン・ツールに加え、BRRDは破綻処理当局に対し、実質的な破綻状態において、他の破綻処理措置が採られる前に、(劣後社債及びその他の未償還の債券等の)資本商品を恒久的に債務減額し又は資本へ転換する追加の権限を付与している(以下「実質破綻時損失吸収」という。)。かかる資本への転換に際し劣後社債及びその他の未償還の債券の保有者に対し発行された株式もまた、一般的ペイルイン・ツール又はBRRDに基づくその他の権限の適用対象である。

実質的な破綻状態における損失吸収措置の適用において、BRRDに基づく実質的な破綻状態とは、()該当企業が破綻処理条件を満たしている(が、いかなる破綻処理措置も採られていない)と関係当局が判断した場合、()(劣後社債及びその他の未償還の債券等の)関連資本商品が債務減額若しくは転換されない限り該当企業若しくはそのグループが存続できないと関係当局が判断した場合、又は()該当企業が臨時の公的財政支援を求めている場合(ただし、かかる企業が金融機関の場合、EEA加盟国の経済の深刻な混乱を是正し、金融の安定性を保つための支援を除く。)をいう。

BRRDは、現行のノルウェーの金融法及び金融機関法第21章に規定された支払不能及び行政に関する規制の枠組みからかなり大きく逸脱する形で策定されている。

2017年6月21日、ノルウェー財務省は、預金保険制度指令及びBRRDをノルウェーにおいて施行するための新たな法律を提案した。法案ではノルウェー金融監督庁が破綻処理当局に指定されているが、金融機関が破綻処理の条件を満たすか否かを判断する権限はノルウェー財務省に委ねられている。現在のノルウェーの法律はBRRDと同じ原則の多くに基づいているが、破綻処理ツールとしてのペイルインの導入は、重要な新要素である。ノルウェー銀行法委員会は、(現行の法律並びに金融機関法第21章に規定される支払不能及び行政に関する規制の枠組みの修正を提案する)BRRD実施法案の作成にあたり、BRRDの主要なテーマを強調し、BRRDの実施に向け詳細についてさらなる補足及び規制の可能性があること並びに金融機関法に基づきノルウェー財務省が採択した規制を通じて関連する技術基準が決定される可能性があることを提案した。法案は、2018年3月6日にノルウェー議会において全会一致で可決された。ノルウェー議会の手続に基づき、議会の法案の文言を承認するために2回目の投票が必要となるが、かかる投票日は確定していない。

EUの法律に沿ってノルウェーにおいてBRRDが実施された場合、未償還の債券の保有者は、一般的ペイルイン・ツールの適用に際し、減額又は株式資本への転換に服する場合があります。結果的に、かかる保有者は、かかる債券に対する投資の全部若しくは一部若しくはかかる債券に関する権利及び/若しくは投資の価値を失うか、又は重大な悪影響を被る可能性がある可能性がある。未償還の債券の購入により、かかる債券の保有者(かかる債券の受益権の保有者を含む。)は、かかる債券に基づき生じる債務が関連破綻処理当局によるノルウェー法定損失吸収権限の行使の対象であることを認めかつ受諾し、関連破綻処理当局によるノルウェー法定損失吸収権限の行使の効力に拘束されることを認め、受諾し、同意しかつ合意する。

かかる債券の保有者の未償還の債券(又はかかる債券それぞれの元本発行残高の割合)は交換されなければならない、かかる債券の保有者は、デポジトリ・トラスト・カンパニー(DTC)又はDTCのノミニエー(DTC又はDTCの規則及

び規制に定められる権限において行為するDTCのノミニー)であり、かかる交換の日において、交換の対象となる債券に関する債券の保有者の権利(元本発行残高及び利息の支払いを受ける権利並びに発行会社から普通株式を受領する権利を含む。)は、直ちに取消不能な形で終了し、発行会社は、追加の対価を支払うことなく交換対象の数の普通株式をノミニー(かかるノミニーは、発行会社又は発行会社の関連事業体であってはならない。)に対し発行する。

また、未償還の債券の市場価格は、ノルウェーにおけるBRRDの実施により、及び/又は、かかる実施後、BRRDに基づく当行、当行グループ、DNBグループ及び/若しくはかかる債券に係る権限の現実の若しくは想定される行使により、悪影響を受ける可能性がある。かかる法律に基づき当行、当行グループ又はDNBグループに関し採られる措置もまた、当行が未償還の債券に基づく義務を履行する能力に影響を及ぼす可能性がある。

BRRDに基づき、EUの金融機関に対し、破綻している銀行の救済若しくは破綻処理に充当するために、減額若しくはペイルインの対象として利用できるような一定の最低基準の自己資本及びその他の適格債務の維持を求める規制(MREL)も存在する。かかる規制は、EUにおいて2016年1月1日に(経過規則に従い)施行された。欧州議会及び理事会の指令2014/59/EUを補完する2016年5月23日付規則(EU)2016/1450は、自己資本及び適格債務の最低基準の設定方法に関する基準を定めた規制の技術基準案が記載されている。規制の技術基準は、BRRDに定められたMRELの設定基準を規定することを目的としている。規制の技術基準は、金融機関の自己資本要件を損失吸収及び(必要な場合には)破綻処理後の金融機関の資本構成の変更のために必要なMRELと関連付ける方法を規定している。最後に、規制の技術基準は、システム上重要な金融機関に関して破綻処理当局が、金融機関の自己資金のみで破綻処理を行うことが不可能な場合、破綻処理融資契約を利用できるようにすること、またかかる契約の利用に関しMRELがBRRDに定められた前提条件の充足に十分であるか否かを評価する必要性について検討することを提案している。

ノルウェーでは、ノルウェー財務省がノルウェー金融監督庁に対し2018年11月1日より前にノルウェーのMREL要件を提案するよう求めている。ノルウェー金融監督庁は、かかる提案を夏前に公表する予定である。

金融機関に対する監督及び規制の変更又は今後のその他の変更は、当行グループの事業及び運営、流動性、業績並びに財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、規制当局と密接に連携し、規制の枠組み及びコンプライアンスを継続的に監視しているが、今後の規制の変更の時期及び態様は予測不可能であり、当行グループには管理できない事項である。法令法規が、当行グループの事業、財政状態、業績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼさないような形で採択、施行又は解釈されるという保証はない。

また、債券及び株式への投資家、アナリスト及びその他の市場の専門家が、より高い資本バッファを期待せず、かかる市場の期待が当行グループの借入コストを増加させず、その資本市場へのアクセスを制限せず、又はその格付けの引下げにつながらないという保証はない。

ドッド=フランク法

米国において、2010年米国ドッド=フランク・ウォールストリート改革・消費者保護法(以下「ドッド=フランク法」という。)は、とりわけ、システミック・リスクの監督、銀行の自己資本比率、破綻しているシステム上重要な金融機関の適切な破綻処理及び店頭デリバティブに関する取組みにより、米国外の銀行を含め、金融サービス業界に影響を与える重大な構造改革をもたらした。ドッド=フランク法には、当行及びその世界中の全関係会社を含む銀行業者に対し、ヘッジ・ファンド、プライベート・エクイティ・ファンドその他類似のファンドの自己勘定取引及びそれらに対する投資又は保証の供与を(多くの例外を除き)大幅に禁止する、ボルカー・ルールも含まれる。

財務省、金融安定監督評議会、証券取引委員会、商品先物取引委員会(以下「CFTC」という。)、連邦準備制度理事会、通貨監督庁(以下「OCC」という。)及び連邦預金保険公社(以下「FDIC」という。)が、ドッド=フランク法により義務付けられる広範な規則制定に取り組んでいる。ドッド=フランク法に基づく多くの規則は確定している

か、又は提案済みであるが、ドッド＝フランク法が当行又は金融サービス業会全体に及ぼす可能性のある全般的影響については重大な不確定要因が残存している。

ドッド＝フランク法及び関連規則又はその他新たに施行される法改正が、当行に重大な影響を及ぼさないという保証はない。

最近の市場の混乱に対する政府の対応は不十分であり、予期せぬ結果が生じる可能性がある。

当行グループは、事業を行う国々における最近の市場の混乱に対する政府の対応により悪影響を受ける可能性がある。世界的な金融危機及びその後の政府の介入の結果、財政支出の削減及びさらなる財政緊縮策の強制、並びに金融政策及び金利政策の変更を含め、最近の市場の混乱に対する政策による対応が大幅に増加しており、今後も増加し続ける可能性がある。

当行グループは、政府の政策変更又は税務当局による財政法の解釈変更を制御することはできない。とりわけ、最近の銀行救済策及び緊縮策を含め、経済を刺激し、かつ/又は銀行制度を支援するために、ヨーロッパ諸国の政府により採られている措置は、税負担の増加又は優遇税制措置の縮小につながる可能性がある。ノルウェー又は当行グループが事業を行うその他の国々における政策による対応の重大な変更、又はかかる対応実施の難しさ若しくはかかる対応の影響の種類及び効果毎の難しさは、それぞれに当行グループの事業活動、財政状態及び業績にそれぞれ悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、とりわけ新興国市場における事業運営について、贈収賄、マネー・ロンダリング活動及び制裁措置違反に関するリスクにさらされており、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の遵守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行グループは、腐敗防止、マネー・ロンダリング防止、テロ資金供与防止及び経済制裁に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、贈収賄又はマネー・ロンダリングに関して負う若しくはそれらに利用されるリスクは、世界的に増大している。かかるリスクは、ノルウェー及び当行グループが事業を行っているその他の先進国市場よりも、バルト海沿岸諸国等の新興国市場において高い。新興国市場における従業員の高い離職率、関連する政策及び技術システムを一貫して実施することの難しさ、並びに全般的な事業状況は、マネー・ロンダリングの発生リスクがかかる国々においてより高いことを意味している。マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止規則の遵守の監視は、銀行及びその他の金融機関に対し重大な財務負担及び重大な技術的問題を強いる可能性がある。当行グループは、その現行の方針及び手続きが適用規則及び規制の遵守に十分であると判断しているが、グループ全体で、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続きが、マネー・ロンダリング又はテロ資金供与の事例を防止すると保証することはできない。マネー・ロンダリング防止規則の違反、又はかかる違反の示唆でさえ、当行グループにとり深刻な法的効果及び風評に関わる影響を及ぼす可能性があり、結果として、当行グループの財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、上記の理由により、その新興国市場における事業運営において、増大するコンプライアンス・リスク及びオペレーショナル・リスクにも直面している。

当行グループとその顧客との法的関係は、多数の商業契約のために作成された標準契約及びその書式に基づいている。このため、かかる書類中の条件に関する問題又はかかる書類中の誤記は、多数の顧客契約に影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、多数の顧客との間で契約関係を維持している。当行グループは、多数の事業分野及び部門において、契約及びその書式に関し、一般的な約款及び標準書式を使用している。標準契約及びその書式の使用は、契約数の多さから重大なリスクを包含している。日常的な法改正及び新たな法制上の決定、並びに増大するヨーロッパの法律の国内法に対する影響の結果、当行グループが使用する一般的な約款、標準契約及びその書式のすべて

が、常に適用ある法律上の要件を遵守しているとは限らない。書類作成時の誤謬若しくは解釈上の問題があったり、又は個別の約款若しくは契約につきその全部若しくは一部が無効であるとみなされたりする場合、多数の顧客関係が悪影響を受ける可能性があり、当行グループの財政状態及び業績に悪影響を及ぼす可能性のある、損害賠償請求又はその他の法的効果につながる可能性がある。

当行グループの事業の実施に法的及び規制上の請求が発生する。

通常の業務において、当行グループは規制上の監視及び責任リスクにさらされている。当行グループは、事業を行う各法域の規制に服する。規制及び規制要件は継続的に修正され、当行グループに新たな要件(事業の実施、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、自己資本要件、報告及びコーポレート・ガバナンスについての規制を含むが、これらに限定されない。)が課される。

さらに、銀行業務の一環として、当行グループは顧客に投資アドバイス、その他の投資サービス及び投資商品並びに内部及び外部の運用資金へのアクセスを提供しており、第三者の資金の管理人の役割を果たしている。当行グループの投資アドバイス、その他のサービス若しくは商品又は投資サービスの提供、投資商品の販売若しくはその他に関連した不正行為若しくは違法行為により顧客が損失を被った場合、当行グループの顧客は当行グループに対し補償を要求するか、又は法的措置をとる可能性がある。「第6 - 3 - (1) 訴訟及び規制手続」を参照のこと。場合によって、当グループがかかるリスクに対し直接のエクスポージャーを有していない場合又は顧客に対しかかる相手方当事者を勧めていない場合であっても、当行グループが補償を要求される可能性がある。

当行グループは、事業を行う法域において、様々な訴訟、紛争、法的手続及び政府調査の対象となっている。「第6 - 3 - (1) 訴訟及び規制手続」を参照のこと。かかる訴訟、紛争及び法的手続は多くの不確定要素にさらされており、これらの結果及び最終的な結論は、特に訴訟又は調査の初期段階においては予想が困難であることが多い。これらの種類の訴訟及び手続により、当行グループは、金銭的損害、直接若しくは間接の費用(訴訟費用を含む。)、直接若しくは間接の財務損失、民事上及び刑事上の罰則、許認可若しくは承認の喪失、レピュテーション(評判)の喪失並びに事業に対する規制上の制限の可能性にさらされており、これらのいずれかが当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2016年6月21日、ノルウェー消費者審議会は、DNBエイ・エス・エイの100%子会社であり資産運用サービスを提供するDNBアセット・マネジメント・エイ・エスに対する訴訟手続をオスロ地方裁判所に提起した。ノルウェー消費者審議会は、DNBアセット・マネジメント・エイ・エスが運用する1つのファンド及び当該ファンドに統合された2つのファンドの現在及び過去の投資家180,000名を代理して、最大690百万ノルウェー・クローネの補償を求める集団訴訟を提起している。かかる訴訟では、ファンドが実際は単に指数を追跡しているだけにもかかわらず、積極的な運用のための高額な手数料を課していると主張されている。オスロ地方裁判所は、ノルウェー消費者審議会に、これをDNBアセット・マネジメント・エイ・エスに対する集団訴訟として提起することを許可する決定を下し、DNBアセット・マネジメント・エイ・エスによる控訴裁判所及び最高裁判所への控訴は棄却された。この訴訟の本案についての主たる審理は、オスロ都市裁判で2017年11月20日から3週間にわたり行われた。2018年1月12日、オスロ都市裁判所は、ノルウェー消費者審議会の請求を棄却し、DNBに有利な判決を下した。当該判決は、2018年2月12日に控訴された。消費者審議会はその請求額を約234百万ノルウェー・クローネ減額したが、この訴訟において不利な結果となった場合、DNBは依然として多額の債務(約690,455百万ノルウェー・クローネ)にさらされ、また、その評判が損なわれるおそれがある。

ノルウェー消費者審議会の訴訟は、裁判所による最終判決が下されるまでに相当の時間を要する可能性が高く、DNBグループの潜在的な債務は不確定である。DNBアセット・マネジメント・エイ・エスは、ノルウェー消費者審議会の主張を否定しており、会計上での引当ては行われていない。

EFTA監視機構(ESA)は、スウェーデン企業で電子決済ソリューションのプロバイダーであるトラストリー・グループ・アー・ベーからの、ノルウェーにおける同社のサービス提供能力が阻害されたとする2015年の主張に関連

して、EEA協定の競争規定違反の疑いがあるとして、当行、ノルデア、ファイナンス・ノルウェー及びバンクIDノルゲ・エイ・エスに対し審理を開始した。DNBIは、ESAから情報提供依頼書(RFI)を受領し回答しており、今後の措置(すなわちESAがかかる審理における次の正式手続(異議告知書)に進むか否か)についてESAの決定を待っている。

当行グループは、訴訟、裁判及びその他の手続に関する偶発債務への備えを適切に行っていると考えているが、かかる訴訟、裁判又は手続のいずれかの結果が経営陣の予想と異なり、当行グループは予期しない費用及び損失、評判及びその他財務面以外の影響並びに経営陣の注力の転換にさらされる可能性がある。

上記の要因のいずれか又は金融機関の事業に対するその他の制限若しくは制約は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、税金及び付加価値税に関する法律並びにかかる法律の解釈の変更並びにかかる税率の変更のリスクにさらされている。

当行グループの活動は、事業を行う法域において、現地の法律及び慣行に従って算出される様々な税率の税金及び付加価値税の対象となっている。ノルウェー政府又はその他の政府が、将来、税率若しくは付加価値税率を引き上げるか、又は追加の税金若しくは負担を課した場合、当行グループの収益性が減少する。税金若しくは付加価値税に関する法律の改正又はその解釈の変更及び当行グループと課税当局との間の当該法律の解釈に関する意見の相違は、当行グループの将来の財政状態にも影響を及ぼす可能性がある。税金及び付加価値税に関する法律についての当行グループの解釈が課税当局により異議を呈され場合、かかる変更及び継続中の手続の結果が当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。さらに、かかる税金及び付加価値税に関する法律の変更又は税金及び付加価値税に関する法律の解釈の変更が、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに遡及効を有さないという保証はない。

当行グループは、会計方針又は会計基準の変更並びにかかる方針及び基準の解釈の変更により影響を受ける可能性がある。

国際会計基準審議会(以下「IASB」という。)は、当行グループの財務書類の作成に影響を与える財務会計基準及び財務報告基準を随時変更する。さらに、変更はかかる基準の解釈の変更によりなされる可能性があり、又は当行グループと管轄当局との間でかかる基準の適用に関し意見の相違が生じる可能性がある。これらの変更は予想が困難であり、当行グループの財政状態及び経営成績の計上及び報告の方法に重大な影響を及ぼす可能性がある。場合によって、当行グループは、新たな基準若しくは修正された基準の適用又は現行基準の適用の変更を求められる可能性があり、遡及的に過去期間の財務書類に必要な修正再表示を行う可能性がある。

2014年7月、IASBは、IAS第39号に代わる、金融商品に関する新基準であるIFRS第9号「金融商品」を公表した。IFRS第9号は、2018年1月1日より適用されている。IFRS第9号に基づく減損引当金は、IAS第39号における発生損失モデルに代えて、予想損失モデルを用いて測定されている。IFRS第9号は、当行グループのモデル及びITシステムのさらなる開発を必要とする新たな規則及び概念を導入している。2018年1月1日に計算された実施による影響額は、30億ノルウェー・クローネ(税引前)の増加となり、これには持分法適用投資による影響額が含まれる。これにより普通株式等Tier1資本比率が約25ペーシス・ポイント低下する見込みである。

当行グループの会計方針又は適用ある会計基準のかかる変更は、報告済みの財政状態及び/又は経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

実際に利益相反である事態又は利益相反と解釈される事態により、当行グループがマイナスの影響を受ける可能性がある。

当行グループは事業の範囲及び顧客基盤を拡大しているため、コーポレート・ガバナンス方針をグループ全体で実施し、当行グループによる特定の顧客へのサービス提供若しくは自己勘定投資若しくはその他の利益が、別の顧

客の利益に反するか又は反すると解釈される状況及び当行グループの事業の1つ又は複数が当行グループ内のその他の事業と共有してはならない重要な非公開情報にアクセスする状況を含む、潜在的な利益相反に対処する必要性がますます高まっている。内部の方針違反は発見が困難なこともあり、利益相反の適切な特定及び対処は複雑である。当行グループが利益相反を適切に特定しかつ取り扱うことができないか又はできないように見える場合、当行グループのレピュテーションは損なわれ、利益相反が生じる可能性がある取引を行う顧客の意欲に影響を及ぼす可能性がある。

金融サービス事業には、固有のレピュテーション・リスクが伴う。

当行グループのレピュテーション(評判)は、最も重要な資産の一つである。レピュテーション・リスクは、否定的な世論による利益及び資本に対するリスクを含み、金融サービス事業に固有のリスクである。否定的な世論は、従業員による不正行為、当行グループの構成員による適用ある内部の方針及び規制への違反、当行グループの制御が限られているか若しくは制御できない事業の相手方の活動、深刻な若しくは長引く金融損失、当行グループの財務面の健全性若しくは信頼性(インターネット・バンキングのプラットフォームの信頼性を含む。)の不確実性又は当行グループの事業の遂行を含む、様々な要因が原因となって生じる。否定的な世論は、顧客、預金者及び投資家を維持しかつ惹きつける当行グループの能力並びに規制当局及び一般公衆との関係に悪影響を及ぼす可能性がある。

5【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

6【研究開発活動】

通常の事業活動の一環としてのIT開発を除き、当行グループは研究開発活動を行っていない。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

2017年度の業績

当行グループの2017年度の業績は堅調であった。当期利益は19,813百万ノルウェー・クローネで、堅調な純利息収入並びに貸出金及び保証に係る減損損失の減少により2016年度から1,899百万ノルウェー・クローネ増加した。

普通株式等Tier 1資本比率は、前年度の15.7%から上昇して2017年12月末現在は16.2%であった。

当行グループのレバレッジ比率は6.9%で、前年度の7.1%からわずかに低下したが、依然として最低要件である6%を十分上回っていた。

株主資本利益率は、2016年度の10.3%と比較して10.5%であった。

純利息収入は、長期資金調達費用の減少、貸出高の増加及び貸出金スプレッドの拡大(バルト諸国のポートフォリオを除く。)を反映し、2016年度から1,396百万ノルウェー・クローネ増加した。個人顧客部門及び中小企業部門の貸出高が増加し、大企業・国際顧客部門に対する貸出高は計画的に削減された。

その他の営業収益純額は12,425百万ノルウェー・クローネで、2016年度と比較して2,891百万ノルウェー・クローネ減少した。2016年度において、収益はビザ・ノルゲの保有するビザ・ヨーロッパの持分の売却によるプラスの影響を受け、1,128百万ノルウェー・クローネの利得が生じた。この非経常項目を控除後の営業収益純額は、主にその他Tier 1資本に係る為替変動の影響及び金融市場のボラティリティの低下によるその他の金融商品に係る純利得からのマイナスの影響で、1,763百万ノルウェー・クローネ減少した。

営業費用は、2016年度と比較して1,412百万ノルウェー・クローネ増加した。かかる増加は、主に金融活動税引当金、デジタル化の加速、ITプロジェクト及び非経常効果によるものであった。非経常項目は、のれんの減損、ITシステムに対する付加価値税及び2016年度における年金制度の変更によるものであった。

貸出金及び保証に係る減損損失は、海運セグメント、石油セグメント及びオフショア・セグメントにおける個別減損及び集合的減損の減少により、当年度中に4,996百万ノルウェー・クローネ減少した。集合的減損の減少は、経済情勢の好転及び一部の業界における復調を反映していた。2016年度中の延滞したポートフォリオの売却を除く減損損失は、5,664百万ノルウェー・クローネ減少した。

重要な事象

2017年度第1四半期中、DNBは、モバイル・ウォレットの競争に勝つため、Vippsエイ・エスを別会社として設立することにより、105のノルウェーの貯蓄銀行と提携を結んだ。Vippsエイ・エスの設立により、DNBは2017年度第3四半期に利益を754百万ノルウェー・クローネ増加させる利得を計上した。DNBは、新たな法人(Vippsエイ・エス)の約52%の保有持分を有している。

2017年度末にかけて、Vippsエイ・エスは、ノルウェー市場全体の競合企業との間で販売に関する協力協定を締結し、Vippsエイ・エス、バンクアクセプト・エイ・エス及びバンクIDノルゲ・エイ・エスは、3社を統合する基本合意書に署名した。かかる取引はノルウェー当局の承認待ちであり、新会社は2018年度下半期中に事業を開始する予定である。

DNBとノルデアのバルト諸国事業の会社分割及びルミノール・グループ・エイ・ビーの別会社としての設立は、2017年度第4四半期に完了した。DNBのルミノール・グループ・エイ・ビーにおける保有持分は、約44%である。

6月、DNBは預金口座、エクイティ又は投資信託による貯蓄のための新たなツールである「スパーレ」アプリを開始した。

スタートアップ企業に焦点を当てたDNBの取組みの一環として、クラウドファンディング・サービスの「startskudd.no」が開始された。2016年秋に開催されたNXTカンファレンスの延長として、DNBは、起業家と投資家が出会い、DNBが提供する専門知識及び助言を利用することができる新たなデジタル会議スペースであるNXTコミュニティも立ち上げた。この会議スペースにより、良いビジネスのアイデアがより多く実現されるようにし、また投資家にとっても健全な計画となるようにすることが目的である。

12月、DNBは処理時間が2分未満の新たな住宅ローンのデジタル申込みのオプションを開始した。

当年度中、DNBは、Prospera、Universum及びノルウェーのエシカル銀行ガイド(「エティスク・バンクガイド」)が行った数々の調査で良好な結果を残した。DNBは、CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)の2016年度の報告において、北欧の金融機関として唯一Aスコアを獲得した。

スタンダード&プアーズは、当行の長期債務格付のアウトルックを上方修正したが、これは資本強化に一部起因していた。

12月初め、市場の変化に対応し、当グループの戦略的優先事項を促進するため、DNBのグループ経営陣が再編された。

ノルウェー当局及びノルウェー金融監督庁により、クレジット・カード及び消費者ローンのマーケティングに関する新たな規則が導入された。かかる新規則は、無責任な借入れから消費者を保護することを目的としている。12月末にかけて、ノルウェー財務省は、2017年12月31日から効力を有する銀行に対するカウンターシクリカルなバッファの自己資本要件を1.5%から2%に引き上げた。12月、バーゼル の金融危機後の規制改革の未決定事項が合意に達したと公表された。かかる規制は、各国の間の自己資本要件の差異を限定することにより、銀行の自己資本規制の比較を可能にすることを目的としている。かかる規制は2022年に導入され、2027年まで段階的に適用される。

年次決算の概要

ノルウェー会計法の規定に基づき、取締役会は、財務書類が継続企業の基準で作成されたこと及び継続企業の前提が適用されることを確認している。

ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより承認されている国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。当行の法定財務書類は、ノルウェーのIFRS規制に準拠して作成された。

純利息収入

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 変動 | 2016年度 |
|---------------------------|--------|-------|--------|
| 純利息収入 | 35,914 | 1,396 | 34,517 |
| その他の純利息収入 | | 547 | |
| 長期資金調達費用 | | 485 | |
| 顧客セグメントの貸出高及び預金高 | | 386 | |
| 減損引当金の対象となる貸出金に係る利息収入 | | 174 | |
| 保証金手数料 | | 103 | |
| 顧客セグメントの貸出金スプレッド及び預金スプレッド | | 57 | |
| 償却効果及び手数料 | | 49 | |
| 為替レートの変動 | | (96) | |
| バルト諸国事業の非連結化 | | (309) | |

純利息収入は、2016年度から1,396百万ノルウェー・クローネ増加した。かかる増加は、主に長期資金調達費用の減少及び貸出高の増加(バルト諸国のポートフォリオを除く。)に起因していた。

平均貸出金スプレッドは、2016年度から0.03パーセント・ポイント拡大した一方、預金スプレッドは0.05パーセント・ポイント縮小した。平均貸出金は、13.5十億ノルウェー・クローネ増加した一方、預金の平均残高は2016年度と比較して37.1十億ノルウェー・クローネ増加した。

その他の営業収益純額

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 変動 | 2016年度 |
|-----------------------|--------|---------|--------|
| その他の営業収益純額 | 12,425 | (2,891) | 15,316 |
| 正味手数料 | | 249 | |
| その他の営業収益 | | 23 | |
| 関連会社からの収益 | | (172) | |
| その他Tier 1資本に係る為替変動の影響 | | (811) | |
| その他の金融商品に係る純利得 | | (1,052) | |
| ビザにおける保有持分の売却 | | (1,128) | |

その他の営業収益純額は、2016年度から2,891百万ノルウェー・クローネ減少した。手数料は堅調に増加した。ビザ・ノルウェーの保有するビザ・ヨーロッパの持分の売却からの収益により、2016年度の収益は1,128百万ノルウェー・クローネ増加した。通貨市場、コモディティ市場及び金利市場が不安定だったため、その他の金融商品に係る純利得は2016年度の同期間と比較して1,052百万ノルウェー・クローネのマイナスの影響を受けた。

営業費用合計

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 変動 | 2016年度 |
|---------------------|----------|---------|----------|
| 営業費用合計 | (21,928) | (1,412) | (20,516) |
| バルト諸国事業の非連結化 | | 270 | |
| 旅費 | | (47) | |
| 年金費用 | | (97) | |
| その他の費用 | | (157) | |
| 金融活動税引当金 | | (226) | |
| 給与その他の人件費 | | (246) | |
| (リストラクチャリング費用を除く。) | | | |
| IT費用 | | (406) | |
| リストラクチャリング費用(非経常効果) | | 496 | |
| その他の非経常効果 | | (999) | |

営業費用合計は、2016年度から6.9%増加した。非経常効果を控除後の費用は4.6%の増加であった。かかる増加は、主に2017年度における金融活動税の導入、デジタル化の加速及びその他のITプロジェクトによるものであった。非経常項目は、クレスコのブランドの下でのクレジット・カードの外部販売に関連するのれんの減損、2016年度における年金制度の変更及びITシステムに係る付加価値税である。

貸出金及び保証に係る減損

貸出金及び保証に係る減損は、2017年度には合計2,428百万ノルウェー・クローネとなり、2016年度から4,996百万ノルウェー・クローネ減少し、また2016年度の延滞したポートフォリオの売却を控除後は、5,664百万ノルウェー・クローネの減少であった。

2017年度の減損損失は、主に大企業・国際顧客部門の海運、オフショア及びエネルギーに関連していた。

集合的減損の減少は、主に一部の業界における復調並びに海運、オフショア及びエネルギー業界における経済情勢の好転を反映していた。その他の与信ポートフォリオは依然として質が高く、石油関連業界の厳しい状況はこれらのポートフォリオに重大な波及効果を及ぼさなかった。

延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、2017年12月末現在で17.3十億ノルウェー・クローネとなり、2016年度末現在の25.7十億ノルウェー・クローネから減少した。これは、貸出金ポートフォリオの0.98%に相当し、2016年12月末現在から0.51パーセント・ポイント減少した。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の減少は、大企業・国際顧客部門における海運、オフショア及びエネルギーの情勢の好転を反映していた。

法人税

2017年度における当行グループの税金費用は4,903百万ノルウェー・クローネであり、税引前営業利益の20%であった。税率は、予想税率の22%を下回ったが、これは主に税が免除されるモデルによるエクイティの売却及びノルウェーと米国との間の支払利息の分配に関するノルウェーの課税規則によるものであった。

資金調達、流動性及び貸借対照表

年間を通じて、短期資金調達市場は、全般に健全であった。米国マネー・マーケット・ファンドの新たな規制改革が導入され、2017年度の短期資金調達市場は2016年度と比較して正常化した。短期金利の上昇により物価が当年度中にいくぶん上昇した結果、銀行の短期資金調達費用がわずかに増加した。市場が安定するにしたがい、投資家はより多くの銀行を魅力的とみなすようになった。DNBは、2017年度を通じて短期資金調達を十分に利用することができた。

長期資金調達市場は、2017年度初めにおける大方の予想よりも好調であった。大半の発行体が、欧州における政治選挙の前に市場に参入しようとしたため、第1四半期において市場の活動が最高水準に達した。しかし、長期資金調達市場は2017年度を通じて全般に良好に機能した。カバード・ボンド市場は、欧州中央銀行の資産買入プログラムが依然として優位を占めていた。11月、欧州中央銀行は、資産買入れを段階的に削減すると発表した。より積極的な規模縮小計画が事前に懸念されていたため、市場で好材料と受け止められた。カバード・ボンド及びシニア債の発行総額は、2017年度において2016年度よりいくぶん低下した。特にシニア債は、今後のMREL規制(自己資本及びその他の適格債務の最低基準)に適應するため、大半がいわゆる非優先シニア債に取って代わられた。劣後ローン市場の活動水準は、2016年度より非常に高かったが、これは一部には規制要件に、また一部には発行体にとって好条件の価格によるものであった。DNBは2017年度において長期資金調達を十分に利用でき、カバード・ボンド及び通常のシニア債務の資金調達費用は当年度中にさらに減少した。

当行グループの発行済長期負債証券の額面金額は、2017年12月末現在で598十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して前年度末は581十億ノルウェー・クローネであった。これらの負債証券の満期までの平均残存期間は2017年度末現在で4.0年であり、2016年12月末現在の3.9年から伸長した。

短期流動性要件である流動性カバレッジ比率(LCR)は、年間を通じて安定しており、100%を上回った。2017年12月末現在、LCRは117%であった。

当行グループの貸借対照表上の資産合計は、2017年度末現在2,360十億ノルウェー・クローネであり、前年度末現在は2,349十億ノルウェー・クローネであった。

顧客向貸出金は、2016年12月末から39.1十億ノルウェー・クローネ(2.6%)増加した。顧客預金は、同期間中に34.7十億ノルウェー・クローネ(3.7%)増加した。正味顧客向貸出金に対する顧客預金の比率は、2016年12月末現在の63.4%から1年後には64.0%へと上昇した。目標は、正味顧客向貸出金に対する顧客預金の比率を60%以上とすることである。

リスク及び自己資本規制

組織及び監視

取締役会は、当行グループの資本状況を継続的に監視している。DNBは、リスク管理について、リスク管理方針及びコンプライアンス方針の2つの方針を定めている。かかる方針は、これら2つの分野におけるより詳細なガバナ

ンス原則を定める基準において詳述されている。かかる方針は、当グループ全体のリスク管理及びコンプライアンスの指針として機能し、リスクに対する目標、態度及び取組みについて定めている。

リスク管理及び内部統制

健全なコーポレート・ガバナンスは、DNBの株主のための長期的価値の創造及び事業を長期にわたり持続可能にするために必要不可欠である。当グループは、リスク・プロファイルを低く維持することを目指し、理解及び追跡調査が可能なリスクのみを引き受ける。DNBは、そのレピュテーションを害する可能性のある活動に関わってはならない。コーポレート・ガバナンスは事業運営の枠組みを定めており、DNBが当グループの戦略を遂行し、事業目標を達成することを後押しする。コーポレート・ガバナンスにより、当グループ内のガバナンス及び統制に使用されるプロセスと構造との間の相互作用が可能になる。これらは、取締役会、経営陣及び従業員の行動に関する要件を規定している。DNBの全員が、これらの要件を遵守して行動しなければならない。

2017年度のリスク動向

当行グループは、経済資本を算定することにより、リスクを定量化している。2017年12月に経済資本の算定モデルが変更され、それにより経済資本が約20%減少した。過年度の数値は、新モデルに基づき更新された。経済資本純額は、2016年度末から1.6十億ノルウェー・クローネ減少し、2017年度末現在で52.3十億ノルウェー・クローネとなった。

当行グループの経済資本

| | 2017年 | 2016年 |
|------------------------------|----------|----------|
| (単位：十億ノルウェー・クローネ) | 12月31日現在 | 12月31日現在 |
| 信用リスク | 40.2 | 43.7 |
| 市場リスク | 7.6 | 5.7 |
| オペレーショナル・リスク | 6.6 | 6.7 |
| 事業リスク | 5.6 | 5.2 |
| 経済資本総額 | 60.0 | 61.4 |
| 分散化効果 ¹⁾ | (7.7) | (7.5) |
| 経済資本純額 | 52.3 | 53.9 |
| 経済資本総額の分散化効果比率 ¹⁾ | 12.8 | 12.2 |

(注1)分散化効果とは、想定外の損失が同時に発生する可能性が低い異なる種類のリスクに影響を受ける事業を行うことにより当行グループが得られるリスクの低減効果をいう。

信用リスクに係る経済資本は、2017年度を通じて3.5十億ノルウェー・クローネ減少した。かかる減少は、年間を通じた大企業向けのポートフォリオの積極的なリバランスにより、このポートフォリオにおける与信額がデフォルト時エクスポージャー(EAD)について約107十億ノルウェー・クローネ減少した結果であった。

デフォルト時エクスポージャーの減少の半分弱は、バルト諸国事業の非連結化に起因していた。バルト諸国の子会社は、従前は信用リスク、オペレーショナル・リスク及び事業リスクに含まれていたが、ルミノールの保有持分は市場リスクとして定義される。

当行グループの与信ポートフォリオの質は全般に良好であり、年間を通じて安定していた。オフショア・ポートフォリオは一部で依然として厳しい状況にあるが、このセグメントの顧客は注意深くフォローアップされている。

住宅価格は、年間で2.1%下落した。住宅ローンは、当行グループの貸出金ポートフォリオの約半分に相当する。このポートフォリオの質は高く、貸出金の成長が堅調な期間においても、この数年損失はきわめて低い。当年度中、住宅ローン・ポートフォリオは5.7%増加した。

6月、ノルウェー金融監督庁は、消費者ローンの責任ある貸付慣行に関する新たな指針を発表した。DNBは、当行がかかる指針を遵守するよう必要な措置を講じた。当行グループの無担保消費者ローンのポートフォリオは、2017年度末現在合計で1十億ノルウェー・クローネとなった一方、クレジットカード・ポートフォリオは、引出総額において19十億ノルウェー・クローネ弱であった。

市場リスクの経済資本は、年間で1.9十億ノルウェー・クローネ増加した。ルミノールの保有持分が、かかる増加の主な要因である。

当行の従業員向けの確定給付スキームから確定拠出スキームへの移行により、経済資本は減少した。DNBは、年金が確定拠出スキームに移管された従業員に対する補償スキームを策定することを選択した。その結果、当行グループの年金債務に関連するリスクが依然として存在する。

2017年度における事業リスクの状況は良好であった。損失は安定して低水準であり、リスク選好度の枠組みにおける限度を十分下回った。銀行業界において、機密情報が流出する又は銀行がデジタル攻撃及びデータの破壊行為にさらされるデータ不正のリスクは高い。これまで以上に深刻な脅威のシナリオに対処するため、DNBの情報セキュリティを強化するための措置が確認された。

コンプライアンスにおいて、DNBの主な重点分野は、マネー・ロンダリング防止、プライバシー保護、国際税務報告及び汚職であった。2017年度中、マネー・ロンダリング防止、一般データ保護規則及び汚職防止といった重要なコンプライアンス分野において、すべての従業員を対象とした研修プログラムが実施又は計画された。明確に定

められた役割、高い水準の専門知識及び強固なコンプライアンスの文化は、DNBのコンプライアンスに対する取り組みの重要な要素である。

移行ルールに基づき算出されたリスク加重資産は1,015十億ノルウェー・クローネであり、2016年12月末現在の1,041十億ノルウェー・クローネから減少した。自己資本比率が20.6%であった一方、普通株式等Tier 1資本比率は16.2%であった。

セグメント

DNBの財務ガバナンスは、異なる顧客セグメントに合わせて構成されている。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び当行グループの資源をどこに配分するか決定における重要な側面である。報告数値は、該当するセグメントに対する当行グループの商品及びサービスの売上合計を反映する。

個人顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける2百万名超の個人顧客が含まれる。2017年度における個人顧客部門の収益性は堅調であった。堅調な純利息収入及びリストラクチャリング費用の減少により、税引前営業利益は2016年度と比較して325百万ノルウェー・クローネ増加した。配賦資本に対するリターンは、0.5パーセント・ポイント増加して18.1%となった。

| 損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|------------------------|---------|---------|
| 純利息収入 | 13,336 | 12,758 |
| その他の営業収益純額 | 3,716 | 3,631 |
| 収益合計 | 17,051 | 16,389 |
| 営業費用合計 | (7,731) | (7,980) |
| 減損前の税引前営業利益 | 9,320 | 8,409 |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (207) | 379 |
| 税引前営業利益 | 9,113 | 8,788 |
| 当期利益 | 6,835 | 6,590 |

| 平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ) | | |
|----------------------------|-------|-------|
| 正味顧客向貸出金 | 725.6 | 689.4 |
| 顧客預金 | 402.2 | 400.5 |

| 主要な数値(%) | | |
|--------------|------|------|
| 配賦資本に対するリターン | 18.1 | 17.6 |

純利息収入は、貸出高の増加及び出来高加重スプレッドの0.01パーセント・ポイントの拡大を反映し、2016年度から4.5%増加した。正味顧客向貸出金は良好に推移し、2016年度から2017年度にかけて平均で5.3%増加した。2016年12月の中小企業セグメントへの預金の内部移管を調整後の預金は、同期間中に2.3%の増加となった。

その他の営業収益純額は、2016年度から2.3%増加した。決済サービスからの収益は、2016年度第4四半期に導入されたインターチェンジ手数料規制により減少した一方、支払送金からのその他の収益は、2016年度と同水準であった。当年度中の手動サービスの価格調整は、スカンジナビア航空のユーロボーナス契約及びカードの使用に対する割引に係る費用の増加を補った。居住用不動産の販売数がわずかに減少したにもかかわらず、不動産仲介からの収益水準は維持された。貯蓄に対する注力を強化したことにより、資産運用及び年金商品の販売からの収益が増加した。

費用は2016年度から3.1%減少した。しかし、2016年度の高水準なリストラクチャリング費用を調整後の費用は、3.8%の増加であった。高い活動水準、IT開発の高まり及び金融活動税が増加に寄与した一方、実施されたりストラクチャリング措置により、当年度中の給与費用が減少した。

貸出金に係る正味減損損失は、2016年度及び2017年度ともに低水準であった。住宅ローン・ポートフォリオのリスクは低い。延滞した貸出金のポートフォリオの売却により2016年度において貸出金の正味戻入が生じた一方、2017年度におけるかかる売却の効果はより限定的であった。当年度中の消費者ローンに係る減損損失の水準は安定していた。

一般家庭向貸出金の市場シェアは、2016年12月末現在の25.0%から減少し、2017年12月末現在で24.7%であった。一般家庭貯蓄合計の市場シェアは、31.2%であった。DNBアイエンダムは、当年度中に平均市場シェアを19.7%に伸ばした。

当行グループは、個人顧客部門における継続的な利益の成長の達成を目指しており、商品、サービスのコンセプト及び費用水準を、将来の競争環境に適応させる努力を続けている。顧客は、特に携帯電話でのセルフ・サービスのオプションをますます利用するようになってきている。顧客と銀行とのコミュニケーションも変化しており、DNBを実際に訪れる顧客は減少する一方、チャット・サービスの利用数は伸びている。

当行グループは、顧客のニーズ及び期待に応えるため、商品及びサービスの自動化及びデジタル化に引き続き取り組んでいる。住宅ローンのプロセスの自動化は、銀行にとって画期的なイノベーションである。2017年度、顧客は住宅ローンを自動的に借り替えることができるようになり、10月には、当行グループが完全自動化された申込プロセスを開始し、これにより所定の基準を満たした顧客は、2分以内に拘束力のある事前資格審査レターを受領することができる。かかる住宅ローンのプロセスのデジタル化は2018年度も継続し、住宅ローンの引受けの自動化ソリューションが新規の借手にも適用される。

当行グループの貯蓄状況も、2017年度において堅調であった。重要な要因は「スパーレ」(貯蓄)アプリの開始であり、これにより顧客は、繰延課税による株式及び投資信託の取引口座であり、個人年金貯蓄の新商品である株式貯蓄口座で銀行の貯蓄合計の概要が把握できる。スパーレは、2017年度に250,000回超ダウンロードされ、貯蓄契約の販売の堅調な増加に寄与した。

中小企業部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける中小企業顧客に対する商品販売及びアドバイザリーサービスが含まれる。純利息収入及びその他の営業収益がいずれも堅調に増加したことに加え、減損損失が減少したことにより、税引前営業利益は、2016年度から25.9%も増加した。この部門における配賦資本に対するリターンは16.4%で、2016年度の12.7%から上昇した。

| 損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|------------------------|---------|---------|
| 純利息収入 | 8,578 | 7,941 |
| その他の営業収益純額 | 1,549 | 1,480 |
| 収益合計 | 10,127 | 9,421 |
| 営業費用合計 | (4,106) | (3,876) |
| 減損前の税引前営業利益 | 6,021 | 5,545 |
| 固定資産及び無形資産に係る純利得 | (1) | 2 |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (413) | (1,088) |
| 再取得した業務からの利益 | 14 | 6 |
| 税引前営業利益 | 5,621 | 4,465 |
| 当期利益 | 4,216 | 3,348 |

平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)

| | | |
|----------|-------|-------|
| 正味顧客向貸出金 | 276.8 | 258.2 |
| 顧客預金 | 205.6 | 177.3 |

主要な数値(%)

| | | |
|--------------|------|------|
| 配賦資本に対するリターン | 16.4 | 12.7 |
|--------------|------|------|

正味顧客向貸出金の平均残高は、2016年度から7.2%増加した。2016年度末に個人顧客部門から移管された顧客ポートフォリオを調整後の預金は、同期間中に11.7%増加した。貸出金は、2016年度末から2017年度末にかけて9.5%増加した。貸出高の増加並びに貸出金スプレッド及び預金スプレッドの拡大により、純利息収入は2016年度と比較して8.0%増加した。

その他の営業収益純額は、年金商品の販売の増加及び支払送金からの収益の増加を反映し、2016年度から4.7%増加した。外国為替商品の販売からの収益も2016年度と比較して増加した一方、金利ヘッジ商品及び資本市場における活動からの収益は、前年度からいくぶん減少した。

営業費用は、IT開発費用及びリストラクチャリング費用の増加を反映し、2016年度から6.0%増加した。さらに、金融活動税及び移行スキームによる年金費用の増加により、費用水準が上昇した。

貸出金に係る正味減損損失は、2016年度と比較して大幅に減少した。減損損失は、2017年度において平均正味貸出金の0.15%となり、前年度の0.42%から減少した。2017年度の減損損失は、主に少数のエクスポージャーによるものであり、貸出金ポートフォリオの質は満足できるものであるとみなされている。動向は注意深く監視されており、強固なポートフォリオの質を維持するための予防措置が引続き検討及び実施されている。

当行グループは、今後、中小企業セグメントにおける収益の増加を目指している。顧客としての利用がより容易になり、大規模及び小規模事業のいずれもより良いアドバイザリーサービスを受けられるようになる。これは、物理的チャネル及びデジタル・チャネルの双方において従来の幅広いバンキング・サービスが提供されることを意味する。今後の顧客のニーズ及び期待に応えるため、商品及びサービスの自動化及びデジタル化に大きな重点が置かれている。これと並行して、DNBは会計及び請求書のサービスといった、顧客の日常生活をより便利にするための新たなサービスを開発している。

大企業・国際顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける大企業顧客及びすべての海外の法人顧客が含まれる。2017年10月1日、DNBとノルデアは、バルト諸国における事業を統合し、ルミノール・グループ・エイ・ビーを設立した。バルト諸国における事業は、協力協定が発効するまではこの部門の一部であったため、同日までの数値が反映されている。貸出高の減少により、収益が減少した一方、貸出金に係る減損損失の減少により税引前営業利益は2016年度と比較して増加した。

| 損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|------------------------|---------|---------|
| 純利息収入 | 12,682 | 13,182 |
| その他の営業収益純額 | 4,897 | 5,255 |
| 収益合計 | 17,579 | 18,437 |
| 営業費用合計 | (7,086) | (6,828) |
| 減損前の税引前営業利益 | 10,493 | 11,609 |
| 固定資産及び無形資産に係る純利得 | 20 | 23 |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (1,800) | (6,715) |
| 再取得した業務からの利益 | (19) | 8 |
| 税引前営業利益 | 8,694 | 4,925 |
| 当期利益 | 6,260 | 3,599 |

平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)

| | | |
|----------|-------|-------|
| 正味顧客向貸出金 | 478.8 | 530.5 |
| 顧客預金 | 375.2 | 375.8 |

主要な数値(%)

| | | |
|--------------|-----|-----|
| 配賦資本に対するリターン | 7.7 | 4.3 |
|--------------|-----|-----|

過去2年間の貸出高の動向は、ポートフォリオの再編成並びに海運、石油及びオフショア関連のセグメント内のエクスポージャーの削減を含む業務の再調整措置により影響を受けていた。さらに、自己資本比率を強化するため、当行グループは当年度中に一部のローンを売却し、その他のエクスポージャーに係る保証契約を締結した。

顧客向貸出金の平均残高は、2016年度から9.7%減少した一方、2016年度末から2017年度末にかけて21.3%の減少であった。バルト諸国における事業を調整後は、13.9%の減少であった。預金の平均残高は2016年度から0.2%減少した一方、預金高は2016年度末から2017年度末にかけて14.2%減少した。バルト諸国における事業を調整後の預金は、5.1%の減少であった。

貸出高及び手数料が減少したため、預金スプレッドが拡大したにもかかわらず純利息収入は減少した。出来高加重スプレッドは、2016年度から0.02パーセント・ポイント縮小し、2017年度には1.2%となった。

2016年度と比較して、その他の営業収益純額は6.8%減少した。商品全体の活用を重視したこと及び当行グループの帳簿上の最終的な保有額を減少させる方向へ転換したことにより、債券発行のアレンジ業務からの収益が増加した。リスク加重資産の削減措置に係る費用は、年度末にかけて収益にマイナスの効果をもたらした。

営業費用合計は、2016年度から3.8%増加した。バルト諸国事業を調整後の常勤従業員数は、2016年12月末から51名減少した。かかる減少は、ノルウェー国内外双方の業務で生じた。

貸出金に係る正味減損損失は、2016年度と比較して減少したが、これはポートフォリオの再編成の取組みが成功したことに一部起因していた。2017年度の正味減損は平均貸出金の0.38%に相当し、前年度から0.89パーセント・ポイント減少した。個別減損損失は0.23パーセント・ポイント減少し、2017年度において0.63%となった。経済情勢の好転及びリスクの高い貸出高の減少に加え、ポートフォリオの復調により、2017年度において集合的減損損失の戻入れが生じた。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、前年度末の20.0十億ノルウェー・クローネと比較して2017年12月末現在は11.9十億ノルウェー・クローネとなった。

当行グループは、非常に競争が激しい市場で事業を行っており、銀行向けの異なる自己資本規制は、DNBが直面する困難の一つである。大企業・国際事業分野の主な目的は、収益性を強化し、当行グループの長期的な目標の実現に寄与することである。長期的に収益性を確実に増加させる部門、顧客及び取引に資本及び資源を向けることにより、大企業部門における積極的なポートフォリオ管理を2018年度も継続する。「組成及び分配」のアプローチはポートフォリオにおける出来高を増加させ、当行グループの帳簿上での最終的な保有額を確実に減少させ、付随する収益を増加させる。当行は、引続き優先順位の高い顧客に対する深い専門知識の活用、幅広い商品群及び最新の技術的なソリューションの提供に注力する。主要企業との緊密な関係を通じ、当行グループは、幅広い金融ニーズに対応するため、顧客との対話を始める体制を整えている。これにより、投資銀行、貿易金融、リース、ファクタリング及び確定拠出型年金といった貸付以外の商品による寄与を増加させる基盤が形成される。

トレーディング部門

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む外国為替、債券、エクイティ及びコモディティ商品のマーケット・メイキング及びその他の取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられており、マーケット部門で行われている。

| 損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|------------------------|--------|--------|
| 純利息収入 | (76) | 28 |
| その他の営業収益純額 | 2,453 | 2,976 |
| 収益合計 | 2,377 | 3,004 |

| | | |
|---------|-------|-------|
| 営業費用合計 | (502) | (548) |
| 税引前営業利益 | 1,876 | 2,455 |
| 当期利益 | 1,444 | 1,841 |

主要な数値(%)

| | | |
|--------------|------|------|
| 配賦資本に対するリターン | 21.1 | 25.4 |
|--------------|------|------|

市場のボラティリティが低かったことにより、金融市場の活動及び外国為替取引からの収益が減少した。想定を上回るノルウェー・クローネ安もまた、外国為替からの収益にさらにマイナスの影響を及ぼした。ノルウェーの金利商品の取引からの収益は高水準であった。債券からの収益は、信用スプレッドの縮小によりプラスの影響を受けた。

健全なリスク管理により、引続き高水準のマーケット・メイキング及びその他の取引からの収益を確保した。

第４【設備の状況】

１【設備投資等の概要】

該当事項なし。

２【主要な設備の状況】

該当事項なし。

３【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第５【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

【株式の総数】

(2018年6月20日現在)

| 授權株数(株) | 発行済株式総数(株) | 未発行株式数(株) |
|---------|-------------|-----------|
| 該当なし | 182,556,480 | 該当なし |

ノルウェー法及び当行には、授權資本の概念が存在しない。

【発行済株式】

(2018年6月20日現在)

| 記名・無記名の別及び 額面・無額面の別 | 種類 | 発行数(株) | 上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名 |
|---------------------------|------|-------------|--------------------------------|
| 記名式 額面価額：100ノルウェー・クローネ | 普通株式 | 182,556,480 | 該当なし |
| 計 | - | 182,556,480 | - |

（２）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

（３）【発行済株式総数及び資本金の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高 (株) | 株式資本増減額 (ノルウェー・クローネ) | 株式資本残高 (ノルウェー・クローネ) |
|------------|-------------------|------------------|-------------------------|------------------------|
| 2017年9月30日 | (586,630) | 182,556,480 | (58,663,000) | 18,255,648,000 |

(注) 株主資本は、2017年度第3四半期中におけるVippsエイ・エスの企業分割を受け、58,663,000ノルウェー・クローネから586,630株に分割され削減された。

(4) 【所有者別状況】

当行の株主はDNBエイ・エス・エイのみである。

(5) 【大株主の状況】

当行は、DNBエイ・エス・エイにより100%所有されている。下記の表は、2018年3月31日現在のDNBエイ・エス・エイの上位20位までの株主、かかる各株主により所有されている株式数及び発行済株式総数に対する各株主の所有株式数の割合を示している。

| | 所有株式数(千株) | 持分割合(%) |
|--------------------------|------------------|--------------|
| ノルウェー政府/通商産業省 | 553,792 | 34.3 |
| DNB貯蓄銀行基金 | 130,001 | 8.1 |
| フォルケトリドフォンデト | 95,193 | 5.9 |
| フィデリティ・インターナショナル | 30,411 | 1.9 |
| ブラックロック | 29,592 | 1.8 |
| ヴァンガード・グループ | 28,021 | 1.7 |
| ドイチェ・アセット・マネジメント | 22,332 | 1.4 |
| シュローダー・インベストメント | 20,814 | 1.3 |
| キャピタル・ワールド・インベスターズ | 18,043 | 1.1 |
| ストアブランド・キャピタルフォルバルトニング | 16,704 | 1.0 |
| MFSインベストメント・マネジメント | 15,730 | 1.0 |
| KLP | 14,725 | 0.9 |
| DNBアセット・マネジメント | 13,547 | 0.8 |
| SAFEインベストメント・カンパニー | 13,284 | 0.8 |
| ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ | 12,665 | 0.8 |
| ニュートン・インベストメント・マネジメント | 12,138 | 0.8 |
| ヤヌス・ヘンダーソン・インベスターズ | 11,986 | 0.7 |
| ウェリントン・マネジメント・カンパニー | 11,942 | 0.7 |
| コロンビア・スレッドニードル・インベストメンツ | 11,753 | 0.7 |
| Nordeaファンズ | 10,781 | 0.7 |
| 大株主による所有株式総数 | 1,073,451 | 66.6 |
| その他 | 539,223 | 33.4 |
| 合計 | 1,612,674 | 100.0 |

2【配当政策】

配当政策 DNBグループ

当グループは、2017年度から50%を超える配当性向を目指している。新たな株式買戻しプログラムが2018年4月に年次株主総会で承認され、発行済株式の最大3.5%を占める。金融監督庁は、2018年6月5日に初の株式買戻しプログラムからの株主資本の減資を認可した。

利益の配分 当行グループ

2017年度の当行の当期利益は、2016年度の14,789百万ノルウェー・クローネと比較して、18,910百万ノルウェー・クローネであった。

取締役会は、当行からDNBエイ・エス・エイに対して14,933百万ノルウェー・クローネの配当及び871百万ノルウェー・クローネ(税引後)のグループ寄与をすることを提案し、総額は15,804百万ノルウェー・クローネとなった。取締役会はまた、12,600百万ノルウェー・クローネ(税引後)に相当する16,800百万ノルウェー・クローネ(税引前)のグループ寄与を、DNBボーリ・クレジット・エイ・エスに割り当てることを提案する。同時に、当行はDNBボーリ・クレジット・エイ・エスから14,900百万ノルウェー・クローネのグループ寄与を受領する。したがって当行は、2,300百万ノルウェー・クローネのグループ寄与純額をDNBボーリクレジット・エイ・エスから受領する。さらに、25百万ノルウェー・クローネ(税引前)に相当する19百万ノルウェー・クローネのグループ寄与がIOSテュービュラ・マネジメント・エイ・エスに割り当てられる。

2017年12月31日現在、当行グループの自己資本比率は20.6%であり、普通株式等Tier 1資本比率は16.2%であった。これに対し、当行の自己資本比率は23.0%であり、普通株式等Tier 1資本比率は17.7%であった。

3【株価の推移】

該当事項なし。

4【役員の状況】

取締役会

責務及び組織

取締役会は、当行の事業に関する計画及び予算を設定し、当行の財政状態についての情報を常に入手し、かつ当行の事業、会計並びに資産及び負債の運用が十分な管理の対象となるようにする。上記の責務を遂行するため、取締役会は必要と考える場合に調査を行わなければならない。また、当行及びその業務全般の日々の運営も監督しなければならない。当行の定款に従い、取締役会は、最大4名の取締役で構成されなければならない。そのうち3名は株主により選任され、そのうち2名は従業員代表である。さらに、従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命する権利を有する。取締役会の構成員は、最長2年の任期で選出される。取締役会の会長及び副会長は、最長2年を任期として年次株主総会により個別に選任される。現会長はウーラグ・スヴァルヴァ、現副会長はグロ・バクスタッドである。2018年4月の年次株主総会において、ウーラグ・スヴァルヴァは、10年間会長の地位に就いたアンネ・カリーネ・タヌムの後任として、当行の取締役会の会長を引き継いだ。2017年度において取締役会に支払われた報酬総額は、1,438,116ノルウェー・クローネであった。

当行の取締役会の構成は、以下のとおりである。

本書の日付現在、当行の取締役会は4名で構成され、女性の割合は75%である。

| 名前 | 職務上の住所 | 役職 | 任期 | 2017年度の報酬 |
|-----------------|--------------------------------------|-----|-------|-------------------------|
| ウーラグ・スヴァルヴァ(女性) | ノルウェー王国 オスロ市 NO-0021 セントラム 私書箱1600 | 会長 | 2019年 | - |
| グロ・バクスタッド(女性) | ノルウェー王国 オスロ市 NO-0021 | 副会長 | 2019年 | 225,000 ノルウェー・クローネ |
| リリアン・ハットレム(女性) | ランガス2 1405 オデガルドスヴィンゲン | 取締役 | 2017年 | 1,023,000 ノルウェー・クローネ |
| キム・ワール(男性) | オスロ市 0111 ヴィカ 私書箱1273 オラフ フスガテ 5(9階) | 取締役 | 2017年 | 327,000 ノルウェー・クローネ |

当行は、上記の表に記載されている者の当行以外での主要な活動は、当行にとって重要なものであるとは考えていない。

当行はDNBエイ・エス・エイの100%子会社であるため、当行の取締役会の構成員はいずれも当行の株式を保有していない。

株主により選任されたメンバー

ウーラグ・スヴァルヴァ女史(1957年生まれ)は、デンバー大学で経営管理学の修士号を取得している。2006年から2018年まで同女史はフォルケトリドフォンデトの最高経営責任者を務めていた。同女史はスパーレバンク1グルッペンにおいて資産管理の経験があり、カーネギー及びDNBにおいて金融アナリストとしての経験がある。

スヴァルヴァ女史は、経営者団体であるスペクテ、オスロ証券取引所及びノルウェーの経営者機関の取締役を以前務めたことがあり、テレノール、ヴァイデッケ、ストアブランド及びヤラの各選任委員会の構成員並びにスタトイルの選任委員会の会長を務めている。同女史はまた、テレノール、スタトイル及びオルクラのコーポレート集会での経験を有している。

グロ・バクスタッド女史(1966年生まれ)は、ノルウェー経済大学を卒業した国家資格を有する公認会計士であり、財務報告、ファイナンス及び戦略立案における幅広い経験を有している。同女史は、現在ポステン・ノルゲ・エイ・エスの郵便部門のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであり、以前は同社の最高財務責任者を務めていた。また、バクスタッド女史は、非公開会社及び上場会社双方の取締役も務めている。

キム・ワール氏(1960年生まれ)は、未公開株式投資会社ストロムスタンゲン・エイ・エスの取締役会会長であり、同社の経営者である。同氏は創設者の一人であり、20年にわたって欧州の株式投資会社であるIKインベストメント・パートナーズのパートナーであった。ワール氏はまた、ロンドン及びニューヨークにおいて、米国の投資銀行であるゴールドマン・サックスでの経験も有している。

ワール氏は、異なる支店においていくつかの取締役会の構成員であった。同氏は、2008年に設立された基金であるヴォクストラの取締役会会長である。ヴォクストラは、東アフリカにおいて地域への投資を行い、地域開発を支援している。同氏はまた、UPMキミン・コーポレーション、インターメディエイト・キャピタル・グループ・ピーエルシー及びカヴリフォンデットの取締役でもある。ワール氏は、ハーバード大学でMBAを取得している。

リリアン・クリスチャン・ハットレム女史(1972年生まれ)は、BIの経済学、会計学及びプロジェクト・マネジメントの学位を取得している。同女史は、1999年にスパーレバンケンNORのリテール・マーケット部門に顧客担当として入社し、2003年以降は常勤の管財人を務めている。2006年以降、同女史はDNBの組合代表を務めている。

グループ経営陣

最近の変更

2016年1月1日から、ノルウェーにおいて金融機関に関する新規制であり、とりわけ統治機関の変更を示唆する金融機関・金融グループ法が施行された。かかる規制に基づき、監督委員会及び管理委員会は廃止された。管理委員会の任務は内部監査機関及びその他の統治機関に移管された。監督委員会に替わる機関として、新規制ではコーポレート集会を設置する可能性が提供されている。コーポレート集会の設置の要否は、経営陣と従業員がともに決定する。DNBは、コーポレート集会を設置しないことを決定した。

新規制では、取締役会及びその構成員数に関する変更も示唆されている。法律の改正を受けて、DNB エイ・エス・エイの取締役会は、当行の取締役の人数を4名(そのうち1名は従業員代表)に削減することを決定した。さらに、DNB エイ・エス・エイの取締役会の構成員数は7名に削減され、そのうち5名は株主代表、2名は従業員代表である。

2015年12月31日まで、DNBグループ及び当行グループは、管理委員会及び監督委員会をいずれも設置していた。管理委員会の主な任務は、当行の活動がすべての適用ある法律、規制及び許認可並びに当行の定款及び当行の意思決定機関が採択した決議を確実に遵守するよう監視することであった。監督委員会の主な任務は、当行の取締役会及び最高経営責任者の管理を監督することであった。

責任及び組織

当行の経営管理チームは、13名で構成される。最高経営責任者は、取締役会の会議において選任され、当行の日々の経営について責任を負う。当行の経営に対する責任は、事業部門毎に割り当てられている。以下の表は、経営管理チームの各構成員について、氏名、現在の役職、任命年度及び職務上の住所を示している。

| 名前 | 役職 | 任命年度 | 当行グループに おける職務 |
|-------------------------|--------------------------------|-------|---------------------|
| ルネ・ビエルク | グループ最高経営責任者 | 2007年 | グループ 最高経営責任者 |
| シェルスティン・ブローテン | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | グループ 最高財務責任者 |
| イングヤルド・ブリアケリ・ スピーテン | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2018年 | パーソナル・バンキング部門部長 |
| オッター・エルツァイド | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2003年 | マーケティング部門部長 |
| ハラルド・サーク ハンセン | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2013年 | 大企業・国際部門部長 |
| ソルヴァイ・ヘレブスト | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | 人事部門部長 |
| ホーコン・ハンセン | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント代理 | 2018年 | ウェルス・マネジメント及び保険部門部長 |
| ラスムス・フィジェンシュトゥ | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | ニュービジネス部門部長 |
| トマス・ミドテイド | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | メディア・マーケティング部門部長 |
| ミレラ・E・ワシルク | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2018年 | コンプライアンス部門部長 |
| ベネディクト・シルブレッド・ ファスマー | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2016年 | コーポレート・バンキング部門部長 |
| アルフ・ザーズダッド | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | IT部門部長 |
| イダ・ラーナー | グループ・エグゼクティブ ・ヴァイス・プレジデント | 2017年 | リスク・マネジメント部門部長 |

当行の経営管理チームの各構成員の職務上の住所は、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30、DNBエイ・エス・エイである。

グループ経営陣には、固定の任期はない。

当行の経営陣の略歴

以下は、関連する経営陣としての専門知識及び経験並びに過去5年間に於いて当行の経営陣が運営、経営若しくは監督の機関若しくはパートナーの構成員であるか又は構成員であった企業及びパートナーシップの名称を含む、当行の経営陣の略歴である(当行の子会社における取締役及び経営陣の役職は含まない。)。

ルネ・ビェルク グループ最高経営責任者(1960年生まれ)

ビェルク氏は、2007年からグループ最高経営責任者を務めている。

ビェルク氏は、ハフスルンド・エイ・エス・エイの元社長兼最高経営責任者であり、またスキャンセム・インターナショナルの社長兼最高経営責任者を務めていた。同氏は、再生可能エネルギー株式会社、ストアブランド、スタトオイル及びノルウェー金融サービス協会を含む大企業において取締役職を歴任した。同氏は、オスロ市議会の財務理事及びノルウェーの石油エネルギー省の政務アドバイザーを務めた。

ビェルク氏は、オスロ大学から経済学学位及びハーバード大学から行政学修士号を取得している。

ハラルド・サーク-ハンセン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 大企業・国際部門(1965年生まれ)

サーク-ハンセン氏は、2013年から大企業・国際部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

サーク-ハンセン氏は、海運・オフショア・物流部門(以下「SOL部門」という。)の元部長であり、1998年にDNBに入社した。同氏は、これまでストルト-ニールセン・海運及びオドフェル・グループにおける経験を有している。

サーク-ハンセン氏は、スターリング大学から経営学の学位(優等学位)を取得し、またINSEADフロンティアブローの上級経営プログラムを修了している。

オッター・エルツァイド グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント DNBマーケティング部門(1965年生まれ)

エルツァイド氏は、2003年からマーケティング部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

エルツァイド氏は、DNBマーケティング部門の元部長及び元副部長であった。同氏は、為替/財務の分野で様々な役職を歴任していた。同氏は、DNBボーリ・クレジットの元最高財務責任者であり、リアル・クレジットの財務部長を務めた。1989年にDNBに入社した。

エルツァイド氏は、ノルウェー銀行保証基金の議長、ノルウェー投資家補償制度の副議長、オスロ証券取引所グループ及びオスロ証券取引所の取締役等を務めている。

エルツァイド氏は、BI ノルウェー・ビジネス・スクールを卒業している。

ソルヴァイ・ヘレブスト グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 人事部門(1967年生まれ)

ヘレブスト女史は、2017年から人事部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ヘレブスト女史は、人事部門の元グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであり、2009年にDNBに入社した。同女史は、プロノバ・バイオフィーマ・エイ・エス・エイの人事・広報部門の元ヴァイス・プレジデントであった。同女史は、テレノールの人事部門及びBI ノルウェー・ビジネス・スクールで経済学准教授として数年間の経験を有する。

ヘレブスト女史は、ノルウェー生命科学大学から国際経済学博士号を、イリノイ大学から農業経済学修士号(マスター・オブ・サイエンス)を、BI ノルウェー・ビジネス・スクールから経営学及び経済学の修士号(マスター・オブ・サイエンス)を取得している。

インギヤルド・ブリアケリ・スピーテン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント パーソナル・バンキング部門(1971年生まれ)

スピーテン女史は、2018年1月からパーソナル・バンキング部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

スピーテン女史は、テレノールのSVPグローバル・プロダクト部門に配属されていた。同女史は、これまでマイクロソフトの最高執行責任者を務めていた。DNBにおいては8年間勤務しており、直近ではeビジネス部門の部長を務めている。同女史は、ポイオ・エイ・エスの元オーナー及び戦略アドバイザーであった。同女史は、取締役の地位を歴任している。

スピーテン女史は、BIノルウェー・ビジネス・スクールを卒業している。

シェルスティン・ブローテン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 最高財務責任者(1970年生まれ)

ブローテン女史は、2017年3月から最高財務責任者を務めている。

ブローテン女史は、コーポレート・バンキング・ノルウェー部の元グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであった。同女史は、オスロのSOL部門において長年の経験を有している。1999年にDNBに入社した。同女史は、これまでハイドロ・アグリ・インターナショナルにおける職務経験を有している。

ブローテン女史は、ニース・ソフィア・アンティポリス高等商業学校から経営学の修士号を取得している。

トマス・ミドテイド グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント メディア・マーケティング部門(1974年生まれ)

ミドテイド氏は、2017年からメディア・マーケティング部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ミドテイド氏は、コーポレート・コミュニケーション及びマーケティング部門の元グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント並びに外部コミュニケーション部門の元エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであった。2009年にDNBに入社した。同氏は、これまでスカンジナビア航空のコミュニケーション部門の部長、VISAノルウェーのコミュニケーション責任者、またノルウェー放送協会(NRK)のテレビ・レポーター兼プレゼンターとして勤務していた。

ミドテイド氏は、オスロ・ユニバーシティ・カレッジでジャーナリストの学位を取得している。また、オスロ大学で政治学及び犯罪学を副専攻していた。

ベネディクト・シルブレッド・ファスマー グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント コーポレート・バンキング部(1965年生まれ)

ファスマー女史は、2016年9月からコーポレート・バンキング部のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ファスマー女史は、ベルゲンにおけるDNBの事業の元責任者であり、ノルウェー西部におけるコーポレート・バンキング部の元部長である。2005年にDNBに入社した。同女史は、これまでスパーレバンケン・ヴェスト、リエベール・アンド・サン、アルゲンタム・アセット・マネジメント及びシティバンクにおいて重役の地位を歴任している。オスロ証券取引所グループ及びオスロ証券取引所の取締役会会長を務めている。同女史は、長年にわたり様々な業界で取締役の地位を歴任している。

ファスマー女史は、ノルウェー経済大学を卒業した。

ホーコン・ハンセン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント代理 ウェルス・マネジメント及び保険部門(1966年生まれ)

ハンセン氏は、プライベート・バンキング部門の部長及びDNBルクセンブルグの元責任者を10年間務めた。同氏は、1987年に当時スパーレバンケン・ブスケルーと呼ばれ、またその後スパーレバンケンNORに名称を変更したDNBに入社した。

ハンセン氏は、BIノルウェー・ビジネス・スクールを卒業している。

ラスムス・フィジェンシュトゥ グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント ニュービジネス部門
(1979年生まれ)

フィジェンシュトゥ氏は、2017年からニュービジネス部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

フィジェンシュトゥ氏は、戦略及び経営企画の元責任者であり、ローガラン県及びアグデル県に関する部門の部門長を務めていた。同氏は、エストニア、タリンにあるDNBの事務所においてマネジメントの経験を有する。シンガポール及びニューヨークにて一定期間就労し、2005年にDNBに入社した。同氏は、これまでシモンズ・アンド・カンパニー・インターナショナルのアナリストとしての経験を有している。

フィジェンシュトゥ氏は、スイスの国際経営開発研究所から経営学修士号を、マサチューセッツ州メドフォードにあるリベラル・アーツ・カレッジのタフツ大学から経済学の文学士号を取得している。

イダ・ラーナー グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント リスク・マネジメント部門(1975年生まれ)

ラーナー女史は、2017年からリスク・マネジメント部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ラーナー女史は、ロンドンのDNB CEMEAの元責任者であり、北欧、中東及びアフリカの顧客分析部門の部門長を務めていた。2007年にDNBに入社した。同女史は、これまでHSBC及びノルデア銀行で勤務していた。

ラーナー女史は、ストックホルム大学から文学士号を取得している。

ミレラ・E・ワシルク グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント コンプライアンス部門(1969年生まれ)

ワシルク女史は、2018年からコンプライアンス部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ワシルク女史は、財務大臣としての経験を有している。同女史は、これまでバイエルン州立銀行及びノルウェー証券保管振替機構での勤務経験を有している。

ワシルク女史は、ドイツのケルン大学から経済学の学位を、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスから理学修士号を取得している。

アルフ・ザーズダッド グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント IT部門(1965年生まれ)

ザーズダッド氏は、2017年からIT部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ザーズダッド氏は、2014年からITOPカスタマー・ソリューション部のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。同氏は、これまでカスタマー・ソリューション部のITOP関係・要求仕様部門マネジャーを務めた経験を有している。2013年にDNBに入社した。IT分野においては幅広い経験を有しており、特にITプログラム及びプロジェクト・マネジメントに関する経験が豊富である。同氏はまた、コンサルタント会社での勤務経験及び自身の会社におけるコンサルティング活動の経験も有している。

ザーズダッド氏は、イングランドのマンチェスター工科大学(UMIST)をITエンジニアとして卒業した。

当行グループのいずれの会社も、取締役会又は当行グループの従業員にとって通常の条件ではない当行の経営陣のいかなる構成員に対しても貸付又は有価証券の発行を行っていない。

当行グループは、上記「取締役会」、「当行の経営陣」の項目に挙げた各関係者の当行グループに対する義務と、それぞれの私益やその他の義務との間のいかなる利益相反の可能性も認識していない。

5【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンス

2017年度中、当行の取締役会は数回開催された。当行グループの資本増強及び金融サービス業界における外部パラメータの変動に関する議題に加え、当行グループの戦略、金融発展及びリスク管理に関する議題が主要議題であった。

DNBエイ・エス・エイの取締役会の分科委員会である監査委員会及びリスク管理委員会は、当行及び当行グループの年次決算及び報告書を審査した。

取締役に対する報酬に関する詳細は、下記「第6 - 1 - (1) 2017年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注46」を参照のこと。

取締役会委員会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、監査委員会、リスク管理委員会及び報酬委員会を設置した。当行グループの事業は、これらの委員会により管轄される。

監査委員会

監査委員会は、とりわけ当行の財務報告プロセスの監視、当行の取締役会、最高経営責任者及び当行の経営陣により設立された内部統制体制及びリスク管理体制の有効性の監視、並びに当行の内部監査機能の効率性の監視により、当行の取締役会の監督責任の遂行を補佐する。さらに、監査委員会は、年次連結財務書類の法定監査の把握、外部監査役の公平性及び独立性の審査及び監視、並びにとりわけ追加的業務の提供について責任を有する。また、監査委員会は、当行の内部監査機能に関する指導及び評価についても責任を有する。現在の監査委員会の委員は、トーレ・オラフ・リメレイド、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。最高経営責任者及び監査執行役員は会合に出席し、議論に参加する権利を有するが、議決権は有しない。監査委員会の委員は、当行、当行の上級経営陣及び当行の主要株主から独立している。

リスク管理委員会

リスク管理委員会は、当行の内部統制体制及びリスク管理体制並びに内部監査を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、当行の現在及び将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当行のリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク並びにコンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク、並びに当行におけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会による、当行のリスクの監視及び管理(経営陣によるリスク報告の審査及び評価を含む。)を補佐する。同委員会は、特に、自己資本構成(ICAAP)、リスク調整後(所要)自己資本及びリスク調整後利益の算定モデルの大幅な変更、並びにリスク限度枠及びリスク戦略の監視に重点を置いている。同委員会は、取締役会により選任された4名の委員から成り、その任期は最長で2年である。現在のリスク管理委員会の委員は、トーレ・オラフ・リメレイド、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。

報酬委員会

報酬委員会は、報酬に関する問題について取締役会に対する提案の作成及び提示に責任を負う。かかる提案を作成する際、報酬委員会は、当グループの株主、投資家及びその他の利害関係者の長期的な利益を考慮する。報酬委員会の職務には、当行の報酬方針並びに年次株主総会で決定される執行役員の報酬の基本的な指示及び指針に関する提案の作成が含まれる。さらに、報酬委員会は最高経営責任者、当行のその他の経営陣及び監査執行役員の報酬に関する提案を作成し、また最高経営責任者による提案に基づき、グループ・コンプライアンス・オフィサー及びグループ与信管理部門部長の報酬に関する提案を作成する。報酬委員会は、当行の報酬方針及び基本的な指示の適用について、グループ内部監査役による独立した審査並びに適切なグループ管理機能が参加する当行の報酬方針及び報酬制度の評価を通じて、少なくとも年1回追跡調査を行う。報酬委員会はまた、当行の経営陣の変動報酬プログラムについて及び執行役員の報酬に関する指針の適用について、毎年監視し、評価しかつ取締役会に報告する義務も負う。取締役会の要請により、報酬委員会はまた、取締役会が検討するためのその他の議題についても準備する。現在の報酬委員会の委員は、アンネ・カリーネ・タヌム、トーレ・オラフ・リメレイド、ビグジス・マーティンセン及びベーリット・スヴェンセンである。最高経営責任者は会合に出席するが、議決権は有しない。さらに、最高経営責任者は、自身の雇用条件の検討には参加しない。報酬委員会の委員は、当行及び当行の上級経営陣から独立している。すべての委員は、当行の主要株主から独立している。

(2) 【監査報酬の内容等】

下記「第6 - 1 - (1) 2017年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注46」を参照のこと。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループ及び当行の邦文の財務書類(以下「邦文の財務書類」という。)は、本書記載の2017年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類(英語)を翻訳したものである。本書記載の原文の財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び当行の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採用された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)に準拠して作成されている。当行の個別財務書類は、ノルウェー財務省の銀行、住宅金融専門会社及び金融会社向けの年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第1条の6の規定(以下「ノルウェーIFRS規則」という。)に準拠して作成されている。また、DNBグループ及び当行の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、ノルウェーIFRS規則と日本の相違点については、下記「第6-4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと当行の原文の財務書類は、ノルウェーにおける独立監査人であるアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エス(Ernst & Young AS)の監査を受けており、独立監査人の2018年3月7日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エスの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2018年6月1日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1ノルウェー・クローネ=13.32円のノルウェー・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているノルウェー・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、ノルウェー・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

1 【財務書類】

(1) 【年次財務書類】

2017年12月31日に終了した事業年度の財務書類

損益計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位 : 百万ノルウェー・クローネ) | 注 | 2017年度 | 2016年度 |
|-----------------|-----------------|-------------------------------|-------|-----------------|-----------------|
| 35,163 | 37,126 | 受取利息合計 | 17 | 54,399 | 52,887 |
| (11,555) | (12,709) | 支払利息合計 | 17 | (18,485) | (18,369) |
| 23,608 | 24,416 | 純利息収入 | 17 | 35,914 | 34,517 |
| 6,739 | 7,340 | 受取手数料等 | 19 | 9,228 | 8,628 |
| (2,924) | (3,296) | 支払手数料等 | 19 | (3,344) | (2,994) |
| 8,834 | 5,942 | 公正価値で測定される金融商品に係る純利得 | 20 | 4,513 | 6,506 |
| | | 持分法による投資からの利益 | 35 | (112) | 1,189 |
| | | 投資不動産に係る純利得 | | 143 | (35) |
| 5,837 | 6,325 | その他の収益 | | 1,997 | 2,023 |
| 18,486 | 16,312 | その他の営業収益純額 | | 12,425 | 15,316 |
| 42,094 | 40,728 | 収益合計 | | 48,339 | 49,833 |
| (9,248) | (9,639) | 給与その他の人件費 | 21 | (11,561) | (11,206) |
| (6,118) | (6,904) | その他の費用 | 22 | (7,899) | (7,207) |
| (2,050) | (2,318) | 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損 | 23 | (2,469) | (2,103) |
| (17,417) | (18,860) | 営業費用合計 | | (21,928) | (20,516) |
| 24,677 | 21,867 | 減損前の税引前営業利益 | | 26,410 | 29,317 |
| 14 | 2,047 | 固定資産及び無形資産に係る純利得 | | 735 | (19) |
| (4,679) | (1,937) | 貸出金及び保証に係る減損 | 9, 10 | (2,428) | (7,424) |
| 20,012 | 21,978 | 税引前営業利益 | | 24,718 | 21,874 |
| (5,223) | (3,068) | 法人所得税費用 | 25 | (4,903) | (3,964) |
| | | 売却目的保有の事業による利益 (税引後) | | (1) | 4 |
| 14,789 | 18,910 | 当期利益 | | 19,813 | 17,914 |
| 14,193 | 17,972 | 株主帰属分 | | 18,876 | 17,319 |
| 595 | 938 | その他Tier1資本の所有者帰属分 | | 938 | 595 |
| 14,789 | 18,910 | 当期利益 | | 19,813 | 17,914 |
| 80.75 | 103.34 | 1株当たり利益/希薄化後利益 (ノルウェー・クローネ) | | 108.27 | 97.81 |
| | | 売却目的保有の事業に対する1株当たり利益 | | | |
| | | (ノルウェー・クローネ) | | (0.01) | 0.02 |
| | | 売却目的保有の事業を除いた継続事業に対する1株当たり利益 | | | |
| 80.75 | 103.34 | (ノルウェー・クローネ) | | 108.28 | 97.79 |

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万円) | 注 | 2017年度 | 2016年度 |
|------------------|------------------|---------------------------------|-------|------------------|------------------|
| 468,371 | 494,518 | 受取利息合計 | 17 | 724,595 | 704,455 |
| (153,913) | (169,284) | 支払利息合計 | 17 | (246,220) | (244,675) |
| 314,459 | 325,221 | 純利息収入 | 17 | 478,374 | 459,766 |
| 89,763 | 97,769 | 受取手数料等 | 19 | 122,917 | 114,925 |
| (38,948) | (43,903) | 支払手数料等 | 19 | (44,542) | (39,880) |
| 117,669 | 79,147 | 公正価値で測定される金融商品に係る純利得 | 20 | 60,113 | 86,660 |
| | | 持分法による投資からの利益 | 35 | (1,492) | 15,837 |
| | | 投資不動産に係る純利得 | | 1,905 | (466) |
| 77,749 | 84,249 | その他の収益 | | 26,600 | 26,946 |
| 246,234 | 217,276 | その他の営業収益純額 | | 165,501 | 204,009 |
| 560,692 | 542,497 | 収益合計 | | 643,875 | 663,776 |
| (123,183) | (128,391) | 給与その他の人件費 | 21 | (153,993) | (149,264) |
| (81,492) | (91,961) | その他の費用 | 22 | (105,215) | (95,997) |
| (27,306) | (30,876) | 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損 | 23 | (32,887) | (28,012) |
| (231,994) | (251,215) | 営業費用合計 | | (292,081) | (273,273) |
| 328,698 | 291,268 | 減損前の税引前営業利益 | | 351,781 | 390,502 |
| 186 | 27,266 | 固定資産及び無形資産に係る純利得 | | 9,790 | (253) |
| (62,324) | (25,801) | 貸出金及び保証に係る減損 | 9, 10 | (32,341) | (98,888) |
| 266,560 | 292,747 | 税引前営業利益 | | 329,244 | 291,362 |
| (69,570) | (40,866) | 法人所得税費用 | 25 | (65,308) | (52,800) |
| | | 売却目的保有の事業による利益(税引後) | | (13) | 53 |
| 196,989 | 251,881 | 当期利益 | | 263,909 | 238,614 |
| 189,051 | 239,387 | 株主帰属分 | | 251,428 | 230,689 |
| 7,925 | 12,494 | その他Tier1資本の所有者帰属分 | | 12,494 | 7,925 |
| 196,989 | 251,881 | 当期利益 | | 263,909 | 238,614 |
| 1,075.59 | 1,376.49 | 1株当たり利益/希薄化後利益(円) | | 1,442.16 | 1,302.83 |
| | | 売却目的保有の事業に対する1株当たり利益(円) | | (0.13) | 0.27 |
| 1,075.59 | 1,376.49 | 売却目的保有の事業を除いた継続事業に対する1株当たり利益(円) | | 1,442.29 | 1,302.56 |

包括利益計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|--------|--------|-----------------------------------|---------|---------|
| 14,789 | 18,910 | 当期利益 | 19,813 | 17,914 |
| (166) | (120) | 数理計算上の差異 | (107) | (179) |
| (166) | (120) | 純損益に組替調整されない項目 | (107) | (179) |
| (135) | 53 | 在外営業活動体の活動から生ずる換算差額 | 1,182 | (6,478) |
| | | 純損益に組替調整された外貨換算準備金 ¹⁾ | (1,303) | (43) |
| | | 純投資ヘッジ | (515) | 4,346 |
| | | 純損益に組替調整されたヘッジ準備金 ¹⁾ | 886 | |
| | | 持分法による投資 ²⁾ | 160 | (25) |
| | | 純損益に組替調整された持分法による投資 ²⁾ | | (855) |
| (135) | 53 | 後に純損益に組替調整される可能性がある項目 | 410 | (3,054) |
| (301) | (67) | 当期その他の包括利益(税引後) | 303 | (3,233) |
| 14,487 | 18,843 | 当期包括利益 | 20,117 | 14,680 |

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位：百万円) | 2017年度 | 2016年度 |
|---------|---------|-----------------------------------|----------|----------|
| 196,989 | 251,881 | 当期利益 | 263,909 | 238,614 |
| (2,211) | (1,598) | 数理計算上の差異 | (1,425) | (2,384) |
| (2,211) | (1,598) | 純損益に組替調整されない項目 | (1,425) | (2,384) |
| (1,798) | 706 | 在外営業活動体の活動から生ずる換算差額 | 15,744 | (86,287) |
| | | 純損益に組替調整された外貨換算準備金 ¹⁾ | (17,356) | (573) |
| | | 純投資ヘッジ | (6,860) | 57,889 |
| | | 純損益に組替調整されたヘッジ準備金 ¹⁾ | 11,802 | |
| | | 持分法による投資 ²⁾ | 2,131 | (333) |
| | | 純損益に組替調整された持分法による投資 ²⁾ | | (11,389) |
| (1,798) | 706 | 後に純損益に組替調整される可能性がある項目 | 5,461 | (40,679) |
| (4,009) | (892) | 当期その他の包括利益(税引後) | 4,036 | (43,064) |
| 192,967 | 250,989 | 当期包括利益 | 267,958 | 195,538 |

1) 2017年度第4四半期に、バルト諸国に関連する外貨換算準備金(累積利得)の1,307百万ノルウェー・クローネと、ヘッジ準備金(累積損失)の1,224百万ノルウェー・クローネは、損益計算書に組替調整され、「固定資産及び無形資産に係る純利得」に認識されている。バルト諸国に係るヘッジ準備金に関連した税金は338百万ノルウェー・クローネであり、損益計算書に組替調整され、「税金費用」に認識されている。

2) DNBは、Visa Norgeへの加盟を通じて Visa Europe の間接的な所有持分を有していた。2016年3月31日現在のVisa Europeの持分の評価に関連し、855百万ノルウェー・クローネの累積利得がその他の包括利益に認識されていた。2016年度第2四半期に行われたVisa Inc によるVisa Europe の買収完了を受けて、この金額は利益に組替調整され、利得合計額である1,128百万ノルウェー・クローネは、損益計算書上の「持分法による投資からの利益」に認識された。

貸借対照表

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年 12月31日 現在 | 2017年 12月31日 現在 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 注 | 2017年 12月31日 現在 | 2016年 12月31日 現在 |
|-----------------------|-----------------------|---------------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産 | | | | | |
| 207,934 | 151,147 | 現金及び中央銀行預け金 | 26, 27, 28 | 151,595 | 208,263 |
| 549,093 | 580,973 | 金融機関向貸出金及び預け金 | 6, 7, 26, 27, 28 | 237,849 | 174,908 |
| 690,060 | 730,782 | 顧客向貸出金 | 6, 7, 26, 27, 28 | 1,531,345 | 1,492,268 |
| 223,360 | 261,994 | 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 26, 28, 30 | 257,029 | 217,887 |
| 5,178 | 6,310 | 株式 | 26, 28, 30, 31 | 7,303 | 6,200 |
| 170,317 | 146,953 | デリバティブ | 15, 26, 28 | 132,649 | 157,957 |
| 12,760 | 9,613 | 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | 26, 27, 33 | 9,613 | 12,760 |
| | | 投資不動産 | 34 | 990 | 1,175 |
| 995 | 9,007 | 持分法による投資 | 35 | 11,176 | 3,570 |
| 118,233 | 115,142 | 子会社への投資 | 36 | 0 | (0) |
| 3,598 | 3,515 | 無形資産 | 37 | 3,756 | 3,981 |
| 1,882 | 8,415 | 繰延税金資産 | 25 | 757 | 1,392 |
| 7,034 | 7,842 | 固定資産 | 38 | 7,911 | 7,117 |
| | | 売却目的保有の資産 | | | 52,541 |
| 13,462 | 22,092 | その他資産 | 40 | 7,888 | 8,255 |
| 2,003,906 | 2,053,787 | 資産合計 | | 2,359,860 | 2,348,272 |
| 負債及び資本 | | | | | |
| 338,731 | 332,798 | 金融機関からの借入金及び預金 | 26, 27, 28 | 222,501 | 211,606 |
| 920,664 | 956,525 | 顧客預金 | 26, 27, 28, 41 | 980,374 | 945,694 |
| 181,794 | 179,534 | デリバティブ | 15, 26, 28 | 112,020 | 130,990 |
| 336,941 | 326,171 | 発行済負債証券 | 26, 27, 28, 42 | 782,127 | 767,750 |
| 4 | 3,765 | 未払法人税 | 25 | 4,702 | 8,847 |
| 56 | 74 | 繰延税金 | 25 | 847 | 2,382 |
| 23,893 | 51,103 | その他負債 | 26, 44 | 19,304 | 15,781 |
| | | 売却目的保有の負債 | | | 41,243 |
| 1,916 | 1,652 | 引当金 | | 1,766 | 2,038 |
| 2,454 | 2,906 | 年金債務 | 24 | 2,995 | 2,516 |
| 29,347 | 29,538 | 劣後債 | 26, 27, 28, 43 | 29,538 | 29,347 |
| 1,835,802 | 1,884,067 | 負債合計 | | 2,156,175 | 2,158,194 |
| 18,314 | 18,256 | 株主資本 | | 18,256 | 18,314 |
| 19,895 | 19,895 | 資本剰余金 | | 20,611 | 20,611 |
| 15,952 | 16,159 | その他Tier 1 資本 | | 16,159 | 15,952 |
| 113,942 | 115,411 | その他の資本 | | 148,660 | 135,200 |
| 168,104 | 169,720 | 資本合計 | 45 | 203,685 | 190,078 |
| 2,003,906 | 2,053,787 | 負債及び資本合計 | | 2,359,860 | 2,348,272 |

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年 12月31日 現在 | 2017年 12月31日 現在 | (単位 : 百万円) | 注 | 2017年 12月31日 現在 | 2016年 12月31日 現在 |
|-----------------------|-----------------------|---------------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産 | | | | | |
| 2,769,681 | 2,013,278 | 現金及び中央銀行預け金 | 26, 27, 28 | 2,019,245 | 2,774,063 |
| 7,313,919 | 7,738,560 | 金融機関向貸出金及び預け金 | 6, 7, 26, 27, 28 | 3,168,149 | 2,329,775 |
| 9,191,599 | 9,734,016 | 顧客向貸出金 | 6, 7, 26, 27, 28 | 20,397,515 | 19,877,010 |
| 2,975,155 | 3,489,760 | 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 26, 28, 30 | 3,423,626 | 2,902,255 |
| 68,971 | 84,049 | 株式 | 26, 28, 30, 31 | 97,276 | 82,584 |
| 2,268,622 | 1,957,414 | デリバティブ | 15, 26, 28 | 1,766,885 | 2,103,987 |
| 169,963 | 128,045 | 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | 26, 27, 33 | 128,045 | 169,963 |
| | | 投資不動産 | 34 | 13,187 | 15,651 |
| 13,253 | 119,973 | 持分法による投資 | 35 | 148,864 | 47,552 |
| 1,574,864 | 1,533,691 | 子会社への投資 | 36 | 0 | (0) |
| 47,925 | 46,820 | 無形資産 | 37 | 50,030 | 53,027 |
| 25,068 | 112,088 | 繰延税金資産 | 25 | 10,083 | 18,541 |
| 93,693 | 104,455 | 固定資産 | 38 | 105,375 | 94,798 |
| | | 売却目的保有の資産 | | | 699,846 |
| 179,314 | 294,265 | その他資産 | 40 | 105,068 | 109,957 |
| 26,692,028 | 27,356,443 | 資産合計 | | 31,433,335 | 31,278,983 |
| 負債及び資本 | | | | | |
| 4,511,897 | 4,432,869 | 金融機関からの借入金及び預金 | 26, 27, 28 | 2,963,713 | 2,818,592 |
| 12,263,244 | 12,740,913 | 顧客預金 | 26, 27, 28, 41 | 13,058,582 | 12,596,644 |
| 2,421,496 | 2,391,393 | デリバティブ | 15, 26, 28 | 1,492,106 | 1,744,787 |
| 4,488,054 | 4,344,598 | 発行済負債証券 | 26, 27, 28, 42 | 10,417,932 | 10,226,430 |
| 53 | 50,150 | 未払法人税 | 25 | 62,631 | 117,842 |
| 746 | 986 | 繰延税金 | 25 | 11,282 | 31,728 |
| 318,255 | 680,692 | その他負債 | 26, 44 | 257,129 | 210,203 |
| | | 売却目的保有の負債 | | | 549,357 |
| 25,521 | 22,005 | 引当金 | | 23,523 | 27,146 |
| 32,687 | 38,708 | 年金債務 | 24 | 39,893 | 33,513 |
| 390,902 | 393,446 | 劣後債 | 26, 27, 28, 43 | 393,446 | 390,902 |
| 24,452,883 | 25,095,772 | 負債合計 | | 28,720,251 | 28,747,144 |
| 243,942 | 243,170 | 株主資本 | | 243,170 | 243,942 |
| 265,001 | 265,001 | 資本剰余金 | | 274,539 | 274,539 |
| 212,481 | 215,238 | その他Tier 1 資本 | | 215,238 | 212,481 |
| 1,517,707 | 1,537,275 | その他の資本 | | 1,980,151 | 1,800,864 |
| 2,239,145 | 2,260,670 | 資本合計 | 45 | 2,713,084 | 2,531,839 |
| 26,692,028 | 27,356,443 | 負債及び資本合計 | | 31,433,335 | 31,278,983 |

持分変動計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 株主 資本 | 資本 剰余金 | その他 Tier 1 資本 | 数理計算上 の差異 | 外貨換算 準備金 | その他の 資本 | 資本 合計 |
|--------------------------------------|---------------|---------------|------------------|--------------|-------------|----------------|----------------|
| 2015年12月31日現在の残高 | 18,314 | 19,895 | 8,353 | (459) | 652 | 104,777 | 151,533 |
| 当期利益 | | | 595 | | | 14,193 | 14,789 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (166) | (135) | | (301) |
| 当期包括利益 | | | 595 | (166) | (135) | 14,193 | 14,487 |
| その他Tier 1 資本の発行 | | | 7,520 | | | (43) | 7,477 |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (505) | | | | (505) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (11) | | | 11 | |
| 廃止された確定給付年金 | | | | 6 | | (6) | |
| 貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡 (継続) | | | | | | 195 | 195 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当 | | | | | | (9,284) | (9,284) |
| DNBエイ・エス・エイからの 2016年度のグループ配当 | | | | | | 4,200 | 4,200 |
| 2016年12月31日現在の残高 | 18,314 | 19,895 | 15,952 | (619) | 517 | 114,045 | 168,104 |
| 当期利益 | | | 938 | | | 17,972 | 18,910 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (120) | 53 | | (67) |
| 当期包括利益 | | | 938 | (120) | 53 | 17,972 | 18,843 |
| Vipps ASの分割 | (59) | | | | | (641) | (700) |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (724) | | | | (724) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (7) | | | 7 | |
| 貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡 (継続) | | | | | | 2 | 2 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2017年度の配当及びグループ配当 | | | | | | (15,804) | (15,804) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 18,256 | 19,895 | 16,159 | (739) | 570 | 115,580 | 169,720 |

DNBバンク グループ

| (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 株主 資本 | 資本 剰余金 | その他 Tier 1 資本 | 数理計算上 の差異 | 外貨換算 準備金 ¹⁾ | 純投資 ヘッジ 準備金 ¹⁾ | その他の 資本 | 資本 合計 ¹⁾ |
|----------------------------------|---------------|---------------|------------------|--------------|---------------------------|---------------------------------|----------------|------------------------|
| 2015年12月31日現在の残高 | 18,314 | 20,611 | 8,353 | (479) | 18,289 | (11,848) | 120,171 | 173,412 |
| 当期利益 | | | 595 | | | | 17,319 | 17,914 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (179) | (6,521) | 4,346 | (880) | (3,233) |
| 当期包括利益 | | | 595 | (179) | (6,521) | 4,346 | 16,438 | 14,680 |
| その他Tier 1 資本の発行 | | | 7,520 | | | | (43) | 7,477 |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (505) | | | | | (505) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (11) | | | | 11 | |
| 廃止された確定給付年金 | | | | 16 | | | (16) | |
| 資本に組替調整された ルクセンブルグのAGDL引当金 | | | | | | | 13 | 13 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2015年度のグループ配当 | | | | | | | (5,000) | (5,000) |
| 2016年12月31日現在の残高 | 18,314 | 20,611 | 15,952 | (641) | 11,768 | (7,502) | 131,575 | 190,078 |
| 当期利益 | | | 938 | | | | 18,876 | 19,813 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (107) | (121) | 371 | 160 | 303 |
| 当期包括利益 | | | 938 | (107) | (121) | 371 | 19,036 | 20,117 |
| Vipps ASの分割 | (59) | | | | | | (641) | (700) |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (724) | | | | | (724) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (7) | | | | 7 | |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当 | | | | | | | (5,084) | (5,084) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 18,256 | 20,611 | 16,159 | (748) | 11,647 | (7,131) | 144,892 | 203,685 |

1) うち、バルト諸国に関連するOCI

| | | | |
|-------------------------------|---------|-------|-------|
| 2016年12月31日現在の残高 | 1,015 | (712) | 304 |
| 2017年1月から9月までの期間の その他の包括利益 | 291 | (174) | 117 |
| 純損益に組替調整されたその他の 包括利益 | (1,307) | 886 | (421) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 0 | 0 | 0 |

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万円) | 株主 資本 | 資本 剰余金 | その他 Tier 1 資本 | 数理計算上 の差異 | 外貨換算 準備金 | その他の 資本 | 資本 合計 |
|--------------------------------------|----------|-----------|------------------|--------------|-------------|------------|-----------|
| 2015年12月31日現在の残高 | 243,942 | 265,001 | 111,262 | (6,114) | 8,685 | 1,395,630 | 2,018,420 |
| 当期利益 | | | 7,925 | | | 189,051 | 196,989 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (2,211) | (1,798) | | (4,009) |
| 当期包括利益 | | | 7,925 | (2,211) | (1,798) | 189,051 | 192,967 |
| その他Tier 1 資本の発行 | | | 100,166 | | | (573) | 99,594 |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (6,727) | | | | (6,727) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (147) | | | 147 | |
| 廃止された確定給付年金 | | | | 80 | | (80) | |
| 貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続) | | | | | | 2,597 | 2,597 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当 | | | | | | (123,663) | (123,663) |
| DNBエイ・エス・エイからの 2016年度のグループ配当 | | | | | | 55,944 | 55,944 |
| 2016年12月31日現在の残高 | 243,942 | 265,001 | 212,481 | (8,245) | 6,886 | 1,519,079 | 2,239,145 |
| 当期利益 | | | 12,494 | | | 239,387 | 251,881 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (1,598) | 706 | | (892) |
| 当期包括利益 | | | 12,494 | (1,598) | 706 | 239,387 | 250,989 |
| Vipps ASの分割 | (786) | | | | | (8,538) | (9,324) |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (9,644) | | | | (9,644) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (93) | | | 93 | |
| 貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続) | | | | | | 27 | 27 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2017年度の配当及びグループ配当 | | | | | | (210,509) | (210,509) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 243,170 | 265,001 | 215,238 | (9,843) | 7,592 | 1,539,526 | 2,260,670 |

DNBバンク グループ

| (単位：百万円) | 株主 資本 | 資本 剰余金 | その他 Tier 1 資本 | 数理計算上 の差異 | 外貨換算 準備金 ¹⁾ | 純投資 ヘッジ 準備金 ¹⁾ | その他の 資本 | 資本 合計 ¹⁾ |
|----------------------------------|----------|-----------|------------------|--------------|---------------------------|---------------------------------|------------|------------------------|
| 2015年12月31日現在の残高 | 243,942 | 274,539 | 111,262 | (6,380) | 243,609 | (157,815) | 1,600,678 | 2,309,848 |
| 当期利益 | | | 7,925 | | | | 230,689 | 238,614 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (2,384) | (86,860) | 57,889 | (11,722) | (43,064) |
| 当期包括利益 | | | 7,925 | (2,384) | (86,860) | 57,889 | 218,954 | 195,538 |
| その他Tier 1 資本の発行 | | | 100,166 | | | | (573) | 99,594 |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (6,727) | | | | | (6,727) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (147) | | | | 147 | |
| 廃止された確定給付年金 | | | | 213 | | | (213) | |
| 資本に組替調整された ルクセンブルグのAGDL引当金 | | | | | | | 173 | 173 |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2015年度のグループ配当 | | | | | | | (66,600) | (66,600) |
| 2016年12月31日現在の残高 | 243,942 | 274,539 | 212,481 | (8,538) | 156,750 | (99,927) | 1,752,579 | 2,531,839 |
| 当期利益 | | | 12,494 | | | | 251,428 | 263,909 |
| その他の包括利益(税引後) | | | | (1,425) | (1,612) | 4,942 | 2,131 | 4,036 |
| 当期包括利益 | | | 12,494 | (1,425) | (1,612) | 4,942 | 253,560 | 267,958 |
| Vipps ASの分割 | (786) | | | | | | (8,538) | (9,324) |
| その他Tier 1 資本に係る利払 | | | (9,644) | | | | | (9,644) |
| 収益に計上された外貨換算準備金 | | | (93) | | | | 93 | |
| DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当 | | | | | | | (67,719) | (67,719) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 243,170 | 274,539 | 215,238 | (9,963) | 155,138 | (94,985) | 1,929,961 | 2,713,084 |

1) うち、バルト諸国に関連するOCI

| | | | |
|-------------------------------|----------|---------|---------|
| 2016年12月31日現在の残高 | 13,520 | (9,484) | 4,049 |
| 2017年1月から9月までの期間の その他の包括利益 | 3,876 | (2,318) | 1,558 |
| 純損益に組替調整されたその他の 包括利益 | (17,409) | 11,802 | (5,608) |
| 2017年12月31日現在の残高 | 0 | 0 | 0 |

キャッシュ・フロー計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|----------------|-------------|-------------------------------------|-------------|-------------|
| 営業活動 | | | | |
| (1,193) | (39,831) | 顧客向貸出金に係る純支払額 | (36,193) | (35,187) |
| 26,974 | 27,604 | 顧客からの利息の受取額 | 47,789 | 47,420 |
| 37,498 | 36,940 | 顧客預金の純受取額 | 34,723 | 40,724 |
| (5,219) | (5,346) | 顧客に対する利息の支払額 | (4,425) | (3,711) |
| 144,571 | (28,516) | 金融機関向貸出金に係る純受取/支払額 | (40,214) | 163,235 |
| 3,774 | 5,074 | 金融機関からの利息の受取額 | 2,449 | 1,261 |
| (1,975) | (3,058) | 金融機関に対する利息の支払額 | (2,428) | (1,661) |
| (8,655) | (21,783) | 投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額 | (20,381) | 4,076 |
| 4,327 | 4,521 | 債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額 | 4,394 | 4,271 |
| 3,998 | 3,920 | 手数料の純受取額 | 6,035 | 5,757 |
| (15,995) | (16,322) | 営業関連の支払額 | (19,505) | (19,014) |
| (1,268) | (1,897) | 税金の支払額 | (10,004) | (1,455) |
| 8,563 | 5,289 | その他の受取額 | 6,282 | 8,327 |
| 195,401 | (33,406) | 営業活動によるキャッシュ・フロー | (31,478) | 214,042 |
| 投資活動 | | | | |
| (1,627) | (1,010) | 固定資産の取得に係る純支払額 | (2,274) | (1,529) |
| | | 投資不動産に係る純受取/支払額 | 382 | (605) |
| 861 | 1,210 | 長期投資株式の売却に係る受取額 | 90 | 861 |
| (3,700) | (3,728) | 長期投資株式の取得に係る支払額 | (675) | |
| 57 | 347 | 長期投資株式に係る配当の受取額 | 7 | 66 |
| (4,408) | (3,181) | 投資活動によるキャッシュ・フロー | (2,470) | (1,206) |
| 財務活動 | | | | |
| 8,943,961 | 1,788,376 | 債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入 (注42参照) | 1,849,030 | 8,995,908 |
| (8,935,044) | (1,804,568) | 債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出 (注42参照) | (1,856,373) | (9,000,786) |
| (6,238) | (5,926) | 債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額 | (13,853) | (16,016) |
| 738 | 10,106 | 劣後債の発行による調達 (注43参照) | 10,106 | 738 |
| (3) | (10,544) | 劣後債の償還額 (注43参照) | (10,544) | (3) |
| (920) | (780) | 劣後債に係る利息の支払額 | (784) | (923) |
| 7,520 | | その他Tier 1 資本の発行による収入 | | 7,520 |
| (516) | (724) | その他Tier 1 資本に係る利息の支払額 | (724) | (516) |
| (6,942) | (4,018) | グループ配当の支払額 | (5,318) | (6,849) |
| 2,555 | (28,080) | 財務活動によるキャッシュ・フロー | (28,459) | (20,928) |
| (1,663) | 6,082 | 現金及び現金同等物に係る為替変動の影響 | 5,436 | (312) |
| 191,884 | (58,584) | ネット・キャッシュ・フロー | (56,971) | 191,596 |
| 19,884 | 211,768 | 1月1日現在の現金残高 | 214,790 | 23,194 |
| | | 支配を喪失した子会社の現金額 | (3,768) | |
| 191,884 | (58,584) | 現金の純支払額 | (56,971) | 191,596 |
| 211,768 | 153,184 | 期末現金残高 ^{*)} | 154,051 | 214,790 |
| *) うち、 | | | | |
| 207,934 | 151,147 | 現金及び中央銀行預け金 | 151,595 | 211,908 |
| 3,835 | 2,036 | 金融機関預け金 (要求払い) ¹⁾ | 2,456 | 2,881 |

1) 貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万円) | 2017年度 | 2016年度 |
|----------------|--------------|-------------------------------------|--------------|---------------|
| 営業活動 | | | | |
| (15,891) | (530,549) | 顧客向貸出金に係る純支払額 | (482,091) | (468,691) |
| 359,294 | 367,685 | 顧客からの利息の受取額 | 636,549 | 631,634 |
| 499,473 | 492,041 | 顧客預金の純受取額 | 462,510 | 542,444 |
| (69,517) | (71,209) | 顧客に対する利息の支払額 | (58,941) | (49,431) |
| 1,925,686 | (379,833) | 金融機関向貸出金に係る純受取/支払額 | (535,650) | 2,174,290 |
| 50,270 | 67,586 | 金融機関からの利息の受取額 | 32,621 | 16,797 |
| (26,307) | (40,733) | 金融機関に対する利息の支払額 | (32,341) | (22,125) |
| (115,285) | (290,150) | 投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額 | (271,475) | 54,292 |
| 57,636 | 60,220 | 債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額 | 58,528 | 56,890 |
| 53,253 | 52,214 | 手数料の純受取額 | 80,386 | 76,683 |
| (213,053) | (217,409) | 営業関連の支払額 | (259,807) | (253,266) |
| (16,890) | (25,268) | 税金の支払額 | (133,253) | (19,381) |
| 114,059 | 70,449 | その他の受取額 | 83,676 | 110,916 |
| 2,602,741 | (444,968) | 営業活動によるキャッシュ・フロー | (419,287) | 2,851,039 |
| 投資活動 | | | | |
| (21,672) | (13,453) | 固定資産の取得に係る純支払額 | (30,290) | (20,366) |
| | | 投資不動産に係る純受取/支払額 | 5,088 | (8,059) |
| 11,469 | 16,117 | 長期投資株式の売却に係る受取額 | 1,199 | 11,469 |
| (49,284) | (49,657) | 長期投資株式の取得に係る支払額 | (8,991) | |
| 759 | 4,622 | 長期投資株式に係る配当の受取額 | 93 | 879 |
| (58,715) | (42,371) | 投資活動によるキャッシュ・フロー | (32,900) | (16,064) |
| 財務活動 | | | | |
| 119,133,561 | 23,821,168 | 債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入 (注42参照) | 24,629,080 | 119,825,495 |
| (119,014,786) | (24,036,846) | 債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出 (注42参照) | (24,726,888) | (119,890,470) |
| (83,090) | (78,934) | 債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額 | (184,522) | (213,333) |
| 9,830 | 134,612 | 劣後債の発行による調達 (注43参照) | 134,612 | 9,830 |
| (40) | (140,446) | 劣後債の償還額 (注43参照) | (140,446) | (40) |
| (12,254) | (10,390) | 劣後債に係る利息の支払額 | (10,443) | (12,294) |
| 100,166 | | その他Tier 1 資本の発行による収入 | | 100,166 |
| (6,873) | (9,644) | その他Tier 1 資本に係る利息の支払額 | (9,644) | (6,873) |
| (92,467) | (53,520) | グループ配当の支払額 | (70,836) | (91,229) |
| 34,033 | (374,026) | 財務活動によるキャッシュ・フロー | (379,074) | (278,761) |
| (22,151) | 81,012 | 現金及び現金同等物に係る為替変動の影響 | 72,408 | (4,156) |
| 2,555,895 | (780,339) | ネット・キャッシュ・フロー | (758,854) | 2,552,059 |
| 264,855 | 2,820,750 | 1月1日現在の現金残高 | 2,861,003 | 308,944 |
| | | 支配を喪失した子会社の現金額 | (50,190) | |
| 2,555,895 | (780,339) | 現金の純支払額 | (758,854) | 2,552,059 |
| 2,820,750 | 2,040,411 | 期末現金残高 ^{*)} | 2,051,959 | 2,861,003 |
| *) うち、 | | | | |
| 2,769,681 | 2,013,278 | 現金及び中央銀行預け金 | 2,019,245 | 2,822,615 |
| 51,082 | 27,120 | 金融機関預け金 (要求払い) ¹⁾ | 32,714 | 38,375 |

1) 貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

キャッシュ・フロー計算書は、期中における現金及び現金同等物の受取と支払を示している。この計算書は、直接法に準拠して作成している。キャッシュ・フローは、営業活動、投資活動及び財務活動に分類されている。貸借対照表の項目は為替変動の影響が調整されている。現金は、現金及び中央銀行預け金、並びに金融機関向預け金（要求払い）と定義されている。

[次へ](#)

注1 会計方針

1. 会社情報

DNBバンク エイ・エス・エイはDNBエイ・エス・エイの子会社で、DNBエイ・エス・エイはオスロ証券取引所 (Oslo Børs) に上場しているノルウェーの公開有限責任会社である。2017年度の連結財務諸表は2018年3月7日に取締役会により承認された。

当行グループは、ノルウェー国内外のリテール市場及びコーポレート市場において、銀行業務及び証券業務と投資業務を行っている。

当行グループ本店の住所は、Dronning Eufemias gate 30, Bjørvika, Oslo, Norwayである。

2. 作成基準

DNBバンク グループは、国際会計基準審議会 (「IASB」) によって公表され、欧州連合 (「EU」) により承認された国際財務報告基準 (「IFRSs」) に準拠して、2017年度連結財務諸表を作成している。

DNBバンク エイ・エス・エイは、ノルウェー財務省の年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第1条の6の規定 (「ノルウェーIFRS規則」) に準拠して個別財務諸表を作成した。これは、認識と測定がIFRSに準拠していることを意味している。唯一の例外は、ノルウェーIFRS規則では、子会社における予定配当金額及び予定グループ配当金額を収益として認識し、取締役会の予定配当金額と予定グループ配当金額を貸借対照表日現在の負債として認識することが認められているという点である。IFRSに従った場合には、株主総会で承認されるまでは、配当金は株主資本として表示されなければならない。DNBバンク エイ・エス・エイは、IFRSに従って開示情報を表示している。

連結財務諸表は取得原価主義に基づいているが、公正価値で測定される金融資産及び金融負債及び投資不動産に関しては、例外として除外されている。連結財務諸表はノルウェー・クロネ建てで表示されている。別途指定がある場合を除き、すべての金額は百万単位に四捨五入されている。

当行グループの連結貸借対照表は、主として資産及び負債の流動性評価に基づく配列で表示されている。

3. 連結

DNBバンク エイ・エス・エイ (以下「DNBバンク」又は「当行グループ」という。) の連結財務諸表には、DNBバンク及び子会社が含まれている。

子会社の所有持分を連結する場合には首尾一貫した会計方針が適用されており、連結財務諸表は親会社で使用されているものと同じ報告期間をベースにしている。

連結財務諸表を作成する場合、グループ内の内部取引及び関連残高は、グループの事業ユニット間取引に係る損益とともに消去される。

子会社

子会社とは、DNBバンクが直接的又は間接的に支配する会社をいう。会社に対する支配は、当該会社への関与により当行グループがさらされている変動リターンに影響を及ぼす目的でパワーを行使する当行グループの能力により裏付けされる。会社を子会社として連結するか否かを評価する際、当行グループは以下を含む支配に関する様々な要素を評価している。

会社の目的と概要

関連する事業活動、並びにそれらがどのように決定されるか

当グループの権利が関連する事業活動を指図する能力をもたらすかどうか

当グループが変動リターンに対するエクスポージャー又は権利を有しているか

当グループがリターンに影響を及ぼすべく自らのパワーを行使できるか

議決権に関する場合、当行グループは、契約により、関連する意思決定機関に対応する議決権を有していない場合を除き、当行グループによる直接的又は間接的な所有が会社の議決権の50%を上回る場合に、支配しているとみなしている。当行グループの所有が議決権の50%未満である会社の場合、他に事実上の支配を示す要因があるか否かの評価を行う。子会社は、支配が獲得された日から支配が終了する日まで連結される。

関連会社及び共同契約

関連会社とはDNBバンクが重要な影響力を保有する会社をいう。この重要な影響力とは、会社の財務方針及び営業方針の決定に加わる権限があっても、その会社を支配又は共同支配しないものをいう。当行グループが他の会社の議決権株式又は第一次自己資本の20%から50%を保有する場合、DNBバンクには重要な影響力があるとみなしている。連結財務諸表において、関連会社は持分法により認識されている。

共同契約はジョイント・ベンチャー又は共同営業のいずれかに分類される。ジョイント・ベンチャーの会計処理には持分法が適用される。共同営業に関し当事者は、共同営業に係る資産及び負債に対する権利を貸借対照表で認識し、共通して発生した収益及び費用の持分相当額を損益計算書で認識する。DNBの共同契約は、ジョイント・ベンチャーであると判断されている。

持分法の会計処理では、投資は取得時には取得原価で認識され、その後の変動については当行グループが所有する関連会社の持分割合に従って調整される。のれんは取得原価に含まれる。当行グループの損益割合は損益計算書において認識され、損益計算書に反映されていない持分のその他の変動と併せて貸借対照表の投資の取得原価に加算される。当該投資の帳簿価額がマイナスとなる場合は、損失に対する当行グループの割合は損益計算書に反映されない。但し、当行グループが関連会社又はジョイント・ベンチャーの債務の引受又は保証の発行を行っている場合はその限りではない。

各報告期間末に、当行グループは減損の兆候の有無を検討する。かかる兆候がある場合には、当該投資の減損テストを実施する。当該投資の帳簿価額は回収可能価額（売却費用を差し引いた公正価値と、使用価値のいずれか高い価額）と比較される。必要に応じ、帳簿価額は回収可能価額まで評価減が行われることになる。

当行グループと関連会社又はジョイントベンチャーの間で行われた取引に係る未実現利益に対する当行グループの持分は消去される。当該取引が譲渡資産の減損を示していない場合に限り、同じことが未実現損失にも適用される。

外貨建取引の換算

当行グループの連結財務諸表における表示通貨は、ノルウェー・クローネである。当行グループの親会社であるDNBバンク エイ・エス・エイの機能通貨は、ノルウェー・クローネである。他の機能通貨を使用している海外支店及び子会社の貸借対照表項目については、貸借対照表日の実勢為替レートで表示通貨であるノルウェー・クローネに換算され、損益項目については取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じた純資産の変動は、その他の包括利益に認識される。

外貨建ての貨幣性資産及び負債は、貸借対照表日の実勢為替レートで当該事業体の機能通貨に換算される。取引日と貸借対照表日の為替レート変動により生じたそれらの資産の帳簿価額の変動は、損益計算書において認識される。

4. セグメント情報

DNBバンクにおける財務ガバナンスは異なる顧客セグメントごとに対応している。顧客関係とセグメント別の利益率をフォローアップすることは、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。さまざまなセグメントに関して報告された計数は、個別のセグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。

セグメント情報は、経営動向を評価しリソースの配分を決定するために当行グループ経営陣（最高経営意思決定機関）への内部財務報告に基づいて作成されている。事業セグメントに関する計数は、DNBバンクの管理モデルと当行グループの会計方針に基づいている。計数の決定には、多数の仮定、見積り及び判断が充てられている。

DNBの管理モデルによれば、事業セグメントは独立したプロフィット・センターとして、割り当てられた資本に求められる税引後利益及び収益目標の達成に全面的な責任を負っている。当行グループのすべての顧客向業務は、関連する貸借対照表項目、収益及び費用とともに、事業セグメントごとに配賦されている。

事業セグメントの過剰流動性及び流動性不足については、市場並みの条件で銀行の資金部門に対する預託又は資金部門からの借入で対応している。この場合の金利は、期間及び当行グループの財政状態に基づいて決定される。

複数の事業セグメントが協力して顧客に金融サービスを提供する場合、社内間の授受は市場価格に基づいて行われる。

グループ・サービス及びスタッフ部門により提供されたサービスは、サービス契約に従って事業セグメントに費用が計上される。事業セグメントの活動に間接的に連動している共通費用は、配賦算式に基づいて当該事業セグメントの勘定に計上される。

事業セグメントの戦略的業務に関係のない、いくつかの重要な職務とその活動から生ずる利益が、その他の事業に表示されている。この項目は、当行グループの流動性管理に関する収益と費用、トレーディング目的ポートフォリオに含まれていない資本性金融商品への投資による収益、当行グループの非配賦資本に割当てられた受取利息、当行の不動産ポートフォリオ管理から生ずる所有権関連の費用と収益が含まれる。

当行グループに全部連結される再取得された業務からの純利益は、セグメント報告の中では、「再取得した業務からの利益」として表示されている。再取得した企業の連結による影響はその他の事業に表示されている。

自己資本利益率は、リスク調整後所要自己資本の社内測定に基づいて推計される。資本配賦に関する方針の詳細に関しては、（注2）「セグメント」を参照のこと。

5. 損益計算書及びその他の包括利益における認識

受取利息は実効金利法を使用して認識される。これは利息が発生主義で認識され、フロントエンド・フィーと実効金利に欠かせない部分とみなされる他の手数料の償却額が加算されて認識されることを意味する。

実効金利は、契約上のキャッシュ・フローを当該資産の予想残存期間に基づいて割り引くことにより設定される。キャッシュ・フローは、フロントエンド・フィー及び顧客により直接支払われない直接取引費用を含んでいる。

償却原価で計上される貸借対照表項目及び公正価値で計上される貸借対照表項目に関する利息は、いずれも実効金利法により損益計算書に認識される。但し、公正価値で計上される貸出金に係るフロントエンド・フィーは例外で、これは稼得時に認識される。減損が生じた貸出金に関する利息は、減損控除後の帳簿価額に係る実効金利に対応している。

「その他の営業収益純額」は、主に送金、パフォーマンス / 成功報酬、信用仲介、不動産仲介、コーポレート・ファイナンス及び証券サービス等に関する手数料を含んでいる。信用仲介手数料は、DNBバンクが幹事行としてシンジケート・ローンとその一部を保有せず組成した場合、又は他の参加行が受け取る実効金利を上回る報酬を稼得した場合に、当該取引から得られる手数料であるシンジケート・ローン収益を含んでいる。手数料に加え、実効金利の算定に含まれない手数料は、役務の提供があった時又は取引の完了した期間の損益計算書に認識される。

パフォーマンス / 成功報酬は、その手数料が高い確実性をもって稼得され、信頼できる方法で測定できる場合に認識される。

金融保証を行った際に発生した手数料は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中で、当該契約期間にわたって認識される。

投資に係る配当は、その配当が株主総会で承認された日に認識される。

純損益を通じて公正価値で測定される金融商品から得られる収益については「金融商品」に、投資不動産から得られる純益については「投資不動産及び固定資産」に記載されている。

その他の包括利益の中の利益及び費用項目は、将来的に損益計算書に振り替えられうるかどうかに基づいて分類される。

6. 金融商品

認識と認識中止

資産及び負債の認識

金融資産及び負債は、当行グループが当該商品に係る契約上の規定の当事者となった場合に、貸借対照表に認識される。貸出金及び債権として分類される金融資産には決済日会計が適用される一方、他の分類カテゴリーには取引日会計が適用される。

金融資産の認識中止

金融資産は、当該資産からのキャッシュ・フローを受領し保持する権利が消滅又は移転した時点で、認識が中止される。当行グループは、貸借対照表において認識されている資産がカウンター・パーティに移転されるものの、その移転された資産のリスクと経済価値の全部又は一部が当行グループに保持されるような取引を行っている。リスクと経済価値のすべて又は大半が保持されている場合、貸借対照表におけるその移転された金融資産の認識は中止されず、当該移転により生じた又は保有された権利及び義務を反映する個別の資産又は負債に振り替えられる。そのような取引には、移転された貸出金ポートフォリオに関するすべてのリスクを当行グループが保証するか、又はトータル・リターン・スワップ契約を締結することにより、当行グループがそのポートフォリオに関するリスクとリターンを保持するような貸出ポートフォリオの移転の場合がある。

金融負債の認識中止

金融負債は、契約上の債務が免責された、若しくは取消された、又は失効した時点で、その認識が中止される。

レポ取引及びリバース・レポ取引

売戻し条件付で買い入れられた有価証券は、通常当行グループによるリスクとリターンの引受がないため、財務諸表上認識されないのが通例である。これは、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

買戻し条件付で売り渡した有価証券は、通常リスクとリターンが移転されないため、財務諸表上認識を中止されないのが通例である。これは、受け取り相手がその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。これらの有価証券は当行グループの貸借対照表に有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

有価証券の貸借契約

この取引を構成するのは主に株式の借入又は貸出である。有価証券の借入又は貸出に係る契約は、一般に現金又は有価証券の担保をベースにしている。

そのような取引において受領又は移転された株式は、通常その資産の所有に伴うリスクとリターンの引受又は移転が行われないため、認識も認識中止も行われない。

受領した株式（担保として受領した株式を含む）は、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているか否かにかかわらず、オフ・バランス項目として計上される。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

移転された株式又は担保で、受領者が売却や再担保の権利を有するものは、当行グループの貸借対照表に株式又は有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

分類と表示

金融資産は、商品の種類及び投資の目的により、当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

公正価値で計上され、その価値の変動が純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融資産及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

償却原価で計上される貸出金及び債権

償却原価で計上される満期保有目的の投資

公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

金融負債は当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

公正価値で計上され、その価値の変動は純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融負債及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融負債

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

償却原価で計上されるその他の金融負債

当行グループの様々なポートフォリオの分類に関するガイドラインは以下のとおり。

トレーディング目的ポートフォリオの金融資産及び負債

トレーディング目的ポートフォリオの金融商品は当初に公正価値で認識される。観察可能な市場取引に基づき別の価額がより妥当であるとされない限り、公正価値は取引価格となる。認識後の評価における公正価値の決定については下の段落を参照。

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」で表示される。利付有価証券に係る受取利息及び支払利息は「純利息収入」で表示される。

デリバティブは、公正価値がプラスの場合は資産として表示され、公正価値がマイナスの場合は負債として表示される。

トレーディング目的ポートフォリオは、主にマーケット部門の金融資産及び金融負債に加え、ヘッジ会計目的ではないデリバティブで構成されている。さらにこのポートフォリオには、金利と流動性の管理に積極的に使用され、かつ残存期間が短い借入有価証券及び預金が含まれている。

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産及び負債

このポートフォリオの金融商品は公正価値で認識される。認識後の公正価値の評価の決定については下の段落を参照。以下に記載された基準のいずれか一つを満たす金融商品は、このカテゴリーに分類される。

この分類によると、異なる根拠に基づく場合の金融資産又は負債の測定や、それらの資産負債に係る損益の認識から生ずる測定上又は認識上の不整合が消滅、又は大幅に減少するもの

文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従い、公正価値に基づいて管理され評価されるポートフォリオの一部である金融商品

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」に表示されている。公正価値で測定する貸出金及びその他の固定金利債券に関する受取利息及び支払利息は「純利息収入」に表示されている。

このポートフォリオは、コマーシャル・ペーパー及び債券、株式、ノルウェー・クローネ建の固定金利貸出金、インデックス・リンク債及び株式リンク銀行預金のようなノルウェー・クローネ建て固定金利の債券並びにその他のノルウェー・クローネ建て固定金利預金を含んでいる。

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

当行グループは、外国通貨建ての長期借入金及び預金に係る金利リスクを管理するために、ヘッジ取引を締結している。これらの取引は公正価値ヘッジとして認識されている。「ヘッジ会計」参照。

償却原価で計上される貸出金及び債権

償却原価で計上される貸出金及び債権は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。事後測定は、実効金利法に従い減損費用を控除している。実効金利法については、「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に記載されている。

貸出金に分類された金融商品に係る受取利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示される。

償却原価で評価された貸出金の減損の客観的な兆候に基づく貸借対照表日の価値の減少、及び公正価値で測定された固定金利貸出金のポートフォリオの価値の減少は、「貸出金及び保証に係る減損」の中に表示される。

償却原価で計上される満期保有目的投資

満期保有目的投資の帳簿価額は償却原価であり、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。事後測定は、実効金利法に従い減損費用を控除している。実効金利法については損益計算書の「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に説明されている。

金融商品に関する受取利息は、「純利息収入」の中に表示されている。このカテゴリーに含まれるものは、主としてDNBマーケット部門の海外債券ポートフォリオである。

公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

売却可能に分類された金融資産は、公正価値で認識され、その後の公正価値の変動はその他の包括利益に表示される。公正価値の決定については下記を参照。公正価値の変動は、実現時に損益計算書に表示される収益に含められる。金融資産は上述されている他のどのカテゴリーに分類される条件も満たさない場合、このカテゴリーに分類される。

償却原価で計上されるその他の金融負債

償却原価で計上される金融負債は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。かかる金融商品に関する支払利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示されている。このカテゴリーには、顧客及び金融機関からの預金、発行されたコマーシャル・ペーパー、債券、劣後債、及び永久劣後債が含まれる。

発行済金融保証

特定の債務者が期日に支払をしなかったために生じた損失を当行グループが保有者に弁済しなければならなくなるような契約は、「発行済金融保証」に分類される。

当初認識時に、発行された金融保証は保証に関して受領した対価で認識される。発行済の金融保証は、その後当該保証に関して受領した対価（損益計算書に認識された償却額を除く）と、保証を履行すると仮定した場合に支払うべき対価の最善の見積額の、いずれか高い方の金額で測定される。

金融保証を発行する場合、保証の対価は貸借対照表の「引当金」の項目に表示される。個別に減損が生じた貸出金の一部を構成する保証に関する変動を除き、金融保証の帳簿価額の変動は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の項目の中で認識される。かかる保証契約の価値の変動は、「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。

持分の性質を有する金融商品

発行されたその他Tier1資本調達手段は、投資者に対して利息又は元本の支払いを行わない一方的な権利をDNBバンクが有する商品である。このような条件により、当該金融商品は負債の要件を満たさないため、当行グループの資本にその他Tier1資本として表示される。取引費用及び未払利息はその他の資本からの控除として、利息に係る税効果はその他の資本に対する加算として表示される。

外貨建ての資本は取引日の為替レートでノルウェー・クローネに換算され、その後の再評価の対象にはならない。

相殺

金融資産及び金融負債は、当行グループがそれらの認識金額を相殺する法的強制力のある権利を保有していて、かつ当行グループがその残高を純額決済する又は、同時にその資産を実現し負債を決済することに合意している場合に相殺され、貸借対照表に純額で表示される。マスターネットティング契約又は類似の契約により、債務不履行時に相殺する権利が与えられる。かかる契約は、債務不履行時に当行グループのエクスポージャーを削減するが、IFRSに従った場合、継続的に契約上のキャッシュ・フローを決済する意図を持つ必要があるため、そのみでは相殺の要件を満たさなくなる。相殺契約の対象となる金融資産及び金融負債に関する詳細については（注29）「相殺」を参照のこと。

公正価値の決定

公正価値とは、測定日現在、市場参加者間の秩序ある取引においてある資産を売却する際に受け取る又は負債を譲渡する場合に支払う金額である。活発な市場における金融資産及び負債は、測定日現在の公正価値を最もよく表すビッド・アスク・スプレッドの範囲で測定される。多くの場合、当該金融商品に関する買呼値又は売呼値は、それぞれ資産及び負債の価格を最もよく表している。純額で計上されるデリバティブは、貸借対照表日における仲値で認識されている。

公正価値で測定される金融商品は、月次又は四半期ごとに評価が行われるいくつかの金融商品を除いては、日次で評価が行われる。可能な限り、直接観察可能な市場価格が用いられている。さまざまな種類の金融商品の評価は、広く認識されている手法やモデルに基づいている。使用される価格やインプットパラメーターは、確立した業務手順と統制手続に基づいて管理され、評価されている。

金融商品の公正価値測定に係る統制環境は、当社の財務報告に欠かせない要素である。トレードポジションに係る初日損益に対する統制や、評価における重要なインプットパラメーターに対する統制など、多数の統制が日次で行われている。各月末及び四半期末には、公正価値に関する会計方針と整合するよう確実を期すために、変動分析を含めさらに多くの統制が行われている。レベル3の公正価値ヒエラルキーの評価は影響が大きい、若しくは非常に困難なため、特別な注意が払われている。

活発な市場で取引されている金融商品

活発な市場で取引されている金融商品に関する市場相場は、証券取引所、ブローカー又は価格設定業者より入手したものが使用される。

第三者間で観察可能な価格、為替レート又は金利を入手することが可能で、かつそれらの価格が現実にそして頻繁に行われる市場取引を表している場合に、市場は「活発」とみなされる。

一部の株式及びコマーシャル・ペーパーへの投資及び債券は活発な市場で取引されている。

活発な市場で取引されていない金融商品

活発な市場で取引されていない金融商品は様々な評価技法によって評価されており、それらは二つのカテゴリーに分けられる。

観察可能な市場データに基づく評価

知識があり、取引を希望している独立した立場の当事者間において、最近観察された当該商品の取引

活発な市場において取引された、評価対象の金融商品と実質的に同じ金融商品

主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいているその他の評価技法

観察可能な市場データ以外の要素に基づく評価

見積キャッシュ・フロー

複数の会社の資産及び負債の評価

主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいていないモデル

想定される業界標準

店頭デリバティブの評価では、カウンターパーティの信用リスクに対する公正価値調整（CVA）及び当行グループ自身の信用リスクに対する公正価値調整（DVA）を行う。また、予想調達コストに対する公正価値調整（FVA）も行う。

当行グループはCVAを、シミュレートされたプラスの期待エクスポージャー、カウンターパーティのデフォルト確率及びデフォルト時損失率いかんによって変化するものと評価している。当行グループのデリバティブ・カウンターパーティの大半は、マーケットインプライドの信用スプレッドを取得しておらず、外部格付も取得していない。従って、カウンターパーティのクレジット・デフォルト・スワップ（CDS）スプレッドの見積りを行うために、現在のCDS指数と、過去のCDSのスプレッドとを組み合わせる内部格付を算定している。これは当行グループが独自の信用モデル及び特徴的な手法を使用しているものの、市場の類似の信用リスクに関するプライシング水準に対して調整を行っていることを意味している。DVAも、当行グループの信用スプレッドを評価する際に用いるのと同じアプローチに基づいて算定されている。

FVAは、無担保デリバティブ・エクスポージャーの資金調達に関連する将来の調達コストの見積り現在価値を反映している。これは、期待エクスポージャーにファンディング・スプレッドを適用し算定している。DNBが算定するDVAのポジションに対する資金調達コストの軽減は評価していない。

評価技法を用いて測定される金融商品については、見積り公正価値が実際の取引価格と異なる場合に、時として当初認識時に損益が発生する可能性もある。測定が観察不可能な入力パラメータに基づいている場合（レベル3）には、損益は繰り延べられ初日利得は認識はされない。その後の期間の公正価値の変動は、かかる変動が、市場参加者が考慮するであろうと考えられる要因によって生じた範囲でのみ認識される。

金融資産の減損

各報告期間末に、当行グループは、当初認識後に発生した一つ又は複数の事象（損失事象）の結果として減損の客観的証拠が存在しているか否か、及び当該損失事象が見積将来キャッシュ・フローに影響を及ぼしているか否かを検討する。減損の客観的証拠がある場合には、金融資産又は金融資産グループの減損が行われる。減損の客観的兆候には、以下の損失事象の評価が含まれる。

債務者の財務上の深刻な問題

不払い、又はその他の重大な契約違反

債務者が貸出条件の緩和等を求める可能性があること

その他特別な状況の発生

債務者が置かれている状況を緩和するための貸出条件の再交渉も、損失事象とされる。

貸出金に係る個別減損

減損の客観的証拠がある場合、貸出金の減損は、帳簿価額と、当初の実効金利で割り引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値との差額として計算される。

事業部門は、エクスポージャーの推移、債務者の過去の実績、交渉の起こりうる結末及び顧客のキャッシュフローに影響を与えるマクロ経済の動向に基づき、見積将来キャッシュ・フローを計算する。さらに、担保として提供された資産の担保権が実行される可能性を含む、債務整理手続及び破産の可能性が考慮される。担保を評価する場合には、原資産の評価に広く認められている手法が使用される。

貸出金の個別減損は、貸出金及び保証の帳簿価額を減少させる。期中の減損は、損益計算書の中の「貸出金及び保証に係る減損」として認識される。

貸出金の集合的減損

個別に減損が行われなかった貸出金は、集合的に減損のための評価が行われる。評価は、金融資産のグループに関連する可能性がある減損の客観的証拠があるかどうかに基づいて行われる。

貸出金は、信用リスクの特性の類似性を基準として、顧客のセクター別又は業種別区分とリスク・カテゴリーに従ってグループ分けされる。減損は、一般経済状況の判断と各グループの既損失実績に基づいて、金融資産のグループ毎に判断される。

集合的減損は貸借対照表の「顧客向貸出金」の項目の帳簿価額を減少させる。期中に生じた変動は損益計算書の「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。個別の減損同様、集合的減損も割引かれる。割引ファクターは個別の減損から導き出された統計値に基づいている。

資産の回収

不良債権化し減損が生じた貸出金の管理の一環として回収された資産は、取得時の公正価値で認識される。かかる資産は、その資産の性質に応じて貸借対照表に認識されている。当該貸出金の帳簿価額と当該資産の公正価値との差額は、損益計算書の中で「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中に表示されている。また以後の損益計算書に与える影響の評価と表示は、関連する貸借対照表項目に関する原則に従って行われる。

ヘッジ会計

金融商品が個別にヘッジされる場合、ヘッジ対象リスクから生ずるヘッジ対象の価値の変動と、そのデリバティブ（ヘッジ手段）の価値変動との間には、明確で、直接の、そして文書化された相関関係がある。

ヘッジ関係が成立した時点で、ヘッジ対象とヘッジ手段の間の相関関係は文書化される。さらに、ヘッジ取引の裏付けとなるリスク管理目標と戦略も文書化される。ヘッジ対象リスクに関連したヘッジ対象とヘッジ手段の公正価値変動は、必要なヘッジ効果を確認するため定期的に評価される。ヘッジ手段は公正価値で財務諸表上認識され、公正価値の変動は損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

公正価値ヘッジでは、ヘッジ対象リスクに起因するヘッジ対象の公正価値の変動は、貸借対照表の金融負債及び資産の価値に対する加算又は控除として認識され、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

ヘッジ関係が終了した場合、又は十分なヘッジ効果が確認されなかった場合、ヘッジ対象の公正価値の累積変動額は残存期間にわたって償却される。

当行グループは海外子会社に投資した金額に係る為替リスクをヘッジするため、海外子会社に対する投資のヘッジを行っている。ヘッジ取引は、通貨スワップ又は長期の外貨借入の形で行われている。連結財務諸表では、ヘッジ関係は在外営業体に対する純投資のヘッジとして表示されている。

7. 投資不動産及び固定資産

賃貸収入又は値上がりにより利益を得る目的で保有されている不動産は、貸借対照表上投資不動産に表示されている。その他の有形資産は貸借対照表上固定資産に表示されている。

投資不動産は、当初の認識時に取得費用を含む取得原価で測定される。

以後の期間において、投資不動産は公正価値で測定される。従って、投資不動産には毎年の減価償却が適用されない。公正価値は、広く認められている評価手法を用いて決定される。評価には社内及び社外の専門家の見解が活用される。統制上、いくつかの社外評価が入手され、社内の評価と比較される。評価の実施者は、個々の不動産の評価に関する対話や質問を通じて、継続的にフォローアップを行っている。投資不動産の公正価値の変動は、損益計算書の「投資不動産に係る純利得」の項目の中で認識される。

その他の有形資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損額を控除した金額で測定される。取得原価には、資産の取得に直接関連した費用が含まれる。以後の費用は、その支出に関連した将来の経済的便益がDNBバンクに流入する可能性がありかつ信頼できる測定が可能であれば、関連資産項目に資産計上される。修繕及び保守に関する費用は、発生時に損益計算書に認識される。資産の残存価額及び耐用年数は毎年見直しを行い、必要があれば調整を行う。固定資産の売却に係る損益は、損益計算書の「固定資産及び無形資産に係る純利得」の項目の中で認識される。

8. 無形資産

のれん

のれんは、譲渡対価と非支配持分の認識額の合計が企業結合による識別可能な取得資産及び引受負債の公正価値を上回る場合に、その差額として当初に取得日に測定される。取得したのれんは、当該事業結合によるシナジーからの便益が見込まれる各資金生成単位、又はその単位グループに配分される。当初認識後、のれんは減損損失累計額控除後の取得価額で測定される。

ITシステム及びソフトウェアの開発

取得したソフトウェアは、取得原価にソフトウェアを使用可能にするために生じた費用を加算して認識される。当行グループにより管理されている社内開発ソフトウェアは、その経済的便益が貸借対照表日時点でソフトウェアの開発費をカバーする可能性が高い場合、識別可能な原価が無形資産に認識される。貸借対照表の価額を評価する場合、経済的便益は収益性分析に基づいて評価する。開発費には、プロジェクトに直接関与した従業員の給与、資材及び直接関係する間接費などが費用として含まれる。ソフトウェア及びITシステムの保守に関する費用は、発生の都度損益計算書に費用認識される。貸借対照表に計上されたソフトウェア費用は、見積耐用年数（通常は5年）にわたり定額法で償却される。減損の必要性の評価は、下記の原則に従って検討される。

9. 固定資産及び無形資産の減損

各報告期間末に当行グループは、固定資産又は無形資産の減損の兆候があるかどうかを検討する。かかる兆候がある場合には、生ずる可能性のある減損損失を見積るため当該資産の回収可能価額を算定する。のれん及び耐用年数が確定できない無形資産に関しては、当該資産の減損の兆候がない場合にも、少なくとも年に一度は減損テストが行われている。DNBはこの年次のテストを第4四半期に実施することを選択している。

回収可能価額とは、資産の売却コスト控除後公正価値と使用価値の、いずれか高い方を意味する。資産の帳簿価額が予想回収可能価額を上回る場合、その資産は評価損を計上して帳簿価額を回収可能価額に引き下げる。減損テストの説明については、（注37）「無形資産」を参照。減損を示す兆候の有無を検討する際には、以下の関連する基準が検討されている。

資産の市場価値の低下

資産の使用価値計算に使用される割引率に影響する可能性がある長期期待収益率の変動

資産を再構築又は清算する計画

資産の生み出す収益が予定を下回る場合

使用価値の算定は、過去の結果、及び経営陣が承認した計画値に基づいて行われる。資金生成単位に関する計画値に基づいて将来キャッシュ・フローが見積もられ、株主に対する潜在的なリターンであると定義される。このリターンには、将来見込まれる所要自己資本を充足するために十分な自己資本を調達する必要性を考慮した調整後の資金生成単位からの利益が含まれる。事業拡大に伴う所要自己資本の増加が求められる際に、資金生成単位からの利益では必要な自己資本の確保が不十分となる場合には、業務からの利益が一部留保されたり、株主からの追加の資本注入が求められる可能性がある。キャッシュ・フローの推移は、計画期間である3年間を超えた期間にわたり、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対する市場の期待を反映させるものと考えられている。予想将来キャッシュ・フローは、含められるターミナルバリューの見積りにゴードン成長モデルが使用される場合に、10年の期間について決定される。

要求収益率は、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対して市場が求める収益率の評価に基づいている。要求収益率は当該業務のリスクを反映している。

10. 年金

DNBは従業員向けに各国ごとの年金制度を有しており、ノルウェーではDNBは確定拠出年金制度を有している。2015年及び2016年に、年金制度は概して確定給付年金制度から確定拠出年金制度に変更された。この点に関連して、非積立型の報酬制度が設けられた。詳細については（注24）「年金」を参照のこと。

確定拠出年金制度

確定拠出年金制度の下では、当行グループは所定の将来年金給付の支払いを約束していないが、従業員の年金財形に対しては毎年拠出を行っている。将来の年金は、年間拠出額の規模と年金積立金の年間収益によって決まる。年間拠出額の支払後は、当行グループは従業員の勤務成績と連動したいかなる債務も負わない。確定拠出年金制度から生じる費用は損益計算書に認識される。

確定給付年金制度

年金費用は、退職時の見積累積債務に対して測定された年金受給権の線型分布に基づいて算定される。

年金債務は年金制度の年金基金に対応している。年金債務は貸借対照表日における見積将来年金支払額の現在価値に基づいて見積もられている。年金債務の算定は、平均余命、昇給及び早期退職に関する保険数理上及び経済的な仮定に基づいている。使用される割引率は、貸借対照表日のカバード・ボンドの利回りを参照し、関連する年金債務のデュレーションを反映したアドオンを加えて決定される。

11. 法人所得税

当期法人所得税は、当事業年度の未払法人所得税と前事業年度の未払法人所得税及び一時差異に係る繰延税金の変動で構成される。一時差異とは、資産又は負債に関する帳簿価額と課税価額との差異を意味する。最も重要な一時差異は、金融資産及び金融負債の公正価値の変動、年金債務、固定資産及び不動産の減価償却、並びにのれんの減損損失に関するものである。繰延税金は、貸借対照表日に適用されているか又は承認される可能性が高く、かつ繰延税金資産の回収時又は繰延税金負債の決済時に適用されると予想される税率及び課税規則に基づいて計算される。

繰延税金資産は、将来利用できる課税所得が生ずる可能性が高い範囲内で、貸借対照表に認識される。同一の納税グループにおける繰延税金及び繰延税金資産は貸借対照表に純額で表示される。

その他の包括利益の要素に関連した未払税金及び繰延税金は、包括利益計算書の中で、関連する利益又は費用と合わせ、純額で表示されている。

12. 引当金

過去の事象に関連して現在の債務を決済する必要がDNBバンクに生じる可能性があり、かつ、これを信頼性をもって見積もることができる場合に引当金が認識される。

当行グループの事業の範囲や業務遂行方法を変更する事業再編計画が承認され、影響を受ける従業員に対して周知された場合は、事業再編引当金の必要性が検討される。これには、従業員との特別退職金に関する合意が組織再編の一部として用いられる場合、当該合意に係る引当金が含まれる。引当金は各報告日に見直しを行い、費用が発生した時には取り崩される。

引当金は最善の見積額により測定され、各報告日に見直され、必要に応じて調整される。

13. リース

リースは、所有権に係るすべてのリスクと経済価値が実質的に移転する場合に、ファイナンス・リースに分類される。その他のリースはオペレーティング・リースに分類される。

DNBバンクが貸手の場合

オペレーティング・リース

リース期間の満了時に、リース対象物への投資に関するリスクと経済価値のわずかとはいえない持分がDNBバンクに帰属するリースが、オペレーティング・リースである。オペレーティング・リースに供している資産は、貸借対照表では固定資産として認識される。オペレーティング・リースによる収益はリース期間にわたり定額法で認識される。当該固定資産の減価償却は、損益計算書上、通常の減価償却として表示される。

ファイナンス・リース

ファイナンス・リースは貸借対照表において貸出金として表示され、リースは開始時に当該リースに対する純投資額に等しい金額で測定される。純投資額は、最低支払リース料、無保証残存価額及びリースの交渉において貸手が負担した直接費用を、内在する金利（内部収益率）で割り引いたものに相当する金額である。リース収益は年金法で損益計算書に認識されて金利部分が「純利息収入」の項目に認識され、毎月の分割払金により貸借対照表の貸出金額が減少する。

DNBバンクが借手の場合

オペレーティング・リース

リース支払額は、リース期間にわたり定額法で費用として損益計算書上に認識される。但し、他の体系的基準がDNBバンクによる資産使用の時間的パターンをよりよく表している場合はこの限りではない。

14. キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、源泉と用途によりグループ分けされたキャッシュ・フローを示している。キャッシュ・フローは、営業活動によるもの、投資活動によるもの及び財務活動によるものに分けて表示されている。キャッシュとは、現金、中央銀行預け金及び金融機関向預け金（要求払い）と定義されている。キャッシュ・フロー計算書は直接法により作成されている。

15. 配当

予定配当は、株主総会で承認されるまでは株主資本の一部である。この時点では、配当は財務諸表上負債に表示されている。予定配当は自己資本比率の計算に含まれない。

16. 承認されたがまだ効力を発していない基準と解釈指針

2017年の年末までに、IASBは現行規則に対する多数の改訂を公表しているが、それらはまだ効力を発していない。下記は、当行グループの将来の財務報告に影響を及ぼす可能性がある改訂の詳細である。

IFRS第9号「金融商品」

2014年7月に、IASBはIFRS第9号「金融商品」という金融商品に関する新基準を公表した。新基準は2018年1月1日から適用開始となり、現行のIAS第39号に置き替わる。

IFRS第9号の会計原則と移行に係る開示は注49に表示されている。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

IFRS第15号は、2014年5月にIASBによって公表され、顧客との契約から生じる収益に対して適用されることになる、新しい5つのステップのモデルが定められている。IFRS第15号のもとでは、収益は、事業体が顧客に対する財又はサービスの移転と交換に受け取ると見込まれる対価を反映した金額で認識される。IFRS第15号の原則は、収益の測定と認識に対し、より体系立ったアプローチを設けている。

新しい収益基準はすべての事業体に適用され、IFRS下の現行のすべての収益認識要件に差し替わるものとなる。IFRS第9号「金融商品」に従って会計処理されることになる顧客との契約は、IFRS第15号の対象範囲からは除外されるため、IFRS第9号の要件に従うことになる。

IFRS第15号は2018年1月1日から適用される予定であり、2016年9月にEUにより承認された。当行グループは新規則の影響を分析しており、当行グループの収益認識方法に重要な変更はなかった。当行グループは、2018年よりこの基準を適用予定である。

IFRS第16号「リース」

2016年1月、IASBは新標準であるIFRS第16号「リース」を公表した。この新基準では、全てのリース（短期リース及び少額資産リースを除く）が対応する債務と併せて使用权資産として貸借対照表で認識されるため、借手に大きな影響を与える。リース負債及び使用权資産は、当初認識時に将来支払リース料の現在価値で測定される。リース料は、利息費用と償却費として認識される。貸手の会計処理に変更はない。

IFRS第16号は2017年10月にEUによる承認を受け、2019年1月1日より適用される予定である。当行グループは新基準の影響の分析に着手した。当行グループのリース負債の大半は、商業用不動産及びIT機器のリースから生じている。借手として、当行グループの財務諸表に見込まれる影響を合理的に見積もるにはまだ時期尚早である。当行グループは、2019年よりこの基準を適用予定である。

17. 重要な会計上の見積り、判断及び仮定

当行及び当行グループの連結財務諸表を作成する場合、経営陣は、会計方針の適用に加え、資産及び負債の帳簿価額、収益及び費用に影響を与える見積り、判断及び仮定を行う。見積りと仮定は継続的評価を前提にしており、過去の実績及び貸借対照表日時点で発生が見込まれる将来事象の予想を含めたその他の要因に基づいている。

貸出金の減損

将来キャッシュ・フローの見積りは、経験的データ及びマクロ経済の今後の動向や実際の貸出金の履行状況、貸借対照表日現在の状況に関する経営陣の判断に基づいて行われる。見積りは、事業部門及び本部の与信部門が関与したプロセスの結果であり、経営陣による最善の見積りである。貸出金の減損を検討する場合には、担保評価を含め、減損の客観的な証拠の識別、将来キャッシュ・フローの金額及びタイミングの見積り等の、複数の不確実な要素が存在する。信用リスクの管理及びフォローアップの詳細については（注5）「信用リスク」を参照のこと。

個別減損

個別の貸出金及び保証に関する減損を見積る場合は、顧客の現在及び将来の財政状態が検討される。法人顧客に関しては、顧客の債務弁済能力に影響を与えうる関連業界の市場環境及び一般市場環境とともに、市場全体の状況もレビューされる。さらに、貸出条件の緩和、リファイナンス、及び資本再編成の可能性と結果、並びに破産の可能性と担保として供された資産に対する担保権実行の可能性も考慮される。観察可能な市場データが入手できない担保の評価に関しては、不確実性が存在する。これらの要因の総合評価が将来キャッシュ・フロー見積りの根拠となる。特定の産業及び／又は地域において経済の低迷が長期化した場合、判断及び見積りの適用はより厳しいものとなる。割引期間は個別に推定されるか、又は減損の客観的な兆候を引き起こした問題の解決に至るまでに通常要する期間に関する経験的データに基づいて、推定される。

集合的減損

予想将来キャッシュ・フローは、グループ毎の予想損失及び予想される経済状況に基づいて見積りが行われる。予想損失は、関連するグループの過去の損失実績に基づいて算出される。経済状況は、当該市場についての外部情報に基づき、各グループに関する経済指標を使用して推定される。対象のグループに応じて、様々なパラメーターが使用される。主なパラメーターは、経済における設備稼働率を示す生産ギャップ、住宅価格、原油価格、サーモンの価格及び海上輸送費である。用いられた経済指標と過去の減損との間には高い相関がみられる。集合的減損の貸出金に関する予想将来キャッシュ・フローの正味現在価値を見積るために、個別評価の貸出金において観察された経験的データに基づいた割引係数が使用される。

デリバティブ及びその他金融商品の公正価値

活発な市場で取引されていない金融商品の公正価値は、種々の評価技法を使用して決定される。当行グループは、可能な限り貸借対照表日の市場環境を表す観察可能な市場データに基づいた技法と仮定を考慮して選択する。観察可能な市場データが入手できない金融商品を測定する場合、当行グループは、市場参加者が類似した金融商品の評価基準として使用すると予想されるものについて、仮定を行う。中でも流動性リスク、信用リスク及びボラティリティを計算する場合には、その評価にはかなりの判断が必要となる。これらの要因が変動した場合は、当行グループが保有する金融商品の見積り公正価値が影響を受ける。詳細については（注28）「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

繰延税金資産及び不確実な税金負債を含む、法人税

当行グループは多くの法域において法人税の課税対象となっている。当行グループの連結財務諸表において、繰延税金資産及び不確実な税金負債の認識に関する評価を含む法人税を決定する時には、かなりの判断が必要となる。

繰延税金資産は当行グループが将来の課税所得を利用できる可能性が高い範囲で認識できる。認識可能な金額を決定するためには、利用可能と見込まれる期間、税務目的で算定される利益の水準に加え、タックスプランニング戦略や将来加算一時差異の有無など、広範な評価が必要となる。多くの取引に関する最終的な税金負債額とその算定には不確実性が伴っている。当行グループは、税の不服審査に係る将来の結果に関する債務を、法人所得税の変動の見積りに基づいて認識している。貸借対照表に認識される不確実な税金債務の評価を行う場合は、当該債務の発生する蓋然性が検討される。税の不服審査の最終結果が貸借対照表に認識されていた金額と乖離してい

た場合には、その乖離は当該期間の損益計算書に計上された法人所得税費用に影響を与えることになる。

注2 セグメント

DNBにおける財務ガバナンスは異なる顧客セグメントに適応している。全体的な顧客関係とセグメント別の利益率の追求は、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。特殊商品部門には当該部門の商品の組成と開発に加え、当行グループが多様な顧客セグメントのニーズを満たすよう確実に期す責任がある。セグメント毎に報告された数値は、当該顧客セグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。DNBのバルト諸国の事業は、2017年10月1日以降、Nordeaとのジョイント・ベンチャーの一部となった。バルト諸国の事業はこの日まで、大企業・国際部門セグメントの一部であった。DNBバンクグループは2016年9月に発表した再編成を受けて、3つの顧客セグメント間でDNB Finansの事業から生じる利益の配分を変更した。2017年1月1日現在、スウェーデンにおけるDNB Finans事業からの利益は、個人顧客部門セグメント、中小企業部門セグメント及び大企業・国際部門セグメントに配分された。デンマークにおけるDNB Finans事業からの利益は、中小企業部門セグメント及び大企業・国際部門セグメントに配分された。以前は、両国におけるDNB Finans事業からの利益は、大企業・国際部門セグメントに含まれていた。ノルウェーの様々なセグメントにおけるDNB Finans事業から生じる利益の配分についても変更が行われた。2016年度の数値も変更に対応して調整されている。

| | |
|--------|--|
| 個人顧客部門 | 電子的なチャネル及び対面のチャネルの両方を含むすべてのチャネルを通じた、個人顧客向けの当行グループの全商品及びサービスを含む。DNBは、外部チャネル（郵便局や店舗内の郵便及び銀行業務）に加え、支店、テレフォンバンキング（年中無休）、デジタルバンキング、不動産売買仲介などから成るノルウェー最大の流通網を通じて、多様な商品を展開している。スウェーデンにおけるクレジットカード及び消費者金融もこの事業部門に含まれる。 |
|--------|--|

| | |
|--------|--|
| 中小企業部門 | ノルウェー国内の中小企業に向けて、商品販売と助言業務を行っている。このセグメントの顧客は、小企業や設立間もない企業から比較的大規模な法人顧客まで多岐にわたっており、展開している商品も顧客のさまざまなニーズに応じて柔軟に対応している。中小企業に対しては、デジタルとテレフォンバンキング（年中無休）に加え、ノルウェー全土にわたる当行グループの物流ネットワークを通じてサービスを提供している。スウェーデン及びデンマークにおける中小企業向けのファクタリング、リース及びアセット・ファイナンスもこの事業部門に含まれる。 |
|--------|--|

大企業・国際部門 ノルウェー国内外の大手法人企業が含まれる。業務は十分な金融業界の専門知識と長期的な顧客関係の維持に基づいて行われている。

トレーディング部門 マーケット・メイキングのほか、顧客取引に内在するリスクのリスク管理を含む株式、債券、通貨及びコモディティ（FICC）に関するその他のトレーディング業務が含まれている。マーケット部門のトレーディング業務は顧客の活動をサポートするものである。

各セグメントに関する損益計算書及び貸借対照表は、現在の事業展開の評価及び資源配分のため、グループ経営陣（最高経営意思決定機関）向けに報告される、DNBバンクグループの機能組織別のセグメントに関する内部財務報告に基づいて作成されている。各セグメントの数値は、当行グループの会計方針及びDNBの管理モデルに基づいている。当行グループのセグメント間での費用及び資本の配賦には、多くの仮定、見積り及び裁量的な配分が関係している。

各セグメントに配賦される資本は、当行グループの普通株式等Tier1資本及び長期的な資本構成目標に基づいて算定される。すべてのユニットへの資本配賦は、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに対する所要自己資本を伴う、当行グループによるバーゼルIIIへの準拠に基づいて行われている。信用リスクに対する資本配賦は、当行グループの、信用に係るリスク調整後所要資本の内部測定に基づいている。市場リスクに対する所要自己資本は、加重リスク量に従って直接配賦され、オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本は個々のユニットの収益合計に基づいて配賦されている。

損益計算書

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 個人顧客部門 | | 中小企業部門 | | 大企業・国際部門 | | トレーディング部門 | | その他の事業 / 消去1) | | DNBバンクグループ | |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|-----------|--------|---------------|---------|------------|----------|
| | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| 純利息収入 | 13,336 | 12,758 | 8,578 | 7,941 | 12,682 | 13,182 | (76) | 28 | 1,394 | 609 | 35,914 | 34,517 |
| その他の営業収益純額 | 3,716 | 3,631 | 1,549 | 1,480 | 4,897 | 5,255 | 2,453 | 2,976 | (190) | 1,974 | 12,425 | 15,316 |
| 収益合計 | 17,051 | 16,389 | 10,127 | 9,421 | 17,579 | 18,437 | 2,377 | 3,004 | 1,204 | 2,582 | 48,339 | 49,833 |
| 営業費用 | (7,626) | (7,910) | (3,420) | (3,152) | (6,360) | (6,103) | (501) | (547) | (1,554) | (699) | (19,460) | (18,413) |
| 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損 | (106) | (70) | (686) | (724) | (727) | (724) | (1) | (1) | (949) | (583) | (2,469) | (2,103) |
| 営業費用合計 | (7,731) | (7,980) | (4,106) | (3,876) | (7,086) | (6,828) | (502) | (548) | (2,503) | (1,283) | (21,928) | (20,516) |
| 減損前の税引前営業利益 | 9,320 | 8,409 | 6,021 | 5,545 | 10,493 | 11,609 | 1,876 | 2,455 | (1,299) | 1,300 | 26,410 | 29,317 |
| 固定資産及び無形資産に係る純利得 | 0 | 0 | (1) | 2 | 20 | 23 | | | 716 | (44) | 735 | (19) |
| 貸出金及び保証に係る減損2) | (207) | 379 | (413) | (1,088) | (1,800) | (6,715) | | | (8) | 0 | (2,428) | (7,424) |
| 再取得した業務からの利益 | | | 14 | 6 | (19) | 8 | | | 4 | (14) | | |
| 税引前営業利益 | 9,113 | 8,788 | 5,621 | 4,465 | 8,694 | 4,925 | 1,876 | 2,455 | (587) | 1,241 | 24,718 | 21,874 |
| 法人所得税費用 | (2,278) | (2,197) | (1,405) | (1,116) | (2,434) | (1,330) | (431) | (614) | 1,646 | 1,293 | (4,903) | (3,964) |
| 売却目的保有の事業による利益（税引後） | | | (1) | | 0 | 3 | | | (1) | 2 | (1) | 4 |
| 当期利益 | 6,835 | 6,590 | 4,216 | 3,348 | 6,260 | 3,599 | 1,444 | 1,841 | 1,059 | 2,536 | 19,813 | 17,914 |

- 1) その他の事業 / 消去に関する詳細については、下記の表を参照。
 2) 当行グループの減損の総変動額の分析については、（注10）「主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損」を参照。

貸借対照表

DNBバンク グループ

| | 個人顧客部門 | | 中小企業部門 | | 大企業・国際部門 | | トレーディング部門 | | その他の事業／消去 | | DNBバンクグループ | |
|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 |
| (単位：十億ノルウェー・クローネ) | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 |
| 顧客向貸出金 ¹⁾²⁾ | 747 | 706 | 291 | 266 | 410 | 500 | 39 | 30 | 45 | (9) | 1,531 | 1,492 |
| 売却目的保有の資産 | | | | | | 0 | | | | 52 | | 53 |
| その他の資産 | 21 | 26 | 12 | 10 | 82 | 135 | 1,269 | 1,240 | (556) | (608) | 829 | 803 |
| 資産合計 | 768 | 732 | 303 | 276 | 492 | 635 | 1,308 | 1,270 | (512) | (565) | 2,360 | 2,348 |
| 顧客預金 ¹⁾²⁾ | 403 | 397 | 207 | 190 | 326 | 379 | 44 | 14 | 0 | (34) | 980 | 946 |
| 売却目的保有の負債 | | | | | | | | | | 41 | | 41 |
| その他の負債 | 327 | 298 | 71 | 60 | 94 | 172 | 1,257 | 1,249 | (573) | (608) | 1,176 | 1,171 |
| 負債合計 | 730 | 696 | 277 | 249 | 419 | 551 | 1,302 | 1,263 | (572) | (601) | 2,156 | 2,158 |
| 配賦資本 ³⁾ | 38 | 37 | 26 | 26 | 73 | 84 | 6 | 7 | 61 | 36 | 204 | 190 |
| 負債及び資本合計 | 768 | 732 | 303 | 276 | 492 | 635 | 1,308 | 1,270 | (512) | (565) | 2,360 | 2,348 |

- 1) DNBのバルト諸国の事業は、2017年10月1日以降、Nordeaとのジョイント・ベンチャーの一部となった。バルト諸国の事業はこの日までは大企業・国際部門セグメントの一部であった。バルト諸国の顧客向貸付金及び顧客預金は、2016年8月に売却目的保有の資産及び負債に分類変更されたにもかかわらず、2016年12月31日現在は大企業・国際部門に含まれていた。2016年12月31日現在のこの分類変更は、その他の事業/消去に反映されている。
- 2) 顧客向貸出金には、未収利息、減損及び評価調整が含まれている。同様に、顧客預金には未払利息及び評価調整が含まれている。2016年11月に、約5十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。2016年の第4四半期に、2.6十億ノルウェー・クローネ及び4.5十億ノルウェー・クローネの商業用不動産担保ローンが、DNBナールینگスクレディット及びDNBバンクからDNBエイ・エス・エイが保有する生命保険会社であるDNBリフスフォルシクリンにそれぞれ売却された。
- 3) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本規制要件（バーゼルIII/ソルベンシーII）に基づいて計算されている。2017年に配賦された資本は普通株式Tier1資本の16.0%であり、2016年は17.2%であった。計上された資本は当行グループのために使用されている。

主要な数値

DNBバンク グループ

| | 個人顧客部門 | | 中小企業部門 | | 大企業・国際部門 | | トレーディング部門 | | その他の事業／消去 | | DNBバンクグループ | |
|------------------------------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|------------|--------|
| | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| (単位：%) | | | | | | | | | | | | |
| 収益に対する費用の比率 ¹⁾ | 45.3 | 48.7 | 40.5 | 41.1 | 40.3 | 37.0 | 21.1 | 18.3 | | | 45.4 | 41.2 |
| 12月31日現在の預金の貸出に対する比率 ²⁾ | 54.0 | 56.3 | 70.9 | 71.3 | 79.5 | 75.9 | | | | | 64.0 | 63.4 |
| 配賦資本に対するリターン ³⁾ | 18.1 | 17.6 | 16.4 | 12.7 | 7.7 | 4.3 | 21.1 | 25.4 | | | 10.5 | 10.3 |

- 1) 収益合計に対する営業費用合計。
- 2) 顧客向貸出金に対する顧客預金。
- 3) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本規制（バーゼルIII/ソルベンシーII）に基づいて算出されている。計上された資本は当行グループのために使用されている。

その他の事業／消去

その他の事業／消去には、IT、人事・オペレーション、グループ・トレジャリーを含むグループ・ファイナンス、リスク管理、メディア・マーケティング、コンプライアンス、新規事業、部分保有している会社であるノルウェー輸出金融公社、ITインフラへの投資が含まれる。それに加え、その他の事業／消去には、セグメントには配賦されない当行グループの資本の一部が含まれている。DNBバンク グループに全部連結されている再取得した業務からの利益は、当社の内部報告セグメントの中に「再取得した業務からの利益」として純額表示されている。取得した企業及びすべてのグループ内の消去はその他の事業／消去に含められている。

Vipps ASの設立及びDNBが他のノルウェーの銀行105行と締結した契約を受けて、2017年第3四半期に754百万ノルウェー・クローネが固定資産及び無形資産に係る純利得として認識され、その他の事業／消去に表示された。DNBは新法人（Vipps AS）の持分を52パーセント近くまで所有する予定である。しかし、株主間契約の規定により、Vipps ASを関連会社とすることが決定され、同社は持分法によりDNBに連結された。株主総会におけるDNBの議決権比率は49.9パーセントであり、7名のうち3名がDNBの取締役である。

税引前営業利益

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | |
|--------------------------|-------------|--------|
| | 2017年度 | 2016年度 |
| 未配賦の受取利息 | 671 | 190 |
| 保証金課税 | (78) | (2) |
| 持分投資による利益 (注20を参照のこと。) | 81 | 61 |
| 固定資産及び無形資産に係る利得 | 716 | (44) |
| 金融商品に係る時価調整 (注20を参照のこと。) | (366) | 436 |
| ベースス・スワップ (注20を参照のこと。) | (672) | (542) |
| 関連会社からの収益 | (112) | 1,190 |
| 投資不動産に係る純利得 | 185 | 34 |
| 再取得した業務からの利益 | 4 | (14) |
| 未配賦の人件費 (注21を参照のこと。) | (281) | (136) |
| 未配賦のIT及びオペレーション費用 | 74 | 205 |
| Crescoに関連するのれんの減損損失 | (502) | |
| その他 | (307) | (137) |
| 税引前営業利益 | (587) | 1,241 |

地域別**損益計算書**

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | | | | | |
|-------------------|-------------|--------|--------|--------|-------------|--------|
| | 国際業務 | | ノルウェー | | DNBバンク グループ | |
| | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| 純利息収入 | 6,095 | 7,863 | 29,818 | 26,654 | 35,914 | 34,517 |
| その他の営業収益純額 | 2,408 | 2,687 | 10,017 | 12,629 | 12,425 | 15,316 |
| 収益合計 | 8,504 | 10,550 | 39,835 | 39,283 | 48,339 | 49,833 |

貸借対照表

| (単位：十億ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | | | | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 国際業務 | | ノルウェー | | DNBバンク グループ | |
| | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 |
| | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 |
| 顧客向貸出金 | 207 | 224 | 1,325 | 1,268 | 1,531 | 1,492 |
| 資産合計 | 243 | 314 | 2,117 | 2,034 | 2,360 | 2,348 |
| 保証 | 32 | 35 | 66 | 63 | 98 | 99 |

プロダクト情報

プロダクトの詳細については、(注17)「純利息収入」、(注18)「貸借対照表項目(抜粋)に係る金利」、並びに(注19)「正味手数料」を参照のこと。

注3 自己資本対策及び自己資本規制

DNBグループは、規制による普通株式等Tier1（以下、「CET1」という。）資本比率合計に加え、約1.0%の経営上のバッファを維持することを目指している。経営上のバッファの目的は、例えば、為替レートの動向や信用スプレッドの変動等の結果として生じるリスク加重資産や収益の変動を吸収することにある。これにより当グループは貸付の正常な成長並びに予測可能な配当政策を維持することが可能になる。2017年度末現在、規制CET1資本比率の合計は15.2%であった。DNBの内部目標値は16.1%であった。資本構成の目標値は常に、当グループのリスク加重資産を踏まえたものである。ノルウェーの銀行は、自己資本規制計算の移行ルールの対象となり、リスク加重資産合計はバーゼル 規制に従い計算された対応数値の80%を下回らないと規定されている。

2017年度末現在、DNBバンク グループのCET1資本比率は16.2%、自己資本規制比率は20.6%であり、前年度はそれぞれ15.7%及び20.0%であった。リスク加重資産は、2017年度末は1,015十億 ノルウェー・クローネであり、前年度は1,041十億 ノルウェー・クローネであった。

2017年度末現在、DNBバンク エイ・エス・エイのCET1資本比率は17.7%、前年度末は19.1%であった。2017年度末現在、自己資本規制比率は23.0%、前年度末は24.8%であった。

2017年度末現在、リスク加重資産の移行ルールに従い算出されたDNBボーリ・クレジット エイ・エスのCET1資本比率は16.6%、自己資本規制比率は18.5%であった。移行ルールが適用されなかった場合、2017年度末現在のDNBボーリ・クレジットのCET1資本比率及び自己資本規制比率は、それぞれ21.4%及び24.0%となる。

リスク加重自己資本規制制度の補足として、バーゼル委員会は新たな自己資本測定「レバレッジ比率」又はノンリスクベースCET1資本比率を導入した。ノルウェー財務省は、ノルウェーの金融機関及び投資会社向けのレバレッジ比率の最低要件を設定した。レバレッジ比率の最低要件は、その他Tier1資本を含むCET1資本に基づき計算され、2017年6月30日に発効された。算出基準は、通常の自己資本比率を算出するための標準的手法で使用される掛目で算定された資産及びオフバランスシート項目で構成されている。さらに、デリバティブ及びレポ取引に対し特別な調整が行われる。保険業務は含まれていない。資本の定義と算出基準は国際規則に準拠している。ノルウェーのレバレッジ比率要件は、全金融機関に適用される3%の最低要件、銀行に強制適用される2%のバッファ、システム上重要な銀行に強制適用される1%の追加バッファからなる。DNBはノルウェーで唯一、6%のレバレッジ比率が要求される金融機関である。

当行グループは、CRR第429条（改訂）及び2015年1月18日に発効した欧州委員会規則に従いレバレッジ比率を算出している。2017年度末現在、当行グループのレバレッジ比率は6.9% であり、前年度は7.1%であった。DNBは最低要件である6%を大幅に上回っている。

自己資本規制

自己資本規制はノルウェーの規制に従って算出され、報告されており、これはおおむね金融機関及び投資会社に対するEUの所要自己資本規制（CRD / CRR）に沿ったものとなっている。規制上の連結は財務書類上の連結とは乖離しており、親会社に加え、金融セクターに属する子会社及び関連会社で構成されている。関連会社は比例連結されている。

| DNBバンク エイ・エス・エイ 第一次自己資本 | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------------|-------------------|---|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 168,104 | 169,720 | 資本合計 | 203,685 | 190,078 |
| | | 規制上の連結による影響 | 183 | (181) |
| (15,574) | (15,574) | 資本合計に含まれるその他Tier1資本調達手段 | (15,574) | (15,574) |
| (284) | (439) | その他Tier1資本調達手段に係る正味未払利息 | (439) | (284) |
| 152,246 | 153,708 | 普通株式等Tier1資本調達手段 | 187,856 | 174,039 |
| | | 控除 | | |
| | | 年金債務を上回る年金基金 | | |
| (2,900) | (2,404) | のれん | (2,559) | (2,951) |
| (224) | (584) | 一時差異に係るものを除く繰延税金資産 | (454) | (482) |
| (699) | (1,110) | その他の無形資産 | (1,984) | (946) |
| | | グループ配当（未払） | (15,804) | (5,084) |
| (6) | (951) | IRBポートフォリオの実損失を上回る予想損失 | (1,915) | (153) |
| (479) | (449) | 慎重な価値評価の要件に基づく評価調整(AVA) | (720) | (786) |
| | | 公正価値で計上された負債に係る未実現損失 / (利得) に対する調整 | 123 | (90) |
| 107 | 123 | デリバティブ負債に係る当該機関の自己の信用リスクから生じる未実現損失 / (利得) に対する調整(DVA) | (113) | (159) |
| (580) | (481) | | | |
| 147,467 | 147,851 | 普通株式等Tier1資本 | 164,431 | 163,388 |
| 17,471 | 15,574 | その他Tier1資本調達手段 | 15,574 | 17,471 |
| 164,938 | 163,425 | Tier1資本 | 180,005 | 180,860 |
| 5,602 | 5,361 | 永久劣後債 | 5,361 | 5,602 |
| 21,249 | 23,897 | 期限付劣後債 | 23,897 | 21,249 |
| 26,851 | 29,258 | Tier2資本 | 29,258 | 26,851 |
| 191,789 | 192,683 | 適格自己資本合計 | 209,263 | 207,711 |
| 773,244 | 835,986 | リスク加重資産、移行ルール | 1,014,683 | 1,040,888 |
| 61,860 | 66,879 | 最低所要自己資本、移行ルール | 81,175 | 83,271 |
| 19.1 | 17.7 | 普通株式等Tier1資本比率、移行ルール(%) | 16.2 | 15.7 |
| 21.3 | 19.5 | Tier1資本比率、移行ルール(%) | 17.7 | 17.4 |
| 24.8 | 23.0 | 自己資本比率、移行ルール(%) | 20.6 | 20.0 |

パーゼル

信用ポートフォリオの大半はIRB手法に従って報告されている。ただし、銀行及び金融機関（DNBバンク）という一つのポートフォリオについては依然として、IRBに関するFinanstilsynetからの最終的な承認を待っている状況にある。

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク エイ・エス・エイ

| | 名目エクスポージャー 2017年 12月31日 現在 | EAD ¹⁾ 2017年 12月31日 現在 | 平均リスク 加重（％） 2017年 12月31日 現在 | リスク加重 資産 2017年 12月31日 現在 | 所要 自己資本 2017年 12月31日 現在 | 所要 自己資本 2016年 12月31日 現在 |
|----------------------------|-------------------------------------|--|---|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| （単位：百万ノルウェー・クローネ） | | | | | | |
| IRB手法 | | | | | | |
| 事業法人 | 716,183 | 581,120 | 54.9 | 319,273 | 25,542 | 23,407 |
| 特別貸出（SL） | 10,551 | 9,615 | 51.5 | 4,948 | 396 | 311 |
| リテール - 住宅ローン | 100,735 | 100,735 | 24.5 | 24,677 | 1,974 | 1,593 |
| リテール - その他のエクスポージャー | 99,660 | 85,663 | 25.5 | 21,812 | 1,745 | 1,901 |
| 証券化 | 9,613 | 9,613 | 81.4 | 7,827 | 626 | 937 |
| 信用リスク合計、IRB手法 | 936,742 | 786,746 | 48.1 | 378,536 | 30,283 | 28,150 |
| 標準的手法 | | | | | | |
| 中央政府 | 84,822 | 53,137 | 0.1 | 74 | 6 | 6 |
| 金融機関 | 596,082 | 412,768 | 22.9 | 94,629 | 7,570 | 6,194 |
| 事業法人 | 102,578 | 81,346 | 93.1 | 75,735 | 6,059 | 6,009 |
| リテール - 住宅ローン | 8,187 | 7,661 | 39.2 | 3,004 | 240 | 210 |
| リテール - その他のエクスポージャー | 102,158 | 35,316 | 74.5 | 26,300 | 2,104 | 2,018 |
| 株式 | 124,991 | 124,991 | 100.2 | 125,224 | 10,018 | 9,639 |
| その他の資産 | 16,076 | 16,076 | 147.6 | 23,725 | 1,898 | 820 |
| 信用リスク合計、標準的手法 | 1,034,894 | 731,294 | 47.7 | 348,692 | 27,895 | 24,896 |
| 信用リスク合計 | 1,971,636 | 1,518,040 | 47.9 | 727,228 | 58,178 | 53,045 |
| 市場リスク | | | | | | |
| ポジション・リスク - 負債性金融商品 | | | | 20,253 | 1,620 | 1,855 |
| ポジション・リスク - 資本性金融商品 | | | | 262 | 21 | 25 |
| 為替リスク | | | | | | |
| コモディティ・リスク | | | | 23 | 2 | 6 |
| 信用評価調整リスク（CVA） | | | | 11,098 | 888 | 974 |
| 市場リスク合計 | | | | 31,637 | 2,531 | 2,860 |
| オペレーショナル・リスク | | | | 77,122 | 6,170 | 5,955 |
| 移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計 | | | | 835,986 | 66,879 | 61,860 |
| 移行ルール適用による追加の所要自己資本 | | | | | | |
| リスク加重資産及び所要自己資本合計 | | | | 835,986 | 66,879 | 61,860 |

1) EAD（デフォルト時のエクスポージャー）

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク グループ

| | 名目エクスポージャー | EAD ¹⁾ | 平均リスク加重 (%) | リスク加重資産 | 所要自己資本 | 所要自己資本 |
|-----------------------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 2017年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2017年 12月31日 | 2016年 12月31日 |
| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 |
| IRB手法 | | | | | | |
| 事業法人 | 964,724 | 790,118 | 55.7 | 439,960 | 35,197 | 32,619 |
| 特別貸出 (SL) | 11,582 | 10,645 | 53.3 | 5,676 | 454 | 356 |
| リテール - 住宅ローン | 748,668 | 748,668 | 22.1 | 165,245 | 13,220 | 12,465 |
| リテール - その他のエクスポージャー | 99,660 | 85,663 | 25.5 | 21,812 | 1,745 | 1,901 |
| 証券化 | 9,613 | 9,613 | 81.4 | 7,827 | 626 | 937 |
| 信用リスク合計、IRB手法 | 1,834,246 | 1,644,706 | 38.9 | 640,519 | 51,241 | 48,279 |
| 標準的手法 | | | | | | |
| 中央政府 | 107,116 | 76,481 | 0.1 | 74 | 6 | 7 |
| 金融機関 | 286,838 | 142,630 | 29.0 | 41,400 | 3,312 | 2,243 |
| 事業法人 | 174,572 | 141,048 | 87.0 | 122,703 | 9,816 | 8,799 |
| リテール - 住宅ローン | 58,925 | 56,340 | 49.0 | 27,588 | 2,207 | 1,805 |
| リテール - その他のエクスポージャー | 117,871 | 47,773 | 77.0 | 36,765 | 2,941 | 2,939 |
| 株式 | 8,049 | 8,048 | 102.9 | 8,281 | 662 | 703 |
| 証券化 | | | | | | 41 |
| その他の資産 | 10,880 | 10,880 | 58.9 | 6,410 | 513 | 859 |
| 信用リスク合計、標準的手法 | 764,251 | 483,198 | 50.3 | 243,221 | 19,458 | 17,395 |
| 信用リスク合計 | 2,598,497 | 2,127,905 | 41.5 | 883,739 | 70,699 | 65,674 |
| 市場リスク | | | | | | |
| ポジション・リスク - 負債性金融商品 | | | | 13,997 | 1,120 | 1,169 |
| ポジション・リスク - 資本性金融商品 | | | | 262 | 21 | 25 |
| 為替リスク | | | | | | |
| コモディティ・リスク | | | | 23 | 2 | 6 |
| 信用評価調整リスク (CVA) | | | | 5,867 | 469 | 493 |
| 市場リスク合計 | | | | 20,150 | 1,612 | 1,692 |
| オペレーショナル・リスク | | | | 89,234 | 7,139 | 6,675 |
| 移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計 | | | | 993,123 | 79,450 | 74,042 |
| 移行ルール適用による追加の所要自己資本 ²⁾ | | | | 21,560 | 1,725 | 9,229 |
| リスク加重資産及び所要自己資本合計 | | | | 1,014,683 | 81,175 | 83,271 |

1) EAD (デフォルト時のエクスポージャー)

2) 移行ルールのため、最低所要自己資本は、バーゼルIIに則って算出した所要自己資本の80%を下回ることはできない。

[次へ](#)

注4 リスク管理

DNBにおけるリスク管理

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、全般的にリスク・プロファイルに対しては保守的な姿勢を維持し、並びに通常の長期負債に関してAAレベルの格付を維持するという目標を明確に掲げている。DNBの収益性は、金融サービスに伴い生ずるリスクを特定し、管理し、正確にプライシングをすることができるかどうかという能力に掛かっている。

組織体制及び承認手順

取締役会。 DNB エイ・エス・エイの取締役会は、当グループのリスク・プロファイルに関して長期目標を設定している。リスク・プロファイルは、承認の設定を含むリスク管理の枠組みの中で管理される。リスク・テイキングは、決められた限度内にとどめなければならない。

承認。 信用供与並びにすべての重要な金融分野におけるポジション及びトレーディングの限度枠に関して承認を受けなければならない。

すべての承認は個々に行われる。承認及びグループの限度枠は取締役会が決定し、組織内で委任されるが、さらに他に委任する際には直属の上司の承認を必要とする。

限度枠の年次見直し。 リスク限度枠は、予算策定及び計画立案のプロセスに関連して年に最低でも一回見直される。

独立したリスク管理機能。 リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業部門の業務からは独立した部門によって行われる。

役割及び責務

DNBのリスク管理は、3つの防衛線のモデルに基づいている。

第1の防衛線は、業務の効率性に関して定められた目標達成のためのプロセス及び活動を含む、業務部門管理者によるガバナンス及び内部統制、信頼性のある財務報告並びに法律及び規制の遵守である。業務部門管理者は、事業部の活動及びプロセスに関連するすべてのリスクに責任を負う。

第2の防衛線は、業務部門管理者によるガバナンス及び内部統制を監視及び追跡調査する独立した部門である。第2の防衛線は、リスク管理、組織間の調整及びリスクの報告のための前提を設定することに責任を負う。

第3の防衛線は、グループ経営陣の全体的なガバナンス及び内部統制を審査及び評価するグループ監査部門である。グループ監査部門は、当グループの上級経営陣から独立しており、DNBエイ・エス・エイの取締役会に直属する。

リスク情報のモニタリング及び利用

説明責任。すべての役員は、自身の担当分野のリスクに関して責任を負い、常に最新のリスク状況を完全に把握していなければならない。

リスクに関する報告。当グループのリスクに関する報告は、すべての役員が現在のリスク水準及び将来の動向に関する必要な情報を持てるようにするためのものである。高品質かつ独立したリスク報告を行えるように、報告に関する責任は、事業部門からは独立した部門に課せられる。

資本評価。当グループの自己資本及びリスク状況に関する概要及び分析は、DNB エイ・エス・エイの取締役会に四半期ごとのリスク報告書で提出される。

リスク情報の利用。リスクは事業部門の管理及びモニタリングの不可欠な部分である。リスク調整後リターンは、商品の価格算定、利益の計算並びに事業部門の業績モニタリングに反映される。

関連するリスク尺度

リスク選好度。DNBは明確化された目標値並びにリミットを通じてリスクをモニタリングしている。リスク選好度フレームワークは、DNBグループにとって重要であると考えられるリスクを網羅した16のステートメントで構成され、当行のリスクの全体像が俯瞰できるようになっている。目標値に対するリスクの動向がモニタリングされ、月次で当グループの経営チームに報告され、四半期ごとにDNBの取締役会に報告されている。リスク選好度の項を参照のこと。

当グループに共通のリスク尺度。当グループのリスクは、当グループのすべての事業部門並びに流動性リスクを除く主要なリスク・カテゴリーに関して算定され、経済資本の形で測定される。経済資本の項を参照のこと。

補完的なリスク尺度。さらに、リスクは、多岐にわたる事業部門の運営に適用される補完的なリスク尺度によってフォローアップされる。この補完的なリスク尺度は、例えば、限度枠、主要数値及びポートフォリオのリスク目標値と関連したポジションのモニタリング等である。

リスク・カテゴリー

DNBではリスクは、特別な測定及びモニタリングの対象となる、6つの主要カテゴリーに分類されている。

信用リスクは、当グループの顧客が債務の支払いができなかったことによって生じる金銭上の損失リスクである。信用リスクには、貸付金を中心とする顧客に対する債権すべてのみならず、それ以外の承認済み与信、保証、固定利付債券、未実行与信残高及び銀行間預金に関する債務が含まれる。信用リスクには残余リスク及び集中リスクも含まれる。残余リスクは、エクスポージャーを裏付ける担保価値が見込みよりも低くなるリスクである。集中リスクには、特定の顧客に対する大口エクスポージャーに係るリスクや、特定の地域や産業、又は同質の顧客グループに貸出金が偏るリスクが含まれる。カウンターパーティー・リスクも信用リスクの一つであり、デリバティブ取引を通じて生じる。契約に係る支払送金や決済に関連したカウンターパーティー・リスクの重要な要素が存在するが、これらは信用リスクには含まれない。

市場リスクは、外国為替、金利、コモディティ及び株式市場における当行の未ヘッジポジションがもたらす損失のリスクである。当リスクは、市場価格及び為替相場の変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクは、通常のトレーディング業務を通じて生じるリスク並びに銀行業務及びその他の事業運営の一環として生じるリスクの双方を含む。さらに、DNBリフスフォルシクリン エイ・エスの市場リスクは、金融資産からのリターンが保険契約に定められた債務を履行するために十分でないリスクを反映して生じる。

オペレーショナル・リスクは、内部プロセス及びシステムの不備又は誤謬、人為的エラー又は外部事象が引き起こす損失のリスクである。オペレーショナル・リスクはまたコンプライアンス・リスク、法的リスク、コンダクト・リスク及び情報セキュリティを含むITリスクを含む。オペレーショナル・リスクには戦略リスクや風評リスクは含まれない。オペレーショナル・リスクは組織全体に関連しており、オペレーショナル・リスク事象は様々な形で組織のあらゆる部分に影響を与える可能性がある。コンプライアンス・リスクは法令違反の結果として生じる損失リスクである。法的リスクは、契約の書類作成及び解釈、銀行業務を行う法域で異なる法律実務に関連している。コンダクト・リスクは、顧客本位でない金融サービスの提供又は一般的に非難されるべき行動に起因する損失に関連する既存又は潜在的な損失リスクとして定義される。

保険リスクは、DNBリフスフォルシクリン エイ・エス及びDNBフォルシクリン・エイ・エスに生じ、将来の保険債務に関連している。生命保険では、保険リスクは保険契約者の平均余命及び就業不能率の変動を反映している。損保保険では、保険リスクは将来の保険金支払の発生頻度及び支払額に関連している。

流動性リスクは、当行グループが期限の到来した債務を履行できないリスクであるほか、当行グループが付随費用の大幅な増加なくして流動性確保義務を満たすことができなくなるリスクである。流動性は金融業に不可欠である。他の事象が当行グループの債務履行能力に関する懸念を引き起こすまで顕在化しないという点で、このリスク・カテゴリーは条件付きとなることが多い。

事業リスクは、市況又は政府の規制などの外部要因の変動による収益の変動又は風評の悪化による収益の喪失に関するものである。風評リスクは、多くの場合、その他のリスク・カテゴリーの結果として生じる。当行グループのビジネスリスクは、主として当行グループの評判を守り、高めるための戦略プロセス及び継続的取組みを通じて対処されている。当グループのリスク選好度の決定及びフォローアップを行う際に、風評リスクは独立したリスクとして定義されている。風評リスクはメディア報道をモニタリングすることにより追跡管理され、一方で、競争状況は市場動向と市場占有率の趨勢分析により追跡管理されている。

上述のリスク・カテゴリーに加え、当行グループは、既存の戦略的チャンスを有効に生かすことができなかった場合に収益が悪化するリスクとして定義される戦略リスクにさらされている。当行グループの戦略リスクは、個別に測定並びに報告はされないが、年次戦略プロセスの一環として議論されている。

リスク選好度

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度フレームワークを通じて、当グループのリスク・プロファイルの長期的な目標を設定している。リスク選好度フレームワークは、当グループのガバナンスプロセスと一体化されるよう確実を期すことを目的としている。リスク選好度フレームワークは、事業におけるリスクに関して、バランスよく全体像を俯瞰できるものでなければならない。2017年には、フレームワークは、16のステートメントで構成されていた。このフレームワークを支えるために、DNBグループにおける一連のガバナンス原則、運用手続き及び責任が明確化されている。目標とするリスク・プロファイルも、権限及びビジネスリミットの策定を含め、リスク管理の他の部分に反映されている。当該リスク選好度フレームワークについては、少なくとも一年に一度は検証が行われる。また取締役会も、リスクレベル、フレームワークのありかたに加え、関連するリスク・カテゴリーの報告についても定期的に検証を行っている。

リスク選好度フレームワークのリミットは、各事業部門及びサポート部門で実際に使われている。当グループのガバナンスシステムでは、リスク選好度フレームワークは選択されたリスク指標に対する目標値として設定されている。通常、リスク指標は（定量化が可能なリスクに対する）リミット又は、リスクレベルに対する定性的な評価の形を採る。この指標は、対応すべきリスクタイプや傾向は同じであっても、必ずしもグループレベルで用いられているものと同じ測定パラメーターに基づいている必要はない。これらの目標値を継続的にモニタリングすることにより、最も重要であると考えられるリスクも、組織内のモニタリングと討議の対象となる。

DNBバンク グループの経済資本

DNBはすべての主要なリスク・カテゴリーに対して経済資本を定量化している。トータルリスク・モデルであるシミュレーションモデルは、当行グループの様々なリスク・カテゴリー及び全体両方における予期せぬ損失を算定する際に利用されている。すべての重要なプロフィット・センター、顧客及び商品に対して算定が行われる。定量化は過去のデータについての様々なリスク・カテゴリーの統計的確率計算に基づいている。過去のデータの質が十分でない場合、裁量的評価も実施される。シミュレーションモデルでは初め、様々なリスク・カテゴリーに関連した損失リスクが個別にシミュレートされ、その後トータルリスクが推計される。すべての損失が同時に発生する可能性は高くないため、分散化効果はさまざまなリスクをあわせて考慮した場合に生じる。リスク・カテゴリーと事業部門の間にみられる分散化効果は、当グループの経済資本が、仮に事業部門が独立した企業であったと想定した場合よりも、かなり低くなっていることを意味している。

DNBは、経済資本が一年内のタイム・ホライズンで潜在的な損失を99.9%カバーするものとするとして規定している。2017年度に、信頼区間は規制上の自己資本との整合性を高めるために99.97%から下方修正されている。

注5 信用リスク

信用リスク又はカウンターパーティ・リスクは、当行グループの顧客又はカウンターパーティが、当行グループに対して支払債務を履行できなくなることによる財務上の損失リスクである。信用リスクは貸出金を中心とする顧客又はカウンターパーティに対する債権すべてに関連しているだけでなく、他の幅広い信用供与、保証、利付証券、未使用の与信枠、デリバティブ取引及び銀行間の預け金などがそれに含まれる。信用リスクには残余リスク及び集中リスクも含まれる。残余リスクは、エクスポージャーを裏付ける担保価値が見込みよりも低くなるリスクである。集中リスクには、特定の顧客に対する大口エクスポージャーに係るリスクや、特定の地域や産業、又は同質の顧客グループにコミットメントが偏るリスクが含まれる。

信用リスク管理及び測定に関しては、リスク及び自己資本管理（第3の柱）レポートの中にさらに詳細が記載されている。与信業務に係る当行グループのガイドラインは、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会による承認を受けている。与信業務の主な目的は、貸出ポートフォリオの質と構成が、当行グループの短期及び長期の収益性の適切な基盤となるよう確実を期することである。貸出ポートフォリオの質は、リスクの低いポートフォリオを維持するというDNBの目標と整合すべきである。当行グループの信用リスクがリスク調整後経済資本として計量化されている（注4）「リスク管理」もあわせて参照されたい。

信用リスクの最大エクスポージャーには、金融資産の帳簿価額に加え、主として保証や未使用の与信枠と貸出枠等による未計上のエクスポージャーがある。保証、未使用の与信枠と貸出枠については、（注48）「オフ・バランスシート取引及び偶発事象」に記載されている。最大信用リスク・エクスポージャーとそれに関連する担保は下記の通りである。

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク エイ・エス・エイ

2017年12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 信用リスクの 最大エクスポ ージャー | 不動産による 担保 | 有価証券による 担保 | その他の担保 ¹⁾ |
|------------------------------|--------------------------|--------------|---------------|----------------------|
| 中央銀行預け金 | 150,157 | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 580,973 | | 192,707 | 39 |
| 顧客向貸出金 | 730,782 | 264,653 | 62,769 | 219,991 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 271,607 | | | |
| デリバティブ | 146,953 | | 1,753 | 95,973 |
| その他資産 | 21,630 | | | |
| 貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー | 1,902,102 | 264,653 | 257,229 | 316,003 |
| 保証 | 83,291 | 9,995 | 185 | 36,808 |
| 未使用の与信枠と貸出枠 | 488,943 | 18,444 | 218 | 50,764 |
| その他のコミットメント | 4,103 | | | |
| 貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー | 576,338 | 28,439 | 403 | 87,572 |
| 合計 | 2,478,440 | 293,092 | 257,631 | 403,575 |

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク エイ・エス・エイ

2016年12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 信用リスクの 最大エクスポ ージャー | 不動産による 担保 | 有価証券による 担保 | その他の担保 ¹⁾ |
|------------------------------|--------------------------|--------------|---------------|----------------------|
| 中央銀行預け金 | 206,982 | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 549,093 | | 153,938 | 23 |
| 顧客向貸出金 | 690,060 | 240,109 | 49,187 | 217,055 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 236,120 | | | |
| デリバティブ | 170,317 | | 919 | 123,991 |
| その他資産 | 12,726 | | | |
| 貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー | 1,865,298 | 240,109 | 204,044 | 341,069 |
| 保証 | 88,679 | 8,543 | 162 | 33,410 |
| 未使用の与信枠と貸出枠 | 479,792 | 16,278 | 92 | 51,777 |
| その他のコミットメント | 3,861 | | | |
| 貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー | 572,332 | 24,821 | 255 | 85,187 |
| 合計 | 2,437,630 | 264,930 | 204,299 | 426,256 |

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク グループ

2017年12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 信用リスクの 最大エクスポ ージャー | 不動産による 担保 | 有価証券による 担保 | その他の担保 ¹⁾ |
|------------------------------|--------------------------|--------------|---------------|----------------------|
| 中央銀行預け金 | 150,569 | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 237,849 | | 192,707 | 39 |
| 顧客向貸出金 | 1,531,345 | 925,151 | 63,698 | 297,158 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 266,642 | | | |
| デリバティブ | 132,649 | | 1,753 | 95,368 |
| その他資産 | 7,361 | | | |
| 貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー | 2,326,415 | 925,151 | 258,158 | 392,565 |
| 保証 | 86,832 | 9,999 | 185 | 36,952 |
| 未使用の与信枠と貸出枠 | 589,623 | 85,699 | 218 | 76,721 |
| その他のコミットメント | 4,170 | | | |
| 貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー | 680,625 | 95,697 | 403 | 113,673 |
| 合計 | 3,007,040 | 1,020,848 | 258,560 | 506,238 |

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク グループ

2016年12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 信用リスクの 最大エクスポ ージャー | 不動産による 担保 | 有価証券による 担保 | その他の担保 ¹⁾ |
|------------------------------|--------------------------|--------------|---------------|----------------------|
| 中央銀行預け金 | 207,279 | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 174,908 | | 153,938 | 23 |
| 顧客向貸出金 | 1,492,268 | 885,859 | 50,295 | 330,159 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 230,647 | | | |
| デリバティブ | 157,957 | | 919 | 123,972 |
| その他資産 | 7,414 | | | |
| 貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー | 2,270,472 | 885,859 | 205,152 | 454,153 |
| 保証 | 92,012 | 8,753 | 162 | 33,708 |
| 未使用の与信枠と貸出枠 | 606,122 | 79,219 | 92 | 78,869 |
| その他のコミットメント | 3,985 | | | 18 |
| 貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー | 702,119 | 87,972 | 255 | 112,595 |
| 合計 | 2,972,591 | 973,831 | 205,407 | 566,748 |

1) その他の担保には、ネットィング契約や受領した保証のようなその他の信用補完と合わせ、公正価値で評価された動産、保証、船舶、現金が含まれている。

上記の表には、信用リスク及びそれに関連した担保の評価額に係る、オンバランスシート及びオフバランスシート項目が記載されている。入手可能な場合には公正価値が表示されている。総じて公正価値は、担保の種類によって異なる評価技法を用いて見積もられている。不動産に関しては、同種の不動産に係る市場のパラメーターに基づいて、担保価値を見積もるモデルが用いられている。これに準じた手法が、その他の非金融担保で用いられている。入手可能で実効的な担保価値とするために、上記の表に含まれている担保の公正価値は、個々の貸出金又はエクスポージャーの最大信用エクスポージャーを上限としている。

2017年12月31日現在の主な項目の説明は以下の通りである。

中央銀行への預け金： 3,251百万ノルウェー・クローネにのぼるノルウェー銀行への預け金である。DNBバンクはノルウェー国外の、主としてOECD諸国の中央銀行との間で短期取引のみ行っている。

顧客向貸出金： 詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。

コマーシャル・ペーパー及び債券： 詳細に関しては、後述の「その他の金融資産の信用エクスポージャー」を参照のこと。

デリバティブ： その他の担保は、顧客とその他の取引残高に対する相殺の機会及び受領した現金担保である。

保証： 詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。

未使用の与信枠及び貸出枠： 111,669百万ノルウェー・クローネにのぼるDNBバンクグループ及びDNBバンク エイ・エス・エイによる貸出、与信及び与信枠の供与が最大信用エクスポージャーに含まれている。かかるエクスポージャーに対しては、正式な担保は設定されておらず、評価額も上記の表には含まれていない。いったん顧客によってかかる供与が受け入れられた場合に担保が設定される。かかる供与に関連した担保価値の評価は、後述の「与信業務に係るガイドライン」の箇所に記載されている手続及び基準に従って行われる。

貸出金及びコミットメントに係る信用リスクのエクスポージャー

（注6）及び（注7）では、主要顧客グループ別、地域別に当行グループの信用リスクのエクスポージャーが示されている。（注8）から（注11）まででは、減損した貸出金及び保証、並びに貸出金及び保証の減損が示されている。

貸出金及びコミットメントの分類

DNBの顧客に係るリスク分類の内部モデルは継続的に改善され吟味されている。モデルは業界やセグメントが異なってもそれに合わせて対応できるようになっており、時間の経過とともに水準調整の合理性に低下が見られた場合に更新される。DNBは企業向けポートフォリオの自己資本充実度の算定にIRBAモデルを使用する許可を得ており、その他のポートフォリオにはIRBが使用されている。所要自己資本の計算とリスク管理において同じ分類が使用されている。

与信が供与されているすべての法人顧客は、重要な与信への承認ごとに関連したリスクに従って、別段の定めがなされた場合を除いて、少なくとも一年に一度は分類されている。個人顧客市場では顧客の数が多いため、与信の供与の大半は自動化されたスコアリングと意思決定支援システムに基づいて行われている。リスク分類は各顧客及び当該顧客の与信コミットメントに関連した、長期リスクを反映したものでなければならない。

リスク分類システムは意思決定支援、モニタリング及び報告に用いられている。分類システムで用いられているリスク・パラメーターは与信プロセスだけでなく、与信方針のフォローアップを含めた継続的なリスクモニタリングに欠かせないものである。

質を測定するためにデフォルト確率（PD）が用いられている。当行では、ポートフォリオを各与信コミットメントのデフォルト確率に基づいて10段階のリスクレベルに分類している。

DNBのリスク分類¹⁾

| リスク分類 | デフォルト確率（％） | | 外部格付 | |
|-------|------------|------|-------------|-------------|
| | から | まで | ムーディーズ | スタンダード&プアーズ |
| 1 | 0.01 | 0.10 | Aaa - A3 | AAA - A- |
| 2 | 0.10 | 0.25 | Baa1 - Baa2 | BBB+ - BBB |
| 3 | 0.25 | 0.50 | Baa3 | BBB- |
| 4 | 0.50 | 0.75 | Ba1 | BB+ |
| 5 | 0.75 | 1.25 | Ba2 | BB |
| 6 | 1.25 | 2.00 | | |
| 7 | 2.00 | 3.00 | Ba3 | BB- |
| 8 | 3.00 | 5.00 | B1 | B+ |
| 9 | 5.00 | 8.00 | B2 | B |
| 10 | 8.00 | 減損 | B3, Caa/C | B-, CCC/C |

1) DNBのリスク分類システムでは、1が最も低いリスクで10が最も高いリスクを表す。

リスク分類による貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 顧客向総貸出額 | 保証 | | 貸出金及びコミットメント 合計 |
|--|---------|---------|---------|--------------------|
| | | コミットメント | 未使用の与信枠 | |
| デフォルト確率に基づくリスク分類 | | | | |
| 1 - 4 | 418,622 | 57,110 | 321,435 | 797,167 |
| 5 - 7 | 193,767 | 12,899 | 50,734 | 257,400 |
| 8 - 10 | 64,129 | 9,015 | 12,021 | 85,164 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及びコミットメント | 22,048 | 1,885 | 1,514 | 25,447 |
| 2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾ | 698,565 | 80,909 | 385,703 | 1,165,178 |
| デフォルト確率に基づくリスク分類 | | | | |
| 1 - 4 | 471,799 | 50,560 | 316,374 | 838,734 |
| 5 - 7 | 195,270 | 17,877 | 51,057 | 264,204 |
| 8 - 10 | 52,415 | 6,291 | 8,333 | 67,039 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及びコミットメント | 18,691 | 1,582 | 1,382 | 21,655 |
| 2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾ | 738,175 | 76,309 | 377,146 | 1,191,631 |

1) 額面金額に基づく。

貸倒水準¹⁾

| | 2017年度 | 2016年度 |
|----------------------------------|--------|--------|
| 受取利息の損失を含む標準化された損失（正味貸出額に対する比率％） | 0.28 | 0.33 |

1) 貸倒水準の算定は、将来の損失（デフォルトの頻度）の確率、デフォルト時のエクスポージャー及び見積損失の大きさ（損失率）の評価に基づいている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

リスク分類による貸出金及びコミットメント

DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 顧客向総貸出額 | 保証 コミットメント | 未使用の与信枠 | 貸出金及びコ ミットメント 合計 |
|--|-----------|---------------|---------|------------------------|
| デフォルト確率に基づくリスク分類 | | | | |
| 1 - 4 | 1,016,937 | 58,948 | 469,223 | 1,545,108 |
| 5 - 7 | 367,157 | 14,091 | 70,838 | 452,086 |
| 8 - 10 | 88,700 | 9,946 | 29,563 | 128,209 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及びコミットメント | 30,551 | 1,903 | 1,702 | 34,156 |
| 2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾ | 1,503,345 | 84,889 | 571,326 | 2,159,559 |
| デフォルト確率に基づくリスク分類 | | | | |
| 1 - 4 | 1,088,520 | 51,680 | 456,684 | 1,596,884 |
| 5 - 7 | 356,199 | 18,830 | 68,609 | 443,637 |
| 8 - 10 | 71,687 | 6,903 | 24,784 | 103,374 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及びコミットメント | 24,454 | 1,586 | 1,523 | 27,564 |
| 2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾ | 1,540,860 | 78,998 | 551,600 | 2,171,458 |

1) 額面金額に基づく。

貸倒水準¹⁾

| | 2017年度 | 2016年度 |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 受取利息の損失を含む標準化された損失 (正味貸出額に対する比率%) | 0.23 | 0.27 |

1) 貸倒水準の算出は、将来の損失 (デフォルトの頻度) の確率、デフォルトに対するエクスポージャー及び見積損失の大きさ (損失率) の評価に基いている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

与信業務に係るガイドライン

与信承認に係るDNBのガイドライン及びプロセスは与信業務に係る当行グループのガイドラインに記載されている。当ガイドラインは、様々なセグメントにおいて、どのように信用が供与され、信用エクスポージャーがフォローアップされるかについて記載している。新規顧客評価、健全な信用エクスポージャーのフォローアップ、経営不振に陥った顧客のフォローアップ及び貸倒懸念並びに収益不計上貸出金の対応手続きを詳細に記載している。

DNBにおける与信供与は認可及び承認マトリクスをもとに行われる。基本原則として、認可及び承認マトリクスに基づき、担当者一人が申請し、別の者が承認を行う。マトリクスは規模、リスク、並びに関連がある場合は、業界単位で区別されている。住宅ローンにおける低リスク・エクスポージャーの場合は、2人のみの関与(申請、承認)となるが、重要で複雑なエクスポージャーの提案は、上級審査役の承認を受けなければならない。さらに、信用調査委員会の意見が求められ、また業界専門家の関与が求められる可能性がある。

信用供与における判断要素は、稼得した収入及び融資を受けた営業活動からの収入など、継続的な将来キャッシュ・フローの形による顧客の債務返済能力である。当行は、キャッシュ・フローの将来的な減少又はデフォルトに関連する損失リスクを、担保の徴求により軽減しようと努めている。

担保としては、現物資産、保証、現金預金又はネッティング契約などの形式が考え得る。原則として、現物による担保は付保されていなければならない。他の債権者が資産に対する抵当権の設定を行わない、ネガティブ・プレッジ（担保制限条項）も同様にリスク軽減対策として使用される。

担保に加え、法人向けの金銭消費貸借契約書の多くは、初期段階においてDNBが財務上の問題を把握し関与できるよう確実を期すための追加的なリスク緩和要素を表した財務制限条項を含む可能性がある。財務制限条項の例としては、最低限のネット・キャッシュ・フローの金額や自己資本比率要件がある。

信用リスクのモニタリング

正常先顧客

法人顧客に関する与信業務に係るガイドラインに従い、信用評価はすべての顧客に対し1年に1度は行われる。これは顧客に関してDNBが識別したすべてのリスクの徹底した見直しである。すべての差し入れられた担保の新たな評価は年次検証の不可欠な一部である。意思決定及び認可マトリクスはすべての既存の貸付金の更新にも使用される。従って大口の複雑なエクスポージャーを見直す場合、関連する専門知識を有する者が常に関与することとなる。

個人顧客は系統的なポートフォリオ管理システムを介しフォローアップされる。高リスクが識別された場合は、エクスポージャーは個別にフォローアップされる。

ウォッチリスト

ウォッチリストは、特別な監視が必要となるリスクが生じた場合の、法人顧客のフォローアップのための当グループの主要ツールとなる。顧客が財務制限条項に抵触又は特別な監視が必要となるような損失事象が発生した場合、ウォッチリストに当該エクスポージャーを含めるかの判断がなされる。損失事象とは、深刻な財務上の問題又は市況における大きな変化を含む。さらに、高リスクセグメント（リスク評価で8から10）に該当するすべての顧客はウォッチリスト候補となる。高リスクの顧客をウォッチリストに含めるかを検討することは、与信業務に不可欠な部分である。ウォッチリストに含められた顧客は特別な監視の対象となる。より頻繁な場合もあるが、多くの場合、担保の最新評価を含む、四半期のリスク評価が必要となる。加えて、生じたリスク状況から抜け出すために、アクションプランの作成が要求される。特に、大きな困難に直面した顧客の徹底的なフォローアップは、特別な監視によって損失が発生するリスクを軽減し実際に発現した損失を最小限に抑えるという、当行の経験に基づいたものである。ウォッチリストエクスポージャーの見直しを行う都度、減損損失の必要性が検討される。

顧客への譲歩措置

顧客が経営不振に陥った場合、DNBは場合によっては、財務制限条項の緩和又は金利もしくは分割払いの減免/延期の形で、任意の譲歩を行うことがある。顧客が後に債務を弁済することが見込まれる場合には、財政面で厳しい期間を通じて顧客を支援することを目的として、このような施策が当行グループの信用ガイドラインに従い提案されている。これは損失を軽減するDNBの戦略の一部である。DNBバンク エイ・エス・エイの債権放棄エクスポージャーの総計は、CRD IV の債権放棄の定義に従い、2017年度末現在、約37十億ノルウェー・クローネであった。

損失及び収益不計上ポーフォリオ

損失又は収益不計上の場合には、顧客は厳重に監視される。当行の経験から、この段階では、正常先顧客に対する対応以外に他の補完的手段が必要となる。当カテゴリーに分類される顧客エクスポージャーは、この分野の専門知識を持つ独立した部門へ移管されるか、又は当該部門の関係者が顧客担当チームに参加することとなる。

差し押さえ企業並びに資産

減損並びに収益不計上エクスポージャーのフォローアップに関連し、場合によっては、DNBは貸付金及び保証の担保として供された資産を継承する。債務不履行により企業や資産が差し押さえられた場合、すべての取得先は、財務リストラクチャリングを通じてDNBの株主に対する価値の保証／回復を主要目的とする、当行グループの投資ユニットによりフォローアップされる。差し押さえ資産に係る詳細は以下の段落を参照のこと。

減損の対象ではない延滞貸出金

下表は、貸出金の延滞金額及び与信／預金の貸越額及びかかる貸出金の残債合計について、顧客の支払能力の悪化又は支払う意志がないものと想定し、延滞日数別に表示している。延滞貸出金及び与信／預金の貸越額は継続的にモニタリングされている。何らかの減損の客観的証拠がみられた貸出金及び保証については、減損の可能性が評価される。かかる評価は、下表に含まれる、減損の必要性がないとみられる貸出金についても同様に実施されている。減損の対象となった延滞貸出金は下表には含まれていないが、減損貸出金及び保証に関する表に含まれている。(注8)「主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証」を参照のこと。

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|-------------------|-----------------|---------|---------------|---------|
| | 2017年12月31日現在 | | 2016年12月31日現在 | |
| | 延滞/貸越 | 延滞貸出金残高 | 延滞/貸越 | 延滞貸出金残高 |
| 10 - 29日 | 694 | 2,410 | 723 | 1,933 |
| 30 - 59日 | 470 | 452 | 442 | 423 |
| 60 - 89日 | 23 | 173 | 11 | 159 |
| 90日以上 | 113 | 2,747 | 213 | 1,474 |
| 合計 | 1,300 | 5,782 | 1,389 | 3,989 |

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | | | |
|-------------------|---------------|---------|---------------|---------|
| | 2017年12月31日現在 | | 2016年12月31日現在 | |
| | 延滞/貸越 | 延滞貸出金残高 | 延滞/貸越 | 延滞貸出金残高 |
| 10 - 29日 | 765 | 8,579 | 753 | 7,210 |
| 30 - 59日 | 496 | 1,121 | 467 | 1,149 |
| 60 - 89日 | 34 | 349 | 14 | 430 |
| 90日以上 | 130 | 3,503 | 222 | 3,265 |
| 合計 | 1,425 | 13,552 | 1,456 | 12,054 |

その他の金融資産の信用エクスポージャー

コマーシャル・ペーパー及び債券を含むその他の金融資産に対する当行グループの投資は、取締役会が承認した市場リスクリミットの範囲におさめられている。マーケット部門の海外債券ポートフォリオの詳細については、（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

デリバティブのカウンターパーティ・リスク

DNBは、顧客需要に基づきデリバティブ取引を行い、またかかる取引の結果生じるポジションをヘッジするためにデリバティブ取引を行う。さらにデリバティブは、取引ポートフォリオのポジションをヘッジするために加え、金利、通貨、コモディティ及び株式市場でのポジションを取るために使用される。さらに、デリバティブは、資金調達及び貸付に関連して発生する通貨及び金利リスクをヘッジするために使用される。デリバティブは、個々の契約が当事者間で合意されることを意味する、「店頭」（OTC）において一般的に取引される。デリバティブ取引に関連して生じる信用リスクは、DNBグループの信用リスク測定全体の中に含まれている。

個々のカウンターパーティのカウンターパーティ・リスクを最小限に抑えるため、ネットティング契約又は相対の保証契約が締結されている。これらの契約により、単一のカウンターパーティと締結した契約に関連した、プラスとマイナスの市場価値の相殺が可能となる。CSA（クレジット・サポート・アネックス）契約は、リスク軽減策の一種である。当行は、大半の大手銀行のカウンターパーティ及びその他の金融機関のカウンターパーティとCSAを締結しているほか、非金融系のカウンターパーティとの間で締結するCSAも順調に増加している。これは、DNBとカウンターパーティとの間で締結されたすべてのデリバティブ契約について、その市場価値を日次又は週次で決済できることを意味しており、その結果カウンターパーティ・リスクは大幅に消去されている。これらの取引の大部分は国債を使用して現金決済されており、カバード・ボンドも使用されている。

他の金利商品（異通貨間での金利スワップ及び金利先渡契約（FRA））は、LCHクリアネット社等の清算機関で清算されている。従って、個々のカウンターパーティに対するDNBのカウンターパーティ・リスクは清算機関へ移転される。個人顧客向けの株式先物取引、有価証券貸付及び通貨取引は日次でモニタリングされ、それらの増減が決済されている。

回収した不動産及びその他資産 - 帳簿価額

回収資産は、収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の管理の一環として、当行グループ内の部門が取得した資産である。取得時点では、かかる資産は見積実現可能価値で評価される。取得時点での収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の帳簿価額との差額は、貸出金の減損に分類される。回収資産は、資産の種類に従い、貸借対照表に計上される。株式又は投資信託の持分を取得した場合は、当該資産は（注1）「会計方針」に規定された方針に従い評価される。最終的な売却に当たり、帳簿価額との差額は資産の種類に従い損益計算書に認識される。

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|--------|--------|---------------------------|--------|---------|
| 50 | 28 | 1月1日現在の回収資産及びその他資産 | 1,122 | 2,330 |
| 1 | 0 | 不動産の取得 | 3 | 217 |
| | | その他資産の取得 | | 1 |
| | | 売却目的保有に分類変更 ¹⁾ | | (1,087) |
| (23) | (11) | 不動産の売却 | (382) | (335) |
| | | その他資産の売却 | | (3) |
| | | 公正価値の調整から生じた純損益(投資不動産) | 168 | (1) |
| 28 | 18 | 12月31日現在の回収した不動産及びその他資産 | 911 | 1,122 |

1) 2016年8月に、売却目的保有に分類変更されたバルト諸国の資産を含む。

公正価値で測定される貸出金及び預け金

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年 12月31日 現在 | 2017年 12月31日 現在 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日 現在 | 2016年 12月31日 現在 |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 20,959 | 17,185 | 公正価値で測定される貸出金及び預け金 | 55,373 | 69,487 |
| 20,959 | 17,185 | 信用リスクに対するエクスポージャー合計 | 55,373 | 69,487 |
| 91 | 56 | 信用リスクによる価値調整 ¹⁾ | 88 | 121 |
| (94) | (35) | 信用リスクの変動による価値調整 ¹⁾ | (33) | (111) |

1) 公正価値測定に反映された信用リスクは、関連ポートフォリオの標準化された損失及び標準化された損失の変動に基づく。

信用スプレッドの変動による影響

信用スプレッドの変動は、当行グループの貸借対照表上の多くの項目に影響している。

当行グループのノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出と、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸しの貸出ポートフォリオの一部は、純損益を通じて公正価値で測定されている。当該貸出金に対するスワップレートと比較して測定される未実現損益は、スプレッドの縮小を反映し、2016年12月末時点では144百万ノルウェー・クローネの未実現損失から、2017年度末時点で65百万ノルウェー・クローネの未実現利益に転じた。この未実現利益は、貸出金の信用度に変更がない限りは、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。

流動性管理の一環として、マーケット部門は海外債券ポートフォリオに投資している。2017年度末現在のかかる投資額は総計80十億ノルウェー・クローネであった。2016年度末時点のこのポートフォリオに関する未実現利益が45百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年12月末時点は281百万ノルウェー・クローネの未実現利益となった。2017年度のポートフォリオではかなりの入れ替えがあった。

流動性管理に使用されるノルウェー債のポートフォリオに係る未実現利益は、2016年12月末現在は310百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年度末現在は410百万ノルウェー・クローネに達した。

DNBバンク グループのノルウェー・クローネ建ての長期借入金、純損益を通じて公正価値で測定されている。2017年度にスプレッドは縮小した。2016年度末時点の長期借入金に対する未実現損失が317百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年12月末時点の未実現損失は600

百万ノルウェー・クローネとなった。DNBバンクグループの負債に対する未実現損失は、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。

注6 主要顧客グループ別の貸出金及びコミットメント

2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

NBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 貸出金及び債権 | 保証 | 未使用の与信枠 | 貸出金及び コミットメント |
|----------------------|----------------|---------------|----------------|------------------|
| | | | | 合計 |
| 個人 | 165,452 | 196 | 157,486 | 323,134 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 44,617 | 10,075 | 14,546 | 69,238 |
| 不動産 | 159,381 | 4,387 | 33,835 | 197,604 |
| 製造 | 45,837 | 18,169 | 29,473 | 93,479 |
| サービス | 64,787 | 5,758 | 33,588 | 104,133 |
| 貿易 | 33,111 | 4,443 | 20,538 | 58,092 |
| 石油・ガス | 16,080 | 5,027 | 8,517 | 29,624 |
| 運輸及び通信 | 36,629 | 8,429 | 13,206 | 58,263 |
| 建設 | 56,904 | 10,110 | 32,737 | 99,751 |
| 電力及び水道 | 20,137 | 7,545 | 15,941 | 43,623 |
| 水産業 | 17,238 | 139 | 5,032 | 22,409 |
| ホテル及びレストラン | 5,787 | 365 | 887 | 7,039 |
| 農林業 | 4,632 | 43 | 876 | 5,551 |
| 中央及び地方政府 | 13,439 | 168 | 5,677 | 19,284 |
| その他のセクター | 48,847 | 947 | 4,808 | 54,602 |
| 顧客向合計（個別減損控除後の名目金額） | 732,878 | 75,801 | 377,146 | 1,185,826 |
| - 集会的減損、顧客 | (2,096) | | | (2,096) |
| + その他の調整 | | (404) | | (404) |
| 顧客向貸出金 | 730,782 | 75,398 | 377,146 | 1,183,326 |
| 金融機関向（個別減損控除後の名目金額） | 580,973 | 7,490 | 111,797 | 700,261 |
| + その他の調整 | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 580,973 | 7,490 | 111,797 | 700,261 |

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 貸出金及び債権 | 保証 | 未使用の与信枠 | 貸出金及び コミットメント |
|----------------------|----------------|---------------|----------------|------------------|
| | | | | 合計 |
| 個人 | 137,962 | 225 | 178,953 | 317,140 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 50,542 | 9,623 | 14,768 | 74,934 |
| 不動産 | 148,661 | 2,860 | 26,599 | 178,120 |
| 製造 | 46,439 | 22,897 | 32,292 | 101,628 |
| サービス | 64,094 | 5,471 | 21,176 | 90,741 |
| 貿易 | 32,238 | 4,484 | 21,965 | 58,687 |
| 石油・ガス | 20,763 | 3,964 | 9,161 | 33,888 |
| 運輸及び通信 | 38,927 | 9,703 | 15,419 | 64,049 |
| 建設 | 47,964 | 12,724 | 28,932 | 89,619 |
| 電力及び水道 | 26,726 | 6,709 | 17,179 | 50,614 |
| 水産業 | 15,323 | 199 | 5,835 | 21,358 |
| ホテル及びレストラン | 5,713 | 409 | 1,853 | 7,975 |
| 農林業 | 4,616 | 58 | 1,067 | 5,741 |
| 中央及び地方政府 | 12,051 | 159 | 5,875 | 18,085 |
| その他のセクター | 40,829 | 898 | 4,628 | 46,354 |
| 顧客向合計（個別減損控除後の名目金額） | 692,848 | 80,383 | 385,703 | 1,158,934 |
| - 集会的減損、顧客 | (2,787) | | | (2,787) |
| + その他の調整 | (446) | | | (446) |
| 顧客向貸出金 | 690,060 | 79,937 | 385,703 | 1,155,701 |
| 金融機関向（個別減損控除後の名目金額） | 549,089 | 8,296 | 94,089 | 651,474 |
| + その他の調整 | 4 | | | 4 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 549,093 | 8,296 | 94,089 | 651,478 |

主要顧客グループの分類は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2と一致している。

2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 貸出金及び債権 | 保証 | 未使用の与信枠 | 貸出金及び コミットメント |
|----------------------|------------------|---------------|----------------|------------------|
| | | | | 合計 |
| 個人 | 778,167 | 216 | 224,399 | 1,002,781 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 78,314 | 10,135 | 28,454 | 116,902 |
| 不動産 | 198,453 | 4,387 | 33,775 | 236,616 |
| 製造 | 76,051 | 18,596 | 59,998 | 154,645 |
| サービス | 90,512 | 5,946 | 44,396 | 140,855 |
| 貿易 | 39,521 | 4,667 | 26,055 | 70,242 |
| 石油・ガス | 22,599 | 5,792 | 28,927 | 57,319 |
| 運輸及び通信 | 59,740 | 8,741 | 28,454 | 96,935 |
| 建設 | 60,573 | 10,482 | 34,068 | 105,123 |
| 電力及び水道 | 25,601 | 7,859 | 22,058 | 55,518 |
| 水産業 | 20,390 | 139 | 5,546 | 26,074 |
| ホテル及びレストラン | 7,389 | 365 | 1,219 | 8,973 |
| 農林業 | 4,867 | 43 | 1,912 | 6,822 |
| 中央及び地方政府 | 15,895 | 168 | 8,759 | 24,822 |
| その他のセクター | 56,428 | 952 | 3,581 | 60,961 |
| 顧客向合計（個別減損控除後の名目金額） | 1,534,502 | 78,488 | 551,600 | 2,164,589 |
| - 集会的減損、顧客 | (3,157) | | | (3,157) |
| + その他の調整 | | (408) | | (408) |
| 顧客向貸出金 | 1,531,345 | 78,079 | 551,600 | 2,161,024 |
| 金融機関向（個別減損控除後の名目金額） | 237,849 | 8,344 | 38,023 | 284,216 |
| + その他の調整 | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 237,849 | 8,344 | 38,023 | 284,216 |

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント¹⁾

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 貸出金及び債権 | 保証 | 未使用の与信枠 | 貸出金及び コミットメント |
|----------------------|------------------|---------------|----------------|------------------|
| | | | | 合計 |
| 個人 | 731,134 | 272 | 241,774 | 973,179 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 106,148 | 9,871 | 34,523 | 150,542 |
| 不動産 | 189,796 | 2,888 | 26,910 | 219,594 |
| 製造 | 77,520 | 23,413 | 68,529 | 169,462 |
| サービス | 87,293 | 5,688 | 31,325 | 124,305 |
| 貿易 | 38,442 | 4,928 | 28,283 | 71,652 |
| 石油・ガス | 29,074 | 5,034 | 33,219 | 67,327 |
| 運輸及び通信 | 62,638 | 9,885 | 27,711 | 100,234 |
| 建設 | 52,221 | 13,332 | 31,553 | 97,105 |
| 電力及び水道 | 31,179 | 7,186 | 24,014 | 62,378 |
| 水産業 | 16,979 | 202 | 6,484 | 23,664 |
| ホテル及びレストラン | 7,451 | 420 | 2,178 | 10,049 |
| 農林業 | 4,869 | 60 | 2,212 | 7,141 |
| 中央及び地方政府 | 14,213 | 279 | 9,732 | 24,224 |
| その他のセクター | 47,795 | 903 | 2,879 | 51,577 |
| 顧客向合計（個別減損控除後の名目金額） | 1,496,749 | 84,360 | 571,326 | 2,152,434 |
| - 集会的減損、顧客 | (4,481) | | | (4,481) |
| + その他の調整 | (455) | | | (455) |
| 顧客向貸出金 | 1,492,268 | 83,904 | 571,326 | 2,147,498 |
| 金融機関向（個別減損控除後の名目金額） | 174,897 | 7,653 | 34,796 | 217,347 |
| + その他の調整 | 11 | | | 11 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 174,908 | 7,653 | 34,796 | 217,357 |

1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更されている。保証及び未使用の与信枠はバルト諸国を含んでいる。

主要顧客グループの分類は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2と一致している。

[次へ](#)

注7 地域別の貸出金及びコミットメント

2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 金融機関向 貸出金及び | | DNBバンク エイ・エス・エイ | | 貸出金及び コミットメント 合計 |
|--------------------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|------------------------|
| | 顧客向貸出金 | 預け金 | 保証 | 未使用の与信枠 | |
| オスロ | 149,675 | 207,458 | 11,560 | 269,732 | 638,425 |
| 東部・南部ノルウェー | 203,123 | 2 | 16,767 | 87,550 | 307,443 |
| 西部ノルウェー | 104,520 | 76 | 8,042 | 38,137 | 150,775 |
| 北部・中部ノルウェー | 116,334 | 95 | 7,390 | 36,077 | 159,896 |
| ノルウェー合計 | 573,652 | 207,631 | 43,760 | 431,497 | 1,256,539 |
| スウェーデン | 61,503 | 67,696 | 6,610 | 21,898 | 157,707 |
| 英国 | 1,150 | 125,681 | 3,299 | 2,099 | 132,229 |
| その他の西欧諸国 | 56,423 | 100,389 | 5,427 | 23,549 | 185,788 |
| ポーランド | 738 | 10,169 | 292 | 57 | 11,256 |
| その他の東欧諸国 | 860 | 920 | 1,002 | 86 | 2,866 |
| ノルウェー以外の欧州合計 | 120,674 | 304,855 | 16,629 | 47,689 | 489,847 |
| 米国及びカナダ | 1,163 | 41,776 | 13,066 | 3,023 | 59,028 |
| バミューダ及びパナマ ¹⁾ | 14,557 | 1 | 4,103 | 3,323 | 21,984 |
| その他の中南米諸国 | 10,543 | 1,448 | 1,865 | 1,432 | 15,288 |
| 米州合計 | 26,263 | 43,225 | 19,035 | 7,778 | 96,300 |
| シンガポール ¹⁾ | 771 | 11,555 | 675 | 82 | 13,083 |
| 香港 | 1,060 | 62 | | 2 | 1,124 |
| その他のアジア諸国 | 5,122 | 13,391 | 1,194 | 818 | 20,526 |
| アジア合計 | 6,953 | 25,008 | 1,870 | 902 | 34,733 |
| その他のアフリカ諸国 | 732 | 241 | 1,708 | 103 | 2,785 |
| オセアニア ¹⁾ | 4,604 | 13 | 290 | 975 | 5,883 |
| コミットメント | 732,878 | 580,973 | 83,291 | 488,943 | 1,886,086 |
| - 集合的減損 | (2,096) | | | | (2,096) |
| + その他の調整 | | | (404) | | (404) |
| 貸出金及びコミットメントの純額 | 730,782 | 580,973 | 82,888 | 488,943 | 1,883,587 |

1) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 金融機関向 | | 貸出金及び | | |
|--------------------------|---------|---------|--------|---------|-----------|
| | 顧客向貸出金 | 貸出金及び | 保証 | 未使用の与信枠 | コミットメント |
| | | 預け金 | | | 合計 |
| オスロ | 140,910 | 201,607 | 11,519 | 256,544 | 610,580 |
| 東部・南部ノルウェー | 183,345 | 484 | 18,864 | 94,431 | 297,123 |
| 西部ノルウェー | 96,868 | 4 | 8,583 | 43,525 | 148,980 |
| 北部・中部ノルウェー | 108,627 | 107 | 6,984 | 34,925 | 150,645 |
| ノルウェー合計 | 529,750 | 202,202 | 45,950 | 429,425 | 1,207,328 |
| スウェーデン | 53,188 | 38,473 | 6,354 | 11,097 | 109,112 |
| 英国 | 3,278 | 112,999 | 2,485 | 2,817 | 121,579 |
| その他の西欧諸国 | 55,244 | 89,269 | 5,260 | 22,491 | 172,264 |
| ポーランド | 721 | 10,101 | 208 | 68 | 11,098 |
| その他の東欧諸国 | 703 | 15,631 | 1,090 | 44 | 17,469 |
| ノルウェー以外の欧州合計 | 113,134 | 266,473 | 15,397 | 36,517 | 431,520 |
| 米国及びカナダ | 2,790 | 53,551 | 14,959 | 6,077 | 77,377 |
| バミューダ及びパナマ ¹⁾ | 17,149 | 86 | 3,904 | 2,364 | 23,503 |
| その他の中南米諸国 | 14,526 | 1,565 | 2,288 | 1,815 | 20,194 |
| 米州合計 | 34,465 | 55,202 | 21,151 | 10,256 | 121,074 |
| シンガポール ¹⁾ | 1,742 | 17,686 | 1,021 | 592 | 21,041 |
| 香港 | 1,609 | 37 | | 2 | 1,648 |
| その他のアジア諸国 | 5,833 | 6,674 | 2,765 | 1,575 | 16,847 |
| アジア合計 | 9,184 | 24,397 | 3,785 | 2,169 | 39,535 |
| その他のアフリカ諸国 | 854 | 500 | 2,002 | 35 | 3,391 |
| オセアニア ¹⁾ | 4,532 | 27 | 393 | 1,391 | 6,343 |
| コミットメント | 691,919 | 548,801 | 88,679 | 479,792 | 1,809,191 |
| - 集会的減損 | (2,787) | | | | (2,787) |
| + その他の調整 | 929 | 292 | (446) | | 775 |
| 貸出金及びコミットメントの純額 | 690,060 | 549,093 | 88,233 | 479,792 | 1,807,179 |

1) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2017年12月31日現在の貸出金及びコミットメント DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 金融機関向 貸出金及び | | 貸出金及び コミットメント | | |
|--------------------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
| | 顧客向貸出金 | 預け金 | 保証 | 未使用の与信枠 | 合計 |
| オスロ | 312,107 | 8,240 | 11,554 | 209,690 | 541,590 |
| 東部・南部ノルウェー | 504,438 | 2 | 16,767 | 120,203 | 641,411 |
| 西部ノルウェー | 198,797 | 0 | 8,059 | 49,110 | 255,966 |
| 北部・中部ノルウェー | 209,590 | 95 | 7,390 | 44,501 | 261,577 |
| ノルウェー合計 | 1,224,932 | 8,337 | 43,770 | 423,505 | 1,700,544 |
| スウェーデン | 91,342 | 27,478 | 6,611 | 49,932 | 175,364 |
| 英国 | 18,766 | 87,287 | 4,127 | 15,762 | 125,942 |
| その他の西欧諸国 | 80,423 | 97,592 | 5,793 | 34,223 | 218,030 |
| ポーランド | 17,593 | 29 | 1,535 | 2,468 | 21,625 |
| その他の東欧諸国 | 1,201 | 922 | 1,002 | 253 | 3,378 |
| ノルウェー以外の欧州合計 | 209,325 | 213,308 | 19,069 | 102,637 | 544,340 |
| 米国及びカナダ | 32,625 | 963 | 14,138 | 48,770 | 96,496 |
| バミューダ及びパナマ ¹⁾ | 20,968 | 1 | 4,104 | 4,878 | 29,950 |
| その他の中南米諸国 | 13,582 | 1,448 | 1,868 | 3,731 | 20,629 |
| 米州合計 | 67,175 | 2,411 | 20,110 | 57,379 | 147,075 |
| シンガポール ¹⁾ | 4,243 | 85 | 675 | 184 | 5,187 |
| 香港 | 1,588 | 62 | | 3 | 1,653 |
| その他のアジア諸国 | 5,888 | 13,391 | 1,196 | 1,205 | 21,680 |
| アジア合計 | 11,719 | 13,538 | 1,871 | 1,391 | 28,520 |
| その他のアフリカ諸国 | 5,910 | 241 | 1,708 | 982 | 8,841 |
| オセアニア ¹⁾ | 15,441 | 13 | 303 | 3,728 | 19,485 |
| コミットメント | 1,534,502 | 237,849 | 86,832 | 589,623 | 2,448,805 |
| - 集会的減損 | (3,157) | | | | (3,157) |
| + その他の調整 | | | (408) | | (408) |
| 貸出金及びコミットメントの純額 | 1,531,345 | 237,849 | 86,423 | 589,623 | 2,445,240 |

1) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント¹⁾

DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 金融機関向 貸出金及び | | 貸出金及び コミットメント | | |
|--------------------------|----------------|---------|------------------|---------|-----------|
| | 顧客向貸出金 | 預け金 | 保証 | 未使用の与信枠 | 合計 |
| オスロ | 288,216 | 6,935 | 11,494 | 211,067 | 517,712 |
| 東部・南部ノルウェー | 477,693 | 484 | 18,864 | 124,944 | 621,985 |
| 西部ノルウェー | 191,155 | 10 | 8,588 | 53,872 | 253,625 |
| 北部・中部ノルウェー | 201,374 | 107 | 6,984 | 42,930 | 251,396 |
| ノルウェー合計 | 1,158,437 | 7,536 | 45,932 | 432,814 | 1,644,719 |
| スウェーデン | 82,005 | 5,173 | 6,355 | 34,497 | 128,030 |
| 英国 | 17,936 | 68,518 | 2,519 | 16,360 | 105,334 |
| その他の西欧諸国 | 84,426 | 82,333 | 5,635 | 31,587 | 203,981 |
| ポーランド | 16,444 | 323 | 813 | 2,355 | 19,935 |
| その他の東欧諸国 | 968 | 885 | 1,425 | 5,483 | 8,760 |
| ノルウェー以外の欧州合計 | 201,779 | 157,232 | 16,747 | 90,282 | 466,040 |
| 米国及びカナダ | 43,688 | 1,090 | 16,953 | 67,207 | 128,938 |
| バミューダ及びバハマ ²⁾ | 26,269 | 86 | 3,904 | 3,629 | 33,887 |
| その他の中南米諸国 | 18,128 | 1,569 | 2,291 | 4,697 | 26,685 |
| 米州合計 | 88,085 | 2,745 | 23,148 | 75,533 | 189,510 |
| シンガポール ²⁾ | 8,680 | 39 | 1,021 | 217 | 9,957 |
| 香港 | 2,525 | 37 | | 180 | 2,742 |
| その他のアジア諸国 | 6,674 | 6,614 | 2,766 | 1,988 | 18,042 |
| アジア合計 | 17,880 | 6,690 | 3,787 | 2,386 | 30,742 |
| その他のアフリカ諸国 | 9,964 | 500 | 2,002 | 552 | 13,018 |
| オセアニア ²⁾ | 18,634 | 27 | 397 | 4,556 | 23,614 |
| コミットメント | 1,494,779 | 174,729 | 92,012 | 606,122 | 2,367,643 |
| - 集会的減損 | (4,481) | | | | (4,481) |
| + その他の調整 | 1,970 | 179 | (455) | | 1,694 |
| 貸出金及びコミットメントの純額 | 1,492,268 | 174,908 | 91,557 | 606,122 | 2,364,855 |

- 1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更されている。
保証及び未使用の与信枠はバルト諸国を含んでいる。
- 2) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

注8 主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証¹⁾ 2)

| | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | | |
|------------------------|-----------------|--------|---------|---------|---------|--------|
| | 減損貸出金及び | | | | 減損貸出金及び | |
| | 保証の総額 | | 個別減損合計 | | 保証の純額 | |
| | 2017年 | 2016年 | 2017年 | 2016年 | 2017年 | 2016年 |
| | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 |
| 個人 | 1,937 | 1,871 | (578) | (797) | 1,358 | 1,074 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 1,848 | 3,517 | (946) | (1,436) | 902 | 2,081 |
| 不動産 | 1,206 | 1,787 | (518) | (564) | 688 | 1,223 |
| 製造 | 1,972 | 3,586 | (862) | (1,181) | 1,110 | 2,405 |
| サービス | 936 | 1,453 | (469) | (682) | 467 | 771 |
| 貿易 | 2,158 | 1,098 | (761) | (370) | 1,397 | 728 |
| 石油・ガス | 3,805 | 4,368 | (1,038) | (744) | 2,767 | 3,625 |
| 運輸及び通信 | 2,166 | 3,341 | (554) | (1,203) | 1,612 | 2,138 |
| 建設 | 952 | 1,178 | (400) | (488) | 552 | 691 |
| 電力及び水道 | 1,596 | 23 | (867) | (13) | 730 | 10 |
| 水産業 | 27 | 61 | (16) | (16) | 11 | 44 |
| ホテル及びレストラン | 48 | 49 | (24) | (22) | 24 | 27 |
| 農林業 | 68 | 50 | (30) | (28) | 37 | 22 |
| 中央及び地方政府 | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| その他のセクター | 2 | 6 | (1) | (2) | 1 | 4 |
| 顧客向合計 | 18,721 | 22,389 | (7,064) | (7,547) | 11,657 | 14,843 |
| 金融機関向 | | | | | | |
| 減損貸出金及び保証合計 | 18,721 | 22,389 | (7,064) | (7,547) | 11,657 | 14,843 |
| 減損対象でない収益不計上貸出金及び保証 | 1,920 | 1,953 | | | 1,920 | 1,953 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計 | 20,640 | 24,342 | (7,064) | (7,547) | 13,576 | 16,796 |

| | DNBバンク グループ | | | | | |
|---------------------|-------------|--------|---------|---------|---------|--------|
| | 減損貸出金及び | | | | 減損貸出金及び | |
| | 保証の総額 | | 個別減損合計 | | 保証の純額 | |
| | 2017年 | 2016年 | 2017年 | 2016年 | 2017年 | 2016年 |
| | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 | 現在 |
| 個人 | 2,724 | 3,898 | (695) | (1,617) | 2,029 | 2,281 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 2,787 | 4,995 | (1,407) | (2,247) | 1,381 | 2,748 |
| 不動産 | 1,220 | 2,760 | (531) | (934) | 689 | 1,826 |
| 製造 | 2,892 | 5,800 | (1,112) | (1,814) | 1,780 | 3,986 |
| サービス | 947 | 1,508 | (477) | (712) | 469 | 797 |
| 貿易 | 2,177 | 1,255 | (779) | (465) | 1,398 | 790 |
| 石油・ガス | 3,805 | 4,368 | (1,038) | (744) | 2,767 | 3,625 |

| | | | | | | |
|------------------------|--------|--------|---------|----------|--------|--------|
| 運輸及び通信 | 3,334 | 5,528 | (1,391) | (1,623) | 1,943 | 3,905 |
| 建設 | 1,049 | 1,446 | (494) | (697) | 556 | 749 |
| 電力及び水道 | 2,571 | 539 | (1,228) | (154) | 1,343 | 386 |
| 水産業 | 27 | 61 | (16) | (16) | 11 | 44 |
| ホテル及びレストラン | 48 | 104 | (24) | (43) | 24 | 61 |
| 農林業 | 68 | 157 | (31) | (50) | 38 | 107 |
| 中央及び地方政府 | 0 | 0 | | (0) | 0 | 0 |
| その他のセクター | 2 | 29 | (1) | (10) | 1 | 19 |
| 顧客向合計 | 23,652 | 32,450 | (9,224) | (11,126) | 14,427 | 21,323 |
| 金融機関向 | | | | | | |
| 減損貸出金及び保証合計 | 23,652 | 32,450 | (9,224) | (11,126) | 14,427 | 21,323 |
| 減損対象でない収益不計上貸出金及び保証 | 2,840 | 4,320 | | | 2,840 | 4,320 |
| 収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計 | 26,491 | 36,770 | (9,224) | (11,126) | 17,267 | 25,644 |

- 1) 主要顧客グループ別の個別減損の対象である貸出金及び保証、並びに減損対象ではない収益不計上貸出金及び保証合計を含む。主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類である NACE Rev.2 に対応する。
- 2) 2016年度におけるDNBバンクグループの数値には、2016年8月に売却目的保有の資産に分類変更されたバルト諸国の数値が含まれており、2016年12月末現在、そのうち収益不計上（純額）及び貸倒懸念のある貸出金（純額）並びに保証の総額は2,256百万ノルウェー・クローネであった。

注9 貸出金及び保証に係る減損

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | | | 2016年度 | | |
|---------------------------------|-------------------|------------|----------------|-------------------|--------------|----------------|
| | 貸出金 ¹⁾ | 保証 | 合計 | 貸出金 ¹⁾ | 保証 | 合計 |
| 償却 | (1,312) | | (1,312) | (873) | | (873) |
| 新規の / 増加した個別減損 | (2,964) | (218) | (3,182) | (3,839) | (420) | (4,260) |
| 新規の / 増加した個別減損総額 | (4,276) | (218) | (4,494) | (4,713) | (420) | (5,133) |
| 過年度の個別減損の再査定 | 1,515 | 212 | 1,727 | 540 | 74 | 614 |
| 以前償却された貸出金及び保証の戻入 ²⁾ | 155 | | 155 | 957 | | 957 |
| 個別減損純額 | (2,606) | (6) | (2,612) | (3,216) | (346) | (3,562) |
| 貸出金に係る集会的減損の変動 | 675 | | 675 | (1,117) | | (1,117) |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (1,931) | (6) | (1,937) | (4,333) | (346) | (4,679) |
| 過年度に行われた個別減損でカバーされた償却 | 2,371 | 54 | 2,425 | 1,278 | | 1,278 |

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | | | 2016年度 | | |
|---------------------------------|-------------------|------------|----------------|-------------------|--------------|----------------|
| | 貸出金 ¹⁾ | 保証 | 合計 | 貸出金 ¹⁾ | 保証 | 合計 |
| 償却 | (1,662) | | (1,662) | (1,359) | | (1,359) |
| 新規の / 増加した個別減損 | (4,227) | (218) | (4,445) | (5,490) | (420) | (5,910) |
| 新規の / 増加した個別減損総額 | (5,889) | (218) | (6,106) | (6,849) | (420) | (7,269) |
| 個別減損の再査定 | 1,950 | 212 | 2,162 | 913 | 76 | 990 |
| 以前償却された貸出金及び保証の戻入 ²⁾ | 249 | | 249 | 999 | | 999 |
| 個別減損純額 | (3,690) | (6) | (3,696) | (4,937) | (344) | (5,280) |
| 貸出金に係る集会的減損の変動 | 1,268 | | 1,268 | (2,144) | | (2,144) |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (2,422) | (6) | (2,428) | (7,080) | (344) | (7,424) |
| 過年度に行われた個別減損でカバーされた償却 | 3,232 | 54 | 3,286 | 2,803 | | 2,803 |

1) 公正価値で測定された貸出金に係る減損を含む。

2) 2016年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

注10 主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | | | | 2016年度 | | | |
|---------------------|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-------------|------------------------------|----------------|
| | 以前 | | | | 以前 | | | |
| | 再査定 償却された | | | | 再査定 償却された | | | |
| | 新規の 個別減損 | された 個別減損 | 貸出金及び 保証の戻入 | 純減損 | 新規の 個別減損 | された 個別減損 | 貸出金及び 保証の戻入 ¹⁾ | 純減損 |
| 個人 | (560) | 269 | 106 | (185) | (581) | 32 | 910 | 361 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | (582) | 164 | 12 | (406) | (1,000) | 52 | 12 | (936) |
| 不動産 | (152) | 187 | 13 | 49 | (144) | 74 | 12 | (57) |
| 製造 | (274) | 362 | 5 | 94 | (891) | 123 | 1 | (768) |
| サービス | (373) | 228 | 2 | (143) | (338) | 149 | 1 | (187) |
| 貿易 | (885) | 114 | 1 | (769) | (128) | 42 | 8 | (78) |
| 石油・ガス | (435) | 84 | | (352) | (716) | 0 | | (716) |
| 運輸及び通信 | (355) | 209 | 6 | (139) | (1,011) | 16 | 3 | (992) |
| 建設 | (125) | 99 | 3 | (23) | (297) | 42 | 2 | (253) |
| 電力及び水道 | (738) | 0 | 5 | (733) | (2) | 52 | 6 | 56 |
| 水産業 | (2) | 3 | 0 | 2 | (10) | 1 | 0 | (9) |
| ホテル及びレストラン | (9) | 4 | 1 | (4) | (1) | 5 | 1 | 5 |
| 農林業 | (4) | 1 | 0 | (3) | (13) | 24 | 0 | 11 |
| 中央及び地方政府 | (0) | | | (0) | (0) | 0 | | (0) |
| その他のセクター | (1) | 1 | 0 | 0 | (1) | 0 | 0 | (1) |
| 顧客向け合計 | (4,494) | 1,727 | 155 | (2,612) | (5,133) | 614 | 957 | (3,562) |
| 金融機関向け | | | | | | | | |
| 貸出金に係る集約的減損の変動 | | | | 675 | | | | (1,117) |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (4,494) | 1,727 | 155 | (1,937) | (5,133) | 614 | 957 | (4,679) |
| うち保証に係る個別減損 | (218) | 212 | | (6) | (420) | 74 | | (346) |

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | | | | 2016年度 | | | |
|---------------------|-------------|-------------|----------------|-------|-------------|-------------|------------------------------|---------|
| | 以前 | | | | 以前 | | | |
| | 再査定 償却された | | | | 再査定 償却された | | | |
| | 新規の 個別減損 | された 個別減損 | 貸出金及び 保証の戻入 | 純減損 | 新規の 個別減損 | された 個別減損 | 貸出金及び 保証の戻入 ¹⁾ | 純減損 |
| 個人 | (715) | 401 | 174 | (140) | (845) | 210 | 942 | 308 |
| 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | (782) | 294 | 12 | (476) | (1,555) | 52 | 12 | (1,491) |
| 不動産 | (176) | 203 | 23 | 50 | (227) | 180 | 14 | (33) |
| 製造 | (308) | 487 | 6 | 186 | (1,258) | 153 | 2 | (1,104) |
| サービス | (387) | 233 | 11 | (143) | (344) | 158 | 5 | (181) |
| 貿易 | (896) | 122 | 2 | (772) | (145) | 53 | 10 | (82) |

| | | | | | | | | |
|---------------------|----------------|--------------|------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|
| 石油・ガス | (435) | 84 | | (352) | (819) | 0 | | (819) |
| 運輸及び通信 | (1,331) | 216 | 11 | (1,104) | (1,554) | 38 | 4 | (1,512) |
| 建設 | (132) | 102 | 4 | (26) | (325) | 55 | 4 | (266) |
| 電力及び水道 | (926) | 2 | 5 | (920) | (148) | 52 | 6 | (90) |
| 水産業 | (2) | 3 | 0 | 2 | (10) | 1 | 0 | (9) |
| ホテル及びレストラン | (9) | 5 | 1 | (4) | (7) | 7 | 1 | 1 |
| 農林業 | (7) | 8 | 1 | 1 | (30) | 27 | 0 | (3) |
| 中央及び地方政府 | (0) | | | (0) | (0) | 0 | | (0) |
| その他のセクター | (1) | 2 | 0 | 0 | (2) | 2 | 0 | 1 |
| 顧客向け合計 | (6,106) | 2,162 | 249 | (3,696) | (7,269) | 990 | 999 | (5,280) |
| 金融機関向け | | | | | | | | |
| 貸出金に係る集会的減損の変動 | | | | 1,268 | | | | (2,144) |
| 貸出金及び保証に係る減損 | (6,106) | 2,162 | 249 | (2,428) | (7,269) | 990 | 999 | (7,424) |

うち保証に係る個別減損 (218) 212 (6) (420) 76 (344)

1) 2016年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

[次へ](#)

注11 貸出金及び保証に係る減損の推移

| | | | | | DNBバンク　エイ・エス・エイ | | | |
|--|--|--|--|--|-----------------|--|--|--|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

ティ、信用及び株式市場に対するエクスポージャーから生じる。リスクの水準は、市場価格の変動性及び当行のポジションを反映したものである。

DNBは、個々のリスク・カテゴリー及び当行グループ全体のリスクに関する経済資本を算出することによりリスクを定量化している。（注4）リスク管理を参照のこと。市場リスクに関する経済資本は、信頼区間99.9%で、市場リスクに関するすべての潜在的な損失をカバーしたものでなければならない。当モデルのリスク評価期間は1年間である。モデルに含まれるエクスポージャーは、実際のエクスポージャー又は限度のいずれかである。

当行グループの市場リスクに関する経済資本の算定は、金融商品に関連するリスク評価である。2017年度末の当行グループの市場リスクに関する経済資本の合計は7.6十億ノルウェー・クローネであり、2016年度末は5.7十億ノルウェー・クローネであった。この増加は主に、ルミノール・グループ・エイ・ビーへの投資が市場リスクと捉えられている事実によるもので、一方、バルト諸国におけるDNBの従前の業務に関する経済資本は、市場リスク、信用リスク、事業リスク及びオペレーショナル・リスクに分割された。市場リスクの大半は銀行業務から生じたもので、市場リスク合計の85%を占めている。オペレーション業務及び年金債務に関する市場リスクは、それぞれ、14%、1%を占めている。

注13 金利感応度

それぞれの期間における金利感応度

オン・バランス及びオフ・バランスシート項目の数値は、金利変動に影響される。下表はすべての金利が同時に1%増減した場合の、バルト諸国及びポーランドの事業を除いたDNBバンクグループの潜在的な損失を表す。計算は、すべての通貨の金利が当行のポジションに対しDNBバンクグループにとって不利に変動するという仮定に基づく。また、それぞれの期間内のすべての金利が当行グループに不利に変動すると想定する。従って、数値はDNBバンクグループの最大損失額を示す。

計算は、12月31日現在の当行グループのポジション及び同日の市場レートに基づく。下表は、管理上の金利リスク及び無利息型資産に関する金利リスクを含まない。

| DNBバンク グループ ¹⁾ | | | | | | |
|---------------------------|-------|-------|------|------|-----|-----|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 1ヶ月超 | | 3ヶ月超 | 1年超 | | 合計 |
| | 1ヶ月以内 | 3ヶ月以内 | 1年以内 | 5年以内 | 5年超 | |
| 2017年12月31日現在 | | | | | | |
| ノルウェー・クローネ | 392 | 117 | 350 | 175 | 194 | 94 |
| 米ドル | 51 | 47 | 52 | 23 | 53 | 77 |
| ユーロ | 42 | 117 | 48 | 7 | 2 | 129 |
| 英ポンド | 3 | 6 | 10 | 1 | 2 | 3 |
| スウェーデン・クローナ | 33 | 14 | 6 | 27 | 5 | 21 |
| その他の通貨 | 17 | 20 | 13 | 7 | 12 | 46 |
| 2016年12月31日現在 | | | | | | |
| ノルウェー・クローネ | 494 | 152 | 227 | 765 | 653 | 227 |
| 米ドル | 91 | 14 | 357 | 19 | 82 | 179 |
| ユーロ | 72 | 3 | 32 | 2 | 20 | 22 |
| 英ポンド | 2 | 38 | 11 | 6 | 1 | 55 |
| スウェーデン・クローナ | 15 | 6 | 36 | 33 | 22 | 28 |
| その他の通貨 | 8 | 15 | 35 | 9 | 16 | 55 |

1) 数値にはバルト諸国及びポーランドの事業は含まれておらず、その他の地域に関するものであり、即ちDNBバンク エイ・エス・エイの数値と同じである。

注14 通貨ポジション

表は、ノルウェー中央銀行により定義されるデリバティブを含む12月31日現在の純通貨ポジションを示している。個々の通貨の純ポジションは、適格な第1次自己資本に対して最大15%までを占めることができる。通貨ポジション総額は、適格な第1次資本の30%以内でなければならない。子会社投資に関する為替リスクについては、帳簿に計上された金額によって通貨ポジションに含まれている。

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 純通貨ポジション | | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 純通貨ポジション | |
|----------|----------|-------------------|----------|----------|
| 2016年 | 2017年 | | 2017年 | 2016年 |
| 12月31日現在 | 12月31日現在 | | 12月31日現在 | 12月31日現在 |
| 1,071 | 1,212 | 米ドル | 1,213 | 1,068 |
| (320) | 140 | ユーロ | 140 | (316) |
| (17) | 52 | 英ポンド | 52 | (16) |
| 20 | 7 | スウェーデン・クローナ | 7 | 19 |
| 20 | (13) | デンマーク・クローネ | (13) | 20 |
| 14 | 4 | スイス・フラン | 4 | 14 |
| 6 | 9 | 日本円 | 9 | 6 |
| 121 | 165 | その他 | 165 | 122 |
| 914 | 1,575 | 外貨合計 | 1,575 | 916 |

注15 デリバティブ

デリバティブの適用に関する一般的な情報

デリバティブとは、一定期間における金利条件、為替レート及び資本性金融商品の価値といった形式で金融価値を取り決める契約である。コモディティの価格及び指数を取り決める、対応する契約もデリバティブと定義される。デリバティブには、スワップ、先渡契約及びオプション、並びに金利先渡契約（FRA）、金融先物及び証券譲渡契約を含むそれらの組み合わせが含まれる。DNBバンク グループのデリバティブは、当行グループの通常の事業活動により生ずる流動性リスク及び市場リスクを管理するために取引される。さらに、当行グループは、自己勘定取引でもデリバティブを用いている。

「店頭」（OTC）デリバティブは、取引所の外で締結する契約である。この契約は、対象商品、数量、価格、終了条件及び満期に関して投資家の必要性に応じてオーダーメイドで行われる。OTCデリバティブのメリットは、顧客が標準契約条件に制限されることなく、必要とする正確なポジションを購入できることである。デメリットは、標準化された市場と比べて契約相手を他に見つけたり、流通市場で当該契約を売却したりすることが難しいことである。

DNBバンク グループでは、以下のデリバティブを、トレーディング及びヘッジ目的で利用している。

先渡契約：金利条件、外貨金額、株式又はコモディティを将来の特定の日に、決められた価格で売買する契約。先渡契約は、店頭市場においてカウンターパーティとの間で行われるオーダーメイドの取引である。

FRA：将来のある期間について、合意した金額で金利を固定する契約。契約満了時には、合意した金利と実際の市場金利との差額だけが交換される。

金利先物：カウンターパーティ同士が特定の金利商品を決められた価格で特定の日に交換することに合意する標準化された契約。当該契約は取引所で取引される。金利先物の価値は、原資産（金融商品）の価格推移に従っている。

スワップ：契約当事者が合意した期間にわたり決められた金額でキャッシュ・フローを交換する取引。大部分のスワップはオーダーメイドであり、取引所外で取引される。DNBが取引する最も重要な種類のスワップは以下のとおりである。

金利スワップ：固定金利が変動金利と交換されるか、若しくは変動金利が固定金利と交換される

クロスカレンシー金利スワップ：契約当事者は為替及び金利の支払いの両方を交換する

株式スワップ：金利リターンが株式リターンと交換される

オプション：買い手に対し、特定の数量の金融商品又はコモディティを事前に決められた価格で、購入（コール・オプション）又は売却（プット・オプション）する権利（義務ではなく）を与える契約。買い手はこの権利に関し、売り手にプレミアムを支払う。オプションはOTC（オーダーメイド）でも標準化された契約としても取引されている。

表は、デリバティブの種類別並びにプラスマイナスの市場価値別にデリバティブの想定元本を表している。プラスの市場価値は貸借対照表で資産に計上され、マイナスの市場価値は負債として計上される。デリバティブの測定に関する詳細については、（注1）「会計方針」を参照のこと。

DNBバンク エイ・エス・エイ

| | 2017年12月31日現在 | | | 2016年12月31日現在 | | |
|-------------------|---------------|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|
| | 想定元本 合計 | プラスの 市場価値 | マイナスの 市場価値 | 想定元本 合計 | プラスの 市場価値 | マイナスの 市場価値 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | | | |
| 金利契約 | | | | | | |
| FRA契約 | 1,009,324 | 219 | 263 | 868,943 | 415 | 363 |
| スワップ | 3,215,991 | 68,653 | 64,064 | 3,110,072 | 85,127 | 78,776 |
| OTCオプション | 49,133 | 597 | 591 | 46,508 | 757 | 725 |
| その他のOTC契約 | | | | | | |
| 金利契約合計 | 4,274,448 | 69,469 | 64,918 | 4,025,522 | 86,299 | 79,864 |
| 為替契約 | | | | | | |
| 先渡契約 | 24,027 | 6,736 | 5,614 | 79,463 | 2,689 | 1,125 |
| スワップ | 1,258,893 | 29,322 | 66,873 | 1,699,372 | 41,217 | 60,058 |
| OTCオプション | 25,929 | 1,454 | 1,158 | 32,597 | 533 | 330 |
| 為替契約合計 | 1,308,849 | 37,512 | 73,645 | 1,811,431 | 44,439 | 61,513 |
| 株式関連契約 | | | | | | |
| 先渡契約 | 4,928 | 2,068 | 1,291 | 2,057 | 2,156 | 1,528 |
| OTCオプション | 1,321 | 164 | 22 | 2,104 | 163 | 2 |
| OTCデリバティブ合計 | 6,249 | 2,232 | 1,313 | 4,161 | 2,319 | 1,530 |
| 先物 | 523 | | 0 | 732 | | 0 |
| オプション | 3,423 | 126 | 91 | 4,573 | 106 | 77 |
| 取引所取引契約合計 | 3,946 | 126 | 91 | 5,305 | 106 | 77 |
| 株式関連契約合計 | 10,195 | 2,359 | 1,405 | 9,466 | 2,425 | 1,607 |

| | | | | | | |
|-------------------|------------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| コモディティ関連契約 | | | | | | |
| スワップ及びオプション | 33,235 | 2,669 | 2,334 | 30,682 | 3,542 | 2,738 |
| コモディティ関連契約合計 | 33,235 | 2,669 | 2,334 | 30,682 | 3,542 | 2,738 |
| 担保の差入 / 受入 | | | | | | |
| 担保の差入 / 受入合計 | | 34,944 | 37,232 | | 33,612 | 36,072 |
| デリバティブ合計 | 5,626,727 | 146,953 | 179,534 | 5,877,101 | 170,317 | 181,794 |
| | | | | | | |
| 内訳 : ヘッジ会計として適用 | 133,849 | 8,606 | 1,210 | 151,044 | 10,795 | 1,189 |
| - 金利スワップ | | 8,056 | 738 | | 10,033 | 541 |
| - クロスカレンシー金利スワップ | | 551 | 471 | | 762 | 648 |

DNBバンク グループ

| | 2017年12月31日現在 | | | 2016年12月31日現在 | | |
|----------------------|------------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| | 想定元本 合計 | プラスの 市場価値 | マイナスの 市場価値 | 想定元本 合計 | プラスの 市場価値 | マイナスの 市場価値 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | | | |
| 金利契約 | | | | | | |
| FRA契約 | 1,009,324 | 219 | 263 | 868,943 | 415 | 363 |
| スワップ | 2,830,178 | 66,054 | 9,011 | 2,777,620 | 83,109 | 39,906 |
| OTCオプション | 49,133 | 597 | 591 | 45,882 | 757 | 725 |
| その他のOTC契約 | 57 | 8 | 8 | | | |
| 金利契約合計 | 3,888,693 | 66,879 | 9,873 | 3,692,446 | 84,280 | 40,994 |
| 為替契約 | | | | | | |
| 先渡契約 | 27,695 | 6,798 | 5,630 | 80,958 | 2,717 | 1,126 |
| スワップ | 889,154 | 17,775 | 54,584 | 1,349,007 | 30,891 | 48,470 |
| OTCオプション | 25,929 | 1,454 | 1,158 | 32,597 | 533 | 330 |
| 為替契約合計 | 942,778 | 26,027 | 61,373 | 1,462,562 | 34,141 | 49,926 |
| 株式関連契約 | | | | | | |
| 先渡契約 | 4,928 | 2,068 | 1,291 | 2,057 | 2,156 | 1,528 |
| OTCオプション | 1,336 | 344 | 22 | 2,104 | 163 | 2 |
| OTCデリバティブ合計 | 6,264 | 2,412 | 1,314 | 4,161 | 2,319 | 1,530 |
| 先物 | 523 | | 0 | 732 | | 0 |
| オプション | 3,423 | 126 | 91 | 4,573 | 106 | 77 |
| 取引所取引契約合計 | 3,946 | 126 | 91 | 5,305 | 106 | 77 |
| 株式関連契約合計 | 10,210 | 2,538 | 1,405 | 9,466 | 2,425 | 1,607 |
| コモディティ関連契約 | | | | | | |
| スワップ及びオプション | 33,235 | 2,669 | 2,334 | 30,473 | 3,541 | 2,707 |
| コモディティ関連契約合計 | 33,235 | 2,669 | 2,334 | 30,473 | 3,541 | 2,707 |
| 担保の差入／受入 | | | | | | |
| 担保の差入／受入合計 | | 34,537 | 37,035 | | 33,570 | 35,756 |
| デリバティブ合計 | 4,874,916 | 132,649 | 112,020 | 5,194,946 | 157,957 | 130,990 |
| 内訳：ヘッジ会計として適用 | | | | | | |
| - 金利スワップ | 466,911 | 26,331 | 3,265 | 453,134 | 33,038 | 2,195 |
| - クロスカレンシー金利スワップ | | 25,781 | 2,794 | | 32,275 | 1,546 |
| - クロスカレンシー金利スワップ | | 551 | 471 | | 762 | 648 |

デリバティブの利用

マーケット部門はマーケット・メーカーとして、特定のオプション、先渡又は先物シリーズに関して売り呼値及び買い呼値の両方、並びに売り呼値と買い呼値の価格差の最大値を、最低取引金額とともに提示する義務がある。マーケット・メーカーは常に自己の勘定で取引する。自己勘定取引の目的は、マーケット・メーカーに加え、ポジションを取ることであり、つまり価格、為替レート及び指数の有利な変動により生じる利益を獲得するために、為替、金利及び株式市場で意図的にリスクを取ることである。様々な市場での同じ商品に関する価格、為替レート及び指数の変動により利益を得る裁定取引も自己勘定取引の一部である。

顧客取引とは、顧客が既存又は予想されるリスクを移転、修正、取得又は減額できるように顧客のためにデリバティブを構築し売買することである。デリバティブ取引の大半は顧客取引に関係している。

DNBバンクグループは、外貨建ての借入金を望ましい通貨に転換するために金利及び通貨スワップを用いる。典型的な例としては、当行はユーロ建てで借入れを行い、それをベースス・スワップにより米ドルにスワップする。この場合、当行はスワップの利回りに基づく米ドル建ての金利を支払い、スプレッドを控除したユーロ建ての金利を受け取る。これらのデリバティブは公正価値で計上されている。ベースス・スワップのスプレッドの変動により、ベースス・スワップの価値は日々大幅に変動する可能性がある。このヘッジされていないリスクによって未実現損益が生じる。2017年度には、価値は672百万ノルウェー・クローネ減少した（利益にはマイナスの影響）。2016年度には、価値は542百万ノルウェー・クローネ減少した。

デリバティブに関するリスク

デリバティブはオンバランス商品も含むポートフォリオの中で取引される。デリバティブに係る市場リスクは、これらのポートフォリオの市場リスクの不可欠な一部として取り扱われ、監視され、管理される。（注4）「リスク管理」及び（注12）「市場リスク」を参照のこと。デリバティブは多くの異なるカウンターパーティと取引され、その大部分は別の種類のDNBとの取引にも関連している。デリバティブ取引に関連して生ずる信用リスクは、DNBバンクグループの信用リスク合計に含まれる。ネットィング契約又は担保に関する双務契約が多数のカウンターパーティと締結され、信用リスクを減少させている。金融当局の自己資本規制は、そのような契約を考慮しているため、所要自己資本の減少へつながる。カウンターパーティ・リスクの詳細については（注5）「信用リスク」を参照のこと。

注16 流動性リスク

流動性リスクは、DNBバンクグループが自己の支払義務を履行できなくなるリスクである。全体として当行グループの流動性管理は、DNBバンク エイ・エス・エイが内国子会社及び海外のグループ企業の資金調達に関して責任を負っている。流動性リスクは各種の測定方法で管理・測定されている。

取締役会は様々な時間の枠組みの中で、当行の負債の短期の満期を制限する社内限度枠を承認している。また、各満期について銀行特有のリスクやシステミック・リスクやその組み合わせによるストレス・テストを実施しており、市場イベントに対処する緊急時対応計画を定めている。加えて、構造的な流動性リスクに関する限度についても設定されており、このため顧客に対する貸出金は概ね顧客預金、劣後債及び長期借入を通じて賄わなくてはならない。長期資金は主に一般的なシニア債務とカバード・ボンドによって賄われている。当行グループの預金の貸出に対する割合は2017年12月末時点で64.0%と前期末時点の63.4%を上回っている。DNBバンク エイ・エス・エイの貸出金純額に対する預金の割合は2017年12月末時点で130.9%であった。

短期資金調達市場は2017年度を通じて全般的に安定していた。米国のマネー・マーケット・ファンドに対する新たな規制改革が導入され、2016年に比べ、2017年は短期資金調達市場が正常化された。短期金利の上昇により2017年に短期資金の価格は幾分上昇し、銀行の短期資金調達コストが若干増加した。市場の安定に伴い、投資家が魅力的に捉える銀行の数は増加した。2017年を通じてDNBの短期資金調達は潤沢であった。

長期資金調達市場は、2017年当初に多くが予想したよりも良好に推移した。2017年第1四半期には、発行体の大半が欧州の総選挙前に市場に参加することを望んだため、同市場の取引は最高水準に達した。これにもかかわらず、2017年を通じて長期資金調達市場は全般的に良好に機能した。カバード・ボンド市場は依然として、欧州中央銀行（ECB）による資産購入プログラムが中心となっていた。2017年11月に、ECBは資産購入額を徐々に縮小すると発表した。市場参加者の多くが、従前からより大幅な段階的縮小を危惧していたことから、市場はこれを好意的に受け止めた。2017年におけるカバード・ボンド及びシニア債発行額合計は、2016年よりも若干減少した。特に、近く導入されるMREL（自己資本及び適格負債の最低必要額）に関する規定を遵守するため、シニア債の大部分がいわゆる非優先シニア債に置き換えられた。一つには規制要件の理由から、もう一つには発行体にとって有利な価格であったという理由から、2017年には、2016年よりも劣後ローン市場で極めて活発な取引が行われた。2017年にはDNBによる長期資金調達は良好で、カバード・ボンド及び普通シニア債務の調達コストは2017年にさらに低下した。

短期流動性要件である流動性カバレッジ比率（LCR）は、年度を通じて100%を上回っており、安定した状態であった。12月末時点で、ユーロ（EUR）のLCRは191%、米ドル（USD）のLCRは137%、ノルウェー・クローネ（NOK）のLCRは93%で、LCR合計は117%であった。

2017年12月末現在、シニア債務及びカバード・ボンドのポートフォリオの満期までの平均残存期間は4.0年で、これは前期末の3.9年より長くなった。DNBグループは今後5年間の資金調達に向けて健全かつ安定的な満期構成の維持を目指すつもりである。

2017年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 1ヶ月以内 | 1ヶ月超 3ヶ月以内 | 3ヶ月超 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 | 満期の 定めなし | 合計 |
|---------------------------|-----------|---------------|--------------|-------------|---------|-------------|-----------|
| 資産 | | | | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 151,145 | | | | | | 151,145 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 239,408 | 82,409 | 36,706 | 216,254 | 6,163 | | 580,941 |
| 顧客向貸出金 | 200,050 | 65,949 | 44,986 | 207,952 | 214,685 | (2,096) | 731,525 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 62,294 | 7,268 | 17,288 | 153,903 | 21,077 | | 261,831 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | 54 | 9,559 | | 9,613 |
| 株式 | | | | | | 130,459 | 130,459 |
| その他資産 | | 2,042 | | 11 | | | 2,053 |
| 合計 | 652,897 | 157,669 | 98,980 | 578,174 | 251,485 | 128,362 | 1,867,566 |
| 負債 | | | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 178,782 | 59,026 | 68,326 | 26,668 | | | 332,803 |
| 顧客預金 | 956,493 | | | | | | 956,493 |
| 発行済負債証券 | 79,948 | 49,699 | 50,040 | 133,902 | 7,083 | | 320,671 |
| その他負債等 | 458 | 3,836 | 177 | | | | 4,471 |
| 劣後債 | | | | | 29,456 | | 29,456 |
| 合計 | 1,215,681 | 112,561 | 118,543 | 160,570 | 36,539 | | 1,643,894 |
| デリバティブ | | | | | | | |
| デリバティブ (グロス決済) | | | | | | | |
| 資金流入 | 682,189 | 398,787 | 240,397 | 574,143 | 324,822 | | 2,220,338 |
| 資金流出 | 680,003 | 399,407 | 244,379 | 596,830 | 334,168 | | 2,254,787 |
| デリバティブ (ネット決済) | 277 | 1,023 | (866) | 3,497 | (107) | | 3,824 |
| デリバティブ合計 | 2,463 | 403 | (4,848) | (19,190) | (9,453) | | (30,625) |

2016年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 1ヶ月以内 | 1ヶ月超 3ヶ月以内 | 3ヶ月超 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 | 満期の 定めなし | 合計 |
|---------------------------|-----------|---------------|--------------|-------------|----------|-------------|-----------|
| 資産 | | | | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 207,923 | | 11 | | | | 207,934 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 203,711 | 79,263 | 18,369 | 240,115 | 7,567 | | 549,024 |
| 顧客向貸出金 | 159,952 | 81,835 | 61,872 | 199,950 | 189,983 | (2,787) | 690,805 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 4,242 | 10,100 | 36,264 | 152,121 | 21,035 | | 223,762 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | 928 | 11,831 | | 12,760 |
| 株式 | | | | | | 124,406 | 124,406 |
| その他資産 | | 3,217 | | | | | 3,217 |
| 合計 | 575,828 | 174,416 | 116,515 | 593,113 | 230,416 | 121,619 | 1,811,908 |
| 負債 | | | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 223,275 | 49,225 | 41,800 | 24,402 | 2 | | 338,705 |
| 顧客預金 | 920,557 | | | | | | 920,557 |
| 発行済負債証券 | 61,024 | 63,692 | 64,251 | 121,902 | 18,499 | | 329,368 |
| その他負債等 | 1,574 | 3,602 | 264 | | | | 5,440 |
| 劣後債 | | 10,898 | | 17,467 | 738 | | 29,102 |
| 合計 | 1,206,430 | 127,417 | 106,315 | 163,771 | 19,239 | | 1,623,172 |
| デリバティブ | | | | | | | |
| デリバティブ (グロス決済) | | | | | | | |
| 資金流入 | 477,590 | 228,576 | 289,363 | 574,751 | 342,803 | | 1,913,083 |
| 資金流出 | 473,816 | 230,783 | 285,192 | 586,500 | 356,709 | | 1,933,001 |
| デリバティブ (ネット決済) | 187 | 1,474 | (911) | 4,190 | 805 | | 5,745 |
| デリバティブ合計 | 3,961 | (733) | 3,260 | (7,559) | (13,101) | | (14,173) |

1) 経過利息を上回る将来の名目利払金額は、貸借対照表日現在含まれていない。

与信枠、コミットメント及び信用状

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 未使用の与信枠 (1年以内) | 317,499 | 323,827 |
| 未使用の与信枠 (1年超) | 98,075 | 97,495 |

2017年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 1ヶ月以内 | 1ヶ月超 3ヶ月以内 | 3ヶ月超 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 | 満期の 定めなし | 合計 |
|---------------------------|-----------|---------------|--------------|-------------|---------|-------------|-----------|
| 資産 | | | | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 151,593 | | | | | | 151,593 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 99,095 | 75,078 | 38,440 | 17,556 | 7,671 | | 237,839 |
| 顧客向貸出金 | 269,464 | 75,703 | 56,070 | 274,360 | 859,859 | (3,157) | 1,532,298 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 64,131 | 7,268 | 18,996 | 157,433 | 21,077 | | 268,905 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | 54 | 9,559 | | 9,613 |
| 株式 | | | | | | 18,479 | 18,479 |
| その他資産 | | 2,042 | | 11 | | | 2,053 |
| 合計 | 584,282 | 160,091 | 113,506 | 449,414 | 898,166 | 15,322 | 2,220,781 |
| 負債 | | | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 76,437 | 63,038 | 68,308 | 14,699 | | | 222,482 |
| 顧客預金 | 980,342 | | | | | | 980,342 |
| 発行済負債証券 | 98,491 | 71,585 | 77,254 | 419,121 | 95,779 | | 762,230 |
| その他負債等 | 458 | 4,136 | 195 | | | | 4,789 |
| 劣後債 | | | | | 29,456 | | 29,456 |
| 合計 | 1,155,729 | 138,759 | 145,757 | 433,820 | 125,235 | | 1,999,299 |
| デリバティブ | | | | | | | |
| デリバティブ (グロス決済) | | | | | | | |
| 資金流入 | 663,489 | 376,719 | 216,187 | 383,071 | 213,472 | | 1,852,938 |
| 資金流出 | 661,310 | 378,009 | 221,220 | 393,222 | 213,788 | | 1,867,549 |
| デリバティブ (ネット決済) | 818 | 2,103 | 3,205 | 19,652 | 9,787 | | 35,565 |
| デリバティブ合計 | 2,997 | 813 | (1,828) | 9,501 | 9,471 | | 20,954 |

2016年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 1ヶ月以内 | 1ヶ月超 3ヶ月以内 | 3ヶ月超 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 | 満期の 定めなし | 合計 |
|---------------------------|-----------|---------------|--------------|-------------|---------|-------------|-----------|
| 資産 | | | | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 208,252 | | 11 | | | | 208,263 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 120,011 | 42,484 | 5,270 | 7,116 | | | 174,881 |
| 顧客向貸出金 | 180,074 | 92,243 | 79,533 | 321,266 | 824,516 | (4,481) | 1,493,151 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 5,225 | 9,087 | 32,070 | 151,198 | 20,676 | | 218,257 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | 928 | 11,831 | | 12,760 |
| 株式 | | | | | | 9,770 | 9,770 |
| その他資産 | | 3,217 | | | | | 3,217 |
| 合計 | 513,563 | 147,031 | 116,884 | 480,508 | 857,024 | 5,289 | 2,120,300 |
| 負債 | | | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 137,015 | 23,535 | 22,922 | 28,125 | | | 211,597 |
| 顧客預金 | 945,587 | | | | | | 945,587 |
| 発行済負債証券 | 73,913 | 61,765 | 104,186 | 401,819 | 99,232 | | 740,915 |
| その他負債等 | 1,574 | 3,890 | 275 | | | | 5,739 |
| 劣後債 | | 10,898 | | 17,467 | 738 | | 29,102 |
| 合計 | 1,158,089 | 100,088 | 127,383 | 447,410 | 99,969 | | 1,932,940 |
| デリバティブ | | | | | | | |
| デリバティブ (グロス決済) | | | | | | | |
| 資金流入 | 458,963 | 224,167 | 247,951 | 388,303 | 231,798 | | 1,551,182 |
| 資金流出 | 456,644 | 226,589 | 248,396 | 404,368 | 238,077 | | 1,574,076 |
| デリバティブ (ネット決済) | 1,074 | 2,357 | 3,434 | 20,229 | 9,296 | | 36,390 |
| デリバティブ合計 | 3,393 | (65) | 2,989 | 4,164 | 3,017 | | 13,496 |

1) 経過利息を上回る将来の名目利払金額は含まれていない。

与信枠、コミットメント及び信用状

DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 未使用の与信枠 (1年以内) | 388,560 | 390,001 |
| 未使用の与信枠 (1年超) | 208,950 | 216,295 |

[次へ](#)

注17 純利息収入

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | | |
|--------------------------------|-----------------|---------------------------|-----------------|----------------|---------------------------|-----------------|
| | 2017年度 | | | 2016年度 | | |
| | 公正価値で 計上 | 償却原価で 計上 ¹⁾ | 合計 | 公正価値で 計上 | 償却原価で 計上 ¹⁾ | 合計 |
| 金融機関向貸出金及び預け金に係る利息 | 3,363 | 1,948 | 5,311 | 2,074 | 1,804 | 3,879 |
| 顧客向貸出金に係る利息 | 816 | 22,909 | 23,724 | 730 | 22,657 | 23,387 |
| 減損した貸出金及び保証に係る利息 | 5 | 839 | 844 | 10 | 612 | 622 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息 | 4,123 | | 4,123 | 4,457 | | 4,457 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息 | | 157 | 157 | | 173 | 173 |
| フロントエンド・フィー等 | 1 | 281 | 282 | 1 | 258 | 260 |
| その他の受取利息 | (1,945) | 4,628 | 2,683 | (2,331) | 4,715 | 2,385 |
| 受取利息合計 | 6,363 | 30,763 | 37,126 | 4,942 | 30,221 | 35,163 |
| 金融機関からの借入金及び預金に係る利息 | (2,829) | (273) | (3,102) | (1,958) | (180) | (2,138) |
| 顧客預金に係る利息 | (799) | (6,388) | (7,187) | (567) | (5,805) | (6,373) |
| 発行済負債証券に係る利息 | (2,247) | (1,546) | (3,792) | (1,822) | (1,860) | (3,683) |
| 劣後債に係る利息 | (75) | (374) | (449) | (35) | (493) | (529) |
| 保証金課税 | | (548) | (548) | | (638) | (638) |
| その他の支払利息 ²⁾ | 2,845 | (476) | 2,369 | 2,385 | (581) | 1,804 |
| 支払利息合計 | (3,105) | (9,604) | (12,709) | (1,997) | (9,558) | (11,555) |
| 純利息収入 | 3,258 | 21,158 | 24,416 | 2,944 | 20,663 | 23,608 |

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | | | | | |
|--------------------------------|--------------|---------------------------|---------------|--------------|---------------------------|---------------|
| | 2017年度 | | | 2016年度 | | |
| | 公正価値で 計上 | 償却原価で 計上 ¹⁾ | 合計 | 公正価値で 計上 | 償却原価で 計上 ¹⁾ | 合計 |
| 金融機関向貸出金及び預け金に係る利息 | 2,287 | 426 | 2,712 | 1,105 | 234 | 1,339 |
| 顧客向貸出金に係る利息 | 2,164 | 42,861 | 45,025 | 2,556 | 42,179 | 44,735 |
| 減損した貸出金及び保証に係る利息 | 4 | 1,169 | 1,172 | 1 | 909 | 911 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息 | 3,999 | | 3,999 | 4,405 | | 4,405 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息 | | 157 | 157 | | 173 | 173 |
| フロントエンド・フィー等 | 2 | 298 | 300 | 5 | 289 | 294 |
| その他の受取利息 | (1,939) | 2,973 | 1,033 | (2,327) | 3,356 | 1,029 |
| 受取利息合計 | 6,516 | 47,883 | 54,399 | 5,746 | 47,141 | 52,887 |
| 金融機関からの借入金及び預金に係る利息 | (2,212) | (254) | (2,465) | (1,542) | (163) | (1,705) |
| 顧客預金に係る利息 | (799) | (6,772) | (7,571) | (567) | (6,135) | (6,703) |
| 発行済負債証券に係る利息 | (3,758) | (7,381) | (11,139) | (3,502) | (8,883) | (12,385) |
| 劣後債に係る利息 | (75) | (377) | (452) | (35) | (496) | (532) |
| 保証金課税 | | (637) | (637) | | (768) | (768) |
| その他の支払利息 ²⁾ | 3,873 | (94) | 3,779 | 3,893 | (171) | 3,722 |

| | | | | | | |
|--------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|
| 支払利息合計 | (2,970) | (15,515) | (18,485) | (1,753) | (16,616) | (18,369) |
| 純利息収入 | 3,546 | 32,368 | 35,914 | 3,992 | 30,525 | 34,517 |

- 1) ヘッジ対象項目を含む。
- 2) その他の支払利息は金利スワップに伴う金利調整額を含む。デリバティブは公正価値で計上している。

注18 貸借対照表項目（抜粋）に係る金利

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | |
|-----------------|-----------------------|--------|------------------------|---------|
| | 平均金利(%) ¹⁾ | | 平均金額 (百万ノルウェー・クローネ) | |
| | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| | | | | |
| 資産 | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 0.60 | 0.42 | 885,039 | 926,269 |
| 顧客向貸出金 | 3.44 | 3.48 | 713,568 | 690,265 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 1.92 | 2.04 | 215,068 | 217,986 |
| 負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 0.80 | 0.54 | 386,765 | 392,710 |
| 顧客預金 | 0.71 | 0.64 | 1,007,971 | 995,959 |
| 発行済負債証券 | 1.15 | 0.96 | 330,519 | 383,150 |

| DNBバンク グループ | | | | |
|-----------------|-----------------------|--------|------------------------|-----------|
| | 平均金利(%) ¹⁾ | | 平均金額 (百万ノルウェー・クローネ) | |
| | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| | | | | |
| 資産 | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 0.51 | 0.23 | 531,989 | 579,604 |
| 顧客向貸出金 | 3.04 | 3.01 | 1,519,425 | 1,514,319 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 1.90 | 2.04 | 210,336 | 216,417 |
| 負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 0.88 | 0.60 | 280,012 | 284,899 |
| 顧客預金 | 0.73 | 0.64 | 1,033,519 | 1,044,615 |
| 発行済負債証券 | 1.45 | 1.48 | 770,705 | 834,669 |

1) 平均金利は付属的平均資本に対応する特定の商品のノルウェー・クローネ建ての金利合計として算定される。

注19 正味手数料

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|--------------|-------------------|--------------|--------------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 3,451 | 3,728 | 送金 | 3,960 | 3,731 |
| 342 | 376 | 資産運用サービス | 421 | 406 |
| 319 | 357 | カストディ・サービス | 378 | 344 |
| 573 | 689 | 証券仲介 | 789 | 616 |
| 575 | 612 | コーポレート・ファイナンス | 820 | 767 |
| 23 | 19 | 銀行間手数料 | 19 | 23 |
| 494 | 438 | 信用仲介 | 453 | 491 |
| 372 | 396 | 保険商品販売 | 416 | 397 |
| | | 不動産仲介 | 1,150 | 1,121 |
| 589 | 727 | その他の手数料 | 822 | 732 |
| 6,739 | 7,340 | 受取手数料合計 | 9,228 | 8,628 |
| (1,754) | (2,079) | 送金 | (2,109) | (1,795) |
| (15) | (12) | 資産運用サービス | (12) | (15) |

ディー・エヌ・ビー・バンク エイ・エス・エイ (D N B B a n k

| | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (170) | (180) | カストディ・サービス | (183) | (172) |
| (173) | (148) | 証券仲介 | (150) | (176) |
| (73) | (135) | コーポレート・ファイナンス | (135) | (73) |
| (57) | (49) | 銀行間手数料 | (49) | (57) |
| (87) | (71) | 信用仲介 | (13) | (26) |
| (114) | (116) | 保険商品販売 | (116) | (114) |
| (481) | (506) | その他の手数料 | (577) | (567) |
| (2,924) | (3,296) | 支払手数料合計 | (3,344) | (2,994) |
| 3,815 | 4,044 | 正味手数料 | 5,884 | 5,634 |

注20 公正価値で測定される金融商品に係る純利得

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|---------|-------------------------------|-------------|---------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 8,231 | 5,322 | 外国為替及びデリバティブ | 3,266 | 7,897 |
| (1,112) | (283) | コマーシャル・ペーパー及び債券 | (294) | (1,185) |
| 440 | 89 | 株式 | 92 | 440 |
| 52 | (77) | その他の金融資産 | (40) | 55 |
| 47 | 235 | 金融負債 | 182 | 71 |
| 7,658 | 5,286 | 金融商品の純利得(トレーディング目的) | 3,206 | 7,278 |
| 74 | 26 | 公正価値で測定される貸出金 | 152 | (465) |
| (568) | (368) | コマーシャル・ペーパー及び債券 | (349) | (629) |
| 761 | (32) | 株式 | 26 | (79) |
| 36 | 150 | 金融負債 | 93 | 52 |
| 302 | (224) | (公正価値で測定される)金融商品の純利得 | (78) | (1,121) |
| (2,788) | (3,475) | デリバティブ(ヘッジ目的) | (9,750) | (4,245) |
| 0 | 0 | 金融資産(ヘッジ対象項目) | (1) | (1) |
| 2,985 | 3,398 | 金融負債(ヘッジ対象項目) | 10,149 | 3,867 |
| 196 | (77) | ヘッジ対象項目に係る純利得 ¹⁾²⁾ | 397 | (380) |
| 554 | 884 | 金融保証 | 909 | 595 |
| 124 | 74 | 配当 | 78 | 133 |
| 8,834 | 5,942 | 公正価値で測定される金融商品に係る純利得 | 4,513 | 6,506 |

- 1) ヘッジ対象負債に係るヘッジリスクは公正価値で計上され、かかるヘッジ手段の残額は償却原価で計上される。ヘッジ目的で使用されるデリバティブは公正価値で計上される。ヘッジリスクによる公正価値の変動は「デリバティブ(ヘッジ目的)」で表示している。ヘッジ対象金融負債に係る純利得には、中止されたヘッジ関係に係る公正価値の償却が含まれている。
- 2) DNBグループはDNBボーリ・クレジットとDNBバンク エイ・エス・エイの外貨建長期借入金にヘッジ会計を適用している。貸出金は外部契約を通じて1対1でヘッジされ、かかる契約では通貨、金利の変動及びヘッジ手段に相関関係がある。貸出金が増加した場合には、マーケティング部門が当行グループの外貨ポジション及びかかる貸出金の金利エクスポージャーに基づいて、かかる貸出金についてヘッジ取引を締結するか検討する。

注21 給与及びその他の人件費

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|---------|-----------------------|-------------|----------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| (6,138) | (6,289) | 給与 ^{*)} | (7,772) | (7,622) |
| (968) | (1,219) | 事業者負担の国民保険拠出金 | (1,428) | (1,190) |
| (872) | (1,205) | 年金費用 | (1,310) | (968) |
| (656) | (315) | 組織再編費用 | (335) | (693) |
| (614) | (612) | その他の人件費 | (715) | (733) |
| (9,248) | (9,639) | 給与及びその他の人件費合計 | (11,561) | (11,206) |
| (5,206) | (5,250) | *) そのうち、業績連動型給与以外の給与等 | (6,196) | (6,197) |
| (785) | (761) | 業績連動型給与 | (1,295) | (1,275) |

従業員数 / 常勤従業員数

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|--------|-------------------------|----------------------|----------------------|
| 2016年度 | 2017年度 | | 2017年度 ¹⁾ | 2016年度 ¹⁾ |
| 7,618 | 7,449 | 12月31日現在の従業員数 | 8,951 | 10,801 |
| 998 | 996 | うち海外の従業員数 | 1,396 | 3,205 |
| 7,301 | 7,171 | 12月31日現在の常勤ベースで算定した従業員数 | 8,544 | 10,366 |
| 980 | 979 | うち常勤ベースで算定した海外の従業員数 | 1,376 | 3,166 |
| 7,674 | 7,499 | 平均従業員数 | 10,279 | 10,793 |
| 7,356 | 7,198 | 常勤ベースで算定した平均従業員数 | 9,848 | 10,372 |

- 1) 2016年度末現在の数値に含まれるバルト諸国における1,796名の従業員は、2017年第4四半期にルミノールに移管された。

注22 その他の費用

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|----------------|-----------------------------|----------------|----------------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| (1,474) | (1,921) | 手数料 ¹⁾ | (2,011) | (1,575) |
| (1,886) | (1,969) | IT費 | (2,119) | (2,087) |
| (179) | (158) | 郵便料及び通信費 | (193) | (222) |
| (25) | (27) | 事務用消耗品費 | (60) | (74) |
| (567) | (564) | マーケティング及び広報費 | (798) | (804) |
| (173) | (212) | 旅費 | (272) | (225) |
| (198) | (204) | 履行済みの取引に係るノルウェー・ポストへの弁済 | (204) | (198) |
| (49) | (52) | 研修費 | (63) | (61) |
| (1,112) | (1,097) | 土地及び建物に係る営業費用 ²⁾ | (1,261) | (1,285) |
| (63) | (61) | 機械、車両及びオフィス機器に係る営業費用 | (81) | (92) |
| (391) | (638) | その他の営業費用 | (837) | (585) |
| (6,118) | (6,904) | その他の費用合計 | (7,899) | (7,207) |

1)2017年度のシステム開発費は、DNBバンク エイ・エス・エイで総額1,390百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループで総額1,388百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2016年度はそれぞれ1,038百万ノルウェー・クローネと1,037百万ノルウェー・クローネであった。

2)2017年度の賃借建物の関連費用はそれぞれ、DNBバンク エイ・エス・エイが945百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループが1,012百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2016年度は953百万ノルウェー・クローネと1,020百万ノルウェー・クローネであった。

注23 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|----------------|-------------------------------|----------------|----------------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| (1,447) | (1,429) | 機械、車両及びオフィス機器に関する減価償却費 | (1,458) | (1,477) |
| (335) | (338) | その他の有形資産及び無形資産の減価償却費 | (417) | (470) |
| (11) | | 資産計上されたシステム開発費の減損 | (42) | (11) |
| | (542) | のれんの減損損失 ¹⁾ | (545) | (5) |
| (258) | (8) | 固定資産及び無形資産に係るその他の減損 | (8) | (140) |
| (2,050) | (2,318) | 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損合計 | (2,469) | (2,103) |

1) 2017年度には、クレスコに関連するのれんの減損損失502百万ノルウェー・クローネが計上された。

(注37)「無形資産」及び(注38)「固定資産」を参照のこと。

注24 年金

年金制度の詳細

DNBグループは、Norwegian Public Service Pension Fundの独立したグループ年金制度の対象となっている旧Postbankenの約330名の従業員を除き、ノルウェーにおける全従業員向けに確定拠出型企業年金制度を設けている。

拠出率は以下の通り：

- ・ 給与が国民保険基礎額（G）の0～7.1倍の場合：7%
- ・ 給与が7.1～12Gの場合：15%
- ・ 当行グループには、12G（廃止された制度の他に）を超す給与に対する確定拠出年金制度はない。

旧確定給付型企業年金制度（2015年から2017年の間に廃止）に加入していた従業員は、拠出型ベースの直接年金制度として補完的に構成された補償制度の対象となっている。補償制度の積立制度は、移行時に承認された条件に基づき、仮に確定給付型年金制度が継続していた場合に、67歳に達した時点で受け取っていたであろう金額と同額の年金額を、個々の従業員に与えることを目的としている。年金受給権と年金基金の収益はともに、事業を通じて賄われている。

DNBグループは、ノルウェーの全従業員向けに障害年金制度を設けている。この障害年金制度は以下の通りである。

- ・ 12Gまでの場合は年金支給対象所得の3%が支給される
- ・ 12Gまでの場合は年金支給対象所得の6%を上限とするGの25%が支給される
- ・ 6～12Gの場合は年金支給対象所得の66%が支給される

当行グループに属するノルウェー企業は、民間セクター向けの年金契約(CPA)制度に加入している。また当行グループは、Public Service Pension Fundに加入する従業員に適用される公共セクターの規則に従って年金契約に係る合意を締結している。

民間CPA制度は、1Gから7.1Gの間の給与の一定割合に相当する年間保険料により積み立てられる。

雇用者による拠出額は年金費用及び年金債務に含まれる。

ノルウェー国外の子会社及び支店は、自社の従業員のために、主に確定拠出型の年金制度を別途設けている。ノルウェー国外の従業員の年金費用は170百万ノルウェー・クローネであった。

年金費用及び年金債務の算定に用いられる経済面での仮定は、ノルウェー会計基準委員会の2017年12月31日現在のガイダンスに準拠している。

| 年金費用 (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク エイ・エス・エイ | |
|---------------------------|-----------------|--------|
| | 2017年度 | 2016年度 |
| 年金受給権の正味現在価値 | (452) | (419) |
| 年金債務に係る利息費用 | (116) | (139) |
| 年金基金の計算上のリターン | 84 | 89 |
| 制度の縮小 | (46) | 216 |
| 管理費 | (1) | (1) |
| 確定給付型年金制度合計 | (531) | (252) |
| 年金契約（新制度） | (88) | (84) |
| リスク・カバレッジ・プレミアム | (42) | (42) |
| 確定拠出年金制度 | (544) | (495) |
| 正味年金費用 | (1,205) | (872) |

| 年金費用 (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | |
|---------------------------|-------------|--------|
| | 2017年度 | 2016年度 |
| 年金受給権の正味現在価値 | (483) | (432) |
| 年金債務に係る利息費用 | (118) | (141) |
| 年金基金の計算上のリターン | 84 | 89 |
| 制度の縮小 | (41) | 220 |
| 管理費 | (1) | (1) |
| 確定給付型年金制度合計 | (559) | (265) |
| 年金契約（新制度） | (97) | (98) |
| リスク・カバレッジ・プレミアム | (46) | (45) |
| 確定拠出年金制度 | (609) | (560) |
| 正味年金費用 | (1,310) | (968) |

| DNBバンク | エイ・エス・エイ | 年金債務 | DNBバンク グループ | |
|--------|----------|-------------------|-------------|--------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 4,991 | 5,038 | 期首残高 | 5,119 | 5,074 |
| 419 | 452 | 年金受給権累計額 | 483 | 432 |
| 139 | 116 | 利息費用 | 118 | 141 |
| 209 | 111 | 数理計算上の損失/(利得)純額 | 112 | 216 |
| | 22 | 年金制度の変更 | 22 | (0) |
| (329) | 46 | 制度の縮小 | 48 | (344) |
| (236) | (273) | 年金支払額 | (277) | (242) |
| (155) | 13 | 為替換算差額 | 18 | (157) |
| 5,038 | 5,526 | 期末残高 | 5,642 | 5,119 |

| | | 年金基金 | | |
|--------|--------|-------------------|--------|--------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 2,798 | 2,584 | 期首残高 | 2,603 | 2,826 |
| 89 | 84 | 期待リターン | 84 | 89 |
| (4) | (4) | 数理計算上の利得/(損失)純額 | (5) | (15) |
| (113) | | 制度の縮小 | 7 | (124) |
| (62) | (36) | 繰越不可能な年金資産超過額 | (36) | (62) |
| 96 | 79 | 保険料支払額 | 80 | 110 |
| (114) | (131) | 年金支払額 | (132) | (115) |
| (1) | (1) | 管理費 | (1) | (1) |
| (106) | 46 | 為替換算差額 | 47 | (105) |
| 2,584 | 2,620 | 期末残高 | 2,647 | 2,603 |
| 2,454 | 2,906 | 正味確定給付債務 | 2,995 | 2,516 |

年金の算定に係る感応度分析

以下の見積は2017年12月31日現在の事実及び条件に基づいており、その他のパラメーターはすべて不変と仮定している。実際の結果はかかる見積と大きく異なる場合がある。

| DNBバンク グループ | | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|--------------------|-------|--------------|------|------|-----|
| | | 割引率 | 給与 / 基準額の 年間増加率 | | 年金の 年間増加率 | | 平均余命 | |
| 変動 (%) | +1% | -1% | +1% | -1% | +1% | 規制0% | +1年 | -1年 |
| 年金の変動 (%) | | | | | | | | |
| 年金債務 | 8-16 | 15-17 | 33-34 | 26-27 | 10-11 | 5-8 | 2 | 2 |
| 当期正味年金費用 | 10-20 | 22-23 | 34-35 | 26-27 | 10-11 | 5-8 | 2 | 2 |

注25 税金

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | 税引前営業利益に係る法人所得税費用 | DNBバンク グループ | |
|-----------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位:百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| (695) | (9,603) | 当期税金 | (5,850) | (8,406) |
| (4,528) | 6,535 | 繰延税金の変動 | 947 | 4,442 |
| (5,223) | (3,068) | 法人所得税費用 | (4,903) | (3,964) |

表面税率に対する法人所得税費用の調整

(単位:百万ノルウェー・クローネ)

| | | | | |
|----------------|----------------|---|----------------|----------------|
| 20,012 | 21,978 | 税引前営業利益 | 24,718 | 21,874 |
| (5,003) | (5,275) | 見積法人所得税費用-表面税率24%(2016年度は25%) | (5,932) | (5,469) |
| | (121) | ノルウェーの金融税の税効果 | (142) | |
| | | 国外の各税率の税効果 | (165) | 10 |
| 357 | 749 | 国外支店との債務利息分配に係る税効果 | 749 | 357 |
| (1,023) | 1,450 | 株式投資による非課税収入の税効果 ¹⁾ | 604 | 509 |
| 451 | 160 | その他の非課税収入及び損金不算入費用の税効果 | 172 | 352 |
| | | 貸借対照表で認識されない税務上の繰越欠損金の税効果 ²⁾ | (23) | 123 |
| | (7) | 貸借対照表に計上された繰延税金に対する税率変更の税効果 | (94) | 18 |
| (5) | (24) | 過年度超過法人所得税 | (72) | 136 |
| (5,223) | (3,068) | 法人所得税費用 | (4,903) | (3,964) |
| 26% | 14% | 実効税率 | 20% | 18% |

その他の包括利益に係る法人所得税

(単位:百万ノルウェー・クローネ)

| | | | | |
|-----------|------------|---------------------------|------------|----------------|
| 48 | (4) | 年金 | (9) | 52 |
| | | 純投資ヘッジ | 171 | (1,449) |
| 48 | (4) | その他の包括利益に係る法人所得税合計 | 162 | (1,397) |

- 1) ノルウェーでは、株式投資からの企業所得は通常非課税である。原則として、これはEU又はEEAに拠点を置く企業への投資に適用され、配当金及び実現利得/(損失)双方に対して非課税扱いとなる。ただし、非課税対象投資からの配当金のうちの3%は課税所得に含められる。
- 2) 子会社の将来減算差異(おもに繰越欠損金)に係る繰延税金は貸借対照表で認識されないが、かかるタックスポジションが将来利用されることを当行グループが立証できる場合はこの限りではない。

国外の各税率の税効果

当行グループはノルウェーの税率(24%)とは税率が異なる多数の国で事業を行っている。

国外支店との債務利息分配に係る税効果

ノルウェーの税制にしたがって、外部に対する利息費用はノルウェー及び国外支店の業務に対し、各拠点の総資産金額に基づいて分配しなければならない。この結果、ノルウェーにおける収益の増減が発生する可能性が生じる。

実効税率に関する見通し

ノルウェーの2017年度の表面税率は24%であった。ノルウェー以外の地域における事業に対する法人税率は、事業展開先の各国の現地の税制に基づいており、表面税率は12%から45%の範囲にわたっている。ノルウェー以外の地域の事業に対する実効税率は、各国の税制に加え二重課税を回避できるかどうかによって変わる。株式投資からの非課税所得により、期待される税率は24%よりも低くなる。期間によっては、貸借対照表に認識されない繰越欠損金が原因で実効税率が変動している。また、当該資産が認識されない期間には実効税率は長期的な期待よりも高くなり、資産として認識されない欠損金を使用される期間には実効税率は低くなっている。

DNBバンク エイ・エス・エイ 繰延税金資産 / (繰延税金)

DNBバンク グループ

| 2016年度 | 2017年度 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|---------|--------|-------------------------------|--------|---------|
| | | 繰延税金資産 / (繰延税金) の年間の変動 | | |
| 6,308 | 1,826 | 1月1日現在の繰延税金資産 / (繰延税金) | (990) | (5,323) |
| (4,528) | 6,535 | 利益に対して計上された変動 | 947 | 4,442 |
| 47 | (4) | 包括利益に対して計上された変動 | (9) | 52 |
| (1) | (16) | 繰延税金に係る為替換算差額 | (38) | (28) |
| | | 売却目的保有資産に振替 | | (133) |
| 1,826 | 8,341 | 12月31日現在の繰延税金資産 / (繰延税金) | (90) | (990) |

貸借対照表の繰延税金資産及び繰延税金は以下の一時差異に関連 DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 繰延税金資産 | | 繰延税金 | |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 固定資産及び無形資産 | (662) | (814) | 72 | 54 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | (1,781) | (2,964) | | 2 |
| 発行済負債証券 | 1,404 | 1,988 | | |
| デリバティブ | 8,278 | 3,030 | | |
| 年金負債純額 | 750 | 663 | | |
| その他の正味将来減算一時差異 | (148) | (245) | 2 | |
| 繰越欠損金及び繰越税額控除 | 574 | 224 | | |
| 繰延税金資産合計 | 8,415 | 1,882 | 74 | 56 |

貸借対照表の繰延税金資産及び繰延税金は以下の一時差異に関連 DNBバンク グループ

| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 繰延税金資産 | | 繰延税金 | |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 固定資産及び無形資産 | 5 | (2) | 722 | 853 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | | | 1,821 | 2,964 |
| 発行済負債証券 | | | (5,099) | (6,937) |
| デリバティブ | (4) | (39) | 4,400 | 5,804 |
| 年金負債純額 | 54 | 94 | (717) | (585) |
| その他の正味将来加算一時差異 | 261 | 857 | 187 | 419 |
| 繰越欠損金及び繰越税額控除 | 441 | 482 | (467) | (136) |
| 繰延税金資産合計 | 757 | 1,392 | 847 | 2,382 |

- 1) 金融商品の大半は財務諸表において公正価値で計上されるが、税務上、同じ金融商品が実現主義に従って発生基準で計上される。これにより、各会計年度、とりわけ金利と為替レートが大幅に変動した会計年度において財務諸表に記載される利益と税務上算定される利益に大きな差異が生じる。かかる差異は長期的には相殺される。
- 2) 2017年度及び2016年度の大幅な為替相場変動により、当行グループの通貨リスク及び金利リスクの管理に使用している金融商品の未実現損益に大幅な変動があった。金融商品は実現主義に従って計上されており、一方で決算日レート法は外貨建の債権債務に使用されている。一連の差額は短期間のうちに戻し入れされる見込みである。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク エイ・エス・エイ

| | 2017年12月31日現在 | | | 2016年12月31日現在 | | |
|-----------------------------------|---------------|-------|------------|---------------|-------|------------|
| | そのうち | | | そのうち | | |
| | 税金資産の | | | 税金資産の | | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 繰越欠損金 | 基礎となる | 認識された税 | 繰越欠損金 | 基礎となる | 認識された |
| 繰越欠損金 | 合計 | もの | 金資産 | 合計 | もの | 税金資産 |
| シンガポール | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| 欠損金及び税金資産合計 | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| 繰越税額控除 ¹⁾ | | | 461 | | | 136 |
| 繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計 | | | 574 | | | 224 |

1) すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク グループ

| | 2017年12月31日現在 | | | 2016年12月31日現在 | | |
|-----------------------------------|---------------|-------|------------|---------------|-------|------------|
| | そのうち | | | そのうち | | |
| | 税金資産の | | | 税金資産の | | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 繰越欠損金 | 基礎となる | 認識された税 | 繰越欠損金 | 基礎となる | 認識された |
| 繰越欠損金 | 合計 | もの | 金資産 | 合計 | もの | 税金資産 |
| ノルウェー | 20 | 20 | 5 | | | |
| シンガポール | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| デンマーク | 2,005 | 1,491 | 329 | 2,311 | 1,577 | 394 |
| 欠損金及び税金資産合計 | 2,685 | 2,171 | 447 | 2,828 | 2,094 | 482 |
| 繰越税額控除 ¹⁾ | | | 461 | | | 136 |
| 繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計 | | | 908 | | | 618 |

1) すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰延税金の認識

繰延税金資産は、一時差異を利用できる課税所得をDNBバンク グループが計上すると見込まれる範囲で資産計上される。同じ納税グループ内の一時差異に係る正味繰延税金が評価され、純額で財務諸表に計上される。

[次へ](#)

注26 金融商品の分類

| 2017年12月31日現在 | | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | |
|---------------------------|---------------------------|--------------------|----------------|-----------------------------|---------------|-----------|
| | 純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品 | | | | | |
| | 公正 | | | | | |
| | 価値で測定 されるもの | | ヘッジ手段 として指定 | | 償却原価で | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | トレーディ ング目的 | として指定 されたもの | されたデリ バティブ | 計上される 金融商品 ¹⁾ | 満期保有 目的の投資 | 合計 |
| 現金及び中央銀行預け金 | 143,463 | 3,251 | | 4,434 | | 151,147 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 348,588 | 4,863 | | 227,522 | | 580,973 |
| 顧客向貸出金 | 55,839 | 12,322 | | 662,622 | | 730,782 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 169,639 | 92,355 | | | | 261,994 |
| 株式 | 5,508 | 802 | | | | 6,310 |
| デリバティブ | 138,346 | | 8,606 | | | 146,953 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | | 9,613 | 9,613 |
| 関連会社への投資 | | | | 9,007 | | 9,007 |
| 子会社への投資 | | | | 115,142 | | 115,142 |
| その他資産 | | | | 22,092 | | 22,092 |
| 金融資産合計 | 861,384 | 113,592 | 8,606 | 1,040,819 | 9,613 | 2,034,015 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 285,817 | 4,657 | | 42,324 | | 332,798 |
| 顧客預金 | 41,692 | 14,090 | | 900,744 | | 956,525 |
| デリバティブ | 178,324 | | 1,210 | | | 179,534 |
| 発行済負債証券 | 158,693 | 9,751 | | 157,727 | | 326,171 |
| その他負債 | 6,214 | | | 44,889 | | 51,103 |
| 劣後債 | | 2,873 | | 26,666 | | 29,538 |
| 金融負債合計 ²⁾ | 670,739 | 31,371 | 1,210 | 1,172,349 | | 1,875,669 |

- 1) ヘッジ負債を含む。
2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額30,933百万ノルウェー・クローネに上る。

| 2016年12月31日現在 | | DNBバンク　エイ・エス・エイ | | | | |
|---------------------------|---------------------------|-----------------|----------------|--------------------|---------|--|
| | 純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品 | | | | | |
| | 公正 | | | | | |
| | 価値で測定 されるもの | ヘッジ手段 として指定 | 償却原価で 計上される | 満期保有 目的の投資 | 合計 | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | トレーディ ング目的 | として指定 されたもの | されたデリ バティブ | 金融商品 ¹⁾ | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 187,462 | 15,824 | | 4,648 | 207,934 | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 340,736 | 4,907 | | 203,450 | 549,093 | |
| 顧客向貸出金 | 42,974 | 16,052 | | 631,034 | 690,060 | |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 150,169 | 73,191 | | | 223,360 | |

| | | | | | | |
|------------------------|---------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| 株式 | 4,297 | 881 | | | | 5,178 |
| デリバティブ | 159,522 | | 10,795 | | | 170,317 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | | 12,760 | 12,760 |
| 関連会社への投資 | | | | 995 | | 995 |
| 子会社への投資 | | | | 118,233 | | 118,233 |
| その他資産 | | | | 13,462 | | 13,462 |
| 金融資産合計 | 885,161 | 110,855 | 10,795 | 971,822 | 12,760 | 1,991,392 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 299,432 | 1,196 | | 38,104 | | 338,731 |
| 顧客預金 | 43,210 | 11,599 | | 865,855 | | 920,664 |
| デリバティブ | 180,605 | | 1,189 | | | 181,794 |
| 発行済負債証券 | 153,485 | 12,925 | | 170,531 | | 336,941 |
| その他負債 | 516 | | | 23,377 | | 23,893 |
| 劣後債 | | 1,254 | | 28,093 | | 29,347 |
| 金融負債合計 ²⁾ | 677,247 | 26,975 | 1,189 | 1,125,960 | | 1,831,371 |

1) ヘッジ負債を含む。

2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額26,362百万ノルウェー・クローネに上る。

2017年12月31日現在

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品 | | | | | 合計 |
|---------------------------|---------------------------|---------|--------|--------------------|-------|-----------|
| | 公正 | | ヘッジ手段 | | | |
| | 価値で測定 | されるもの | として指定 | 償却原価で | 満期保有 | |
| | トレーディ | として指定 | されたデリ | 計上される | | |
| | ング目的 | されたもの | バティブ | 金融商品 ¹⁾ | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | 143,463 | 3,251 | | 4,881 | | 151,595 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 199,288 | | | 38,561 | | 237,849 |
| 顧客向貸出金 | 55,839 | 55,373 | | 1,420,133 | | 1,531,345 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 169,059 | 87,970 | | | | 257,029 |
| 株式 | 6,304 | 999 | | | | 7,303 |
| デリバティブ | 106,318 | | 26,331 | | | 132,649 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | | 9,613 | 9,613 |
| その他資産 | | | | 7,888 | | 7,888 |
| 金融資産合計 | 680,271 | 147,593 | 26,331 | 1,471,463 | 9,613 | 2,335,271 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 182,335 | 4,657 | | 35,508 | | 222,501 |
| 顧客預金 | 41,692 | 14,090 | | 924,593 | | 980,374 |
| デリバティブ | 108,755 | | 3,265 | | | 112,020 |
| 発行済負債証券 | 158,693 | 83,703 | | 539,731 | | 782,127 |
| その他負債 | 6,214 | | | 13,091 | | 19,304 |
| 劣後債 | | 2,873 | | 26,666 | | 29,538 |
| 金融負債合計 ²⁾ | 497,688 | 105,323 | 3,265 | 1,539,588 | | 2,145,864 |

- 1) ヘッジ負債を含む。
- 2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額103,319百万ノルウェー・クローネに上る。

2016年12月31日現在

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品 | | | | | 満期保有 目的の投資 | 合計 |
|---------------------------------|---------------------------|---------|--------|--------------------|----------------|---------------|----|
| | 公正 | | ヘッジ手段 | | 償却原価で 計上される | | |
| | 価値で測定 されるもの | として指定 | として指定 | されたデリ | | | |
| | トレーディ ング目的 | されたもの | バティブ | 金融商品 ¹⁾ | | | |
| | 現金及び中央銀行預け金 | 187,462 | 15,824 | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 160,828 | 45 | | 14,035 | 174,908 | | |
| 顧客向貸出金 | 42,974 | 69,442 | | 1,379,852 | 1,492,268 | | |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 株式 | 148,026 | 69,862 | | | 217,887 | | |
| | 5,158 | 1,042 | | | 6,200 | | |
| デリバティブ | 124,919 | | 33,038 | | 157,957 | | |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | | | 12,760 | 12,760 | |

| | | | | | | |
|----------------------|---------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| その他資産 | | | | 8,255 | | 8,255 |
| 金融資産合計 | 669,366 | 156,215 | 33,038 | 1,407,119 | 12,760 | 2,278,497 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 178,047 | 1,196 | | 32,363 | | 211,606 |
| 顧客預金 | 43,210 | 11,599 | | 890,885 | | 945,694 |
| デリバティブ | 128,796 | | 2,195 | | | 130,990 |
| 発行済負債証券 | 153,485 | 87,402 | | 526,863 | | 767,750 |
| その他負債 | 516 | | | 15,265 | | 15,781 |
| 劣後債 | | 1,254 | | 28,093 | | 29,347 |
| 金融負債合計 ²⁾ | 504,053 | 101,451 | 2,195 | 1,493,470 | | 2,101,169 |

1) ヘッジ負債を含む。

2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額99,238百万ノルウェー・クローネに上る。

注27 償却原価で測定される金融商品の公正価値

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|------------------------|-----------------|-----------|---------------|-----------|
| | 2017年12月31日現在 | | 2016年12月31日現在 | |
| | 帳簿価額 | 公正価値 | 帳簿価額 | 公正価値 |
| 現金及び中央銀行預け金 | 4,434 | 4,434 | 4,648 | 4,648 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 227,522 | 227,522 | 203,450 | 203,450 |
| 顧客向貸出金 | 662,622 | 663,545 | 631,034 | 634,571 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | 9,613 | 9,581 | 12,760 | 12,406 |
| 金融資産合計 | 904,190 | 905,082 | 851,891 | 855,075 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 42,324 | 42,324 | 38,104 | 38,104 |
| 顧客預金 | 900,744 | 900,744 | 865,855 | 865,855 |
| 発行済証券 | 157,727 | 160,827 | 170,531 | 173,788 |
| 劣後債 | 26,666 | 26,378 | 28,093 | 28,065 |
| 金融負債合計 | 1,127,460 | 1,130,273 | 1,102,583 | 1,105,812 |

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク グループ | | | |
|------------------------|---------------|-----------|---------------|-----------|
| | 2017年12月31日現在 | | 2016年12月31日現在 | |
| | 帳簿価額 | 公正価値 | 帳簿価額 | 公正価値 |
| 現金及び中央銀行預け金 | 4,881 | 4,881 | 4,977 | 4,977 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 38,561 | 38,561 | 14,035 | 14,035 |
| 顧客向貸出金 | 1,420,133 | 1,421,464 | 1,379,852 | 1,383,679 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | 9,613 | 9,581 | 12,760 | 12,406 |
| 金融資産合計 | 1,473,188 | 1,474,487 | 1,411,623 | 1,415,097 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 35,508 | 35,508 | 32,363 | 32,363 |
| 顧客預金 | 924,593 | 924,593 | 890,885 | 890,885 |
| 発行済証券 | 539,731 | 548,082 | 526,863 | 533,874 |
| 劣後債 | 26,666 | 26,378 | 28,093 | 28,065 |
| 金融負債合計 | 1,526,497 | 1,534,561 | 1,478,205 | 1,485,187 |

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|-------------------------|---|---|---|---------|
| | 観察可能な | | | |
| | 活発な市場に おける相場価格 に基づく評価 レベル1 ¹⁾ | 観察可能な 市場データ以外 市場データに のインプットに 基づく評価 レベル2 ¹⁾ | 観察可能な 市場データ以外 市場データに のインプットに 基づく評価 レベル3 ¹⁾ | 合計 |
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | | 4,434 | | 4,434 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 227,522 | | 227,522 |
| 顧客向貸出金 | | | 663,545 | 663,545 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | 9,581 | 9,581 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 42,324 | | 42,324 |
| 顧客預金 | | 900,744 | | 900,744 |
| 発行済証券 | | 160,139 | 688 | 160,827 |

| | | | |
|-----|--------|--------|--------|
| 劣後債 | 15,943 | 10,435 | 26,378 |
|-----|--------|--------|--------|

DNBバンク グループ

観察可能な

活発な市場に
 おける相場価格
 に基づく評価

観察可能な
 市場データに
 基づく評価

市場データ以外
 のインプットに
 基づく評価

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

| | レベル1 ¹⁾ | レベル2 ¹⁾ | レベル3 ¹⁾ | 合計 |
|-------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金 | | 4,881 | | 4,881 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 38,561 | | 38,561 |
| 顧客向貸出金 | | | 1,421,464 | 1,421,464 |
| 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | | | 9,581 | 9,581 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 35,508 | | 35,508 |
| 顧客預金 | | 924,593 | | 924,593 |
| 発行済証券 | | 519,955 | 28,127 | 548,082 |
| 劣後債 | | 11,081 | 15,297 | 26,378 |

1) 各レベルの定義に関しては、(注28)「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

償却原価で測定される金融商品

DNBバンク グループの貸借対照表上の、大半の資産及び負債は償却原価で計上されている。このことは主に当行グループの貸借対照表上の貸出金、預け金(預金)、及び借入金だけでなく、満期保有目的の債券への投資等にも適用されている。ノルウェー・クローネ建ての長期借入金は公正価値で計上されているが、その他の通貨建ての長期借入金は償却原価で計上されている。ヘッジ会計が適用される場合もある。

償却原価で貸借対照表項目を計上するのは、減損のために調整される可能性があることや、当初認められたキャッシュ・フローが使われることを意味する。このような評価額は必ずしも同じ金融商品の市場評価額と常に合致するものではない。かかる不一致はマクロ経済の見通し、市況、リスク面、リターン要件に関する見解の相違並びに正確な情報の入手方法の違いによるものである。上記の表は、償却原価で計上された項目の見積公正価値を表示している。

評価額は各金融商品の特性と貸借対照表日の価値に基づいている。しかし、かかる評価額は顧客関係、市場へのアクセス、ブランド、組織面、従業員、及び資本構成といった価値をすべて含んだものではない。結果として、そのような無形資産は普通、財務諸表に計上されない。加えて顧客との取引の大半は、複数の商品に対し集合的に評価され、値付けされるものであり、貸借対照表に計上される商品は顧客が利用するその他の商品及びサービスと合わせて考慮されている。そのため、貸借対照表に計上される個々の資産及び負債は当行グループの事業の全体価値を反映しつくすものではない。

金融機関向貸出金及び預け金並びに顧客向貸出金

貸出金を評価する際、貸出金ポートフォリオは次のカテゴリー、すなわち個人顧客、中小企業、北欧企業、国外の事業法人、海運/オフショア/物流及びエネルギーに分けられている。また、DNB Finans及びポーランド事業部に関しては別途算定が行われている。

評価額は12月の平均スプレッドに基づいたもので、その平均スプレッドは2017年度末に貸出が実行された場合に事業部門が必要と見込む潜在スプレッドの最善の見積と比較し考慮されている。貸出に関連する見積費用に基づき、分化した必要スプレッドが上記のカテゴリー別に算定されている。必要スプレッドは標準損失額をカバーする費用を含んでいる。標準損失額は年次財務諸表に計上される減損額とは対照的に、損失水準の長期評価額を表している。

償却原価で計上されるリテールローンは、大半が変動金利による貸出である。かかるリテールローンの公正価値は償却原価で計上されている。

減損した貸出金については、減損していない類似の貸出金に関する市況変動調整後の実効金利で割り引かれた潜在キャッシュ・フローの評価が行われている。引当金設定前の貸出金利は負債の信用リスクの上昇を反映している。公正価値の測定における一般的な不確実性を踏まえると、減損後の価値は、かかる貸出金の公正価値を適切に反映していると評価される。

顧客は、一部が償却原価、また一部が公正価値で計上されるような貸出商品をしばしば利用するのである。顧客取引関係の収益性は総額に基づいて考察され、価値は全体的な評価に基づいて査定される。それに応じて、顧客取引関係価値の低下は商品すべての全体評価に基づく。特定の商品の価格変動以外の価値の低下は、関連する顧客取引関係の信用の全体評価に含まれる。顧客関係価値合計の低下は償却原価に基づいて測定され、貸出金の減損に基づいて計上される。

満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

レベル2の評価は主として、債券又はコマーシャル・ペーパーの個々の信用や特徴に関連した、金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル3に分類される債券類の評価は、モデルに基づいて行われる。詳細については（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

金融機関からの借入金及び預金、並びに顧客預金

金融機関からの借入金及び預金については、見積公正価値は貸借対照表価額と合致する。顧客預金については、公正価値は償却原価に合致するよう評価されている。

発行済証券及び劣後債

レベル2の評価は、入手可能な場合には、金利カーブや信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル3に分類される証券及び劣後債はモデルに基づいて評価される。これらの項目は主に外貨による資金調達で構成されている。

注28 公正価値で測定される金融商品

| | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|---------------------------|---|----------------------------------|--|---------|
| | 活発な市場 における相場 価格に 基づく評価 レベル1 | 観察可能な 市場データに 基づく評価 レベル2 | 観察可能な 市場データ 以外のイン プットに 基づく評価 レベル3 | 合計 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | |
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | |
| 中央銀行預け金 | | 146,714 | | 146,714 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 353,451 | | 353,451 |
| 顧客向貸出金 | | 55,839 | 12,322 | 68,161 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 46,440 | 215,226 | 328 | 261,994 |
| 株式 | 5,530 | 254 | 527 | 6,310 |
| デリバティブ | 131 | 144,753 | 2,069 | 146,953 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 290,474 | | 290,474 |
| 顧客預金 | | 55,782 | | 55,782 |
| 発行済負債証券 | | 168,444 | | 168,444 |
| 劣後債 | | 2,873 | | 2,873 |
| デリバティブ | 150 | 177,635 | 1,749 | 179,534 |
| その他の金融負債 ¹⁾ | 6,153 | 61 | | 6,214 |
| 2016年12月31日現在の資産 | | | | |
| 中央銀行預け金 | | 203,286 | | 203,286 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 345,643 | | 345,643 |
| 顧客向貸出金 | | 42,974 | 16,052 | 59,026 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 50,893 | 172,092 | 375 | 223,360 |
| 株式 | 4,140 | 239 | 799 | 5,178 |
| デリバティブ | 0 | 168,998 | 1,319 | 170,317 |
| 2016年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 300,628 | | 300,628 |
| 顧客預金 | | 54,809 | | 54,809 |
| 発行済負債証券 | | 166,410 | | 166,410 |
| 劣後債 | | 1,254 | | 1,254 |
| デリバティブ | 0 | 180,732 | 1,062 | 181,794 |
| その他の金融負債 ¹⁾ | 516 | 0 | | 516 |

1) トレーディング業務におけるショートポジション。

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 活発な市場 における 相場価格に 基づく評価 レベル1 | 観察可能な 市場データに 基づく評価 レベル2 | 観察可能な 市場データ 以外のイン プットに 基づく評価 レベル3 | 合計 |
|---------------------------|---|----------------------------------|--|---------|
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | |
| 中央銀行預け金 | | 146,714 | | 146,714 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 199,288 | | 199,288 |
| 顧客向貸出金 | | 55,839 | 55,373 | 111,212 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 53,391 | 203,311 | 328 | 257,029 |
| 株式 | 6,421 | 260 | 621 | 7,303 |
| デリバティブ | 131 | 130,450 | 2,069 | 132,649 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 186,993 | | 186,993 |
| 顧客預金 | | 55,782 | | 55,782 |
| 発行済負債証券 | | 242,396 | | 242,396 |
| 劣後債 | | 2,873 | | 2,873 |
| デリバティブ | 150 | 110,121 | 1,749 | 112,020 |
| その他の金融負債 ¹⁾ | 6,153 | 61 | | 6,214 |
| 2016年12月31日現在の資産 | | | | |
| 中央銀行預け金 | | 203,286 | | 203,286 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | 160,873 | | 160,873 |
| 顧客向貸出金 | | 42,974 | 69,442 | 112,416 |
| 公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券 | 54,988 | 162,524 | 375 | 217,887 |
| 株式 | 5,009 | 245 | 946 | 6,200 |
| デリバティブ | 0 | 156,637 | 1,319 | 157,957 |
| 2016年12月31日現在の負債 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | 179,243 | | 179,243 |
| 顧客預金 | | 54,809 | | 54,809 |
| 発行済負債証券 | | 240,887 | | 240,887 |
| 劣後債 | | 1,254 | | 1,254 |
| デリバティブ | 0 | 129,928 | 1,062 | 130,990 |
| その他の金融負債 ¹⁾ | 516 | 0 | | 516 |

1) トレーディング業務におけるショートポジション。

レベル

金融商品は、その個々の金融商品に係る市場データの品質に基づいて、異なるレベルに分類される。レベル2に分類される金融商品に関しては、市場データの品質は当該金融商品が取引されていたかどうかによって変わる可能性がある。したがって、一部の金融商品がレベル2とレベル3との間で移動することは致し方がない。これは主としてコマーシャル・ペーパー及び債券に当てはまる。

レベル1：活発な市場における相場価格に基づく評価

レベル1に分類されるのは、同一の資産又は負債に関する活発な市場の相場価格で評価される金融商品である。

このカテゴリーに分類される金融商品は、活発な市場で取引される上場株式及び投資信託、国債、並びにコマーシャル・ペーパーである。

レベル2：観察可能な市場データに基づく評価

レベル2に分類されるのは相場価格以外の情報で評価される金融商品であるが、この場合、資産若しくは負債に関する価格は、同一の資産若しくは負債に関する活発ではない市場の相場価格を含め直接又は間接に観察可能である。

このカテゴリーに含まれるのは、ロイター又はブルームバーグによる相場価格のある金利スワップ、通貨スワップ、及び先物契約といった銀行間デリバティブの他、ノルウェー・クローネ、ユーロ、米ドル、及び英ポンド間のベシス・スワップ並びに信用スプレッドの低い顧客との通貨金利デリバティブ等である。上場オプションは、内在するボラティリティが観察可能な価格に基づき調査又は補間／推定できる場合にレベル2に分類される。

レベル3：観察可能な市場データ以外に基づく評価

レベル3に分類されるものは、直接観察可能な価格に基づいて評価することができない金融商品である。これらの金融商品に対しては、企業の資産及び負債の価値、予想キャッシュ・フロー及び主なパラメータが観察可能な市場データに基づかない他のモデルといった、他の評価手法が使用されている。

このカテゴリーに含まれるのは、信用スプレッドが市場価値に対する調整の大半を占めるような顧客向けの貸出金及び金融商品である。

見積公正価値が取引価格と異なる場合に発生する損益（初日損益）は、2017年度及び2016年度の財務諸表に重要な影響を及ぼしていない。

異なるレベルに分類された金融商品

金融機関向貸出金及び預け金（レベル2）

これは、主にマーケット部門に関連するものである。金融機関との貸出金及び預け金の評価は主にスワップ・カーブで測定される合意された金利期間に基づいて行われる。固定金利期間は比較的短い。

顧客向貸出金（レベル3）

貸出金は主にノルウェー・クローネ建ての固定金利の貸出金であるが、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出ポートフォリオも一部ある。固定金利の貸出金の価値は必要スプレッドを調整した割引係数を使って、貸出期間にわたり契約で定められたキャッシュ・フローを割り引くことで算出される。必要スプレッドはスプレッド貸出に関して算定され、契約されたスプレッドと実際のスプレッドの差異はスプレッド貸出の金利改定までの予想平均期間にわたって割り引かれる。

コマーシャル・ペーパー及び債券（レベル2とレベル3）

レベル2での評価は、主に個別のクレジット又は債券若しくはコマーシャル・ペーパーの特性に関連する金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づく。レベル3に分類されるコマーシャル・ペーパーの評価は、第三者又は比較可能なコマーシャル・ペーパーの気配値に基づく。

投資信託を含む株式（レベル2とレベル3）

レベル2の株式とは、他の小規模な投資信託や上場株式を原資産とする投資信託である。レベル3に分類される金融商品は、不動産ファンド、リミテッド・パートナーシップ・ユニット、プライベート・エクイティ投資及び非上場株式投資等である。

デリバティブ（レベル2とレベル3）

レベル2に分類されるデリバティブは、主に通貨先渡契約、並びに金利及び通貨スワップ等である。その評価はスワップ・カーブに基づいており、信用スプレッドはその価値のごく一部である。またその他、コモディティに連動するデリバティブやFRA（金利先渡契約）も含んでいる。これらは観察可能な市場価格に基づいて評価される。レベル2に分類されるデリバティブには、マーケット部門のマーケット・メイキング業務で使われるエクイティ・デリバティブも含まれる。かかるデリバティブの大半はオスロ証券取引所で活発に取引される株式に連動し、その評価は連動するノルウェー・クロネ建ての通貨オプションと金利オプション及び指数デリバティブ等に連動し、第三者の気配値に基づいて評価される。

金融機関からの借入金及び預金（レベル2）

上記の「金融機関向貸出金及び預け金」を参照のこと。

顧客預金（レベル2）

公正価値で計上される預金は特別条件の預金を含み、スワップ・カーブに関連した測定に基づいて評価され、信用スプレッドの変動はそれほど影響を及ぼさない。

発行済負債証券（レベル2）

発行済負債証券の評価は、金利カーブや信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づいている。かかる勘定科目はノルウェー・クロネ建ての調達資金が中心である。外貨での資金調達に関しては、ヘッジが行われている場合にはヘッジ会計を適用している。その他すべての面に関して、発行済負債証券は償却原価で計上される。

劣後債（レベル2）

公正価値で計上される劣後債はノルウェー・クロネ建ての1本であり、観察可能な金利カーブ及び信用スプレッドに基づいて評価される。

公正価値で測定される金融商品（レベル3）

| | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|-------|--------|
| | 金融資産 | | 金融負債 | |
| | 顧客向貸出金 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 株式 | デリバティブ |
| (単位：百万ノルウェー・クロネ) | | | | |
| 2015年12月31日現在の帳簿価額 | 24,855 | 566 | 828 | 1,504 |
| 損益計算書で認識される純利得 | 42 | (12) | (119) | (201) |
| 追加／取得 | 4,914 | 308 | 135 | 802 |

| | | | | | |
|---------------------------|---------------|------------|------------|--------------|--------------|
| 売却 | (2,696) | (597) | (45) | | |
| 決済 | (11,063) | | | (772) | (751) |
| レベル1又はレベル2からの振替 | | 698 | | | |
| レベル1又はレベル2への振替 | | (576) | | | |
| その他 | | (13) | | (14) | (6) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 16,052 | 375 | 799 | 1,319 | 1,062 |
| 損益計算書で認識される純利得 | 13 | (63) | 22 | (75) | (99) |
| 追加 / 取得 | 2,039 | 331 | 55 | 1,422 | 1,349 |
| 売却 | (951) | (291) | (350) | | |
| 決済 | (4,831) | | | (592) | (578) |
| レベル1又はレベル2からの振替 | | 100 | | | |
| レベル1又はレベル2への振替 | | (132) | | | |
| その他 | | 8 | | (5) | 15 |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 12,322 | 328 | 527 | 2,069 | 1,749 |

公正価値で測定される金融商品（レベル3）

DNBバンク グループ

| | 金融資産 | | | | 金融負債 |
|---------------------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|--------------|
| | 顧客向貸出金 | コマーシャル・ ペーパー及び債券 | 株式 | デリバティブ | デリバティブ |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | | |
| 2015年12月31日現在の帳簿価額 | 85,777 | 734 | 1,229 | 1,504 | 1,144 |
| 損益計算書で認識される純利得 | (519) | (97) | (120) | (201) | (122) |
| 追加 / 取得 | 13,818 | 308 | 156 | 802 | 797 |
| 売却 | (5,146) | (657) | (283) | | |
| 決済 | (24,489) | 0 | | (772) | (751) |
| レベル1又はレベル2からの振替 | | 698 | | | |
| レベル1又はレベル2への振替 | | (576) | | | |
| その他 | | (35) | (36) | (14) | (6) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 69,442 | 375 | 946 | 1,319 | 1,062 |
| 損益計算書で認識される純利得 | 119 | (63) | 73 | (75) | (99) |
| 追加 / 取得 | 5,041 | 331 | 61 | 1,422 | 1,349 |
| 売却 | | (291) | (459) | | |
| 決済 | (19,228) | | | (592) | (578) |
| レベル1又はレベル2からの振替 | | 100 | | | |
| レベル1又はレベル2への振替 | | (132) | | | |
| その他 | | 8 | | (5) | 15 |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 55,373 | 328 | 621 | 2,069 | 1,749 |

顧客向貸出金

公正価値で計上される貸出金ポートフォリオは、主にノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出金やノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出金の一部等である。

固定金利貸出金

固定金利貸出金の評価は必要スプレッドを調整した割引係数を用いて、貸出期間にわたり契約で定められた利息額を割り引くことにより算出される。使用する割引係数は、関連する固定金利貸出金の平均残存固定期間（lock-in period）に等しいデューレーションに基づいたスワップレートを起点としている。貸出金の必要スプレッドの算出の基礎となる仮定は、貸借対照表日現在の市況のレビューに加え、同様のポートフォリオに投資する際に外部の投資家が行った審議の評価に基づいている。公正価値で計上される固定金利貸出金は2017年度末時点で総額46,604百万ノルウェー・クローネに上る。

公正価値で計上されるスプレッド貸出金

スプレッド貸出金は参照金利とスプレッドから成る契約金利による貸出金である。参照金利は通常3ヶ月毎に設定されるが、スプレッドはかなり長い期間にわたって定められる。金利の変動が激しく、市場の流動性が乏しい時期には、金融危機の場合と同様、長期の資金調達コストが増加する。かかるコストはその算定時に銀行が使用する必要スプレッドにとって重要である。必要スプレッドは契約スプレッドに対して測定され、その差分が予想スプレッドの調整までの平均期間にわたって割り引かれる。かかる平均期間は当行グループの事業部門からの査定に基づいているが、過去の経験に基づいて重要な判断を下す必要がある。スプレッドの実際の調整までの期間がかかる計算における不確実性の最大の要素である。公正価値で計上されるスプレッド貸出金は2017年度末時点で総額8,769百万ノルウェー・クローネに上る。

コマーシャル・ペーパー及び債券

レベル3に分類される投資は、主に、流動性が低いコーポレートハイイールド債である。

投資信託を含むエクイティ

レベル3に分類される投資は、プライベート・エクイティ・ファンド、リミテッド・パートナーシップ及び非上場株式である。かかる投資に関する共通点は各部門からの情報の取得に遅れがあるということである。金融市場が混乱している時期には、かかる投資の評価に関わる不確実性が非常に大きい可能性がある。

デリバティブ、資産及び負債

レベル3に分類される金融商品は、通貨オプション、ノルウェー・クローネ建ての金利オプション、消費者物価指数に連動するデリバティブ等である。

| DNBバンク エイ・エス・エイ 公正価値の内訳 (レベル3) | | | | DNBバンク グループ | | | |
|--------------------------------|-----------------|--------|-----------------------|---------------|-----------------|-----|--|
| 2017年12月31日現在 | | | | 2017年12月31日現在 | | | |
| 株式 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 顧客向貸出金 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 顧客向貸出金 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 株式 | |
| 392 | 355 | 12,241 | 元本金額 / 購入価額 | 54,602 | 355 | 415 | |
| 135 | (27) | 50 | 公正価値の調整 ¹⁾ | 674 | (27) | 206 | |
| | | 31 | 未収利息 | 97 | | | |
| 527 | 328 | 12,322 | 帳簿価額 | 55,373 | 328 | 621 | |

1) 顧客向貸出金の公正価値の変動は、主としてスワップレートの変動に起因する。対応するマイナスの調整は、経済的ヘッジに使用される金融商品の公正価値の中で行われる。

| DNBバンク エイ・エス・エイ 株式の内訳 (レベル3) | | | | DNBバンク グループ | | | |
|------------------------------|-----|-------------------------|-------|--------------------|-----|-------------------------|-------|
| 合計 | その他 | プライベート・エクイティ (PE) ・ファンド | 非上場株式 | 合計 | その他 | プライベート・エクイティ (PE) ・ファンド | 非上場株式 |
| 527 | 12 | 212 | 303 | 397 | 12 | 212 | 303 |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | | | | 2017年12月31日現在の帳簿価額 | | | |

| DNBバンク エイ・エス・エイ 感応度分析 (レベル3) | | | | DNBバンク グループ | | | |
|------------------------------|----------------------------|--------------------|--|------------------------------|----------------------------|--|--|
| 合理的に発生 可能性のある 代替的仮定の影響 | 2017年 12月31日現在の 帳簿価額 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | | 合理的に発生 可能性のある 代替的仮定の影響 | 2017年 12月31日現在の 帳簿価額 | | |
| (24) | 12,322 | 顧客向貸出金 | | (122) | 55,373 | | |
| (1) | 328 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | | (1) | 328 | | |
| | 527 | 株式 | | | 621 | | |
| | 320 | デリバティブ (正味) | | | 320 | | |

貸出金ポートフォリオの感応度を表示するため、固定金利の貸出金の割引率とスプレッド・ベースの貸出金の必要スプレッドを10ベーシスポイント引き上げた。

レベル3に分類される債券は主に、ノルウェーの産業、オフショア及び電力会社への投資に関するものである。割引率が10ベーシスポイント上昇した場合の影響は僅少である。

[次へ](#)

注29 相殺

下記の表は、金融資産と金融負債に対する当行グループのネットティング契約による潜在的な影響を示したものである。詳細な情報については（注1）「会計方針」を参照のこと。

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | | |
|------------------------------|---------|-------------------------|---------|---------------|------------------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 総額 | 財政状態 計算書で相殺 される金額 | 帳簿価額 | ネットティング 契約 | 可能な ネットティング 後の金額 |
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾ | 192,707 | | 192,707 | | 192,707 |
| 顧客向貸出金 ²⁾ | 56,430 | | 56,430 | | 56,430 |
| デリバティブ ³⁾ | 146,953 | | 146,953 | 23,797 | 49,226 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 ²⁾ | 57,299 | | 57,299 | | 57,299 |
| 顧客預金 ²⁾ | 1,552 | | 1,552 | | 1,552 |
| デリバティブ ³⁾ | 179,534 | | 179,534 | 23,797 | 64,536 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | | |
|------------------------------|---------|-------------------------|---------|---------------|------------------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 総額 | 財政状態 計算書で相殺 される金額 | 帳簿価額 | ネットティング 契約 | 可能な ネットティング 後の金額 |
| 2016年12月31日現在の資産 | | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾ | 153,938 | | 153,938 | | 153,938 |
| 顧客向貸出金 ²⁾ | 43,496 | | 43,496 | | 43,496 |
| デリバティブ ³⁾ | 170,317 | | 170,317 | 54,580 | 45,407 |
| 2016年12月31日現在の負債 | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 ²⁾ | 50,018 | | 50,018 | | 50,018 |
| 顧客預金 ²⁾ | 1,185 | | 1,185 | | 1,185 |
| デリバティブ ³⁾ | 181,794 | | 181,794 | 54,580 | 68,648 |

| DNBバンク グループ | | | | | |
|------------------------------|---------|-------------------------|---------|---------------|------------------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 総額 | 財政状態 計算書で相殺 される金額 | 帳簿価額 | ネットティング 契約 | 可能な ネットティング 後の金額 |
| 2017年12月31日現在の資産 | | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾ | 192,707 | | 192,707 | | 192,707 |
| 顧客向貸出金 ²⁾ | 56,430 | | 56,430 | | 56,430 |
| デリバティブ ³⁾ | 132,649 | | 132,649 | 23,797 | 35,527 |
| 2017年12月31日現在の負債 | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 ²⁾ | 30,922 | | 30,922 | | 30,922 |
| 顧客預金 ²⁾ | 1,552 | | 1,552 | | 1,552 |
| デリバティブ ³⁾ | 112,020 | | 112,020 | 23,797 | 15,696 |

| DNBバンク グループ | | | | | |
|------------------------------|---------|-------------------------|---------|---------------|------------------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 総額 | 財政状態 計算書で相殺 される金額 | 帳簿価額 | ネットティング 契約 | 可能な ネットティング 後の金額 |
| 2016年12月31日現在の資産 | | | | | |
| 金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾ | 153,938 | | 153,938 | | 153,938 |
| 顧客向貸出金 ²⁾ | 43,496 | | 43,496 | | 43,496 |
| デリバティブ ³⁾ | 157,957 | | 157,957 | 54,603 | 33,066 |
| 2016年12月31日現在の負債 | | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金 ²⁾ | 20,375 | | 20,375 | | 20,375 |
| 顧客預金 ²⁾ | 1,185 | | 1,185 | | 1,185 |
| デリバティブ ³⁾ | 130,990 | | 130,990 | 54,603 | 18,137 |

- 1) 取引相手との間で受払いされた担保金及び証券、並びにクリアストリーム又はユーロクリアといった預託機関の担保として受け入れあるいは差し入れた証券が含まれている。
- 2) レボ及びリバース・レボ取引、証券貸借取引が含まれている。
- 3) 総額は、マスターネットティング契約の対象となっている、又はクレジット・サポート・アネックスに基づいて現金もしくは証券によって担保されているデリバティブの市場価値を表している。

注30 株式

株式、投資信託及びエクイティ証券への投資¹⁾

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 5,178 | 6,310 | 株式、投資信託及びエクイティ証券への投資合計 | 7,303 | 6,200 |

1) エクイティ証券は、貯蓄銀行に対する投資である。

注31 譲渡資産又はその他の制約を受ける資産

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | 貸借対照表で引続き認識されている 譲渡資産 | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| | | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | |
| | | レボ取引 | | |
| 11,079 | 9,776 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 2,688 | 11,079 |
| | | デリバティブ | | |
| 3,648 | 4,596 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 2,698 | 3,648 |
| | | 有価証券貸付 | | |
| 215 | 178 | 株式 | 178 | 215 |
| 14,941 | 14,550 | レボ取引及び有価証券貸付合計 | 5,564 | 14,941 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | 資産に伴う負債 | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| | | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | |
| | | レボ取引 | | |
| 10,446 | 8,889 | 金融機関からの借入金及び預金 | 1,808 | 10,446 |
| 1,185 | 877 | 顧客預金 | 877 | 1,185 |
| 3,648 | 4,596 | デリバティブ | 2,698 | 3,648 |
| 225 | 187 | 有価証券貸付 | 187 | 225 |
| 15,505 | 14,549 | 負債合計 | 5,570 | 15,505 |

制約を受けている資産

ローカルの法定自己資本要件により、当行グループが、当行グループ内の他の事業体に対して自由に資産を譲渡し又は他の事業体の資産に自由にアクセスしたり、また当行グループ内で負債を清算することが制限される可能性がある。

DNBバンク グループが資産を使用する際に影響を及ぼす制約

DNBバンク グループは当グループの債務を担保する担保資産（担保として差し入れられている有価証券）及び発行済カバード・ボンド（カバープール）を有する。詳細については（注48）「オフバランスシート取引及び偶発事象」を参照のこと。

DNBバンク グループはデリバティブに関し担保を差し入れている。詳細については（注15）「デリバティブ」を参照のこと。

注32 売却又は再担保差入可能な受入有価証券

| DNBバンク エイ・エス・エイ 受入有価証券 | | | DNBバンク グループ | |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| リバース・レボ取引 | | | | |
| 190,083 | 243,010 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 243,010 | 190,083 |
| 有価証券借入 | | | | |
| 31,121 | 45,801 | 株式 | 45,801 | 31,121 |
| 221,204 | 288,811 | 受入有価証券合計 | 288,811 | 221,204 |
| 受入後、売却又は再担保差し入れを実施した 有価証券の内訳 | | | | |
| 4,203 | 41,208 | コマーシャル・ペーパー及び債券 | 11,616 | 4,203 |
| 10,084 | 9,021 | 株式 | 9,199 | 10,084 |

注33 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 12,760 | 9,613 | 海外債券ポートフォリオ | 9,613 | 12,760 |
| 12,760 | 9,613 | 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券 | 9,613 | 12,760 |

日常的な流動性管理の一手法として、DNBバンクは有価証券のポートフォリオに投資を行っている。当該ポートフォリオは流動性要件に対応するために用いられるほか、様々な国での業務に対する担保提供の基礎としても利用されている。中でも、この有価証券は多数の中央銀行からの短期及び長期の借入金に対する担保の基礎として利用されているほか、規制要件を充足するための流動性バッファの基礎としても用いられている。2008年7月1日から、海外債券ポートフォリオは、「純損益を通じて公正価値で測定される」カテゴリーから、「満期保有目的投資」カテゴリーへと再分類された。再分類後の期間において、一部の追加投資は満期保有に分類された。このカテゴリーのポートフォリオは償却原価で計上され、価値の低下を示す客観的な証拠がある場合には評価減が行われる。

再分類による海外債券ポートフォリオへの影響

ポートフォリオを償却原価で測定することにより、2017年12月31日現在の当該ポートフォリオの価値は、従前の評価原則が適用されていたと仮定した場合よりも、36百万ノルウェー・クローネ増加している。再分類日の当該ポートフォリオの帳簿価額は88.0十億ノルウェー・クローネであり、2017年12月末現在の帳簿価額は8.7十億ノルウェー・クローネであった。当該ポートフォリオの平均残存期間は4.9年であり、1ベースポイントのクレジットスプレッドの変動から生じる価値の変動は、2017年12月末現在で4.1百万ノルウェー・クローネであった。

再分類による利益への影響

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
|-------------------|--------|--------|
| | | |
| 償却効果の計上額 | 98 | 84 |
| 公正価値で評価された場合の純利得 | 409 | 448 |
| 再分類による利益への影響 | (311) | (364) |

再分類による貸借対照表への影響

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | |
| 未実現損失計上額 | 220 | 318 |
| 公正価値で評価された場合の未実現損失 | 256 | 665 |
| 再分類による貸借対照表への影響 | 36 | 347 |

再分類後のポートフォリオの動向

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|
| | | |
| 再分類されたポートフォリオ（帳簿価額） | 8,668 | 10,414 |
| 再分類されたポートフォリオ（公正価値で評価された場合） | 8,631 | 10,067 |
| 再分類による貸借対照表への影響 | 36 | 347 |

注34 投資不動産

| 損益計算書に含まれる金額 | DNBバンク グループ | |
|---------------------------------------|-------------|--------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 投資不動産からの賃貸料 | 125 | 131 |
| 賃貸料収入の発生する投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む） | (55) | (64) |
| 賃貸料収入の発生しない投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む） | (12) | (20) |
| 合計 | 58 | 47 |

投資不動産は主として取得した企業に関連しており、公正価値ヒエラルキーの中ではレベル3に分類されている。

| 投資不動産の価値の変動 | DNBバンク グループ |
|---------------------------|--------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 投資不動産 |
| 2015年12月31日現在の帳簿価額 | 2,333 |
| 追加（新しい不動産の取得） | 84 |
| 追加（資産化された投資） | 5 |
| 追加（被買収企業） | 163 |
| 純利得 | (35) |
| 処分 | (1,311) |
| 為替レートの変動 | (65) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 1,175 |
| 追加（新しい不動産の取得） | 0 |
| 追加（資産化された投資） | 0 |
| 追加（被買収企業） | |
| 純利得 | 171 |
| 処分 | (382) |
| 為替レートの変動 | 25 |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 990 |

2017年12月31日時点では資産化されていない投資不動産の取得又は建設に関連して約定したコミットメント 0

注35 関連会社への投資

| | DNBバンク グループ | |
|-----------------------------------|---------------|--------------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 1月1日現在の帳簿価額 | 3,570 | 4,091 |
| 税引後利益の持分 | (587) | 771 |
| ノルウェー輸出金融公社に対する所有持分の減損 | | 144 |
| その他の包括利益の持分 ¹⁾ | 175 | (880) |
| 追加 / 処分 | 8,019 | (557) |
| 12月31日現在の帳簿価額²⁾ | 11,176 | 3,570 |

| | DNBバンク グループ | | | | | | |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------|---------------|--------------|
| | 2017年 | 2017年 | | 2017年 | 2017年 | 2016年 | |
| | 12月31日 | 12月31日 | | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 現在の 資産 ³⁾ | 現在の 負債 ³⁾ | 2017年度の 収益 ³⁾ | 2017年度の 利益 ³⁾ | 現在の持株 比率(%) | 現在の 帳簿価額 | 現在の 帳簿価額 |
| ルミノール・グループ・エイ・ビー ⁴⁾ | 148,505 | 131,586 | 848 | 27 | 44 | 7,387 | |
| ノルウェー輸出金融公社 | 22,398 | 15,595 | (224) | (261) | 40 | 2,721 | 3,219 |
| Vipps AS ⁵⁾ | 380 | 135 | (15) | (131) | 52 | 525 | |
| Visa Norge ¹⁾ | | | | | | 443 | 283 |
| その他の関連会社 | | | | | | 100 | 68 |
| 合計 | | | | | | 11,176 | 3,570 |

| | DNBバンク エイ・エス・エイ | | |
|--------------------------------|-----------------|--------------|-------------|
| | 2017年 | 2017年 | 2016年 |
| | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 現在の持株 比率(%) | 現在の 帳簿価額 | 現在の 帳簿価額 |
| ルミノール・グループ・エイ・ビー ⁴⁾ | 44 | 7,374 | |
| ノルウェー輸出金融公社 | 40 | 919 | 919 |
| Vipps AS ⁵⁾ | 52 | 629 | |
| その他の関連会社 | | 85 | 76 |
| 合計 | | 9,007 | 995 |

- 1) DNBは、持分法で計上されているVisa Norwayへの加入を通じて、Visa Europeの間接的な所有持分を有している。2016年3月31日現在のVisa Europeの持分評価と関連して、累積利得の855百万ノルウェー・クローネがその他の包括利益に認識されていた。2016年度第2四半期のVisa IncによるVisa Europeの買収完了時に、この金額は利益に組替調整され、利得合計1,128百万ノルウェー・クローネが損益計算書の「持分法による投資からの利益」の項目に計上された。
- 2) 当行の貸借対照表に反映されない繰延税金ポジション及び価値調整を含む。
- 3) 関連会社の財務諸表上の価値。暫定の未監査の財務書類を使用している。

4) 2017年度第4四半期において、DNBとNordeaはエストニア、ラトビア及びリトアニアにおける業務を新会社であるルミノール・グループ・エイ・ビーに統合した。DNBが保有するルミノール・グループ・エイ・ビーの持分は約44%である。DNBは持分法によりルミノール・グループ・エイ・ビーを連結している。

5) 2017年度第3四半期において、別会社としてVipps ASが設立され、DNBが他のノルウェーの銀行105行と契約を締結した。DNBは新法人（Vipps AS）の持分を52%近く保有することになるが、株主間契約で定められた規定によりVipps ASを関連会社とすることが決定された。株主総会におけるDNBの議決権は49.9%のみであり、DNBの取締役は計7名のうち3名のみである。Vipps ASは持分法でDNBに連結されている。

注36 2017年12月31日現在の子会社への投資

| D N B バンク エイ・エス・エイ | | | | | | | |
|---|-----------------|-----------|---------------|-----------------|-----------|-------------|--------------------|
| 金額：千ノルウェー・クローネ ノルウェー・クローネ建ての数値 (別途表示のある場合は除く) | | | | | | | |
| | | 株主資本 | 株式数 | | 額面金額 | 持株比率 (%) | 帳簿価額 |
| 海外子会社 | | | | | | | |
| D N B Invest Denmark | デンマーク・ クローネ | 877,579 | 877,578,841 | デンマーク・ クローネ | 877,579 | 100 | 10,772,220 |
| D N B Bank Polska | ポーランド・ ズロチ | 1,257,200 | 1,257,200,000 | ポーランド・ ズロチ | 1,257,200 | 100 | 1,773,562 |
| D N B Asia ¹⁾ | 米ドル | 1,500,000 | 150,000,000 | 米ドル | 1,500,000 | 100 | 12,297,600 |
| D N B Asia ¹⁾ | シンガポール・ ドル | 20,000 | 20,000,000 | シンガポール・ ドル | 20,000 | 100 | 100,769 |
| D N B Brasil | ブラジル・ レアル | 600 | 599,999 | ブラジル・ レアル | 600 | 100 | 2,542 |
| D N B Capital ²⁾ | | | | | | 100 | 19,676,160 |
| D N B ルクセンブルグ | ユーロ | 70,000 | 70,000 | ユーロ | 70,000 | 100 | 688,293 |
| D N B マーケッツ インク | 米ドル | 1 | 1,000 | 米ドル | 1 | 100 | 3,004 |
| D N B スウェーデン | スウェーデン・ クローナ | 100,000 | 100,000,000 | スウェーデン・ クローナ | 100,000 | 100 | 14,486,571 |
| D N B (UK) Limited | 英ポンド | 1,154,200 | 1,154,200,000 | 英ポンド | 1,154,200 | 100 | 12,791,535 |
| 国内子会社 | | | | | | | |
| Aksje- og Eiendomsinvest | | 100 | 100,000 | | 100 | 100 | 38,721 |
| Bryggetorget Holding | | 3,250 | 2,500 | | 3,250 | 100 | 63,230 |
| D N B ボーリ・クレジット | | 4,157,000 | 41,570,000 | | 4,157,000 | 100 | 36,384,000 |
| D N B アイエンダム | | 10,003 | 100,033 | | 10,003 | 100 | 168,241 |
| D N B Eiendomsutvikling | | 91,000 | 91,000,000 | | 91,000 | 100 | 253,931 |
| D N B Gjenstandsadministrasjon | | 3,000 | 30 | | 3,000 | 100 | 3,000 |
| D N B ID Solutions | | 300 | 3,000 | | 300 | 100 | 15,033 |
| D N B Invest Holding | | 100,000 | 200,000 | | 100,000 | 100 | 172,000 |
| D N B ナーリングス・クレジット | | 550,000 | 550,000 | | 550,000 | 100 | 5,240,942 |
| D N B ナーリングス・メグリン | | 1,000 | 10,000 | | 1,000 | 100 | 24,000 |
| D N B Polish Properties | | 1,200 | 1,200 | | 1,200 | 100 | 35,113 |
| Godfjellet | | 8,030 | 8,030 | | 8,030 | 100 | 27,600 |
| Godfjorden | | 1,000 | 10,000 | | 1,000 | 100 | 72,000 |
| IOS Tubular Management | | 900 | 750 | | 900 | 100 | 42,200 |
| Kongsberg Industriendom | | 100 | 1,000 | | 100 | 100 | 10,000 |
| 子会社への投資合計 | | | | | | | 115,142,267 |

1) D N B Asia Ltdの株式の一部はシンガポール・ドル建てであり(現地で課される要件による)、他は米ドル建てである。

2) D N B Capital LLCは有限責任会社であり、その払込資本金の額は2.4十億米ドルである。

子会社投資のヘッジ

D N B バンク エイ・エス・エイでは、外貨建子会社投資に伴う為替リスクについて公正価値ヘッジを行っている。使用しているヘッジ手段は主に、発行済負債証券である。為替レートの変動に伴う投資及びヘッジ手段の価値の変動は損益計算書に計上される。グループレベルでは、D N B バンクの子会社への純投資は、その投資額に相当する金額のキャッシュフロー・ヘッジを通じてヘッジされている。投資及びヘッジ手段の価値の変動は包括利益計算書に計上される。ヘッジ関係の非有効性は損益計算書で認識される。2017年度を通じたノルウェー・クローネの下落により、子会社投資の価値は税効果調整後687百万ノルウェー・クローネ増加したが、対応するヘッジ契約の価値の減少により相殺された。2016年度には、子会社投資の価値は5,795百万ノルウェー・クローネ減少した。

注37 無形資産

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位 : 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 2,921 | 2,404 | のれん | 2,584 | 3,057 |
| 571 | 1,040 | 資産化されたシステム開発費 | 1,056 | 824 |
| 106 | 71 | その他の無形資産 | 116 | 100 |
| 3,598 | 3,515 | 無形資産合計 | 3,756 | 3,981 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | |
|---------------------------|--------------|-------------------|--------------|--------------|
| (単位 : 百万ノルウェー・クローネ) | のれん | 資産化された システム開発費 | その他の 無形資産 | 合計 |
| 2016年1月1日現在の原価 | 3,678 | 1,486 | 825 | 5,988 |
| 追加 | | 266 | 323 | 589 |
| 他社の買収 / 設立による追加 | (39) | | | (39) |
| 原価の増減 | (41) | | | (41) |
| 処分 | (0) | 106 | (452) | (346) |
| 為替レートの変動 | (55) | (2) | (14) | (71) |
| 2016年12月31日現在の原価 | 3,543 | 1,857 | 681 | 6,080 |
| 2016年1月1日現在の減価償却及び減損合計 | (665) | (975) | (672) | (2,313) |
| 減価償却費 | | (139) | (49) | (188) |
| 減損 | | (3) | | (3) |
| 処分 | 41 | (169) | 136 | 7 |
| 為替レートの変動 | 3 | 2 | 11 | 15 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (622) | (1,286) | (575) | (2,482) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 2,921 | 571 | 106 | 3,598 |
| 2017年1月1日現在の原価 | 3,543 | 1,857 | 681 | 6,081 |
| 追加 | | 633 | 16 | 649 |
| 他社の買収 / 設立による追加 | | | | |
| 原価の増減 | | | | |
| 処分 ¹⁾ | (697) | (43) | (0) | (740) |
| 為替レートの変動 | 25 | 1 | 12 | 38 |
| 2017年12月31日現在の原価 | 2,871 | 2,448 | 709 | 6,028 |
| 2017年1月1日現在の減価償却及び減損合計 | (622) | (1,286) | (575) | (2,482) |
| 減価償却費 | | (165) | (52) | (216) |
| 減損 | | | | |
| 処分 ¹⁾ | 155 | 43 | 0 | 198 |
| 為替レートの変動 | (0) | (1) | (11) | (12) |
| 2017年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (467) | (1,408) | (638) | (2,513) |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 2,404 | 1,040 | 71 | 3,515 |

1) 2017年度におけるのれんの減損損失502百万ノルウェー・クローネはCrescoに関連するものである。

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | のれん | 資産化された システム開発費 | その他の 無形資産 | 合計 |
|---------------------------|--------------|-------------------|--------------|--------------|
| 2016年1月1日現在の原価 | 4,665 | 3,395 | 978 | 9,039 |
| 追加 | 19 | 266 | 346 | 632 |
| 他社の買収 / 設立による追加 | (0) | | | (0) |
| 原価の増減 | (41) | | (0) | (41) |
| 処分 | (3) | (367) | (444) | (813) |
| 為替レートの変動 | (56) | (55) | (40) | (150) |
| 2016年12月31日現在の原価 | 4,585 | 3,241 | 841 | 8,666 |
| 2016年1月1日現在の減価償却及び減損合計 | (1,566) | (2,519) | (778) | (4,863) |
| 減価償却費 | | (241) | (43) | (284) |
| 減損 | (5) | (3) | | (9) |
| 処分 | 20 | 286 | 52 | 358 |
| 為替レートの変動 | 23 | 60 | 29 | 112 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (1,528) | (2,417) | (741) | (4,685) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 3,057 | 824 | 100 | 3,981 |
| 2017年1月1日現在の原価 | 4,585 | 3,241 | 841 | 8,666 |
| 追加 | 45 | 455 | 28 | 528 |
| 他社の買収 / 設立による追加 | | 2 | | 2 |
| 原価の増減 | | | (0) | (0) |
| 処分 ¹⁾ | (703) | (43) | (0) | (745) |
| 為替レートの変動 | 22 | 147 | 95 | 263 |
| 2017年12月31日現在の原価 | 3,949 | 3,801 | 964 | 8,714 |
| 2017年1月1日現在の減価償却及び減損合計 | (1,528) | (2,417) | (741) | (4,685) |
| 減価償却費 | | (199) | (69) | (268) |
| 減損 | (5) | (42) | | (46) |
| 処分 ¹⁾ | 160 | 43 | 0 | 203 |
| 為替レートの変動 | 7 | (130) | (39) | (161) |
| 2017年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (1,365) | (2,745) | (848) | (4,958) |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 2,584 | 1,056 | 116 | 3,756 |

1) 2017年度におけるのれんの減損損失502百万ノルウェー・クローネはCrescoに関連するものである。

のれん

無リスク金利は3%、市場リスク・プレミアムは5%に設定されており、長期成長要因はすべての資金生成単位に対し2.5%で設定されている。各資金生成単位については個別にベータ値が見積

もられている。期待収益率は税引前である。のれんの回収可能価額の算定に関する方法と仮定の詳細に関しては、（注1）「会計方針」を参照のこと。

DNBバンク エイ・エス・エイ 2017年12月31日現在の部門毎ののれん

DNBバンク グループ

| 計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ) | 期待収益率 (%) | 成長要因 (%) | | 成長要因 (%) | 期待収益率 (%) | 計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ) |
|-------------------------------|--------------|-------------|---------------------|-------------|--------------|-------------------------------|
| 982 | 11.9 | 2.5 | 個人顧客 | 2.5 | 11.9 | 982 |
| 483 | 11.9 | 2.5 | 中小企業 | 2.5 | 11.9 | 483 |
| 791 | 11.9 | 2.5 | DNB Finans-自動車ローン事業 | 2.5 | 11.9 | 791 |
| 148 | 11.9 | 2.5 | その他 | 2.5 | 11.9 | 328 |
| 2,404 | | | のれん合計 | | | 2,584 |

DNBバンク エイ・エス・エイ 2016年12月31日現在の部門毎ののれん

DNBバンク グループ

| 計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ) | 期待収益率 (%) | 成長要因 (%) | | 成長要因 (%) | 期待収益率 (%) | 計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ) |
|-------------------------------|--------------|-------------|---------------------|-------------|--------------|-------------------------------|
| 982 | 12.4 | 2.5 | 個人顧客 | 2.5 | 12.4 | 982 |
| 483 | 12.4 | 2.5 | 中小企業 | 2.5 | 12.4 | 483 |
| 791 | 12.4 | 2.5 | DNB Finans-自動車ローン事業 | 2.5 | 12.4 | 791 |
| 665 | 12.4 | 2.5 | その他 | 2.5 | 12.4 | 801 |
| 2,920 | | | のれん合計 | | | 3,057 |

個人顧客部門 - 親銀行

個人顧客部門は、ノルウェーの地域ネットワークの個人顧客向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB と Gjensidige NORの合併に加え Nordlandsbankenの買収から生じたのれんを計上している。それに加え、Gjensidige NORの過去に買収した事務所からの一部ののれんも含んでいる。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

中小企業部門 - 親銀行

中小企業部門は、ノルウェーの地域ネットワークの中小企業向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB と Gjensidige NOR から生じたのれんを計上している。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

DNB Finans - 自動車ローン事業

同部門はDNBのノルウェーとスウェーデンの自動車ローン事業を行っており、のれんは2008年からのDNBによるSkandiaBankenの自動車ローン事業の取得により生じたものである。計画期間中のキャッシュ・フローに関する重要な仮定は自動車販売台数、重要な自動車販売業者との取引関係維持に関するDNB Finansの能力、並びに長期的なスプレッドの動向及び貸出金の減損の水準である。

注38 固定資産

DNBバンク エイ・エス・エイ

オペレーティン

グ・リースに

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 当行建物及び その他の不動産 | 機械、装置及び 車両 | 供している | | 合計 |
|---------------------------|-------------------|---------------|---------|---------|---------|
| | | | 固定資産 | その他固定資産 | |
| 2015年12月31日現在の原価 | 200 | 3,101 | 8,648 | 15 | 11,965 |
| 再分類された固定資産 | 7 | (7) | | | |
| 追加 | 9 | 165 | 2,333 | 1 | 2,508 |
| 処分 | (31) | (242) | (2,667) | (5) | (2,945) |
| 為替レートの変動 | (13) | (10) | (296) | (0) | (319) |
| 2016年12月31日現在の原価 | 172 | 3,007 | 8,018 | 11 | 11,209 |
| 2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (33) | (1,523) | (2,927) | (2) | (4,485) |
| 処分 | 0 | 188 | 1,583 | 0 | 1,772 |
| 減価償却費 ¹⁾ | (9) | (308) | (1,252) | (1) | (1,570) |
| 為替レートの変動 | 3 | 3 | 103 | 0 | 108 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (39) | (1,640) | (2,493) | (2) | (4,175) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 133 | 1,367 | 5,525 | 9 | 7,034 |
| 2016年12月31日現在の原価 | 172 | 3,007 | 8,018 | 11 | 11,209 |
| 追加 | 3 | 362 | 2,883 | 2 | 3,250 |
| 処分 | (11) | (53) | (2,272) | (3) | (2,339) |
| 為替レートの変動 | 2 | 2 | 228 | 0 | 232 |
| 2017年12月31日現在の原価 | 167 | 3,318 | 8,857 | 10 | 12,352 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (39) | (1,640) | (2,493) | (2) | (4,175) |
| 処分 | | 6 | 900 | | 905 |
| 減価償却費 ¹⁾ | (9) | (297) | (853) | (2) | (1,161) |
| 為替レートの変動 | (1) | 2 | (81) | 0 | (80) |
| 2017年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (49) | (1,928) | (2,528) | (4) | (4,510) |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 118 | 1,390 | 6,329 | 6 | 7,842 |

DNBバンク グループ

オペレーティング

グ・リースに

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 当行建物及び その他の不動産 | 機械、装置及び 車両 | 供している 固定資産 | その他固定資産 | 合計 |
|---------------------------|-------------------|---------------|---------------|---------|---------|
| 2015年12月31日現在の原価 | 798 | 3,501 | 8,648 | 174 | 13,122 |
| 再分類された固定資産 | 7 | (7) | | | |
| 追加 | 19 | 233 | 2,333 | 27 | 2,613 |
| 固定資産（売却目的保有に再分類） | (419) | (280) | | (100) | (799) |
| 処分 | (198) | (286) | (2,667) | (27) | (3,179) |
| 為替レートの変動 | (35) | (24) | (296) | (7) | (363) |
| 2016年12月31日現在の原価 | 173 | 3,136 | 8,018 | 67 | 11,394 |
| 2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (210) | (1,821) | (2,928) | (104) | (5,063) |
| 固定資産（売却目的保有に再分類） | 113 | 209 | | 62 | 384 |
| 処分 | 78 | 230 | 1,584 | 20 | 1,912 |
| 減価償却費 ¹⁾ | (20) | (346) | (1,252) | (13) | (1,631) |
| 減損 | (13) | | | | (13) |
| 為替レートの変動 | 12 | 14 | 103 | 5 | 133 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (39) | (1,715) | (2,493) | (31) | (4,278) |
| 2016年12月31日現在の帳簿価額 | 133 | 1,421 | 5,525 | 36 | 7,117 |
| 2016年12月31日現在の原価 | 173 | 3,136 | 8,018 | 67 | 11,394 |
| 再分類された固定資産 | | | | (22) | (22) |
| 追加 | 3 | 388 | 2,883 | 3 | 3,276 |
| 処分 | (11) | (61) | (2,272) | (4) | (2,348) |
| 為替レートの変動 | 2 | 8 | 228 | 5 | 244 |
| 2017年12月31日現在の原価 | 168 | 3,471 | 8,857 | 50 | 12,545 |
| 2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (39) | (1,715) | (2,493) | (31) | (4,278) |
| 処分 | | 10 | 900 | (1) | 909 |
| 減価償却費 ¹⁾ | (9) | (310) | (853) | (4) | (1,177) |
| 過年度の減損損失の戻入 | 0 | | | 2 | 2 |
| 為替レートの変動 | (1) | (5) | (81) | (4) | (90) |
| 2017年12月31日現在の減価償却費及び減損合計 | (49) | (2,019) | (2,528) | (37) | (4,634) |
| 2017年12月31日現在の帳簿価額 | 118 | 1,451 | 6,329 | 12 | 7,911 |

1) 残存価値控除後の原価に基づき、その他の資産は以下の限度内の予想耐用年数にわたって定額法が適用される。

| | |
|---------|-------|
| 機械設備 | 10年 |
| 機械 | 3～10年 |
| 備品及び付属品 | 5～10年 |

コンピュータ機器 3～5年
運搬具 5～7年

DNBバンク エイ・エス・エイは不動産を含む固定資産に関する借入 / 資金調達に担保を差し入れていない。

注39 リース

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | ファイナンス・リース（貸手） | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | （単位：百万ノルウェー・クローネ） | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| | | リース総投資額 | | |
| 12,165 | 12,439 | 1年以内に期限が到来するもの | 12,500 | 13,472 |
| 31,348 | 31,827 | 1～5年以内に期限が到来するもの | 32,515 | 35,624 |
| 3,275 | 3,850 | 5年を超えて期限が到来するもの | 3,850 | 3,335 |
| 46,788 | 48,116 | リース総投資額合計 | 48,865 | 52,431 |
| | | 最低リース料支払額の現在価値 | | |
| 11,788 | 12,053 | 1年以内に期限が到来するもの | 12,113 | 12,930 |
| 25,235 | 25,620 | 1～5年以内に期限が到来するもの | 25,726 | 28,883 |
| 2,171 | 2,553 | 5年を超えて期限が到来するもの | 2,553 | 2,226 |
| 39,195 | 40,226 | リース料支払額の現在価値合計 | 40,392 | 44,039 |
| 7,594 | 7,889 | 未収金融収入 | 8,473 | 8,393 |
| | | | | |
| 65 | 72 | 貸手に生じる無保証残存価額 | 72 | 65 |
| 1,894 | 2,100 | 貸倒損失引当金累計額 | 2,100 | 1,918 |
| 51 | 56 | 期中に収益として認識された変動リース料支払額 | 56 | 117 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | オペレーティング・リース（貸手） | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|-------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | （単位：百万ノルウェー・クローネ） | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| | | 中途解約不能リースの将来最低リース料支払額 | | |
| 342 | 267 | 1年以内に期限が到来するもの | 267 | 342 |
| 1,708 | 2,102 | 1～5年以内に期限が到来するもの | 2,123 | 1,723 |
| 33 | 15 | 5年を超えて期限が到来するもの | 15 | 33 |
| 2,083 | 2,384 | 中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計 | 2,405 | 2,098 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | オペレーティング・リース（借手） | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|---------------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | （単位：百万ノルウェー・クローネ） | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| | | 中途解約不能リースの将来最低リース料支払額 | | |
| 81 | 40 | 1年以内に期限が到来するもの | 52 | 93 |
| 372 | 408 | 1～5年以内に期限が到来するもの | 469 | 449 |
| 5,837 | 5,830 | 5年を超えて期限が到来するもの | 5,830 | 5,837 |
| 6,290 | 6,277 | 中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計 | 6,352 | 6,379 |
| | | 中途解約不能サブリースの受取見込みの将来最低サブリース料支払額 | | |
| 478 | 542 | | 365 | 287 |

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-----------------|--------|------------------------|-------------|--------|
| 2016年度 | 2017年度 | （単位：百万ノルウェー・クローネ） | 2017年度 | 2016年度 |
| | | 期中に費用として認識されたリース料支払額合計 | | |
| 857 | 827 | 最低リース料支払額 | 852 | 822 |
| | 13 | 変動リース料支払額 | 13 | |
| 857 | 840 | 期中に費用として認識されたリース料支払額合計 | 865 | 822 |
| | | | | |
| (0) | (0) | リースの減損額 | (0) | (0) |

注40 その他資産

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|------------------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 736 | 462 | 未払費用及び前受収益 | 527 | 841 |
| 1,801 | 1,734 | 信用状及びその他の決済サービスに関する残高 | 1,743 | 1,809 |
| 1,060 | 2,677 | 未決済の売買証書 | 2,677 | 1,197 |
| 9,865 | 17,218 | その他の残高 ¹⁾ | 2,940 | 4,408 |
| 13,462 | 22,092 | その他の資産合計²⁾ | 7,888 | 8,255 |

1) DNBバンク エイ・エス・エイは2017年12月31日現在、総額15,160百万ノルウェー・クローネのグループ配当残高がある。

2) その他の資産は通常短期のものである。

注41 主要顧客グループ別の顧客預金

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | DNBバンク グループ | |
|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
| 344,437 | 354,216 | 個人 | 361,969 | 348,263 |
| 51,347 | 46,559 | 海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造 | 46,559 | 51,347 |
| 47,711 | 52,889 | 不動産 | 48,056 | 43,307 |
| 67,394 | 57,280 | 製造 | 59,951 | 68,738 |
| 128,298 | 141,457 | サービス | 142,878 | 129,567 |
| 27,672 | 32,302 | 貿易 | 33,808 | 28,408 |
| 27,266 | 34,110 | 石油・ガス | 34,110 | 27,267 |
| 50,265 | 48,249 | 運輸及び通信 | 50,750 | 52,650 |
| 26,074 | 22,149 | 建設 | 22,815 | 26,435 |
| 19,023 | 15,738 | 電力及び水道 | 16,527 | 19,469 |
| 7,582 | 8,445 | 水産業 | 8,445 | 7,582 |
| 3,071 | 3,078 | ホテル及びレストラン | 3,078 | 3,071 |
| 2,444 | 2,339 | 農林業 | 2,362 | 2,465 |
| 57,106 | 54,662 | 中央及び地方政府 | 55,114 | 57,715 |
| 60,742 | 82,876 | 金融 | 93,671 | 79,061 |
| 920,434 | 956,350 | 顧客預金合計 (額面金額) | 980,095 | 945,344 |
| 230 | 175 | 調整 | 279 | 349 |
| 920,664 | 956,525 | 顧客預金 | 980,374 | 945,694 |

主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

注42 発行済負債証券

発行済負債証券の変動

DNBバンク エイ・エス・エイ

| | 2017年 | | 2017年度中の | | 2016年 |
|-------------------------|----------------|------------------|--------------------|--------------|----------------|
| | 12月31日現在 | 2017年度中の | 満期到来額 / | 為替レートの | |
| | の貸借対照表 | 2017年度中の | 満期到来額 / | 為替レートの | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 残高 | 発行額 | 償還額 | 変動 その他の調整 | の残高 |
| 発行済コマーシャル・ペーパー (額面金額) | 158,675 | 1,771,171 | (1,767,362) | 1,451 | 153,415 |
| 債券 (額面金額) ¹⁾ | 159,536 | 17,206 | (37,206) | 6,168 | 173,368 |
| 調整 | 7,961 | | | (2,197) | 10,158 |
| 発行済負債証券合計 | 326,171 | 1,788,376 | (1,804,568) | 7,619 | 336,941 |

2017年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾²⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | ノルウェー・ | | 合計 |
|------------------------------|--------|----------------|----------------|
| | クローネ建て | 外貨建て | |
| 2018年 | | 16,140 | 16,140 |
| 2019年 | | 13,731 | 13,731 |
| 2020年 | | 49,762 | 49,762 |
| 2021年 | | 34,437 | 34,437 |
| 2022年 | | 19,840 | 19,840 |
| 2023年 | | 9,426 | 9,426 |
| 2024年及びそれ以降 | | 6,944 | 6,944 |
| 償却原価で計上された債券合計 (額面金額) | | 150,280 | 150,280 |

2017年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | ノルウェー・ | | 合計 |
|-----------------------------------|--------------|----------------|----------------|
| | クローネ建て | 外貨建て | |
| 2018年 | 17 | 158,658 | 158,675 |
| 発行済コマーシャル・ペーパー合計 (額面金額) | 17 | 158,658 | 158,675 |
| 2018年 | 2,410 | | 2,410 |
| 2019年 | 1,722 | | 1,722 |
| 2020年 | 1,531 | | 1,531 |
| 2021年 | 3,453 | | 3,453 |
| 2022年 | | | |
| 2023年 | | | |
| 2024年及びそれ以降 | 139 | | 139 |
| 債券合計 (額面金額) | 9,255 | | 9,255 |
| 公正価値で計上された発行済負債証券合計 (額面金額) | 9,273 | 158,658 | 167,930 |

| | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 調整 | 485 | 7,475 | 7,961 |
| 発行済負債証券 | 9,758 | 316,413 | 326,171 |

- 1) 自己の債券を差し引く。
- 2) ヘッジ対象項目を含む。

発行済負債証券の変動

DNBバンク グループ

| | 2017年 | | | | | |
|-------------------------|----------------|------------------|--------------------|---------------|----------------|----------------|
| | 12月31日現在 | 2017年度中の | 2017年度中の | | | 2016年 |
| | の貸借対照表 | 2017年度中の | 満期到来額 / | 為替レート of | 2017年度中の | 12月31日現在 |
| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | 残高 | 発行額 | 償還額 | 変動 | その他の調整 | の残高 |
| 発行済コマーシャル・ペーパー (額面金額) | 158,675 | 1,771,171 | (1,767,362) | 1,451 | | 153,415 |
| 債券 (額面金額) ¹⁾ | 598,202 | 77,859 | (89,010) | 27,906 | | 581,447 |
| 調整 | 25,250 | | | | (7,638) | 32,888 |
| 発行済負債証券合計 | 782,127 | 1,849,030 | (1,856,373) | 29,357 | (7,638) | 767,750 |

2017年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾²⁾

DNBバンク グループ

| | ノルウェー・ | | |
|-----------------------|--------|---------|---------|
| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | クローネ建て | 外貨建て | 合計 |
| 2018年 | | 74,913 | 74,913 |
| 2019年 | | 56,174 | 56,174 |
| 2020年 | | 85,082 | 85,082 |
| 2021年 | | 85,067 | 85,067 |
| 2022年 | | 87,648 | 87,648 |
| 2023年 | | 34,873 | 34,873 |
| 2024年及びそれ以降 | | 93,019 | 93,019 |
| 償却原価で計上された債券合計 (額面金額) | | 516,777 | 516,777 |

2017年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾

DNBバンク グループ

| | ノルウェー・ | | |
|----------------------------|--------|---------|---------|
| (単位: 百万ノルウェー・クローネ) | クローネ建て | 外貨建て | 合計 |
| 2018年 | 17 | 158,658 | 158,675 |
| 発行済コマーシャル・ペーパー合計 (額面金額) | 17 | 158,658 | 158,675 |
| 2018年 | 8,669 | | 8,669 |
| 2019年 | 18,085 | | 18,085 |
| 2020年 | 20,400 | | 20,400 |
| 2021年 | 19,557 | | 19,557 |
| 2022年 | 12,197 | | 12,197 |
| 2023年 | 257 | | 257 |
| 2024年及びそれ以降 | 2,259 | | 2,259 |
| 債券合計 (額面金額) | 81,425 | | 81,425 |
| 公正価値で計上された発行済負債証券合計 (額面金額) | 81,443 | 158,658 | 240,100 |
| 調整 | 2,267 | 22,983 | 25,250 |
| 発行済負債証券 | 83,710 | 698,417 | 782,127 |

- 1) 自己の債券を差し引く。DNB ボーリ・クレジットのカバー・ボンド残高の額面金額は2017年12月31日現在で総額450.4十億ノルウェー・クローネに上る。カバード・プールの市場価値は617.8十億ノルウェー・クローネである。
- 2) ヘッジ対象項目を含む。

[次へ](#)

注43 劣後債及び永久劣後証券

劣後債及び永久劣後証券の変動

DNBバンク グループ

| | 2017年 | | 2016年 | | |
|----------------------|---------------|---------------|-----------------|------------|---------------|
| | 12月31日現在 | 2017年度中の | 2017年度中の | 12月31日現在 | |
| | の貸借対照表 | 2017年度中の | 満期到来額 / 為替レート | 2017年度中の | の貸借対照表 |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 残高 | 発行額 | 償還額 | 変動 その他の調整 | 残高 |
| 期限付劣後債 (額面金額) | 23,897 | 10,106 | (6,812) | 1,189 | 19,415 |
| 永久劣後債 (額面金額) | 5,361 | | | (241) | 5,602 |
| 永久劣後証券 (額面金額) | | | (3,732) | | 3,732 |
| 調整 | 280 | | | (319) | 599 |
| 劣後債及び永久劣後証券合計 | 29,538 | 10,106 | (10,544) | 948 | (319) |
| | | | | | 29,347 |

DNBバンク グループ

ノルウェー・
クローネでの

| 資金調達年 | 外貨での帳簿価額 | 金利 | 満期 | 繰上償還日 | 帳簿価額 | |
|----------|-------------|--------|--------------------|-------|-------|--------|
| 期限付劣後債 | | | | | | |
| 2012年 | ユーロ | 750 | 年3.00% | 2023年 | 2018年 | 7,375 |
| 2013年 | ノルウェー・クローネ | 1,250 | 3ヶ月NIBOR プラス1.70% | 2023年 | 2018年 | 1,250 |
| 2015年 | スウェーデン・クローナ | 1,000 | 年1.97% | 2025年 | 2020年 | 999 |
| 2015年 | スウェーデン・クローナ | 3,000 | 3ヶ月STIBOR プラス1.40% | 2025年 | 2020年 | 2,997 |
| 2016年 | 日本円 | 10,000 | 年1.00% | 2026年 | 2021年 | 729 |
| 2017年 | 日本円 | 11,500 | 年1.04% | 2027年 | 2022年 | 838 |
| 2017年 | ノルウェー・クローネ | 1,400 | 3ヶ月NIBOR プラス1.75% | 2027年 | 2022年 | 1,400 |
| 2017年 | ノルウェー・クローネ | 170 | 年3.08% | 2027年 | 2022年 | 170 |
| 2017年 | スウェーデン・クローナ | 750 | 3ヶ月STIBOR プラス1.70% | 2027年 | 2022年 | 749 |
| 2017年 | スウェーデン・クローナ | 1,000 | 年1.98% | 2027年 | 2022年 | 999 |
| 2017年 | ユーロ | 650 | 年1.25% | 2027年 | 2022年 | 6,391 |
| 合計（額面金額） | | | | | | 23,897 |
| 永久劣後債 | | | | | | |
| 1985年 | 米ドル | 215 | 3ヶ月LIBOR プラス0.25% | | | 1,763 |
| 1986年 | 米ドル | 150 | 6ヶ月LIBOR プラス0.15% | | | 1,230 |
| 1986年 | 米ドル | 200 | 6ヶ月LIBOR プラス0.13% | | | 1,640 |
| 1999年 | 日本円 | 10,000 | 年4.51% | | 2029年 | 729 |
| 合計（額面金額） | | | | | | 5,361 |

劣後債及び永久劣後証券はDNBバンク エイ・エス・エイによって発行されたものである。

注44 その他負債

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

| 2016年 12月31日現在 | 2017年 12月31日現在 | | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|-------------------|-------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|
| | | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | |
| 1,574 | 458 | 短期資金調達 | 458 | 1,574 |
| 516 | 6,214 | ショートポジション取引 | 6,214 | 516 |
| 3,602 | 3,836 | 未払費用及び前受収益 | 4,136 | 3,890 |
| 2,810 | 2,032 | 信用状、小切手及びその他の決済業務 | 2,053 | 2,831 |
| 2,906 | 2,828 | 未決済の契約証書 | 2,828 | 2,943 |
| 9,858 | 32,894 | グループ配当 / 配当 | | |
| 632 | 1,202 | 未払金 | 1,384 | 1,015 |
| 246 | 219 | 一般従業員向けボーナス | 219 | 246 |
| 1,749 | 1,420 | その他の負債 | 2,013 | 2,765 |
| 23,893 | 51,103 | その他負債合計¹⁾ | 19,304 | 15,781 |

1) その他負債は通常、短期のものである。

注45 資本

資本金

DNBバンク エイ・エス・エイは、オスロ証券取引所(Oslo Børs) に上場しているノルウェーの公開有限責任会社であるDNBエイ・エス・エイの完全子会社である。2017年12月31日時点のDNBバンク エイ・エス・エイの資本金は182,556,480株に分割された18,255,648,000 ノルウェー・クローネであり、一株当たりの額面は100 ノルウェー・クローネであった。2016年12月31日時点の資本金は183,143,110株に分割された18,314,311,000 ノルウェー・クローネであり、一株当たりの額面は100 ノルウェー・クローネであった。2017年度第3四半期におけるVippsの分割を受けて、資本金は586,630株に分割された58,663,000 ノルウェー・クローネ減少した。

未実現利益積立額

DNBバンク エイ・エス・エイの利益剰余金の配当制限額（未実現利益積立額）は、2017年12月31日現在で合計2,177百万 ノルウェー・クローネ、2016年12月31日現在では1,588百万 ノルウェー・クローネであった。

その他Tier1資本

その他Tier1資本は、DNBバンク エイ・エス・エイによって発行されたものである。

その他Tier1資本の変動額

DNBバンク グループ

| | 2017年 | | | | 2016年 | |
|-------------------|----------|--|----------|--|-------------------|--|
| | 12月31日現在 | | | | 2017年度中の 12月31日現在 | |
| | の貸借対照表 | | 2017年度中の | | 2017年度中の | |
| | 残高 | | 発行額 | | 未払利息 | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | 支払利息 | | 為替レートの変動 | |
| | | | | | の貸借対照表 | |
| | 残高 | | 発行額 | | 残高 | |
| その他Tier1資本(額面金額) | 15,574 | | | | 15,574 | |
| 調整 | 585 | | (724) | | 938 (7) 379 | |
| その他Tier1資本 | 16,159 | | (724) | | 938 (7) 15,952 | |

DNBバンク グループ

| | | | | ノルウェー・ クローネでの 帳簿価額 |
|----------|------------|----------|-------------------|--------------------------|
| 資金調達年 | | 外貨での帳簿価額 | 金利 | |
| 2015年 | ノルウェー・クローネ | 2,150 | 3ヶ月NIBOR プラス3.25% | 2,150 |
| 2015年 | 米ドル | 750 | 年5.75% | 5,903 |
| 2016年 | ノルウェー・クローネ | 1,400 | 3ヶ月NIBOR プラス5.25% | 1,400 |
| 2016年 | 米ドル | 750 | 年6.50% | 6,120 |
| 合計（額面金額） | | | | 15,574 |

注46 報酬等

ノルウェー公開有限責任会社法の第6-16a節に従い、取締役会は以下の報酬に関する声明書を投票の資料として年次株主総会に提出する。

DNBの報酬制度に関する情報

2016年12月9日にノルウェー財務省が採択した金融機関関連規則に従って、企業は報酬決定に関する主な方針、変動報酬の規定に関する基準及び、経営幹部に対する報酬に関する量的情報を公表することが求められる。本注記の情報は、以下に記載されている給与の規定及び経営幹部に対して支払われる他の報酬に関する取締役会の声明書を含めて、金融機関関連規則で規定されている情報を表示するものである。

DNBグループの報酬に関する基準は、DNBグループの正社員全員の報酬全体に適用され、取締役会において承認されている。当基準は、総報酬（固定給、短期及び長期のインセンティブ報酬）並びに従業員給付（年金、従業員の賠償責任保険及び他の従業員給付）から成る。同基準によれば、報酬全体は、当該従業員が属する部門の業績及び、企業価値形成に対する個々人の貢献度だけでなく、グループの業績に関する全体的な評価に基づいている。報酬全体はグループを無用なリスクにさらすことがないように構成されていなければならない。報酬は競争力があるものであることが必要であるが、グループにとって費用効率が良いものであることが求められている。

さらに、総報酬には、固定給と関連するポジションに関する追加的な給与、及び変動報酬部分が適宜含まれている。固定給は各ポジションに割り当てられた責任と要件の実行、及びその複雑さに対する報酬である。一方で変動報酬は優れた業績と望ましい行動の遂行を奨励するものでなければならない。

変動報酬

当グループの基準は、金融機関関連規則の規定に加え、金融機関、投資企業及び投資信託運用会社における報酬制度についてのFinanstilsynetのサーキュラーに準拠して変動報酬が付与されるよう確実にしており、DNBは、2011年度に変動報酬に関するグループ基準を別個に設定した。これには経営幹部、企業のリスク・エクスポージャーに対して重大な責任を有する従業員（リスク・テイカー）及び独立した統制部門の責任者である従業員に対する変動報酬についての特別規則が盛り込まれている。

変動報酬の目的は、行動に対する見返りを与え、長期的な企業価値の創出を可能にする企業風土を整備することにある。

変動報酬は、当グループの目的、価値観、行動規範及びリーダーシップ原則の遵守状況に加え、当グループ、部門及び個人に対して定められた目標領域の中での成果に対する全体的な評価に基づき決定される。変動報酬は、当グループに不要なリスクをもたらさない形で成果給でなければならない。また、変動報酬は、過剰なリスクテイキングを防ぎ、DNBの健全かつ実効的なリスク管理を後押しするものでなければならない。経営幹部に対する変動給（賞与）は固定給の50%、他のリスク・テイカーに関しては100%を超えてはならないものとする。

DNBの変動報酬制度は全世界で適用されているものの、ノルウェー国外の支店及び子会社は現地の法規制やガイドラインを遵守することが求められている。ノルウェーの規則が金融機関の報酬に関する海外の現地法や規則と一致していない場合には、法的な問題に直面する可能性がある。このような場合には、当グループは、当グループの業務がノルウェー及び現地の規制の両方を確実に遵守できるよう、関連当局及び海外の専門家から助言を得る。

経営幹部の給与及びその他の報酬の規定に関する取締役会声明書

グループ最高経営責任者及びグループ経営陣のその他のメンバーの報酬を決定するDNBのガイドラインは、当グループの目標達成に貢献する一方で、常に、主な戦略及び価値観を裏付ける内容でなければならない。報酬は、業績及び利益の方向性に沿った望ましい企業文化を構築する行動を起こさせるものでなければならない。前年度の声明書と比較して、変動報酬規定の原則に関する変更は行われなかった。

意思決定プロセス

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、取締役会長、副会長、取締役及び従業員から選出された取締役の計4名から構成される報酬委員会を設立した。

報酬委員会は、取締役会向けに議論が必要な資料を準備し、主に以下の責任を有する。

グループ最高経営責任者に支払われる報酬総額を毎年評価し、提言を行う。

グループ最高経営責任者への目標の提言を毎年まとめる。

グループ最高経営責任者の提案に基づき、グループ監査担当EVP及びグループ・リスク・マネジメント担当EVPに支払われる報酬額及びその他の主な手当を決定する。

グループ経営陣のメンバー及び、（該当者がいる場合は）グループ最高経営責任者の直属の部下の報酬額及びその他の主な手当について、グループ最高経営責任者に助言を行う。

取締役会と報酬委員会の双方又はそのいずれかが決定したその他の事項を検討する。

グループの評判に大きなリスクをもたらすと考えられるその他の人事関連の問題を検討する。

A. 次会計年度の基準

グループ最高経営責任者の報酬

グループ最高経営責任者の総報酬は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。総報酬は全体評価に基づいて決定され、報酬の変動部分は、主に当グループの財務目標に基づいて決定される。財務目標に加えて戦略的目標が設定され、これにより当グループの能力、革新力及び企業責任の状況が評価される。さらに、当グループの目的、価値観、行動規範及びリーダーシップ原則の遵守状況が反映される。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準並びに類似する役職の報酬水準に基づいて決定される。

グループ最高経営責任者の変動給は、定められている目標分野での成果に対する全体評価に基づき決定される。変動給は固定給の50%を超えてはならないものとする。グループ最高経営責任者には、既に記載した変動報酬以外の成果給は支払われないものとする。

変動報酬に加え、グループ最高経営責任者には、社用車、新聞／雑誌及び電話／その他の通信費といった現物給付が認められる。現物給付は、グループ最高経営責任者の職務に関連しているか、市場の慣行に即したものでなければならず、グループ最高経営責任者の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

グループ最高経営責任者は、ノルウェーの他のすべての従業員と同様に、ノルウェー確定拠出年金法に基づく確定拠出型年金制度に加入している。

2017年1月1日現在、グループ最高経営責任者は確定拠出直接年金契約も有している。確定給付年金制度から確定拠出年金制度への移行に関し、グループ最高経営責任者は、旧確定給付契約の技術的保険価値の額に相当すると見積もられる、移行日現在で算定された給付額を保証されていた。その計算仮定に基づく、この契約では、旧確定給付契約に基づいて退職時、すなわち60歳に支給されたであろう価額と同額になると見込まれる。将来の年金給付額は、年間の拠出額と獲得した権利に係る収益で構成されることとなる。60歳より後には、この直接年金契約では、一切の拠出はない。

契約によると、60歳前に退職となった場合、グループ最高経営責任者は2年間にわたり退職金を受け取る権利がある。この期間中に、グループ最高経営責任者が他の雇用から収入を得ている場合は、当該雇用から得ている給与に相当する額を差し引いた退職金が支払われることになる。現物給付は3ヶ月間継続される。

経営幹部の報酬

経営幹部の報酬は、取締役会長との合意に基づき、グループ最高経営責任者が決定する。取締役会は、法的効力のある既存の契約を尊重する。

経営幹部の総報酬は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。総報酬は、多様な事業部門において競争力のある条件を提供する必要性に基づいて決定される。報酬は、関連する労働市場における当グループの競争力並びに収益と費用のバランスを含む当グループの収益力を高めるものでなければならない。総報酬は、DNBの評判に相応しいものであり、DNBが必要とするスキルや経験を備えた経営幹部を確実に雇用し続けられる内容のものでなければならない。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準に基づいて決定されるものとする。

経営幹部に対する変動報酬は、所与の目標分野での成果に対する全体評価に基づき決定される。変動給は固定給の50%を超えてはならないものとする。

現物給付は、当グループにおける経営幹部の職務に関連しているか、市場の慣行に即した範囲で経営幹部に支給される場合がある。現物給付は、経営幹部の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

2018年度の目標内容

報酬委員会は、変動報酬に関する主な基準、方針及び上限について承認する。取締役会は、当グループの自己資本利益率、リスク調整後自己資本利益率及び収益に対する費用の比率を2018年度の目標数値とすることを決定した。財務上の目標に加え、戦略的目標が設定され、これにより当グループの能力、革新力及び企業責任の状況が評価される。グループが目標とする財務上の数値は、さまざまな事業部門、職員及びサポート部門などの関連する目標値に細分化されている。

上記の目標値は、2018年度の変動報酬の算定及び支払を行う際の重要な要素となるものである。すべての目標値は決定後、2018年度の目標値に関連する作業とフォローアップの一環として、関係する事業部門、職員及びサポート部門に通知される。

2018年度の変動報酬の決定

2018年度の変動報酬は、予め定められた業績目標への達成度に対する定量的評価と目標達成方法に対する定性的な評価を組み合わせた、全体的な業績評価によって決定される。

取締役会は、当グループの財務力とその他の重要なパラメータに対する総合的な評価を勘案しつつ、過去2年間のグループの目標に対する達成度に基づいて、DNBマーケット、DNBアイエンダム及びDNBアセット・マネジメントのファンドマネージャーを除く当グループのボーナス総額に対する上限を決定する。限度額合計は個々の部門の目標達成度及び、当グループの業績に対する貢献度に基づいて各組織に配分される。DNBマーケット及びDNBアセット・マネジメントのファンドマネージャーに関しては、部門が稼得した利益と全体的な評価に基づいて、変動報酬に対する特別な上限が決定されており、これは同種の事業における市場慣行と一致している。同様にDNBアイエンダムの報酬モデルも、市場慣行と一致しており、個人の業績に基づく変動報酬の占める割合が高くなっている。

経営幹部、特定のリスク・テイカー及び独立した統制部門の責任者たる従業員に対する特別な規則

DNBは、特定のリスク・テイカー、独立した統制部門の責任者たる従業員及び経営幹部（以下「リスク・テイカー」と総称する）に対し、特別な規則を整備し、導入した。この特別な規則は、報酬に関するグループの一般的な基準を補完するものであり、金融機関関連規則及びFinanstilsynetの関連するサーキュラーに準拠して整備されている。

DNBは、現行の規制に準拠して、サーキュラー及びEUの規制から生じた要件に基づきリスク・テイカーを特定するために、組織全体を対象として調査を行った。

リスク・テイカーの変動報酬に対しては、下記の原則が適用される。

2年間の期間に稼得した報酬

変動報酬は同意済の固定報酬を超えない。

独立した統制部門における経営幹部は2018年度以降、変動報酬は受け取らない。

稼得した変動報酬の最低50%に相当する額は、DNBの株式の形で、条件付きの繰延支払となる。株式の形で支払われる報酬には最低保有期間（条件付きの繰延支払）が設けられているほか、当該株式の3分の1ずつが毎年、3年間で3度に分けて付与される。条件付きの繰延支払という条件は、金融機関関連規則の規定に準拠したものである。

年金制度等

年金制度及び退職金等に関するあらゆる契約は、その他の報酬と比較して検討し、競争力のある条件を含むものでなければならない。年金制度及び退職手当のあらゆる要素は、単独でも総合的にも、DNBの評判を脅かす可能性のあるものであってはならない。

ノルウェーのすべての従業員は、ノルウェー確定拠出年金法に基づく確定拠出型年金制度に加入している。2016年12月31日まで、当グループのほとんどの経営幹部は、経営幹部の報酬に対する政府のガイドラインを常時遵守して一定の調整を行った確定給付年金を、65歳から受け取る契約を締結していた。確定給付年金の支給額は固定給の70%を超えてはならず、国民保険基準額の最大12倍までとする。しかし、DNBグループは、既存の契約を尊重していた。2017年1月1日から、これらの契約は、ノルウェーの企業年金法に基づいて、2016年度に当グループの確定給付企業年金制度の移行にあたって用いられたものと同じ算定上の仮定及び原則に基づいた確定拠出企業年金制度に置き換えられた。

移行日現在で計算された経営幹部の年金の支給額は、旧確定給付年金制度の技術的価値の額に相当すると見積もられている。現在、将来の年金給付額は、年間の拠出額と獲得した権利に係る収益で構成されている。年間拠出額は個別に計算され、計算仮定に基づく、確定拠出直接年金制度は、旧確定給付契約に基づいて退職時に支給されたであろう価額と同じになると見込まれる。

原則として、退職手当に関する契約は締結しない。しかし、当グループは既存の契約を尊重する。

新たな契約を締結する際には、一般にグループの基準が適用され、すべての経営幹部が対象となる。

経営幹部の報酬については、以下の表を参照のこと。

B. 次会計年度の株式、新株引受権、オプション等に関する拘束力のある基準

グループ最高経営責任者、経営幹部及びその他のリスク・テイクヤーが稼得した変動報酬の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。最低保有期間は、当該株式の3分の1については1年間、次の3分の1については2年間そして残りの3分の1については3年間である。

追加の株式、新株引受権、オプション、又は当行又は当グループ内の他の企業の株価もしくは株価の動向のみに連動するその他の形態の報酬が、グループ最高経営責任者又は経営幹部に支給されることはない。しかし、グループ最高経営責任者及び経営幹部は、DNBグループの他の従業員と同じ条件下で株式取得制度に参加する機会が与えられる。

C. 前会計年度の経営幹部給与方針に関する声明書

2015年度に発効した変更を含む、2011年度に決定されたグループの基準に従っている。

D. 株式、新株引受権、オプション等の支給に関する報酬契約が会社及び株主に及ぼす影響に関する声明書

2017年度にグループ最高経営責任者、経営幹部及び他のリスク・テイクヤーが得た変動報酬総額の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。取締役会は、経営幹部に支給する株式が当行の株式総数と比較して、当行又は株主に悪影響を及ぼすことはないと考えている。

取締役会長の報酬額

Anne Carine TanumがDNBバンク エイ・エス・エイの取締役会長として2017年度に得た報酬総額は、450,000 ノルウェー・クローネ、2016年度は437,000 ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会長として得た報酬は、2016年度が548,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年度は559,000 ノルウェー・クローネであった。

グループ最高経営責任者の報酬額

Rune Bjerkeが得た報酬は、2016年度が5,794,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年度は5,957,000 ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会は、グループ最高経営責任者の変動報酬を、2016年度の2,010,000 ノルウェー・クローネに対して、2017年度は2,272,000 ノルウェー・クローネと定めた。2017年度の変動報酬は2018年度に支払われる。稼得した変動報酬の50%に相当する額は、DNB株式の形で、条件付きの繰延支払となる。株式の形で支払われる報酬は3期に分割され、3年を上限とする最低保有期間の対象となる。現物給付は、2016年度が322,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2017年度は301,000 ノルウェー・クローネと見積もられた。

グループ最高経営責任者の年金制度に関連する費用は、2016年度の3,871,000 ノルウェー・クローネに対して、2017年度は5,105,000 ノルウェー・クローネであった。費用は、DNB エイ・エス・エイとDNBバンク エイ・エス・エイで分担する。2016年度の財務書類に計上された費用は、年度中に稼得した年金受給額（4,989,000 ノルウェー・クローネ）と、12Gを上回る給与に対して年金給付制度の改定が及ぼす影響に関する控除額（1,118,000 ノルウェー・クローネ）の2つの要素から構成されている。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2017年度の報酬等

DNBバンク グループ

| 単位：千ノルウェー・クローネ | 2017年 12月31日 現在の年間 固定給 ¹⁾ | 2017年度の 支払報酬 ²⁾ | 2017年度の 支払給与 ³⁾ | 2017年度に 稼得した 賞与 ⁴⁾ | 2017年度の 現物支給等 | 2017年度の 報酬総額 | 2017年 退職年齢に 関する特別 な合 ⁷⁾ | 2017年度の 未払年金 費用 ⁶⁾ |
|---|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------|-----------------|--|-------------------------------------|
| | 現在の年間 固定給 ¹⁾ | 2017年度の 支払報酬 ²⁾ | 2017年度の 支払給与 ³⁾ | 2017年度に 稼得した 賞与 ⁴⁾ | 2017年度の 現物支給等 | 2017年度の 報酬総額 | 2017年 退職年齢に 関する特別 な合 ⁷⁾ | 2017年度の 未払年金 費用 ⁶⁾ |
| DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会 | | | | | | | | |
| Anne Carine Tanum (会長) | | 1,009 | | | | 1,009 | | |
| Gro Bakstad (副会長、2017年4月25日から) | | 225 | | | | 225 | 3 | |
| Jarle Berge (2017年4月25日まで) | | 253 | | | 1 | 254 | | |
| Lillian Hattrem | 631 | 327 | 638 | 22 | 36 | 1,023 | 3,185 | 74 |
| Kim Wahl | | 327 | | | | 327 | 46 | |
| グループ経営陣 | | | | | | | | |
| Rune Bjerke、最高経営責任者 | 5,695 | | 5,957 | 2,272 | 301 | 8,530 | 9,620 | 5,105 |
| Bjørn Erik Nass、最高財務責任者 (2017年3月1日まで) | | | 2,045 | 250 | 3,308 | 5,603 | 957 | 19 |
| Kjerstin Braathen、最高財務責任者 (2017年3月1日から) | 4,000 | | 3,881 | 1,522 | 216 | 5,618 | 12 | 707 |
| Trond Bentestuen、グループEVP | 3,560 | | 3,675 | 1,362 | 263 | 5,300 | 6,144 | 881 |
| Ottar Ertzeid、グループEVP | 9,020 | | 9,419 | 3,822 | 238 | 13,479 | 21 | 781 |
| Benedicte S. Fasmer、グループEVP | 2,950 | | 3,179 | 1,122 | 270 | 4,571 | 6,014 | 115 |
| Rasmus Aage Figenschou、グループEVP (2017年12月11日から) | 2,340 | | 2,130 | 647 | 163 | 2,940 | 11,666 | 115 |
| Liv Fiksdahl、グループEVP (2017年12月11日まで) | 3,200 | | 3,347 | 1,222 | 245 | 4,814 | 1,113 | 1,235 |
| Rune Garborg、グループEVP (2017年9月1日まで) | 2,950 | | 2,179 | 950 | 214 | 3,343 | 6,401 | 175 |
| Solveig Hellebust、グループEVP | 3,200 | | 2,693 | 1,022 | 234 | 3,950 | 18 | 400 |
| Ida Lerner、グループEVP (2017年12月11日から) ⁸⁾ | 3,992 | | 2,162 | 1,477 | 2,376 | 6,015 | | |
| Bengt Olav Lund、グループEVP (2017年5月1日から2017年12月11日まで) | 2,950 | | 3,232 | 1,072 | 255 | 4,558 | 6,592 | 115 |
| Thomas Midteide、グループEVP | 2,500 | | 2,568 | 1,022 | 251 | 3,840 | 2,186 | 269 |
| Kari Olrud Moen、グループEVP (2017年12月11日まで) | 2,880 | | 3,021 | 1,000 | 234 | 4,255 | 21 | 1,441 |
| Alf Otterstad、グループEVP (2017年12月11日から) | 1,840 | | 1,664 | 622 | 150 | 2,436 | 3,124 | 115 |
| Tom Rathke、グループEVP (2017年5月1日まで) | 3,480 | | 3,795 | 872 | 245 | 4,912 | 6,078 | 2,454 |
| Hans Olav Rønningen、グループEVP (2017年12月11日から) | 1,650 | | 1,714 | 822 | 180 | 2,716 | 4,880 | 206 |
| Harald Serch-Hanssen、グループEVP | 4,175 | | 4,368 | 1,422 | 258 | 6,048 | 5,130 | 1,217 |
| Terje Turnes、グループEVP (2017年12月11日まで) | 4,010 | | 4,143 | 582 | 242 | 4,967 | 92 | 709 |
| その他の従業員への貸出合計 | | | | | | | 19,235,018 | |

- 1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。
- 2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2017年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：
Anne Carine Tanum：450,000ノルウェー・クローネ
Jarle Berge：108,000ノルウェー・クローネ
上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。
- 3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、1年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。
- 4) 休日手当は変動報酬に含まれていない。
- 5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。
- 6) 期中に獲得した年金権（SCC）。年金受給権の計算は（注24）「年金」で使用されているものと同一の経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。
- 7) 合意された退職年齢に関しては特別な合意に達した際に明示されており、これには会社の一般的な基準における規定の対象外となる。関連する確定拠出年金支給額が含まれる。
- 8) Ida Lernerはスウェーデンからノルウェーに海外赴任している。2017年12月11日にDNBの経営チームに加わる前は、ロンドンのDNB CEMEAのトップであり、これも同様に海外赴任契約によるものであった。DNBの海外赴任に関する方針に準拠し、同氏は住宅及び子供の学校関連費用などの赴任に伴う現物給付を受けていた。同氏の給与及び給付はともに純額で支給されている。同金額には外部サービス業者によるノルウェーの税金がグロスアップされている。同氏はノルウェー国民保険制度に加入していないため、社会保障拠出額は支払総額に含まれていない。独立した統制部門のトップという新たな役割において、Ida Lernerには対しては、2018年度には変動報酬が支給されない。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2016年度の報酬等

DNBバンク グループ

| | 2016年 12月31日 現在の年間 固定給 ¹⁾ | 2016年度の 支払報酬 ²⁾ | 2016年度の 支払給与 ³⁾ | 2016年度に 稼得した 変動報酬 ⁴⁾ | 2016年度の 現物支給等 | 2016年度の 報酬総額 | 2016年 12月31日 現在の 貸出 ⁵⁾ | 2016年度の 未払年金 費用 ⁶⁾ |
|---|---|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|------------------|-----------------|--|-------------------------------------|
| 単位：千ノルウェー・クローネ | | | | | | | | |
| DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会 | | | | | | | | |
| Anne Carine Tanum (会長) | | 985 | | | 2 | 987 | | |
| Jarle Berge | | 710 | | | 6 | 717 | | |
| Lillian Hattrem (2016年1月1日から) | 594 | 321 | 597 | 20 | 39 | 977 | 3,257 | 73 |
| Kim Wahl | | 319 | | | | 319 | 51 | |
| グループ経営陣 | | | | | | | | |
| Rune Bjerke、最高経営責任者 | 5,556 | | 5,794 | 2,010 | 322 | 8,126 | 8,845 | 4,989 |
| Bjørn Erik Nass、最高財務責任者 (2017年3月1日まで) | 3,880 | | 4,071 | 1,520 | 234 | 5,825 | 956 | 5,224 |
| Kjerstin Braathen、最高財務責任者 (2017年3月1日から) | 3,010 | | 3,150 | 1,150 | 234 | 4,534 | 40 | 619 |
| Trond Bentestuen、グループEVP | 3,560 | | 3,204 | 1,290 | 268 | 4,763 | 6,301 | 706 |
| Ottar Ertzeid、グループEVP | 8,820 | | 9,205 | 3,800 | 235 | 13,240 | 23 | 623 |
| Benedicte S. Fasmer、グループEVP (2016年9月26日から) | 2,950 | | 2,383 | 870 | 205 | 3,459 | 7,476 | 113 |
| Liv Fiksdahl、グループEVP | 3,050 | | 3,196 | 1,110 | 243 | 4,549 | 1,236 | 1,014 |
| Rune Garborg、グループEVP (2016年9月26日から) | 2,950 | | 2,423 | 1,420 | 229 | 4,072 | 6,634 | 321 |
| Solveig Hellebust、グループEVP | 2,450 | | 2,571 | 930 | 232 | 3,733 | 3 | 379 |
| Thomas Midteide、グループEVP | 2,500 | | 2,098 | 930 | 259 | 3,287 | 4,482 | 256 |
| Kari Olrud Moen、グループEVP | 2,810 | | 2,945 | 1,020 | 232 | 4,197 | 18 | 1,320 |
| Tom Rathke、グループEVP | 3,400 | | 3,733 | 1,020 | 276 | 5,030 | 6,221 | 2,613 |
| Bengt Olav Lund、EVP ⁷⁾ | 2,610 | | 1,982 | 1,260 | 204 | 3,445 | 7,115 | 113 |
| Harald Serch-Hanssen、グループ EVP | 4,090 | | 4,279 | 1,400 | 252 | 5,931 | 5,372 | 1,004 |
| Terje Turnes、グループEVP | 3,930 | | 4,119 | 580 | 235 | 4,935 | | 575 |
| その他の従業員への貸出合計 | | | | | | | 18,112,694 | |

- 1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。
- 2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2016年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：
Anne Carine Tanum：437,000ノルウェー・クローネ
Jarle Berge：319,000ノルウェー・クローネ
上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。
- 3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、1年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。
- 4) 休日手当は賞与に含まれていない。
- 5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。
- 6) 未払年金費用には期中に獲得した年金権 (SCC) が含まれており、年金受給権の計算は (注24) 「年金」で使用されているものと同一の経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。期中に獲得した年金権は、年金制度の移行による影響を除いている。2016年度年次報告書を参照のこと。
- 7) 2016年5月以来、ウェルスマネジメントの責任者である。固定給には役職給が含まれている。

グループ経営陣の変更

Bjørn Erik Næssは2017年3月1日に退任し、グループ経営陣を離れた。Tom Rathkeは2017年5月1日付でグループ経営陣から外れたものの、DNBに引き続き在籍し、他の職責を負っている。同日付でBengt Olav Lundが当グループ経営陣の常任メンバーとなった。

別の有限責任会社としてのVippsの設立に関連して、Rune Garborgは2017年9月1日付でグループ経営陣を離れた。同氏のDNBとの雇用関係は分割に伴い、Vipps ASに移行した。

2017年12月11日より実施された新グループ体制により、グループ経営陣の構成が変更された。Ida Lerner及びIngjerd Blekeli Spiten(2018年1月9日就任)が新たに常任メンバーとなった。さらに、Rasmus Aage Figenschau及びAlf Otterstadがグループ経営陣の臨時メンバーとなった。Bengt Olav Lund、Liv Fiksdahl及びTerje Turnesはグループ経営陣を離れたが、DNBに引き続き在籍し、他の職責を負っている。Kari Olrud Moenは、グループ経営陣を離れると同時にDNBを退職することを選択し、12ヶ月分の退職金契約を付与された。他のグループEVPIはグループ経営陣に残り、そのうちの数名は他の職責を負っている。

年金契約に関するその他の情報

すべての経営幹部の年金制度は、2016年度の年次報告書に記載されているとおり、2017年1月1日から変更された。年金契約における変更は、以前に合意した年齢制限の変更を伴わなかった。

Bjørn Erik Næssは年金契約により、62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。彼が合意した年齢に達した際に、彼の勤務期間は2017年3月1日まで延長された。他の経営幹部と同様の方法で、彼の年金契約も2016年12月31日から移行され、資本的価値は当初の退職日現在の技術的保険準備金残高に一致している。2017年3月1日の最終退職日までの期間に直接年金制度への拠出は行われていない。

2016年度に計上された年金費用の詳細については、2016年度の年次報告書を参照のこと。

従業員向新株引受権プログラム

2017年度末現在、DNBバンク グループの従業員向新株引受権プログラムは存在しない。

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | 法定監査人の報酬 | DNBバンク グループ | |
|-----------------|----------|---------------------------|-------------|----------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位：千ノルウェー・クローネ、付加価値税は除く) | 2017年度 | 2016年度 |
| (10,465) | (9,871) | 法定監査業務 ¹⁾ | (21,156) | (23,628) |
| (1,016) | (1,163) | その他証明業務 | (2,305) | (1,731) |
| (12,860) | (6,731) | 税金関連助言業務 ²⁾ | (11,456) | (12,874) |
| (3,476) | (4,555) | その他の業務 | (5,975) | (3,570) |
| (27,817) | (22,320) | 法定監査人の報酬合計 | (40,892) | (41,803) |

- 1) 期中監査およびDNBが管理する基金の監査費用が含まれている。
- 2) 主に海外に赴任する従業員向けの税関連アドバイスに関連する。

注47 関連当事者に関する情報

DNBバンク エイ・エス・エイは、DNB エイ・エス・エイの完全子会社である。DNBグループの最大所有者はノルウェー政府（通商産業省）であり、親会社であるDNB エイ・エス・エイの34%の株式を所有している。

当行グループは、通常の商取引の一環として、関連当事者との間で融資、預金及び為替取引等からなる非常に多くの取引を行っている。これらの取引は、市場条件に基づいて行われている。下表は、年度末（貸借対照表日）現在における関連当事者との取引及び当該年度における関連費用及び収益をまとめたものである。表にある関連企業は、関連会社及び DNB NOR Savings Bank Foundationである。関連会社の詳細については（注35）を参照のこと。取締役、その配偶者／パートナー及び未成年である子供に対する貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。グループ経営陣に対する貸出は、その他のグループ従業員に対する貸出と同様、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。他のDNBバンク グループ企業との取引は、別表に記載されている。

| 関連当事者との取引 | DNBバンク グループ | | | |
|-------------------|---------------|--------|--------|--------|
| | グループ経営陣及び取締役会 | | 関連企業 | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2016年度 |
| 1月1日現在の貸出 | 60 | 44 | 1,125 | 913 |
| 年度中の新規貸出／返済 | (6) | (9) | (48) | (37) |
| 関連当事者の変化 | 2 | 24 | 21,238 | 249 |
| 12月31日現在の貸出 | 56 | 60 | 22,315 | 1,125 |
| 受取利息 | 2 | 1 | 25 | 24 |
| 1月1日現在の預金 | 253 | 235 | 781 | 702 |
| 年度中の預金／引出し | 47 | 14 | 319 | 78 |
| 関連当事者の変化 | (55) | 5 | 334 | 1 |
| 12月31日現在の預金 | 245 | 253 | 1,434 | 781 |

| 支払利息 | (1) | (0) | (7) | (8) |
|------------------|-----|-----|-------|-------|
| 保証 ¹⁾ | - | - | 3,543 | 5,951 |

1) DNBバンク エイ・エス・エイは、ノルウェー輸出金融公社の他の貸出金に関する保証を行っている。保証の合計額は上記の表に含まれている。

2016年度及び2017年度には、関連当事者への貸出に関する減損は計上されなかった。グループ経営陣及び取締役に対する貸出に関する情報については、（注46）で触れられている。取締役会の代理メンバーとの取引は、上表に含まれていない。一般に、DNBの従業員向貸出は、月賦払いで自動引落としにより後払いで返済が行われなければならない。従業員向貸出は、一般の顧客関係に適用される条件の範囲内で行われる。法規定に従い、従業員向貸出には担保が供与されている。

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | その他のDNBグループ企業との取引 ¹⁾ | DNBバンク グループ | |
|-----------------|---------|---------------------------------|-------------|--------|
| 2016年度 | 2017年度 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年度 | 2016年度 |
| 393,832 | 126,157 | 12月31日現在の貸出金 | 25,950 | 22,059 |
| 20,250 | 83,702 | 12月31日現在のその他の未収入金 ²⁾ | 394 | 726 |
| 143,450 | 126,077 | 12月31日現在の預金 | 9,237 | 10,796 |
| 62,288 | 102,327 | 12月31日現在のその他の負債 ²⁾ | 1,759 | 919 |
| 5,387 | 5,506 | 受取利息 | 578 | 506 |
| (2,897) | (3,055) | 支払利息 | (48) | (56) |
| 6,508 | 6,990 | その他の営業収益純額 ³⁾ | 1,995 | 1,884 |
| (132) | (187) | 営業費用 | (166) | (106) |

- 1) DNBバンク エイ・エス・エイに関して、上表には子会社、兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。当行グループに関しては、上表には兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。関連当事者により発行された債券への投資は以下に記載されており、上記の表には含まれていない。
- 2) 2016年12月31日及び2017年12月31日現在のDNBバンク エイ・エス・エイのその他の未収入金及びその他の負債は、主にDNBボーリ・クレジットをカウンターパーティーとしたデリバティブ取引及びグループ配当であった。
- 3) DNBバンク エイ・エス・エイが2017年度及び2016年度に子会社からのグループ配当として計上したのは、それぞれ2,884百万ノルウェー・クローネ及び1,591百万ノルウェー・クローネであった。

関連当事者との主な取引及び契約

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、DNBバンク エイ・エス・エイの完全子会社である。通常の商取引の一環として、ボーリ・クレジットと当行の間で貸出、預金並びに為替リスク管理及び金利リスク管理で用いられるデリバティブをはじめとする数多くの銀行取引が行われている。取引は市場での取引条件に基づいて行われ、「当行及びDNBボーリ・クレジット エイ・エス間の貸出債権の譲渡に関する契約」（譲渡契約）及び「管理サービスの購入に関する当行とDNBボーリ・クレジット エイ・エス間の契約」（管理契約）に則っている。

譲渡契約は、カバード・ボンド発行の際の担保となり得る貸出債権の譲渡を管理するものである。2017年度中に、12.0十億ノルウェー・クローネ（2016年度は19.8十億ノルウェー・クローネ）に上る貸出債権が当行からボーリ・クレジットに譲渡された。

管理契約に従い、ボーリ・クレジットは、事務管理、銀行プロダクト、物流、顧客対応、IT業務、財務及び流動性管理等のサービスを当行から購入する。ボーリ・クレジットは、これらのサービスに対し、管理下にある貸出債権の規模及び達成された貸出スプレッドに基づいた年間管理手数料を支払う。2017年度に支払われた管理手数料は、1.2十億ノルウェー・クローネ（2016年度は2.3十億ノルウェー・クローネ）であった。

2017年12月末現在、当行は、ボーリ・クレジットが発行したカバード・ボンドに12.1十億ノルウェー・クローネ（2016年度は9.0十億ノルウェー・クローネ）を投資していた。

2013年度第4四半期に、ボーリ・クレジットは、DNBバンク エイ・エス・エイとの間で「リボルビング・クレジット・ファシリティ契約 (RCF)」を締結した。このRCFの条件に従って、DNBバンクはボーリ・クレジットに対し、発行されたカバード・ボンド及び関連するデリバティブヘッジ契約のために今後12か月にわたってボーリ・クレジットのノルウェー・クローネでの支払債務と同額のリボルビング・クレジット・ファシリティを常に提供する。ボーリ・クレジットはこのRCFに基づいて借り入れた全額を、カバード・ボンド及び当該カバード・ボンドのヘッジのために締結した関連するデリバティブ契約に基づく支払に充てなければならない。

ボーリ・クレジットはカバード・ボンドの通常の購入（買戻し）及び当該カバード・ボンドに関連したデリバティブ契約に関連した支払義務の履行に当該RCFを利用してはならない。RCFに基づくボーリ・クレジットに対するDNBバンクの債務は、カバード・ボンドに係る要支払額であるという点で保証には当たらない。当契約はボーリ・クレジットが主導して、2016年度の第2四半期に解約された。

2016年度に、ボーリ・クレジットは当行を取引相手として、リバース・レポ契約(以下「リバース・レポ」という。)を締結した。当レポ取引の総額は、2017年度12月末現在、26.0十億ノルウェー・クローネ（2016年度は26.2十億ノルウェー・クローネ）であった。

ボーリ・クレジットはDNBバンク・エイ・エス・エイと190十億ノルウェー・クローネを上限として、長期の当座貸越契約を締結している。

DNBナーリングス・クレジット エイ・エス

DNBナーリングス・クレジット（ナーリングス・クレジット）は、DNBバンク エイ・エス・エイの完全子会社である。この抵当証券機関は、商業用不動産で構成されるプールを担保とするカバード・ボンドを発行するために設立された。

譲渡契約は、カバード・ボンド発行の際の担保となり得る貸出債権の譲渡を定めるものである。2017年度に、総額1.9十億ノルウェー・クローネ（2016年度は7.2十億ノルウェー・クローネ）に上る貸出債権が当行からナーリングス・クレジットに譲渡された。すべての取引は市場における条件に基づいて行われている。

ボーリ・クレジットと同様、ナーリングス・クレジットも、当行から管理サービス及び事務サービスを購入している。また、同社の業務に関連する事務サービスは、ボーリ・クレジットから購入している。2017年度に当行及びボーリ・クレジットに支払われた手数料総額はそれぞれ88.1百万ノルウェー・クローネ、3.5百万ノルウェー・クローネであった。

2017年12月末現在、当行は、ナーリングス・クレジットが発行したカバード・ボンドのうちの0.9十億ノルウェー・クローネ（2016年度は0.9十億ノルウェー・クローネ）に投資している。

2017年度に、ナーリングス・クレジットは、当行を取引相手として、リバース・レポ契約(以下「リバース・レポ」という。)を締結した。当レポ取引の総額は、2017年12月末現在、108.3百万ノルウェー・クローネ（2016年度は111.6百万ノルウェー・クローネ）であった。同社は、DNBバンク・エイ・エス・エイと30十億ノルウェー・クローネを上限とする、長期の当座貸越契約を締結している。

DNBリフスフォルシクリン エイ・エス

同社の通常の投資活動の一環として、DNBリフスフォルシクリンは、DNBボーリ・クレジットが発行するカバード・ボンドを引き受けてきた。2017年度末現在、DNBリフスフォルシクリンが保有するDNBボーリ・クレジットの上場債券総額は1.9十億ノルウェー・クローネ（2016年度は1.9十億ノルウェー・クローネ）であった。

2016年11月に、合計約5十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。

2016年度第4四半期に、2.6十億ノルウェー・クローネと4.5十億ノルウェー・クローネの商業用不動産ローンのポートフォリオが、それぞれナーリングス・クレジットとDNBバンクからDNBリフスフォルシクリンに売却された。

ルミノール・グループ・エイ・ビー

2017年度第4四半期に、DNBとNordeaはエストニア、ラトビア、リトアニアにおける事業を統合し、新たにルミノール・グループ・エイ・ビーを設立した。ルミノール・グループ・エイ・ビーにおけるDNBの持分は約44%となっている。2017年12月末時点で、DNBバンク エイ・エス・エーのルミノール・グループ・エイ・ビーに対する拠出額は合計で21.0十億ノルウェー・クローネに上った。

Vipps AS

2017年度第3四半期に、Vipps ASが別会社として設立され、DNBはノルウェーの他行105行と契約を締結した。DNBは新法人（Vipps AS）の持分52%近くを保有している。しかし、株主間契約上の条件により、Vipps ASは関連会社とされることが決められ、同社は持分法によりDNBに連結されている。DNBは株主総会において49.9%の議決権を有し、7名の取締役のうち3名を選任している。

注48 オフ・バランスシート取引及び偶発事象

| DNBバンク エイ・エス・エイ オフ・バランスシート取引及び追加情報 | | | DNBバンク グループ | |
|------------------------------------|----------|-----------------------------|-------------|----------|
| 2016年 | 2017年 | | 2017年 | 2016年 |
| 12月31日現在 | 12月31日現在 | (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 12月31日現在 | 12月31日現在 |
| 29,930 | 27,798 | 履行保証 | 28,558 | 30,900 |
| 32,547 | 29,874 | 支払保証 | 31,852 | 34,472 |
| 17,979 | 17,525 | 貸出保証 | 17,525 | 17,898 |
| 6,535 | 6,254 | 税金等の保証 | 6,254 | 6,557 |
| 2,213 | 2,348 | その他保証 | 3,153 | 2,714 |
| 89,205 | 83,799 | 保証合計 | 87,342 | 92,541 |
| | | 支援協定 | 10,735 | 6,106 |
| 89,205 | 83,799 | 保証等合計*) | 98,077 | 98,647 |
| 479,792 | 488,943 | 未使用の与信枠及び貸出枠 | 589,623 | 606,122 |
| 3,861 | 4,103 | 信用状 | 4,170 | 3,948 |
| | | その他コミットメント | | 37 |
| 483,653 | 493,046 | コミットメント合計 | 593,793 | 610,107 |
| 572,858 | 576,845 | 保証及びオフ・バランス・コミットメント合計 | 691,871 | 708,754 |
| 9,322 | 12,778 | 担保として差入れられている有価証券 | | |
| | | *) そのうち、金融機関による再保証が行われているもの | 295 | 326 |

DNBバンク エイ・エス・エイは、多通貨同時決済銀行（CLS銀行）の会員であり株主でもある。株主としてDNBバンク エイ・エス・エイは、会員銀行のためのCLS銀行の中央決済勘定に資金不足が生じた場合、他の会員銀行がデフォルトを引き起こしたとしても、当該資金不足を補填するために資金を拠出する義務がある。まず、会員銀行の中でCLS銀行の当該資金不足を引き起こすことになった銀行と取引を行った各行が当該資金不足を補填するものとされている。それだけで補填しきれない不足がある場合、当該欠損は、CLS銀行の国際規則第9条「損失配分」に従い、CLSの会員銀行が按分負担することになる。CLSと会員銀行間の契約によると、残余不足額のこうした補填に関連する按分支払いの義務は、会員銀行当たり30百万米ドルを上限とする。2017年度末現在、DNBは、CLSに関連する債務を計上していない。

DNBボーリ・クレジット エイ・エス（ボーリ・クレジット）

2017年12月末現在、ボーリ・クレジットは、額面金額が450十億ノルウェー・クローネにのぼるカバード・ボンドを発行していた。万一破産した場合は、その債券保有者は同社のカバープール（カバー担保）に対する優先権を有する。

カバード・ボンド

DNBボーリ・クレジット

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 12月31日現在 | 2016年 12月31日現在 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 上場カバード・ボンド合計 | 379,635 | 355,932 |
| 債券プログラムにおける私募合計 | 70,812 | 59,859 |
| 調整 | | |
| 未払利息 | 3,033 | 3,581 |
| 未実現利益 / 損失 | 14,757 | 19,701 |
| 発行済負債証券合計 | 468,236 | 439,072 |

カバープール（カバー担保）

DNBボーリ・クレジット

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 2017年 | 2016年 |
|-------------------------------------|----------|----------|
| | 12月31日現在 | 12月31日現在 |
| 適格貸出プール | 617,756 | 599,579 |
| デリバティブの時価 | 52,878 | 38,527 |
| 補足資産 | | |
| 担保に差入れられている資産合計 | 670,634 | 638,106 |
| 発行済負債証券、帳簿価額 ¹⁾ | 468,236 | 439,072 |
| 控除：公正価値で計上された負債に係る信用リスクの変動に起因した評価変動 | (465) | (192) |
| 発行済負債証券、規則に準拠した評価額 | 467,771 | 438,880 |
| 超過担保(%) | 143.4 | 145.4 |

1) 発行済負債証券は、付属するカバー・プール中の、優先権のある債券である。カバー・プールの構成と価値の算定は、付属規則とともに、金融機関法第11 - 8及び11 - 11項に定義されている。

偶発事象

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的手続の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないと思われる。

当行グループは、仕組商品及びその他投資商品に関するいくつかの苦情及び訴訟の当事者となっている。

[次へ](#)

注49 IFRS第9号への移行

2014年7月にIASBは、現行のIAS第39号に差し替わるIFRS第9号「金融商品」という、金融商品に関する新基準を公表した。新基準は金融資産の分類に関するビジネスモデル志向型のアプローチ、減損に関する予想損失モデルに加え、新しい一般的なヘッジ会計モデルを導入している。IASBは、依然としてマクロヘッジ会計に関する新しい要求事項について検討中である。この作業は別個のプロジェクトとして設立され、今後最終決定される見込みである。

IFRS第9号は2018年1月1日から適用される。本基準は2016年11月にEUにより承認を受けた。

以下のIFRS第9号への移行に関する開示には、会計原則、分類と測定及び減損の移行に関する開示、予想信用損失の測定に用いられた手法、最後に規制資本への影響が表示されている。

表示項目はIFRS第9号に基づく財務諸表を参照している。

IFRS第9号の会計原則

分類と表示

金融資産は以下の測定カテゴリーのうちの一つに分類される。

償却原価

その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI)

純損益を通じて公正価値で測定(FVTPL)

金融資産の分類は二つの要因によって決まる。

金融資産が属するポートフォリオのビジネスモデル

金融資産の契約上のキャッシュ・フローの特徴

ビジネスモデルを決定する際には、当行グループは、ポートフォリオレベルでの事業の管理方法、セールス活動、リスク管理、経営幹部への情報の報告方法を評価する。ビジネスモデル評価は各事業分野別に行われている。顧客部門に属するポートフォリオは、資産を保有し契約上のキャッシュ・フローを回収することを目的としたビジネスモデルの中で保有されている。一方で、マーケティング部門の商品分野に属するポートフォリオに対しては複数の異なるビジネスモデルが存在する。たとえば、マーケティング部門の流動性ポートフォリオのビジネスモデルは、資産を保有し契約上のキャッシュ・フローを回収するとともに当該資産を売却することの両方である。ただし、会計上のミスマッチを低減させるために、ポートフォリオは純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定される。

金融資産の当初認識時に契約上のキャッシュ・フローの特性テストが行われる。元本及び利息の支払のみからなるキャッシュ・フローを有する金融資産は、利息が貨幣の時間価値への対価、信用リスク及び流動性リスクへの対価、回収・管理費用への対価、並びに利益マージンのみで構成されている場合に特徴を満たす。

純損益を通じて公正価値で測定することが求められている、又は純損益を通じて公正価値で測定するものに指定されている金融負債を除き、金融負債は償却原価で測定するものに分類される。以下の要件を満たす場合には、金融資産を、純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

指定をしなければ金融資産の測定又はそれらに係る利得及び損失の認識を異なる基礎で行うことから生じるであろう測定又は認識の不整合を、その分類が除去又は大幅に低減する。

金融負債は、上述の要件が満たされる又は以下のうちの一つに該当する場合には、当初認識時に、純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

金融商品が、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されるポートフォリオの一部である。

主契約が一又は複数の組込デリバティブを含んでいる。

償却原価で測定される金融資産

負債性金融商品への投資のうち、純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定されていないもので、以下の双方の条件を満たす場合には償却原価で測定される。すなわち、

資産が、資産の保有と契約上のキャッシュ・フローの回収を目的としたビジネスモデルで保有される。

契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみである。

負債性金融商品は、公正価値に直接起因する取引コストを加算して当初認識される。事後の測定は実効金利法により、減損控除後の金額で認識する。減損損失及び戻入は3段階の予想信用損失モデルに基づいて測定される。このモデルについては「予想信用損失の測定」の項目で説明されている。

貸借対照表日において償却原価で測定された負債性金融商品に係る、予想信用損失引当金に基づく価値の変動は、損益計算書の中の「金融商品の減損」に表示されている。

このカテゴリーに分類される金融商品の受取利息は、実効金利法を用いて「受取利息（償却原価）」に表示される。

このカテゴリーは、主として顧客向貸出金、現金及び預金、リバース・レポ契約、債券投資で構成されている。

償却原価で測定される金融負債

償却原価で測定される金融負債は、直接起因する取引コスト控除後の公正価値で当初認識される。かかる金融商品の支払利息は、実効金利法を用いて「支払利息（償却原価）」に表示される。このカテゴリーには、顧客及び金融機関からの預金、レポ契約、発行済コマーシャル・ペーパー及び債券、劣後債、永久劣後証券が含まれる。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産

負債性金融商品への投資のうち、純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定されていないもので、次の条件がともに満たされる場合には、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。

当該資産が、契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的としたビジネスモデルの中で保有されている。

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

当初認識時に、負債性金融商品は公正価値に直接起因する取引コストを加えた金額で認識される。事後の測定はその他の包括利益を通じて公正価値で行われる。公正価値の変動はその他の包括利益で認識され、資本の別の構成要素の中に累積される。減損損失又は戻入、受取利息及び為替差損益は純損益で認識される。金融資産が認識中止される場合には、その他の包括利益に認識された累積損益は純損益に振り替えられ、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」に認識

される。減損損失及び戻入は3段階の予想信用損失モデルに基づいて測定され、これについては「予想信用損失の測定」の項目で説明されている。

このカテゴリーは、DNBバンク エイ・エス・エイの変動金利の住宅ローンで構成されている。これらのローンは通常はDNB ポーリクレジット・エイ・エスへ売却されるため、ビジネスモデルは回収と売却を目的とした保有である。

純損益を通じて公正価値で測定される金融商品

下記の商品はこの区分で認識される。

デリバティブ

資本性金融商品

トレーディング目的保有金融商品

公正価値で管理される金融商品

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして指定された金融商品

元本と利息の支払のみではない契約上のキャッシュ・フローを伴う負債性金融商品

このカテゴリーの金融商品は公正価値で当初認識され、取引コストは発生時に純損益で認識される。事後の測定は公正価値で行われ、損益は損益計算書に認識される。

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」で表示される。デリバティブは、公正価値がプラスであれば資産として、公正価値がマイナスであれば負債として表示される。

デリバティブを含む利付金融商品からの受取利息及び支払利息は、トレーディング目的ポートフォリオに属する金融商品からの受取利息及び支払利息を除き、「純利息収入」に表示される。トレーディング目的ポートフォリオは主に、短期間のうちに売却又は買戻しを行うことを目的として取得された金融商品で構成されている。これにはデリバティブと債券ポートフォリオが含まれる。トレーディング目的ポートフォリオに属する金融商品からの受取利息及び支払利息は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」に表示される。

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものに指定された金融資産は、主に債券及びノルウェー・クローネ建ての固定金利住宅ローンである。当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものに指定された金融負債は、主にノルウェー・クローネ建ての固定利付債券である。

純損益を通じて公正価値で測定するものに指定された金融負債については、DNBバンクの信用リスクの変動に関連した公正価値の変動は、Nordic Bond Pricingが公表する信用スプレッド・カーブを利用して算定されている。ノルウェー・クローネ建てで発行された固定利付証券の信用スプレッドの変動は、会計上のミスマッチを生むことも拡大することもないため、その他の包括利益で別建てで認識される。

発行済金融保証

特定の債務者が期日に支払をしなかったために生じた損失を当行グループが保有者に弁済しなければならないような契約は、「発行済金融保証」に分類される。

当初認識時に、発行された金融保証は当該保証に関して受領した対価で認識される。発行された金融保証は、その後、損失引当金の金額と、当初認識額から損益計算書で認識された収益累積額を差し引いた金額のいずれか高いほうの金額で測定される。

金融保証を発行する場合、発行の対価は貸借対照表の「引当金」の科目に表示される。発行した金融保証からの収益と購入した金融保証に係る費用は当該商品の期間にわたって償却され、「受取手数料等」又は「支払手数料等」に表示される。

予想信用損失の変動は損益計算書の「金融商品に係る減損」の科目に認識される。

貸出コミットメント

貸出コミットメントに関する予想信用損失は算定され、貸借対照表の「引当金」の科目に表示される。予想信用損失引当金の変動は、損益計算書の「金融商品に係る減損」の科目に認識される。借入実行部分と未実行部分の両方を含む金融商品については、予想信用損失は、当該エクスポージャーの割合に応じ、損失引当金（loss allowance）と引当金（provisions）の間で按分される。

持分の特徴を有する金融商品

発行されたその他Tier1資本調達手段は、投資家に対して利息又は元本の支払を行わない一方的な権利をDNBが有する金融商品である。このような条件により、当該金融商品は負債の要件を満たさないため、当行グループの資本に「その他Tier1資本」として表示される。取引コスト及び未払利息はその他の資本からの控除として、利息に係る税控除はその他の資本に対する加算として表示される。

外貨建ての資本は取引日の為替レートでノルウェー・クローネに換算され、その後の再評価の対象にはならない。

分類変更

負債性金融商品は、これらの資産のビジネスモデルに重大な変更がある場合に限り分類変更される。こうした変更は極めて稀にしか起こらないと予想される。金融負債の分類変更は行われない。

当初認識

金融資産は取引日会計又は決済日会計のいずれかを用いて貸借対照表に認識される。取引日会計は純損益を通じて公正価値で測定される金融資産に適用され、決済日会計は償却原価で測定される金融資産に適用される。

金融負債は、当行グループが金融商品の契約条項の当事者になった日に、貸借対照表に認識される。

認識中止

金融資産の認識中止

金融資産は、当該資産からのキャッシュ・フローを受け取り保持する権利が失効、又は譲渡された場合に認識が中止されるほか、条件変更がなされた場合にも認識中止となることがある。当行グループは、貸借対照表で認識されている資産を譲渡するが、当該譲渡資産に係るリスクと経済価値の全て又は一部を保持する特定の取引を締結している。全て又は実質的にすべてのリスクと経済価値が保持されている場合には、譲渡された金融資産は貸借対照表で認識中止されず、当該譲渡において創出又は保持された権利と義務を反映した別の資産又は負債に分類変更される。かかる取引は、貸出ポートフォリオのすべてのリスクを保証又はトータル・リターン・スワップを締結することにより、譲渡されたポートフォリオに関連するリスクとリターンを当行グループが保持するという形の貸出ポートフォリオの譲渡となる場合がある。

金融負債の認識中止

金融負債は、契約上の債務が免責、取消し、又は失効となった時に認識中止される。

条件変更

償却原価で測定される金融資産の条件変更が、認識中止と新たな資産の認識に繋がるかどうかの評価は、以下の検討事項に基づいている。:

当初の契約の中のキャッシュ・フロー又は他の条項の変更と、当該契約の条件変更との相違条件変更が重大なものであるかどうかの評価。重大な条件変更とは、全面的な与信プロセスや価格決定の見直し、及び新契約の締結であると定義される。

条件変更が価値の毀損によるものか、又は商業条件で行われているかどうかの評価

予想信用損失(ECL)の測定

IFRS第9号の予想信用損失モデルはIAS第39号の発生損失モデルに置き換わる。ECLモデルは、純損益を通じて公正価値で測定されるものではない、以下の金融商品に係る減損の見積りを行う。

負債性金融商品である金融資産

リース債権

発行済金融保証契約

貸出コミットメント

営業債権に係る予想信用損失の測定には単純化したアプローチが利用される。

当行グループは、これらの金融商品の各報告日現在のECLを、次の要素を反映する方法で測定する。

一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率加重金額

貨幣の時間価値

過去の事象、過去の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

当行グループは、信用リスクの著しい増大にさらされているすべての金融商品に対し、全期間ECLを反映させた金額で損失引当金の金額を測定する。リスクに著しい変動がない金融商品については、12ヶ月間の予想信用損失が認識される。

ヘッジ会計

当グループは、IFRS第9号の採択時に、IAS第39号の会計要件を継続して適用することを決定した。

導入による影響

IFRS第9号に基づく会計方針が適用されたことにより、新基準への移行に当たり、下表の通り分類変更が行われた。

IAS第39号に基づく旧基準の測定区分とIFRS第9号に基づく新しい測定区分による、2018年1月1日現在のDNBバンクの金融資産は下表の通りである。

2018年1月1日現在の金融資産

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第39号に基づく旧基準の測定 | | IFRS第9号に基づく新しい測 | |
|-------------------|--------------------|------------------------|-----------------|-----------|
| | 区分 | 定区分 | の帳簿価額 | 帳簿価額 |
| 現金及び中央銀行預け金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 143,463 | 143,461 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 3,251 | 3,251 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 4,434 | 4,434 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 348,588 | 348,564 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 4,863 | 4,856 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 227,522 | 227,517 |
| 顧客向貸出金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 55,839 | 55,837 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 12,322 | 6,050 |
| | | FVTPL(指定) | | 6,259 |
| | 償却原価 | FVOCI | 662,622 | 97,531 |
| | | 償却原価 | | 564,847 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的 保有) | 169,639 | 167,414 |
| | | FVTPL(指定) | | 2,224 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 92,355 | 92,355 |
| | 満期保有 | FVTPL(トレーディング目的 保有) | 9,613 | 9,581 |
| 株式 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(強制適用) | 5,508 | 5,508 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(強制適用) | 802 | 802 |
| デリバティブ | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的 保有) | 138,346 | 138,346 |
| | FVTPL(ヘッジ目的デリバティブ) | FVTPL(強制適用) | 8,606 | 8,606 |
| その他資産 | 償却原価 | 償却原価 | 22,092 | 22,092 |
| 合計 | | | 1,909,865 | 1,909,536 |

2018年1月1日現在の金融負債

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第39号に基づく旧基準の測 | | IFRS第9号に | |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|-----------|
| | IAS第39号に基づく旧基準の測 | IFRS第9号に基づく新しい測 | 基づく旧基準 | 基づく新しい |
| | 定区分 | 定区分 | の帳簿価額 | 帳簿価額 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 285,817 | 285,822 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 4,657 | 4,657 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 42,324 | 42,324 |
| 顧客預金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 41,692 | 39,827 |
| | | FVTPL(指定) | | 1,895 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 14,090 | 192 |
| | | FVTPL(指定) | | 13,897 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 900,744 | 900,744 |
| デリバティブ | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 178,324 | 178,324 |
| | FVTPL(ヘッジ目的デリバティブ) | FVTPL(強制適用) | 1,210 | 1,210 |
| 発行済負債証券 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 158,693 | (12) |
| | | 償却原価 | | 158,701 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 9,751 | 9,751 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 157,727 | 157,727 |
| その他負債 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 6,214 | 6,214 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 44,889 | 44,889 |
| 劣後債 | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 2,873 | 2,873 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 26,666 | 26,666 |
| 合計 | | | 1,875,669 | 1,875,700 |

2018年1月1日現在の金融資産

DNBバンク グループ

| | IAS第39号に基づく旧基準の測 | IFRS第9号に基づく新しい測定区 | IAS第39号に | IFRS第9号に |
|-------------------|--------------------|--------------------|-----------|-----------|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 定区分 | 分 | 基づく旧基準 | 基づく新しい |
| | | | の帳簿価額 | 帳簿価額 |
| 現金及び中央銀行預け金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 143,463 | 143,461 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 3,251 | 3,251 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 4,881 | 4,881 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 199,288 | 199,277 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 38,561 | 38,555 |
| 顧客向貸出金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 55,839 | 55,837 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 55,373 | 8,764 |
| | | FVTPL(指定) | | 46,596 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 1,420,133 | 1,419,820 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 169,059 | 166,835 |
| | | FVTPL(指定) | | 2,224 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 87,970 | 80,805 |
| | | 償却原価 | | 7,156 |
| | 満期保有 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 9,613 | 9,581 |
| 株式 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 6,304 | 5,508 |
| | | FVTPL(強制適用) | | 795 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(強制適用) | 999 | 999 |
| デリバティブ | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 106,318 | 106,318 |
| | FVTPL(ヘッジ目的デリバティブ) | FVTPL(強制適用) | 26,331 | 26,331 |
| その他資産 | 償却原価 | 償却原価 | 7,888 | 7,888 |
| 合計 | | | 2,335,271 | 2,334,884 |

2018年1月1日現在の金融負債

DNBバンク グループ

| | | IAS第39号に | IFRS第9号に | | |
|-------------------|--------------------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | | IAS第39号に基づく旧基準の測 | IFRS第9号に基づく新しい測定区 | 基づく旧基準 | 基づく新しい |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 定区分 | 分 | の帳簿価額 | 帳簿価額 | |
| 金融機関からの借入金及び預金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 182,335 | 182,316 | |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 4,657 | 4,657 | |
| | 償却原価 | 償却原価 | 35,508 | 35,508 | |

| | | | | |
|---------|--------------------|--------------------|-----------|-----------|
| 顧客預金 | FVTPL(トレーディング目的保有) | 償却原価 | 41,692 | 39,827 |
| | | FVTPL(指定) | | 1,895 |
| | FVTPL(指定) | 償却原価 | 14,090 | 192 |
| | | FVTPL(指定) | | 13,897 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 924,593 | 924,593 |
| デリバティブ | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 108,755 | 108,755 |
| | FVTPL(ヘッジ目的デリバティブ) | FVTPL(強制) | 3,265 | 3,265 |
| 発行済負債証券 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 158,693 | (12) |
| | | 償却原価 | | 158,701 |
| | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 83,703 | 83,703 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 539,731 | 539,731 |
| その他負債 | FVTPL(トレーディング目的保有) | FVTPL(トレーディング目的保有) | 6,214 | 6,214 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 13,091 | 13,091 |
| 劣後債 | FVTPL(指定) | FVTPL(指定) | 2,873 | 2,873 |
| | 償却原価 | 償却原価 | 26,666 | 26,666 |
| 合計 | | | 2,145,864 | 2,145,871 |

ビジネスモデル評価に基づいて、マーケット部門の特定のポートフォリオは、純損益を通じて公正価値で測定するものから償却原価で測定するものへと分類変更された。これには、現金及び中央銀行預け金として表示されているポートフォリオ、リバース・レポ契約として表示されている金融機関向貸出金及び預け金、顧客向貸出金が含まれる。IFRS第9号に基づくビジネスモデルの評価は、バーゼル委員会が導入したトレーディング勘定の抜本的見直し（FRTB）を受けた新たな規制の評価に関連して行われた。IAS第39号では、非常に期間が短い金融商品はトレーディング目的保有として表示され、公正価値で測定される。バンキング勘定に関して行われた分析に基づく、このような金融商品は通常、満期にキャッシュ・フローを回収するために保有され公正価値ベースでは管理されていないことにより、今後のビジネスモデルは回収目的の保有となる予定である。

さらに、マーケット部門の債券ポートフォリオに対するビジネスモデル評価の結果、一部に分類変更が行われた。IAS第39号ではトレーディング目的保有に分類されていた一部の流動性ポートフォリオは、公正価値測定により会計上のミスマッチが大幅に減少することから、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類変更された。IAS第39号では満期保有に分類されていた債券ポートフォリオは、ビジネスモデルがトレーディング目的保有であることから、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類変更された。

IAS第39号では、公正価値オプションを用いて純損益を通じて公正価値で測定するものに指定されていたスプレッド貸しのポートフォリオは、公正価値測定では会計上のミスマッチを大幅に低下させないことから、IFRS第9号では償却原価で測定するものに分類変更された。

IFRS第9号では、株式は純損益を通じた公正価値による測定が強制適用される。

金融資産の分類変更の結果、会計上の不整合を回避するために特定の金融負債も分類変更された。分類変更された金融負債には、金融機関からの借入金及び預金、顧客預金として表示されている現金、預金及びレポ契約が含まれている。さらにマーケット部門のコマーシャル・ペーパー・ポートフォリオ負債は、当該ポートフォリオのセールス活動の評価に基づき、純損益を通じて公正価値で測定するもの（トレーディング目的保有）から償却原価で測定するものへ分類変更された。

下表では、IAS第39号とIFRS第9号に従った測定区分による、2018年1月1日現在のDNBバンクの金融負債が示されている。

下表には、移行時のIAS第39号に基づく帳簿価額からIFRS第9号に基づく帳簿価額への調整が示されている。

| 金融資産 | DNBバンク エイ・エス・エイ | | | |
|----------------------------|--------------------|------------------|--------------|------------------|
| | IAS第39号に | | | IFRS第9号に |
| | 基づく、2017年12 | | | 基づく、2018年 1 |
| | 月31日現在の帳 | | | 月1日現在の |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | 簿価額 | 分類変更 | 再測定 | 帳簿価額 |
| 償却原価 | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金（期首残高） | 4,434 | | | |
| FVTPLから | | 146,712 | | |
| 期末残高 | | | | 151,146 |
| 金融機関向貸出金及び預け金（期首残高） | 227,522 | | (5) | |
| FVTPLから | | 353,419 | | |
| 期末残高 | | | | 580,936 |
| 顧客向貸出金（期首残高） | 662,622 | | (241) | |
| FVOCIへ | | (97,531) | | |
| FVTPLから | | 61,887 | (2) | |
| 期末残高 | | | | 626,733 |
| 満期保有コマーシャル・ペーパー及び債券（期首残高） | 9,613 | | | |
| FVTPLコマーシャル・ペーパー及び債券へ | | (9,613) | | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| その他資産 | 22,092 | | | 22,092 |
| 償却原価合計 | 926,282 | 454,873 | (248) | 1,380,907 |
| 純損益を通じた公正価値 (FVTPL) | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金（期首残高） | 146,714 | | | |
| 償却原価へ | | (146,712) | (2) | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| 金融機関向貸出金及び預け金（期首残高） | 353,451 | | | |
| 償却原価へ | | (353,419) | (32) | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| 顧客向貸出金（期首残高） | 68,161 | | | |
| 償却原価へ | | (61,887) | (15) | |
| 期末残高 | | | | 6,259 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券（期首残高） | 261,994 | | | |
| 満期保有コマーシャル・ペーパー及び債券から | | 9,613 | (32) | |
| 期末残高 | | | | 271,575 |
| 株式 | 6,310 | | | 6,310 |
| デリバティブ | 146,953 | | | 146,953 |
| FVTPL合計 | 983,583 | (552,405) | (81) | 431,097 |
| FVOCI | | | | |
| 顧客向貸出金（期首残高） | | | | |
| 償却原価から | | 97,531 | | |

| | | | |
|---------|--------|---|--------|
| 期末残高 | | | 97,531 |
| FVOCI合計 | 97,531 | 0 | 97,531 |

金融負債

DNBバンク エイ・エス・エイ

| | IAS第39号に 基づく、2017年12 月31日現在の帳 簿価額 | 分類変更 | 再測定 | IFRS第9号に 基づく、2018年 1 月1日現在の 帳簿価額 |
|----------------------|--|-----------|-----|---|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | |
| 償却原価 | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金（期首残高） | 42,324 | | | |
| FVTPLから | | 290,480 | | |
| 期末残高 | | | | 332,803 |
| 顧客預金（期首残高） | 900,744 | | | |
| FVTPLから | | 40,019 | | |
| 期末残高 | | | | 940,763 |
| 発行済負債証券（期首残高） | 157,727 | | | |
| FVTPLから | | 158,701 | | |
| 期末残高 | | | | 316,428 |
| その他負債 | 44,889 | | | 44,889 |
| 劣後債 | 26,666 | | | 26,666 |
| 償却原価合計 | 1,172,349 | 489,200 | | 1,661,549 |
| 純損益を通じた公正価値(FVTPL) | | | | |
| 金融機関からの借入金及び預金（期首残高） | 290,474 | | | |
| 償却原価へ | | (290,480) | 5 | |
| 期末残高 | | | | (0) |
| 顧客預金（期首残高） | 55,782 | | | |
| 償却原価へ | | (40,019) | 30 | |
| 期末残高 | | | | 15,792 |
| 発行済負債証券（期首残高） | 168,444 | | | |
| 償却原価へ | | (158,701) | (4) | |
| 期末残高 | | | | 9,739 |
| その他負債 | 6,214 | | | 6,214 |
| 劣後債 | 2,873 | | | 2,873 |
| デリバティブ | 179,534 | | | 179,534 |
| FVTPL合計 | 703,320 | (489,200) | 31 | 214,151 |

金融資産

DNBバンク グループ

| | IAS第39号に 基づく、2017年12 月31日現在の帳 簿価額 | 分類変更 | 再測定 | IFRS第9号に 基づく、2018年 1 月1日現在の 帳簿価額 |
|----------------------------|--|------------------|--------------|---|
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | | | | |
| 償却原価 | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金（期首残高） | 4,881 | | | |
| FVTPLから | | 146,712 | | |
| 期末残高 | | | | 151,593 |
| 金融機関向貸出金及び預け金（期首残高） | 38,561 | | (6) | |
| FVTPLから | | 199,277 | | |
| 期末残高 | | | | 237,832 |
| 顧客向貸出金（期首残高） | 1,420,133 | | (311) | |
| FVTPLから | | 64,601 | (2) | |
| 期末残高 | | | | 1,484,421 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券（期首残高） | 0 | | | |
| FVTPLから | | 7,156 | (0) | |
| 期末残高 | | | | 7,156 |
| 満期保有コマーシャル・ペーパー及び債券（期首残高） | 9,613 | | | |
| FVTPLコマーシャル・ペーパー及び債券へ | | (9,613) | | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| その他資産 | 7,888 | | | 7,888 |
| 償却原価合計 | 1,481,076 | 408,134 | (320) | 1,888,889 |
| 純損益を通じた公正価値 (FVTPL) | | | | |
| 現金及び中央銀行預け金（期首残高） | 146,714 | | | |
| 償却原価へ | | (146,712) | (2) | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| 金融機関向貸出金及び預け金（期首残高） | 199,288 | | | |
| 償却原価へ | | (199,277) | (10) | |
| 期末残高 | | | | 0 |
| 顧客向貸出金（期首残高） | 111,212 | | | |
| 償却原価へ | | (64,601) | (15) | |
| 期末残高 | | | | 46,596 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券（期首残高） | 257,029 | | | |
| 償却原価へ | | (7,156) | (8) | |
| 満期保有コマーシャル・ペーパー及び債券から | | 9,613 | (32) | |
| 期末残高 | | | | 259,446 |
| 株式 | 7,303 | | | 7,303 |
| デリバティブ | 132,649 | | | 132,649 |
| FVTPL合計 | 854,195 | (408,134) | (67) | 445,994 |

金融負債

DNBバンク グループ

IAS第39号に

IFRS第9号に

基づく、2017年12

基づく、2018年1

月31日現在の帳

月1日現在の

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

簿価額

分類変更

再測定

帳簿価額

償却原価

| | | | | |
|----------------------|-----------|---------|--|-----------|
| 金融機関からの借入金及び預金（期首残高） | 35,508 | | | |
| FVTPLから | | 186,974 | | |
| 期末残高 | | | | 222,482 |
| 顧客預金（期首残高） | 924,593 | | | |
| FVTPLから | | 40,019 | | |
| 期末残高 | | | | 964,612 |
| 発行済負債証券（期首残高） | 539,731 | | | |
| FVTPLから | | 158,701 | | |
| 期末残高 | | | | 698,432 |
| その他負債 | 13,091 | | | 13,091 |
| 劣後債 | 26,666 | | | 26,666 |
| 償却原価合計 | 1,539,588 | 385,694 | | 1,925,282 |

純損益を通じた公正価値 (FVTPL)

| | | | | |
|----------------------|---------|-----------|------|---------|
| 金融機関からの借入金及び預金（期首残高） | 186,993 | | | |
| 償却原価へ | | (186,974) | (19) | |
| 期末残高 | | | | (0) |
| 顧客預金（期首残高） | 55,782 | | | |
| 償却原価へ | | (40,019) | 30 | |
| 期末残高 | | | | 15,792 |
| 発行済負債証券（期首残高） | 242,396 | | | |
| 償却原価へ | | (158,701) | (4) | |
| 期末残高 | | | | 83,691 |
| その他負債 | 6,214 | | | 6,214 |
| 劣後債 | 2,873 | | | 2,873 |
| デリバティブ | 112,020 | | | 112,020 |
| FVTPL合計 | 606,276 | (385,694) | 7 | 220,589 |

以下の表では、IFRS第9号に基づく金融商品の分類が示されている。

2018年1月1日現在

DNBバンク エイ・エス・エイ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | FVTPL強制適用 | | | IFRS第9号に | | |
|-------------------|-----------|-------------------|------------------------|----------|--------------------|-----------|
| | トレーディング | その他 ¹⁾ | FVTPLに指定 ²⁾ | FVOCI | 償却原価 ³⁾ | 基づく帳簿価額 |
| 現金及び中央銀行預け金 | | | | | 151,146 | 151,146 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | | | | 580,936 | 580,936 |
| 顧客向貸出金 | | | 6,259 | 97,531 | 626,733 | 730,524 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | 176,996 | | 94,579 | | | 271,575 |
| 株式 | 5,508 | 802 | | | | 6,310 |
| デリバティブ | 138,346 | 8,606 | | | | 146,953 |
| その他資産 | | | | | 22,092 | 22,092 |
| 金融資産合計 | 320,851 | 9,408 | 100,838 | 97,531 | 1,380,907 | 1,909,536 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | | | | 332,803 | 332,803 |
| 顧客預金 | | | 15,792 | | 940,763 | 956,555 |
| デリバティブ | 178,324 | 1,210 | | | | 179,534 |
| 発行済負債証券 | (12) | | 9,751 | | 316,428 | 326,167 |
| その他負債 | 6,214 | | | | 44,889 | 51,103 |
| 劣後債 | | | 2,873 | | 26,666 | 29,538 |
| 金融負債合計 | 184,525 | 1,210 | 28,416 | | 1,661,549 | 1,875,700 |

2018年1月1日現在

DNBバンク グループ

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | FVTPL強制適用 | | | IFRS第9号に | | |
|-------------------|-----------|-------------------|------------------------|--------------------|-----------|-----------|
| | トレーディング | その他 ¹⁾ | FVTPLに指定 ²⁾ | 償却原価 ³⁾ | 基づく帳簿価額 | |
| 現金及び中央銀行預け金 | | | | | 151,593 | 151,593 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | | | | | 237,832 | 237,832 |
| 顧客向貸出金 | | | | 46,596 | 1,484,421 | 1,531,017 |
| コマーシャル・ペーパー及び債券 | | 176,416 | | 83,030 | 7,156 | 266,602 |
| 株式 | | 5,508 | 1,794 | | | 7,303 |
| デリバティブ | | 106,318 | 26,331 | | | 132,649 |
| その他資産 | | | | | 7,888 | 7,888 |
| 金融資産合計 | | 288,243 | 28,125 | 129,626 | 1,888,889 | 2,334,884 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | | | | | 222,482 | 222,482 |
| 顧客預金 | | | | 15,792 | 964,612 | 980,404 |
| デリバティブ | | 108,755 | 3,265 | | | 112,020 |
| 発行済負債証券 | | (12) | | 83,703 | 698,432 | 782,123 |
| その他負債 | | 6,214 | | | 13,091 | 19,304 |
| 劣後債 | | | | 2,873 | 26,666 | 29,538 |

| | | | | | |
|--------|---------|-------|---------|-----------|-----------|
| 金融負債合計 | 114,956 | 3,265 | 102,368 | 1,925,282 | 2,145,871 |
|--------|---------|-------|---------|-----------|-----------|

- 1) ヘッジ手段として使用されているデリバティブを含む。
- 2) FVTPLによる測定が指定された負債については、信用リスクによる公正価値の変動はその他の包括利益で認識される。
- 3) ヘッジ対象の負債を含む。

DNB バンクのノルウェー・クローネ建ての長期借入は、公正価値オプションを用いて純損益を通じて公正価値で測定するものに指定されている。その他の包括利益に表示されている信用リスクの変動は、会計上のミスマッチを生むことも拡大することもない。

下表には、公正価値で測定するものに指定されなくなった金融資産及び金融負債が表示されている。

DNBバンク
エイ・エス・エイ

IAS第39号に
基づく2017年
12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第39号に基づく分類 | FRS第9号に基づく分類 | 分類変更の理由 | の帳簿価額 |
|-------------------|---------------|--------------|---------------|--------|
| 現金及び中央銀行預け金 | 公正価値オプション | 償却原価 | IFRS第9号に基づく変更 | 3,251 |
| 金融機関向貸出金及び預け金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 4,863 |
| 顧客向貸出金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 6,063 |
| 株式 | 公正価値オプション | FVTPL | IFRS第9号に基づく変更 | 802 |
| 金融資産合計 | | | | 14,979 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 4,657 |
| 顧客預金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 192 |
| 金融負債合計 | | | | 4,850 |

DNBバンク
グループ

IAS第39号に
基づく2017年
12月31日現在

| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第39号に基づく分類 | IFRS第9号に基づく分類 | 分類変更の理由 | の帳簿価額 |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 現金及び中央銀行預け金 | 公正価値オプション | 償却原価 | IFRS第9号に基づく変更 | 3,251 |
| 顧客向貸出金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 8,777 |
| コマーシャルペーパー及び債券 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 7,165 |
| 株式 | 公正価値オプション | FVTPL | IFRS第9号に基づく変更 | 999 |
| 金融資産合計 | | | | 20,191 |
| 金融機関からの借入金及び預金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 4,657 |
| 顧客預金 | 公正価値オプション | 償却原価 | 分類変更を選択 | 192 |
| 金融負債合計 | | | | 4,850 |

[次へ](#)

減損累積額

下表では、IFRS第9号の導入による減損累計額の分類変更と再測定が及ぼす影響が表示されている。

| DNBバンク エイ・エス・エイ | | | | | | | |
|-----------------------|---------|------|---------|----------------|----------|---------|---------|
| 2017年12月31日現在の残高 | | | | 2018年1月1日現在の残高 | | | |
| IAS第39号及 | | | | 信用減損して | | | |
| | | | | いない全期間 | | | |
| | | | | 信用減損 | | | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第37号 | 分類変更 | 再測定 | IFRS第9号 | 12ヶ月間ECL | ECL | 全期間ECL |
| 金融機関向貸出金及び預け金に係る減損累積額 | | | | (5) | (5) | | |
| 顧客向貸出金に係る減損累積額 | (8,653) | (2) | (241) | (8,896) | (196) | (2,138) | (6,562) |
| 貸出コミットメント及び保証に係る減損累積額 | (911) | | (898) | (1,809) | (137) | (1,164) | (508) |
| 減損累積額合計 | (9,564) | (2) | (1,139) | (10,710) | (338) | (3,302) | (7,070) |

| DNBバンク グループ | | | | | | | |
|-----------------------|----------|------|---------|----------------|----------|---------|---------|
| 2017年12月31日現在の残高 | | | | 2018年1月1日現在の残高 | | | |
| IAS第39号及 | | | | 信用減損して | | | |
| | | | | いない全期間 | | | |
| | | | | 信用減損 | | | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第37号 | 分類変更 | 再測定 | IFRS第9号 | 12ヶ月間ECL | ECL | 全期間ECL |
| 金融機関向貸出金及び預け金に係る減損累積額 | | | (6) | (6) | (6) | | |
| 顧客向貸出金に係る減損累積額 | (11,870) | 11 | (312) | (12,171) | (381) | (3,081) | (8,709) |
| 貸出コミットメント及び保証に係る減損累積額 | (919) | | (1,891) | (2,810) | (171) | (2,128) | (511) |
| 減損累積額合計 | (12,789) | 11 | (2,209) | (14,987) | (558) | (5,209) | (9,221) |

顧客セグメント別減損累積額

下表では、IFRS第9号の導入による減損累計額合計の分類変更と再測定が各顧客セグメントに及ぼす影響が表示されている。

| DNBバンク グループ | | | | | | | |
|-------------------------|---------|------|---------|----------------|----------|---------|---------|
| 2017年12月31日現在の残高 | | | | 2018年1月1日現在の残高 | | | |
| | | | | 信用減損して | | | |
| | | | | いない全期間 | | | |
| | | | | 信用減損 | | | |
| (単位：百万ノルウェー・クローネ) | IAS第39号 | 分類変更 | 再測定 | IFRS第9号 | 12ヶ月間ECL | ECL | 全期間ECL |
| 個人顧客部門 | (718) | | (227) | (945) | (115) | (269) | (561) |
| 中小企業部門 | (2,602) | (2) | 260 | (2,344) | (32) | (115) | (2,197) |
| 大企業・国際部門 | (9,009) | 13 | (2,702) | (11,698) | (410) | (4,826) | (6,462) |
| 従来型年金商品 | | | | | | | |
| その他の事業/消去 ¹⁾ | (460) | | 460 | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------|----------|----|---------|----------|-------|---------|---------|
| 顧客セグメント別減損累計額合計 | (12,789) | 11 | (2,209) | (14,987) | (558) | (5,209) | (9,221) |
|-----------------|----------|----|---------|----------|-------|---------|---------|

1) 2017年12月31日時点ではセグメントに配分されていないが、2018年1月1日時点ではセグメントに配分されている、個別に減損している貸出金の一部に含まれない保証に対する引当金。

予想信用損失(ECL)

DNBは、IFRS第9号の減損の規則に従い、顧客向貸出金、貸出コミットメント、金融保証及びその他の金融商品に対し、ECLを評価する際に3段階のアプローチを適用している。

購入又は組成した信用減損金融商品ではない金融商品は、12ヶ月間ECLでステージ1に分類される。

当初認識以降に信用リスクが著しく増大していると認められた場合には、当該金融商品は全期間ECLの測定をもってステージ2に移し替えられる。

信用リスクの増大は、顧客特有の環境と、当該顧客が属するセグメントに関連するマクロリスク要因の双方を反映している。信用リスクの著しい増大とみなされるものについては、定量的指標と定性的指標とバックストップを組み合わせることで評価が行われる。

さらに信用リスクが悪化し、当該金融商品が信用減損していると判定された場合には、当該金融商品はステージ3へ移行し全期間ECLが測定される。ステージ1及びステージ2と異なり、総額での帳簿価額ではなく、償却原価に対して実効金利が算定される。

貸倒損失の測定は以下の原則に基づいている。

12ヶ月間ECLは、今後12ヶ月のうちに生じ得るデフォルト（債務不履行）事象の割合に等しい金額で測定される。

ステージ1及びステージ2の金融資産の損失引当金は、エクスポージャーの現在価値にデフォルト時エクスポージャー(EAD)とデフォルト確率(PD)とデフォルト時損失(LGD)(率)を乗することにより算出される。PD、LGD及びEADはIRBの枠組みを始点としているものの、スルー・ザ・サイクル（through the cycle）かつ保守的ではなく、ポイント・イン・タイム（point in time）で将来予測的なものへ変更されている。

過去、現在及び将来予測的な情報は、ECLの推計に用いられる。この目的上、DNBの貸出ポートフォリオは地域と業種に基づいて22のセグメントに分けられている。セグメント内のすべての顧客は同一のリスク要因にさらされている。

ステージ3については、信用減損金融商品に対し個別評価が実施される。

ステージ1及びステージ2では、ECLの算出にモデルが使用されている。このモデルは、分類、マクロシナリオの決定、クレジットサイクル指数の決定、ECLの算出及びステージ判定の5つのステップを通じて行われる。

以下では各ステップについて詳述されている。

分類、マクロシナリオ、クレジットサイクル指数

信用リスクの著しい増大の評価とECLの算定には、過去、現在そして将来予測的な情報が組み込まれる。合理的かつ裏付け可能な方法でマクロ要因による影響を反映させるために、DNBのポートフォリオは共通の信用リスクの特徴を持つ22のセグメントに分割されている。セグメントは業界と地域に基づいているものの、約半数のセグメントはグローバル市場にも関連しており、主としてグローバルのリスク要因に影響されることになる。

統計的回帰分析に基づいて、PD、LGD及びEADに影響を及ぼす主要リスク要因がセグメント別に特定されている。関連マクロ要因とそれがECLに及ぼす影響は金融商品によって異なる。関連リスク要因それぞれの予測（ベース経済シナリオ）は主として四半期ごとにDNBマーケティング部門から提供され、推測期間のリスク要因の動向の最善見積りを行う。DNBマーケティング部門は、主として外部の市場情報であるが内部情報も含む、多岐にわたる情報源を基礎としてその予測を行っている。推測期間は3年から4年の間でさまざまである。

マクロ予測はクレジットサイクル指数（CCI）に組み込まれている。CCIは過去に観察されたデフォルトと統計的回帰分析による関連するマクロ要因との関係性を示している。指数上の位置は、現在の状況が所与のセグメントに関し、通常に比して良好な状況か悪い状況かを示しており、予測は推測期間中の指数の推移を推測するために用いられている。推測期間後のCCIは平均に回帰すると想定される。これは、各セグメントのクレジットサイクルが長期的には平均又は通常に戻ることを意味している。

またCCIは、CCIの動向を追跡する各金融商品のベースラインPDカーブの生成にも利用される。CCIがより良好な時期に向かって変動する場合、他がすべて同じであればPDは低下し、またその逆も生じる。

複数のシナリオ

IFRS第9号では、信用リスクのマイナスの進展とECLとの間の非線形な関係を捕捉するために、信用リスクの著しい増大の判定とECLの測定に複数のシナリオを用いるよう求めている。DNBでは、各リスク要因のベースシナリオを基点としてCCIカーブとPDカーブを導出することにより、この問題に対応している。他のシナリオはベースラインを中心としたファンチャートのパスとして表される。この手法は、各シナリオが、マクロ経済の動向次第で信用リスクに起こり得る動向を表すファンチャート上のパーセンタイル点を示すものである。

ファンチャートの幅は、リスク要因の動向と、信用リスクとECLの動向との間の相関における過去のボラティリティによって決定される。この結果、リスク要因の変動から生じるセグメント内のボラティリティが高いほど、ベースラインとファンチャートの外側のパーセンタイル点との差は大きくなるという相関がみられる。

予想信用損失の算定

信用リスクの著しい増大の決定とECLの測定は、信用リスク管理や自己資本比率の算出にも既に使用されているパラメーターである、PDとLGDとEADに基づいて行われる。これらのパラメーターは、偏りのないECLの推計を行うために調整されている。

倒産確率 (PD)

DNBは顧客のPDを決定するためにさまざまな異なるモデルを適用している。顧客が個人か法人か、また当該顧客が事業を展開している業種によって異なるモデルが選択される。PDモデルは、ECLの算出と当初認識後に信用損失の著しい増大が生じたかどうかを評価するための重要な構成要素である。したがって、将来予測的かつすべての入手可能な関連データを反映したPDを生成する必要がある。IFRS第9号の要求事項を満たすために、偏りのない確率加重されたECLの推計を行うことが必要である。DNBは、自己資本比率の算出にあたりPDを決定するために内部格付方式 (IRBA) のモデルを用いる許可を得ている。これらのモデルは保守的であり、限定的な範囲のシクリカリティ (景気循環性) しか反映していない。これらのPDにIFRS第9号を適用するために4つの修正が行われている。

- マクロ経済シナリオを取り入れる
- 偏りのない、将来予測的なPDに転換する
- 12ヶ月間のPDを全期間PDに転換する
- PD推計の保守的なマージンを撤廃する

これらの修正は、IFRS第9号に使用されたPDが景気変動の変化に対する経営者の現在の見解を反映したものであり、PDの推計のすべてが偏りのないものであることを意味している。

転換されたPDと将来予測的なクレジットサイクル指数に基づいて2種類のPDが算出され、ECLの算定に用いられている。

12ヶ月PD は今後12ヶ月間(又は、当該金融商品の残存期間が12ヶ月未満の場合は残存期間)にわたって発生するデフォルト確率であり、12ヶ月間ECLの算出に使用される。

全期間PDは、当該金融商品の残存期間にわたって発生するデフォルト確率を年率換算したものである。これは、当初認識時以降の信用リスクの著しい増大の有無を評価し、全期間ECLを算出するために用いられている。

DNBのリスク分類の詳細については、注5「信用リスク」を参照。

デフォルト時損失率 (LGD)

LGDは、顧客が義務を履行できなかった場合に当行グループに見込まれるEADの割合を、当該顧客が差し入れた担保、将来キャッシュ・フロー及び他の関連要素を考慮に入れたうえで表したものである。

PDと同様に、DNBは自己資本比率の算出にIRBA LGDを用いている。IRB LGDをIFRS LGDに変換するために、4つの修正が行われている。

マクロ経済シナリオを取り入れる

将来予想キャッシュ・フローの割り引くために実効金利を用いる

景気下降予測ではなく、偏りのない予測を行うために保守的なマージンを撤廃し、規制フロアを撤廃する

担保の実現に関して見積もられた間接コストを排除する

これらの修正は、IFRS第9号に使用されたLGDが景気変動の変化に対する経営者の現在の見解を反映したものであり、LGDの推計のすべてが偏りのないものであることを意味している。

デフォルト時エクスポージャー (EAD)

EADは、与信承認額のうち、将来のデフォルト（債務不履行）時に借入が見込まれる割合である。EADは約定元利返済と早期償還予測を反映して調整されている。デフォルト（債務不履行）時に借入が行われたと見込まれる未実行のコミットメントの割合は、掛目（CCF）に反映されている。

信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、定量的指標と定性的指標とバックストップを組み合わせで評価される。信用リスクの著しい増大は、以下の規準のうちの一又は複数を満たした場合に、信用リスクの著しい増大が発生している。

定量的規準

信用リスクの著しい増大は、当初認識時に、報告日現在の金融商品の残存期間にわたる全期間PDを、報告日現在の実際の全期間PDと比較することにより決定される。実際の全期間PDが見込まれていたものよりも高い場合には、増大が著しいものであるかどうかの評価が行われる。

当初認識時から全期間PDが2.5倍以上に上昇すると信用リスクが著しく増大していると評価される。この閾値は、適切な信用リスク管理と事業判断が行われることを確実にするために、顧客に対する緊密なフォローアップが必要となる信用リスクの増大であるという評価に基づいている。

さらに、信用リスクの悪化が重大であるとみなされるには、PDの変化幅が0.6パーセンテージ・ポイント以上になっていることが必要である。リスクスケールのハイエンドでは、全期間PDの変動が2.5倍未満であっても、7.5パーセンテージ・ポイント以上の変動があれば信用リスクの重大な悪化であるとみなされる。この限度は、リスクスケールのローエンドの変動に対する感応度の高さと、（リスク）スケールのハイエンドの変動に対する感応度の低さを反映している。

リスク格付にはセグメント、地域、商品に関係なく同一の説明力があることを踏まえ、DNBは、すべての顧客と（金融）商品が一貫性のある尺度で格付けされるリスク尺度を適用している。したがってDNBは、信用リスクの著しい増大の構成要素に関して、すべての金融商品に共通した閾値を用いている。DNBのリスクスケールと分類に関する詳細は注5を参照。

定性的規準

定性情報は通常、各顧客グループの各PDモデルに反映される。

バックストップ

以下の場合に、信用リスクの著しい増大が発生しバックストップが利用される。

顧客の契約上の支払が30日超延滞する。

金融商品が信用減損に分類されるに十分なほど深刻ではないにもかかわらず、顧客には財政的困難に陥ったことにより返済猶予が認められている。

デフォルト（債務不履行）及びステージ3における信用減損の定義

信用減損の定義は、デフォルトに係る規制上の定義と完全に一致している。

債務は、返済請求から90日超延滞し、延滞金額が2,000ノルウェー・クローネを上回り、かつデフォルトが債務者側の原因による遅延又は偶発的な状況の発生によるものでない場合に、デフォルトに陥ったと定義されている。

銀行が以下の状況に陥った場合にも債務はデフォルトしたと定義されている。

債務者の信用度が低下した結果、債務の大幅な評価減を行った場合

債務者が支払義務の履行に支障をきたしたことにより返済期限及び条件の変更に同意し、キャッシュ・フローの価値が著しく低下することが想定される場合

債務者の信用度が悪化した結果、負債を額面価額よりも著しく低い金額で売却する場合

債務者が債務の整理若しくは破産 / 支払不能の清算手続に入る、又は管財人の管理下に置かれると想定する根拠がある場合

支払義務が履行されないと想定する他の根拠がある（デフォルトが予想される）場合

債務は、顧客が通常の事業活動ではその義務のすべてに係る債務弁済能力を持たない可能性が高い（返済不能）と考えられる場合に、デフォルトが予想されると定義される。

信用減損金融商品に係る原則と推計手法はIFRS第9号による影響を受けない。詳細については、金融商品の会計原則の中の、個別減損並びに重要な会計上の見積り、判断及び仮定に関する説明を参照。

専門家による与信判断

新規則では、従前よりも広い範囲で、重要な専門家の判断がECLの測定に用いられる多数のインプット・パラメーターに適用される。マクロ予測とクレジットサイクル指数の推測への影響に関する評価は重要な判断であり、DNBはこの問題に対処するために、当グループの最高財務責任者のためのアドバイザリーフォーラムを発足させた。このフォーラムの目的は、各セグメントのクレジットサイクル指数の推測が将来の経済動向予測に関する経営者の見解を反映したものであるかどうかを評価することである。

規制資本に対するIFRS第9号の影響

IFRS第9号の導入による影響は税引後で20億ノルウェー・クローネであり、「その他の資本」からの控除として認識される。これには持分法で会計処理された投資の影響が含まれる。IFRS第9号は資本からの控除を通じて自己資本比率に影響を及ぼすことになるが、かなりの程度まで、減損損失に関連して控除を取り消すことで相殺される。したがって、CET1資本の変動はわずかである。ただし、DNBバンクグループに適用されるノルウェーのパーゼル1

フロアによりリスク加重資産は増加する。上述の控除が減少すれば、相殺によりリスク加重資産が増加する。IFRS第9号による影響は総じて、普通株式等Tier1資本比率を28ベース・ポイント低下させる。

DNBバンク エイ・エス・エイに対する導入の影響は税引後で1十億ノルウェー・クローネであり、「その他の資本」からの控除として認識されている。減損損失に関連して控除を取り消すことにより、CET1資本にほとんど変化はない。DNB バンク エイ・エス・エイBank ASAはバーゼル1フロアの要件による影響は受けないため、普通株式等Tier1資本比率に対するIFRS第9号の影響はない。

DNBは自己資本比率上、Finanstilsynetが導入した移行ルールは使用しない予定である。

[次へ](#)

Income statement

| DNB Bank ASA | | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-------|-----------------|-----------------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | Note | 2017 | 2016 |
| 35 163 | 37 126 | Total interest income | 17 | 54 399 | 52 897 |
| (11 555) | (12 709) | Total interest expenses | 17 | (18 495) | (18 369) |
| 23 608 | 24 416 | Net interest income | 17 | 35 914 | 34 517 |
| 6 739 | 7 340 | Commission and fee income etc. | 19 | 9 228 | 8 628 |
| (2 824) | (3 296) | Commission and fee expenses etc. | 19 | (3 344) | (2 994) |
| 9 834 | 5 942 | Net gains on financial instruments at fair value | 20 | 4 513 | 6 506 |
| | | Profit from investments accounted for by the equity method | 35 | (112) | 1 189 |
| | | Net gains on investment properties | | 143 | (35) |
| 5 837 | 6 325 | Other income | | 1 997 | 2 023 |
| 18 486 | 16 312 | Net other operating income | | 12 425 | 15 316 |
| 42 094 | 40 728 | Total income | | 48 339 | 49 833 |
| (9 248) | (9 639) | Salaries and other personnel expenses | 21 | (11 561) | (11 206) |
| (6 118) | (6 904) | Other expenses | 22 | (7 899) | (7 207) |
| (2 050) | (2 318) | Depreciation and impairment of fixed and intangible assets | 23 | (2 469) | (2 103) |
| (17 417) | (18 869) | Total operating expenses | | (21 928) | (20 516) |
| 24 677 | 21 867 | Pre-tax operating profit before impairment | | 26 410 | 29 317 |
| 14 | 2 047 | Net gains on fixed and intangible assets | | 735 | (19) |
| (4 679) | (1 937) | Impairment of loans and guarantees | 9, 10 | (2 428) | (7 424) |
| 20 012 | 21 978 | Pre-tax operating profit | | 24 718 | 21 874 |
| (5 223) | (3 088) | Tax expense | 25 | (4 903) | (3 964) |
| | | Profit from operations held for sale, after taxes | | (1) | 4 |
| 14 789 | 18 910 | Profit for the year | | 19 813 | 17 914 |
| 14 193 | 17 972 | Portion attributes to shareholders | | 18 876 | 17 319 |
| 595 | 938 | Portion attributable to additional Tier 1 capital holders | | 938 | 595 |
| 14 789 | 18 910 | Profit for the year | | 19 813 | 17 914 |
| 80.75 | 103.34 | Earnings/diluted earnings per share (NOK) | | 108.27 | 97.81 |
| | | Earnings per share for operations held for sale (NOK) | | (0.01) | 0.02 |
| 80.75 | 103.34 | Earnings per share for continuing operations excluding operations held for sale (NOK) | | 108.28 | 97.79 |

Comprehensive income statement

| DNB Bank ASA | | | | DNB Bank Group | |
|---------------|---------------|---|--|----------------|----------------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | | 2017 | 2016 |
| 14 789 | 18 910 | Profit for the year | | 19 813 | 17 914 |
| (166) | (120) | Actuarial gains and losses | | (107) | (179) |
| (166) | (120) | Items that will not be reclassified to the income statement | | (107) | (179) |
| (135) | 53 | Currency translation of foreign operations | | 1 182 | (6 478) |
| | | Currency translation reserve reclassified to the income statement ¹⁾ | | (1 303) | (43) |
| | | Hedging of net investment | | (515) | 4 346 |
| | | Hedging reserve reclassified to the income statement ¹⁾ | | 896 | |
| | | Investments according to the equity method ²⁾ | | 160 | (25) |
| | | Investments according to the equity method reclassified to the income statement ²⁾ | | | (855) |
| (135) | 53 | Items that may subsequently be reclassified to the income statement | | 410 | (3 054) |
| (301) | (67) | Other comprehensive income for the year (net of tax) | | 303 | (3 233) |
| 14 487 | 18 843 | Comprehensive income for the year | | 20 117 | 14 680 |

1) In the fourth quarter of 2017, currency translation reserves (accumulated gains) of NOK 1 307 million and hedging reserves (accumulated losses) of

NOK 1 224 million relating to the Baltics were reclassified to the income statement and recognised in "Net gains on fixed and intangible assets". Tax relating to the Baltics hedging reserve amounted to NOK 338 million, which was reclassified to the income statement and recognised in "Tax expense".

2) DNB had indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norge. In connection with the valuation of the holdings in Visa Europe as at 31 March 2016 an accumulated gain of NOK 855 million was recognised in other comprehensive income. Upon the completion of the acquisition of Visa Europe by Visa Inc in the second quarter of 2016, this amount was reclassified to profit and a total gain of NOK 1 128 million was recognised as "Profit from investments accounted for by the equity method" in the income statement.

Balance sheet

| DNB Bank ASA | | | | DNB Bank Group | |
|-------------------------------|------------------|--|------------------|------------------|------------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | Note | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Assets | | | | | |
| 207 934 | 151 147 | Cash and deposits with central banks | 26, 27, 28 | 151 595 | 208 263 |
| 549 093 | 580 973 | Due from credit institutions | 6, 7, 26, 27, 28 | 237 849 | 174 908 |
| 690 080 | 730 782 | Loans to customers | 6, 7, 26, 27, 28 | 1 531 345 | 1 492 268 |
| 223 360 | 261 994 | Commercial paper and bonds at fair value | 26, 28, 30 | 257 029 | 217 887 |
| 5 178 | 6 310 | Shareholdings | 26, 28, 30, 31 | 7 303 | 6 200 |
| 170 317 | 146 953 | Financial derivatives | 15, 26, 28 | 132 649 | 157 957 |
| 12 760 | 9 613 | Commercial paper and bonds, held to maturity | 26, 27, 33 | 9 613 | 12 760 |
| | | Investment properties | 34 | 990 | 1 175 |
| 995 | 9 007 | Investments accounted for by the equity method | 35 | 11 176 | 3 570 |
| 118 233 | 115 142 | Investments in subsidiaries | 36 | 0 | (0) |
| 3 598 | 3 515 | Intangible assets | 37 | 3 756 | 3 981 |
| 1 882 | 8 415 | Deferred tax assets | 25 | 757 | 1 392 |
| 7 034 | 7 842 | Fixed assets | 38 | 7 911 | 7 117 |
| | | Assets held for sale | | | 52 541 |
| 13 462 | 22 092 | Other assets | 40 | 7 898 | 8 255 |
| 2 003 906 | 2 053 787 | Total assets | | 2 359 860 | 2 348 272 |
| Liabilities and equity | | | | | |
| 338 731 | 332 798 | Due to credit institutions | 26, 27, 28 | 222 501 | 211 606 |
| 920 664 | 956 525 | Deposits from customers | 26, 27, 28, 41 | 980 374 | 945 694 |
| 181 794 | 179 534 | Financial derivatives | 15, 26, 28 | 112 020 | 130 990 |
| 336 941 | 326 171 | Debt securities issued | 26, 27, 28, 42 | 782 127 | 767 750 |
| 4 | 3 765 | Payable taxes | 25 | 4 702 | 8 847 |
| 56 | 74 | Deferred taxes | 25 | 847 | 2 382 |
| 23 893 | 51 103 | Other liabilities | 26, 44 | 19 304 | 15 781 |
| | | Liabilities held for sale | | | 41 243 |
| 1 916 | 1 652 | Provisions | | 1 766 | 2 038 |
| 2 454 | 2 906 | Pension commitments | 24 | 2 995 | 2 516 |
| 29 347 | 29 538 | Subordinated loan capital | 26, 27, 28, 43 | 29 538 | 29 347 |
| 1 835 802 | 1 884 067 | Total liabilities | | 2 156 175 | 2 158 194 |
| 18 314 | 18 256 | Share capital | | 18 256 | 18 314 |
| 19 895 | 19 895 | Share premium | | 20 611 | 20 611 |
| 15 952 | 16 159 | Additional Tier 1 capital | | 16 159 | 15 952 |
| 113 842 | 115 411 | Other equity | | 148 660 | 135 200 |
| 168 104 | 169 720 | Total equity | 45 | 203 685 | 190 078 |
| 2 003 906 | 2 053 787 | Total liabilities and equity | | 2 359 860 | 2 348 272 |

Statement of changes in equity

| DNB Bank ASA | | | | | | | |
|--|---------------|---------------|---------------------------|----------------------------|------------------------------|--------------|--------------|
| Amounts in NOK million | Share capital | Share premium | Additional Tier 1 capital | Actuarial gains and losses | Currency translation reserve | Other equity | Total equity |
| Balance sheet as at 31 December 2015 | 18 314 | 19 895 | 8 353 | (459) | 652 | 104 777 | 151 533 |
| Profit for the year | | | 595 | | | 14 193 | 14 789 |
| Other comprehensive income (net of tax) | | | | (166) | (135) | | (301) |
| Comprehensive income for the year | | | 595 | (166) | (135) | 14 193 | 14 487 |
| Additional Tier 1 capital issued | | | 7 520 | | | (43) | 7 477 |
| Interest payments additional Tier 1 capital | | | (505) | | | | (505) |
| Currency movements taken to income | | | (11) | | | 11 | |
| Defined-benefit pension scheme discontinued | | | | 6 | | (6) | |
| Transfer of lending portfolio to subsidiary (continuity) | | | | | | 195 | 195 |
| Group contribution for 2016 to DNB ASA | | | | | | (9 294) | (9 294) |
| Group contribution for 2016 from DNB ASA | | | | | | 4 200 | 4 200 |
| Balance sheet as at 31 December 2016 | 18 314 | 19 895 | 15 952 | (619) | 517 | 114 045 | 168 104 |
| Profit for the year | | | 938 | | | 17 972 | 18 910 |
| Other comprehensive income (net of tax) | | | | (120) | 53 | | (67) |
| Comprehensive income for the year | | | 938 | (120) | 53 | 17 972 | 18 843 |
| Demerger Vipps AS | (59) | | | | | (641) | (700) |
| Interest payments additional Tier 1 capital | | | (724) | | | | (724) |
| Currency movements taken to income | | | (7) | | | 7 | |
| Transfer of lending portfolio to subsidiary (continuity) | | | | | | 2 | 2 |
| Dividends and group contribution for 2017 to DNB ASA | | | | | | (15 804) | (15 804) |
| Balance sheet as at 31 December 2017 | 18 256 | 19 895 | 16 159 | (739) | 570 | 115 580 | 169 720 |

| DNB Bank Group | | | | | | | |
|---|---------------|---------------|---------------------------|----------------------------|--|--|----------------------------|
| Amounts in NOK million | Share capital | Share premium | Additional Tier 1 capital | Actuarial gains and losses | Currency translation reserve ¹⁾ | Net investment hedge reserve ¹⁾ | Other equity ¹⁾ |
| Balance sheet as at 31 December 2015 | 18 314 | 20 611 | 8 353 | (479) | 18 289 | (11 848) | 120 171 |
| Profit for the year | | | 595 | | | | 17 319 |
| Other comprehensive income (net of tax) | | | | (179) | (6 521) | 4 346 | (890) |
| Comprehensive income for the year | | | 595 | (179) | (6 521) | 4 346 | 16 438 |
| Additional tier 1 capital issued | | | 7 520 | | | | (43) |
| Interest payments additional Tier 1 capital | | | (505) | | | | |
| Currency movements taken to income | | | (11) | | | | 11 |
| Defined-benefit pension scheme discontinued | | | | 16 | | | (16) |
| AGDL provision in Luxembourg reclassified to equity | | | | | | | 13 |
| Group contribution to DNB ASA for 2015 | | | | | | | (5 000) |
| Balance sheet as at 31 December 2016 | 18 314 | 20 611 | 15 952 | (641) | 11 768 | (7 502) | 131 575 |
| Profit for the year | | | 938 | | | | 18 876 |
| Other comprehensive income (net of tax) | | | | (107) | (121) | 371 | 160 |
| Comprehensive income for the year | | | 938 | (107) | (121) | 371 | 19 036 |
| Demerger VIPPS AS | (59) | | | | | | (641) |
| Interest payments additional Tier 1 capital | | | (724) | | | | |
| Currency movements taken to income | | | (7) | | | | 7 |
| Group contribution to DNB ASA for 2016 | | | | | | | (5 094) |
| Balance sheet as at 31 December 2017 | 18 256 | 20 611 | 16 159 | (748) | 11 647 | (7 131) | 144 892 |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---------|-------|-------|
| 1) Of which OCI related to the Baltics: | | | | | | | |
| Balance sheet as at 31 December 2016 | | | | | 1 015 | (712) | 304 |
| Other comprehensive income for the period January - September 2017 | | | | | 291 | (174) | 117 |
| Other comprehensive income reclassified to the income statement | | | | | (1 307) | 886 | (421) |
| Balance sheet as at 31 December 2017 | | | | | 0 | 0 | 0 |

Cash flow statement

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|------------------------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| Operating activities | | | | |
| (1 193) | (39 831) | Net payments on loans to customers | (36 193) | (35 187) |
| 26 974 | 27 604 | Interest received from customers | 47 789 | 47 420 |
| 37 498 | 36 940 | Net receipts on deposits from customers | 34 723 | 40 724 |
| (5 219) | (5 346) | Interest paid to customers | (4 425) | (3 711) |
| 144 571 | (28 516) | Net receipts/payments on loans to credit institutions | (40 214) | 163 235 |
| 3 774 | 5 074 | Interest received from credit institutions | 2 449 | 1 261 |
| (1 975) | (3 058) | Interest paid to credit institutions | (2 428) | (1 661) |
| (8 655) | (21 783) | Net receipts/payments on the sale of financial assets for investment or trading | (20 381) | 4 076 |
| 4 327 | 4 521 | Interest received on bonds and commercial paper | 4 394 | 4 271 |
| 3 998 | 3 920 | Net receipts on commissions and fees | 6 035 | 5 757 |
| (15 995) | (16 322) | Payments to operations | (19 505) | (19 014) |
| (1 268) | (1 897) | Taxes paid | (10 004) | (1 455) |
| 8 563 | 5 269 | Other receipts | 6 282 | 8 327 |
| 195 401 | (33 406) | Net cash flow from operating activities | (31 478) | 214 042 |
| Investment activities | | | | |
| (1 627) | (1 010) | Net payments on the acquisition of fixed assets | (2 274) | (1 529) |
| | | Net receipts/payments, investment properties | 382 | (605) |
| 861 | 1 210 | Receipts on the sale of long-term investments in shares | 90 | 861 |
| (3 700) | (3 728) | Payments on the acquisition of long-term investments in shares | (675) | |
| 57 | 347 | Dividends received on long-term investments in shares | 7 | 66 |
| (4 408) | (3 181) | Net cash flow from investment activities | (2 470) | (1 206) |
| Funding activities | | | | |
| 8 943 961 | 1 788 376 | Receipts on issued bonds and commercial paper (see note 42) | 1 849 030 | 8 995 908 |
| (8 935 044) | (1 804 568) | Payments on redeemed bonds and commercial paper (see note 42) | (1 856 373) | (9 000 786) |
| (6 238) | (5 926) | Interest payment on issued bonds and commercial paper | (13 853) | (16 016) |
| 738 | 10 106 | Receipts on the raising of subordinated loan capital (see note 43) | 10 106 | 738 |
| (3) | (10 544) | Redemptions of subordinated loan capital (see note 43) | (10 544) | (3) |
| (920) | (780) | Interest payments on subordinated loan capital | (784) | (923) |
| 7 520 | | Receipts on issued additional Tier 1 capital | | 7 520 |
| (516) | (724) | Interest payments on additional Tier 1 capital | (724) | (516) |
| (6 942) | (4 018) | Group contributions payments | (5 318) | (6 849) |
| 2 555 | (28 080) | Net cash flow from funding activities | (28 459) | (20 928) |
| (1 663) | 6 032 | Effects of exchange rate changes on cash and cash equivalents | 5 436 | (312) |
| 191 884 | (58 584) | Net cash flow | (56 971) | 191 596 |
| 19 894 | 211 768 | Cash as at 1 January | 214 790 | 23 194 |
| | | Amount of cash in subsidiaries which control is lost | (3 768) | |
| 191 884 | (58 584) | Net payments of cash | (56 971) | 191 596 |
| 211 768 | 153 184 | Cash as at 31 December ¹⁾ | 154 051 | 214 790 |
| ¹⁾ Of which: | | | | |
| 207 934 | 151 147 | Cash and deposits with central banks | 151 595 | 211 908 |
| 3 835 | 2 036 | Deposits with credit institutions with no agreed period of notice ¹⁾ | 2 456 | 2 681 |

1) Recorded under "Due from credit institutions" in the balance sheet.

The cash flow statement shows receipts and payments of cash and cash equivalents during the year. The statement has been prepared in accordance with the direct method. Cash flows are classified as operating activities, investment activities or funding activities. Balance sheet items are adjusted for the effects of exchange rate movements. Cash is defined as cash and deposits with central banks, and deposits with credit institutions with no agreed period of notice.

Note 1 Accounting principles

1. Corporate information
2. Basis for preparation
3. Consolidation
4. Segment information
5. Recognition in the income statement and in other comprehensive income
6. Financial instruments
7. Investment property and fixed assets
8. Intangible assets
9. Impairment of fixed and intangible assets
10. Pensions
11. Income tax
12. Provisions
13. Leasing
14. Cash flow statements
15. Dividends
16. Approved standards and interpretations that have not entered into force
17. Important accounting estimates, judgments and assumptions

1. Corporate information

DNB Bank ASA is a subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The consolidated financial statements for 2017 were approved by the Board of Directors on 7 March 2018.

The banking group offers banking services and securities and investment services in the Norwegian and international retail and corporate markets.

The visiting address to the banking group's head office is Dronning Eufemias gate 30, Bjervika, Oslo, Norway.

2. Basis for preparation

DNB Bank group has prepared the consolidated financial statements for 2017 in accordance with International Financial Reporting Standards (IFRSs), as issued by the International Accounting Standards Board (IASB) and endorsed by the European Union (EU).

DNB Bank ASA has prepared its stand-alone financial statements according to the Norwegian Ministry of Finance's regulations on annual accounts, Section 1-6, on the use of IFRS, hereinafter called the Norwegian IFRS regulations, which implies that recognition and measurements are in accordance with IFRS. The only exception is that the Norwegian IFRS regulations also give permission to recognise provisions for dividends and group contributions in subsidiaries as income and recognise the Board of Directors' proposed dividends and group contributions as liabilities on the balance sheet date. According to IFRS, dividends should be presented as equity until approved by the general meeting. DNB Bank ASA presents disclosure information in accordance with IFRS.

The consolidated financial statements are based on the historic cost principle, with the following exceptions: financial assets and liabilities measured at fair value and investment properties. The consolidated financial statements are presented in Norwegian kroner. Unless otherwise specified, all amounts are rounded to the nearest million.

The banking group's consolidated balance sheets are primarily based on an assessment of the liquidity of the assets and liabilities.

3. Consolidation

The consolidated financial statements for DNB Bank ASA ("DNB Bank" or "the banking group") include DNB Bank and subsidiaries.

The accounting principles are applied consistently when consolidating ownership interests in subsidiaries and are based on the same reporting periods as those used for the parent company.

When preparing the consolidated financial statements, intra-group transactions and balances, along with gains and losses on transactions between group units, are eliminated.

Subsidiaries

Subsidiaries are defined as companies in which DNB Bank, directly or indirectly, has control. Control over an entity is evidenced by the banking group's ability to exercise its power in order to affect any variable returns that the banking group is exposed to through its involvement with the entity. When assessing whether to consolidate an entity the banking group evaluates a range of control factors, including

- the purpose and design of the entity,
- the relevant activities and how these are determined,
- whether the Group's rights result in the ability to direct the relevant activities
- whether the Group has exposure or right to variable returns
- whether the Group has the ability to use its power to affect its return

Where voting rights are relevant, the banking group is deemed to have control where it holds, directly or indirectly, more than half of the voting rights in an entity, unless the banking group through agreements does not have corresponding voting rights in relevant decision-making bodies. With respect to companies where the banking group's holding represent less than half of the rights, it makes an assessment of whether other factors indicate de facto control.

Subsidiaries are fully consolidated from the date on which control is obtained and until control ceases.

Associated companies and joint arrangements

Associated companies are companies in which DNB Bank has a significant influence, that is the power to participate in the financial and operating policy decisions of the companies, but is not in control or joint control of the companies. DNB Bank assumes that significant influence exists when the banking group holds between 20 and 50 per cent of the voting share capital or primary capital in another entity. Associated companies are recognised in the consolidated financial statements according to the equity method.

Joint arrangements are classified as either joint ventures or joint operations. When accounting for joint ventures, the equity method is applied. For joint operations, the parties recognise their rights to assets and liabilities in their balance sheets and recognise their share of income and costs incurred jointly in their income statements. DNB's joint arrangements are determined to be joint ventures.

Under the equity method of accounting, the investment is recognised at cost at the time of acquisition and is adjusted for subsequent changes in the banking group's share of equity in the associated company. Any goodwill is included in the acquisition cost. The banking group's share of profits or losses is recognised in the income statement and added to the cost price of the investment along with other changes in equity which have not been reflected in the income statement. The banking group's share of losses is not reflected in the income statement if the carrying amount of the investment will be negative, unless the banking group has taken on commitments or issued guarantees for the commitments of the associated company or joint venture.

At the end of each reporting period the banking group assess whether any indication of impairment exists. If such indication exists, the investment will be tested for impairment. The carrying value of the investment will be compared with the recoverable amount (the higher of fair value less costs to sell and value in use). If necessary, the carrying value will be written down to the recoverable amount.

The banking group's share of unrealised gains on transactions between the banking group and its associated companies or joint ventures is eliminated. The same applies to unrealised losses unless the transaction indicates an impairment of the transferred assets.

Conversion of transactions in foreign currency

The presentation currency in the banking group's consolidated financial statements is Norwegian kroner. The parent entity in the banking group, DNB Bank ASA, has Norwegian kroner as its functional currency. Balance sheet items of foreign branches and subsidiaries in other functional currencies are translated into the presentation currency, Norwegian kroner, according to the exchange rates prevailing on the balance sheet date, while profit or loss items are translated according to exchange rates on the transaction date. Changes in net assets resulting from exchange rate movements are recognised in other comprehensive income.

Monetary assets and liabilities in foreign currency are translated into the entities' functional currency at the exchange rates prevailing on the balance sheet date. Changes in the carrying amount of such assets due to exchange rate movements between the transaction date and the balance sheet date, are recognised in the income statement.

4. Segment information

Financial governance in DNB Bank is adapted to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Reported figures for the various segments reflect the banking group's total sales of products and services to the specific segment.

The segment information has been prepared on the basis of internal financial reporting to the banking group management team (chief operating decision-making body) for an assessment of developments and the allocation of resources. Figures for the operating segments are based on DNB Bank's management model and the banking group's accounting principles. The figures are based on a number of assumptions, estimates and judgmental distribution.

According to DNB Bank's management model, the operating segments are independent profit centres that are fully responsible for their profit after tax and for achieving the targeted returns on allocated capital. All of the banking group's customer activities are divided among the operating segments, along with the related balance-sheet items, income and expenses.

Excess liquidity and liquidity deficits in the operating segments are placed in or borrowed from the bank's Treasury at market terms, where interest rates are based on duration and the banking group's financial position.

When operating segments cooperate on the delivery of financial services to customers, internal deliveries are based on market prices.

Services provided by group services and staff units are charged to the operating segments in accordance with service agreements. Joint expenses which are indirectly linked to activities in the operating segments, are charged to the operating segments on the basis of distribution formulas.

A number of key functions and profits from activities not related to the operating segments' strategic operations are presented within Other operations. This item comprises income and expenses relating to the banking group's liquidity management, income from investments in equity instruments not included in the trading portfolio, interest income assigned to the banking group's unallocated capital, ownership-related expenses and income from the management of the bank's real estate portfolio.

Net profits from repossessed operations which are fully consolidated in the banking group are presented as "Profit from repossessed operations" in the segment reporting. The effect of consolidation of the repossessed companies is presented within Other operations.

Return on capital is estimated on the basis of internal measurement of risk-adjusted capital requirements. See note 2 Segments for further information about the principles for allocation of capital.

5. Recognition in the income statement and in other comprehensive income

Interest income is recognised using the effective interest method. This implies that interest is recognised when incurred, with the addition of amortised front-end fees and any other fees which are regarded as an integral part of the effective interest rate.

The effective interest rate is set by discounting contractual cash flows based on the expected life of the asset. Cash flows include front-end fees and direct transaction costs which are not paid directly by the customer.

Interest is recognised according to the effective interest method with respect to both balance sheet items carried at amortised cost and balance sheet items carried at fair value in the income statement, with the exception of front-end fees on loans at fair value, which are recognised when earned. Interest on impaired loans corresponds to the effective interest rate on the book value, net of impairment.

"Net other operating income" includes, among others, fees and commissions relating to money transfers, performance/success fees, credit broking, real estate broking, corporate finance and securities services. Credit broking commissions include syndication income in the form of fees and commissions from transactions where DNB Bank arranges the loans without retaining parts of the loan itself or participates in a loan syndicate and receives compensation in excess of the effective interest received by the other participants. Fees which are not included in effective interest rate calculations, as well as commissions, are recognised during the period when the services are rendered or the transactions are completed.

Performance/success fees are recognised when the fees with a high degree of certainty have been earned and can be measured in a reliable manner.

Fees that are incurred when establishing financial guarantees are recognised over the term of the contract within the line item "Net gains on financial instruments at fair value".

Dividends on investments are recognised from the date the dividends are approved at the general meeting.

Income from financial instruments carried at fair value through profit or loss is described under Financial instruments, while net income from investment property is described under Investment property and fixed assets.

Items of income and expense in other comprehensive income are grouped based on whether or not they can be reclassified to the income statement at a future date.

6. Financial instruments

Recognition and derecognition

Recognition of assets and liabilities

Financial assets and liabilities are recognised in the balance sheet when the Group becomes a party to the contractual provisions of the instrument. Settlement date accounting is applied for financial assets classified as loans and receivables, while trade date accounting is applied for the other classification categories.

Derecognition of financial assets

Financial assets are derecognised when the right to receive and retain cash flows from the asset has expired or been transferred. The banking group enters into certain transactions where it transfers assets recognised on its balance sheet, but retains either all or parts the risks and rewards of the transferred asset. If all or substantially all of the risks and rewards are retained, the transferred financial asset is not derecognised from the balance sheet, but reclassified to separate assets or liabilities reflecting the rights and obligations created or retained in the transfer. Such transactions could entail the transfer of a loan portfolio where the banking group retains the risks and returns associated with the transferred portfolio by guaranteeing for all risks in the portfolio or entering into a total return swap.

Derecognition of financial liabilities

Financial liabilities are derecognised when the contractual obligations have been discharged, cancelled or have expired.

Repurchase and reverse repurchase agreements

Securities purchased under agreements to resell are generally not recognised in the financial statements as the risk and returns are normally not taken over by the banking group. This is done irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group recognises an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Securities sold under agreements to repurchase are generally not derecognised as the risk and returns are normally not transferred. This is done irrespective of whether the recipient is entitled to sell or repledge the securities. These securities are presented

as securities in the Group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Securities borrowing and lending agreements

Transactions mainly include equity borrowing or lending. Agreements on securities borrowing and lending are generally based on collateral in the form of cash or securities.

Equities which have been received or transferred in such transactions, are generally not recognised or derecognised, as risks and returns associated with ownership of the assets are normally not taken over or transferred.

Equities received, including equities received as collateral, are registered off the balance sheet irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group will recognise an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Transferred equities and collateral which the recipient is entitled to sell or repledge, are presented as equities or securities in the banking group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Classification and presentation

On initial recognition financial assets are classified in one of the following categories according to the type of instrument and the purpose of the investment:

- financial assets held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial assets designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- loans and receivables, carried at amortised cost
- held-to-maturity investments, carried at amortised cost
- financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

On initial recognition financial liabilities are classified in one of the following categories:

- financial liabilities held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- other financial liabilities carried at amortised cost

Guidelines for classification in the various portfolios of the banking group are given below.

Financial assets and liabilities in the trading portfolio

Financial instruments in the trading portfolio are initially recognised at fair value. The fair value corresponds to the transaction price, unless another value can be justified based on observable market transactions. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation.

Changes in the fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses from interest bearing securities are presented within "Net interest income".

Financial derivatives are presented as an asset if the fair value is positive and as a liability if the fair value is negative.

The trading portfolio mainly includes financial assets and liabilities in Markets and financial derivatives not used for hedge

accounting purposes. In addition, the portfolio includes securities borrowing and deposits that are used actively in interest rate and liquidity management and have a short remaining maturity.

Financial assets and liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss

Financial instruments in the portfolio are recognised at fair value. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation. Financial instruments are classified in this category if one of the following criteria is fulfilled:

- The classification eliminates or significantly reduces measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise from measuring financial assets or liabilities or recognising the gains and losses on them on different bases
- The financial instruments are part of a portfolio that is managed and evaluated on a fair value basis, in accordance with a documented risk management or investment strategy

Changes in fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses on loans designated as at fair value and other fixed-income securities are presented within "Net interest income".

The portfolios include commercial paper, bonds, equities, fixed-rate loans in Norwegian kroner, fixed-rate securities issued in Norwegian kroner, such as index-linked bonds and equity-linked bank deposits and other fixed-rate deposits in Norwegian kroner.

Financial derivatives designated as hedging instruments

The banking group enters into hedging transactions to manage interest rate risk on long-term borrowings and deposits in foreign currencies. These transactions are recognised as fair value hedges. See item Hedge accounting.

Loans and receivables carried at amortised cost

Loans and receivables carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Subsequent measurement follows the effective interest method, less any impairment charges. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income.

Interest income on financial instruments classified as lending is presented within "Net interest income" using the effective interest method.

A decrease in value on the balance sheet date based on objective indications of impairment for loans valued at amortised cost and in the portfolios of fixed-rate loans measured at fair value, are presented within "Impairment of loans and guarantees".

Held-to-maturity investments carried at amortised cost

Held-to-maturity investments are carried at amortised cost and recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Subsequent measurement follows the effective interest method, less any impairment charges. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income.

Interest income relating to the instruments is presented within "Net interest income". This category mainly comprises the international bond portfolio in DNB Markets.

Financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

Financial assets in the available for sale category are recognised at fair value with the subsequent change in fair value presented in other comprehensive income. See below about the determination of fair value. At the time of realisation the change in fair value shall be included as a part of the gain that is presented in the income statement. Financial assets are classified in this category if they do

not meet the criteria for being classified in any of the other categories presented above.

Other financial liabilities carried at amortised cost

Financial liabilities carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Interest expenses on such instruments are presented within "Net interest income" using the effective interest method. This category includes deposits from customers and credit institutions, commercial paper issued, bonds, subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities.

Issued financial guarantees

Contracts resulting in the banking group having to reimburse the holder for a loss incurred because a specific debtor fails to make payment when due, are classified as issued financial guarantees.

On initial recognition, issued financial guarantees are recognised at the consideration received for the guarantee. Issued financial guarantees are subsequently measured at the higher of the consideration received for the guarantee excluding any amortised amounts recognised in the income statement and the best estimate of the payment due if the guarantee is honoured.

When issuing financial guarantees, the consideration for the guarantee is presented within the line item "Provisions" in the balance sheet. Changes in the carrying amount of financial guarantees are recognised within the line item "Net gains on financial instruments at fair value", except for changes related to guarantees which are part of loans which are individually impaired. Changes in the value of such guarantee contracts are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees".

Financial instruments with the characteristics of equity

Issued additional Tier 1 capital instruments are instruments where DNB Bank has a unilateral right not to repay interest or the principal to the investors. As a consequence of these terms, the instruments do not meet the requirements for a liability and are therefore presented on the line Additional Tier 1 capital within the banking group's equity. Transaction expenses and accrued interest are presented as a reduction in Other equity, while the advantage of the tax deduction for the interest will give an increase in Other equity.

Equity in foreign currency shall be converted to Norwegian kroner based on the exchange rate on the transaction date and is not subject to subsequent revaluation.

Offsetting

Financial assets and financial liabilities are offset and presented net in the balance sheet when the banking group has a legally enforceable right to offset recognised amounts and has agreed to settle the balances on a net basis or to realise the asset and settle the liability simultaneously. Master netting agreements or similar agreements give the right to offset in the event of default. Such agreements reduce the banking group's exposure in the event of default, but do not on their own qualify for offsetting in accordance with IFRS, as there also needs to be an intention to settle the contractual cash flows net on an ongoing basis. See note 29 Offsetting for details about the financial assets and financial liabilities subject to offsetting agreements.

Determination of fair value

Fair value is the price that would be received by selling an asset or paid to transfer a liability in an orderly transaction between market participants at the measurement date. Financial assets and liabilities in active markets are measured at the price within the bid-ask spread that is most representative of the fair value at the measurement date. In most cases bid or asking prices for these instruments are the most representative price for assets and liabilities respectively. Derivatives which are carried net are recognised at midmarket prices at the balance sheet date.

Financial instruments measured at fair value are valued on a daily basis with the exception of a few financial instruments that are valued on a monthly or quarterly basis. As far as possible, directly observable market prices are used. Valuations of the various types of financial instruments are based on well-acknowledged techniques and models. The prices and input parameters used are controlled and assessed based on established routines and control procedures.

The control environment for fair value measurement of financial instruments is an integrated part of the company's financial reporting. A number of controls are carried out on a daily basis, including controls of the day-one results on traded positions and controls of the key input parameters in the valuation. At the end of each month and quarter, extended controls are carried out to ensure that the valuations are consistent with the accounting policy for fair value including variation analyses. Special emphasis is placed on valuations in the level 3 in the valuation hierarchy, where the effects may be significant or particularly challenging.

Instruments traded in an active market

With respect to instruments traded in an active market, quoted prices are used, obtained from a stock exchange, a broker or a price-setting agency.

A market is considered active if it is possible to obtain external, observable prices, exchange rates or interest rates and these prices represent actual and frequent market transactions.

Some investments in equities and commercial paper and bonds are traded in active markets.

Instruments not traded in an active market

Financial instruments not traded in an active market are valued according to different valuation techniques and are divided into two categories:

Valuation based on observable market data:

- recently observed transactions in the relevant instrument between informed, willing and independent parties
- instruments traded in an active market which are substantially similar to the instrument that is valued
- other valuation techniques where key parameters are based on observable market data.

Valuation based on other factors than observable market data:

- estimated cash flows
- valuation of assets and liabilities in companies
- models where key parameters are not based on observable market data
- possible industry standards

In the valuation of OTC derivatives, a fair value adjustment is made for the counterparty's credit risk (CVA) and for the banking group's own credit risk (DVA). In addition, an adjustment is made for expected funding costs (FVA).

The banking group estimates CVA as a function of a simulated expected positive exposure, the counterparty's probability of default and loss given default. The majority of the banking group's derivative counterparties have no market-implied credit spread and no external rating. Internal ratings are therefore combined with historical credit default swap (CDS) spreads as well as current CDS index prices to arrive at the counterparty's estimated CDS spreads. This means that the banking group uses its own credit models and their discriminatory power, but calibrates against pricing levels for similar credit risk in the market. The DVA is based on the same approach, using an assessment of the banking group's credit spread.

FVA reflects the estimated present value of the future funding costs associated with funding uncollateralised derivative exposures. It is calculated by applying a funding spread above the expected exposure. Funding benefits are not estimated for positions for which DNB calculates DVA.

For financial instruments measured by using valuation techniques, a gain or loss might from time to time occur at initial recognition when the estimated fair value is different from the actual transaction price. When the measurement is based on non-observable input parameters (level 3), the gain or loss is deferred and therefore not recognised at day one. Fair value changes in later period are only recognised to the extent the change is caused by factors that market participants would take into account.

Impairment of financial assets

At end of each reporting period, the banking group consider whether any objective evidence of impairment exist as a result of one or more events have taken place after initial recognition (loss event) and the loss event has impact on the estimated future cash flows. A financial asset or group of financial assets is impaired if there is any objective evidence of impairment. Objective indications of impairment include an assessment of the following loss events:

- serious financial problems on the part of the debtor,
- non-payment or other serious breaches of contract,
- the probability that the debtor will enter into debt negotiations or
- other special circumstances that have occurred.

Renegotiation of loan terms to ease the position of the borrower qualifies as a loss event.

Individual impairment of loans

If objective evidence of impairment exists, impairment of loans is calculated as the difference between the carrying amount and the net present value of estimated future cash flows discounted by the original effective interest rate.

The business areas calculate estimated future cash flows based on developments in the exposure, past experience with the debtor, the probable outcome of negotiations and expected macro-economic trends that will influence the customer's cash flow. In addition, the probability of debt settlement proceedings and bankruptcies is taken into consideration, including the probability that assets provided as collateral will be foreclosed. When measuring collaterals, recognised methods for measuring underlying assets are used.

Individual impairment of loans reduces the carrying amount of loans and guarantees. Impairment during the period is recognised as "Impairment of loans and guarantees" in profit or loss.

Collective impairment of loans

Loans which are not individually impaired are assessed collectively for impairment. The assessment is based on whether objective evidence of impairment exists that can be related to a group of financial assets.

Loans are grouped on the basis of similar credit risk characteristics and in accordance with the division of customers into sectors or industries and risk categories. Impairment is estimated per group of financial assets based on estimates of the general economic situation and loss experience for the respective groups.

Collective impairment reduces the carrying amount of the line item "Loans to customers" in the balance sheet. Changes during the period are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees" in the income statement. Like individual impairment, collective impairment is discounted. The discount factor is based on statistics derived from individual impairment.

Repossession of assets

Assets which are repossessed as part of the management of non-performing and impaired loans are recognised at fair value at the time of acquisition. Such assets are recognised in the balance sheet according to the nature of the asset. Any difference between the carrying amount of the loan and the fair value of the asset is presented within the line item "impairment of loans and guarantees" in the income statement. Subsequent valuations and presentation of the impact to the income statement follow the principles for the relevant balance sheet item.

Hedge accounting

When instruments are individually hedged, there is a clear, direct and documented correlation between changes in the value of the hedged item resulting from the hedged risk and changes in the value of the financial derivative (hedging instrument).

Upon entering into the hedging relationship, the correlation between the hedged item and the hedging instrument is documented. In addition, the underlying risk management objective and strategy are documented. Changes in fair value related to the hedged risk of the hedged item and instrument are evaluated periodically to ensure the necessary hedge effectiveness. Hedging instruments are recognised at fair value in the financial statements and changes in the fair value are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

For fair value hedging, the changes in the fair value of the hedged item attributable to the hedged risk will be recognised as an addition to or deduction from the balance sheet value of financial liabilities and assets and presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

If the hedge relationship ceases or adequate hedge effectiveness cannot be verified, the accumulated change in fair value of the hedged item is amortised over the remaining maturity.

The banking group undertakes hedging of investments in foreign subsidiaries to eliminate the currency risk on the invested amount. Hedging transactions are in the form of currency swaps or long-term borrowings in foreign currency. In the consolidated financial statement, the hedge relationships are presented as hedging of net investments in international operations.

7. Investment property and fixed assets

Properties held to generate profits through rental income or for an increase in value, are presented in the balance sheet as investment property. Other tangible assets are presented as fixed assets in the balance sheet.

On initial recognition, investment properties are measured at cost including acquisition costs.

In subsequent periods, investment properties are measured at fair value. Therefore, no annual depreciation is made on an investment property. Fair value is determined by using well-acknowledged valuation techniques. Internal and external expertise is used for valuations. A selection of external appraisals are obtained and compared with internal valuations for control purposes. Providers of valuations are also followed up on an ongoing basis through dialogue and enquiries concerning the valuation of individual properties. Changes in fair value of investment property are recognised within the line item "Net gains on investment property" in the income statement.

Other tangible assets are measured at cost less accumulated depreciation and impairment losses. Cost includes expenses directly related to the acquisition of the asset. Subsequent expenses are capitalised on the relevant assets when it is probable that future economic benefits associated with the expenditure will flow to DNB Bank and can be measured reliably. Expenses for repairs and maintenance are recognised in the income statement as they occur.

The residual values and useful lives of the assets are reviewed annually and adjusted if required. Gains and losses on the sale of

fixed assets are recognised within the line item "Net gain on fixed and intangible assets" in the income statement.

8. Intangible assets

Goodwill

Goodwill is initially measured at the acquisition date, as the excess of the aggregate of the consideration transferred and the amount recognised for any non-controlling interest over the fair value of the identifiable assets acquired and liabilities assumed in a business combination. Goodwill acquired is allocated to each cash generating unit, or group of units, expected to benefit from the combination's synergies. Following initial recognition, goodwill is measured at cost less any accumulated impairment losses.

Development of IT systems and software

Acquired software is recognised at cost with the addition of expenses incurred to make the software ready for use. Identifiable costs for internally developed software controlled by the banking group where it is probable that economic benefits will cover development expenses at the balance sheet date, are recognised as intangible assets. When assessing balance sheet values, the economic benefits are evaluated on the basis of profitability analyses. Development expenses include expenses covering pay to employees directly involved in the project, materials and a share of directly related overhead expenses. Expenses relating to maintenance of software and IT systems are charged to the income statement as they occur. Software expenses recognised in the balance sheet are depreciated according to a straight line principle over their expected useful life, usually five years. The assessment for whether there is a need for impairment is considered according to the principles described below.

9. Impairment of fixed and intangible assets

At end of each reporting period the banking group considers whether any indication of impairment of fixed or intangible assets exists. If such indication exists, the recoverable amount of the asset is calculated to estimate possible impairment. Goodwill and intangible assets with an indefinite useful life are tested for impairment minimum once a year even if no indication of impairment exists. DNB has chosen to perform this annual test in the fourth quarter.

The recoverable amount represents the higher of an asset's fair value less costs to sell and its value in use. If the asset's carrying amount exceeds the estimated recoverable amount, the asset is written down to its recoverable amount. See note 37 Intangible assets for description of impairment testing.

The following relevant criteria are considered when assessing whether indications of impairment exists:

- a decline in the asset's market value
- changes in the long-term return requirement which may affect the discount rate used in the calculation of the asset's value in use
- plans to restructure or liquidate the asset
- the asset generates less income than anticipated.

Calculations of value in use are based on historical results and plan figures approved by management. On the basis of plan figures for the cash-generating units, a future cash flow is estimated, defined as the potential return to the owner. The return includes profits from the cash-generating unit adjusted for the need to build sufficient capital to meet expected future capital adequacy requirements. Higher capital requirements due to expanded operations could make it necessary to retain part of the profits or to inject more capital from the owner, if profits from the cash-generating unit are not adequate to build the necessary capital. Beyond the plan period, which is three years, cash flow trends are assumed to reflect market expectations for the type of operations carried out by the cash-generating unit. Future expected cash

flows are established for a ten year period where the Gordons growth formula is used to estimate the terminal value to be included.

The required rate of return is based on an assessment of the market's required rate of return for the type of operations carried out by the cash-generating unit. The required rate of return reflects the risk of the operations.

10. Pensions

DNB has country-specific pension schemes for its employees. In Norway, DNB has a defined-contribution pension scheme. In 2015 and 2016, the pension scheme was by and large converted from a defined-benefit pension scheme to defined-contribution pension scheme. In that connection, an unfunded compensation scheme was established. See note 24 Pensions for more information.

Defined-contribution pension schemes

Under defined-contribution pension schemes, the banking group does not commit itself to paying specified future pension benefits, but makes annual contributions to the employees' pension savings. Future pensions will depend on the size of annual contributions and the annual return on pension savings. After paying annual contributions, the banking group has no further commitments linked to employees' work performance. The expenses following from the defined-contribution pension schemes are recognised in the income statement.

Defined-benefit pension schemes

Pension expenses are calculated based on a linear distribution of pension entitlements measured against estimated accumulated commitments at the time of retirement. Pension commitments are matched against the pension funds in the schemes. Pension commitments are estimated based on the present value of estimated future pension payments at the balance sheet date. The calculation of the pension commitments is based on actuarial and economic assumptions about life expectancy, rise in salaries and early retirement. The discount rate used is determined by reference to the yield on covered bonds at the balance sheet date, plus an add-on that reflects the relevant duration of the pension commitments.

11. Income tax

Taxes for the year comprise payable taxes for the financial year, any payable taxes for previous years and changes in deferred taxes on temporary differences. Temporary differences are differences between the carrying amount of an asset or liability and the taxable value of the asset or liability. The most significant temporary differences refer to changes in the fair value of financial assets and liabilities, pension obligations, depreciation of fixed assets and properties and impairment losses for goodwill. Deferred taxes are calculated on the basis of tax rates and tax rules that are applied on the balance sheet date or are highly likely to be approved and are expected to be applicable when the deferred tax asset is realised or the deferred tax liability settled.

Deferred tax assets are recognised in the balance sheet to the extent that it is probable that future taxable income will be available against which they can be utilised. Deferred taxes and deferred tax assets within the same tax group are presented net in the balance sheet.

Taxes payable and deferred taxes relating to elements of other comprehensive income are presented net along with the related income or cost in the comprehensive income statement.

12. Provisions

Provisions are recognised when it is probable that the DNB Bank will need to settle a present obligation in connection with a past event, and it can be reliably estimated.

If restructuring plans that change the scope of the banking group's operation or the way the banking group carries out its operation are approved and communicated to the affected employees, the need for restructuring provisions is considered. This includes provisions for agreements on severance packages with employees when used as part of the restructuring. The provisions are reviewed on each reporting date and are reversed as expenses are incurred.

Provisions are measured at best estimate, reviewed on each reporting date and adjusted as necessary.

13. Leasing

A lease is classified as a finance lease if it transfers substantially all the risks and rewards incidental to ownership. Other leases are classified as operating leases.

DNB Bank as lessor

Operating leases

Operating leases are leases where not an insignificant share of the risk and rewards relating to the investment in the leased object accrues to DNB Bank at the end of the lease period. Operating assets are recognised as fixed assets in the balance sheet. Income from operating leases is recognised over the lease term on a straight-line basis. Depreciation of the fixed assets is presented as ordinary depreciation in the income statement.

Financial leases

Financial leases are presented as lending in the balance sheet, and at inception the lease is measured at an amount equal to the net investment in the lease. The net investment represents minimum lease payments, unguaranteed residual values and any direct expenses incurred by the lessor in negotiating the lease, discounted by the implicit interest rate (internal rate of return). Leasing income is recognised in the income statement according to the annuity method, where the interest component is recognised within the line item "Net interest income" while instalments reduce the balance sheet value of the loan.

DNB Bank as lessee

Operating leases

Lease payments are recognised in the income statement as an expense on a straight-line basis over the lease term unless another systematic basis is more representative of the time pattern of DNB Bank's use of the asset.

14. Cash flow statements

The cash flow statements show cash flows grouped according to source and use. The cash flows are presented as operating activities, investment activities or funding activities. Cash is defined as cash, deposits with central banks and deposits with credit institutions with no agreed period of notice. The cash flow statement has been prepared in accordance with the direct method.

15. Dividends

Proposed dividends are part of equity until approved by the general meeting. At that time, the dividend is presented as liability in the financial statement. Proposed dividends are not included in capital adequacy calculations.

16. Approved standards and interpretations that have not entered into force

By the end of 2017 the IASB had published a number of amendments to current regulations which have not entered into force. Below is a description of the amendments which may have impact on the banking group's future reporting.

IFRS 9 Financial Instruments

In July 2014, the IASB issued the new standard for financial instruments IFRS 9 Financial Instruments. The new standard is effective from 1 January 2018 and replaces the current IAS 39.

The IFRS 9 accounting principles and disclosures on transition are presented in note 49.

IFRS 15 Revenue from contracts with customers

IFRS 15 was published by the IASB in May 2014 and establishes a new five-step model that will apply to revenue arising from contracts with customers. Under IFRS 15, revenue is recognised at an amount that reflects the consideration to which an entity expects to be entitled in exchange for transferring goods or services to a customer. The principles in IFRS 15 provide a more structured approach to measuring and recognising revenue.

The new revenue standard is applicable to all entities and will supersede all current revenue recognition requirements under IFRS. Contracts with customers that will be accounted for in accordance with the IFRS 9 Financial Instruments shall however follow the requirements in IFRS 9 as they are scoped out of IFRS 15.

IFRS 15 will be effective as of 1 January 2018 and the standard was endorsed by the EU in September 2016. The banking group has analysed the impact of the new rules. No significant changes have been identified in the way the banking group recognises revenues. The banking group will apply the standard from 2018.

IFRS 16 Leases

In January 2016, the IASB issued the new standard IFRS 16 "Leases". The new standard will have large implications for lessees, as all leases (with the exception of short-term leases and small asset leases) will be recognised in the balance sheet as a right-of-use asset with a corresponding liability. At initial recognition, the lease liability and the right-of-use asset are measured at the present value of future lease payments. Lease payments shall be recognised as interest expenses and amortisations. The accounting requirements for lessors are unchanged.

IFRS 16 was endorsed by the EU in October 2017 and will be effective from 1 January 2019. The banking group has started to analyse the consequences of the new standard. The major part of the banking group's lease liabilities arises from leases on commercial real estate and IT equipment. It is too early to give a reliable estimate of the effects on the banking group's financial statements when the banking group acts as lessee. The banking group will apply the standard from 2019.

17. Important accounting estimates, judgments and assumptions

When preparing the consolidated financial statements, management makes estimates, judgment and assumptions that affect the application of the accounting principles and the carrying amount of assets, liabilities, income and expenses. Estimates and assumptions are subject to continual evaluation and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be probable on the balance sheet date.

Impairment of loans

Estimates of future cash flows are based on empirical data and management's judgment of future macroeconomic developments and developments in the performance of the actual loans and on the situation at the balance sheet date. The estimates are the

result of a process which involves the business areas and central credit units and represents management's best estimate.

When considering impairment of loans, there will be several elements of uncertainty with respect to the identification of objective evidence of impairment, the estimation of amounts and the timing of future cash flows, including the valuation of collateral. See note 5 Credit risk for information about management and follow-up of credit risk.

Individual impairment

When estimating impairment of individual loans and guarantees, both the current and the future financial positions of the customer are considered. For corporate customers, the prevailing market situation is also reviewed, along with market conditions within the relevant industry and general market conditions which could affect the customers' ability to repay the loans. In addition, the probability and outcome of restructuring, refinancing and re-capitalisation are taken into account, as well as the probability of bankruptcies and the possible foreclosure of assets provided as collateral. There is uncertainty related to the valuation of collateral for which no observable market data are available. An overall assessment of these factors forms the basis for estimating the future cash flow. In the event of a prolonged weak economic trend in certain industries and/or geographical areas, the application of judgement and estimations are more demanding. The discount period is estimated on an individual basis or based on empirical data about the period it normally takes to reach a solution to the problems that caused the objective indication of impairment.

Collective impairment

The expected future cash flow is estimated on the basis of expected losses and the anticipated economic situation for the respective groups. Expected losses are based on historical loss experience for the relevant groups. The economic situation is assessed by means of economic indicators for each group based on external information about the markets. Various parameters are used depending on the group in question. Key parameters are production gaps, which give an indication of capacity utilisation in the economy, housing prices, oil prices, salmon prices and shipping freight rates. The economic indicators that are used show a high degree of correlation with historical impairment. To estimate the net present value of expected future cash flows for loans subject to collective impairment, a discount factor based on observed empirical data from individually evaluated loans is used.

Fair value of financial derivatives and other financial instruments

The fair value of financial instruments that are not traded in an active market is determined by using different valuation techniques. The banking group considers and chooses techniques and assumptions that as far as possible are based on observable market data representing the market conditions on the balance sheet date. When measuring financial instruments for which observable market data are not available, the banking group makes assumptions regarding what market participants would use as the basis for valuing similar financial instruments. The valuations require application of significant judgment when calculating liquidity risk, credit risk and volatility among others. Changes in these factors would affect the estimated fair value of the banking group's financial instruments. For more information see note 28 Financial instruments at fair value.

Income taxes, including deferred tax assets and uncertain tax liabilities

The banking group is subject to income taxes in a number of jurisdictions. Significant judgment is required in determining the income tax in the consolidated financial statements, including assessments of recognised deferred tax assets and uncertain tax liabilities.

Deferred tax assets are recognised to the extent it is probable that the banking group will have future taxable income against which they can be utilised. Extensive assessments must be made to determine the amount which can be recognised, including the expected time of utilisation, the level of profits computed for tax

purposes as well as strategies for tax planning and the existence of taxable temporary differences.

There will be uncertainty related to the final tax liability for many transactions and calculations. The banking group recognises liabilities related to the future outcome of tax disputes based on estimates of changed income taxes. When assessing the uncertain tax liabilities to be recognised in the balance sheet, the probability of the liability arising is considered. If the final outcome of the tax disputes deviates from the amounts recognised in the balance sheet, the deviations will impact the income tax expense in the income statement for the applicable period.

Note 2 Segments

Financial governance in DNB is geared to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Special product areas are responsible for production and development for parts of the product range and for ensuring that the banking group meets the needs of the various customer segments. Reported figures for the different segments will reflect the banking group's total sales of products and services to the relevant customer segments. DNB's Baltic operation became part of a joint venture with Nordea from 1 October 2017. The Baltic operation was part of the Large corporates and international customers segment up until this date. Following the reorganisation announced in September 2016, the DNB Bank Group has changed its distribution of the profit from DNB Finans' operations between the three customer segments. As of 1 January 2017, profit from DNB Finans' operations in Sweden are divided between the personal customer segment, the small and medium-sized enterprises segment and the large corporates and international customers segment. Profit from DNB Finans' operations in Denmark are divided between the small and medium-sized enterprises segment and the large corporates and international customers segment. Previously, profits from these operations were included in the large corporates and international customers segment. The distribution of profit from DNB Finans' operations in Norway on the various segments has also been changed. Figures for 2016 have been adjusted correspondingly.

| | | |
|--|---|--|
| Personal customers | - | includes the banking group's total products and activities to private customers in all channels, both digital and physical. DNB offers a wide range of products through Norway's largest distribution network, comprising branches, telephone banking (24/7), digital banking, real estate broking as well as external channels (post offices and in-store postal and banking outlets). Credit cards and consumer financing in Sweden are also included in this business area. |
| Small and medium-sized enterprises | - | is responsible for product sales and advisory services to small and medium-sized enterprises in Norway. Customers in this segment range from small businesses and start-up companies to relatively large corporate customers, and the product offerings are adapted to the customers' different needs. Small and medium-sized enterprises are served through the banking group's physical distribution network throughout Norway as well as digital and telephone banking (24/7). Factoring, leasing and asset financing for small and medium-sized enterprises in Sweden and Denmark are also included in this business area. |
| Large corporates and international customers | - | includes large Norwegian and international corporate customers. Operations are based on sound industry expertise and long-term customer relationships. |
| Trading | - | includes market making and other trading activities in fixed income, currencies and commodities (FICC) as well as equities, including risk management of the risk inherent in customer transactions. Markets' trading activities support the customer activities. |

The income statement and balance sheet for the segments have been prepared on the basis of internal financial reporting for the functional organisation of the DNB Bank Group into segments, as reported to group management (chief operating decision maker) for an assessment of current developments and the allocation of resources. Figures for segments are based on the banking group's accounting principles and DNB's management model. Allocation of costs and capital between segments involves a number of assumptions, estimates and discretionary distributions.

Capital allocated to the segments is calculated on the basis of the DNB bank group's common equity Tier 1 capital and long-term capitalisation ambition. The allocation of capital to all units is based on the banking group's adaptation to Basel III with capital requirement related to credit risk, market risk and operational risk. The allocation of capital for credit risk is based on the DNB bank group's internal measurement of risk-adjusted capital requirements for credit. Capital requirements for market risk are allocated directly in accordance with risk-weighted volume, and operational risk is allocated based on the respective units' total income.

Income statement

| | | DNB Bank Group | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------|---------|------------------------------------|---------|--|---------|---------|-------|---|---------|
| | | Personal customers | | Small and medium-sized enterprises | | Large corporates and international customers | | Trading | | Other operations/eliminations ¹⁾ | |
| | | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | | | | | | | |
| Net interest income | | 13 336 | 12 758 | 8 578 | 7 941 | 12 882 | 13 182 | (76) | 29 | 1 394 | 609 |
| Net other operating income | | 3 716 | 3 631 | 1 549 | 1 480 | 4 897 | 5 255 | 2 453 | 2 970 | (100) | 1 974 |
| Total income | | 17 051 | 16 389 | 10 127 | 9 421 | 17 579 | 18 437 | 2 377 | 3 004 | 1 294 | 2 582 |
| Operating expenses | | (7 626) | (7 910) | (3 420) | (3 152) | (6 360) | (6 103) | (501) | (547) | (1 554) | (699) |
| Depreciation and impairment of fixed and intangible assets | | (106) | (70) | (688) | (724) | (727) | (724) | (1) | (1) | (849) | (583) |
| Total operating expenses | | (7 731) | (7 980) | (4 108) | (3 876) | (7 088) | (6 828) | (502) | (548) | (2 503) | (1 283) |
| Pre-tax operating profit before impairment | | 9 320 | 8 409 | 6 021 | 5 545 | 10 493 | 11 609 | 1 876 | 2 455 | (1 209) | 1 300 |
| Net gains on fixed and intangible assets | | (0) | 0 | (1) | 2 | 20 | 25 | | | 716 | (44) |
| Impairment of loans and guarantees ²⁾ | | (207) | 379 | (413) | (1 088) | (1 600) | (6 715) | | | (8) | (0) |
| Profit from repossessed operations | | | | 14 | 6 | (19) | 8 | | | 4 | (14) |
| Pre-tax operating profit | | 9 113 | 8 788 | 5 621 | 4 465 | 8 894 | 4 925 | 1 876 | 2 455 | (587) | 1 241 |
| Tax expense | | (2 278) | (2 197) | (1 405) | (1 118) | (2 434) | (1 330) | (431) | (614) | 1 646 | 1 293 |
| Profit from operations held for sale, after taxes | | | (1) | | | (0) | 3 | | | (1) | 2 |
| Profit for the year | | 6 835 | 6 590 | 4 216 | 3 348 | 6 260 | 3 599 | 1 444 | 1 841 | 1 059 | 2 536 |

1) See the tables below for more information about other Operations/eliminations.

2) See note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups for an analysis of the gross change in impairment for the banking group.

Note 2 Segments (continued)

Balance sheets

DNB Bank Group

| Amounts in NOK billion | Personal customers | | Small and medium-sized enterprises | | Large corporates and international customers | | Trading | | Other operations/eliminations | | DNB Bank Group | |
|---|--------------------|----------|------------------------------------|----------|--|----------|----------|----------|-------------------------------|----------|----------------|----------|
| | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 |
| Loans to customers ¹⁾²⁾ | 747 | 706 | 291 | 260 | 410 | 500 | 39 | 30 | 45 | (9) | 1 531 | 1 492 |
| Assets held for sale | | | | | | 0 | | | | 52 | | 53 |
| Other assets | 21 | 25 | 12 | 10 | 82 | 135 | 1 269 | 1 240 | (556) | (608) | 829 | 803 |
| Total assets | 768 | 732 | 303 | 270 | 492 | 635 | 1 308 | 1 270 | (512) | (565) | 2 360 | 2 348 |
| Deposits from customers ¹⁾³⁾ | 403 | 397 | 207 | 190 | 326 | 379 | 44 | 14 | 0 | (34) | 980 | 946 |
| Liabilities held for sale | | | | | | | | | | 41 | | 41 |
| Other liabilities | 327 | 298 | 71 | 60 | 94 | 172 | 1 257 | 1 249 | (573) | (608) | 1 176 | 1 171 |
| Total liabilities | 730 | 695 | 277 | 249 | 419 | 551 | 1 302 | 1 263 | (572) | (601) | 2 156 | 2 158 |
| Allocated capital ³⁾ | 38 | 37 | 26 | 26 | 73 | 84 | 6 | 7 | 61 | 36 | 204 | 190 |
| Total liabilities and equity | 768 | 732 | 303 | 276 | 492 | 635 | 1 308 | 1 270 | (512) | (565) | 2 360 | 2 348 |

- 1) DNB's Baltic operation became part of a joint venture with Nordea from 1 October 2017. The Baltic operation was part of the Large corporates and international customers segment up until this date. Loans to and deposits from customers in the Baltics were included under Large corporates and international customers as at 31 December 2016 in spite of being reclassified as assets and liabilities held for sale in August 2016. The reclassification as at 31 December 2016 was reflected under Other operations/elimination.
- 2) Loans to customers include accrued interest, impairment and value adjustments. Correspondingly, deposits from customers include accrued interest and value adjustments. In November 2016, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 5 billion was sold from DNB Boligkreditt to DNB Livsforsikring. In the fourth quarter of 2016, commercial mortgages amounting to NOK 2.6 billion and 4.5 billion, respectively, were sold from DNB Næringskreditt and DNB Bank to DNB Livsforsikring, the life insurance company owned by DNB ASA.
- 3) Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel III/Solvency II) which must be met by the banking group. The capital allocated in 2017 corresponds to a common equity Tier 1 capital ratio of 16.0 per cent compared to 17.2 per cent in 2016. Recorded capital is used for the banking group.

Key figures

DNB Bank Group

| Per cent | Personal customers | | Small and medium-sized enterprises | | Large corporates and international customers | | Trading | | Other operations/eliminations | | DNB Bank Group | |
|--|--------------------|------|------------------------------------|------|--|------|---------|------|-------------------------------|------|----------------|------|
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Cost/income ratio ¹⁾ | 45.3 | 48.7 | 40.5 | 41.1 | 40.3 | 37.0 | 21.1 | 18.3 | | | 45.4 | 41.2 |
| Ratio of deposits to loans as at 31 December ²⁾ | 54.0 | 56.3 | 70.9 | 71.3 | 79.5 | 75.9 | | | | | 64.0 | 63.4 |
| Return on allocated capital ³⁾ | 18.1 | 17.6 | 16.4 | 12.7 | 7.7 | 4.3 | 21.1 | 25.4 | | | 10.5 | 10.3 |

- 1) Total operating expenses relative to total income.
- 2) Deposits from customers relative to loans to customers.
- 3) Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel III/Solvency II) which must be met by the banking group. Recorded capital is used for the banking group.

Other operations/eliminations

Other operations/eliminations include IT, People & Operations, Group Finance including Group Treasury, Risk Management, Media & Marketing, Compliance, New Business, the partially owned company Eksportfinans and investments in IT infrastructure. In addition, Other operations/eliminations include that part of the banking group's equity that is not allocated to the segments. Profits from repossessed operations which are fully consolidated in the DNB Bank Group are presented net under "Profit from repossessed operations" in the internal reporting of segments. The acquired companies and all intra-group eliminations are included in Other operations/eliminations.

In the third quarter of 2017 NOK 754 million was recognised as Net gains on fixed and intangible assets and presented within the Other operations/eliminations following the establishment of Vipps AS and the agreement DNB entered into with 105 other Norwegian banks. DNB will have an ownership interest in the new legal entity (Vipps AS) of close to 52 per cent. However, due to the terms and conditions in the shareholder agreement, it has been decided to define Vipps AS as an associated company and the company is consolidated in DNB according to the equity method. DNB can vote for 49.9 per cent at the General Meeting, and has three of seven board members.

Pre-tax operating profit

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
|---|-------|-------|
| Unallocated interest income | 671 | 190 |
| Guarantee fee levy | (78) | (2) |
| Income from equity investments (see note 20) | 81 | 81 |
| Gains on fixed and intangible assets | 716 | (44) |
| Mark-to-market adjustments on financial instruments (see note 20) | (366) | 436 |
| Basis swaps (see note 20) | (672) | (542) |
| Profit from associated companies | (112) | 1 190 |
| Net gains on investment properties | 185 | 34 |
| Profit from repossessed operations | 4 | (14) |
| Unallocated personnel expenses (see note 21) | (281) | (136) |
| Unallocated IT and Operations expenses | 74 | 205 |
| Impairment losses for goodwill relating to Cresco | (502) | |
| Other | (307) | (137) |
| Pre-tax operating profit | (587) | 1 241 |

Note 2 Segments (continued)

Geographic areas

Income statement

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | International operations | | Norway | | DNB Bank Group | |
|----------------------------|--------------------------|--------|--------|--------|----------------|--------|
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Net interest income | 6 095 | 7 863 | 29 818 | 26 654 | 35 914 | 34 517 |
| Net other operating income | 2 408 | 2 687 | 10 017 | 12 629 | 12 425 | 15 516 |
| Total income | 8 504 | 10 550 | 39 835 | 39 283 | 48 339 | 49 833 |

Balance sheet items

DNB Bank Group

| Amounts in NOK billion | International operations | | Norway | | DNB Bank Group | |
|------------------------|--------------------------|----------|----------|----------|----------------|----------|
| | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 | 31.12.17 | 31.12.16 |
| Loans to customers | 207 | 224 | 1 325 | 1 268 | 1 531 | 1 492 |
| Total assets | 243 | 314 | 2 117 | 2 034 | 2 360 | 2 348 |
| Guarantees | 32 | 35 | 66 | 63 | 98 | 99 |

Product information

See note 17 Net interest income, note 18 Interest rates on selected balance sheet items, note 19 Net commission and fee for further information on products.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy

The DNB Group aims to maintain a management buffer of approximately 1.0 percentage point in addition to the total regulatory common equity Tier 1 (CET1) capital ratio. The object of the management buffer is to cushion against fluctuations in risk-weighted assets and earnings that can occur as a result of, for example, exchange rate movements or changes in credit spreads, and thereby enable the Group to maintain normal growth in lending and a predictable dividend policy. At year-end 2017, the total regulatory CET1 capital ratio requirement was 15.2 per cent. DNB's internal target was 16.1 per cent. The capitalisation targets relate to the Group's risk-weighted assets at any given time. Norwegian banks are subject to a transitional rule for capital adequacy calculations, which stipulates that total risk-weighted assets cannot be reduced below 80 per cent of the corresponding figure calculated according to the Basel I regulations.

At year-end 2017, the DNB Bank Group had a CET1 capital ratio of 16.2 per cent and a capital adequacy ratio of 20.6 per cent, compared with 15.7 per cent and 20.0 per cent, respectively, a year earlier. Risk-weighted assets came to NOK 1 015 billion at year-end 2017, compared with NOK 1 041 billion the year before.

DNB Bank ASA had a CET1 capital ratio of 17.7 per cent at year-end 2017, compared with 19.1 per cent a year earlier. The capital adequacy ratio was 23.0 per cent at year-end 2017, compared with 24.8 per cent a year earlier.

At year-end 2017, DNB Boligkreditt AS had a CET1 capital ratio of 16.6 per cent and a capital adequacy ratio of 18.5 per cent, calculated according to the transitional rules for risk-weighted assets. If the transitional rules were not applied, DNB Boligkreditt's CET1 capital ratio and capital adequacy ratio would have been 21.4 and 24.0 per cent, respectively, at year-end 2017.

As a supplement to the risk-weighted capital adequacy regime, the Basel Committee introduced a new capital measure, "leverage ratio" or non-risk based CET1 capital ratio. The Norwegian Ministry of Finance has set a minimum requirement for the leverage ratio in credit institutions and investment firms in Norway that entered into effect as of 30 June 2017, calculated on the basis of CET1 capital including additional Tier 1 capital. The basis of calculation consists of assets and off-balance sheet items converted by means of the conversion factors used in the standardised approach for calculating ordinary capital adequacy. In addition, some special adjustments are made for derivatives and repo transactions. Insurance operations are not included. The definitions of capital and the basis of calculation are in conformity with international rules. The Norwegian leverage ratio requirement consists of a minimum requirement of 3 per cent that will apply to all financial institutions, a mandatory 2 per cent buffer for banks and an additional mandatory buffer of 1 per cent for systematically important banks. DNB is the only institution in Norway that will be required to have a leverage ratio of 6 per cent.

The DNB Bank Group calculates its leverage ratio in accordance with the revised article 429 of the CRR, and the European Commission Regulation that entered into force on 18 January 2015. At year-end 2017, the Bank Group's leverage ratio was 6.9 per cent, compared with 7.1 per cent a year earlier. DNB meets the minimum requirement of 6 per cent by a wide margin.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Capital adequacy

Capital adequacy is calculated and reported in accordance with Norwegian regulations, which are broadly in line with the EU capital requirements regulations for credit institutions and investment firms (CRD IV/CRR). The regulatory consolidation deviates from consolidation in the accounts and comprises the parent company, subsidiaries and associated companies within the financial sector. Associated companies are consolidated pro rata.

| DNB Bank ASA | | Primary capital | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|--|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 168 104 | 169 720 | Total equity | 203 685 | 190 078 |
| | | Effect from regulatory consolidation | 183 | (181) |
| (15 574) | (15 574) | Additional Tier 1 capital instruments included in total equity | (15 574) | (15 574) |
| (284) | (439) | Net accrued interest on additional Tier 1 capital instruments | (439) | (284) |
| 152 246 | 153 708 | Common equity Tier 1 capital instruments | 187 856 | 174 039 |
| | | Deductions | | |
| | | Pension funds above pension commitments | | |
| (2 900) | (2 404) | Goodwill | (2 558) | (2 951) |
| (224) | (584) | Deferred tax assets that are not due to temporary differences | (454) | (482) |
| (699) | (1 110) | Other intangible assets | (1 884) | (946) |
| | | Group contribution, payable | (15 804) | (5 084) |
| (6) | (951) | Expected losses exceeding actual losses, IRB portfolios | (1 915) | (153) |
| (479) | (449) | Value adjustments due to the requirements for prudent valuation (AVA) | (720) | (786) |
| 107 | 123 | Adjustments for unrealised losses/(gains) on debt recorded at fair value | 123 | (90) |
| (580) | (481) | Adjustments for unrealised losses/(gains) arising from the institution's own credit risk related to derivative liabilities (DVA) | (113) | (159) |
| 147 467 | 147 851 | Common equity Tier 1 capital | 164 431 | 163 388 |
| 17 471 | 15 574 | Additional Tier 1 capital instruments | 15 574 | 17 471 |
| 164 938 | 163 425 | Tier 1 capital | 180 005 | 180 860 |
| 5 602 | 5 361 | Perpetual subordinated loan capital | 5 361 | 5 602 |
| 21 249 | 23 897 | Term subordinated loan capital | 23 897 | 21 249 |
| 26 851 | 29 258 | Tier 2 capital | 29 258 | 26 851 |
| 191 789 | 192 683 | Total eligible capital | 209 263 | 207 711 |
| 773 244 | 835 986 | Risk-weighted volume, transitional rules | 1 014 683 | 1 040 888 |
| 61 860 | 66 879 | Minimum capital requirement, transitional rules | 81 175 | 83 271 |
| 19.1 | 17.7 | Common equity Tier 1 capital ratio, transitional rules (%) | 16.2 | 15.7 |
| 21.3 | 19.5 | Tier 1 capital ratio, transitional rules (%) | 17.7 | 17.4 |
| 24.8 | 23.0 | Capital ratio, transitional rules (%) | 20.6 | 20.0 |

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Basel III

The majority of the credit portfolios are reported according to the IRB approach. However, one portfolio, banks and financial institutions (DNB Bank) is still subject to final IRB approval from Finanstilsynet.

Specification of risk-weighted volume and capital requirements

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Nominal exposure 31 Dec. 2017 | EAD ^{f)} 31 Dec. 2017 | Average risk weights in per cent 31 Dec. 2017 | Risk-weighted volume 31 Dec. 2017 | Capital requirements 31 Dec. 2017 | Capital requirements 31 Dec. 2016 |
|---|----------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| IRB approach | | | | | | |
| Corporate | 716 183 | 581 120 | 54.9 | 319 273 | 25 542 | 23 407 |
| Specialised Lending (SL) | 10 551 | 9 615 | 51.5 | 4 948 | 396 | 311 |
| Retail - mortgage loans | 100 735 | 100 735 | 24.5 | 24 677 | 1 974 | 1 593 |
| Retail - other exposures | 99 680 | 85 683 | 25.5 | 21 812 | 1 745 | 1 901 |
| Securitisation | 9 613 | 9 613 | 81.4 | 7 827 | 626 | 637 |
| Total credit risk, IRB approach | 936 742 | 786 746 | 48.1 | 378 536 | 30 283 | 28 150 |
| Standardised approach | | | | | | |
| Central government | 84 822 | 53 137 | 0.1 | 74 | 6 | 6 |
| Institutions | 598 082 | 412 768 | 22.9 | 94 629 | 7 570 | 6 194 |
| Corporate | 102 578 | 81 346 | 93.1 | 75 736 | 6 059 | 6 009 |
| Retail - mortgage loans | 8 187 | 7 661 | 39.2 | 3 004 | 240 | 210 |
| Retail - other exposures | 102 158 | 35 316 | 74.5 | 26 300 | 2 104 | 2 018 |
| Equity positions | 124 991 | 124 991 | 100.2 | 125 224 | 10 018 | 9 639 |
| Other assets | 16 076 | 16 076 | 147.6 | 23 725 | 1 898 | 820 |
| Total credit risk, standardised approach | 1 034 894 | 731 294 | 47.7 | 348 692 | 27 895 | 24 896 |
| Total credit risk | 1 971 636 | 1 518 040 | 47.9 | 727 228 | 58 178 | 53 045 |
| Market risk | | | | | | |
| Position risk, debt instruments | | | | 20 253 | 1 620 | 1 855 |
| Position risk, equity instruments | | | | 262 | 21 | 25 |
| Currency risk | | | | | | |
| Commodity risk | | | | 23 | 2 | 6 |
| Credit value adjustment risk (CVA) | | | | 11 098 | 889 | 974 |
| Total market risk | | | | 31 637 | 2 531 | 2 860 |
| Operational risk | | | | 77 122 | 6 170 | 5 955 |
| Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule | | | | 835 986 | 66 879 | 61 860 |
| Additional capital requirements according to transitional rules | | | | | | |
| Total risk-weighted volume and capital requirements | | | | 835 986 | 66 879 | 61 860 |

f) EAD, exposure at default.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Specification of risk-weighted volume and capital requirements

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Normal exposure 31 Dec. 2017 | EAD ¹⁾ 31 Dec. 2017 | Average risk weights in per cent 31 Dec. 2017 | Risk-weighted volume 31 Dec. 2017 | Capital requirements 31 Dec. 2017 | Capital requirements 31 Dec. 2016 |
|--|---------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| IRB approach | | | | | | |
| Corporate | 984 724 | 790 118 | 55.7 | 439 960 | 35 197 | 32 619 |
| Specialised Lending (SL) | 11 582 | 10 645 | 53.3 | 5 676 | 454 | 356 |
| Retail - mortgage loans | 749 668 | 749 668 | 22.1 | 165 245 | 13 220 | 12 465 |
| Retail - other exposures | 99 660 | 85 663 | 25.5 | 21 812 | 1 745 | 1 901 |
| Securitisation | 9 613 | 9 613 | 81.4 | 7 827 | 626 | 937 |
| Total credit risk, IRB approach | 1 834 246 | 1 644 706 | 38.9 | 640 519 | 51 241 | 48 279 |
| Standardised approach | | | | | | |
| Central government | 107 116 | 76 481 | 0.1 | 74 | 6 | 7 |
| Institutions | 286 838 | 142 630 | 29.0 | 41 400 | 3 312 | 2 243 |
| Corporate | 174 572 | 141 048 | 87.0 | 122 703 | 9 816 | 8 799 |
| Retail - mortgage loans | 58 925 | 58 340 | 49.0 | 27 588 | 2 207 | 1 805 |
| Retail - other exposures | 117 871 | 47 773 | 77.0 | 36 785 | 2 941 | 2 939 |
| Equity positions | 8 049 | 8 048 | 102.9 | 8 281 | 662 | 703 |
| Securitisation | | | | | | 41 |
| Other assets | 10 880 | 10 880 | 58.9 | 6 410 | 513 | 859 |
| Total credit risk, standardised approach | 764 251 | 483 198 | 50.3 | 243 221 | 19 458 | 17 395 |
| Total credit risk | 2 598 497 | 2 127 905 | 41.5 | 883 739 | 70 699 | 65 674 |
| Market risk | | | | | | |
| Position risk, debt instruments | | | | 13 997 | 1 120 | 1 169 |
| Position risk, equity instruments | | | | 262 | 21 | 25 |
| Currency risk | | | | | | |
| Commodity risk | | | | 23 | 2 | 6 |
| Credit value adjustment risk (CVA) | | | | 5 867 | 469 | 493 |
| Total market risk | | | | 20 150 | 1 612 | 1 692 |
| Operational risk | | | | 89 234 | 7 139 | 6 675 |
| Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule | | | | 993 123 | 79 450 | 74 042 |
| Additional capital requirements according to transitional rules ²⁾ | | | | 21 560 | 1 725 | 9 229 |
| Total risk-weighted volume and capital requirements | | | | 1 014 683 | 81 175 | 83 271 |

1) EAD, exposure at default

2) Due to transitional rules, the minimum capital adequacy requirements cannot be reduced below 80 per cent of the corresponding figure calculated according to the Basel I regulations.

Note 4 Risk management

Risk management in DNB

The Board of Directors of DNB ASA has a clearly stated goal to maintain a low overall risk profile and to maintain an AA level rating for ordinary long-term debt. The profitability of DNB will depend on the ability to identify, manage and accurately price risk arising in connection with financial services.

Organisation and authorisation structure

- *Board of Directors.* The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the Group's risk profile. The risk profile is operationalised through the risk management framework, including the establishment of authorisations. Risk-taking should take place within established limits.
- *Authorisations.* Authorisations must be in place for the extension of credit and for position and trading limits in all critical financial areas.
- *All authorisations are personal.* Authorisations and group limits are determined by the Board of Directors and can be delegated in the organisation, though any further delegation requires approval by an immediate superior.
- *Annual review of limits.* Risk limits are reviewed at least annually in connection with budget and planning processes.
- *Independent risk management functions.* Risk management functions and the development of risk management tools are undertaken by units that are independent of operations in the individual business areas.

Roles and responsibilities

Risk management in DNB is based on a model with three lines of defence:

- The *first line of defence* is the operational management's governance and internal control, including processes and activities to reach defined goals relating to operational efficiency, reliable financial reporting and compliance with laws and regulations. The operational management is responsible for all risk associated with the unit's activities and processes.
- The *second line of defence* is an independent function which monitors and follows up the operational management's governance and internal control. The second line of defence is responsible for setting the premises for risk management, coordination across organisational units and risk reporting.
- The *third line of defence* is Group Audit, which reviews and evaluates group management's overall governance and internal control. Group Audit is independent of the Group's executive management and reports to the Board of Directors of DNB ASA.

Monitoring and use

- *Accountability.* All executives are responsible for risk within their own area of responsibility and must consequently be fully updated on the risk situation at all times.
- *Risk reporting.* Risk reporting in the Group ensures that all executives have the necessary information about current risk levels and future developments. To ensure high-quality, independent risk reports, responsibility for reporting is assigned to units that are independent of the operative units.
- *Capital assessment.* A summary and analysis of the Group's capital and risk situation is presented in a quarterly risk report to DNB ASA's Board of Directors.
- *Use of risk information.* Risk is an integral part of the management and monitoring of business areas. Risk-adjusted return is reflected in product pricing, profit calculations and in monitoring performance in the business areas.

Relevant risk measures

- *Risk appetite.* DNB monitors risk through defined targets and limits. The risk appetite framework consists of 16 statements covering the risk dimensions which are considered to be significant for the DNB Group, and which added up give a good view of the total risk. Developments in the target figures are monitored and reported monthly to the group management team and quarterly to DNB's Board of Directors. See separate paragraph on risk appetite.
- *A common risk measure for the Group.* The Group's risk is measured in the form of economic capital, calculated for all of the Group's business areas and main risk categories, with the exception of liquidity risk. See separate paragraph on economic capital.
- *Supplementary risk measure.* In addition, risk is followed up through supplementary risk measures adapted to operations in the various business areas, for example monitoring of positions relative to limits, key figures and portfolio risk targets.

Risk categories

In DNB, risk is divided into six main categories which are subject to special measurement and monitoring.

- *Credit risk* is the risk of financial losses due to failure on the part of the Group's customers to meet their payment obligations. Credit risk refers to all claims against customers, principally loans, but also obligations related to other approved credits, guarantees, fixed-income securities, undrawn credits and interbank deposits. Credit risk also includes residual value risk and concentration risk. Residual value risk is the risk that the value of collateral securing the exposure is lower than expected. Concentration risk includes risk associated with large exposures to a single customer and clusters of loans in geographical areas or industries, or with homogeneous customer groups. Counterparty risk is also a type of credit risk and arises through derivative trading. There are significant elements of counterparty risk relating to payment transfers and the settlement of contracts, but these are not included in the definition of credit risk.

Note 4 Risk management (continued)

- *Market risk* is the risk of losses due to unhedged positions in the foreign exchange, interest rate, commodity and equity markets. The risk arises in consequence of fluctuations in profits due to changes in market prices or exchange rates. Market risk includes both risk that arises through ordinary trading activities and risk that arises as part of banking activities and other business operations. In addition, market risk arises in DNB Livsforsikring AS, reflecting the risk that the return on financial assets will not be sufficient to meet the obligations specified in insurance policies.
- *Operational risk* is the risk of losses due to deficiencies or errors in internal processes and systems, human errors or external events. Operational risk also includes compliance risk, legal risk, conduct risk and IT risk, including information security. It does not include strategic risk or reputational risk. Operational risk applies to the entire organisation, and an operational risk event can affect different parts of the organisation in various ways. Compliance risk is the risk of losses in consequence of the violation of laws and regulations. Legal risk is related to the documentation and interpretation of contracts and different legal practices in countries where the bank has operations. Conduct risk is defined as the existing or potential risk of losses related to improper deliveries of financial services or losses resulting from generally reprehensible conduct.
- *Insurance risk* is incurred by DNB Livsforsikring AS and DNB Forsikring AS and is related to changes in future insurance obligations. Within life insurance, such risk reflects changes in policyholders' life expectancy and disability rates. Within non-life insurance, insurance risk is related to the frequency and size of future claims payments.
- *Liquidity risk* is the risk that the Group will be unable to meet its obligations as they fall due, and the risk that the Group will be unable to meet its liquidity obligations without a substantial rise in apportioned costs. Liquidity is vital to financial operations. This risk category will often be conditional in the respect that it will not materialise until other events give rise to concern regarding the Group's ability to meet its obligations.
- *Business risk* relates to fluctuations in profits due to changes in external factors such as the market situation, government regulations or the loss of income due to a weakened reputation. Reputational risk is often a consequence of other risk categories. The Group's business risk is primarily handled through the strategy process and ongoing efforts to safeguard and improve the Group's reputation. When determining and following up the Group's risk appetite, reputational risk is defined as a separate risk dimension. Reputational risk is followed up by monitoring media coverage, while the competitive situation is followed up by analysing market trends and developments in market shares.

In addition to the above-mentioned risk categories the Group is exposed to strategic risk, which can be defined as the risk of a decline in profits if the Group fails to exploit existing strategic opportunities. The Group's strategic risk is not measured or reported individually, but is discussed as part of the annual strategy process.

Risk appetite

The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the risk profile through the risk appetite framework. The risk appetite framework aims to ensure that risk is managed and integrated with the Group's governance processes. The risk appetite framework should provide a holistic and balanced view of the risk in the business. In 2017, the framework consisted of 16 statements. To support the framework a set of governance principles and operational procedures and responsibilities within the DNB Group have been defined. The targeted risk profile will also be reflected in other parts of the risk management, including the establishment of authorisations and business limits. The risk appetite framework will be reviewed at least annually. The Board of Directors also regularly reviews risk levels, the framework structure and the reporting of relevant risk categories.

The limits in the risk appetite framework are operationalised in the business areas and support units. In the Group's governance system, the risk appetite framework is implemented in the form of target figures for selected risk indicators. The risk indicators will typically take the form of limits (for quantifiable risk) or qualitative assessments of the risk level. They do not need to be based on the same measurement parameters as the ones used at group level, though they must support the same risk types and show the same trend. Continual monitoring of these target figures will ensure that the risks that are considered to be the most significant are also subject to monitoring and discussion in operative units in the organisation.

Economic capital for the DNB Bank Group

DNB quantifies economic capital for all main risk categories. A simulation model, the total risk model, is used to calculate unexpected losses for both the various risk categories and in total for the Group. Calculations are made for all significant profit centres, customers and products. The quantification is based on statistical probability calculations for the various risk categories on the basis of historical data. In cases where historical data is of inadequate quality, discretionary assessments are also made. The model initially simulates the risk of losses associated with the various risk categories separately, whereafter the total risk is estimated. A diversification effect arises when the various risks are considered together, as it is unlikely that all losses will occur at the same time. The diversification effect between risk categories and business areas implies that the Group's economic capital will be much lower than if the business areas had been independent companies.

DNB has stipulated that economic capital shall cover 99.9 per cent of potential unexpected losses with a one-year horizon. The confidence level has been adjusted down from 99.97 per cent in 2017 to be more comparable with regulatory capital.

Note 5 Credit risk

Credit risk or counterparty risk is the risk of financial losses due to failure on the part of the banking group's customers/counterparties to meet their payment obligations towards the banking group. Credit risk refers to all claims against customers/counterparties, mainly loans, but also commitments in the form of other extended credits, guarantees, interest-bearing securities, unutilised credit lines, derivative trading and interbank deposits. Credit risk also includes residual value risk and concentration risk. Residual value risk is the risk that the value of collateral securing exposure is lower than expected. Concentration risk includes risk associated with large exposures to a single customer and clusters of commitments in geographical areas or industries, or with homogeneous customer groups.

Credit risk management and measurement is described in further detail in the Risk and Capital Management (Pillar 3) report. The banking group guidelines for credit activity are approved by the Boards of Directors of DNB Bank ASA. The principal objective of credit activity is to ensure that the quality and composition of the loan portfolio provide a good basis for the banking group's short and long-term profitability. The quality of the portfolio should be consistent with DNB's aim of maintaining a low risk profile. See also note 4 Risk management, in which credit risk for the banking group is quantified in the form of risk-adjusted economic capital.

The maximum credit risk exposure will be the carrying amount of financial assets plus unrecorded exposure, which mainly includes guarantees, unutilised credit lines and loan offers. Guarantees, unutilised credit lines and loan offers are specified in note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies. The maximum credit risk exposure and related collateral are shown below.

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2017

| | DNB Bank ASA | | | |
|--|---------------------------------|------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| Amounts in NOK million | Maximum exposure to credit risk | Secured by real estate | Collateralised by securities | Other collateral ⁽¹⁾ |
| Deposits with central banks | 150 157 | | | |
| Due from credit institutions | 580 973 | | 192 707 | 39 |
| Loans to customers | 730 782 | 264 653 | 62 769 | 219 991 |
| Commercial paper and bonds | 271 607 | | | |
| Financial derivatives | 146 953 | | 1 753 | 95 973 |
| Other assets | 21 630 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet | 1 902 102 | 264 653 | 257 229 | 316 003 |
| Guarantees | 83 291 | 9 995 | 185 | 36 808 |
| Unutilised credit lines and loan offers | 488 943 | 18 444 | 218 | 50 764 |
| Other commitments | 4 103 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet | 576 338 | 28 439 | 403 | 87 572 |
| Total | 2 478 440 | 293 092 | 257 631 | 403 575 |

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2016

| | DNB Bank ASA | | | |
|--|---------------------------------|------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| Amounts in NOK million | Maximum exposure to credit risk | Secured by real estate | Collateralised by securities | Other collateral ⁽¹⁾ |
| Deposits with central banks | 206 992 | | | |
| Due from credit institutions | 549 093 | | 153 938 | 23 |
| Loans to customers | 690 060 | 240 109 | 49 187 | 217 055 |
| Commercial paper and bonds | 236 120 | | | |
| Financial derivatives | 170 317 | | 919 | 123 991 |
| Other assets | 12 728 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet | 1 865 298 | 240 109 | 204 044 | 341 069 |
| Guarantees | 88 678 | 8 543 | 162 | 33 410 |
| Unutilised credit lines and loan offers | 479 792 | 16 278 | 92 | 51 777 |
| Other commitments | 3 861 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet | 572 332 | 24 821 | 255 | 85 187 |
| Total | 2 437 630 | 264 930 | 204 299 | 426 256 |

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2017

| | DNB Bank Group | | | |
|--|---------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Maximum exposure to credit risk | Secured by real estate | Collateralised by securities | Other collateral ¹⁾ |
| Deposits with central banks | 150 569 | | | |
| Due from credit institutions | 237 849 | | 192 707 | 39 |
| Loans to customers | 1 531 345 | 925 151 | 63 698 | 297 158 |
| Commercial paper and bonds | 266 642 | | | |
| Financial derivatives | 132 649 | | 1 753 | 95 368 |
| Other assets | 7 361 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet | 2 326 415 | 925 151 | 258 158 | 392 565 |
| Guarantees | 86 832 | 9 999 | 195 | 36 952 |
| Unutilised credit lines and loan offers | 589 623 | 85 699 | 218 | 76 721 |
| Other commitments | 4 170 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet | 680 625 | 95 697 | 403 | 113 673 |
| Total | 3 007 040 | 1 020 848 | 258 560 | 506 238 |

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2016

| | DNB Bank Group | | | |
|--|---------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Maximum exposure to credit risk | Secured by real estate | Collateralised by securities | Other collateral ¹⁾ |
| Deposits with central banks | 207 278 | | | |
| Due from credit institutions | 174 908 | | 153 938 | 23 |
| Loans to customers | 1 492 269 | 895 859 | 50 295 | 330 159 |
| Commercial paper and bonds | 230 647 | | | |
| Financial derivatives | 157 957 | | 919 | 123 972 |
| Other assets | 7 414 | | | |
| Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet | 2 270 472 | 895 859 | 205 152 | 454 153 |
| Guarantees | 92 012 | 8 753 | 162 | 33 708 |
| Unutilised credit lines and loan offers | 606 122 | 79 219 | 92 | 78 969 |
| Other commitments | 3 985 | | | 18 |
| Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet | 702 119 | 87 972 | 255 | 112 595 |
| Total | 2 972 591 | 973 831 | 205 407 | 566 748 |

1) Other collateral includes the assessed fair value of movables, sureties, ships and cash as well as other credit enhancements, such as netting agreements and guarantees received.

The table above includes on and off-balance sheet items which entail credit risk and the assessed value of related collateral. If available, fair values are used. In general, fair values are estimated according to different techniques depending on the type of collateral. With respect to properties, models estimating the value of collateral based on market parameters for similar properties, are used. Corresponding techniques are used for other non-financial collateral. In order to reflect the effective available collateral value, the fair value of collateral included in the table is limited to the maximum credit exposure of the individual loan or exposure.

Comments to the main items as at 31 December 2017:

- *Deposits with central banks:* Deposits with Norges Bank totalled NOK 3 251 million. DNB engages only in short-term transactions with central banks outside Norway, mainly in OECD countries.
- *Loans to customers:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Commercial paper and bonds:* See further description under "Credit exposure of other financial assets".
- *Financial derivatives:* Other collateral represents netting opportunities against other outstanding balances with customers and cash collateral received.
- *Guarantees:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Unutilised credit lines and loan offers:* Offers of loans, credits and credit lines totalling NOK 111 669 million for the DNB Bank Group and for the DNB Bank ASA were included in the maximum credit exposure. No formal collateral has been established for such exposure, and the assessed value is not included in the table. Collateral is established once the offers are accepted by the customers. The assessment of the value of any collateral established in connection with such offers follows the procedure and criteria described under "Guidelines for credit activity".

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure of loans and commitments

Notes 6 and 7 show the banking group's credit risk exposure for principal customer groups and according to geographic location. Notes 8 through 11 show impaired loans and guarantees and impairment of loans and guarantees.

Classification of loans and commitments

DNB's internal models for risk classification of customers are subject to continual improvement and testing. The models are adapted to different industries and segments and are updated if calibrations show that their explanatory power has diminished over time. DNB has been granted permission to use IRBA models in capital adequacy calculations for the corporate portfolio, for other portfolios IRB is being used. The same models are used in calculations of capital requirements and in risk management.

All corporate customers granted credit must be classified according to risk in connection with every significant credit approval and, unless otherwise decided, at least once a year. In the personal banking market, where there is a large number of customers, the majority of credit decisions should be made on the basis of automated scoring and decision support systems. Risk classification should reflect long-term risk associated with each customer and the customer's credit commitment.

The risk classification systems are used as decision support, monitoring and reporting. The risk parameters used in the classification systems are an integrated part of the credit process and ongoing risk monitoring, including the follow-up of credit strategies.

Probability of default, PD, is used to measure quality. The bank divides its portfolio into ten risk classes based on the probability of default for each credit commitment.

DNB's risk classification ¹⁾

| Risk class | Probability of default (per cent) | | External rating | |
|------------|--------------------------------------|----------|-----------------|-------------------|
| | As from | Up to | Moody's | Standard & Poor's |
| 1 | 0.01 | 0.10 | Aaa – A3 | AAA – A- |
| 2 | 0.10 | 0.25 | Baa1 – Baa2 | BBB+ – BBB |
| 3 | 0.25 | 0.50 | Baa3 | BBB- |
| 4 | 0.50 | 0.75 | Ba1 | BB+ |
| 5 | 0.75 | 1.25 | Ba2 | BB |
| 6 | 1.25 | 2.00 | | |
| 7 | 2.00 | 3.00 | Ba3 | BB- |
| 8 | 3.00 | 5.00 | B1 | B+ |
| 9 | 5.00 | 8.00 | B2 | B |
| 10 | 8.00 | impaired | B3, Caa/C | B-, CCC/C |

1) DNB's risk classification system, where 1 represents the lowest risk and 10 the highest risk.

Loans and commitments according to risk classification

| Amounts in NOK million | DNB Bank ASA | | | |
|--|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| | Gross loans to customers | Guarantee commitments | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
| Risk category based on probability of default | | | | |
| 1 - 4 | 418 622 | 57 110 | 321 435 | 797 167 |
| 5 - 7 | 193 767 | 12 899 | 50 734 | 257 400 |
| 8 - 10 | 64 129 | 9 015 | 12 021 | 85 164 |
| Non-performing and impaired loans and commitments | 22 048 | 1 895 | 1 514 | 25 447 |
| Total loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾ | 698 565 | 80 909 | 385 703 | 1 165 178 |
| Risk category based on probability of default | | | | |
| 1 - 4 | 471 799 | 50 560 | 316 374 | 838 734 |
| 5 - 7 | 195 270 | 17 877 | 51 057 | 264 204 |
| 8 - 10 | 52 415 | 6 291 | 8 333 | 67 039 |
| Non-performing and impaired loans and commitments | 18 691 | 1 582 | 1 382 | 21 655 |
| Total loans and commitments as at 31 December 2017 ¹⁾ | 738 175 | 76 309 | 377 146 | 1 191 631 |

1) Based on nominal amounts.

Loan-loss level ¹⁾

| | 2017 | 2016 |
|--|------|------|
| Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans | 0.28 | 0.33 |

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and commitments according to risk classification

| | DNB Bank Group | | | |
|--|--------------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------|
| Amounts in NOK million | Gross loans to customers | Guarantee commitments | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
| Risk category based on probability of default | | | | |
| 1 - 4 | 1 016 937 | 58 948 | 469 223 | 1 545 108 |
| 5 - 7 | 367 157 | 14 091 | 70 838 | 452 086 |
| 8 - 10 | 89 700 | 9 946 | 29 563 | 129 209 |
| Non-performing and impaired loans and commitments | 30 551 | 1 903 | 1 702 | 34 156 |
| Total loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾ | 1 503 345 | 84 889 | 571 326 | 2 159 559 |
| Risk category based on probability of default | | | | |
| 1 - 4 | 1 088 520 | 51 680 | 456 684 | 1 596 884 |
| 5 - 7 | 356 199 | 18 830 | 68 609 | 443 637 |
| 8 - 10 | 71 687 | 6 903 | 24 784 | 103 374 |
| Non-performing and impaired loans and commitments | 24 454 | 1 586 | 1 523 | 27 564 |
| Total loans and commitments as at 31 December 2017 ¹⁾ | 1 540 860 | 78 998 | 551 600 | 2 171 458 |

1) Based on nominal amounts.

| | | |
|--|------|------|
| Loan-loss level ¹⁾ | 2017 | 2016 |
| Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans | 0.23 | 0.27 |

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Guidelines for credit activity

DNB's guidelines and processes for approving credits are described in the group guidelines for credit activity. The guidelines describe how DNB shall grant and follow up credit exposures in the various segments. Detailed descriptions are given of the assessment of new customers, follow-up of healthy credit exposures, follow-up of customers in financial difficulty and procedures for handling doubtful and non-performing loans.

The granting of credit in DNB is based on authorisation and approval matrices. As a fundamental principle, one person makes a recommendation and another one approves it, which takes place through the authorisation and approval matrices. The matrices are differentiated on the basis of volume, risk and, if relevant, industry. While only two persons may be involved in (recommending and approving) a low-risk exposure in the form of a home mortgage, recommendations for large/complex exposures must be endorsed by a senior credit officer. In addition, advice will be sought from credit committees, and the involvement of industry specialists may be required.

A decisive element when granting credit is the customers' debt servicing capacity in the form of ongoing future cash flows, such as earned income or income from the business operations which are being financed. The bank seeks to further mitigate the risk of losses in connection with a possible future reduction in cash flows or default by requiring that collateral be furnished.

Collateral can be in the form of physical assets, guarantees, cash deposits or netting agreements. As a rule, physical collateral shall be insured. Negative pledges, whereby customers undertake to keep their assets free from encumbrances vis-à-vis other lenders, are also used as a risk-mitigating measure.

In addition to collateral, most corporate credit agreements will include financial covenants, which represent an additional risk-mitigating element to ensure that DNB becomes aware of and involved in any financial challenges at an early stage. Examples of financial covenants are minimum net cash flow and equity ratio requirements.

Monitoring credit risk

Performing customers

According to the guidelines for credit activity for corporate customers, a credit assessment shall be made of all customers at least once a year. This is a complete review of all risks identified by DNB relating to the customer. A new evaluation of all collateral (provided) is an integral part of the annual review. The decision-making and authorisation matrices shall also be used in connection with the renewal of all existing credits and thus ensure that persons with relevant expertise are always involved when considering large and complicated exposures.

Personal customers are followed up through a systematic portfolio management system. Exposures are followed up individually if heightened risk has been identified.

Watchlist

The watchlist is the Group's primary tool for following up corporate customers when a risk has arisen which requires special monitoring. If customers breach financial covenants or a loss event requiring special monitoring has occurred, it will be considered whether to place the exposure on the watchlist. Loss events include serious financial problems or major changes in market conditions. In addition, all customers in the high-risk segment (risk grades 8-10) will be watchlist candidates. It is an integral part of credit activity to consider whether to place high-risk customers on the watchlist. Watchlisted customers are subject to special monitoring. More frequent, often quarterly risk assessments are required, including an updated valuation of collateral. In addition, an action plan must be prepared to get out of the risk situation that has arisen. The particularly close follow-up of customers facing greater challenges is based on the bank's experience that special monitoring both reduces the risk that losses will occur and minimises the losses that actually materialise. Each time watchlisted exposures are reviewed, the need for impairment losses will be considered.

Note 5 Credit risk (continued)

Granting concessionary treatment of customers

If a customer gets into financial difficulties, DNB may in some cases grant voluntary concessions in the form of less stringent financial covenants or reduced/deferred interest and instalment payments. Such measures are offered in accordance with the Group's credit guidelines, thus aiming to help customers through a tough financial period when it is expected that they will meet their obligations on a later date. This is part of DNB's strategy to reduce losses. DNB Bank ASA's total forbearance exposures, in accordance with the definition of forbearance in CRD IV, totalled approximately NOK 37 billion at year-end 2017.

Loss and non-performing portfolio

In the event of losses or non-performance, customers are closely monitored. In the bank's experience, other supplementary resources are required during this stage than for performing customers. Customer exposures which fall into this category will either be transferred in their entirety to a separate unit with special expertise in this field, or persons from this unit will join the customer team.

Reposessed companies and assets

In connection with the follow-up of impaired and non-performing exposures, DNB will in some cases take over assets provided as collateral for loans and guarantees. All acquired companies are followed up by the Group Investment unit, whose main target is to secure/recover values for DNB's shareholders through financial restructuring when companies and properties are reposessed due to default. See separate paragraph below for details on reposessed assets.

Past due loans not subject to impairment

The table below shows overdue amounts on loans and overdrafts on credits/deposits and the total residual debt for these loans broken down on the number of days after the due date, assuming a deterioration of customer solvency or unwillingness to pay. Past due loans and overdrafts on credits/deposits are subject to continual monitoring. Loans and guarantees where any objective evidence of impairment exists are reviewed for impairment. Such reviews have also been carried out for the loans included in the table for which no need for impairment has been identified. Past due loans subject to impairment are not included in the table but are included in tables showing impaired loans and guarantees, see note 6 Impaired loans and guarantees for principal customer groups.

| Amounts in NOK million | DNB Bank ASA | | | |
|------------------------|------------------------|--|------------------------|--|
| | 31 December 2017 | | 31 December 2016 | |
| | Past due/ overdrawn | Outstanding balance on past due loans | Past due/ overdrawn | Outstanding balance on past due loans |
| 10-29 days | 694 | 2 410 | 723 | 1 933 |
| 30-59 days | 470 | 452 | 442 | 423 |
| 60-89 days | 23 | 173 | 11 | 159 |
| > 90 days | 113 | 2 747 | 213 | 1 474 |
| Total | 1 300 | 5 782 | 1 389 | 3 989 |

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|------------------------|------------------------|--|------------------------|--|
| | 31 December 2017 | | 31 December 2016 | |
| | Past due/ overdrawn | Outstanding balance on past due loans | Past due/ overdrawn | Outstanding balance on past due loans |
| 10-29 days | 765 | 8 579 | 753 | 7 210 |
| 30-59 days | 496 | 1 121 | 467 | 1 149 |
| 60-89 days | 34 | 349 | 14 | 430 |
| > 90 days | 130 | 3 503 | 222 | 3 265 |
| Total | 1 425 | 13 552 | 1 456 | 12 054 |

Note 5 Credit risk (continued)

Credit exposure of other financial assets

The Group's investments in other financial assets, including commercial paper and bonds, are within market risk limits approved by the Board of Directors. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity, for a description of Markets' international bond portfolio.

Counterparty risk for derivatives

DNB enters into derivative transactions on the basis of customer demand and to hedge positions resulting from such activity. In addition, derivatives are used to hedge positions in the trading portfolio and take positions in the interest rate, currency, commodity and equity markets. In addition, derivatives are used to hedge currency and interest rate risk arising in connection with funding and lending. Derivatives are generally traded "over the counter" (OTC), which means that individual contracts are agreed upon by the parties. The credit risk that arises in connection with derivative trading is included in the DNB Group's overall credit risk measurement.

In order to minimise counterparty risk for individual counterparties, netting agreements and bilateral guarantee agreements have been entered into. Such agreements make it possible to net all positive and negative market values related to contracts entered into against one single counterparty. CSA (Credit Support Annex) agreements are another type of risk-mitigating measure. CSA agreements have been entered into with most major bank counterparties and other financial counterparties, as well as a steadily increasing number of non-financial counterparties. Under these agreements, the market value of all derivative contracts between DNB and the counterparty is settled either daily or weekly, which largely eliminates counterparty risk. These transactions are mostly settled in cash, though government bonds and covered bonds are used as well.

The different interest rate products (interest rate swaps and Forward Rate Agreements (FRAs) in different currencies) are cleared through clearing houses like LCH Clearnet. DNB's counterparty risk on an individual counterparty is thus transferred to the clearing house. Equity forward contracts, securities loans and currency trading for personal customers are monitored and increases/decreases in value are settled daily.

Reposessed properties and other assets – carrying amount

Reposessed assets are assets acquired by units within the banking group as part of the management of non-performing and impaired loans and guarantees. At the time of acquisition, such assets are valued at their estimated realisable value. Any deviation from the carrying amount of non-performing and impaired loans and guarantees at the time of acquisition is classified as impairment on loans. Reposessed assets are recorded in the balance sheet according to the type of asset. When acquiring shares or mutual fund holdings, the assets are evaluated according to the principles described in note 1 Accounting principles. Upon final sale, the difference relative to carrying amount is recognised in the income statement according to the type of asset.

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|--------------|------|--|----------------|---------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| 50 | 28 | Reposessed properties and other reposessed assets as at 1 January | 1 122 | 2 330 |
| 1 | 0 | Property additions | 3 | 217 |
| | | Other asset additions | | 1 |
| | | Reclassified as held for sale ¹⁾ | | (1 087) |
| (23) | (11) | Property disposals | (382) | (335) |
| | | Other asset disposals | | (3) |
| | | Net gains/losses resulting from adjustment to fair value (investment properties) | 168 | (1) |
| 28 | 18 | Reposessed properties and other reposessed assets as at 31 December | 911 | 1 122 |

1) Includes assets in the Baltics, reclassified as held for sale in August 2016.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and deposits designated as at fair value

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 20 959 | 17 185 | Loans and deposits designated as at fair value | 55 373 | 69 487 |
| 20 959 | 17 185 | Total exposure to credit risk | 55 373 | 69 487 |
| 91 | 56 | Value adjustment from credit risk ¹⁾ | 88 | 121 |
| (94) | (35) | Value adjustment from change in credit risk ¹⁾ | (33) | (111) |

1) Credit risk reflected in fair value measurement is based on normalised losses and changes in normalised losses in the relevant portfolio.

Effects of changes in credit margins

Changes in credit margins affected a number of items in the DNB Bank Group's balance sheet:

The DNB Bank Group's fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Unrealised gains, measured relative to swap rates on these loans, came to NOK 65 million at year-end 2017, compared with unrealised losses of NOK 144 million at end-December 2016 reflecting reduced margin requirements. The unrealised gains will be reversed over the remaining term to maturity, provided that there are no changes in the credit status of the loans.

As part of ongoing liquidity management, Markets invests in an international bond portfolio. The holding of such bonds totaled to NOK 80 billion end-December 2017. Unrealised gains in this portfolio amounted to NOK 281 million at end-December 2017, compared with unrealised gains of NOK 45 million at year-end 2016. There was considerable turnover in the portfolio in 2017.

Unrealised gain on the portfolio of Norwegian bonds used for liquidity management came to NOK 410 million at year-end 2017 compared with an unrealised gain of NOK 310 million at end-December 2016.

The DNB Bank Group's long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Margin requirements were reduced in 2017. At end-December 2017, there were unrealised losses of NOK 600 million on long-term borrowings, compared with unrealised losses of NOK 317 million at year-end 2016. Unrealised losses on the DNB Bank Group's liabilities will be reversed over the remaining term to maturity.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups

Loans and commitments as at 31 December 2017

| <i>Amounts in NOK million</i> | Loans and receivables | Guarantees | Unutilised credit lines | DNB Bank ASA Total loans and commitments |
|---|-----------------------|---------------|-------------------------|---|
| Private individuals | 185 452 | 196 | 157 486 | 323 134 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 44 617 | 10 075 | 14 546 | 69 238 |
| Real estate | 159 381 | 4 387 | 33 835 | 197 604 |
| Manufacturing | 45 837 | 18 169 | 29 473 | 93 479 |
| Services | 64 787 | 5 758 | 33 588 | 104 133 |
| Trade | 33 111 | 4 443 | 20 538 | 58 092 |
| Oil and gas | 16 080 | 5 027 | 9 517 | 29 624 |
| Transportation and communication | 36 629 | 8 429 | 13 206 | 58 263 |
| Building and construction | 56 904 | 10 110 | 32 737 | 99 751 |
| Power and water supply | 20 137 | 7 545 | 15 941 | 43 623 |
| Seafood | 17 238 | 139 | 5 032 | 22 409 |
| Hotels and restaurants | 5 787 | 365 | 887 | 7 039 |
| Agriculture and forestry | 4 632 | 43 | 876 | 5 551 |
| Central and local government | 13 439 | 168 | 5 677 | 19 284 |
| Other sectors | 48 847 | 947 | 4 808 | 54 602 |
| Total customers, nominal amount after individual impairment | 732 878 | 75 801 | 377 146 | 1 185 826 |
| – Collective impairment, customers | (2 096) | | | (2 096) |
| + Other adjustments | | (404) | | (404) |
| Loans to customers | 730 782 | 75 398 | 377 146 | 1 183 326 |
| Credit institutions, nominal amount after individual impairment | 580 973 | 7 490 | 111 797 | 700 261 |
| + Other adjustments | | | | |
| Loans to and due from credit institutions | 580 973 | 7 490 | 111 797 | 700 261 |

Loans and commitments as at 31 December 2016

| <i>Amounts in NOK million</i> | Loans and receivables | Guarantees | Unutilised credit lines | DNB Bank ASA Total loans and commitments |
|---|-----------------------|---------------|-------------------------|---|
| Private individuals | 137 962 | 225 | 178 953 | 317 140 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 50 542 | 9 623 | 14 768 | 74 934 |
| Real estate | 148 661 | 2 860 | 26 599 | 178 120 |
| Manufacturing | 46 439 | 22 897 | 32 292 | 101 628 |
| Services | 64 094 | 5 471 | 21 176 | 90 741 |
| Trade | 32 238 | 4 484 | 21 965 | 58 687 |
| Oil and gas | 20 763 | 3 964 | 9 161 | 33 888 |
| Transportation and communication | 38 927 | 9 703 | 15 419 | 64 049 |
| Building and construction | 47 964 | 12 724 | 28 932 | 89 619 |
| Power and water supply | 26 726 | 6 709 | 17 179 | 50 614 |
| Seafood | 15 323 | 199 | 5 835 | 21 359 |
| Hotels and restaurants | 5 713 | 409 | 1 853 | 7 975 |
| Agriculture and forestry | 4 616 | 58 | 1 067 | 5 741 |
| Central and local government | 12 061 | 159 | 5 875 | 18 085 |
| Other sectors | 40 829 | 898 | 4 628 | 46 354 |
| Total customers, nominal amount after individual impairment | 692 848 | 80 383 | 385 703 | 1 158 934 |
| – Collective impairment, customers | (2 787) | | | (2 787) |
| + Other adjustments | | (446) | | (446) |
| Loans to customers | 690 060 | 79 937 | 385 703 | 1 155 701 |
| Credit institutions, nominal amount after individual impairment | 549 089 | 8 296 | 94 089 | 651 474 |
| + Other adjustments | 4 | | | 4 |
| Loans to and due from credit institutions | 549 093 | 8 296 | 94 089 | 651 478 |

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2017

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|---|-----------------------|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| | Loans and receivables | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
| Private individuals | 778 187 | 216 | 224 399 | 1 002 781 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 78 314 | 10 135 | 28 454 | 116 902 |
| Real estate | 198 453 | 4 387 | 33 775 | 236 616 |
| Manufacturing | 76 051 | 18 596 | 59 998 | 154 645 |
| Services | 90 512 | 5 946 | 44 396 | 140 855 |
| Trade | 39 521 | 4 667 | 26 055 | 70 242 |
| Oil and gas | 22 599 | 5 792 | 28 927 | 57 319 |
| Transportation and communication | 59 740 | 8 741 | 28 454 | 96 935 |
| Building and construction | 60 573 | 10 482 | 34 068 | 105 123 |
| Power and water supply | 25 601 | 7 859 | 22 058 | 55 518 |
| Seafood | 20 390 | 139 | 5 546 | 26 074 |
| Hotels and restaurants | 7 389 | 365 | 1 219 | 8 973 |
| Agriculture and forestry | 4 867 | 43 | 1 912 | 6 822 |
| Central and local government | 15 895 | 168 | 8 759 | 24 822 |
| Other sectors | 56 428 | 952 | 3 581 | 60 961 |
| Total customers, nominal amount after individual impairment | 1 534 502 | 78 488 | 551 600 | 2 164 589 |
| – Collective impairment, customers | (3 157) | | | (3 157) |
| + Other adjustments | | (408) | | (408) |
| Loans to customers | 1 531 345 | 78 079 | 551 600 | 2 161 024 |
| Credit institutions, nominal amount after individual impairment | 237 849 | 8 344 | 38 023 | 284 216 |
| + Other adjustments | | | | |
| Loans to and due from credit institutions | 237 849 | 8 344 | 38 023 | 284 216 |

Loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|---|-----------------------|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| | Loans and receivables | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
| Private individuals | 731 134 | 272 | 241 774 | 973 179 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 106 148 | 9 871 | 34 523 | 150 542 |
| Real estate | 189 796 | 2 888 | 26 910 | 219 594 |
| Manufacturing | 77 520 | 23 413 | 68 529 | 169 462 |
| Services | 87 263 | 5 688 | 31 325 | 124 305 |
| Trade | 38 442 | 4 928 | 28 283 | 71 652 |
| Oil and gas | 29 074 | 5 034 | 33 219 | 67 327 |
| Transportation and communication | 62 638 | 9 885 | 27 711 | 100 234 |
| Building and construction | 52 221 | 13 332 | 31 553 | 97 105 |
| Power and water supply | 31 179 | 7 186 | 24 014 | 62 378 |
| Seafood | 16 979 | 202 | 6 494 | 23 664 |
| Hotels and restaurants | 7 451 | 420 | 2 178 | 10 049 |
| Agriculture and forestry | 4 869 | 60 | 2 212 | 7 141 |
| Central and local government | 14 213 | 279 | 9 732 | 24 224 |
| Other sectors | 47 795 | 903 | 2 879 | 51 577 |
| Total customers, nominal amount after individual impairment | 1 496 749 | 84 360 | 571 326 | 2 152 434 |
| – Collective impairment, customers | (4 481) | | | (4 481) |
| + Other adjustments | | (455) | | (455) |
| Loans to customers | 1 492 268 | 83 904 | 571 326 | 2 147 498 |
| Credit institutions, nominal amount after individual impairment | 174 897 | 7 653 | 34 796 | 217 347 |
| + Other adjustments | 11 | | | 11 |
| Loans to and due from credit institutions | 174 908 | 7 653 | 34 796 | 217 357 |

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location

Loans and commitments as at 31 December 2017

DNB Bank ASA

| <i>Amounts in NOK million</i> | Loans to customers | Loans to and receivables from credit institutions | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
|--|--------------------|---|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| Oslo | 149 675 | 207 458 | 11 560 | 269 732 | 638 425 |
| Eastern and southern Norway | 203 123 | 2 | 16 767 | 87 550 | 307 443 |
| Western Norway | 104 520 | 76 | 8 042 | 38 137 | 150 775 |
| Northern and central Norway | 116 334 | 95 | 7 390 | 36 077 | 159 896 |
| Total Norway | 573 652 | 207 631 | 43 760 | 431 497 | 1 256 539 |
| Sweden | 61 503 | 67 696 | 6 610 | 21 898 | 157 707 |
| United Kingdom | 1 150 | 125 681 | 3 299 | 2 099 | 132 229 |
| Other Western European countries | 56 423 | 100 389 | 5 427 | 23 549 | 185 788 |
| Poland | 738 | 10 189 | 292 | 57 | 11 256 |
| Other Eastern European countries | 860 | 920 | 1 002 | 86 | 2 896 |
| Total Europe outside Norway | 120 674 | 304 855 | 16 629 | 47 689 | 489 947 |
| USA and Canada | 1 163 | 41 776 | 13 066 | 3 023 | 59 028 |
| Bermuda and Panama ¹⁾ | 14 567 | 1 | 4 103 | 3 323 | 21 994 |
| Other South and Central American countries | 10 543 | 1 448 | 1 865 | 1 432 | 15 288 |
| Total America | 26 263 | 43 225 | 19 035 | 7 778 | 96 300 |
| Singapore ¹⁾ | 771 | 11 555 | 675 | 82 | 13 083 |
| Hong Kong | 1 060 | 62 | | 2 | 1 124 |
| Other Asian countries | 5 122 | 13 391 | 1 194 | 818 | 20 526 |
| Total Asia | 6 953 | 25 008 | 1 870 | 902 | 34 733 |
| Other African countries | 732 | 241 | 1 708 | 103 | 2 785 |
| Oceania ¹⁾ | 4 604 | 13 | 290 | 975 | 5 883 |
| Commitments | 732 879 | 580 973 | 83 291 | 488 943 | 1 886 086 |
| – Collective impairment | (2 096) | | | | (2 096) |
| + Other adjustments | | | (404) | | (404) |
| Net loans and commitments | 730 782 | 580 973 | 82 888 | 488 943 | 1 883 587 |

¹⁾ Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2016

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Loans to customers | Loans to and receivables from credit institutions | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
|--|--------------------|---|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| Oslo | 140 910 | 201 607 | 11 519 | 255 544 | 610 580 |
| Eastern and southern Norway | 183 345 | 484 | 18 864 | 94 431 | 297 123 |
| Western Norway | 96 069 | 4 | 8 583 | 43 525 | 148 980 |
| Northern and central Norway | 108 627 | 107 | 6 994 | 34 925 | 150 645 |
| Total Norway | 529 750 | 202 202 | 45 950 | 429 425 | 1 207 328 |
| Sweden | 53 188 | 38 473 | 6 354 | 11 097 | 109 112 |
| United Kingdom | 3 278 | 112 989 | 2 485 | 2 817 | 121 579 |
| Other Western European countries | 55 244 | 89 269 | 5 260 | 22 491 | 172 264 |
| Poland | 721 | 10 101 | 208 | 68 | 11 098 |
| Other Eastern European countries | 703 | 15 631 | 1 090 | 44 | 17 469 |
| Total Europe outside Norway | 113 134 | 266 473 | 15 397 | 36 517 | 431 520 |
| USA and Canada | 2 790 | 53 551 | 14 959 | 6 077 | 77 377 |
| Bermuda and Panama ^{f)} | 17 149 | 86 | 3 904 | 2 364 | 23 503 |
| Other South and Central American countries | 14 526 | 1 565 | 2 298 | 1 815 | 20 194 |
| Total America | 34 465 | 55 202 | 21 151 | 10 256 | 121 074 |
| Singapore ^{f)} | 1 742 | 17 686 | 1 021 | 592 | 21 041 |
| Hong Kong | 1 609 | 37 | | 2 | 1 648 |
| Other Asian countries | 5 833 | 6 674 | 2 785 | 1 575 | 16 847 |
| Total Asia | 9 184 | 24 397 | 3 785 | 2 169 | 39 535 |
| Other African countries | 854 | 500 | 2 002 | 35 | 3 391 |
| Oceania ^{f)} | 4 532 | 27 | 393 | 1 391 | 6 343 |
| Commitments | 691 919 | 549 801 | 88 679 | 479 792 | 1 909 191 |
| – Collective impairment | (2 787) | | | | (2 787) |
| + Other adjustments | 929 | 282 | (446) | | 775 |
| Net loans and commitments | 690 060 | 549 093 | 88 233 | 479 792 | 1 807 179 |

f) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2017

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Loans to customers | Loans to and receivables from credit institutions | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
|--|--------------------|---|------------|-------------------------|-----------------------------|
| Oslo | 312 107 | 8 240 | 11 554 | 209 690 | 541 590 |
| Eastern and southern Norway | 504 438 | 2 | 16 767 | 120 203 | 641 411 |
| Western Norway | 198 797 | 0 | 8 059 | 49 110 | 255 966 |
| Northern and central Norway | 209 590 | 95 | 7 390 | 44 501 | 261 577 |
| Total Norway | 1 224 932 | 8 337 | 43 770 | 423 505 | 1 700 544 |
| Sweden | 91 342 | 27 478 | 6 611 | 49 932 | 175 364 |
| United Kingdom | 18 766 | 87 287 | 4 127 | 15 762 | 125 942 |
| Other Western European countries | 90 423 | 97 592 | 5 793 | 34 223 | 218 030 |
| Poland | 17 593 | 29 | 1 535 | 2 468 | 21 625 |
| Other Eastern European countries | 1 201 | 922 | 1 002 | 253 | 3 378 |
| Total Europe outside Norway | 209 325 | 213 308 | 19 069 | 102 637 | 544 340 |
| USA and Canada | 32 625 | 963 | 14 138 | 48 770 | 96 496 |
| Bermuda and Panama ¹⁾ | 20 968 | 1 | 4 104 | 4 878 | 29 950 |
| Other South and Central American countries | 13 582 | 1 448 | 1 868 | 3 731 | 20 629 |
| Total America | 67 175 | 2 411 | 20 110 | 57 379 | 147 075 |
| Singapore ¹⁾ | 4 243 | 95 | 675 | 184 | 5 197 |
| Hong Kong | 1 588 | 62 | | 3 | 1 653 |
| Other Asian countries | 5 888 | 13 391 | 1 196 | 1 205 | 21 680 |
| Total Asia | 11 719 | 13 538 | 1 871 | 1 391 | 28 520 |
| Other African countries | 5 910 | 241 | 1 708 | 982 | 8 841 |
| Oceania ¹⁾ | 15 441 | 13 | 303 | 3 728 | 19 485 |
| Commitments | 1 534 502 | 237 849 | 86 832 | 589 623 | 2 448 805 |
| - Collective impairment | (3 157) | | | | (3 157) |
| + Other adjustments | | | (408) | | (408) |
| Net loans and commitments | 1 531 345 | 237 849 | 86 423 | 589 623 | 2 445 240 |

¹⁾ Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Loans to customers | Loans to and receivables from credit institutions | Guarantees | Unutilised credit lines | Total loans and commitments |
|--|--------------------|---|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| Oslo | 288 216 | 6 935 | 11 494 | 211 067 | 517 712 |
| Eastern and southern Norway | 477 693 | 484 | 18 884 | 124 944 | 621 985 |
| Western Norway | 191 155 | 10 | 8 588 | 53 872 | 253 625 |
| Northern and central Norway | 201 374 | 107 | 6 984 | 42 930 | 251 395 |
| Total Norway | 1 158 437 | 7 536 | 45 932 | 432 814 | 1 644 719 |
| Sweden | 82 005 | 5 173 | 6 355 | 34 497 | 128 030 |
| United Kingdom | 17 936 | 68 518 | 2 519 | 16 360 | 105 334 |
| Other Western European countries | 84 426 | 82 333 | 5 635 | 31 587 | 203 981 |
| Poland | 16 444 | 323 | 813 | 2 355 | 19 935 |
| Other Eastern European countries | 968 | 895 | 1 425 | 5 483 | 8 760 |
| Total Europe outside Norway | 201 779 | 157 232 | 16 747 | 90 282 | 466 040 |
| USA and Canada | 43 688 | 1 090 | 16 953 | 67 207 | 128 938 |
| Bermuda and Panama ²⁾ | 26 269 | 86 | 3 904 | 3 629 | 33 887 |
| Other South and Central American countries | 18 128 | 1 569 | 2 291 | 4 697 | 26 685 |
| Total America | 88 085 | 2 745 | 23 148 | 75 533 | 189 510 |
| Singapore ²⁾ | 8 680 | 39 | 1 021 | 217 | 9 957 |
| Hong Kong | 2 525 | 37 | | 180 | 2 742 |
| Other Asian countries | 6 674 | 6 614 | 2 766 | 1 988 | 18 042 |
| Total Asia | 17 880 | 6 690 | 3 787 | 2 386 | 30 742 |
| Other African countries | 9 964 | 500 | 2 002 | 552 | 13 018 |
| Oceania ²⁾ | 18 634 | 27 | 397 | 4 556 | 23 614 |
| Commitments | 1 494 779 | 174 729 | 92 012 | 606 122 | 2 367 643 |
| – Collective impairment | (4 481) | | | | (4 481) |
| + Other adjustments | 1 970 | 179 | (455) | | 1 694 |
| Net loans and commitments | 1 492 268 | 174 908 | 91 557 | 606 122 | 2 364 855 |

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

2) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 8 Impaired loans and guarantees for principal customer groups ^{1) 2)}

| Amounts in NOK million | DNB Bank ASA | | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------------|--------------|
| | Gross impaired loans and guarantees | | Total individual impairment | | Net impaired loans and guarantees | |
| | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Private individuals | 1 937 | 1 871 | (578) | (797) | 1 358 | 1 074 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 1 848 | 3 517 | (946) | (1 436) | 902 | 2 081 |
| Real estate | 1 206 | 1 787 | (518) | (564) | 688 | 1 223 |
| Manufacturing | 1 972 | 3 596 | (862) | (1 181) | 1 110 | 2 405 |
| Services | 936 | 1 453 | (469) | (682) | 467 | 771 |
| Trade | 2 158 | 1 098 | (761) | (370) | 1 397 | 728 |
| Oil and gas | 3 805 | 4 368 | (1 038) | (744) | 2 767 | 3 625 |
| Transportation and communication | 2 166 | 3 341 | (554) | (1 203) | 1 612 | 2 138 |
| Building and construction | 952 | 1 178 | (400) | (488) | 552 | 691 |
| Power and water supply | 1 596 | 23 | (867) | (13) | 730 | 10 |
| Seafood | 27 | 61 | (16) | (16) | 11 | 44 |
| Hotels and restaurants | 48 | 49 | (24) | (22) | 24 | 27 |
| Agriculture and forestry | 68 | 50 | (30) | (28) | 37 | 22 |
| Central and local government | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| Other sectors | 2 | 6 | (1) | (2) | 1 | 4 |
| Total customers | 18 721 | 22 389 | (7 064) | (7 547) | 11 657 | 14 843 |
| Credit institutions | | | | | | |
| Total impaired loans and guarantees | 18 721 | 22 389 | (7 064) | (7 547) | 11 657 | 14 843 |
| Non-performing loans and guarantees not subject to impairment | 1 920 | 1 953 | | | 1 920 | 1 953 |
| Total non-performing and impaired loans and guarantees | 20 640 | 24 342 | (7 064) | (7 547) | 13 576 | 16 796 |

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------------|--------------|
| | Gross impaired loans and guarantees | | Total individual impairment | | Net impaired loans and guarantees | |
| | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Private individuals | 2 724 | 3 898 | (695) | (1 617) | 2 029 | 2 281 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 2 787 | 4 995 | (1 407) | (2 247) | 1 381 | 2 748 |
| Real estate | 1 220 | 2 760 | (531) | (934) | 689 | 1 826 |
| Manufacturing | 2 892 | 5 800 | (1 112) | (1 814) | 1 780 | 3 986 |
| Services | 947 | 1 508 | (477) | (712) | 469 | 797 |
| Trade | 2 177 | 1 255 | (779) | (465) | 1 398 | 790 |
| Oil and gas | 3 805 | 4 368 | (1 038) | (744) | 2 767 | 3 625 |
| Transportation and communication | 3 334 | 5 528 | (1 391) | (1 623) | 1 943 | 3 905 |
| Building and construction | 1 049 | 1 446 | (494) | (607) | 556 | 749 |
| Power and water supply | 2 571 | 539 | (1 228) | (154) | 1 343 | 385 |
| Seafood | 27 | 61 | (16) | (16) | 11 | 44 |
| Hotels and restaurants | 48 | 104 | (24) | (43) | 24 | 61 |
| Agriculture and forestry | 68 | 157 | (31) | (50) | 38 | 107 |
| Central and local government | 0 | 0 | | (0) | 0 | 0 |
| Other sectors | 2 | 29 | (1) | (10) | 1 | 19 |
| Total customers | 23 652 | 32 450 | (9 224) | (11 126) | 14 427 | 21 323 |
| Credit institutions | | | | | | |
| Total impaired loans and guarantees | 23 652 | 32 450 | (9 224) | (11 126) | 14 427 | 21 323 |
| Non-performing loans and guarantees not subject to impairment | 2 840 | 4 320 | | | 2 840 | 4 320 |
| Total non-performing and impaired loans and guarantees | 26 491 | 36 770 | (9 224) | (11 126) | 17 267 | 25 644 |

1) Includes loans and guarantees subject to individual impairment and total non-performing loans and guarantees not subject to impairment. The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

2) The DNB Bank Group figures for 2016 includes volumes in the Baltics, reclassified as assets held for sale in August 2016, of which net non-performing and net doubtful loans and guarantees totalled NOK 2 256 million at end-December 2016.

Note 9 Impairment of loans and guarantees

| Amounts in NOK million | 2017 | | | 2016 | | |
|---|---------------------|------------|---------|---------------------|------------|---------|
| | Loans ¹⁾ | Guarantees | Total | Loans ¹⁾ | Guarantees | Total |
| | | | | | | |
| Write-offs | (1 312) | | (1 312) | (973) | | (973) |
| New/increased individual impairment | (2 964) | (218) | (3 182) | (3 939) | (420) | (4 260) |
| Total new/increased individual impairment | (4 276) | (218) | (4 494) | (4 713) | (420) | (5 133) |
| Reassessed individual impairment previous years | 1 515 | 212 | 1 727 | 540 | 74 | 614 |
| Recoveries on loans and guarantees previously written off ²⁾ | 155 | | 155 | 957 | | 957 |
| Net individual impairment | (2 606) | (6) | (2 612) | (3 216) | (346) | (3 562) |
| Changes in collective impairment of loans | 675 | | 675 | (1 117) | | (1 117) |
| Impairment of loans and guarantees | (1 931) | (6) | (1 937) | (4 333) | (346) | (4 679) |
| Write-offs covered by individual impairment made in previous years | 2 371 | 54 | 2 425 | 1 278 | | 1 278 |

| Amounts in NOK million | 2017 | | | 2016 | | |
|---|---------------------|------------|---------|---------------------|------------|---------|
| | Loans ¹⁾ | Guarantees | Total | Loans ¹⁾ | Guarantees | Total |
| | | | | | | |
| Write-offs | (1 662) | | (1 662) | (1 359) | | (1 359) |
| New/increased individual impairment | (4 227) | (218) | (4 445) | (5 490) | (420) | (5 910) |
| Total new/increased individual impairment | (5 889) | (218) | (6 106) | (6 849) | (420) | (7 269) |
| Reassessed individual impairment | 1 950 | 212 | 2 162 | 913 | 76 | 990 |
| Recoveries on loans and guarantees previously written off ²⁾ | 249 | | 249 | 999 | | 999 |
| Net individual impairment | (3 690) | (6) | (3 696) | (4 937) | (344) | (5 280) |
| Changes in collective impairment of loans | 1 268 | | 1 268 | (2 144) | | (2 144) |
| Impairment of loans and guarantees | (2 422) | (6) | (2 428) | (7 080) | (344) | (7 424) |
| Write-offs covered by individual impairment made in previous years | 3 232 | 54 | 3 286 | 2 803 | | 2 803 |

1) Including impairment of loans at fair value.

2) Recoveries in 2016 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway.

Note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups

| DNB Bank ASA | | | | | | | | |
|---|---------------------------|----------------------------------|---|----------------|---------------------------|----------------------------------|---|----------------|
| Amounts in NOK million | 2017 | | | | 2016 | | | |
| | New individual impairment | Reassessed individual impairment | Recoveries on loans and guarantees previously written off | Net impairment | New individual impairment | Reassessed individual impairment | Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾ | Net impairment |
| Private individuals | (560) | 269 | 106 | (185) | (581) | 32 | 910 | 361 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | (582) | 164 | 12 | (406) | (1 000) | 52 | 12 | (936) |
| Real estate | (152) | 197 | 13 | 49 | (144) | 74 | 12 | (57) |
| Manufacturing | (274) | 362 | 5 | 94 | (891) | 123 | 1 | (768) |
| Services | (373) | 228 | 2 | (143) | (338) | 149 | 1 | (187) |
| Trade | (885) | 114 | 1 | (769) | (128) | 42 | 8 | (78) |
| Oil and gas | (435) | 84 | | (352) | (716) | 0 | | (716) |
| Transportation and communication | (355) | 209 | 6 | (139) | (1 011) | 16 | 3 | (992) |
| Building and construction | (125) | 99 | 3 | (23) | (297) | 42 | 2 | (253) |
| Power and water supply | (738) | 0 | 5 | (733) | (2) | 52 | 6 | 56 |
| Seafood | (2) | 3 | 0 | 2 | (10) | 1 | 0 | (9) |
| Hotels and restaurants | (9) | 4 | 1 | (4) | (1) | 5 | 1 | 5 |
| Agriculture and forestry | (4) | 1 | 0 | (3) | (13) | 24 | 0 | 11 |
| Central and local government | (0) | | | (0) | (0) | 0 | | (0) |
| Other sectors | (1) | 1 | 0 | 0 | (1) | 0 | 0 | (1) |
| Total customers | (4 494) | 1 727 | 155 | (2 612) | (5 133) | 614 | 957 | (3 562) |
| Credit institutions | | | | | | | | |
| Changes in collective impairment of loans | | | | 675 | | | | (1 117) |
| Impairment of loans and guarantees | (4 494) | 1 727 | 155 | (1 937) | (5 133) | 614 | 957 | (4 679) |
| Of which individual impairment of guarantees | (218) | 212 | | (6) | (420) | 74 | | (346) |

| DNB Bank Group | | | | | | | | |
|---|---------------------------|----------------------------------|---|----------------|---------------------------|----------------------------------|---|----------------|
| Amounts in NOK million | 2017 | | | | 2016 | | | |
| | New individual impairment | Reassessed individual impairment | Recoveries on loans and guarantees previously written off | Net impairment | New individual impairment | Reassessed individual impairment | Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾ | Net impairment |
| Private individuals | (715) | 401 | 174 | (140) | (845) | 210 | 942 | 308 |
| Transportation by sea and pipelines and vessel construction | (782) | 294 | 12 | (476) | (1 555) | 52 | 12 | (1 491) |
| Real estate | (176) | 203 | 23 | 50 | (227) | 190 | 14 | (33) |
| Manufacturing | (308) | 487 | 6 | 186 | (1 258) | 153 | 2 | (1 104) |
| Services | (387) | 233 | 11 | (143) | (344) | 158 | 5 | (181) |
| Trade | (896) | 122 | 2 | (772) | (145) | 53 | 10 | (82) |
| Oil and gas | (435) | 84 | | (352) | (819) | 0 | | (819) |
| Transportation and communication | (1 331) | 216 | 11 | (1 104) | (1 554) | 38 | 4 | (1 512) |
| Building and construction | (132) | 102 | 4 | (26) | (325) | 55 | 4 | (266) |
| Power and water supply | (926) | 2 | 5 | (920) | (148) | 52 | 6 | (90) |
| Seafood | (2) | 3 | 0 | 2 | (10) | 1 | 0 | (9) |
| Hotels and restaurants | (9) | 5 | 1 | (4) | (7) | 7 | 1 | 1 |
| Agriculture and forestry | (7) | 8 | 1 | 1 | (30) | 27 | 0 | (3) |
| Central and local government | (0) | | | (0) | (0) | 0 | | (0) |
| Other sectors | (1) | 2 | 0 | 0 | (2) | 2 | 0 | 1 |
| Total customers | (6 106) | 2 162 | 249 | (3 695) | (7 269) | 990 | 999 | (5 280) |
| Credit institutions | | | | | | | | |
| Changes in collective impairment of loans | | | | 1 268 | | | | (2 144) |
| Impairment of loans and guarantees | (6 106) | 2 162 | 249 | (2 428) | (7 269) | 990 | 999 | (7 424) |
| Of which individual impairment of guarantees | (218) | 212 | | (6) | (420) | 75 | | (344) |

1) Recoveries in 2016 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway.

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 11 Developments in impairment of loans and guarantees

| DNB Bank ASA | | | | | | | | |
|---|------------------------------|--------------------|------------|----------|------------------------------|--------------------|------------|----------|
| Amounts in NOK million | 2017 | | | | 2016 | | | |
| | Loans to credit institutions | Loans to customers | Guarantees | Total | Loans to credit institutions | Loans to customers | Guarantees | Total |
| Impairment as at 1 January | | (9 808) | (526) | (10 334) | | (6 779) | (176) | (6 955) |
| New impairment | | (1 620) | (105) | (1 726) | | (2 833) | (403) | (3 236) |
| Increased impairment | | (1 344) | (112) | (1 456) | | (1 006) | (17) | (1 023) |
| Reassessed impairment | | 1 515 | 212 | 1 727 | | 540 | 74 | 614 |
| Write-offs covered by previous impairment | | 2 371 | 54 | 2 425 | | 1 278 | | 1 278 |
| Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation | | | | | | | | |
| Changes in collective impairment | | 675 | | 675 | | (1 117) | | (1 117) |
| Changes due to exchange rate movement | | (441) | (30) | (470) | | 111 | (4) | 107 |
| Impairment as at 31 December | | (8 652) | (508) | (9 160) | | (9 808) | (526) | (10 334) |
| Of which: Individual impairment | | (6 151) | (508) | (6 658) | | (6 646) | (526) | (7 173) |
| Individual impairment of accrued interest and amortisation | | (406) | | (406) | | (374) | | (374) |
| Collective impairment | | (2 096) | | (2 096) | | (2 787) | | (2 787) |

| DNB Bank Group | | | | | | | | |
|---|------------------------------|--------------------|------------|----------|------------------------------|--------------------|------------|----------|
| Amounts in NOK million | 2017 | | | | 2016 | | | |
| | Loans to credit institutions | Loans to customers | Guarantees | Total | Loans to credit institutions | Loans to customers | Guarantees | Total |
| Impairment as at 1 January | | (13 541) | (529) | (14 070) | | (11 654) | (181) | (11 835) |
| New impairment | | (1 855) | (105) | (1 960) | | (4 012) | (403) | (4 415) |
| Increased impairment | | (2 173) | (112) | (2 285) | | (1 478) | (17) | (1 495) |
| Reassessed impairment | | 1 765 | 212 | 1 977 | | 913 | 76 | 990 |
| Write-offs covered by previous impairment | | 3 232 | 54 | 3 286 | | 2 803 | | 2 803 |
| Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation | | | | | | | | |
| Changes in collective impairment | | 1 271 | | 1 271 | | (2 144) | | (2 144) |
| Baltics, reclassified as assets held for sale | | | | | | 1 649 | | 1 649 |
| Changes due to exchange rate movement | | (588) | (30) | (618) | | 392 | (4) | 388 |
| Impairment as at 31 December | | (11 870) | (511) | (12 381) | | (13 541) | (529) | (14 070) |
| Of which: Individual impairment | | (8 234) | (511) | (8 745) | | (8 566) | (529) | (9 095) |
| Individual impairment of accrued interest and amortisation | | (480) | | (480) | | (494) | | (494) |
| Collective impairment | | (3 157) | | (3 157) | | (4 481) | | (4 481) |

Note 12 Market risk

Market risk is the risk of losses or reduced future income due to fluctuations in market prices or exchange rates. The risk arises as a consequence of the banking groups unhedged transactions and exposure in the foreign exchange, property, interest rate, commodity, credit and equity markets. The risk level reflects market price volatility and the positions taken.

DNB quantifies risk by calculating economic capital for individual risk categories and for the banking group's overall risk, see note 4 Risk management. Economic capital for market risk should, at a confidence level of 99.9 per cent, cover all potential losses related to market risk. The model has a one-year time horizon. Exposure included in the model could be either actual exposure or limits.

Calculations of economic capital for market risk in the banking group represent an assessment of the risk associated with financial instruments. Economic capital for total market risk in the banking group at year-end 2017 was NOK 7.6 billion, compared with NOK 5.7 billion in 2016. The increase was mainly due to the fact that the investment in Luminor Group AB is treated as market risk, while economic capital for DNB's former activities in the Baltics was divided between market risk, credit risk, business risk and operational risk. Most of the market risk stems from banking activities and counts for 85 per cent of total market risk. Market risk for operational activities and pension commitments count for 14 per cent and 1 per cent respectively.

Note 13 Interest rate sensitivity

Interest rate sensitivity for different time intervals

The value of items on and off the balance sheet is affected by interest rate movements. The table shows potential losses for the DNB Bank Group excluding Baltics and Poland resulting from parallel one percentage point changes in all interest rates. The calculations are based on a hypothetical situation where interest rate movements in all currencies are unfavourable for the DNB Bank Group relative to the bank's positions. Also, all interest rate movements within the same interval will be unfavourable for the banking group. The figures will thus reflect maximum losses for the DNB Bank Group.

The calculations are based on the banking group's positions as at 31 December and market rates on the same date. The table does not include administrative interest rate risk and interest rate risk tied to non-interest-earning assets.

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group ¹⁾ | | | | | |
|-------------------------|------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|-------|
| | Up to 1 month | From 1 months to 3 months | From 3 months to 1 year | From 1 year to 5 years | Over 5 years | Total |
| 31 December 2017 | | | | | | |
| NOK | 382 | 117 | 350 | 175 | 194 | 94 |
| USD | 51 | 47 | 52 | 23 | 53 | 77 |
| EUR | 42 | 117 | 48 | 7 | 2 | 129 |
| GBP | 3 | 6 | 10 | 1 | 2 | 3 |
| SEK | 33 | 14 | 6 | 27 | 5 | 21 |
| Other currencies | 17 | 20 | 13 | 7 | 12 | 48 |
| 31 December 2016 | | | | | | |
| NOK | 494 | 152 | 227 | 765 | 653 | 227 |
| USD | 91 | 14 | 357 | 19 | 82 | 179 |
| EUR | 72 | 3 | 32 | 2 | 20 | 22 |
| GBP | 2 | 38 | 11 | 6 | 1 | 55 |
| SEK | 15 | 6 | 36 | 33 | 22 | 28 |
| Other currencies | 8 | 15 | 35 | 9 | 16 | 55 |

1) The figures do not include the operations in Baltics and Poland, and are for the rest identical for DNB Bank ASA.

Note 14 Currency positions

The table shows net currency positions as at 31 December, including financial derivatives as defined by Norges Bank. Net positions in individual currencies may represent up to 15 per cent of eligible primary capital. Aggregate currency positions must be within 30 per cent of eligible primary capital. Foreign exchange risk related to investments in subsidiaries is included in the currency position by the amount recorded in the accounts.

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | | |
|------------------------|---------|--------------------------|------------------------|---------|--|
| Net currency positions | | Amounts in NOK million | Net currency positions | | |
| 31 Dec. | 31 Dec. | | 31 Dec. | 31 Dec. | |
| 2016 | 2017 | | 2017 | 2016 | |
| 1 071 | 1 212 | USD | 1 213 | 1 068 | |
| (320) | 140 | EUR | 140 | (316) | |
| (17) | 52 | GBP | 52 | (16) | |
| 20 | 7 | SEK | 7 | 19 | |
| 20 | (13) | DKK | (13) | 20 | |
| 14 | 4 | CHF | 4 | 14 | |
| 6 | 9 | JPY | 9 | 6 | |
| 121 | 165 | Other | 165 | 122 | |
| 914 | 1 575 | Total foreign currencies | 1 575 | 916 | |

Note 15 Financial derivatives

General information on application of financial derivatives

Financial derivatives are contracts stipulating financial values in the form of interest rate terms, exchange rates and the value of equity instruments for fixed periods of time. Corresponding contracts stipulating prices on commodities and indexes are also defined as financial derivatives. Derivatives include swaps, forward contracts and options as well as combinations thereof, including forward rate agreements (FRAs), financial futures and agreements on the transfer of securities. Financial derivatives in the DNB Bank Group are traded to manage liquidity and market risk arising from the banking group's ordinary operations. In addition, the banking group employs financial derivatives in its own account trading.

"Over the counter" (OTC) derivatives are contracts entered into outside an exchange. The contracts are tailor-made according to investor requirements with respect to the underlying object, quantity, price, expiration terms and maturity. The advantage of OTC derivatives is that customers are not limited to standardised contracts and can buy the precise position they wish. The disadvantage compared with the standardised market is that it can be difficult to find other contracting parties and to sell the contracts in the secondary market.

The following derivatives are employed for both trading and hedging purposes in the DNB Bank Group:

- **Forward contracts:** a contract to buy or sell interest rate terms, amounts in foreign currencies, shares or commodities on a specified future date at a fixed price. Forward contracts are tailor-made contracts traded between counterparties in the OTC market.
- **FRAs:** agreements that fix the interest rate for a future period for an agreed amount. When the contract matures, only the difference between the agreed interest rate and the actual market interest rate is exchanged.
- **Interest rate futures:** standardised contracts where the counterparties agree to exchange specific interest rate instruments at a fixed price on a specified date. The contracts are traded on an exchange. The value of interest rate futures follows the price trend on underlying interest rate instruments.
- **Swaps:** transactions where two parties exchange cash flows on a fixed amount over an agreed period. The majority of swaps are tailor-made and traded outside exchanges. The most important types of swaps traded by DNB are:
 - interest rate swaps in which fixed interest rates are exchanged for floating rates or floating rates are exchanged for fixed rates
 - cross-currency interest rate swaps in which parties exchange both currency and interest payments
 - equity swaps in which interest rate returns are exchanged for equity returns
- **Options:** agreements giving the buyer the right, but not the obligation, to either buy (call option) or sell (put option) a specific quantity of a financial instrument or commodity at a predetermined and fixed price. The buyer pays a premium to the seller for this right. Options are traded both as OTCs (tailor-made) and as standardised contracts.

Note 15 Financial derivatives (continued)

The tables show nominal values on financial derivatives according to type of derivative as well as positive and negative market values. Positive market values are entered as assets in the balance sheet, whereas negative market values are entered as liabilities. See note 1 Accounting principles for a more detailed description of measurement of financial derivatives.

| | 31 December 2017 | | | 31 December 2016 | | |
|--|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | Total nominal values | Positive market value | Negative market value | Total nominal values | Positive market value | Negative market value |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | | |
| Interest rate contracts | | | | | | |
| FRA-contracts | 1 009 324 | 219 | 263 | 868 943 | 415 | 383 |
| Swaps | 3 215 991 | 68 653 | 64 064 | 3 110 072 | 86 127 | 78 776 |
| OTC options | 49 133 | 597 | 591 | 46 508 | 757 | 725 |
| Other OTC contracts | | | | | | |
| Total interest rate contracts | 4 274 448 | 69 469 | 64 918 | 4 025 522 | 86 299 | 79 884 |
| Foreign exchange contracts | | | | | | |
| Forward contracts | 24 027 | 6 736 | 5 814 | 79 463 | 2 689 | 1 125 |
| Swaps | 1 258 893 | 29 322 | 66 873 | 1 699 372 | 41 217 | 60 058 |
| OTC options | 25 929 | 1 454 | 1 158 | 32 597 | 533 | 330 |
| Total foreign exchange contracts | 1 308 849 | 37 512 | 73 645 | 1 811 431 | 44 439 | 61 513 |
| Equity-related contracts | | | | | | |
| Forward contracts | 4 928 | 2 068 | 1 291 | 2 057 | 2 156 | 1 528 |
| OTC options | 1 321 | 164 | 22 | 2 104 | 163 | 2 |
| Total OTC derivatives | 6 249 | 2 232 | 1 313 | 4 161 | 2 319 | 1 530 |
| Futures | 523 | | 0 | 732 | | 0 |
| Options | 3 423 | 126 | 91 | 4 573 | 106 | 77 |
| Total exchange-traded contracts | 3 946 | 126 | 91 | 5 305 | 106 | 77 |
| Total equity-related contracts | 10 195 | 2 358 | 1 405 | 9 466 | 2 425 | 1 607 |
| Commodity-related contracts | | | | | | |
| Swaps and options | 33 235 | 2 669 | 2 334 | 30 682 | 3 542 | 2 738 |
| Total commodity related contracts | 33 235 | 2 669 | 2 334 | 30 682 | 3 542 | 2 738 |
| Collateral pledged/received | | | | | | |
| Total collateral pledged/received | | 34 944 | 37 232 | | 33 612 | 36 072 |
| Total financial derivatives | 5 626 727 | 146 953 | 179 534 | 5 877 101 | 170 317 | 181 794 |
| Of which: Applied for hedge accounting | 133 849 | 8 606 | 1 210 | 151 044 | 10 795 | 1 189 |
| - Interest rate swaps | | 8 056 | 738 | | 10 033 | 541 |
| - Cross-currency interest rate swaps | | 551 | 471 | | 762 | 648 |

Note 15 Financial derivatives (continued)

| | 31 December 2017 | | | 31 December 2016 | | |
|---|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | Total nominal values | Positive market value | Negative market value | Total nominal values | Positive market value | Negative market value |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | | |
| Interest rate contracts | | | | | | |
| FRA-contracts | 1 009 324 | 219 | 263 | 868 943 | 415 | 363 |
| Swaps | 2 830 178 | 66 054 | 9 011 | 2 777 620 | 83 109 | 39 906 |
| OTC options | 49 133 | 597 | 591 | 45 882 | 757 | 725 |
| Other OTC contracts | 57 | ■ | 8 | | | |
| Total interest rate contracts | 3 888 693 | 68 879 | 9 873 | 3 692 445 | 84 280 | 40 994 |
| Foreign exchange contracts | | | | | | |
| Forward contracts | 27 695 | 6 798 | 5 630 | 80 958 | 2 717 | 1 126 |
| Swaps | 889 154 | 17 775 | 54 584 | 1 349 007 | 30 891 | 48 470 |
| OTC options | 25 929 | 1 454 | 1 158 | 32 597 | 533 | 330 |
| Total foreign exchange contracts | 942 778 | 26 027 | 61 373 | 1 462 562 | 34 141 | 49 926 |
| Equity-related contracts | | | | | | |
| Forward contracts | 4 828 | 2 098 | 1 291 | 2 057 | 2 156 | 1 528 |
| OTC options | 1 336 | 344 | 22 | 2 104 | 163 | 2 |
| Total OTC derivatives | 6 264 | 2 442 | 1 314 | 4 161 | 2 319 | 1 530 |
| Futures | 523 | | 0 | 732 | | 0 |
| Options | 3 423 | 126 | 91 | 4 573 | 106 | 77 |
| Total exchange-traded contracts | 3 946 | 126 | 91 | 5 305 | 106 | 77 |
| Total equity-related contracts | 10 210 | 2 538 | 1 405 | 9 466 | 2 425 | 1 607 |
| Commodity-related contracts | | | | | | |
| Swaps and options | 33 235 | 2 669 | 2 334 | 30 473 | 3 541 | 2 707 |
| Total commodity related contracts | 33 235 | 2 669 | 2 334 | 30 473 | 3 541 | 2 707 |
| Collateral pledged/received | | | | | | |
| Total collateral pledged/received | | 34 537 | 37 035 | | 33 570 | 36 756 |
| Total financial derivatives | 4 874 916 | 132 649 | 112 020 | 5 194 946 | 157 957 | 130 990 |
| <i>Of which: Applied for hedge accounting</i> | <i>466 911</i> | <i>26 331</i> | <i>3 265</i> | <i>453 134</i> | <i>33 038</i> | <i>2 195</i> |
| - Interest rate swaps | | 25 781 | 2 794 | | 32 275 | 1 546 |
| - Cross-currency interest rate swaps | | 551 | 471 | | 762 | 648 |

Use of financial derivatives

Markets acts as market maker and is obliged to furnish both offer and bid prices for specified option, forward or futures series with a maximum differential between the offer and bid price, together with a minimum volume. Market makers always trade for their own account. The purpose of own account trading, in addition to being a market maker, is position taking, which means intentional risk-taking within the foreign exchange, interest rate and equity markets to achieve profits arising from favourable price, exchange rate and index fluctuations. Arbitrage, that is profit taking from fluctuations in prices, exchange rates and indices for the same product in various markets, is also part of own-account trading.

Customer trading entails structuring and marketing financial derivatives for customers, enabling them to transfer, modify, take or reduce prevailing or expected risk. The majority of derivative transactions relate to customer trading.

The DNB Bank Group uses interest rate and currency swaps to convert foreign currency borrowings into the desired currency. As a typical example, the bank raises a loan in euro, which is swapped to US dollars through a basis swap. In this case, the bank will pay a US dollar interest rate based on a swap curve and receive a euro interest rate reduced or increased by a margin. These derivatives are carried at fair value. There may be significant variations in the value of the basis swaps from day to day, due to changes in basis swap spreads. This unhedged risk causes unrealised gains and losses. For the year 2017, there was a NOK 672 million decrease in value (negative effect on profits), compared with a NOK 542 million decrease in value in 2016.

Risk related to financial derivatives

Derivatives are traded in portfolios which also include balance sheet products. The market risk on derivatives is handled, monitored and controlled as an integral part of the market risk of these portfolios. See notes 4 Risk management and 12 Market risk. Derivatives are traded with many different counterparties and most of these are also engaged in other types of business with DNB. The credit risk arising in connection with derivatives trading is included in the total credit risk of the DNB Bank Group. Netting agreements or bilateral agreements on collateral are entered into with a number of counterparties, thus reducing credit risk. The authorities' capital adequacy requirements take into account such agreements, resulting in a reduction of capital adequacy requirements. See note 5 Credit risk for a description of counter-party risk.

Note 16 Liquidity risk

Liquidity risk is the risk that the DNB Bank Group will be unable to meet its payment obligations. Overall liquidity management in the banking group implies that DNB Bank ASA is responsible for funding domestic and international group entities. Liquidity risk is managed and measured by means of various measurement techniques.

The Board of Directors has approved internal limits which restrict the short-term maturity of liabilities within different time frames. The various maturities are subject to stress testing based on a bank-specific crisis, a systemic crisis and a combination thereof, and a contingency plan has been established to handle market events. In addition, limits have been set for structural liquidity risk, which implies that lending to customers should largely be financed through customer deposits, subordinated capital and long-term funding. Ordinary senior bond debt and covered bonds are the major sources of long-term funding. The banking group's ratio of deposits to net loans was 64.0 per cent at end-December 2017, up from 63.4 per cent a year earlier. The ratio of deposits to net loans in DNB Bank ASA was 130.9 per cent at end-December 2017.

The short-term funding markets were generally sound throughout the year. New regulatory reforms for US money market funds were introduced, and the short-term funding market normalised during 2017 compared with 2016. Due to an increase in short-term interest rates, prices rose somewhat during the year, which resulted in slightly higher short-term funding costs for banks. As the markets stabilised, investors regarded an increasing number of banks as attractive. DNB had ample access to short-term funding throughout 2017.

The markets for long-term funding proved to be better than many assumed at the start of 2017. The first quarter of the year showed the highest level of activity in the market, as most issuers wanted to enter the market before the political elections in Europe. However, the long-term funding market generally functioned well throughout 2017. The market for covered bonds was still dominated by the European Central Bank's, ECB, asset purchase programme. In November, the ECB announced a gradual reduction in its asset purchases, which was well received in the market, as many had feared a more aggressive de-escalation plan beforehand. Total issue volumes of covered and senior bonds were somewhat lower in 2017 than in 2016. In particular the latter have largely been replaced by so-called non-preferred senior bonds in order to adapt to the coming MREL regulations (minimum requirement of own funds and eligible liabilities). There was a considerably higher level of activity in the market for subordinated loans than in 2016, partly due to regulatory requirements and partly due to favourable prices for the issuers. DNB had good access to long-term funding in 2017, and funding costs on covered bonds and ordinary senior debt were further reduced during the year.

The short-term liquidity requirement, Liquidity Coverage Ratio (LCR), remained stable at above 100 per cent throughout the year. At end-December, the total LCR was 117 per cent, with an LCR of 191 per cent for EUR, 137 per cent for USD and 93 per cent for NOK.

The average remaining term to maturity for the portfolio of senior bond debt and covered bonds was 4.0 years at end-December 2017, up from 3.9 a year earlier. The DNB Group aims to maintain a sound and stable maturity structure for funding over the next five years.

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2017 ¹⁾

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Up to 1 month | From 1 month to 3 months | From 3 months to 1 year | From 1 year to 5 years | Over 5 years | No fixed maturity | Total |
|--|------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|----------------------|------------------|
| Assets | | | | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 151 145 | | | | | | 151 145 |
| Due from credit institutions | 239 408 | 82 409 | 36 706 | 216 254 | 6 163 | | 580 941 |
| Loans to customers | 200 050 | 65 949 | 44 986 | 207 952 | 214 685 | (2 095) | 731 525 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 62 294 | 7 268 | 17 288 | 153 903 | 21 077 | | 261 831 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | 54 | 9 559 | | 9 613 |
| Shareholdings | | | | | | 130 459 | 130 459 |
| Other assets | | 2 042 | | 11 | | | 2 053 |
| Total | 652 897 | 157 669 | 98 980 | 578 174 | 251 485 | 128 362 | 1 867 566 |
| Liabilities | | | | | | | |
| Due to credit institutions | 178 782 | 59 026 | 68 326 | 26 668 | | | 332 803 |
| Deposits from customers | 956 493 | | | | | | 956 493 |
| Debt securities issued | 79 948 | 49 689 | 50 040 | 133 902 | 7 083 | | 320 671 |
| Other liabilities etc. | 458 | 3 836 | 177 | | | | 4 471 |
| Subordinated loan capital | | | | | 29 456 | | 29 456 |
| Total | 1 215 681 | 112 561 | 118 543 | 160 570 | 36 539 | | 1 643 894 |
| Financial derivatives | | | | | | | |
| Financial derivatives, gross settlement | | | | | | | |
| Incoming cash flows | 682 189 | 398 787 | 240 387 | 574 143 | 324 822 | | 2 220 338 |
| Outgoing cash flows | 680 003 | 399 407 | 244 379 | 596 830 | 334 168 | | 2 254 787 |
| Financial derivatives, net settlement | 277 | 1 023 | (868) | 3 497 | (107) | | 3 824 |
| Total financial derivatives | 2 463 | 403 | (4 848) | (19 190) | (8 453) | | (30 625) |

Residual maturity as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Up to 1 month | From 1 month to 3 months | From 3 months to 1 year | From 1 year to 5 years | Over 5 years | No fixed maturity | Total |
|--|------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|----------------------|------------------|
| Assets | | | | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 207 923 | | 11 | | | | 207 934 |
| Due from credit institutions | 203 711 | 79 263 | 18 369 | 240 115 | 7 567 | | 549 024 |
| Loans to customers | 159 952 | 81 835 | 61 872 | 199 950 | 189 983 | (2 787) | 690 805 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 4 242 | 10 100 | 36 264 | 152 121 | 21 035 | | 223 762 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | 928 | 11 831 | | 12 760 |
| Shareholdings | | | | | | 124 406 | 124 406 |
| Other assets | | 3 217 | | | | | 3 217 |
| Total | 575 828 | 174 418 | 116 515 | 593 113 | 230 416 | 121 619 | 1 811 908 |
| Liabilities | | | | | | | |
| Due to credit institutions | 223 275 | 49 225 | 41 800 | 24 402 | 2 | | 338 706 |
| Deposits from customers | 920 557 | | | | | | 920 557 |
| Debt securities issued | 61 024 | 63 692 | 64 251 | 121 902 | 18 499 | | 329 368 |
| Other liabilities etc. | 1 574 | 3 602 | 264 | | | | 5 440 |
| Subordinated loan capital | | 10 898 | | 17 467 | 738 | | 29 102 |
| Total | 1 206 430 | 127 417 | 106 315 | 163 771 | 19 239 | | 1 623 172 |
| Financial derivatives | | | | | | | |
| Financial derivatives, gross settlement | | | | | | | |
| Incoming cash flows | 477 590 | 228 576 | 289 363 | 574 751 | 342 803 | | 1 913 083 |
| Outgoing cash flows | 473 816 | 230 783 | 285 192 | 586 500 | 356 709 | | 1 933 001 |
| Financial derivatives, net settlement | 187 | 1 474 | (911) | 4 190 | 805 | | 5 745 |
| Total financial derivatives | 3 961 | (733) | 3 260 | (7 559) | (13 101) | | (14 173) |

1) Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included on the balance sheet date.

Credit lines, commitments and documentary credit

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
|---|-----------------|-----------------|
| Unutilised credit lines etc. under 1 year | 317 499 | 323 827 |
| Unutilised credit lines etc. over 1 year | 98 075 | 97 495 |

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2017 ¹⁾

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Up to 1 month | From 1 month to 3 months | From 3 months to 1 year | From 1 year to 5 years | Over 5 years | No fixed maturity | Total |
|--|------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|----------------------|------------------|
| Assets | | | | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 151 593 | | | | | | 151 593 |
| Due from credit institutions | 99 095 | 75 078 | 38 440 | 17 556 | 7 671 | | 237 839 |
| Loans to customers | 269 464 | 75 703 | 56 070 | 274 360 | 859 859 | (3 157) | 1 532 298 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 64 131 | 7 268 | 18 996 | 157 433 | 21 077 | | 268 905 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | 54 | 9 559 | | 9 613 |
| Shareholdings | | | | | | 16 479 | 16 479 |
| Other assets | | 2 042 | | 11 | | | 2 053 |
| Total | 584 282 | 160 091 | 113 506 | 449 414 | 898 166 | 15 322 | 2 220 781 |
| Liabilities | | | | | | | |
| Due to credit institutions | 76 437 | 63 038 | 68 308 | 14 699 | | | 222 482 |
| Deposits from customers | 980 342 | | | | | | 980 342 |
| Debt securities issued | 98 491 | 71 585 | 77 254 | 419 121 | 95 779 | | 762 230 |
| Other liabilities etc. | 459 | 4 136 | 195 | | | | 4 789 |
| Subordinated loan capital | | | | | 29 456 | | 29 456 |
| Total | 1 155 729 | 138 759 | 145 757 | 433 820 | 125 235 | | 1 899 299 |
| Financial derivatives | | | | | | | |
| Financial derivatives, gross settlement | | | | | | | |
| Incoming cash flows | 663 489 | 376 719 | 216 187 | 383 071 | 213 472 | | 1 852 938 |
| Outgoing cash flows | 661 310 | 378 009 | 221 220 | 393 222 | 213 788 | | 1 867 549 |
| Financial derivatives, net settlement | 818 | 2 103 | 3 205 | 19 652 | 9 787 | | 35 565 |
| Total financial derivatives | 2 997 | 813 | (1 828) | 9 501 | 9 471 | | 20 954 |

Residual maturity as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Up to 1 month | From 1 month to 3 months | From 3 months to 1 year | From 1 year to 5 years | Over 5 years | No fixed maturity | Total |
|--|------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|----------------------|------------------|
| Assets | | | | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 208 262 | | 11 | | | | 208 283 |
| Due from credit institutions | 120 011 | 42 484 | 5 270 | 7 116 | | | 174 881 |
| Loans to customers | 180 074 | 92 243 | 79 533 | 321 266 | 824 516 | (4 481) | 1 493 151 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 5 225 | 9 097 | 32 070 | 151 198 | 20 676 | | 219 257 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | 928 | 11 831 | | 12 760 |
| Shareholdings | | | | | | 9 770 | 9 770 |
| Other assets | | 3 217 | | | | | 3 217 |
| Total | 513 563 | 147 031 | 116 884 | 480 508 | 857 024 | 5 289 | 2 120 300 |
| Liabilities | | | | | | | |
| Due to credit institutions | 137 015 | 23 535 | 22 922 | 28 125 | | | 211 597 |
| Deposits from customers | 945 587 | | | | | | 945 587 |
| Debt securities issued | 73 913 | 61 765 | 104 188 | 401 819 | 99 232 | | 740 915 |
| Other liabilities etc. | 1 574 | 3 890 | 275 | | | | 5 739 |
| Subordinated loan capital | | 10 898 | | 17 467 | 738 | | 29 102 |
| Total | 1 158 089 | 100 088 | 127 383 | 447 410 | 99 969 | | 1 932 940 |
| Financial derivatives | | | | | | | |
| Financial derivatives, gross settlement | | | | | | | |
| Incoming cash flows | 458 963 | 224 167 | 247 951 | 388 303 | 231 798 | | 1 551 182 |
| Outgoing cash flows | 456 644 | 226 589 | 248 396 | 404 368 | 238 077 | | 1 574 076 |
| Financial derivatives, net settlement | 1 074 | 2 357 | 3 434 | 20 229 | 9 296 | | 36 390 |
| Total financial derivatives | 3 393 | (85) | 2 989 | 4 164 | 3 017 | | 13 496 |

1) Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included.

Credit lines, commitments and documentary credit

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
|---|-----------------|-----------------|
| Unutilised credit lines etc. under 1 year | 388 560 | 390 001 |
| Unutilised credit lines etc. over 1 year | 208 950 | 216 295 |

Note 17 Net interest income

| Amounts in NOK million | 2017 | | | 2016 | | |
|--|------------------------|--|-----------------|------------------------|--|-----------------|
| | Recorded at fair value | Recorded at amortised cost ¹⁾ | Total | Recorded at fair value | Recorded at amortised cost ¹⁾ | Total |
| | | | | | | |
| Interest on amounts due from credit institutions | 3 363 | 1 948 | 5 311 | 2 074 | 1 804 | 3 879 |
| Interest on loans to customers | 816 | 22 909 | 23 724 | 730 | 22 657 | 23 387 |
| Interest on impaired loans and guarantees | 5 | 839 | 844 | 10 | 612 | 622 |
| Interest on commercial paper and bonds at fair value | 4 123 | | 4 123 | 4 457 | | 4 457 |
| Interest on commercial paper and bonds, held to maturity | | 157 | 157 | | 173 | 173 |
| Front-end fees etc. | 1 | 281 | 282 | 1 | 258 | 260 |
| Other interest income | (1 945) | 4 628 | 2 683 | (2 331) | 4 715 | 2 385 |
| Total interest income | 6 363 | 30 763 | 37 126 | 4 942 | 30 221 | 35 163 |
| Interest on amounts due to credit institutions | (2 829) | (273) | (3 102) | (1 958) | (180) | (2 138) |
| Interest on deposits from customers | (799) | (6 388) | (7 187) | (587) | (5 805) | (6 393) |
| Interest on debt securities issued | (2 247) | (1 546) | (3 792) | (1 822) | (1 860) | (3 683) |
| Interest on subordinated loan capital | (75) | (374) | (449) | (35) | (493) | (529) |
| Guarantee fund levy | | (548) | (548) | | (638) | (638) |
| Other interest expenses ²⁾ | 2 845 | (476) | 2 369 | 2 385 | (581) | 1 804 |
| Total interest expenses | (3 105) | (9 604) | (12 709) | (1 997) | (9 558) | (11 555) |
| Net interest income | 3 258 | 21 158 | 24 416 | 2 944 | 20 663 | 23 608 |

| Amounts in NOK million | 2017 | | | 2016 | | |
|--|------------------------|--|-----------------|------------------------|--|-----------------|
| | Recorded at fair value | Recorded at amortised cost ¹⁾ | Total | Recorded at fair value | Recorded at amortised cost ¹⁾ | Total |
| | | | | | | |
| Interest on amounts due from credit institutions | 2 287 | 426 | 2 712 | 1 105 | 234 | 1 339 |
| Interest on loans to customers | 2 164 | 42 861 | 45 025 | 2 556 | 42 179 | 44 735 |
| Interest on impaired loans and guarantees | 4 | 1 169 | 1 172 | 1 | 909 | 911 |
| Interest on commercial paper and bonds at fair value | 3 999 | | 3 999 | 4 405 | | 4 405 |
| Interest on commercial paper and bonds, held to maturity | | 157 | 157 | | 173 | 173 |
| Front-end fees etc. | 2 | 298 | 300 | 5 | 289 | 294 |
| Other interest income | (1 638) | 2 973 | 1 033 | (2 327) | 3 356 | 1 029 |
| Total interest income | 6 516 | 47 833 | 54 399 | 5 746 | 47 141 | 52 887 |
| Interest on amounts due to credit institutions | (2 212) | (254) | (2 465) | (1 542) | (163) | (1 705) |
| Interest on deposits from customers | (799) | (6 772) | (7 571) | (587) | (6 135) | (6 703) |
| Interest on debt securities issued | (3 758) | (7 381) | (11 139) | (3 502) | (8 883) | (12 385) |
| Interest on subordinated loan capital | (75) | (377) | (452) | (35) | (495) | (532) |
| Guarantee fund levy | | (637) | (637) | | (768) | (768) |
| Other interest expenses ²⁾ | 3 873 | (94) | 3 779 | 3 893 | (171) | 3 722 |
| Total interest expenses | (2 970) | (15 515) | (18 485) | (1 753) | (16 616) | (18 369) |
| Net interest income | 3 546 | 32 318 | 35 864 | 3 992 | 30 525 | 34 517 |

1) Includes hedged items.

2) Other interest expenses include interest rate adjustments resulting from interest rate swaps. Derivatives are recorded at fair value.

Note 18 Interest rates on selected balance sheet items

| | Average interest rate in per cent ¹⁾ | | DNB Bank ASA Average volume in NOK million | |
|------------------------------|--|------|--|---------|
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Assets | | | | |
| Due from credit institutions | 0.60 | 0.42 | 985 039 | 926 269 |
| Loans to customers | 3.44 | 3.48 | 713 568 | 690 265 |
| Commercial paper and bonds | 1.92 | 2.04 | 215 068 | 217 986 |
| Liabilities | | | | |
| Due to credit institutions | 0.80 | 0.54 | 386 765 | 392 710 |
| Deposits from customers | 0.71 | 0.64 | 1 007 971 | 995 959 |
| Debt securities issued | 1.15 | 0.96 | 330 519 | 383 150 |

| | Average interest rate in per cent ¹⁾ | | DNB Bank Group Average volume in NOK million | |
|------------------------------|--|------|--|-----------|
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Assets | | | | |
| Due from credit institutions | 0.51 | 0.23 | 531 989 | 579 604 |
| Loans to customers | 3.04 | 3.01 | 1 519 425 | 1 514 319 |
| Commercial paper and bonds | 1.90 | 2.04 | 210 336 | 216 417 |
| Liabilities | | | | |
| Due to credit institutions | 0.88 | 0.60 | 280 012 | 284 899 |
| Deposits from customers | 0.73 | 0.64 | 1 033 519 | 1 044 615 |
| Debt securities issued | 1.45 | 1.48 | 770 705 | 834 689 |

1) Average interest rate in per cent is calculated as total interest in NOK for the specific products in relation to the appurtenant average capital.

Note 19 Net commission and fee income

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|--------------|---------|-----------------------------------|----------------|---------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| 3 451 | 3 728 | Money transfers | 3 960 | 3 731 |
| 342 | 376 | Asset management services | 421 | 406 |
| 319 | 357 | Custodial services | 378 | 344 |
| 573 | 689 | Securities broking | 789 | 616 |
| 575 | 612 | Corporate finance | 820 | 767 |
| 23 | 19 | Interbank fees | 19 | 23 |
| 494 | 438 | Credit broking | 453 | 491 |
| 372 | 396 | Sales of insurance products | 416 | 397 |
| | | Real estate broking | 1 150 | 1 121 |
| 586 | 727 | Other commissions and fees | 822 | 732 |
| 6 739 | 7 340 | Total commission and fee income | 9 228 | 8 628 |
| (1 754) | (2 079) | Money transfers | (2 109) | (1 795) |
| (15) | (12) | Asset management services | (12) | (15) |
| (170) | (180) | Custodial services | (183) | (172) |
| (173) | (148) | Securities broking | (150) | (176) |
| (73) | (135) | Corporate finance | (135) | (73) |
| (57) | (49) | Interbank fees | (49) | (57) |
| (87) | (71) | Credit broking | (13) | (26) |
| (114) | (116) | Sale of insurance products | (116) | (114) |
| (481) | (506) | Other commissions and fees | (577) | (587) |
| (2 924) | (3 296) | Total commission and fee expenses | (3 344) | (2 994) |
| 3 815 | 4 044 | Net commission and fee income | 5 884 | 5 634 |

Note 20 Net gains on financial instruments at fair value

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|--------------|---------|---|----------------|---------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| 8 231 | 5 322 | Foreign exchange and financial derivatives | 3 266 | 7 897 |
| (1 112) | (293) | Commercial paper and bonds | (294) | (1 185) |
| 440 | 89 | Shareholdings | 92 | 440 |
| 52 | (77) | Other financial assets | (40) | 55 |
| 47 | 235 | Financial liabilities | 182 | 71 |
| 7 658 | 5 286 | Net gains on financial instruments, trading | 3 206 | 7 278 |
| 74 | 26 | Loans at fair value | 152 | (465) |
| (568) | (368) | Commercial paper and bonds | (349) | (629) |
| 761 | (32) | Shareholdings | 26 | (79) |
| 36 | 150 | Financial liabilities | 93 | 52 |
| 302 | (224) | Net gains on financial instruments, designated as at fair value | (78) | (1 121) |
| (2 789) | (3 475) | Financial derivatives, hedging | (9 750) | (4 245) |
| 0 | 0 | Financial assets, hedged items | (1) | (1) |
| 2 985 | 3 398 | Financial liabilities, hedged items | 10 149 | 3 887 |
| 196 | (77) | Net gains on hedged items ^{1) 2)} | 397 | (380) |
| 554 | 884 | Financial guarantees | 909 | 595 |
| 124 | 74 | Dividends | 78 | 133 |
| 8 834 | 5 942 | Net gains on financial instruments at fair value | 4 513 | 6 506 |

1) With respect to hedged liabilities, the hedged risk is recorded at fair value, while the rest of the instrument is recorded at amortized cost. Derivatives used for hedging are recorded at fair value. Changes in fair value arising from hedged risk are presented under Financial derivatives, hedging. Net gains on hedged financial liabilities include amortization of fair values on discontinued hedging relationships.

2) The DNB Group uses hedge accounting for long-term borrowings in foreign currency in DNB Boligkredit and DNB Bank ASA. Loans are hedged 1:1 through external contracts where there is a correlation between currencies, interest rate flows and the hedging instrument. At the time the loans are raised, Markets considers whether to enter into a hedging transaction for the relevant loan based on the Group's foreign currency positions and the underlying interest rate exposure for the loan.

Note 21 Salaries and other personnel expenses

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|--------------|---------|---|----------------|----------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| (8 138) | (8 289) | Salaries ¹⁾ | (7 772) | (7 622) |
| (969) | (1 219) | Employer's national insurance contributions | (1 428) | (1 190) |
| (872) | (1 205) | Pension expenses | (1 310) | (968) |
| (856) | (315) | Restructuring expenses | (335) | (693) |
| (614) | (612) | Other personnel expenses | (715) | (733) |
| (9 248) | (9 639) | Total salaries and other personnel expenses | (11 561) | (11 206) |
| (5 206) | (5 250) | *) Of which: Ordinary salaries | (6 196) | (6 197) |
| (785) | (761) | Performance-based pay | (1 295) | (1 275) |

| DNB Bank ASA | | Number of employees/full-time positions | DNB Bank Group | |
|--------------|-------|---|--------------------|--------------------|
| 2016 | 2017 | | 2017 ¹⁾ | 2016 ¹⁾ |
| 7 618 | 7 449 | Number of employees as at 31 December | 8 951 | 10 801 |
| 998 | 996 | - of which number of employees abroad | 1 396 | 3 206 |
| 7 301 | 7 171 | Number of employees calculated on a full-time basis as at 31 December | 8 544 | 10 366 |
| 980 | 979 | - of which number of employees calculated on a full-time basis abroad | 1 376 | 3 166 |
| 7 674 | 7 499 | Average number of employees | 10 279 | 10 793 |
| 7 356 | 7 198 | Average number of employees calculated on a full-time basis | 9 848 | 10 372 |

1) 1 796 employees in the Baltics who were included in the figures at year-end 2016 were transferred to Luminor during the fourth quarter of 2017.

Note 22 Other expenses

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|----------------|----------------|--|----------------|----------------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| (1 474) | (1 921) | Fees ¹⁾ | (2 011) | (1 575) |
| (1 866) | (1 969) | IT expenses | (2 119) | (2 087) |
| (179) | (158) | Postage and telecommunications | (193) | (222) |
| (25) | (27) | Office supplies | (60) | (74) |
| (587) | (564) | Marketing and public relations | (798) | (804) |
| (173) | (212) | Travel expenses | (272) | (225) |
| (198) | (204) | Reimbursement to Norway Post for transactions executed | (204) | (198) |
| (49) | (52) | Training expenses | (63) | (81) |
| (1 112) | (1 097) | Operating expenses on properties and premises ²⁾ | (1 261) | (1 285) |
| (63) | (61) | Operating expenses on machinery, vehicles and office equipment | (81) | (92) |
| (391) | (638) | Other operating expenses | (837) | (585) |
| (6 118) | (6 904) | Total other expenses | (7 899) | (7 207) |

1) Systems development fees totalled NOK 1 390 million for DNB Bank ASA and NOK 1 388 million for the DNB Bank Group in 2017, compared with NOK 1 038 million and NOK 1 037 million, respectively, in 2016.

2) Costs relating to leased premises were NOK 945 million and NOK 1 012 million respectively for DNB Bank ASA and the DNB Bank Group in 2017, compared with NOK 953 million and NOK 1 020 million in 2016.

Note 23 Depreciation and impairment of fixed and intangible assets

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|----------------|----------------|---|----------------|----------------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| (1 447) | (1 429) | Depreciation of machinery, vehicles and office equipment | (1 458) | (1 477) |
| (335) | (338) | Other depreciation of tangible and intangible assets | (417) | (470) |
| (11) | | Impairment of capitalised systems development | (42) | (11) |
| | (542) | Impairment losses for goodwill ¹⁾ | (545) | (5) |
| (258) | (8) | Other impairment of fixed and intangible assets | (8) | (140) |
| (2 050) | (2 318) | Total depreciation and impairment of fixed and intangible assets | (2 469) | (2 103) |

1) Impairment losses for goodwill of NOK 502 million relating to Cresco were recorded in 2017.

See note 37 Intangible assets and note 38 Fixed assets.

Note 24 Pensions

Description of the pension schemes

The DNB Group has a defined-contribution pension scheme for all employees in Norway, with the exception of around 330 employees from the former Postbanken who are covered by a closed group pension plan in the Norwegian Public Service Pension Fund.

The contribution rates are:

- Salary representing 0-7.1 times the National Insurance basic amount, G: 7 per cent
- Salary representing 7.1-12 times G: 15 per cent
- The Group has no defined-contribution pension scheme for salaries exceeding 12G (apart from the closed scheme)

The employees who were enrolled in the former defined-benefit occupational pension schemes (terminated between 2015 and 2017) are also covered by a compensation scheme that is structured as a supplementary, contribution-based direct pension scheme.

Based on the terms and conditions approved at the time of conversion, the savings plan in the compensation scheme aims to give the individual employee a total pension capital when reaching the age of 67 corresponding to what he or she would have received if the defined-benefit pension scheme had been retained. Both the pension entitlements and the return on the pension funds are funded through operations.

The DNB Group has a disability pension scheme for all employees in Norway. The disability pension represents:

- 3 per cent of pensionable income up to 12G
- 25 per cent of G, maximum 6 per cent of pensionable income, up to 12G
- 66 per cent of pensionable income in the interval between 6G and 12G

The Norwegian companies in the Group are part of the contractual pension (CPA) scheme for the private sector. In addition, the Group has an agreement on contractual pensions according to public sector rules for employees who are members of the Public Service Pension Fund.

The private CPA scheme will be funded by an annual premium representing a percentage of salaries between 1 and 7.1G.

Employer's contributions are included in pension expenses and commitments.

Subsidiaries and branches outside Norway have separate schemes for their employees, mainly in the form of defined-contribution schemes. Pension expenses for employees outside Norway represented NOK 170 million.

Note 24 Pensions (continued)

Economic assumptions applied in calculating pension expenses and commitments are in accordance with the guidance from the Norwegian Accounting Standards Board per 31 December 2017.

| Pension expenses | | DNB Bank ASA | |
|---|--|--------------|-------|
| Amounts in NOK million | | 2017 | 2016 |
| Net present value of pension entitlements | | (452) | (419) |
| Interest expenses on pension commitments | | (116) | (139) |
| Calculated return on pension funds | | 84 | 89 |
| Curtailment | | (46) | 216 |
| Administrative expenses | | (1) | (1) |
| Total defined benefit pension schemes | | (531) | (252) |
| Contractual pensions, new scheme | | (88) | (84) |
| Risk coverage premium | | (42) | (42) |
| Defined contribution pension schemes | | (544) | (495) |
| Net pension expenses | | (1 205) | (872) |

| Pension expenses | | DNB Bank Group | |
|---|--|----------------|-------|
| Amounts in NOK million | | 2017 | 2016 |
| Net present value of pension entitlements | | (483) | (432) |
| Interest expenses on pension commitments | | (118) | (141) |
| Calculated return on pension funds | | 84 | 89 |
| Curtailment | | (41) | 220 |
| Administrative expenses | | (1) | (1) |
| Total defined benefit pension schemes | | (559) | (265) |
| Contractual pensions, new scheme | | (97) | (98) |
| Risk coverage premium | | (46) | (45) |
| Defined contribution pension schemes | | (609) | (560) |
| Net pension expenses | | (1 310) | (968) |

| DNB Bank ASA | | Pension commitments | | DNB Bank Group | |
|--------------|-------|----------------------------------|--|----------------|-------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | | 2017 | 2016 |
| 4 991 | 5 038 | Opening balance | | 5 119 | 5 074 |
| 419 | 452 | Accumulated pension entitlements | | 483 | 432 |
| 136 | 116 | Interest expenses | | 118 | 141 |
| 209 | 111 | Actuarial losses/(gains), net | | 112 | 216 |
| | 22 | Changes in the pension schemes | | 22 | (0) |
| (329) | 46 | Curtailment | | 48 | (344) |
| (236) | (273) | Pension payments | | (277) | (242) |
| (155) | 13 | Exchange rate differences | | 18 | (157) |
| 5 038 | 5 526 | Closing balance | | 5 642 | 5 119 |

| | | Pension funds | | | |
|-------|-------|---|--|-------|-------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | | 2017 | 2016 |
| 2 798 | 2 584 | Opening balance | | 2 603 | 2 828 |
| 86 | 84 | Expected return | | 84 | 89 |
| (4) | (4) | Actuarial gains/(losses), net | | (5) | (15) |
| (113) | | Curtailments | | 7 | (124) |
| (62) | (36) | Excess pension funds that cannot be carried forward | | (36) | (62) |
| 96 | 79 | Premium paid | | 80 | 110 |
| (114) | (131) | Pension payments | | (132) | (115) |
| (1) | (1) | Administrative expenses | | (1) | (1) |
| (106) | 46 | Exchange rate differences | | 47 | (105) |
| 2 584 | 2 620 | Closing balance | | 2 647 | 2 603 |
| 2 454 | 2 906 | Net defined benefit obligation | | 2 995 | 2 516 |

Note 24 Pensions (continued)

Sensitivity analyses for pension calculations

The following estimates are based on facts and conditions prevailing on 31 December 2017, assuming that all other parameters are constant. Actual results may deviate significantly from these estimates.

| DNB Bank Group | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------|--|-------|-------------------------|---------|-----------------|---------|
| Change in percentage points | Discount rate | | Annual rise in salaries/ basic amount | | Annual rise in pensions | | Life expectancy | |
| | +1% | -1% | +1% | -1% | +1% | 0% reg. | +1 year | -1 year |
| Percentage change in pensions | | | | | | | | |
| Pension commitments | 8-16 | 15-17 | 33-34 | 26-27 | 10-11 | 5-8 | 2 | 2 |
| Net pension expenses for the period | 10-20 | 22-23 | 34-35 | 26-27 | 10-11 | 5-8 | 2 | 2 |

Note 25 Taxes

| DNB Bank ASA | | Tax expense on pre-tax operating profit | DNB Bank Group | |
|---|---------|--|----------------|---------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| (895) | (9 603) | Current taxes | (5 850) | (8 406) |
| (4 528) | 6 535 | Changes in deferred taxes | 947 | 4 442 |
| (5 223) | (3 068) | Tax expense | (4 903) | (3 964) |
| Reconciliation of tax expense against nominal tax rate | | | | |
| Amounts in NOK million | | | | |
| 20 012 | 21 978 | Pre-tax operating profit | 24 718 | 21 874 |
| (5 003) | (5 275) | Estimated tax expense at nominal tax rate 24 per cent (25 per cent in 2016) | (5 932) | (5 469) |
| | (121) | Tax effect of financial tax in Norway | (142) | |
| | | Tax effect of different tax rates in other countries | (165) | 10 |
| 357 | 749 | Tax effect of debt interest distribution with international branches | 749 | 357 |
| (1 023) | 1 450 | Tax effect of tax-exempt income from shareholdings ¹⁾ | 604 | 509 |
| 451 | 160 | Tax effect of other tax-exempt income and non-deductible expenses | 172 | 352 |
| | | Tax effect of tax losses carried forward not recognised in the balance sheet ²⁾ | (23) | 123 |
| | (7) | Tax effect of changed tax rate for deferred taxes recognised in the balance sheet | (94) | 18 |
| (5) | (24) | Excess tax provision previous year | (72) | 136 |
| (5 223) | (3 068) | Tax expense | (4 903) | (3 964) |
| 26% | 14% | Effective tax rate | 20% | 18% |
| Income tax on other comprehensive income | | | | |
| Amounts in NOK million | | | | |
| 48 | (4) | Pensions | (9) | 52 |
| | | Hedges of net investments | 171 | (1 449) |
| 48 | (4) | Total income tax on other comprehensive income | 162 | (1 397) |

1) In Norway, a company's income from share investments is normally exempt from tax. As a rule, this applies to investments in companies domiciled in the EU/EEA. The tax exemption applies to both dividends and gains/ (losses) upon realisation. However, 3 per cent of dividends from tax-exempt investments is included in taxable income.

2) Deferred taxes for tax-deductible differences (mainly losses carried forward) in subsidiaries are not recognised in the balance sheet unless the Group can prove that these tax positions will be utilised in the future.

Tax effect of different tax rates in other countries

The Group has operations in a number of countries whose tax rates are different from that in Norway (24 per cent).

Tax effect of debt interest distribution with international branches

According to Norwegian tax legislation, external interest expenses shall be distributed proportionally among operations in Norway and international branches based on the respective units' total assets. This could result in additions or deductions from income in Norway.

Expectations regarding the effective tax rate

The nominal tax rate in Norway was 24 per cent in 2017. Business operations outside Norway are subject to local tax rates in their country of operation, and nominal tax rates range from 12 to 45 per cent. The effective taxation of operations outside Norway depends on both local tax rules and on whether it is possible to avoid double taxation. Tax-exempt income from share investments contributes to a lower expected tax rate than 24 per cent. In some periods, tax losses carried forward that are not recognised in the balance sheet have caused variations in the effective tax rate. In periods when such assets have not been recognised, the effective tax rate has been higher than the long-term expectation, whereas it has been lower in periods when tax losses not recognised as assets have been utilised.

Note 25 Taxes (continued)

| DNB Bank ASA | | Deferred tax assets/(deferred taxes) | DNB Bank Group | |
|--------------|-------|---|----------------|---------|
| 2016 | 2017 | Amounts in NOK million | 2017 | 2016 |
| | | The year's changes in deferred tax assets/(deferred taxes) | | |
| 6 308 | 1 826 | Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 1 January | (960) | (5 323) |
| (4 528) | 6 535 | Changes recorded against profits | 947 | 4 442 |
| 47 | (4) | Changes recorded against comprehensive income | (9) | 52 |
| (1) | (16) | Currency translation differences on deferred taxes | (38) | (28) |
| | | Transferred to assets held for sale | | (133) |
| 1 826 | 8 341 | Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 31 December | (90) | (990) |

Deferred tax assets and deferred taxes in the balance sheet relates to the following temporary differences

| Amounts in NOK million | Deferred tax assets | | Deferred taxes | |
|--|---------------------|--------------|----------------|--------------|
| | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Fixed assets and intangible assets | (662) | (814) | 72 | 54 |
| Commercial paper and bonds | (1 781) | (2 964) | | 2 |
| Debt securities issued | 1 404 | 1 988 | | |
| Financial derivatives | 8 278 | 3 030 | | |
| Net pension liabilities | 750 | 663 | | |
| Net other tax-deductible temporary differences | (148) | (245) | 2 | |
| Tax losses and tax credits carried forward | 574 | 224 | | |
| Total deferred tax assets | 8 415 | 1 892 | 74 | 56 |

Deferred tax assets and deferred taxes in the balance sheet relates to the following temporary differences

| Amounts in NOK million | Deferred tax assets | | Deferred taxes | |
|--|---------------------|--------------|----------------|--------------|
| | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Fixed assets and intangible assets | 5 | (2) | 722 | 853 |
| Commercial paper and bonds | | | 1 821 | 2 964 |
| Debt securities issued | | | (5 099) | (6 937) |
| Financial derivatives | (4) | (38) | 4 400 | 5 804 |
| Net pension liabilities | 54 | 84 | (717) | (585) |
| Net other tax-deductible temporary differences | 261 | 857 | 197 | 419 |
| Tax losses and tax credits carried forward | 441 | 482 | (467) | (136) |
| Total deferred tax assets | 757 | 1 392 | 847 | 2 382 |

- 1) A significant share of the financial instruments are carried at fair value in the accounts, while for tax purposes, the same instruments are recorded on an accrual basis in accordance with the realisation principle. This gives rise to large differences between profits stated in the accounts and profits computed for tax purposes for the individual accounting years, especially in years with significant fluctuations in interest rate levels and exchange rates. These differences are offset in the longer term.
- 2) Due to large exchange rate fluctuations in 2017 and 2016, there were significant changes in unrealised gains and losses on financial instruments used in managing the banking group's currency and interest rate risk. Financial instruments are recorded in accordance with the realisation principle, while the current rate method is used for receivables and liabilities in foreign currency. These differences are expected to be reversed within a short period of time.

Overview over tax assets from tax losses and tax credits carried forward

| Amounts in NOK million | 31 December 2017 | | | 31 December 2016 | | |
|--|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------|
| | Total tax losses carried forward | Of which as basis for tax assets | Recognised tax asset | Total tax losses carried forward | Of which as basis for assets | Recognised tax asset |
| | forward | for tax assets | tax asset | forward | assets | tax asset |
| Tax losses carried forward | | | | | | |
| Singapore | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| Total of tax losses and tax assets | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| Tax credits carried forward ¹⁾ | | | 461 | | | 136 |
| Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward | | | 574 | | | 224 |

- 1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Note 25 Taxes (continued)

Overview over deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | 31 December 2017 | | | 31 December 2018 | | |
|--|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------|
| | Total tax losses carried forward | Of which as basis for tax assets | Recognised tax asset | Total tax losses carried forward | Of which as basis for assets | Recognised tax asset |
| Tax losses carried forward | | | | | | |
| Norway | 20 | 20 | 5 | | | |
| Singapore | 660 | 660 | 113 | 517 | 517 | 88 |
| Denmark | 2 005 | 1 491 | 329 | 2 311 | 1 577 | 394 |
| Total of tax losses and tax assets | 2 685 | 2 171 | 447 | 2 828 | 2 094 | 482 |
| Tax credits carried forward ¹⁾ | | | 451 | | | 136 |
| Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward | | | 908 | | | 618 |

1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Recognition of deferred tax

Deferred tax assets are capitalised to the extent it is probable that the DNB Bank Group will have taxable income against which temporary differences can be utilised. Net deferred taxes on temporary differences within the same tax group are assessed and entered net in the accounts.

Note 26 Classification of financial instruments

As at 31 December 2017

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Financial instruments at fair value through profit and loss | | Financial derivatives designated as hedging instruments | Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾ | Financial instruments held to maturity | Total |
|--|---|-----------------------------|---|---|--|------------------|
| | Trading | Designated as at fair value | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 143 483 | 3 251 | | 4 434 | | 151 147 |
| Due from credit institutions | 348 588 | 4 863 | | 227 522 | | 580 973 |
| Loans to customers | 55 839 | 12 322 | | 682 622 | | 730 782 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 169 639 | 92 355 | | | | 261 994 |
| Shareholdings | 5 508 | 802 | | | | 6 310 |
| Financial derivatives | 138 346 | | 8 606 | | | 146 953 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | | 9 613 | 9 613 |
| Investments in associated companies | | | | 9 007 | | 9 007 |
| Investments in subsidiaries | | | | 115 142 | | 115 142 |
| Other assets | | | | 22 092 | | 22 092 |
| Total financial assets | 861 384 | 113 592 | 8 606 | 1 040 819 | 9 613 | 2 034 015 |
| Due to credit institutions | 285 817 | 4 657 | | 42 324 | | 332 798 |
| Deposits from customers | 41 692 | 14 090 | | 900 744 | | 956 525 |
| Financial derivatives | 178 324 | | 1 210 | | | 179 534 |
| Debt securities issued | 158 893 | 9 751 | | 157 727 | | 326 171 |
| Other liabilities | 6 214 | | | 44 889 | | 51 103 |
| Subordinated loan capital | | 2 873 | | 26 696 | | 29 539 |
| Total financial liabilities ²⁾ | 670 739 | 31 371 | 1 210 | 1 172 349 | | 1 875 669 |

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 30 933 million.

As at 31 December 2016

DNB Bank ASA

| Amounts in NOK million | Financial instruments at fair value through profit and loss | | Financial derivatives designated as hedging instruments | Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾ | Financial instruments held to maturity | Total |
|--|---|-----------------------------|---|---|--|------------------|
| | Trading | Designated as at fair value | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 187 462 | 15 824 | | 4 648 | | 207 934 |
| Due from credit institutions | 340 736 | 4 907 | | 203 450 | | 549 093 |
| Loans to customers | 42 974 | 10 052 | | 631 034 | | 680 060 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 150 169 | 73 191 | | | | 223 360 |
| Shareholdings | 4 297 | 881 | | | | 5 178 |
| Financial derivatives | 159 522 | | 10 785 | | | 170 317 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | | 12 760 | 12 760 |
| Investments in associated companies | | | | 995 | | 995 |
| Investments in subsidiaries | | | | 118 233 | | 118 233 |
| Other assets | | | | 13 462 | | 13 462 |
| Total financial assets | 885 161 | 110 855 | 10 785 | 971 822 | 12 760 | 1 991 392 |
| Due to credit institutions | 289 432 | 1 196 | | 38 104 | | 338 731 |
| Deposits from customers | 43 210 | 11 599 | | 865 855 | | 920 664 |
| Financial derivatives | 180 605 | | 1 189 | | | 181 794 |
| Debt securities issued | 153 485 | 12 925 | | 170 531 | | 336 941 |
| Other liabilities | 516 | | | 23 377 | | 23 893 |
| Subordinated loan capital | | 1 254 | | 28 093 | | 29 347 |
| Total financial liabilities ²⁾ | 677 247 | 26 975 | 1 189 | 1 125 960 | | 1 831 371 |

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 26 362 million.

Note 26 Classification of financial instruments (continued)

As at 31 December 2017

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Financial instruments at fair value through profit and loss | | Financial derivatives designated as hedging instruments | Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾ | Financial instruments held to maturity | Total |
|---|---|-----------------------------|---|---|--|------------------|
| | Trading | Designated as at fair value | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 143 483 | 3 251 | | 4 881 | | 151 595 |
| Due from credit institutions | 189 288 | | | 38 561 | | 237 849 |
| Loans to customers | 55 839 | 55 373 | | 1 420 133 | | 1 531 345 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 169 059 | 87 970 | | | | 257 029 |
| Shareholdings | 6 304 | 999 | | | | 7 303 |
| Financial derivatives | 106 318 | | 26 331 | | | 132 649 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | | 9 613 | 9 613 |
| Other assets | | | | 7 888 | | 7 888 |
| Total financial assets | 680 271 | 147 593 | 26 331 | 1 471 463 | 9 613 | 2 335 271 |
| Due to credit institutions | 182 335 | 4 657 | | 35 508 | | 222 501 |
| Deposits from customers | 41 692 | 14 080 | | 924 593 | | 980 374 |
| Financial derivatives | 108 755 | | 3 265 | | | 112 020 |
| Debt securities issued | 158 683 | 83 703 | | 538 731 | | 782 127 |
| Other liabilities | 6 214 | | | 13 091 | | 19 304 |
| Subordinated loan capital | | 2 873 | | 26 668 | | 29 539 |
| Total financial liabilities²⁾ | 497 688 | 105 323 | 3 265 | 1 539 588 | | 2 145 864 |

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 103 319 million.

As at 31 December 2016

DNB Bank Group

| Amounts in NOK million | Financial instruments at fair value through profit and loss | | Financial derivatives designated as hedging instruments | Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾ | Financial instruments held to maturity | Total |
|---|---|-----------------------------|---|---|--|------------------|
| | Trading | Designated as at fair value | | | | |
| Cash and deposits with central banks | 187 462 | 15 824 | | 4 977 | | 208 263 |
| Due from credit institutions | 160 828 | 45 | | 14 035 | | 174 908 |
| Loans to customers | 42 974 | 69 442 | | 1 379 852 | | 1 492 268 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 148 026 | 69 862 | | | | 217 887 |
| Shareholdings | 5 158 | 1 042 | | | | 6 200 |
| Financial derivatives | 124 919 | | 33 038 | | | 157 957 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | | | 12 760 | 12 760 |
| Other assets | | | | 8 255 | | 8 255 |
| Total financial assets | 669 366 | 156 215 | 33 038 | 1 407 119 | 12 760 | 2 278 497 |
| Due to credit institutions | 178 047 | 1 198 | | 32 363 | | 211 606 |
| Deposits from customers | 43 210 | 11 589 | | 890 895 | | 945 694 |
| Financial derivatives | 128 796 | | 2 195 | | | 130 990 |
| Debt securities issued | 153 485 | 87 402 | | 528 863 | | 767 750 |
| Other liabilities | 516 | | | 15 265 | | 15 781 |
| Subordinated loan capital | | 1 254 | | 28 093 | | 29 347 |
| Total financial liabilities²⁾ | 504 053 | 101 451 | 2 195 | 1 493 470 | | 2 101 169 |

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 99 238 million.

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost

| Amounts in NOK million | DNB Bank ASA | | | |
|--|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 31 December 2017 | | 31 December 2016 | |
| | Carrying amount | Fair value | Carrying amount | Fair value |
| Cash and deposits with central banks | 4 434 | 4 434 | 4 648 | 4 648 |
| Due from credit institutions | 227 522 | 227 522 | 203 450 | 203 450 |
| Loans to customers | 662 622 | 663 545 | 631 034 | 634 571 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | 9 613 | 9 581 | 12 760 | 12 406 |
| Total financial assets | 904 190 | 905 082 | 851 891 | 855 075 |
| Due to credit institutions | 42 324 | 42 324 | 38 104 | 38 104 |
| Deposits from customers | 900 744 | 900 744 | 865 855 | 865 855 |
| Securities issued | 157 727 | 160 827 | 170 531 | 173 788 |
| Subordinated loan capital | 26 666 | 26 378 | 28 093 | 28 065 |
| Total financial liabilities | 1 127 460 | 1 130 273 | 1 102 583 | 1 105 812 |

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|--|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 31 December 2017 | | 31 December 2016 | |
| | Carrying amount | Fair value | Carrying amount | Fair value |
| Cash and deposits with central banks | 4 881 | 4 881 | 4 977 | 4 977 |
| Due from credit institutions | 38 561 | 38 561 | 14 035 | 14 035 |
| Loans to customers | 1 420 133 | 1 421 464 | 1 379 852 | 1 383 679 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | 9 613 | 9 581 | 12 760 | 12 406 |
| Total financial assets | 1 473 188 | 1 474 487 | 1 411 623 | 1 415 097 |
| Due to credit institutions | 35 508 | 35 508 | 32 363 | 32 363 |
| Deposits from customers | 924 593 | 924 593 | 890 885 | 890 885 |
| Securities issued | 539 731 | 548 082 | 526 863 | 533 874 |
| Subordinated loan capital | 26 666 | 26 378 | 28 093 | 28 065 |
| Total financial liabilities | 1 526 497 | 1 534 561 | 1 478 205 | 1 485 187 |

| Amounts in NOK million | DNB Bank ASA | | | |
|--|--|---|---|---------|
| | Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 ^{f)} | Valuation based on observable market data Level 2 ^{f)} | Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 ^{f)} | Total |
| | | | | |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | |
| Cash and deposits with central banks | | 4 434 | | 4 434 |
| Due from credit institutions | | 227 522 | | 227 522 |
| Loans to customers | | | 663 545 | 663 545 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | 9 581 | 9 581 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | |
| Due to credit institutions | | 42 324 | | 42 324 |
| Deposits from customers | | 900 744 | | 900 744 |
| Securities issued | | 160 139 | 688 | 160 827 |
| Subordinated loan capital | | 15 943 | 10 435 | 26 378 |

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|--|--|---|---|-----------|
| | Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 ^{f)} | Valuation based on observable market data Level 2 ^{f)} | Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 ^{f)} | Total |
| | | | | |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | |
| Cash and deposits with central banks | | 4 881 | | 4 881 |
| Due from credit institutions | | 38 561 | | 38 561 |
| Loans to customers | | | 1 421 464 | 1 421 464 |
| Commercial paper and bonds, held to maturity | | | 9 581 | 9 581 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | |
| Due to credit institutions | | 35 508 | | 35 508 |
| Deposits from customers | | 924 593 | | 924 593 |
| Securities issued | | 519 955 | 28 127 | 548 082 |
| Subordinated loan capital | | 11 081 | 15 297 | 26 378 |

f) See note 28 Financial instruments at fair value for a definition of the levels.

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost (continued)

Financial instruments at amortised cost

Most assets and liabilities in the DNB Bank Group's balance sheet are carried at amortised cost. This primarily applies to loans, deposits and borrowings in the banking group's balance sheet, but also investments in bonds held to maturity. Long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value, while long-term borrowings in other currencies are carried at amortised cost. Hedge accounting may be applied.

Recording balance sheet items at amortised cost implies that the originally agreed cash flows are used, possibly adjusted for impairment. Such valuations will not always give values which are consistent with market assessments of the same instruments. Discrepancies may be due to diverging views on macro-economic prospects, market conditions, risk aspects and return requirements, as well as varying access to accurate information. The above table shows estimated fair values of items carried at amortised cost.

Valuations are based on the individual instruments' characteristics and values on the balance sheet date. However, these values do not include the total value of customer relationships, market access, brands, organisational aspects, employees and structural capital. Consequently, such intangible assets are generally not recorded in the accounts. In addition, most transactions with customers are assessed and priced collectively for several products, and products recorded in the balance sheet are considered along with other products and services used by the customer. Individual assets and liabilities recorded in the balance sheet thus give no adequate reflection of the total value of the Bank Group's operations.

Due from credit institutions and loans to customers

When valuing loans, the loan portfolio has been divided into the following categories: personal customers, small and medium-sized enterprises, Nordic corporates, international corporates, shipping, offshore and logistics and energy. In addition, separate calculations have been made for DNB Finans and Poland.

The valuations are based on average margins in December, considered relative to the business units' best estimate of the potential margin requirement at year-end 2016 if the loans had been extended at that time. Differentiated margin requirements have been calculated for each category, as specified above, based on estimated costs related to lending. The margin requirement includes costs covering normalised losses, which, as opposed to impairment recorded in the annual accounts, represent a long-term assessment of loss levels.

Retail loans carried at amortised cost are mainly loans with floating interest rate. The fair value of the retail loans has been set at amortised cost.

With respect to impaired loans, an assessment has been made of potential cash flows for the loans discounted by the effective rate of interest adjusted for changes in market conditions for corresponding non-impaired loans. Loan rates prior to provisions being made reflect the increased credit risk of the commitment. Given the general uncertainty in fair value measurements, it is evaluated that the impaired value gives a good reflection of the fair value of these loans.

Customers will often use loan products which are carried partly at amortised cost and partly at fair value. The profitability of a customer relationship is considered on an aggregate basis, and prices are set based on an overall evaluation. Correspondingly, a possible reduction in the customer relationship value is based on an overall assessment of all products. Any decline in value apart from price changes on specific products is included in the overall assessment of credits in the relevant customer relationship. Any reduction in the total customer relationship value is measured on the basis of amortised cost and reported under impairment on loans.

Commercial paper and bonds, held to maturity

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For papers classified as level 3, the valuation is based on models. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity for more information.

Due to credit institutions and deposits from customers

The estimated fair value equals the balance sheet value for credit institutions. With respect to deposits from customers, fair value is assessed to equal amortised cost.

Securities issued and subordinated loan capital

The valuation in level 2 is based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins when available. Securities and subordinated loan capital in level 3 are valued based on models. The items consist mainly of funding in foreign currency.

Note 28 Financial instruments at fair value

| DNB Bank ASA | | | | |
|---|---|---|---|---------|
| | Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 | Valuation based on observable market data Level 2 | Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 | Total |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | |
| Deposits with central banks | | 146 714 | | 146 714 |
| Due from credit institutions | | 353 451 | | 353 451 |
| Loans to customers | | 55 839 | 12 322 | 68 161 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 46 440 | 215 226 | 329 | 261 994 |
| Shareholdings | 5 530 | 254 | 527 | 6 310 |
| Financial derivatives | 131 | 144 753 | 2 069 | 146 953 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | |
| Due to credit institutions | | 290 474 | | 290 474 |
| Deposits from customers | | 55 782 | | 55 782 |
| Debt securities issued | | 168 444 | | 168 444 |
| Subordinated loan capital | | 2 873 | | 2 873 |
| Financial derivatives | 150 | 177 635 | 1 749 | 179 534 |
| Other financial liabilities ¹⁾ | 6 153 | 61 | | 6 214 |
| Assets as at 31 December 2016 | | | | |
| Deposits with central banks | | 203 286 | | 203 286 |
| Due from credit institutions | | 345 643 | | 345 643 |
| Loans to customers | | 42 974 | 16 052 | 59 026 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 50 893 | 172 092 | 375 | 223 360 |
| Shareholdings | 4 140 | 239 | 799 | 5 178 |
| Financial derivatives | 0 | 168 898 | 1 319 | 170 317 |
| Liabilities as at 31 December 2016 | | | | |
| Due to credit institutions | | 300 628 | | 300 628 |
| Deposits from customers | | 54 809 | | 54 809 |
| Debt securities issued | | 166 410 | | 166 410 |
| Subordinated loan capital | | 1 254 | | 1 254 |
| Financial derivatives | 0 | 180 732 | 1 062 | 181 794 |
| Other financial liabilities ¹⁾ | 516 | 0 | | 516 |

¹⁾ Short positions, trading activities.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

| DNB Bank Group | | | | |
|---|--|---|---|---------|
| | Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 | Valuation based on observable market data Level 2 | Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 | Total |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | |
| Deposits with central banks | | 146 714 | | 146 714 |
| Due from credit institutions | | 199 288 | | 199 288 |
| Loans to customers | | 55 839 | 55 373 | 111 212 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 53 381 | 203 311 | 328 | 257 020 |
| Shareholdings | 6 421 | 260 | 621 | 7 303 |
| Financial derivatives | 131 | 130 450 | 2 069 | 132 649 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | |
| Due to credit institutions | | 186 993 | | 186 993 |
| Deposits from customers | | 55 782 | | 55 782 |
| Debt securities issued | | 242 396 | | 242 396 |
| Subordinated loan capital | | 2 873 | | 2 873 |
| Financial derivatives | 150 | 110 121 | 1 748 | 112 020 |
| Other financial liabilities ¹⁾ | 6 153 | 61 | | 6 214 |
| Assets as at 31 December 2016 | | | | |
| Deposits with central banks | | 203 286 | | 203 286 |
| Due from credit institutions | | 160 873 | | 160 873 |
| Loans to customers | | 42 974 | 68 442 | 112 416 |
| Commercial paper and bonds at fair value | 54 988 | 162 524 | 375 | 217 887 |
| Shareholdings | 5 009 | 245 | 946 | 6 200 |
| Financial derivatives | 0 | 156 637 | 1 319 | 157 957 |
| Liabilities as at 31 December 2016 | | | | |
| Due to credit institutions | | 179 243 | | 179 243 |
| Deposits from customers | | 54 809 | | 54 809 |
| Debt securities issued | | 240 887 | | 240 887 |
| Subordinated loan capital | | 1 254 | | 1 254 |
| Financial derivatives | 0 | 129 628 | 1 062 | 130 990 |
| Other financial liabilities ¹⁾ | 516 | 0 | | 516 |

1) Short positions, trading activities.

The levels

Financial instruments are categorised within different levels based on the quality of the market data for the individual instruments. With respect to financial instruments categorised as level 2, the quality of market data may vary depending on whether the relevant instrument has been traded. Thus, it will be natural that some instruments are moved between level 2 and level 3. This applies primarily to commercial paper and bonds.

Level 1: Valuation based on quoted prices in an active market

Classified as level 1 are financial instruments valued by using quoted prices in active markets for identical assets or liabilities.

Instruments in this category include listed shares and mutual funds, Treasury bills and commercial paper traded in active markets.

Level 2: Valuation based on observable market data

Classified as level 2 are financial instruments which are valued by using inputs other than quoted prices, but where prices are directly or indirectly observable for the assets or liabilities, including quoted prices in non-active markets for identical assets or liabilities.

Included in this category are, among others, interbank derivatives such as interest rate swaps, currency swaps and forward contracts with prices quoted on Reuters or Bloomberg, basis swaps between the currencies NOK, EUR, USD and GBP and cross-currency interest rate derivatives with customers with insignificant credit margins. Exchange-traded options are classified as level 2 if it is possible to scan or interpolate/ extrapolate implicit volatility based on observable prices.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Level 3: Valuation based on other than observable market data

Classified as level 3 are financial instruments which cannot be valued based on directly observable prices. For these instruments other valuation techniques are used, such as valuation of assets and liabilities in companies, estimated cash flows and other models where key parameters are not based on observable market data.

Included in this category are loans to customers and instruments where credit margins constitute a major part of adjustments to market value.

Gains or losses, that occur when the estimated fair value is different from the transaction price (day-one gain/loss) has not had significant impact to the financial statement neither for 2017 or 2016.

The instruments in the different levels

Due from credit institutions (level 2)

The item is primarily relevant for Markets. The valuation of loans to and deposits with credit institutions is mainly based on agreed interest rate terms measured against a swap curve. The fixed-rate period is relatively short.

Loans to customers (level 3)

Loans consist primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner. The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed cash flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. A margin requirement is calculated for margin loans, and the difference between the margin requirement and the agreed margin is discounted over the average expected time to the repricing of the loan.

Commercial paper and bonds (levels 2 and 3)

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For paper classified as level 3, the valuation is based on indicative prices from third parties or comparable paper.

Equities including mutual fund holdings (levels 2 and 3)

Equities in level 2 comprise mutual fund holdings where the underlying investments are quoted equities, as well as a small volume of other mutual funds. Instruments which are classified as level 3 essentially comprise property funds, limited partnership units, private equity investments and investments in unquoted equities.

Financial derivatives (levels 2 and 3)

Financial derivatives classified as level 2 are primarily currency forward contracts and interest rate and currency swaps. The valuation is based on swap curves, and credit margins constitute a minor part of the value. In addition, the item comprises derivatives related to commodities and forward rate agreements. These are valued based on observable market prices. Derivatives classified as level 2 also comprise equity derivatives used in Markets' market-making activities. Most of these derivatives are related to the most traded equities on Oslo Børs, and the valuation is based on the price development of the relevant/underlying equity and observable or estimated volatility. Financial derivatives classified as level 3 are primarily connected to currency options, interest rate options in Norwegian kroner, as well as index derivatives. The valuation is based on indicative prices from third parties.

Due to credit institutions (level 2)

See "Due from credit institutions" above.

Deposits from customers (level 2)

Deposits carried at fair value include special-term deposits. The valuation is primarily based on measurement in relation to a swap curve, and changes in credit margins have an insignificant effect.

Debt securities issued (level 2)

The valuation is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins. The item consists mainly of funding in Norwegian kroner. For foreign currency funding, hedge accounting is used where hedges are entered into. In all other respects, debt securities issued are carried at amortised cost.

Subordinated loan capital (level 2)

Subordinated loans carried at fair value consist of one loan in Norwegian kroner, and the valuation is based on observable interest rate curves and credit margins.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Financial instruments at fair value, level 3

| Amounts in NOK million | Financial assets | | | | DNB Bank ASA Financial liabilities |
|--|--------------------|----------------------------|---------------|-----------------------|---------------------------------------|
| | Loans to customers | Commercial paper and bonds | Shareholdings | Financial derivatives | Financial derivatives |
| Carrying amount as at 31 December 2015 | 24 855 | 566 | 828 | 1 504 | 1 144 |
| Net gains recognised in the income statement | 42 | (12) | (118) | (201) | (122) |
| Additions/purchases | 4 914 | 308 | 135 | 802 | 797 |
| Sales | (2 696) | (597) | (45) | | |
| Settled | (11 063) | | | (772) | (751) |
| Transferred from level 1 or level 2 | | 698 | | | |
| Transferred to level 1 or level 2 | | (576) | | | |
| Other | | (13) | | (14) | (6) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 16 052 | 375 | 799 | 1 319 | 1 062 |
| Net gains recognised in the income statement | 13 | (63) | 22 | (75) | (99) |
| Additions/purchases | 2 039 | 331 | 55 | 1 422 | 1 349 |
| Sales | (951) | (291) | (350) | | |
| Settled | (4 831) | | | (592) | (578) |
| Transferred from level 1 or level 2 | | 100 | | | |
| Transferred to level 1 or level 2 | | (132) | | | |
| Other | | 8 | | (5) | 15 |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 12 322 | 328 | 527 | 2 069 | 1 749 |

Financial instruments at fair value, level 3

| Amounts in NOK million | Financial assets | | | | DNB Bank Group Financial liabilities |
|--|--------------------|----------------------------|---------------|-----------------------|---|
| | Loans to customers | Commercial paper and bonds | Shareholdings | Financial derivatives | Financial derivatives |
| Carrying amount as at 31 December 2015 | 85 777 | 734 | 1 229 | 1 504 | 1 144 |
| Net gains recognised in the income statement | (519) | (97) | (120) | (201) | (122) |
| Additions/purchases | 13 818 | 308 | 156 | 802 | 797 |
| Sales | (5 148) | (657) | (283) | | |
| Settled | (24 489) | 0 | | (772) | (751) |
| Transferred from level 1 or level 2 | | 698 | | | |
| Transferred to level 1 or level 2 | | (576) | | | |
| Other | | (35) | (36) | (14) | (6) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 69 442 | 375 | 946 | 1 319 | 1 062 |
| Net gains recognised in the income statement | 119 | (63) | 73 | (75) | (99) |
| Additions/purchases | 5 041 | 331 | 61 | 1 422 | 1 349 |
| Sales | | (291) | (459) | | |
| Settled | (19 228) | | | (592) | (578) |
| Transferred from level 1 or level 2 | | 100 | | | |
| Transferred to level 1 or level 2 | | (132) | | | |
| Other | | 8 | | (5) | 15 |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 55 373 | 328 | 621 | 2 069 | 1 749 |

Loans to customers

The portfolio of loans carried at fair value consists primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and a share of margin loans in Norwegian kroner.

Fixed-rate loans

The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed interest flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. The discount factor used has as a starting point a swap rate based on a duration equal to the average remaining lock-in period for the relevant fixed-rate loans. The assumptions underlying the calculation of the margin requirement are based on a review of the market conditions on the balance sheet date and on an assessment of the deliberations made by external investors when investing in a corresponding portfolio. Fixed-rate loans carried at fair value totalled NOK 46 604 million at year-end 2017.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Margin loans carried at fair value

A margin loan has an agreed interest rate consisting of a reference interest rate and a margin add-on. Reference rates will normally be set for a period of three months, but the margin can be determined for considerably longer periods. In times of significant interest rate fluctuations and reduced liquidity in the market, as has been the case during the financial turmoil, long-term funding costs increased. This is of significance for the margin requirements used by the bank in its calculations. The margin requirements are measured against agreed margins, and discrepancies are discounted over the average period up until the expected margin adjustment. This period is based on assessments from the banking group's business areas, but will require significant judgment based on past experience. The period up until the actual adjustment of the margin represents the largest element of uncertainty in these calculations. Margin loans carried at fair value totalled NOK 8 769 million at year-end 2017.

Commercial paper and bonds

Investments classified as level 3 primarily consist of corporate high-yield bonds with limited liquidity.

Equities including mutual fund holdings

Investments classified as level 3 consist of private equity funds, limited partnerships and unquoted equities. A common denominator for these investments is that there is a lag in the access to information from the units. In times of financial market turmoil, there may be considerable uncertainty related to the valuation of these investments.

Financial derivatives, assets and liabilities

Items classified as level 3 are primarily currency options, interest rate options in Norwegian kroner and derivatives related to developments in the consumer price index.

| DNB Bank ASA | | | Breakdown of fair value, level 3 | | DNB Bank Group | | |
|------------------|----------------------------|--------------------|-------------------------------------|--|--------------------|----------------------------|---------------|
| 31 December 2017 | | | | | 31 December 2017 | | |
| Shareholdings | Commercial paper and bonds | Loans to customers | Amounts in NOK million | | Loans to customers | Commercial paper and bonds | Shareholdings |
| 392 | 355 | 12 241 | Principal amount/purchase price | | 54 602 | 355 | 415 |
| 135 | (27) | 50 | Fair value adjustment ¹⁾ | | 674 | (27) | 206 |
| | | 31 | Accrued interest | | 97 | | |
| 527 | 328 | 12 322 | Carrying amount | | 55 373 | 328 | 621 |

1) Changes in the fair value of customer loans mainly result from changes in swap rates. A corresponding negative adjustment is made in the fair value of financial instruments used for economic hedging.

| DNB Bank ASA | | | Breakdown of shareholdings, level 3 | | DNB Bank Group | | |
|--------------|-------|---------------------------|-------------------------------------|--|-------------------|---------------------------|-------|
| | | | | | | | |
| Total | Other | Private Equity (PE) funds | Unquoted equities | Amounts in NOK million | Unquoted equities | Private Equity (PE) funds | Other |
| 527 | 12 | 212 | 303 | Carrying amount as at 31 December 2017 | 397 | 212 | 12 |
| | | | | | | | 621 |

| DNB Bank ASA | | Sensitivity analysis, level 3 | | DNB Bank Group | |
|---|--|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|---|
| Effect of reasonably possible alternative assumptions | | Carrying amount 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | Carrying amount 31 Dec. 2017 | Effect of reasonably possible alternative assumptions |
| (24) | | 12 322 | Loans to customers | 55 373 | (122) |
| (1) | | 328 | Commercial paper and bonds | 328 | (1) |
| | | 527 | Shareholdings | 621 | |
| | | 320 | Financial derivatives, net | 320 | |

In order to show the sensitivity of the loan portfolio, the discount rate on fixed-rate loans and the margin requirement on margin-based loans have been increased by 10 basis points.

Level 3 bonds mainly represent investments in Norwegian industries, offshore and power companies. A 10 basis point increase in the discount rate has had insignificant effects.

Note 29 Offsetting

The table below presents the potential effects of the banking group's netting arrangements on financial assets and financial liabilities. See note 1 Accounting principles for more information.

| DNB Bank ASA | | | | | | |
|--|--------------|---|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Gross amount | Amounts offset in the statement of financial position | Carrying amount | Netting agreements | Other collateral ¹⁾ | Amounts after possible netting |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | | | |
| Due from credit institutions ²⁾ | 192 707 | | 192 707 | | 192 707 | |
| Loans to customers ²⁾ | 56 430 | | 56 430 | | 56 430 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 146 953 | | 146 953 | 23 797 | 73 930 | 49 226 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | | | |
| Due to credit institutions ²⁾ | 57 299 | | 57 299 | | 57 299 | |
| Deposits from customers ²⁾ | 1 552 | | 1 552 | | 1 552 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 179 534 | | 179 534 | 23 797 | 91 201 | 64 536 |

| DNB Bank ASA | | | | | | |
|--|--------------|---|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Gross amount | Amounts offset in the statement of financial position | Carrying amount | Netting agreements | Other collateral ¹⁾ | Amounts after possible netting |
| Assets as at 31 December 2016 | | | | | | |
| Due from credit institutions ²⁾ | 153 938 | | 153 938 | | 153 938 | |
| Loans to customers ²⁾ | 43 496 | | 43 496 | | 43 496 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 170 317 | | 170 317 | 54 580 | 70 330 | 45 407 |
| Liabilities as at 31 December 2016 | | | | | | |
| Due to credit institutions ²⁾ | 50 018 | | 50 018 | | 50 018 | |
| Deposits from customers ²⁾ | 1 185 | | 1 185 | | 1 185 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 181 794 | | 181 794 | 54 580 | 58 566 | 68 648 |

| DNB Bank Group | | | | | | |
|--|--------------|---|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Gross amount | Amounts offset in the statement of financial position | Carrying amount | Netting agreements | Other collateral ¹⁾ | Amounts after possible netting |
| Assets as at 31 December 2017 | | | | | | |
| Due from credit institutions ²⁾ | 192 707 | | 192 707 | | 192 707 | |
| Loans to customers ²⁾ | 56 430 | | 56 430 | | 56 430 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 132 649 | | 132 649 | 23 797 | 73 325 | 35 527 |
| Liabilities as at 31 December 2017 | | | | | | |
| Due to credit institutions ²⁾ | 30 922 | | 30 922 | | 30 922 | |
| Deposits from customers ²⁾ | 1 552 | | 1 552 | | 1 552 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 112 020 | | 112 020 | 23 797 | 72 527 | 15 696 |

| DNB Bank Group | | | | | | |
|--|--------------|---|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| Amounts in NOK million | Gross amount | Amounts offset in the statement of financial position | Carrying amount | Netting agreements | Other collateral ¹⁾ | Amounts after possible netting |
| Assets as at 31 December 2016 | | | | | | |
| Due from credit institutions ²⁾ | 153 938 | | 153 938 | | 153 938 | |
| Loans to customers ²⁾ | 43 496 | | 43 496 | | 43 496 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 157 957 | | 157 957 | 54 603 | 70 288 | 33 086 |
| Liabilities as at 31 December 2016 | | | | | | |
| Due to credit institutions ²⁾ | 20 375 | | 20 375 | | 20 375 | |
| Deposits from customers ²⁾ | 1 185 | | 1 185 | | 1 185 | |
| Financial derivatives ³⁾ | 130 990 | | 130 990 | 54 603 | 58 250 | 18 137 |

1) Includes cash collateral and securities received/transferred from/to counterparties and securities received/placed as collateral in depositories in Clearstream or Euroclear.

2) Includes repurchase and reverse repurchase agreements, securities borrowing and lending transactions.

3) Gross amounts represent the market value of the derivatives subject to master netting agreements or collateralized by cash or securities under Credit Support Annex.

Note 30 Shareholdings

Investments in shares, mutual funds and equity certificates ¹⁾

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 5 178 | 6 310 | Total investments in shares, mutual funds and equity certificates | 7 303 | 6 200 |

1) Equity certificates represent investments in savings banks.

Note 31 Transferred assets or assets with other restrictions

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|---|-----------------|--|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Transferred assets still recognised in the balance sheet | | | | |
| 11 079 | 9 778 | Repurchase agreements | | |
| | | Commercial paper and bonds | 2 688 | 11 079 |
| 3 648 | 4 596 | Derivatives | | |
| | | Commercial paper and bonds | 2 698 | 3 648 |
| 215 | 178 | Securities lending | | |
| | | Shares | 178 | 215 |
| 14 941 | 14 550 | Total repurchase agreements and securities lending | 5 564 | 14 941 |
| Liabilities associated with the assets | | | | |
| 10 446 | 8 889 | Repurchase agreements | | |
| | | Due to credit institutions | 1 808 | 10 446 |
| 1 185 | 877 | Deposits from customers | 877 | 1 185 |
| 3 648 | 4 596 | Derivatives | | |
| | | | 2 698 | 3 648 |
| 225 | 187 | Securities lending | | |
| | | | 187 | 225 |
| 15 505 | 14 549 | Total liabilities | 5 570 | 15 505 |

Restricted assets

Local statutory capital requirements might restrict the ability of the banking group to access or transfer assets freely to or from other entities within the banking group and to settle liabilities within the banking group.

Restrictions affecting the DNB Bank Group's ability to use assets:

- The DNB Bank Group has pledged assets to collateralise its obligations (pledged securities) and issued covered bonds (cover pool), see note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies for further information.
- The DNB Bank Group has pledged collateral in connection with derivative instruments, see note 15 Financial derivatives for further information.

Note 32 Securities received which can be sold or repledged

| DNB Bank ASA | | Securities received | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | | <i>Amounts in NOK million</i> | | |
| 190 093 | 243 010 | Reverse repurchase agreements | 243 010 | 190 093 |
| | | Commercial paper and bonds | | |
| 31 121 | 45 801 | Securities borrowing | 45 801 | 31 121 |
| | | Shares | | |
| 221 204 | 288 811 | Total securities received | 288 811 | 221 204 |
| | | <i>Of which securities received and subsequently sold or repledged:</i> | | |
| 4 203 | 41 208 | Commercial paper and bonds | 11 616 | 4 203 |
| 10 084 | 9 021 | Shares | 9 199 | 10 084 |

Note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|--|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | | <i>Amounts in NOK million</i> | | |
| 12 760 | 9 613 | International bond portfolio | 9 613 | 12 760 |
| 12 760 | 9 613 | Commercial paper and bonds, held to maturity | 9 613 | 12 760 |

As part of ongoing liquidity management, DNB Bank has invested in a portfolio of securities. The portfolio can be used to regulate the liquidity requirement and as a basis for furnishing collateral for operations in various countries. Among other things, the securities serve as collateral for short and long-term borrowing in a number of central banks and as a basis for liquidity buffers to meet regulatory requirements. With effect from 1 July 2008, the international bond portfolio was reclassified from the category "fair value through profit or loss" to "held-to-maturity investments". In the period following the reclassification some additional investments were classified as held-to-maturity. Portfolios in this category are recorded at amortised cost and written down if there is objective evidence of a decrease in value.

Effects of the reclassifications of the international bond portfolio

By measuring the portfolio at amortised cost, the value of the portfolio as at 31 December 2017 was NOK 36 million higher than if the previous valuation principle had been retained. On the reclassification date, the carrying amount of the portfolio was NOK 88.0 billion, compared with NOK 8.7 billion at end-December 2017. The average term to maturity of the portfolio was 4.9 years, and the change in value resulting from a credit spread adjustment of one basis point was NOK 4.1 million at end-December 2017.

| Effects on profits of the reclassification | DNB Bank Group | |
|--|----------------|-------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | 2017 | 2016 |
| Recorded amortisation effect | 98 | 84 |
| Net gain, if valued at fair value | 409 | 448 |
| Effects of reclassification on profits | (311) | (364) |

| Effects on the balance sheet of the reclassification | DNB Bank Group | |
|--|-----------------|-----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Recorded unrealised losses | 220 | 318 |
| Unrealised losses, if valued at fair value | 256 | 655 |
| Effects of reclassification on the balance sheet | 38 | 347 |

| Development in the portfolio after the reclassification | DNB Bank Group | |
|---|-----------------|-----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Reclassified portfolio, carrying amount | 8 868 | 10 414 |
| Reclassified portfolio, if valued at fair value | 8 631 | 10 067 |
| Effects of reclassification on the balance sheet | 36 | 347 |

Note 34 Investment properties

| Amounts included in the income statement <i>Amounts in NOK million</i> | DNB Bank Group | |
|---|----------------|------|
| | 2017 | 2016 |
| Rental income from investment properties | 125 | 131 |
| Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties generating rental income | (55) | (64) |
| Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties not generating rental income | (12) | (20) |
| Total | 58 | 47 |

Investment properties are mainly related to acquired companies and are classified at level 3 in the valuation hierarchy.

| Changes in the value of investment properties <i>Amounts in NOK million</i> | DNB Bank Group | |
|---|-----------------------|--|
| | Investment properties | |
| Carrying amount as at 31 December 2015 | 2 333 | |
| Additions, purchases of new properties | 84 | |
| Additions, capitalised investments | 5 | |
| Additions, acquired companies | 163 | |
| Net gains | (35) | |
| Disposals | (1 311) | |
| Exchange rate movements | (65) | |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 1 175 | |
| Additions, purchases of new properties | 0 | |
| Additions, capitalised investments | 0 | |
| Additions, acquired companies | | |
| Net gains | 171 | |
| Disposals | (382) | |
| Exchange rate movements | 25 | |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 990 | |
| Contractual commitments related to the acquisition or construction of investment properties, not capitalised as at 31 December 2017 | 0 | |

Note 35 Investments accounted for by the equity method

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | |
|--|----------------|-------|
| | 2017 | 2016 |
| Carrying amount as at 1 January | 3 570 | 4 091 |
| Share of profits after tax | (587) | 771 |
| Impairment of the ownership interest in Eksportfinans AS | | 144 |
| Share of other comprehensive income ¹⁾ | 175 | (880) |
| Additions/disposals | 9 019 | (557) |
| Carrying amount as at 31 December ²⁾ | 11 176 | 3 570 |

| Amounts in NOK million | Assets | Liabilities | Income | Profit | Ownership share (%) | Carrying amount | Carrying amount |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
| | 31 Dec. | 31 Dec. | | | 31 Dec. | 31 Dec. | 31 Dec. |
| | 2017 ³⁾ | 2017 ³⁾ | 2017 ³⁾ | 2017 ³⁾ | 2017 | 2017 | 2016 |
| Luminor Group AB ⁴⁾ | 148 505 | 131 586 | 848 | 27 | 44 | 7 387 | |
| Eksportfinans AS | 22 398 | 15 595 | (224) | (261) | 40 | 2 721 | 3 219 |
| Vipps AS ⁵⁾ | 380 | 135 | (15) | (131) | 52 | 525 | |
| Visa Norge ¹⁾ | | | | | | 443 | 283 |
| Other associated companies | | | | | | 100 | 68 |
| Total | | | | | | 11 176 | 3 570 |

| Amounts in NOK million | Ownership share (%) | Carrying amount | Carrying amount |
|--------------------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
| | 31 Dec. | 31 Dec. | 31 Dec. |
| | 2017 | 2017 | 2016 |
| Luminor Group AB ⁴⁾ | 44 | 7 374 | |
| Eksportfinans AS | 40 | 919 | 919 |
| Vipps AS ⁵⁾ | 52 | 629 | |
| Other associated companies | | 85 | 76 |
| Total | | 9 007 | 995 |

1) DNB has indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norway. In connection with the valuation of the holdings in Visa Europe as at 31 March 2016 an accumulated gain of NOK 855 million was recognized in other comprehensive income. Upon the completion of the acquisition of Visa Europe by Visa Inc in the second quarter of 2016, this amount was reclassified to profit and a total gain of NOK 1 128 million was recognized as "Profit from investments accounted for by the equity method" in the income statement.

2) Include deferred tax positions and value adjustments not reflected in the company's balance sheet.

3) Values in the accounts of associated companies. Preliminary and unaudited accounts have been used.

4) DNB and Nordea combined their operations in Estonia, Latvia and Lithuania into the new company Luminor Group AB in the fourth quarter of 2017. DNB's ownership interest in Luminor Group AB is approximately 44 per cent. Luminor Group AB is consolidated in DNB according to the equity method.

5) In the third quarter of 2017, Vipps AS was established as a separate company and DNB entered into an agreement with 105 other Norwegian banks. DNB will have an ownership interest in the new legal entity (Vipps AS) of close to 52 per cent. However, due to the terms and conditions in the shareholder agreement, it has been decided to define Vipps AS as an associated company. DNB can only vote for 49.9 per cent at the General Meeting, and has only three of seven board members. Vipps AS is consolidated in DNB according to the equity method.

Note 36 Investments in subsidiaries as at 31 December 2017

| | | | | | | DNB Bank ASA | |
|--|-----|-----------|---------------|-----|-----------|--------------|--------------------|
| Amounts in 1 000 | | Share | Number | | Nominal | Ownership | Carrying |
| Values in NOK unless otherwise indicated | | capital | of shares | | value | share in | amount |
| | | | | | | per cent | |
| Foreign subsidiaries | | | | | | | |
| DNB Invest Denmark | DKK | 877 579 | 877 578 841 | DKK | 877 579 | 100 | 10 772 220 |
| DNB Bank Polska | PLN | 1 257 200 | 1 257 200 000 | PLN | 1 257 200 | 100 | 1 773 562 |
| DNB Asia ¹⁾ | USD | 1 500 000 | 150 000 000 | USD | 1 500 000 | 100 | 12 297 600 |
| DNB Asia ¹⁾ | SGD | 20 000 | 20 000 000 | SGD | 20 000 | 100 | 100 769 |
| DNB Brasil | BRL | 600 | 599 999 | BRL | 600 | 100 | 2 542 |
| DNB Capital ²⁾ | | | | | | 100 | 19 676 160 |
| DNB Luxembourg | EUR | 70 000 | 70 000 | EUR | 70 000 | 100 | 888 293 |
| DNB Markets Inc. | USD | 1 | 1 000 | USD | 1 | 100 | 3 004 |
| DNB Sweden | SEK | 100 000 | 100 000 000 | SEK | 100 000 | 100 | 14 486 571 |
| DNB (UK) Limited | GBP | 1 154 200 | 1 154 200 000 | GBP | 1 154 200 | 100 | 12 791 535 |
| Domestic subsidiaries | | | | | | | |
| Aksje- og Eiendomsinvest | | 100 | 100 000 | | 100 | 100 | 38 721 |
| Bryggetorget Holding | | 3 250 | 2 500 | | 3 250 | 100 | 63 230 |
| DNB Boligkreditt | | 4 157 000 | 41 570 000 | | 4 157 000 | 100 | 36 384 000 |
| DNB Eiendom | | 10 003 | 100 033 | | 10 003 | 100 | 168 241 |
| DNB Eiendomsutvikling | | 91 000 | 91 000 000 | | 91 000 | 100 | 253 931 |
| DNB Gjenstandsadministrasjon | | 3 000 | 30 | | 3 000 | 100 | 3 000 |
| DNB ID Solutions | | 300 | 3 000 | | 300 | 100 | 15 033 |
| DNB Invest Holding | | 100 000 | 200 000 | | 100 000 | 100 | 172 000 |
| DNB Næringskreditt | | 550 000 | 550 000 | | 550 000 | 100 | 5 240 942 |
| DNB Næringsmegling | | 1 000 | 10 000 | | 1 000 | 100 | 24 000 |
| DNB Polish Properties | | 1 200 | 1 200 | | 1 200 | 100 | 35 113 |
| Godfjellet | | 8 030 | 8 030 | | 8 030 | 100 | 27 600 |
| Godtforden | | 1 000 | 10 000 | | 1 000 | 100 | 72 000 |
| IOS Tubular Management | | 900 | 750 | | 900 | 100 | 42 200 |
| Kongsberg Industriendom | | 100 | 1 000 | | 100 | 100 | 10 000 |
| Total investments in subsidiaries | | | | | | | 115 142 267 |

1) DNB Asia Ltd has part of its share capital denominated in SGD (due to local requirements) and a part of its share capital denominated in USD.

2) DNB Capital LLC, a limited liability company, has paid-in capital of USD 2.4 billion.

Hedging of investments in subsidiaries

In DNB Bank ASA, currency risk associated with foreign currency investments in subsidiaries is subject to fair value hedging. The hedging instruments used are mainly debt securities issued. Changes in the value of the investments and hedging instruments resulting from exchange rate movements are recorded in the income statement. At group level, net investments in subsidiaries are hedged through cash flow hedges for an amount corresponding to DNB Bank's investments. Changes in the value of investments and hedging instruments are recorded in the comprehensive income statement. Ineffectiveness in the hedging relationship is recognised in the income statement. The weakening of the Norwegian krone through 2017 increased the value of investments in subsidiaries by NOK 687 million, which was offset by a corresponding reduction in the value of hedging contracts, adjusted for tax effects. In 2016, there was a decrease in the value of investments in subsidiaries by NOK 5 795 million.

Note 37 Intangible assets

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---------------------------------|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 2 921 | 2 404 | Goodwill | 2 584 | 3 057 |
| 571 | 1 040 | Capitalised systems development | 1 056 | 824 |
| 106 | 71 | Other intangible assets | 116 | 100 |
| 3 598 | 3 515 | Total intangible assets | 3 756 | 3 981 |

| DNB Bank ASA | | | | |
|---|----------|---------------------------------|-------------------------|---------|
| Amounts in NOK million | Goodwill | Capitalised systems development | Other intangible assets | Total |
| Cost as at 1 January 2016 | 3 678 | 1 488 | 825 | 5 989 |
| Additions | | 266 | 323 | 589 |
| Additions from the acquisition/establishment of other companies | (39) | | | (39) |
| Increase/reduction in cost price | (41) | | | (41) |
| Disposals | (0) | 106 | (452) | (346) |
| Exchange rate movements | (55) | (2) | (14) | (71) |
| Cost as at 31 December 2016 | 3 543 | 1 857 | 681 | 6 080 |
| Total depreciation and impairment as at 1 January 2016 | (685) | (975) | (672) | (2 313) |
| Depreciation | | (139) | (49) | (188) |
| Impairment | | (3) | | (3) |
| Disposals | 41 | (169) | 136 | 7 |
| Exchange rate movements | 3 | 2 | 11 | 15 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (622) | (1 296) | (575) | (2 492) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 2 921 | 571 | 106 | 3 598 |
| Cost as at 1 January 2017 | 3 543 | 1 857 | 681 | 6 080 |
| Additions | | 633 | 16 | 649 |
| Additions from the acquisition/establishment of other companies | | | | |
| Increase/reduction in cost price | | | | |
| Disposals ¹⁾ | (697) | (43) | (0) | (740) |
| Exchange rate movements | 25 | 1 | 12 | 38 |
| Cost as at 31 December 2017 | 2 871 | 2 448 | 709 | 6 028 |
| Total depreciation and impairment as at 1 January 2017 | (622) | (1 296) | (575) | (2 492) |
| Depreciation | | (165) | (52) | (216) |
| Impairment | | | | |
| Disposals ¹⁾ | 155 | 43 | 0 | 198 |
| Exchange rate movements | (0) | (1) | (11) | (12) |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2017 | (467) | (1 408) | (638) | (2 513) |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 2 404 | 1 040 | 71 | 3 515 |

1) Impairment losses for goodwill in 2017 of NOK 502 million was related to Cresco.

Note 37 Intangible assets (continued)

| Amounts in NOK million | DNB Bank Group | | | |
|---|----------------|---------------------------------|-------------------------|---------|
| | Goodwill | Capitalised systems development | Other intangible assets | Total |
| Cost as at 1 January 2016 | 4 665 | 3 395 | 978 | 9 038 |
| Additions | 19 | 266 | 346 | 632 |
| Additions from the acquisition/establishment of other companies | (0) | | | (0) |
| Increase/reduction in cost price | (41) | | (0) | (41) |
| Disposals | (3) | (367) | (444) | (813) |
| Exchange rate movements | (56) | (55) | (40) | (150) |
| Cost as at 31 December 2016 | 4 585 | 3 241 | 941 | 8 666 |
| Total depreciation and impairment as at 1 January 2016 | (1 566) | (2 519) | (778) | (4 863) |
| Depreciation | | (241) | (43) | (284) |
| Impairment | (5) | (3) | | (8) |
| Disposals | 20 | 286 | 52 | 358 |
| Exchange rate movements | 23 | 60 | 29 | 112 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (1 528) | (2 417) | (741) | (4 685) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 3 057 | 824 | 100 | 3 981 |
| Cost as at 1 January 2017 | 4 585 | 3 241 | 941 | 8 666 |
| Additions | 45 | 455 | 28 | 528 |
| Additions from the acquisition/establishment of other companies | | 2 | | 2 |
| Increase/reduction in cost price | | | (0) | (0) |
| Disposals ¹⁾ | (703) | (43) | (0) | (745) |
| Exchange rate movements | 22 | 147 | 95 | 263 |
| Cost as at 31 December 2017 | 3 949 | 3 801 | 964 | 8 714 |
| Total depreciation and impairment as at 1 January 2017 | (1 528) | (2 417) | (741) | (4 685) |
| Depreciation | | (199) | (69) | (268) |
| Impairment | (5) | (42) | | (46) |
| Disposals ¹⁾ | 160 | 43 | 0 | 203 |
| Exchange rate movements | 7 | (130) | (39) | (161) |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2017 | (1 365) | (2 745) | (848) | (4 958) |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 2 584 | 1 056 | 116 | 3 756 |

1) Impairment losses for goodwill in 2017 of NOK 502 million was related to Cresco.

Goodwill

The risk-free interest rate is set at 3 per cent, the market risk premium is set at 5 per cent, and the long-term growth factor is set at 2.5 per cent for all cash-generating units. Beta values are estimated separately for each cash-generating unit. Required rate of return is before tax. For a detailed description of methods and assumptions used in the calculation of the recoverable amount for goodwill, see note 1 Accounting principles.

Note 37 Intangible assets (continued)

| DNB Bank ASA | | | Goodwill per unit as at 31 December 2017 | | DNB Bank Group | | |
|---------------------------|--|-----------------------------|--|-----------------------------|--|---------------------------|--|
| Recorded (NOK million) | Required rate of return (per cent) | Growth factor (per cent) | | Growth factor (per cent) | Required rate of return (per cent) | Recorded (NOK million) | |
| 982 | 11.9 | 2.5 | Personal customers | 2.5 | 11.9 | 982 | |
| 483 | 11.9 | 2.5 | Small and medium sized enterprises | 2.5 | 11.9 | 483 | |
| 791 | 11.9 | 2.5 | DNB Finans - car financing | 2.5 | 11.9 | 791 | |
| 148 | 11.9 | 2.5 | Other | 2.5 | 11.9 | 328 | |
| 2 404 | | | Total goodwill | | | 2 584 | |

| DNB Bank ASA | | | Goodwill per unit as at 31 December 2016 | | DNB Bank Group | | |
|---------------------------|--|-----------------------------|--|-----------------------------|--|---------------------------|--|
| Recorded (NOK million) | Required rate of return (per cent) | Growth factor (per cent) | | Growth factor (per cent) | Required rate of return (per cent) | Recorded (NOK million) | |
| 982 | 12.4 | 2.5 | Personal customers | 2.5 | 12.4 | 982 | |
| 483 | 12.4 | 2.5 | Small and medium sized enterprises | 2.5 | 12.4 | 483 | |
| 791 | 12.4 | 2.5 | DNB Finans - car financing | 2.5 | 12.4 | 791 | |
| 665 | 12.4 | 2.5 | Other | 2.5 | 12.4 | 901 | |
| 2 920 | | | Total goodwill | | | 3 057 | |

Personal customers – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for personal customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR and the acquisition of Nordlandsbanken. In addition, some goodwill remains from previously acquired offices in Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

Small and medium sized enterprises – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for corporate customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

DNB Finans – car financing

The unit encompasses DNB's car financing operations in Norway and Sweden, and goodwill stems from DNB's acquisition of Skandiabanken's car financing operations with effect from 2008. Critical assumptions for cash flows during the plan period are car sales figures and DNB Finans' ability to retain customer relations with important car dealers, along with long-term margin developments and the level of impairment of loans.

Note 38 Fixed assets

| | DNB Bank ASA | | | | |
|--|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------|---------|
| | Bank buildings and other properties | Machinery, equipment and vehicles | Fixed assets operating leases | Other fixed assets | Total |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | |
| Accumulated cost as at 31 December 2015 | 200 | 3 101 | 8 648 | 15 | 11 965 |
| Reclassified fixed assets | 7 | (7) | | | |
| Additions | 9 | 165 | 2 333 | 1 | 2 508 |
| Disposals | (31) | (242) | (2 667) | (5) | (2 945) |
| Exchange rate movements | (13) | (10) | (296) | (0) | (319) |
| Cost as at 31 December 2016 | 172 | 3 007 | 8 018 | 11 | 11 209 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2015 | (33) | (1 523) | (2 927) | (2) | (4 485) |
| Disposals | 0 | 188 | 1 583 | 0 | 1 772 |
| Depreciation ⁽¹⁾ | (9) | (308) | (1 252) | (1) | (1 570) |
| Exchange rate movements | 3 | 3 | 103 | 0 | 180 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (39) | (1 640) | (2 493) | (2) | (4 175) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 133 | 1 367 | 5 525 | 9 | 7 034 |
| Accumulated cost as at 31 December 2016 | 172 | 3 007 | 8 018 | 11 | 11 209 |
| Additions | 3 | 362 | 2 883 | 2 | 3 250 |
| Disposals | (11) | (53) | (2 272) | (3) | (2 339) |
| Exchange rate movements | 2 | 2 | 228 | 0 | 232 |
| Cost as at 31 December 2017 | 167 | 3 318 | 8 857 | 10 | 12 352 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (39) | (1 640) | (2 493) | (2) | (4 175) |
| Disposals | | 6 | 900 | | 906 |
| Depreciation ⁽¹⁾ | (9) | (297) | (853) | (2) | (1 161) |
| Exchange rate movements | (1) | 2 | (81) | (0) | (80) |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2017 | (49) | (1 928) | (2 528) | (4) | (4 510) |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 118 | 1 390 | 6 329 | 6 | 7 842 |

Note 38 Fixed assets (continued)

| | DNB Bank Group | | | | |
|--|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------|---------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | Bank buildings and other properties | Machinery, equipment and vehicles | Fixed assets operating leases | Other fixed assets | Total |
| Accumulated cost as at 31 December 2015 | 798 | 3 501 | 8 648 | 174 | 13 122 |
| Reclassified fixed assets | 7 | (7) | | | |
| Additions | 19 | 233 | 2 333 | 27 | 2 613 |
| Fixed assets, reclassified as held for sale | (418) | (280) | | (100) | (799) |
| Disposals | (198) | (286) | (2 687) | (27) | (3 179) |
| Exchange rate movements | (35) | (24) | (296) | (7) | (363) |
| Cost as at 31 December 2016 | 173 | 3 136 | 8 018 | 67 | 11 394 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2015 | (210) | (1 821) | (2 928) | (104) | (5 063) |
| Fixed assets, reclassified as held for sale | 113 | 209 | | 62 | 394 |
| Disposals | 78 | 230 | 1 584 | 20 | 1 912 |
| Depreciation ¹⁾ | (20) | (346) | (1 252) | (13) | (1 631) |
| Impairment | (13) | | | | (13) |
| Exchange rate movements | 12 | 14 | 103 | 5 | 133 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (39) | (1 715) | (2 493) | (31) | (4 278) |
| Carrying amount as at 31 December 2016 | 133 | 1 421 | 5 525 | 36 | 7 117 |
| Accumulated cost as at 31 December 2016 | 173 | 3 136 | 8 018 | 67 | 11 394 |
| Reclassified fixed assets | | | | (22) | (22) |
| Additions | 3 | 388 | 2 883 | 3 | 3 276 |
| Disposals | (11) | (61) | (2 272) | (4) | (2 348) |
| Exchange rate movements | 2 | 8 | 228 | 5 | 244 |
| Cost as at 31 December 2017 | 168 | 3 471 | 8 857 | 50 | 12 545 |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2016 | (39) | (1 715) | (2 493) | (31) | (4 278) |
| Disposals | | 10 | 900 | (1) | 909 |
| Depreciation ¹⁾ | (8) | (310) | (853) | (4) | (1 177) |
| Reversal of previous impairment losses | 0 | | | 2 | 2 |
| Exchange rate movements | (1) | (5) | (81) | (4) | (90) |
| Total depreciation and impairment as at 31 December 2017 | (48) | (2 019) | (2 528) | (37) | (4 634) |
| Carrying amount as at 31 December 2017 | 118 | 1 451 | 6 329 | 12 | 7 911 |

¹⁾ Based on cost less any residual value, other assets are subject to straight-line depreciation over their expected useful life within the following limits:

| | |
|-------------------------|------------|
| Technical installations | 10 years |
| Machinery | 3-10 years |
| Fixtures and fittings | 5-10 years |
| Computer equipment | 3-5 years |
| Means of transport | 5-7 years |

The DNB Bank ASA has not placed any collateral for loans/funding of fixed assets, including property.

Note 39 Leasing

| DNB Bank ASA | | Financial leases (as lessor) | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|--|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | | <i>Amounts in NOK million</i> | | |
| | | Gross investment in the lease | | |
| 12 165 | 12 439 | Due within 1 year | 12 500 | 13 472 |
| 31 348 | 31 627 | Due in 1-5 years | 32 515 | 35 624 |
| 3 275 | 3 850 | Due in more than 5 years | 3 850 | 3 335 |
| 46 788 | 48 116 | Total gross investment in the lease | 48 865 | 52 431 |
| | | Present value of minimum lease payments | | |
| 11 788 | 12 053 | Due within 1 year | 12 113 | 12 930 |
| 25 235 | 25 620 | Due in 1-5 years | 25 726 | 28 883 |
| 2 171 | 2 553 | Due in more than 5 years | 2 553 | 2 226 |
| 39 195 | 40 226 | Total present value of lease payments | 40 392 | 44 039 |
| 7 594 | 7 889 | Unearned financial income | 8 473 | 8 393 |
| | | | | |
| 65 | 72 | Unguaranteed residual values accruing to the lessor | 72 | 65 |
| 1 894 | 2 100 | Accumulated loan-loss provisions | 2 100 | 1 918 |
| 51 | 56 | Variable lease payments recognised as income during the period | 56 | 117 |
| DNB Bank ASA | | Operational leases (as lessor) | DNB Bank Group | |
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | <i>Amounts in NOK million</i> | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | | Future minimum lease payments under non-cancellable leases | | |
| 342 | 267 | Due within 1 year | 267 | 342 |
| 1 708 | 2 102 | Due in 1-5 years | 2 123 | 1 723 |
| 33 | 15 | Due in more than 5 years | 15 | 33 |
| 2 083 | 2 384 | Total future minimum lease payments under non-cancellable leases | 2 405 | 2 098 |
| DNB Bank ASA | | Operational leases (as lessee) | DNB Bank Group | |
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | <i>Amounts in NOK million</i> | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| | | Minimum future lease payments under non-cancellable leases | | |
| 81 | 40 | Due within 1 year | 52 | 93 |
| 372 | 408 | Due in 1-5 years | 469 | 449 |
| 5 837 | 5 830 | Due in more than 5 years | 5 830 | 5 837 |
| 6 290 | 6 277 | Total minimum future lease payments under non-cancellable leases | 6 352 | 6 379 |
| | | Total minimum future sublease payments expected to be received under non-cancellable subleases | 365 | 287 |
| 478 | 542 | | | |
| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
| 2016 | 2017 | <i>Amounts in NOK million</i> | 2017 | 2016 |
| | | Leases recognised as an expense during the period | | |
| 857 | 827 | Minimum lease payments | 852 | 822 |
| | 13 | Variable lease payments | 13 | |
| 857 | 840 | Total leases recognised as an expense during the period | 865 | 822 |
| (0) | (0) | Impairment of leases | (0) | (0) |

Note 40 Other assets

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 736 | 462 | Accrued expenses and prepaid revenues | 527 | 841 |
| 1 801 | 1 734 | Amounts outstanding on documentary credits and other payment services | 1 743 | 1 809 |
| 1 060 | 2 677 | Unsettled contract notes | 2 677 | 1 197 |
| 9 865 | 17 218 | Other amounts outstanding ¹⁾ | 2 940 | 4 408 |
| 13 462 | 22 092 | Total other assets ²⁾ | 7 888 | 8 255 |

1) DNB Bank ASA had outstanding group contributions totaling NOK 15 160 million as at 31 December 2017.

2) Other assets are generally of a short-term nature.

Note 41 Deposits from customers for principal customer groups

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 344 437 | 354 216 | Private individuals | 361 969 | 348 263 |
| 51 347 | 46 559 | Transportation by sea and pipelines and vessel construction | 46 559 | 51 347 |
| 47 711 | 52 889 | Real estate | 48 056 | 43 307 |
| 67 394 | 57 290 | Manufacturing | 59 951 | 69 738 |
| 129 298 | 141 457 | Services | 142 878 | 129 567 |
| 27 672 | 32 302 | Trade | 33 808 | 28 408 |
| 27 266 | 34 110 | Oil and gas | 34 110 | 27 267 |
| 50 265 | 48 249 | Transportation and communication | 50 750 | 52 650 |
| 26 074 | 22 149 | Building and construction | 22 815 | 26 435 |
| 19 023 | 15 738 | Power and water supply | 19 527 | 19 469 |
| 7 582 | 8 445 | Seafood | 8 445 | 7 582 |
| 3 071 | 3 078 | Hotels and restaurants | 3 078 | 3 071 |
| 2 444 | 2 339 | Agriculture and forestry | 2 362 | 2 465 |
| 57 106 | 54 662 | Central and local government | 55 114 | 57 715 |
| 60 742 | 82 876 | Finance | 93 671 | 79 081 |
| 920 434 | 956 350 | Total deposits from customers, nominal amount | 980 095 | 945 344 |
| 230 | 175 | Adjustments | 279 | 349 |
| 920 664 | 956 525 | Deposits from customers | 980 374 | 945 694 |

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 42 Debt securities issued

Changes in debt securities issued

| | DNB Bank ASA | | | | | |
|---|----------------------------------|------------------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|-----------------|
| Amounts in NOK million | Balance sheet 31 Dec. 2017 | Issued 2017 | Matured/ redeemed 2017 | Exchange rate movements 2017 | Other adjustments 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Commercial paper issued, nominal amount | 158 675 | 1 771 171 | (1 767 362) | 1 451 | | 153 415 |
| Bond debt, nominal amount ¹⁾ | 159 538 | 17 206 | (37 206) | 6 168 | | 173 388 |
| Adjustments | 7 961 | | | | (2 197) | 10 158 |
| Total debt securities issued | 326 171 | 1 788 376 | (1 804 568) | 7 619 | (2 197) | 336 941 |

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2017 ¹⁾²⁾

| | DNB Bank ASA | | |
|--|--------------|---------------------|----------------|
| Amounts in NOK million | NOK | Foreign currency | Total |
| 2018 | | 16 140 | 16 140 |
| 2019 | | 13 731 | 13 731 |
| 2020 | | 49 762 | 49 762 |
| 2021 | | 34 437 | 34 437 |
| 2022 | | 19 840 | 19 840 |
| 2023 | | 9 426 | 9 426 |
| 2024 and later | | 6 944 | 6 944 |
| Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount | | 150 280 | 150 280 |

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2017 ¹⁾

| | DNB Bank ASA | | |
|--|--------------|---------------------|----------------|
| Amounts in NOK million | NOK | Foreign currency | Total |
| 2018 | 17 | 158 658 | 158 675 |
| Total commercial paper issued, nominal amount | 17 | 158 658 | 158 675 |
| 2018 | 2 410 | | 2 410 |
| 2019 | 1 722 | | 1 722 |
| 2020 | 1 531 | | 1 531 |
| 2021 | 3 453 | | 3 453 |
| 2022 | | | |
| 2023 | | | |
| 2024 and later | 139 | | 139 |
| Total bond debt, nominal amount | 9 255 | | 9 255 |
| Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount | 9 273 | 158 658 | 167 930 |
| Adjustments | 485 | 7 475 | 7 961 |
| Debt securities issued | 9 758 | 316 413 | 326 171 |

1) Minus own bonds.

2) Includes hedged items.

Note 42 Debt securities issued (continued)

Changes in debt securities issued

| | Balance sheet 31 Dec. 2017 | Issued 2017 | Matured/ redeemed 2017 | Exchange rate movements 2017 | Other adjustments 2017 | 31 Dec. 2016 |
|---|----------------------------------|------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|-----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | | |
| Commercial paper issued, nominal amount | 158 675 | 1 771 171 | (1 767 362) | 1 451 | | 153 415 |
| Bond debt, nominal amount ¹⁾ | 588 202 | 77 859 | (89 010) | 27 906 | | 581 447 |
| Adjustments | 25 250 | | | | (7 638) | 32 888 |
| Total debt securities issued | 782 127 | 1 849 030 | (1 856 373) | 29 357 | (7 638) | 787 750 |

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2017 ¹⁾²⁾

| | NOK | Foreign currency | Total |
|--|-----|---------------------|----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | |
| 2018 | | 74 913 | 74 913 |
| 2019 | | 56 174 | 56 174 |
| 2020 | | 85 082 | 85 082 |
| 2021 | | 85 067 | 85 067 |
| 2022 | | 87 648 | 87 648 |
| 2023 | | 34 873 | 34 873 |
| 2024 and later | | 93 019 | 93 019 |
| Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount | | 516 777 | 516 777 |

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2017 ¹⁾

| | NOK | Foreign currency | Total |
|--|---------------|---------------------|----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | |
| 2018 | 17 | 158 658 | 158 675 |
| Total commercial paper issued, nominal amount | 17 | 158 658 | 158 675 |
| 2018 | 8 669 | | 8 669 |
| 2019 | 18 085 | | 18 085 |
| 2020 | 20 400 | | 20 400 |
| 2021 | 19 557 | | 19 557 |
| 2022 | 12 197 | | 12 197 |
| 2023 | 257 | | 257 |
| 2024 and later | 2 259 | | 2 259 |
| Total bond debt, nominal amount | 81 425 | | 81 425 |
| Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount | 81 443 | 158 658 | 240 100 |
| Adjustments | 2 267 | 22 983 | 25 250 |
| Debt securities issued | 83 710 | 698 417 | 782 127 |

1) Minus own bonds. Nominal amount of outstanding covered bonds in DNB Boligkreditt totalled NOK 450.4 billion as at 31 December 2017. The cover pool market value represented NOK 617.8 billion.

2) Includes hedged items.

Note 43 Subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities**Changes in subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities** **DNB Bank Group**

| | Balance sheet 31 Dec. 2017 | Issued 2017 | Matured/ redeemed 2017 | Exchange rate movements 2017 | Other adjustments 2017 | Balance sheet 31 Dec. 2016 |
|---|-------------------------------------|----------------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | | | |
| Term subordinated loan capital, nominal amount | 23 897 | 10 106 | (6 812) | 1 189 | | 18 415 |
| Perpetual subordinated loan capital, nominal amount | 5 361 | | | (241) | | 5 602 |
| Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount | | | (3 732) | | | 3 732 |
| Adjustments | 280 | | | | (319) | 599 |
| Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities | 29 538 | 10 106 | (10 544) | 948 | (319) | 29 347 |

| Year raised | | Carrying amount in foreign currency | Interest rate | Maturity | Call date | DNB Bank Group Carrying amount in NOK |
|--|-----|--|------------------------|----------|--------------|--|
| Term subordinated loan capital | | | | | | |
| 2012 | EUR | 750 | 3.00% p.a. | 2023 | 2018 | 7 375 |
| 2013 | NOK | 1 250 | 3-month NIBOR + 1.70% | 2023 | 2018 | 1 250 |
| 2015 | SEK | 1 000 | 1.97% p.a. | 2025 | 2020 | 999 |
| 2015 | SEK | 3 000 | 3-month STIBOR + 1.40% | 2025 | 2020 | 2 997 |
| 2016 | JPY | 10 000 | 1.00% p.a. | 2026 | 2021 | 729 |
| 2017 | JPY | 11 500 | 1.04% p.a. | 2027 | 2022 | 838 |
| 2017 | NOK | 1 400 | 3-month NIBOR + 1.75% | 2027 | 2022 | 1 400 |
| 2017 | NOK | 170 | 3.08% p.a. | 2027 | 2022 | 170 |
| 2017 | SEK | 750 | 3-month STIBOR + 1.70% | 2027 | 2022 | 749 |
| 2017 | SEK | 1 000 | 1.98% p.a. | 2027 | 2022 | 999 |
| 2017 | EUR | 650 | 1.25% p.a. | 2027 | 2022 | 6 381 |
| Total, nominal amount | | | | | | 23 897 |
| Perpetual subordinated loan capital | | | | | | |
| 1985 | USD | 215 | 3-month LIBOR + 0.25% | | | 1 763 |
| 1986 | USD | 150 | 6-month LIBOR + 0.15% | | | 1 230 |
| 1986 | USD | 200 | 6-month LIBOR + 0.13% | | | 1 640 |
| 1999 | JPY | 10 000 | 4.51% p.a. | | 2029 | 729 |
| Total, nominal amount | | | | | | 5 361 |

The subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities are issued by DNB Bank ASA.

Note 44 Other liabilities

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 1 574 | 458 | Short-term funding | 458 | 1 574 |
| 516 | 8 214 | Short positions trading | 6 214 | 516 |
| 3 602 | 3 836 | Accrued expenses and prepaid revenues | 4 136 | 3 890 |
| 2 810 | 2 032 | Documentary credits, cheques and other payment services | 2 053 | 2 831 |
| 2 906 | 2 828 | Unsettled contract notes | 2 828 | 2 943 |
| 9 858 | 32 894 | Group contribution/dividends | | |
| 632 | 1 202 | Accounts payable | 1 384 | 1 015 |
| 246 | 219 | General employee bonus | 219 | 246 |
| 1 749 | 1 420 | Other liabilities | 2 013 | 2 765 |
| 23 893 | 51 103 | Total other liabilities ¹⁾ | 19 304 | 15 781 |

1) Other liabilities are generally of a short-term nature.

Note 45 Equity**Share capital**

DNB Bank ASA is wholly owned subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The share capital of DNB Bank ASA at 31 December 2017 was NOK 18 255 648 000 divided into 182 556 480 shares, each with a nominal value of NOK 100. At 31 December 2016 the share capital was 18 314 311 000 divided into 183 143 110 shares, each with a nominal value of NOK 100. The share capital was reduced with NOK 58 663 000 divided into 586 630 shares following the demerger of Vipps in third quarter of 2017.

Fund for unrealised gains

The restricted share of retained earnings (fund for unrealised gains) in DNB Bank ASA totalled NOK 2 177 million at 31 December 2017 and NOK 1 588 million at 31 December 2016.

Additional Tier 1 capital

The additional Tier 1 capital is issued by DNB Bank ASA.

Changes in additional Tier 1 capital

| | | | DNB Bank Group | | | |
|---|----------------------------------|----------------|-----------------------|--------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| Amounts in NOK million | Balance sheet 31 Dec. 2017 | Issued 2017 | Interest paid 2017 | Interest accrued 2017 | Exchange rate movements 2017 | Balance sheet 31 Dec. 2016 |
| Additional Tier 1 capital, nominal amount | 15 574 | | | | | 15 574 |
| Adjustments | 585 | | (724) | 938 | (7) | 379 |
| Additional Tier 1 capital | 16 159 | | (724) | 938 | (7) | 15 952 |

| | | | DNB Bank Group | |
|------------------------------|--|-----------------------|---------------------------|--|
| Year raised | Carrying amount in foreign currency | Interest rate | Carrying amount in NOK | |
| 2015 | NOK 2 150 | 3-month NIBOR + 3.25% | 2 150 | |
| 2015 | USD 750 | 5.75% p.a. | 5 903 | |
| 2016 | NOK 1 400 | 3-month NIBOR + 5.25% | 1 400 | |
| 2016 | USD 750 | 6.50% p.a. | 6 120 | |
| Total, nominal amount | | | 15 574 | |

Note 46 Remunerations etc.

Pursuant to Section 6-16a of the Norwegian Public Limited Companies Act, the Board of Directors will present the following statement on remunerations to the Annual General Meeting for voting:

"Information about DNB's remuneration scheme

Pursuant to the Financial Institutions Regulations adopted by the Norwegian Ministry of Finance on 9 December 2016, companies are required to publish information about the main principles for determining remunerations, criteria for the stipulation of any variable remunerations and quantitative information on remuneration to senior executives. The information in this note, including the Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives below, represents such information, as stipulated in the Financial Institutions Regulations.

The standard for remuneration in the DNB Group applies to the total remuneration to all permanent employees in the DNB Group and has been approved by the Board of Directors. The standard comprises total remuneration (fixed salary, short and long-term incentives) and employee benefits (pensions, employer's liability insurance and other employee benefits). According to the standard, total remuneration is to be based on a total evaluation of the performance of the Group, as well as the unit's and each individual's contributions to value creation. Total remuneration should be structured to ensure that it does not expose the Group to unwanted risk. The remuneration should be competitive, but also cost-effective for the Group.

Furthermore, the total remuneration shall consist of fixed salary, any supplementary pay related to the relevant position and a variable part where this is appropriate. Fixed salary should be a compensation for the responsibilities and requirements assigned to each position, as well as its complexity, while variable remuneration should encourage strong performance and desired conduct.

Variable remuneration

The group standards shall ensure that variable remuneration is granted in accordance with the provisions in the Financial Institutions Regulations and the circular from Finanstilsynet on remuneration schemes in financial institutions, investment firms and management companies for mutual funds. DNB has had separate group standards for variable remuneration since 2011, including special rules for variable remuneration to senior executives, employees with responsibilities which are of great importance to the company's risk exposure ("risk takers") and employees who are responsible for independent control functions.

The purpose of variable remuneration is to reward conduct and develop a corporate culture which ensures long-term value generation.

Variable remuneration is based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas for the Group, the unit and the individual, as well as compliance with the Group's purpose, values, Code of Conduct and leadership principles. The variable remuneration should be performance-based without exposing the Group to unwanted risk. Furthermore, it should counteract excessive risk taking and promote sound and effective risk management in DNB. Variable remuneration (bonus) cannot exceed 50 per cent of fixed salary for senior executives and 100 per cent for other risk takers.

DNB's variable remuneration scheme applies globally, though non-Norwegian branches and subsidiaries will also be required to comply with local legislation, regulations and guidelines. There may be challenges of a legal nature in cases where the Norwegian regulations do not correspond to local legislation and local rules concerning remunerations in financial institutions. In such cases, the Group will seek advice from the relevant authorities and international experts to ensure that the Group's practices are in compliance with both Norwegian and local regulations.

The Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives

DNB's standard for determining remunerations to the group chief executive and other members of the group management team should, at all times, support prevailing strategy and values, while contributing to the attainment of the Group's targets. The remuneration should inspire conduct to build the desired corporate culture with respect to performance and profit orientation. No changes have been made in the principles for the stipulation of variable remunerations compared with the statement for the previous year.

Decision-making process

The Board of Directors in DNB ASA has established a compensation committee consisting of four members: the chairman of the Board, the vice-chairman, one board member and one board member elected by the employees.

The Compensation Committee prepares matters for the Board of Directors and has the following main responsibilities:

- Annually evaluate and present its recommendations regarding the total remuneration awarded to the group chief executive
- Annually prepare recommended targets for the group chief executive
- Based on suggestions from the group chief executive, decide the remuneration and other key benefits awarded to the group executive vice president, Group Audit and the group executive vice president, Group Risk Management
- Act in an advisory capacity to the group chief executive regarding remunerations and other key benefits for members of the group management team and, when applicable, for others who report to the group chief executive
- Consider other matters as decided by the Board of Directors and/or the Compensation Committee
- Evaluate other personnel-related issues which can be assumed to entail great risk to the Group's reputation

Note 46 Remunerations etc. (continued)

A Standards for the coming accounting year

Remuneration to the group chief executive

The total remuneration to the group chief executive consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable remuneration, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on a total evaluation, and the variable part of the remuneration is primarily based on the Group's financial targets. In addition to the financial targets, strategic targets have been established, whereby developments in the Group's competence, innovative power and corporate responsibility are assessed. In addition, the total evaluation will reflect compliance with the Group's purpose, values, Code of Conduct and leadership principles.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular, and on remuneration levels for comparable positions.

Variable salary to the group chief executive is determined based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas. Variable salary cannot exceed 50 per cent of fixed salary. The group chief executive is not awarded performance-based payments other than the stated variable remuneration.

In addition to variable remuneration, the group chief executive can be granted benefits in kind such as company car, newspapers/periodicals and telephone/ other communication. Benefits in kind should be relevant to the group chief executive's function or in line with market practice, and should not be significant relative to the group chief executive's fixed salary.

The group chief executive is a member of the defined-contribution pension scheme pursuant to the Norwegian Defined-contribution Pension Act in line with all other employees in Norway.

As of 1 January 2017, the group chief executive also has a defined-contribution direct pension agreement. In connection with the conversion from a defined-benefit to a defined-contribution direct pension scheme, the group chief executive was ensured entitlements which, calculated on the conversion date, were estimated to correspond to the technical insurance value of the former defined-benefit agreement. Based on the calculation assumptions, this agreement will have the same value as the former defined-benefit agreement would have had at retirement age, which is 60 years. After the age of 60, no further contributions will be earned under the direct pension agreement.

According to the agreement, the group chief executive is entitled to a termination payment for two years if employment is terminated prior to the age of 60. If, during this period, the group chief executive receives income from other employment, the termination payment will be reduced by an amount corresponding to the salary received from this employment. Benefits in kind will be maintained for a period of three months.

Remuneration to senior executives

The group chief executive determines the remunerations to senior executives in agreement with the chairman of the Board of Directors. The Board of Directors will honour existing binding agreements.

The total remuneration to senior executives consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable salary, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on the need to offer competitive terms in the various business areas. The remunerations should promote the Group's competitiveness in the relevant labour market, as well as the Group's profitability, including the desired trend in income and costs. The total remuneration should take DNB's reputation into consideration and ensure that DNB attracts and retains senior executives with the desired skills and experience.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular.

The variable remuneration to senior executives is determined based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas. Variable salary cannot exceed 50 per cent of fixed salary.

Benefits in kind may be offered to senior executives to the extent the benefits have a relevant connection to the employee's function in the Group or are in line with market practice. The benefits should not be significant relative to the employee's fixed salary.

Target structure 2018

The Compensation Committee approves principal criteria, principles and limits for variable remuneration. The Board of Directors has decided that the Group's return on equity, risk-adjusted return on equity and cost/income ratio will constitute the financial target figures for 2018. In addition to the financial targets, strategic targets have been established, whereby developments in the Group's competence, innovative power and corporate responsibility are assessed. The Group's financial target figures have been broken down into relevant targets for the various business areas and staff and support units.

The above targets will be key elements when calculating and paying out the variable remuneration for 2018. All targets have been defined and communicated to the relevant business areas and staff and support units as part of the work with and follow-up of the targets for 2018.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

Determination of variable remuneration for 2018

The variable remuneration for 2018 will be determined by means of an overall assessment of performance, based on a combination of quantitative attainment of pre-set performance targets and qualitative assessments of how the targets were achieved.

The Board of Directors will determine a maximum limit for total bonuses for the Group, excluding DNB Markets, DNB Eiendom and investment managers in DNB Asset Management, based on the attainment of group targets over the last two years, combined with a general assessment of other important parameters and the Group's financial capacity. The total limit will be allocated to the organisation based on the individual units' target attainment and contributions to the Group's performance. With respect to DNB Markets and investment managers in DNB Asset Management, special limits will be determined for variable remuneration based on the profits achieved by the unit and an overall assessment, which is in line with market practice for these types of operations. Correspondingly, the remuneration model in DNB Eiendom is consistent with market practice, with a high share of variable remuneration based on individual performance.

Special rules for senior executives, identified risk takers and employees responsible for independent control functions

DNB has prepared and implemented special rules for identified risk takers, employees responsible for independent control functions and senior executives, hereinafter called risk takers. The special rules supplement the general group standards for remuneration and have been formulated in compliance with the Financial Institutions Regulations and the related circular from Finanstilsynet.

In accordance with prevailing requirements, DNB has surveyed the entire organisation to identify risk takers based on the criteria resulting from the circular and the EU regulation.

For risk takers, the following main principles apply to variable remuneration:

- The remuneration is earned over a period of two years.
- Variable remuneration cannot exceed the agreed fixed remuneration.
- Senior executives in independent control functions will receive no variable remuneration as from the 2018 income year.

There will be a deferred and conditional payment of minimum 50 per cent of the earned variable remuneration in the form of DNB shares. The remuneration paid in the form of shares will be divided into three, subject to minimum holding periods (deferred and conditional), with one-third each year over a period of three years. The deferred and conditional payments will be in compliance with the stipulations in the Financial Institutions Regulations.

Pensions etc.

Pension schemes and any agreements on termination payments etc. should be considered relative to other remuneration and should ensure competitive terms. The various components in pension schemes and severance pay, either alone or together, must not be such that they could pose a threat to DNB's reputation.

All employees in Norway are members of the defined-contribution pension scheme pursuant to the Norwegian Defined-contribution Pension Act. Up to 31 December 2016, most senior executives in the Group had agreements entitling them to a defined-benefit pension at the age of 65, subject to certain adaptations, which at all times have been in accordance with government guidelines for remunerations to senior executives. Pension entitlements were not to exceed 70 per cent of fixed salary and should constitute maximum 12 times the National Insurance basic amount. However, the DNB Group has honoured existing agreements. As of 1 January 2017, these agreements have been replaced by defined-contribution direct pension agreements based on the same calculation assumptions and principles as those used in connection with the conversion of the Group's defined-benefit occupational pension scheme in 2016 pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act.

The pension entitlements of the senior executives, calculated on the conversion date, are estimated to correspond to the technical value of the former defined-benefit scheme. Future capital entitlements now comprise annual contributions and the return on the entitlements earned. The annual contributions are calculated individually to ensure that, based on the calculation assumptions, the defined-contribution direct pension scheme will have the same value as the former defined-benefit agreement would have had at the agreed retirement age.

As a main rule, no termination payment agreements will be signed. However, the Group will honour existing agreements.

When entering into new agreements, the group standards generally apply and comprise all senior executives.

See table of remunerations for senior executives below.

B. Binding standards for shares, subscription rights, options etc. for the coming accounting year

An amount corresponding to 50 per cent of the earned variable remuneration of the group chief executive, senior executives and other risk takers is invested in shares in DNB ASA. The minimum holding periods are one year for one-third of the shares, two years for one-third of the shares and three years for the final one-third of the shares.

No additional shares, subscription rights, options or other forms of remuneration only linked to shares or only to developments in the share price of the company or other companies within the Group, will be awarded to the group chief executive or senior executives. The group chief executive and senior executives are, however, given the opportunity to participate in a share subscription scheme on the same terms as other employees in the DNB Group.

C. Statement on the senior executive salary policy in the previous account year

The group standards determined in 2011, including changes effective as from 2015, have been followed.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

D. Statement on the effects for the company and the shareholders of remuneration agreements awarding shares, subscription rights, options etc.

An amount corresponding to 50 per cent of the gross variable remuneration earned by the group chief executive, senior executives and other risk takers in 2017 is invested in shares in DNB ASA. The Board of Directors believes that the awarding of shares to senior-executives, in view of the total number of shares in the company, will have no negative consequences for the company or the shareholders."

Terms for the chairman of the Board of Directors

Anne Carine Tanum received a remuneration of NOK 450 000 in 2017 as chairman of the Board of Directors of DNB Bank ASA, compared with NOK 437 000 in 2016. In addition, she received NOK 559 000 as chairman of the Board of Directors of DNB ASA, compared with NOK 548 000 in 2016.

Terms for the group chief executive

Rune Bjerke received an ordinary salary of NOK 5 957 000 in 2017, compared with NOK 5 794 000 in 2016. The Board of Directors of DNB ASA stipulated the group chief executive's variable remuneration for 2017 at NOK 2 272 000, compared with NOK 2 010 000 in 2016. The variable remuneration for 2017 will be paid in 2018. There will be a deferred and conditional payment of 50 per cent of the earned variable remuneration in the form of DNB shares. The remuneration paid in the form of shares will be divided into three, subject to minimum holding periods of up to three years. Benefits in kind were estimated at NOK 301 000, compared with NOK 322 000 in 2016.

Costs in connection with the group chief executive's pension scheme of NOK 5 105 000 were recorded for the 2017 accounting year, compared with NOK 3 871 000 in 2016. Costs are divided between DNB ASA and DNB Bank ASA. The costs recorded in the 2016 accounts consisted of two elements: pension entitlements earned during the year (NOK 4 989 000) and a deduction for the effect of the conversion of the pension scheme for salaries in excess of 12G (NOK 1 118 000).

Note 46 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2017

| | Fixed annual salary as at 31 Dec. 2017 ¹⁾ | Remuneration earned in 2017 ²⁾ | Paid salaries in 2017 ³⁾ | Variable remuneration earned in 2017 ⁴⁾ | Benefits in kind and other benefits in 2017 | Total remuneration earned in 2017 | Loans as at 31 Dec. 2017 ⁵⁾ | DNB Bank Group Specially agreed retirement age ⁷⁾ | Accrued pension expenses in 2017 ⁸⁾ |
|---|--|---|-------------------------------------|--|---|-----------------------------------|--|---|--|
| <i>Amounts in NOK 1 000</i> | | | | | | | | | |
| Board of Directors of DNB Bank ASA | | | | | | | | | |
| Anne Carine Tanum (chairman) | | 1 009 | | | | 1 009 | | | |
| Gro Bakstad (vice-chairman, from 25.04.17) | | 225 | | | | 225 | 3 | | |
| Jarle Berge (until 25.04.17) | | 253 | | | 1 | 254 | | | |
| Lillian Hattrem | 631 | 327 | 638 | 22 | 36 | 1 023 | 3 185 | | 74 |
| Kim Wahl | | 327 | | | | 327 | 46 | | |
| Group management | | | | | | | | | |
| Rune Bjerke, CEO | 5 695 | | 5 957 | 2 272 | 301 | 8 530 | 9 620 | 60 | 5 105 |
| Bjørn Erik Naess, CFO (until 01.03.17) | | | 2 045 | 250 | 3 308 | 5 603 | 967 | | 19 |
| Kjerstin Braathen, CFO (from 01.03.17) | 4 000 | | 3 881 | 1 522 | 216 | 5 619 | 12 | 65 | 707 |
| Trond Bentzen, group EVP | 3 560 | | 3 675 | 1 362 | 263 | 5 300 | 6 144 | 65 | 681 |
| Ottar Ertzeid, group EVP | 9 020 | | 9 419 | 3 822 | 238 | 13 479 | 21 | 62 | 781 |
| Benedicte S. Fasmer, group EVP | 2 950 | | 3 178 | 1 122 | 270 | 4 571 | 6 014 | | 115 |
| Rasmus Aage Figenschou, group EVP (from 11.12.17) | 2 340 | | 2 130 | 647 | 163 | 2 940 | 11 666 | | 115 |
| Liv Fiksdahl, group EVP (until 11.12.17) | 3 200 | | 3 347 | 1 222 | 245 | 4 814 | 1 113 | 62 | 1 235 |
| Rune Garborg, group EVP (until 01.09.17) | 2 950 | | 2 179 | 950 | 214 | 3 343 | 6 401 | | 175 |
| Solveig Hellebust, group EVP | 3 200 | | 2 693 | 1 022 | 234 | 3 950 | 18 | 65 | 400 |
| Ida Lerner, group EVP (from 11.12.17) ⁸⁾ | 3 992 | | 2 162 | 1 477 | 2 376 | 6 015 | | | |
| Bengt Olav Lund, group EVP (from 01.05.17 until 11.12.17) | 2 950 | | 3 232 | 1 072 | 255 | 4 558 | 6 592 | | 115 |
| Thomas Midtved, group EVP | 2 500 | | 2 568 | 1 022 | 251 | 3 840 | 2 186 | 65 | 269 |
| Kari Olud Moen, group EVP (until 11.12.17) | 2 880 | | 3 021 | 1 000 | 234 | 4 255 | 21 | 62 | 1 441 |
| Alf Otterstad, group EVP (from 11.12.17) | 1 840 | | 1 684 | 622 | 150 | 2 456 | 3 124 | | 115 |
| Tom Rathke, group EVP (until 01.05.17) | 3 480 | | 3 795 | 872 | 245 | 4 912 | 6 078 | 62 | 2 454 |
| Hans Olav Rønningen, group EVP (from 11.12.17) | 1 650 | | 1 714 | 822 | 180 | 2 716 | 4 880 | | 206 |
| Harald Serck-Hanssen, group EVP | 4 175 | | 4 368 | 1 422 | 258 | 6 048 | 5 130 | 65 | 1 217 |
| Terje Tumes, group EVP (until 11.12.17) | 4 010 | | 4 143 | 582 | 242 | 4 967 | 92 | | 709 |
| Loans to other employees | | | | | | | 19 235 018 | | |

1) Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.

2) Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2017, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:

Anne Carine Tanum: NOK 450 000

Jarle Berge: NOK 108 000

Some persons are members of more than one body.

3) Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.

4) Variable remuneration earned excluding holiday pay.

5) Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.

6) Pension rights earned during the year (SCC). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions.

7) The agreed retirement age is specified when a special agreement has been entered into which includes related defined-contribution pension entitlements deviating from stipulations in the company's general standards.

8) Ida Lerner is on international assignment from Sweden to Norway. Prior to joining DNB's management team on 11 December 2017, she was head of DNB CEMEA in London, also on an international assignment contract. In accordance with DNB's international assignment policy, she has assignment-related benefits in kind, such as accommodation and children's school costs. Both her salary and benefits in kind are provided as net entitlements. The amounts have been grossed up with Norwegian taxes by an external service provider. As she is not a member of the Norwegian National Insurance Scheme, no social security contributions have been included in the gross amounts. In her new role as head of an independent control function, Ida Lerner will receive no variable remuneration as from the 2018 income year.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2016

DNB Bank Group

| Amounts in NOK 1 000 | Fixed annual salary as at 31 Dec. 2016 ¹⁾ | Remuneration earned in 2016 ²⁾ | Paid salaries in 2016 ³⁾ | Variable remuneration earned in 2016 ⁴⁾ | Benefits in kind and other benefits in 2016 | Total remuneration earned in 2016 | Loans as at 31 Dec. 2016 ⁵⁾ | Accrued pension expenses in 2016 ⁶⁾ |
|--|--|---|-------------------------------------|--|---|-----------------------------------|--|--|
| Board of Directors of DNB Bank ASA | | | | | | | | |
| Anne Carine Tanum (chairman) | | 985 | | | 2 | 987 | | |
| Jarle Berge | | 710 | | | 6 | 717 | | |
| Lillian Hattrem (from 1 January 2016) | 594 | 321 | 597 | 20 | 39 | 977 | 3 257 | 73 |
| Kim Wahl | | 319 | | | | 319 | 51 | |
| Group management | | | | | | | | |
| Rune Bjerke, CEO | 5 556 | | 5 764 | 2 010 | 322 | 8 126 | 8 845 | 4 989 |
| Bjorn Erik Naess, CFO (until 01.03.17) | 3 890 | | 4 071 | 1 520 | 234 | 5 825 | 958 | 5 224 |
| Kjerstin Braathen, CFO (from 01.03.17) | 3 010 | | 3 150 | 1 150 | 234 | 4 534 | 40 | 619 |
| Trond Bentstuen, group EVP | 3 580 | | 3 204 | 1 290 | 268 | 4 763 | 6 301 | 706 |
| Ottar Ertzeid, group EVP | 8 820 | | 9 205 | 3 800 | 235 | 13 240 | 23 | 623 |
| Benedicte S. Fasmer, group EVP (from 26.09.16) | 2 950 | | 2 383 | 870 | 205 | 3 459 | 7 478 | 113 |
| Liv Fiksdahl, group EVP | 3 050 | | 3 196 | 1 110 | 243 | 4 549 | 1 236 | 1 014 |
| Rune Garborg, group EVP (from 26.09.16) | 2 950 | | 2 423 | 1 420 | 229 | 4 072 | 6 634 | 321 |
| Solveig Hellebust, group EVP | 2 450 | | 2 571 | 930 | 232 | 3 733 | 3 | 379 |
| Thomas Midteide, group EVP | 2 500 | | 2 098 | 930 | 259 | 3 287 | 4 482 | 256 |
| Kari Olrud Moen, group EVP | 2 810 | | 2 945 | 1 020 | 232 | 4 197 | 18 | 1 320 |
| Tom Rathke, group EVP | 3 400 | | 3 733 | 1 020 | 276 | 5 030 | 6 221 | 2 613 |
| Bengt Olav Lund, EVP ⁷⁾ | 2 810 | | 1 982 | 1 260 | 204 | 3 445 | 7 115 | 113 |
| Harald Serck-Hanssen, group EVP | 4 080 | | 4 279 | 1 400 | 252 | 5 931 | 5 372 | 1 004 |
| Terje Turnes, group EVP | 3 930 | | 4 119 | 580 | 235 | 4 935 | | 575 |
| Loans to other employees | | | | | | | 18 112 694 | |

1) Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.

2) Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2016, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:

Anne Carine Tanum: NOK 437 000

Jarle Berge: NOK 319 000

Some persons are members of more than one body.

3) Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.

4) Bonus earned excluding holiday pay.

5) Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.

6) Pension rights earned during the year (SGC). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions. Pension rights earned during the year exclude the effect of the pension scheme conversion, see table in the 2015 annual report.

7) Acting head of Wealth Management since May 2016. Fixed salary includes acting pay.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

Changes in the group management team

Bjørn Erik Næss retired on 1 March 2017 and thus left the group management team. Tom Rathke left the group management team on 1 May 2017, but is still employed in DNB with other responsibilities. As of the same date, Bengt Olav Lund became a permanent member of the group management team.

In connection with the establishment of Vipps as a separate limited company, Rune Garborg left the group management team as of 1 September 2017. His employment relationship in DNB was transferred to Vipps AS in connection with the demerger.

The new group structure effective on 11 December 2017 resulted in changes in the composition of the group management team. Ida Lerner and Ingjerd Blekeli Spiten (as of 9 January 2018) became new permanent members. In addition, Rasmus Aage Figenschau and Alf Otterstad became acting members of the group management team. Bengt Olav Lund, Liv Fiksdahl and Terje Turnes left the group management team, but are still employed in DNB with other responsibilities. Kari Olrud Moen chose to terminate her employment in DNB parallel to leaving the group management team and was granted a 12-month severance agreement. The other group executive vice presidents remained members of the group management team, some of whom were given other responsibilities.

Other information on pension agreements

The pension schemes of all senior executives were changed as of 1 January 2017, as described in the annual report for 2016. Changes in the pension agreements did not entail any changes in previously agreed age limits.

Bjørn Erik Næss' pension agreement entitled him to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62. When he reached the agreed age, it was decided to extend his period of employment up until 1 March 2017. In the same way as for other senior executives, his pension agreement was also converted with effect from 31 December 2016, with a capital value corresponding to the technical insurance reserves on the original retirement date. No contributions were paid under the direct pension scheme in the period up to his final retirement on 1 March 2017.

See the annual report for 2016 for a specification of the pension expenses recorded in the accounts in 2016.

Subscription rights programme for employees

There was no subscription rights programme for employees in the DNB Bank Group at year-end 2017.

| DNB Bank ASA | | Remuneration to the statutory auditor <i>Amounts in NOK 1 000, excluding VAT</i> | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 2016 | 2017 | | 2017 | 2016 |
| (10 465) | (9 871) | Statutory audit ¹⁾ | (21 156) | (23 628) |
| (1 016) | (1 163) | Other certification services | (2 305) | (1 731) |
| (12 860) | (6 731) | Tax-related advice ²⁾ | (11 456) | (12 874) |
| (3 476) | (4 555) | Other services | (5 975) | (3 570) |
| (27 817) | (22 320) | Total remuneration to the statutory auditor | (40 892) | (41 803) |

1) Includes fees for interim audit and auditing funds managed by DNB.

2) Mainly refers to tax-related advice to employees on international assignments.

Note 47 Information on related parties

DNB Bank ASA is 100 per cent owned by DNB ASA. The largest owner of the DNB Group is the Norwegian government, represented by the Ministry of Trade and Industry, which owns and controls 34 per cent of the shares in the parent company DNB ASA.

A large number of bank transactions are entered into with related parties as part of ordinary business transactions, comprising loans, deposits and foreign exchange transactions. These transactions are based on market terms. The table below shows transactions with related parties, including balance sheets at year-end and related expenses and income for the year. Related companies in the table are associated companies plus DNB Savings Bank Foundation. See note 35 for a specification of associated companies. Loans to board members and their spouses/ partners and under-age children are extended on ordinary customer terms. Loans to group management, like loans to other group employees, are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms. Transactions with other DNB Bank Group companies are shown in a separate table.

Transactions with related parties

| Amounts in NOK million | Group management and Board of Directors | | DNB Bank Group Related companies | |
|--------------------------------------|---|------|-------------------------------------|-------|
| | 2017 | 2016 | 2017 | 2016 |
| Loans as at 1 January | 60 | 44 | 1 125 | 913 |
| New loans/repayments during the year | (6) | (9) | (48) | (37) |
| Changes in related parties | 2 | 24 | 21 238 | 249 |
| Loans as at 31 December | 56 | 60 | 22 315 | 1 125 |
| Interest income | 2 | 1 | 25 | 24 |
| Deposits as at 1 January | 253 | 235 | 781 | 702 |
| Deposits/withdrawals during the year | 47 | 14 | 319 | 78 |
| Changes in related parties | (55) | 5 | 334 | 1 |
| Deposits as at 31 December | 245 | 253 | 1 434 | 781 |
| Interest expenses | (1) | (0) | (7) | (8) |
| Guarantees ¹⁾ | - | - | 3 543 | 5 951 |

1) DNB Bank ASA has issued guarantees for other loans in Eksportfinans. The total guarantee commitment is included in the table above.

No impairments were made on loans to related parties in 2016 and 2017. Reference is made to note 46 for information on loans to group management members and directors. Transactions with deputy members of the Board of Directors are not included in the table above. In general, DNB employee loans should be paid by automatic debit in monthly instalments in arrear. Employee loans are within the term limits applying to general customer relationships. Security is furnished for employee loans in accordance with legal requirements.

| DNB Bank ASA | | Transactions with other DNB Group companies ¹⁾ | DNB Bank Group | |
|--------------|---------|---|----------------|--------|
| 2016 | 2017 | | 2017 | 2016 |
| 393 832 | 126 157 | Amounts in NOK million | | |
| 20 250 | 83 702 | Loans as at 31 December | 25 950 | 22 059 |
| 143 450 | 126 077 | Other receivables as at 31 December ²⁾ | 394 | 726 |
| 62 288 | 102 327 | Deposits as at 31 December | 9 237 | 10 796 |
| | | Other liabilities as at 31 December ²⁾ | 1 759 | 919 |
| 5 387 | 5 506 | Interest income | 578 | 506 |
| (2 897) | (3 055) | Interest expenses | (48) | (56) |
| 6 508 | 6 990 | Net other operating income ³⁾ | 1 995 | 1 884 |
| (132) | (187) | Operating expenses | (165) | (106) |

1) For DNB Bank ASA, the table includes transactions with subsidiaries, sister companies and DNB ASA. For the banking group, the table includes transactions with sister companies and DNB ASA. Investments in bonds issued by related parties are described below and are not included in the table.

2) Other receivables and other liabilities in DNB Bank ASA as at 31 December 2016 and 2017 were mainly financial derivative contracts with DNB Boligkreditt as counterparty and group contributions.

3) DNB Bank ASA recorded NOK 2 884 million and NOK 1 591 million in group contributions from subsidiaries in 2017 and 2016, respectively.

Note 47 Information on related parties (continued)

Major transactions and agreements with related parties

DNB Boligkreditt AS

DNB Boligkreditt (Boligkreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. As part of ordinary business transactions, a large number of banking transactions are entered into between Boligkreditt and the bank, including loans, deposits and financial derivatives used in currency and interest rate risk management. Transactions are carried out on market terms and are regulated in the "Agreement relating to transfer of loan portfolio between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS" (the transfer agreement) and the "Contract between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS concerning purchase of management services" (the management agreement).

The transfer agreement regulates the transfer of loan portfolios qualifying as collateral for the issue of covered bonds. During 2017, portfolios of NOK 12.0 billion (NOK 19.8 billion in 2016) were transferred from the bank to Boligkreditt.

Pursuant to the management agreement, Boligkreditt purchases services from the bank, including administration, bank production, distribution, customer contact, IT operations and financial and liquidity management. Boligkreditt pays an annual management fee for these services based on the lending volume under management and the achieved lending spreads. The management fee paid in 2017 totalled NOK 1.2 billion (NOK 2.3 billion in 2016).

At end-December 2017 the bank had invested NOK 12.1 billion (NOK 9.0 billion in 2016) in covered bonds issued by Boligkreditt.

In the fourth quarter of 2013, Boligkreditt entered into a "Revolving Credit Facility Agreement (RCF)" with DNB Bank ASA. Subject to the terms of this RCF, DNB Bank makes available to Boligkreditt a revolving credit facility at all times equal to Boligkreditt's payment obligations in NOK for the next 12 months in respect of issued Covered Bonds and related derivative hedge agreements. Boligkreditt shall apply all amounts borrowed by it under the RCF towards payments under Covered Bonds and related derivative contracts entered into for hedging purposes for those Covered Bonds.

Boligkreditt may not make use of the RCF for the fulfilment of payment obligations related to the ordinary (re-)purchase of Covered Bonds (if any), or to derivative agreements related to such Covered Bonds. The obligations of DNB Bank towards Boligkreditt under the RCF do not constitute a guarantee in respect of amounts due and payable under the Covered Bonds. The agreement was cancelled on Boligkreditt's initiative in the second quarter of 2016.

In 2016 Boligkreditt entered into reverse repurchasing agreements (reverse repos) with the bank as counterparty. The value of the repos amounted to NOK 26.0 billion at end-December 2017 (NOK 26.2 billion in 2016).

Boligkreditt has a long-term overdraft facility in DNB Bank ASA with a limit of NOK 190 billion.

DNB Næringskreditt AS

DNB Næringskreditt (Næringskreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. The mortgage institution was established to issue covered bonds secured by a cover pool comprising commercial property.

The transfer agreement regulates the transfer of loan portfolios qualifying as collateral for issue of covered bonds. During 2017, portfolios of NOK 1.9 billion (NOK 7.2 billion in 2016) were transferred from the bank to Næringskreditt. All transactions are carried out on market terms.

Like Boligkreditt, Næringskreditt purchases management and administrative services from the bank. In addition, administrative services relating to the company's operations are purchased from Boligkreditt. The fee paid to the bank and Boligkreditt for 2017 amounting to NOK 88.1 million and NOK 3.5 million respectively.

At end-December 2017, the bank had invested NOK 0.9 billion (NOK 0.9 billion in 2016) in covered bonds issued by Næringskreditt.

In 2017 Næringskreditt entered into reverse repurchasing agreements (reverse repos) with the bank as counterparty. The value of the repos amounted to NOK 108.3 million and end-December 2017 (NOK 111.6 million in 2016). The company has a long-term overdraft facility in DNB Bank ASA with a limit of NOK 30 billion.

DNB Livsforsikring AS

As part of the company's ordinary investment activity, DNB Livsforsikring has subscribed for covered bonds issued by DNB Boligkreditt.

At year-end 2017, DNB Livsforsikring's holding of listed DNB Boligkreditt bonds was valued at NOK 1.9 billion (NOK 1.9 billion in 2016).

In November 2016, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 5 billion was sold from DNB Boligkreditt AS to DNB Livsforsikring AS.

In the fourth quarter of 2016, portfolios of commercial mortgages amounting to NOK 2.6 billion and NOK 4.5 billion respectively, were sold from DNB Næringskreditt and DNB Bank to DNB Livsforsikring.

Luminor Group AB

DNB and Nordea combined their operations in Estonia, Latvia and Lithuania into the new company Luminor Group AB in the fourth quarter of 2017. DNB's ownership interest in Luminor Group AB is approximately 44 per cent. At end-December 2017 DNB Bank ASA's funding of Luminor Group AB totalled NOK 21.0 billion.

Vipps AS

In the third quarter of 2017, Vipps AS was established as a separate company and DNB entered into an agreement with 105 other Norwegian banks. DNB has an ownership interest in the new legal entity (Vipps AS) of close to 52 per cent. However, due to the terms and conditions in the shareholder agreement, it has been decided to define Vipps AS as an associated company, and the company is consolidated according to the equity method. DNB can vote for 49.9 per cent at the General Meeting, and has three of seven board members.

Note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies

Off-balance sheet transactions and additional information

| DNB Bank ASA | | | DNB Bank Group | |
|-----------------|-----------------|---|-----------------|-----------------|
| 31 Dec. 2016 | 31 Dec. 2017 | Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| 29 930 | 27 798 | Performance guarantees | 29 558 | 30 900 |
| 32 547 | 29 874 | Payment guarantees | 31 852 | 34 472 |
| 17 979 | 17 525 | Loan guarantees | 17 525 | 17 898 |
| 6 535 | 6 254 | Guarantees for taxes etc. | 6 254 | 6 557 |
| 2 213 | 2 348 | Other guarantee commitments | 3 153 | 2 714 |
| 89 205 | 83 799 | Total guarantee commitments | 87 342 | 92 541 |
| | | Support agreements | 10 735 | 6 106 |
| 89 205 | 83 799 | Total guarantee commitments etc. ¹⁾ | 98 077 | 98 647 |
| 479 792 | 488 943 | Unutilised credit lines and loan offers ¹⁾ | 589 623 | 606 122 |
| 3 861 | 4 103 | Documentary credit commitments | 4 170 | 3 948 |
| | | Other commitments | | 37 |
| 483 653 | 493 046 | Total commitments | 593 793 | 610 107 |
| 572 858 | 576 845 | Total guarantee and off-balance commitments | 691 871 | 708 754 |
| 9 322 | 12 778 | Pledged securities | | |
| | | ¹⁾ Of which counter-guaranteed by financial institutions | 295 | 326 |

DNB Bank ASA is a member and shareholder of the settlement system Continuous Linked Settlement (CLS). As a shareholder, DNB Bank ASA has an obligation to contribute to cover any deficit in CLS Bank's central settlement account for member banks, even if the default is caused by another member bank. Initially, such deficit will be sought covered by other member banks based on transactions the respective banks have had with the member bank which has caused the deficit in CLS Bank. Should there remain an uncovered deficit in CLS Bank, this will be covered pro rata by the member banks in CLS, according to Article 9 "Loss Allocations" of CLS Bank's International Rules. According to the agreements between CLS and the member banks, the pro rata payment obligations related to such coverage of any remaining deficit are limited to USD 30 million per member bank. At the end of 2017, DNB had not recorded any obligations in relation to CLS.

DNB Boligkreditt AS (Boligkreditt)

At end-December 2017, Boligkreditt had issued covered bonds with a nominal value of NOK 450 billion. In the event of bankruptcy, the bondholders have preferential rights to the company's cover pool.

| Covered bonds | DNB Boligkreditt | |
|---|------------------|-----------------|
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Total listed covered bonds | 379 635 | 355 932 |
| Total private placements under the bond programme | 70 812 | 59 858 |
| Adjustment | | |
| Accrued interest | 3 033 | 3 581 |
| Unrealised gains/losses | 14 757 | 19 701 |
| #REF! | 488 236 | 439 072 |

| Cover pool | DNB Boligkreditt | |
|---|------------------|-----------------|
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | 31 Dec. 2016 |
| Pool of eligible loans | 617 756 | 599 579 |
| Market value of derivatives | 52 878 | 38 527 |
| Supplementary assets | | |
| Total collateralised assets | 670 634 | 638 106 |
| Debt securities issued, carrying value | 488 236 | 439 072 |
| Less valuation changes attributable to changes in credit risk on debt carried at fair value | (485) | (192) |
| Debt securities issued, valued according to regulation | 487 771 | 438 880 |
| Over-collateralisation (per cent) | 143.4 | 145.4 |

1) The debt securities issued are bonds with preferred rights in the appurtenant cover pool. The composition and calculation of values in the cover pool are defined in Sections 11-8 and 11-11 of the Financial Institutions Act with appurtenant regulations.

Contingencies

Due to its extensive operations in Norway and abroad, the DNB banking group will regularly be party to a number of legal actions. None of the current disputes are expected to have any material impact on the banking group's financial position.

The DNB banking group is subject to a number of complaints and disputes relating to structured products and other investment products.

Note 49 Transition to IFRS 9

In July 2014, the IASB issued the new standard for financial instruments IFRS 9 Financial Instruments, which replaces the current IAS 39. The new standard introduces a business model oriented approach for classification of financial assets, an expected loss model for impairment and a new general hedge accounting model. IASB is still working on a new requirement related to macro hedge accounting. This work has been established as a separate project and is expected to be finalised at a later point in time.

IFRS 9 is effective from 1 January 2018. The standard was endorsed by the EU in November 2016.

Subsequently IFRS 9 transition disclosures will be presented in the following order: Accounting principles, Transition disclosures for Classification and Measurement as well as Impairment, Methodology used for expected credit loss measurement and lastly the impact on regulatory capital.

References to line items refer to the financial statements under IFRS 9.

ACCOUNTING PRINCIPLES IFRS 9

Classification and presentation

Financial assets are classified in one of the following measurement categories:

- amortised cost
- fair value through other comprehensive income (FVOCI)
- fair value through profit or loss (FVTPL).

The classification of financial assets depends on two factors:

- the business model of the portfolio to which the financial asset belongs
- the contractual cash flow characteristics of the financial asset.

When determining the business model, the banking group assesses at portfolio level how the business is managed, sales activities, risk management and how information is provided to executive management. The business model assessment has been performed for each business area. The portfolios belonging to the customer areas are held within a business model whose objective is to hold the assets and collect the contractual cash flows, while there are several different business models for the portfolios belonging to the product area Markets. For instance, the business model for the liquidity portfolio in Markets is to both hold the assets to collect the contractual cash flows and to sell the assets. However, the portfolio is designated at fair value through profit or loss in order to reduce an accounting mismatch.

A contractual cash flow characteristics test is performed on initial recognition of financial assets. Financial assets with cash flows that are solely payments of principal and interest pass the test if the interest only compensates for the time value of money, credit risk, liquidity risk, servicing and administrative costs and a profit margin.

Financial liabilities are classified at amortised cost, except for financial liabilities that are required to be measured at fair value through profit or loss or designated at fair value through profit or loss.

Financial assets may irrevocably be designated at fair value through profit or loss on initial recognition if the following criterion is met:

- the classification eliminates or significantly reduces measurement or recognition inconsistency that otherwise would arise from measuring financial assets or recognising the gains and losses on them on different bases.

Financial liabilities may also irrevocably be designated at fair value through profit or loss on initial recognition if the criterion above is fulfilled or one of the following:

- the financial instruments are part of a portfolio that is managed and evaluated on a fair value basis, in accordance with a documented risk management or investment strategy
- the host contract contains one or more embedded derivatives.

Financial assets measured at amortised cost

Investments in debt instruments, which are not designated at fair value through profit or loss, are measured at amortised cost if both of the following conditions are met:

- the assets are held within a business model whose objective is to hold the asset and collect the contractual cash flows
- the contractual cash flows represent solely payment of principal and interest.

Debt instruments are initially recognised at fair value plus any directly attributable transaction costs. Subsequent measurement follows the effective interest method, less impairment. Impairment losses and reversals are measured based on a three-stage expected credit loss model. This model is described under Expected credit loss measurement.

A change in value based on an expected credit loss allowance for debt instruments measured at amortised cost on the balance sheet date is presented under "Impairment of financial instruments" in the income statement.

Interest income on financial instruments classified in this category is presented under "Interest income, amortised cost" using the effective interest method.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

This category mainly comprises loans to customers, cash and deposits, receivables, reverse repurchase agreements and bond investments.

Financial liabilities measured at amortised cost

Financial liabilities measured at amortised cost are initially recognised at fair value minus any directly attributable transaction costs. Interest expenses on such instruments are presented under "Interest expense, amortised cost" using the effective interest method.

This category includes deposits from customers and credit institutions, repurchase agreements, issued commercial paper and bonds, subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities.

Financial assets measured at fair value through other comprehensive income

Investments in debt instruments, which are not designated at fair value through profit or loss, are measured at fair value through other comprehensive income if both of the following conditions are met:

- the assets are held within a business model whose objective is to both hold the asset to collect the contractual cash flows and to sell the asset
- the contractual cash flows represent solely payment of principal and interest.

At initial recognition, debt instruments are recognised at fair value plus any directly attributable transaction costs. Subsequent measurement is fair value through other comprehensive income. Changes in fair value are recognised in other comprehensive income and accumulated within a separate component of equity. Impairment losses or reversals, interest income and foreign exchange gains or losses are recognised in profit or loss. When the financial asset is derecognised, the cumulative gain or loss recognised in other comprehensive income, is recycled over profit or loss and recognised in "Net gains on financial instruments at fair value". Impairment losses and reversals are measured based on a three-stage expected credit loss model, which is described under Expected credit loss measurement.

This category comprises mortgage loans with variable interest rates in DNB Bank ASA. Since these loans are regularly sold to DNB Boligkredit AS, the business model is hold to collect and sell.

Financial instruments measured at fair value through profit or loss

The following instruments are recognised in this category:

- derivatives
- equity instruments
- financial instruments held for trading
- financial assets managed at fair value
- financial instruments designated at fair value through profit or loss on initial recognition
- debt instruments with contractual cash flows that do not represent solely payment of principal and interest.

Instruments in this category are initially recognised at fair value, with transaction costs recognised in profit or loss as they occur. Subsequent measurement is fair value with gains and losses recognised in the income statement.

Changes in the fair value of the financial instruments are presented under "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Financial derivatives are presented as an asset if the fair value is positive and as a liability if the fair value is negative.

Interest income and interest expenses from interest-bearing financial instruments including financial derivatives are presented under "Net interest income", except for interest income and interest expenses from financial instruments belonging to the trading portfolio.

The trading portfolio consists of instruments, which are acquired primarily for the purpose of selling or repurchasing in the near term. This includes financial derivatives and bond portfolios. Interest income and interest expense from financial instruments belonging to the trading portfolio is presented as "Net gains on financial instruments at fair value".

Financial assets designated at fair value through profit or loss on initial recognition, mainly consist of bonds and fixed-rate mortgage loans in Norwegian kroner. Financial liabilities designated at fair value through profit or loss on initial recognition mainly consist of fixed-rate securities issued in Norwegian kroner.

For financial liabilities designated at fair value through profit or loss, the change in fair value related to changes in DNB Bank's credit risk is calculated using relevant credit spread curves from Nordic Bond Pricing. The changes in credit spreads on fixed-rate securities issued in Norwegian kroner do not create or enlarge an accounting mismatch and are therefore separated and recognised in other comprehensive income.

Issued financial guarantees

Contracts resulting in the banking group having to reimburse the holder for a loss incurred because a specific debtor fails to make payments when due, are classified as issued financial guarantees.

On initial recognition, issued financial guarantees are recognised at the consideration received for the guarantee. Issued financial guarantees are subsequently measured at the higher of the amount of loss allowance and the amount initially recognised less the cumulative amount of any revenue recognised in the income statement.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

When issuing financial guarantees, the consideration for the guarantee is presented under the line item "Provisions" in the balance sheet. Income from issued financial guarantees and expenses from bought financial guarantees, are amortised over the duration of the instruments and presented as "Commission and fee income" or "Commission and fee expense".

Change in expected credit loss is recognised under the line item "Impairment of financial instruments" in the income statement.

Loan commitments

An expected credit loss is calculated for loan commitments and presented under the line item "Provisions" in the balance sheet. Any change in the expected credit loss allowance is recognised under the line item "Impairment of financial instruments" in the income statement.

For instruments containing both a drawn and an undrawn component, the expected credit loss will be split pro rata between the loss allowance and provisions based on the relative parts of the exposure.

Financial instruments with the characteristics of equity

Issued additional Tier 1 capital instruments are instruments where DNB has a unilateral right not to repay interest or the principal to the investors. As a consequence of these terms, the instruments do not meet the requirements for a liability and are therefore presented on the line "Additional Tier 1 Capital" within the banking group's equity. Transaction expenses and accrued interest are presented as a reduction in "Other equity", while the advantage of the tax deduction for the interest will give an increase in "Other equity".

Equity in foreign currency shall be converted to Norwegian kroner based on the exchange rate on the transaction date and is not subject to subsequent revaluation.

Reclassifications

Debt instruments are only reclassified when there is a significant change in the business model for those assets. Such changes are expected to be very infrequent. Financial liabilities are not reclassified.

Initial recognition

Financial assets are recognised in the balance sheet either on the trade date or the settlement date. Trade date accounting is applied for financial assets measured at fair value through profit or loss, while settlement date accounting is applied for financial assets measured at amortised cost.

Financial liabilities are recognised in the balance sheet on the date when the banking group becomes a party to the contractual provisions of the instrument.

Derecognition

Derecognition of financial assets

Financial assets are derecognised when the right to receive and retain cash flows from the asset has expired or been transferred, and also if modifications lead to derecognition. The banking group enters into certain transactions where it transfers assets recognised on its balance sheet, but retains either all or parts of the risks and rewards of the transferred asset. If all or substantially all of the risks and rewards are retained, the transferred financial asset is not de-recognised from the balance sheet, but reclassified to separate assets or liabilities reflecting the rights and obligations created or retained in the transfer. Such transactions could entail the transfer of a loan portfolio where the banking group retains the risks and returns associated with the transferred portfolio by guaranteeing for all risks in the portfolio or entering into a total return swap.

Derecognition of financial liabilities

Financial liabilities are de-recognised when the contractual obligations have been discharged, cancelled or have expired.

Modifications

An assessment of whether or not a modification of a financial asset at amortised cost leads to de-recognition and recognition of new asset is based on the following considerations:

- Differentiation between changes in the cash flows or other terms within the original contract and modifications of the contract
- An assessment of whether or not a modification is substantial. A substantial modification is defined as a full credit process, a pricing decision and the signing of a new contract
- An assessment of whether the modification is caused by distress or made on commercial terms.

Expected credit loss measurement (ECL)

The IFRS 9 expected credit loss model replaces the incurred loss model from IAS 39. The ECL model estimates impairment on the following instruments that are not measured at fair value through profit and loss:

- financial assets that are debt instruments
- lease receivables
- financial guarantee contracts issued
- loan commitments.

A simplified model will be used for measuring expected credit loss on trade receivables.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

The banking group measures ECL at each reporting date for these instruments, reflecting

- an unbiased and probability-weighted amount that is determined by evaluating a range of possible outcomes
- the time value of money
- reasonable and supportable information that is available without undue cost or effort at the reporting date about past events, current conditions and forecasts of future economic conditions.

The banking group measures a loss allowance at an amount reflecting lifetime ECL for all instruments that have been subject to a significant increase in credit risk. Instruments for which there has been no significant change in risk, a 12-month expected credit loss is recognised.

Hedge accounting

The banking group has chosen to continue to apply the hedge accounting requirements of IAS 39 on adoption of IFRS 9.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

IMPLEMENTATION IMPACT

The application of the accounting policies under IFRS 9 has resulted in the reclassifications set out in the tables below upon transition to the new standard.

In the table below, the original measurement categories in accordance with IAS 39 and the new measurement categories under IFRS 9 for DNB Bank's financial assets are shown as at 1 January 2018.

Financial assets as at 1 January 2018

| Amounts in NOK million | Original measurement category under IAS 39 | New measurement category under IFRS 9 | DNB Bank ASA | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| | | | Original carrying amount IAS 39 | New carrying amount IFRS 9 |
| Cash and deposits with central banks | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 143 463 | 143 461 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 3 251 | 3 251 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 4 434 | 4 434 |
| Due from credit institutions | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 348 588 | 348 564 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 4 863 | 4 856 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 227 522 | 227 517 |
| Loans to customers | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 55 839 | 55 837 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 12 322 | 6 050 |
| | | FVTPL (designated) | | 6 259 |
| | Amortised cost | FVOCI | 662 622 | 97 531 |
| | | Amortised cost | | 564 847 |
| Commercial paper and bonds | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 169 639 | 167 414 |
| | | FVTPL (designated) | | 2 224 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 92 355 | 92 355 |
| | Held-to-maturity | FVTPL (held for trading) | 9 613 | 9 581 |
| Shareholdings | FVTPL (held for trading) | FVTPL (mandatory) | 5 508 | 5 508 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (mandatory) | 802 | 802 |
| Financial derivatives | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 138 346 | 138 346 |
| | FVTPL (hedging derivatives) | FVTPL (mandatory) | 8 606 | 8 606 |
| Other assets | Amortised cost | Amortised cost | 22 092 | 22 092 |
| Total | | | 1 909 365 | 1 909 536 |

Financial liabilities as at 1 January 2018

| Amounts in NOK million | Original measurement category under IAS 39 | New measurement category under IFRS 9 | DNB Bank ASA | |
|----------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| | | | Original carrying amount IAS 39 | New carrying amount IFRS 9 |
| Due to credit institutions | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 285 817 | 285 822 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 4 657 | 4 657 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 42 324 | 42 324 |
| Deposits from customers | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 41 692 | 39 827 |
| | | FVTPL (designated) | | 1 895 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 14 090 | 192 |
| | | FVTPL (designated) | | 13 897 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 900 744 | 900 744 |
| Financial derivatives | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 178 324 | 178 324 |
| | FVTPL (hedging derivatives) | FVTPL (mandatory) | 1 210 | 1 210 |
| Debt securities issued | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 158 693 | (12) |
| | | Amortised cost | | 158 701 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 9 751 | 9 751 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 157 727 | 157 727 |
| Other liabilities | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 6 214 | 6 214 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 44 889 | 44 889 |
| Subordinated loan capital | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 2 873 | 2 873 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 26 666 | 26 666 |
| Total | | | 1 875 669 | 1 875 700 |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Financial assets as at 1 January 2018

DNB Bank Group

| | Original measurement category under IAS 39 | New measurement category under IFRS 9 | Original carrying amount IAS 39 | New carrying amount IFRS 9 |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Cash and deposits with central banks | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 143 463 | 143 461 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 3 251 | 3 251 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 4 881 | 4 881 |
| Due from credit institutions | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 199 288 | 199 277 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 38 561 | 38 555 |
| Loans to customers | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 55 839 | 55 837 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 55 373 | 8 764 |
| | | FVTPL (designated) | | 46 596 |
| | | Amortised cost | 1 420 133 | 1 419 820 |
| Commercial paper and bonds | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 169 059 | 168 835 |
| | | FVTPL (designated) | | 2 224 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 87 970 | 80 805 |
| | | Amortised cost | | 7 156 |
| | Held-to-maturity | FVTPL (held for trading) | 9 613 | 9 581 |
| Shareholdings | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 6 304 | 5 508 |
| | | FVTPL (mandatory) | | 795 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (mandatory) | 999 | 999 |
| Financial derivatives | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 106 318 | 106 318 |
| | FVTPL (hedging derivatives) | FVTPL (mandatory) | 26 331 | 26 331 |
| Other assets | Amortised cost | Amortised cost | 7 888 | 7 888 |
| Total | | | 2 335 271 | 2 334 884 |

Financial liabilities as at 1 January 2018

DNB Bank Group

| | Original measurement category under IAS 39 | New measurement category under IFRS 9 | Original carrying amount IAS 39 | New carrying amount IFRS 9 |
|-------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Due to credit institutions | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 182 335 | 182 316 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 4 657 | 4 657 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 35 508 | 35 508 |
| Deposits from customers | FVTPL (held for trading) | Amortised cost | 41 892 | 39 827 |
| | | FVTPL (designated) | | 1 895 |
| | FVTPL (designated) | Amortised cost | 14 090 | 192 |
| | | FVTPL (designated) | | 13 887 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 924 593 | 924 593 |
| Financial derivatives | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 108 755 | 108 755 |
| | FVTPL (hedging derivatives) | FVTPL (mandatory) | 3 265 | 3 265 |
| Debt securities issued | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 158 693 | (12) |
| | | Amortised cost | | 158 701 |
| | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 83 703 | 83 703 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 539 731 | 539 731 |
| Other liabilities | FVTPL (held for trading) | FVTPL (held for trading) | 6 214 | 6 214 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 13 091 | 13 091 |
| Subordinated loan capital | FVTPL (designated) | FVTPL (designated) | 2 873 | 2 873 |
| | Amortised cost | Amortised cost | 26 666 | 26 666 |
| Total | | | 2 145 864 | 2 145 871 |

Based on the business model assessment, certain portfolios in Markets have been reclassified from fair value through profit and loss to amortised cost. This includes portfolios presented as cash and deposits with central banks and reverse repurchase agreements presented as due from credit institutions and loans to customers. The assessment of the business model under IFRS 9 has been made in connection with the assessment of the new regulations following the Fundamental Review of the Trading Book (FRTB) introduced by the Basel Committee. Under IAS 39, the instruments, which are of a very short-term nature, have been presented as held for trading and measured at fair value. Based on the analysis made of the instruments in the banking book, the business model will be held to collect going forward as the instruments typically are held to collect cash flows at maturity and not managed on a fair value basis.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Furthermore, as a result of the business model assessment of the bond portfolios in Markets some reclassifications have been made. Part of the liquidity portfolio classified as held for trading under IAS 39 has been reclassified as designated at fair value through profit and loss, since fair value measurement significantly reduces an accounting mismatch. The bond portfolio classified as held-to-maturity under IAS 39 has been reclassified to fair value through profit or loss due to a held for trading business model.

A portfolio of margin loans that was designated at fair value using the fair value option under IAS 39, has been reclassified to amortised cost under IFRS 9 since fair value measurement does not significantly reduce an accounting mismatch.

Shareholdings are mandatorily measured at fair value through profit and loss under IFRS 9.

As a consequence of the reclassifications of financial assets, certain financial liabilities have also been reclassified in order to prevent accounting inconsistencies. The reclassified financial liabilities include cash, deposits and repurchase agreements presented as due to credit institutions and deposits from customers. Furthermore, a portfolio of commercial paper liabilities in Markets has been reclassified from fair value through profit or loss (held for trading) to amortised cost based on an assessment of the sales activities in the portfolio.

In the table below, the measurement categories in accordance with IAS 39 and IFRS 9 for DNB Bank's financial liabilities are shown as at 1 January 2018.

In the table below, reconciliation of carrying amounts under IAS 39 to carrying amounts under IFRS 9 upon transition is shown.

| Financial assets | DNB Bank ASA | | | |
|---|------------------------|------------------|------------------------|------------------|
| | IAS 39 carrying amount | | IFRS 9 carrying amount | |
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | Reclassification | Remeasurement | 1 Jan. 2018 |
| Amortised cost | | | | |
| Cash and deposits with central banks, opening balance | 4 434 | | | |
| From FVTPL | | 146 712 | | |
| Closing balance | | | | 151 146 |
| Due from credit institutions, opening balance | 227 522 | | (5) | |
| From FVTPL | | 353 419 | | |
| Closing balance | | | | 580 936 |
| Loans to customers, opening balance | 662 622 | | (241) | |
| To FVOCI | | (97 531) | | |
| From FVTPL | | 61 887 | (2) | |
| Closing balance | | | | 626 733 |
| Commercial paper and bonds, held-to-maturity, opening balance | 9 613 | | | |
| To commercial paper and bonds, FVTPL | | (9 613) | | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Other assets | 22 092 | | | 22 092 |
| Total amortised cost | 926 282 | 454 873 | (248) | 1 380 907 |
| Fair value through profit and loss (FVTPL) | | | | |
| Cash and deposits with central banks, opening balance | 146 714 | | | |
| To amortised cost | | (146 712) | (2) | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Due from credit institutions, opening balance | 353 451 | | | |
| To amortised cost | | (353 419) | (32) | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Loans to customers, opening balance | 68 161 | | | |
| To amortised cost | | (61 887) | (15) | |
| Closing balance | | | | 6 259 |
| Commercial paper and bonds, opening balance | 261 994 | | | |
| From Commercial paper and bonds, held-to-maturity | | 9 613 | (32) | |
| Closing balance | | | | 271 575 |
| Shareholdings | 6 310 | | | 6 310 |
| Financial derivatives | 146 953 | | | 146 953 |
| Total FVTPL | 983 583 | (552 405) | (81) | 431 097 |
| FVOCI | | | | |
| Loans to customers, opening balance | | | | |
| From amortised cost | | 97 531 | | |
| Closing balance | | | | 97 531 |
| Total FVOCI | | 97 531 | 0 | 97 531 |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

| Financial liabilities | | | | DNB Bank ASA |
|---|------------------------|------------------|---------------|------------------------|
| | IAS 39 carrying amount | | | IFRS 9 carrying amount |
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | Reclassification | Remeasurement | 1 Jan. 2018 |
| Amortised cost | | | | |
| Due to credit institutions, opening balance | 42 324 | | | |
| From FVTPL | | 290 480 | | |
| Closing balance | | | | 332 803 |
| Deposits from customers, opening balance | 900 744 | | | |
| From FVTPL | | 40 019 | | |
| Closing balance | | | | 940 763 |
| Debt securities issued, opening balance | 157 727 | | | |
| From FVTPL | | 158 701 | | |
| Closing balance | | | | 316 428 |
| Other liabilities | 44 889 | | | 44 889 |
| Subordinated loan capital | 26 666 | | | 26 666 |
| Total amortised cost | 1 172 349 | 489 200 | | 1 661 549 |
| Fair value through profit and loss (FVTPL) | | | | |
| Due to credit institutions, opening balance | 290 474 | | | |
| To amortised cost | | (290 480) | 5 | |
| Closing balance | | | | (0) |
| Deposits from customers, opening balance | 55 782 | | | |
| To amortised cost | | (40 019) | 30 | |
| Closing balance | | | | 15 792 |
| Debt securities issued, opening balance | 168 444 | | | |
| To amortised cost | | (158 701) | (4) | |
| Closing balance | | | | 9 739 |
| Other liabilities | 6 214 | | | 6 214 |
| Subordinated loan capital | 2 873 | | | 2 873 |
| Financial derivatives | 179 534 | | | 179 534 |
| Total FVTPL | 703 320 | (489 200) | 31 | 214 151 |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

| Financial assets | DNB Bank Group | | | |
|---|---------------------------|------------------|---------------------------|------------------|
| | IAS 39 carrying amount | | IFRS 9 carrying amount | |
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | Reclassification | Remeasurement | 1 Jan. 2018 |
| Amortised cost | | | | |
| Cash and deposits with central banks, opening balance | 4 881 | | | |
| From FVTPL | | 146 712 | | |
| Closing balance | | | | 151 593 |
| Due from credit institutions, opening balance | 38 561 | | (6) | |
| From FVTPL | | 199 277 | | |
| Closing balance | | | | 237 832 |
| Loans to customers, opening balance | 1 420 133 | | (311) | |
| From FVTPL | | 64 601 | (2) | |
| Closing balance | | | | 1 484 421 |
| Commercial paper and bonds, opening balance | 0 | | | |
| From FVTPL | | 7 156 | (0) | |
| Closing balance | | | | 7 156 |
| Commercial paper and bonds, held-to-maturity, opening balance | 9 613 | | | |
| To Commercial paper and bonds, FVTPL | | (9 613) | | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Other assets | 7 898 | | | 7 898 |
| Total amortised cost | 1 481 076 | 408 134 | (320) | 1 888 889 |
| Fair value through profit and loss (FVTPL) | | | | |
| Cash and deposits with central banks, opening balance | 146 714 | | | |
| To amortised cost | | (146 712) | (2) | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Due from credit institutions, opening balance | 199 288 | | | |
| To amortised cost | | (199 277) | (10) | |
| Closing balance | | | | 0 |
| Loans to customers, opening balance | 111 212 | | | |
| To amortised cost | | (64 601) | | |
| Closing balance | | | | 46 596 |
| Commercial paper and bonds, opening balance | 257 029 | | | |
| To amortised cost | | (7 156) | (8) | |
| From Commercial paper and bonds, held-to-maturity | | 9 613 | (32) | |
| Closing balance | | | | 259 446 |
| Shareholdings | 7 303 | | | 7 303 |
| Financial derivatives | 132 649 | | | 132 649 |
| Total FVTPL | 854 195 | (408 134) | (67) | 445 994 |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Financial liabilities

| | IAS 39 carrying amount | | | DNB Bank Group IFRS 9 carrying amount |
|---|---------------------------|------------------|---------------|---|
| Amounts in NOK million | 31 Dec. 2017 | Reclassification | Remeasurement | 1 Jan. 2018 |
| Amortised cost | | | | |
| Due to credit institutions, opening balance | 35 508 | | | |
| From FVTPL | | 186 974 | | |
| Closing balance | | | | 222 482 |
| Deposits from customers, opening balance | 924 593 | | | |
| From FVTPL | | 40 019 | | |
| Closing balance | | | | 964 612 |
| Debt securities issued, opening balance | 539 731 | | | |
| From FVTPL | | 158 701 | | |
| Closing balance | | | | 698 432 |
| Other liabilities | 13 091 | | | 13 091 |
| Subordinated loan capital | 26 666 | | | 26 666 |
| Total amortised cost | 1 539 588 | 385 694 | | 1 925 282 |
| Fair value through profit and loss (FVTPL) | | | | |
| Due to credit institutions, opening balance | 186 993 | | | |
| To amortised cost | | (186 974) | (19) | |
| Closing balance | | | | (0) |
| Deposits from customers, opening balance | 55 782 | | | |
| To amortised cost | | (40 019) | 30 | |
| Closing balance | | | | 15 792 |
| Debt securities issued, opening balance | 242 396 | | | |
| To amortised cost | | (158 701) | (4) | |
| Closing balance | | | | 83 691 |
| Other liabilities | 6 214 | | | 6 214 |
| Subordinated loan capital | 2 873 | | | 2 873 |
| Financial derivatives | 112 020 | | | 112 020 |
| Total FVTPL | 666 276 | (385 694) | 7 | 220 589 |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

In the table below, the classification of financial instruments under IFRS 9 is shown.

| As at 1 January 2018 | Mandatorily at FVTPL | | Designated as at FVTPL ²⁾ | FVOCI | Amortised cost ³⁾ | Carrying amount IFRS 9 |
|--------------------------------------|----------------------|---------------------|--|---------------|---------------------------------|------------------------------|
| Amounts in NOK million | Trading | Other ¹⁾ | | | | |
| Cash and deposits with central banks | | | | | 151 146 | 151 146 |
| Due from credit institutions | | | | | 580 936 | 580 936 |
| Loans to customers | | | 6 259 | 97 531 | 626 733 | 730 524 |
| Commercial paper and bonds | 176 996 | | 94 579 | | | 271 575 |
| Shareholdings | 5 508 | 802 | | | | 6 310 |
| Financial derivatives | 138 346 | 8 606 | | | | 146 953 |
| Other assets | | | | | 22 092 | 22 092 |
| Total financial assets | 320 851 | 9 408 | 100 838 | 97 531 | 1 380 907 | 1 909 536 |
| Due to credit institutions | | | | | 332 803 | 332 803 |
| Deposits from customers | | | 15 792 | | 940 763 | 956 555 |
| Financial derivatives | 178 324 | 1 210 | | | | 179 534 |
| Debt securities issued | (12) | | 8 751 | | 316 428 | 326 167 |
| Other liabilities | 6 214 | | | | 44 889 | 51 103 |
| Subordinated loan capital | | | 2 873 | | 26 666 | 29 538 |
| Total financial liabilities | 184 525 | 1 210 | 28 416 | | 1 661 549 | 1 875 700 |

| As at 1 January 2018 | Mandatorily at FVTPL | | Designated as at FVTPL ²⁾ | Amortised cost ³⁾ | Carrying amount IFRS 9 |
|--------------------------------------|----------------------|---------------------|--|---------------------------------|------------------------------|
| Amounts in NOK million | Trading | Other ¹⁾ | | | |
| Cash and deposits with central banks | | | | 151 593 | 151 593 |
| Due from credit institutions | | | | 237 832 | 237 832 |
| Loans to customers | | | 46 596 | 1 484 421 | 1 531 017 |
| Commercial paper and bonds | 176 416 | | 83 030 | 7 156 | 266 602 |
| Shareholdings | 5 508 | 1 794 | | | 7 303 |
| Financial derivatives | 106 318 | 26 331 | | | 132 649 |
| Other assets | | | | 7 888 | 7 888 |
| Total financial assets | 288 243 | 28 125 | 129 626 | 1 889 889 | 2 334 884 |
| Due to credit institutions | | | | 222 482 | 222 482 |
| Deposits from customers | | | 15 792 | 964 612 | 980 404 |
| Financial derivatives | 108 755 | 3 265 | | | 112 020 |
| Debt securities issued | (12) | | 83 703 | 698 432 | 782 123 |
| Other liabilities | 6 214 | | | 13 091 | 19 304 |
| Subordinated loan capital | | | 2 873 | 26 666 | 29 538 |
| Total financial liabilities | 114 956 | 3 265 | 102 368 | 1 925 282 | 2 145 871 |

1) Including derivatives used as hedging instruments.

2) For liabilities designated as at FVTPL, changes in fair value due to credit risk are recognised in other comprehensive income.

3) Including hedged liabilities.

DNB Bank's long-term borrowings in Norwegian kroner are designated at fair value through profit or loss using the fair value option. The presentation of changes in credit risk in other comprehensive income neither creates nor enlarges an accounting mismatch.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

In the table below financial assets and financial liabilities that are no longer designated at fair value are shown.

| DNB Bank ASA | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| | Classification under IAS 39 | Classification under IFRS 9 | Reason for reclassification | IAS 39 carrying amount 31 Dec. 2017 |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Cash and deposits with central banks | Fair value option | Amortised cost | Required by IFRS 9 | 3 251 |
| Due from credit institutions | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 4 863 |
| Loans to customers | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 6 063 |
| Shareholdings | Fair value option | FVTPL | Required by IFRS 9 | 802 |
| Total financial assets | | | | 14 979 |
| Due to credit institutions | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 4 657 |
| Deposits from customers | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 192 |
| Total financial liabilities | | | | 4 850 |

| DNB Bank Group | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| | Classification under IAS 39 | Classification under IFRS 9 | Reason for reclassification | IAS 39 carrying amount 31 Dec. 2017 |
| <i>Amounts in NOK million</i> | | | | |
| Cash and deposits with central banks | Fair value option | Amortised cost | Required by IFRS 9 | 3 251 |
| Loans to customers | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 8 777 |
| Commercial paper and bonds | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 7 165 |
| Shareholdings | Fair value option | FVTPL | Required by IFRS 9 | 999 |
| Total financial assets | | | | 20 191 |
| Due to credit institutions | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 4 657 |
| Deposits from customers | Fair value option | Amortised cost | Elected to reclassify | 192 |
| Total financial liabilities | | | | 4 850 |

Accumulated impairments

In the tables below, the effect of reclassification and remeasurement of accumulated impairment following the implementation of IFRS 9 is presented.

| DNB Bank ASA | | | | | | | |
|--|--------------------------------|------------------|----------------|------------------------------|--------------|---------------------|-----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | Balance as at 31 December 2017 | | | Balance as at 1 January 2018 | | | |
| | IAS 39 and IAS 37 | Reclassification | Remeasurement | IFRS 9 | 12-month ECL | Lifetime ECL | Lifetime ECL |
| | | | | | | not credit impaired | credit impaired |
| Accumulated impairment due from credit institutions | | | | (5) | (5) | | |
| Accumulated impairment loans to customers | (8 653) | (2) | (241) | (8 896) | (196) | (2 138) | (6 562) |
| Accumulated impairment loan commitments and guarantees | (911) | | (898) | (1 809) | (137) | (1 164) | (508) |
| Total accumulated impairments | (9 564) | (2) | (1 144) | (10 710) | (338) | (3 302) | (7 070) |

| DNB Bank Group | | | | | | | |
|--|--------------------------------|------------------|----------------|------------------------------|--------------|---------------------|-----------------|
| <i>Amounts in NOK million</i> | Balance as at 31 December 2017 | | | Balance as at 1 January 2018 | | | |
| | IAS 39 and IAS 37 | Reclassification | Remeasurement | IFRS 9 | 12-month ECL | Lifetime ECL | Lifetime ECL |
| | | | | | | not credit impaired | credit impaired |
| Accumulated impairment due from credit institutions | | | (6) | (6) | (6) | | |
| Accumulated impairment loans to customers | (11 870) | 11 | (312) | (12 171) | (381) | (3 081) | (8 709) |
| Accumulated impairment loan commitments and guarantees | (919) | | (1 891) | (2 810) | (171) | (2 128) | (511) |
| Total accumulated impairments | (12 789) | 11 | (2 208) | (14 997) | (558) | (5 209) | (9 221) |

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Accumulated impairments customer segments

In the table below, the effect on each business segment of reclassification and remeasurement of the total accumulated impairment following the implementation of IFRS 9 is presented.

| Amounts in NOK million | Balance as at 31 December 2017 | | | Balance as at 1 January 2018 | | | |
|--|--------------------------------|------------------|---------------|------------------------------|--------------|----------------------------------|------------------------------|
| | IAS 39 | Reclassification | Remeasurement | IFRS 9 | 12-month ECL | Lifetime ECL not credit impaired | Lifetime ECL credit impaired |
| Personal customers | (718) | | (227) | (945) | (115) | (269) | (561) |
| Small and medium-sized enterprises | (2 602) | (2) | 260 | (2 344) | (32) | (115) | (2 197) |
| Large corporates and international customers | (8 009) | 13 | (2 702) | (11 698) | (410) | (4 826) | (6 462) |
| Traditional pension products | | | | | | | |
| Other operations/eliminations ¹⁾ | (460) | | 460 | | | | |
| Total accumulated impairments, customer segments | (12 789) | 11 | (2 209) | (14 987) | (558) | (5 209) | (9 221) |

1) Provisions on guarantees, which are not part of loans that are individually impaired, where not allocated to segments as at 31 December 2017 but have been allocated as at 1 January 2018.

Expected credit loss (ECL)

DNB applies a three-stage approach when assessing ECL on loans to customers, loan commitments, financial guarantees and other financial instruments subject to the IFRS 9 impairment rules:

- A financial instrument that is not purchased or originated credit impaired is classified as stage 1 with 12-month ECL.
- If a significant increase in credit risk since initial recognition is identified the financial instrument is moved to stage 2 with lifetime ECL measurement.
- An increase in credit risk reflects both customer-specific circumstances and developments in relevant macro risk drivers for the segment where the customer belongs. The assessment of what is considered to be a significant increase in credit risk is based on a combination of quantitative and qualitative indicators and backstops.
- If credit risk deteriorates further and the financial instrument is assessed to be credit impaired, the financial instrument is moved to stage 3 with lifetime ECL measurement. As opposed to stage 1 and 2, the effective interest rate is calculated on amortised cost instead of the gross carrying amount.

The loan loss measurement is based on the following principles:

- 12-month ECL is measured at an amount equal to the portion of lifetime ECL that results from possible default events within the next 12 months.
- The loss provision for financial assets in stage 1 and stage 2 is calculated as the present value of exposure at default (EAD) multiplied by the probability of default (PD) multiplied by loss given default (LGD). PD, LGD and EAD use the IRB framework as a starting point, but are converted into being point in time and forward-looking as opposed to through the cycle and conservative.
- Past, present and forward-looking information is used to estimate ECL. For this purpose, DNB's loan portfolio is split into 22 segments based on geography and industry. All customers within a segment are exposed to the same risk drivers.
- For stage 3 individual assessments are performed for credit impaired financial instruments.

For stage 1 and 2, a model is used to calculate ECL. The model follows five steps: Segmentation, determination of macro scenarios, determination of credit cycle index, calculation of ECL and staging.

In the following each step will be described in more detail.

Segmentation, macro scenarios and credit cycle index

The assessment of significant increase in credit risk and the calculation of ECL incorporate past, present and forward-looking information. In order to reflect the effect of macro drivers in a reasonable and supportable manner DNB's portfolio has been divided into 22 segments with shared credit risk characteristics. The segmentation is based on industry and geographical location, but about half of the industry segments are exposed to global markets and will primarily be influenced by global risk drivers.

Based on a statistical regression analysis key risk drivers impacting PD, LGD and EAD are identified for the different segments. Relevant macro drivers and their impact on ECL will vary by financial instrument. Forecasts of each of the relevant risk drivers (the base economic scenario) are primarily provided by DNB Markets on a quarterly basis and provide the best estimate of developments in the risk drivers for the forecast period. DNB Markets bases its forecast on a range of information sources, primarily external market information, but also internal sources. The forecast period varies between three and four years.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

The macro forecasts are incorporated in the credit cycle index (CCI). The CCI shows the relationship between the historically observed defaults and relevant macro factors established from statistical regression analysis. The position on the index indicates whether the current state of the economy for a given segment is better or worse than normal, and the forecasts are used to project the development of the index in the forecast period. After the forecast period, the CCI is assumed to be mean reverting. This means that the credit cycle for each segment returns to the long-term mean or a normal state.

The CCI is further used to generate a base line PD curve for each instrument that follows the development of the CCI. If the CCI moves towards better times, the PD will everything else equal be reduced and vice versa.

Multiple scenarios

IFRS 9 requires the use of multiple scenarios in determining a significant increase in credit risk and measuring ECL in order to capture the non-linear relationship between negative credit risk development and ECL. For DNB this has been solved using the base scenario for each risk driver as a starting point and deriving CCI and PD curves as described above. Alternative scenarios are translated into alternative paths of a probability fan around the baseline. This method means that each scenario represents one percentile on a probability fan with each percentile representing a possible development in credit risk depending on the macroeconomic development.

The width of the fan is determined by the past volatility in the correlation between developments in the risk drivers and developments in credit risk and ECL. This results in a correlation where the higher the volatility in a segment resulting from changes in the risk drivers, the larger the gap between the baseline and the outer percentiles of the fan.

Calculation of expected credit loss

The determination of a significant increase in credit risk and the measurement of ECL is based on parameters already used in credit risk management and for capital adequacy calculations: PD, LGD and EAD. The parameters have been adjusted in order to give an unbiased estimate of ECL.

Probability of default (PD)

DNB applies a range of different models to determine a customer's PD. The choice of model depends on whether it is a personal or corporate customer and on which industry the customer operates in. PD models are a key component both in calculating the ECL and in assessing whether a significant increase in credit risk has occurred since initial recognition. Therefore, there is a need to generate a PD which is forward-looking and reflects all available relevant data. This is necessary in order to fulfil the IFRS 9 requirement to provide an unbiased probability-weighted estimate of ECL. DNB has been granted permission to use internal ratings based approach, IRBA, models for determining PD in capital adequacy calculations. These models are conservative and only reflect a limited degree of cyclicity. In order to apply these PDs for IFRS 9, four modifications have been made:

- incorporation of macroeconomic scenarios
- conversion to an unbiased, forward-looking PD
- conversion of 12 month PD to lifetime PD
- removal of margin of conservatism in the PD estimate

These modifications imply that the PD used for IFRS 9 reflects management's current view of expected cyclical changes and that all PD estimates are unbiased.

Based on the converted PDs and reflecting the forward looking credit cycle index two types of PDs are generated and used in the ECL calculation:

- A 12-month PD is the probability of default occurring within the next 12 months (or over the remaining life of the financial instrument if that is less than 12 months). This is used to calculate the 12-month ECL.
- A lifetime PD is the annualised probability of a default occurring over the remaining life of the financial instrument. This is used to evaluate if there has been a significant increase in credit risk since initial recognition and to calculate lifetime ECL.

Please refer to note 5 Credit risk for a description of the DNB's risk classification.

Loss given default (LGD)

LGD represents the percentage of EAD which the Banking group expects to lose if the customer fails to meet his obligations, taking the collateral provided by the customer, future cash flows and other relevant factors into consideration.

Similar to PDs, DNB uses IRBA LGDs for capital adequacy calculations. In order to convert the IRB LGDs to IFRS LGDs four modifications have been made:

- incorporation of macroeconomic scenarios
- use of the effective interest rate to discount future estimated cash flows
- removal of the margin of conservatism to produce unbiased projections rather than downturn projections, and to exclude regulatory floors
- removal of the estimated indirect costs of realising collateral.

These modifications imply that the LGDs used for IFRS 9 should reflect management's current view of the cyclical changes and that all LGD estimates are unbiased.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Exposure at default (EAD)

EAD is the share of the approved credit that is expected to be drawn at the time of any future default. The EAD is adjusted to reflect contractual payments of principal and interest and estimated early repayment. The proportion of undrawn commitments expected to have been drawn at the time of default is reflected in the credit conversion factor.

Significant increase in credit risk

The assessment of a significant increase in credit risk is based on a combination of quantitative and qualitative indicators and back stops. A significant increase in credit risk has occurred when one or more of the criteria below are met.

Quantitative criteria

A significant increase in credit risk is determined by comparing the remaining lifetime PD for an instrument at the reporting date, as expected at initial recognition, with the actual lifetime PD at the reporting date. If the actual lifetime PD is higher than what it was expected to be, an assessment is made of whether the increase is significant.

An increase in lifetime PD with a factor of 2.5 or more from initial recognition is assessed to be a significant increase in credit risk. This threshold is based on an assessment of the increase in credit risk that would lead to closer customer follow-up in order to ensure that proper credit risk management and business decisions are made.

Further, the change in PD must be a minimum of 0.6 percentage points for the deterioration in credit risk to be considered to be significant. In the high end of the risk scale a change of 7.5 percentage points or more is considered to be a significant deterioration in credit risk even if this is less than a change of 2.5 times lifetime PD. These limits reflect the high sensitivity to change in the low end of the risk scale and the low sensitivity to change in the high end of the scale.

DNB applies a risk scale where all customers and instruments are rated on a coherent scale meaning that a risk grade has the same explanatory power independent of segment, geography and product. DNB therefore uses a common threshold for all financial instruments with respect to what constitute a significant increase in credit risk. For more on DNBs risk scale and classification see note 5.

Qualitative criteria

Qualitative information is normally reflected in the respective PD models for each group of customers.

Back stop

Back stops are used and a significant increase in credit risk has occurred if:

- the customer's contractual payments are 30 days past due
- the customer has been granted forbearance measures due to financial distress, though it not severe enough for the financial instrument to be classified as credit impaired.

Definition of default and credit impaired in stage 3

The definition of credit impaired is fully aligned with the regulatory definition of default.

A commitment is defined to be in default if a claim is more than 90 days overdue, the overdue amount exceeds NOK 2 000 and the default is not due to delays or accidental circumstances on the part of the debtor.

A commitment is also defined to be in default if the bank:

- significantly writes down the commitment as a result of a weakening of the debtor's creditworthiness
- agrees to changes in the terms and conditions because the debtor is having problems meeting payment obligations, and this is assumed to significantly reduce the value of the cash flow
- sells the debt for an amount that is significantly lower than the nominal value as a result of an impairment of the debtor's creditworthiness
- has grounds for assuming that the debtor will be subject to debt settlement or bankruptcy/involuntary liquidation proceedings, or be placed in receivership
- has other grounds for assuming that the payment obligation will not be met (anticipated default).

A commitment is defined to represent anticipated default if it is considered likely that the customer, based on its regular business activities, does not have debt payment ability for its total obligations (unlikeliness to pay).

The principles and estimation techniques for credit impaired financial instruments are not affected by IFRS 9. Please refer to the description of individual impairment in the accounting principles of financial instruments and important accounting estimates, judgements and assumptions for more detail.

Note 49 Transition to IFRS 9 (continued)

Expert credit judgement

The new rules require, to a larger extent than before, that significant professional judgment is applied to many of the input parameters in the ECL-measurement. The assessment of the macro prognoses and the impact to the forecasted credit cycle index is key judgments and DNB has established an advisory forum for the Group's Chief Financial Officer to address this. The forum's purpose is to assess if the predicted Credit Cycle index for each segment reflect the management's view on the expected future economic development.

IFRS 9 impact on regulatory capital

The implementation effect of IFRS 9 is NOK 2 billion after tax and is recognised as a reduction in "Other equity". This includes the impact of investments accounted for by the equity method. IFRS 9 will affect the capital adequacy ratios through a reduction in equity which to a large extent will be neutralised by cancelling a deduction related to the level of impairment losses. Therefore, the CET1 capital is only marginally changed. However, risk-weighted assets will increase due to the Norwegian Basel 1 floor, which is effective for the DNB Bank Group. The deduction referred to above has reduced, and the cancellation will thus increase risk-weighted assets. The total effects of IFRS 9 reduce the common equity Tier 1 capital ratio by 28 basis points.

For DNB Bank ASA, the implementation effect is NOK 1 billion after tax, which is recognised as a reduction in "Other equity". The CET1 capital is almost unchanged due to the cancellation of the deduction related to impairment losses. As DNB Bank ASA is not affected by the Basel 1 floor requirement, IFRS 9 has no impact on the common equity Tier 1 capital ratio.

DNB does not intend to use the transitional rules introduced by Finanstilsynet for capital adequacy purposes.

2【主な資産・負債及び収支の内容】

連結財務書類の注記を参照のこと。

3【その他】

(1)訴訟及び規制手続

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的措置の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないと思われる。

当行グループは、仕組み商品及びその他の投資商品に関する数々の申立て及び訴訟の当事者となっている。

(2)後発事象

該当事項なし。

4【ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

a. 日本とIFRSとの会計原則の相違

添付の財務諸表は、EUにより採用されたIFRSに準拠して作成されている。これらは日本において一般に公正妥当と認められた会計原則（以下「日本の会計原則」という。）とは、いくつかの点で異なる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 連結の範囲

IFRSでは、連結財務諸表には、報告会社及びグループによって支配されている会社（一定の特別目的事業体を含む。）（すなわち子会社）の財務諸表が含まれている。

IFRS第10号に基づき、以下の要件をすべて満たす場合に支配を有するものと判断される。

- ・投資先に対してパワーを有している。
- ・投資先への関与から生じる変動リターンにさらされている、若しくは変動リターンに対する権利を有している。
- ・投資先のリターンの金額に影響を与えるようなパワーを、投資先に対して行使することができる。

企業が他の企業体に対して支配できる力を有しているか否かを判断するにあたり、他者により保有されているものを含め、実質的な潜在的議決権の存在を考慮している。

日本では、実質支配力基準により連結範囲が決定され、支配を有する会社の財務諸表は連結される。

財務上又は営業上若しくは事業上の関係からみて他の企業の意思決定機関を支配している場合には、親会社は当該他の企業に対して支配を有しているといえる。

特別目的会社については、「連結財務諸表に関する会計基準」において、特別目的会社が、適正な価額で譲り受けた資産から生ずる収益を当該特別目的会社が発行する証券の所有者に享受させることを目的として設立され、当該特別目的会社の事業がその目的に従って適切に遂行されているときは、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社から独立しているものと認め、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社の子会社に該当しないものと推定され連結の対象となっていない。

(2) 会計方針の統一

IFRSでは、連結財務諸表は、同様の状況における類似の取引及びその他の事象について、統一的な会計方針を用いて作成される。グループのメンバーが、同様の状況における類似の取引及びその他の事象に関して連結財務諸表で採用している会計方針とは異なるものを使用している場合、連結財務諸表作成時に適切な修正が行われる。

日本の会計原則では、連結財務諸表を作成する場合、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、親会社及び子会社が採用する会計処理の原則及び手続は、原則として統一しなければならない。ただし、実務対応報告第18号「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外子会社の財務諸表がIFRS又は米国会計基準（US GAAP）に準拠して作成されている場合は、一定の項目の修正（のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理、研究開発費の支出時費用処理など）を条件に、これを連結決算手続上利用することができる。

関連会社については、企業会計基準第16号「持分法に関する会計基準」により、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、投資会社（その子会社を含む。）及び持分法を適用する被投資会社が採用する会計処理の原則及び手続を原則として統一することと規定されている。ただし、実務対応報告第24号「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外関連会社については、実務対応報告第18号で規定される在外子会社に対する当面の取扱いに準じて行うことができる。

(3) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法

IFRSでは、取得企業は、次の(a)が(b)を超過する額として測定される取得日時点ののれんを認識する。

(a) 次の総計

(i) 譲渡対価 (IFRS第3号「企業結合」に従い、通常は取得日における公正価値にて測定される。)

(ii) 被取得企業のすべての非支配持分の金額

(iii) 段階的に達成される企業結合の場合には、取得企業が以前に保有していた被取得企業の資本持分の取得日における公正価値

(b)取得した識別可能な資産及び引き受けた負債の取得日における公正価値の純額

IFRSでは、IFRS第3号に基づき、非支配持分の認識について次の2つの方法のうちいずれかの方法の選択適用が認められている。

- ・ 非支配持分を取得日に公正価値により測定する。その結果、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する。(いわゆる、全部のれんアプローチ)
- ・ 非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する非支配持分割合相当額により測定する。その結果、のれんは取得企業の持ち分相当額についてのみ認識する。(いわゆる、購入のれんアプローチ)

日本では、子会社の資産及び負債は取得日において公正価値により測定され(いわゆる、全部時価評価法)、非支配株主持分は取得日における純資産の公正価値の非支配株主持分割合相当額により認識される。のれんは取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額に対する持分相当額を超過する額として算定される(いわゆる、購入のれんアプローチ)。

(4) のれんの償却

IFRSでは、のれんは償却されず、年1回若しくは事象や状況の変化が減損の可能性を示唆する場合はより頻繁に、減損テストが実施される。

日本では、のれんは20年以内のその効果が及ぶ期間にわたり定額法その他の合理的な方法により規則的に償却され、必要に応じて減損処理の対象となる。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。

(5) 金融商品の評価

IFRSでは、IAS第39号「金融商品：認識と測定」に基づき金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- ・ トレーディング目的として分類される金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、公正価値の変動は純損益に認識される。
- ・ IFRS第3号「企業結合」の適用を受ける企業結合における、取得者の条件付対価たる金融資産及び金融負債については、純損益を通じて公正価値で測定される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、利得及び損失は純損益に認識される（いわゆる、公正価値オプション）。純損益を通じて公正価値で測定する金融商品として指定できるのは、その指定が(a)測定又は認識の不一致を解消又は著しく減少させる場合、(b)公正価値に基づいて管理し評価する金融資産グループ又は金融負債グループ若しくはその両方に適用される場合に限定されている。
- ・ 売却可能（以下「AFS」という。）金融資産は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。減損損失及び外貨建貨幣性AFS金融資産の償却原価の換算から生じる外国為替差額は、実効金利法を適用して計算した利息とともに純損益に認識される。AFS金融資産の公正価値のその他の変動は、その他の包括利益に認識され、売却により累積利得又は損失が純損益に再分類されて認識されるまでは、資本の区分項目として計上されている。
- ・ 貸出金及び債権は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ 満期保有投資は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ トレーディング目的又は純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融負債以外の金融負債は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ ヘッジ手段として指定されたデリバティブ以外のデリバティブは、純損益を通じて公正価値で測定される。

日本では、企業会計基準第10号「金融商品会計に関する会計基準」に従い、金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、公正価値で測定し、公正価値の変動は損益認識される。
- ・ 満期保有目的の債券は取得原価又は償却原価で測定される。
- ・ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券（「その他有価証券」）は、公正価値で測定し、公正価値の変動額は、a) 純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される、若しくはb) 個々の証券について、公正価値が原価を上回る場合には純資産に計上し、下回る場合には損益計算書に計上する。
- ・ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券については、それぞれ次の方法による。(1) 社債その他の債券の貸借対照表価額は、債権の貸借対照表価額に準ずる。(2) 社債その他の債券以外の有価証券は取得原価をもって貸借対照表価額とする。
- ・ 貸出金及び債権は取得原価又は償却原価で測定される。
- ・ 金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法に基づいて算定された価額で評価される。
- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する規定はない。

(6) 金融資産の減損

IFRSでは、報告企業が、満期保有目的、売却可能又は貸出金及び債権に分類される金融資産又は金融資産グループが減損しているという客観的証拠の有無について各報告日に評価する。

貸出金及び債権並びに満期保有目的投資：貸出金及び債権並びに満期保有目的に分類される金融資産又は金融資産グループに減損損失が生じているという客観的証拠がある場合、損失の額は、資産又は資産グループの帳簿価額

と資産又は資産グループから生じる将来キャッシュ・フローの見積額を当初認識時に商品に適用される実効金利で割り引いた現在価値との差額として測定される。

売却可能金融資産：売却可能に分類される金融資産の公正価値の減少がその他の包括利益に認識されていて、当該資産が減損している客観的証拠がある場合、損失の累計額は資本から再分類され、純損益に認識されることになる。損失は、金融資産の償却原価額とその直近の公正価値との差額として測定される。売却可能な資本性金融商品に係る減損損失の戻入は行えないが、売却可能な負債性金融商品に係る減損損失は、その後の事象に客観的に関連して公正価値が増加した場合に戻入が行われる。資本性金融商品に対する投資の取得価額を下回る公正価値の著しい下落又は長期的にわたる下落は減損の客観的証拠と認められる。

個別には減損が発生していない顧客向貸出金は、典型的には特性が似通った貸出金群をまとめて、集合的に減損を査定している。この評価では、内外の格付けシステム、見積デフォルト確率、見積損失率、及び貸出残高を用いる。集合的減損は当該資産の帳簿価額から控除され、減損の変動は損益計算書の「貸倒引当金繰入／戻入（純額）」に算入される。

日本では、公正価値が入手可能な金融資産（売買目的有価証券を除く。）について、取得原価又は償却原価で計上される金融資産（貸出金及び債権を除く。）の公正価値が帳簿価額（償却原価）を下回って著しく下落した場合、当該資産の帳簿価額は公正価値まで減額される。また、減損損失の戻入は認められない。

貸出金及び債権については、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて債権を3つ（一般債権、貸倒懸念債権及び破産更生債権等）（金融機関では5つ）に区分し、区分ごとに定められた方法に従い貸倒見積高を算定する。

(7) 金融資産の認識の中止

IFRSでは、金融資産から生じるキャッシュ・フローを受取る契約上の権利が消滅し、又は、金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。譲渡においては、報告企業は、(a)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は(b)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けること（一定の要件を満たす場合）、のいずれかが要求される。譲渡が行われた後、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスク及び経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き財政状態計算書に計上される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が当該資産の支配を留保している場合、継続的関与の程度に応じて、引続きその資産を認識している。

日本では、譲渡金融資産の財務構成要素ごとに、支配が第三者に移転しているかどうかの判断に基づいて、当該金融資産の認識の中止がなされる。

(8) 金融商品の分類変更

IFRSでは、貸出金及び債権の定義（支払額が固定的又は決定可能で、活発な市場において相場がない非デリバティブ金融資産）を満たすトレーディング目的保有金融資産及び売却可能金融資産は、企業が当該金融商品を予見可能な将来又は満期まで保有する意思及び能力がある場合、貸出金及び債権に分類変更することができる。さらに、貸出金及び債権の定義を満たさないトレーディング目的保有金融資産は、ごく稀な状況で、売却可能金融資産又は満期保有目的投資に変更される可能性がある。分類変更は、分類変更日現在の公正価値で行われる。当該公正価値は、適宜、当該資産の新たな取得原価又は償却原価となる。

日本では、売買目的有価証券又はその他有価証券から満期保有目的の債券への分類変更は認められていない。

(9) ヘッジ会計

IFRSでは、IAS第39号に基づき、下記のタイプのヘッジ関係が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ - 公正価値ヘッジにおいては、公正価値によるヘッジ手段の再測定から生じる利得又は損失は純損益に認識されている。ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象に関する利得又は損失は純損益に認識され、ヘッジ対象の帳簿価額が調整されている。
- ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ - デリバティブ金融商品が、認識された資産若しくは負債又は発生の可能性の高い予定取引からのキャッシュ・フローの変動のヘッジとして指定される場合、ヘッジ手段の利得又は損失の有効部分は、その他の包括利益に認識され、また非有効部分は、純損益に認識されている。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - 在外営業活動体に対する純投資をヘッジしている場合、有効なヘッジと判断されるヘッジ手段から生じる為替換算差額は、その他の包括利益に認識されている。非有効部分については、純損益に認識されている。

日本では、デリバティブ取引について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」（時価評価されているヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法）を適用し、ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等を会計基準に基づき損益に反映させることができる場合には、「時価ヘッジ会計」（ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等の損益とヘッジ手段に係る損益とを同一の会計期間に認識する。）を適用できる。

(10) 退職後給付

IFRSでは、IAS第19号に基づき、数理計算上の差異はその他の包括利益で即時認識し、その後の期間において純損益に組み替えることは認められない。また、過去勤務費用は、その全額を純損益で認識する。さらに、確定給付負債（資産）の純額に割引率を乗じて利息純額を算定する。

日本では、企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」に従い、以下のように会計処理される。

- ・ 数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識数理計算上の差異については、組替調整を行う。
- ・ 過去勤務費用は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識過去勤務費用は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識過去勤務費用については、組替調整を行う。
- ・ 期待運用収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算する。

(11) 有給休暇引当金

IFRSでは、IAS第19号に基づき、有給休暇引当金を計上することが要求されている。

日本においては、該当する規定はない。

(12) リース

IFRSでは、IAS第17号「リース」に基づき、リース契約は、所有権移転の有無に関わらず資産の所有に伴う実質的にすべてのリスク及び経済価値が借手に移転する場合、ファイナンス・リースとして分類されている。

リースがファイナンス・リースであるか、オペレーティング・リースであるかは、契約の形式よりも取引の実質を見て判断される。

ファイナンス・リースについては、リース期間の開始時点において、リース資産の公正価値と最低リース料総額の現在価値のいずれか低い方の金額で、資産及び負債として認識する。

なお、日本基準のような簡便的な取扱いは定められていない。

日本では、ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース）又は短期（1年以内）のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。

(13) 無形資産及び有形固定資産の減損

IFRSでは、各報告日において有形固定資産又は無形資産の減損の兆候の有無について評価している。そのような兆候が存在する場合、会社は当該資産又は資金生成単位の回収可能価額を見積り、必要な場合には減損損失を認識している。のれんについては、年1回若しくは事象や状況の変化が減損の兆候を示す場合はより頻繁に、減損テストが実施される。無形資産（のれんを除く。）又は有形固定資産に係る減損損失の戻入は、過年度において認識された減損損失が存在しないか、又は減少している可能性を示す兆候がある場合に認識されている。ただし、増加した帳簿価額は、減損損失計上前の帳簿価額を超えてはならない。なお、のれんに係る減損損失の戻入は行われない。

日本では、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、資産の減損の兆候が認められ、かつ割引前将来キャッシュ・フローの総額（20年以内の合理的な期間に基づく）が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額（正味売却価額と使用価値（継続的使用と使用後の処分によって生ずると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値）のいずれか高い方の金額）と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(14) 引当金の計上基準

IFRSでは、以下の要件すべてを満たす場合に認識しなければならない。

- ・ 企業が過去の事象の結果として現在の債務（法的又は推定的）を有している。
- ・ 当該債務を決済するために経済的便益を有する資源の流出が必要となる可能性が高い。
- ・ 当該債務の金額について信頼できる見積りができる。

引当金として認識される金額は、報告期間の末日における現在の債務を決済するために必要な支出の、最善の見積りでなければならない。

貨幣の時間価値による影響が重要な場合には、引当金額は債務の決済に必要と見込まれる支出の現在価値としなければならない。

日本では、以下のすべてを満たす場合に認識しなければならない。

- ・ 将来の特定の費用又は損失である。
- ・ その発生が当期以前の事象に起因する。
- ・ 発生の可能性が高い。
- ・ その金額を合理的に見積もることができる。

引当金の割引計算について該当する基準はない。資産除去債務は割引現在価値で算定する。割引率は、貨幣の時間的価値を反映した無リスクの税引前の利率である。

(15) 実行手数料及びコミットメントフィー

実行手数料及びコミットメントフィーは、融資枠残高に対する割合により決定されている。

IFRSでは、前者については関連する取引コストとともに繰り延べられ、実効利回りの修正として認識される。後者については、特定の融資契約が実行される可能性が高い場合には、前者と同様に処理される。一方、特定の融資契約が実行される見込みが低い場合には、そのコミットメントの期間にわたり按分して収益として認識する。

日本では、コミットメントフィー及び実行手数料は、発生主義に基づき、当期に対応する部分を収益として認識する。

(16) 投資不動産の事後測定

IFRSでは、IAS第40号「投資不動産」に従い、投資不動産の当初認識後の評価方法として原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。公正価値モデルを選択する企業は一定の場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で測定しなければならない。投資不動産の公正価値の変動は発生した期の損益として処理される。

日本では、取得原価に基づく会計処理を行う（原価モデルを適用）。投資不動産の時価は開示のみ行われる。

ｂ．ノルウェーと日本における単体の会計原則の主要な相違（ノルウェーの単体の会計原則に係るもの）

添付の個別財務諸表は、ノルウェー財務省の銀行、住宅金融専門会社及び金融会社向けの年次財務書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第１条の６の規定に準拠して作成されている（「ノルウェーIFRS規則」）。ノルウェーIFRS規則とEUにより採用されたIFRSはいくつかの点で異なっており、これらは上記a.に加え日本の会計原則との相違点となる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 未払配当金の認識

ノルウェーIFRS規則では、報告期間後に決議された子会社からの予定配当金額及び予定グループ配当金額を、受け取る親会社の収益として認識するという会計方針を選択することが認められている。同様に子会社においても、取締役会の親会社への予定配当金額及び予定グループ配当金額を、財政状態計算書日において負債として認識するという会計方針を選択することが認められている。

日本では、株主総会又は取締役会で決議されるまでは、配当金やグループへの配当を負債に分類することはできない。

第 7 【外国為替相場の推移】

1 【最近 5 年間の事業年度別為替相場の推移】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

| 事業年度 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 決算月日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 | 12月31日 |
| 最高 | 17.75 | 17.46 | 16.31 | 14.02 | 14.39 |
| 最低 | 15.54 | 15.66 | 13.80 | 11.81 | 12.61 |
| 平均 | 16.62 | 16.80 | 15.03 | 12.94 | 13.58 |
| 期末 | 17.18 | 16.17 | 13.84 | 13.54 | 13.70 |

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2 【最近 6 月間の月別最高・最低為替相場】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

| 月別 | 2017年12月 | 2018年1月 | 2018年2月 | 2018年3月 | 2018年4月 | 2018年5月 |
|----|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 最高 | 13.72 | 14.18 | 14.33 | 13.78 | 13.85 | 13.79 |
| 最低 | 13.46 | 13.81 | 13.62 | 13.49 | 13.41 | 13.07 |
| 平均 | 13.58 | 14.04 | 13.81 | 13.65 | 13.72 | 13.56 |

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3 【最近日の為替相場】

1ノルウェー・クローネ = 13.55円 (2018年6月22日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第 8 【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第 9 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2 【その他の参考情報】

当該事業年度の開始からこの有価証券報告書の提出までの期間において提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
平成29年6月29日 関東財務局長に提出
- (2) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成29年6月29日 平成27年9月29日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (3) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成29年6月29日 平成27年9月29日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (4) 半期報告書及びその添付書類
平成29年9月29日 関東財務局長に提出
- (5) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成29年9月29日 平成27年9月29日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (6) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成29年9月29日 平成27年9月29日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の監査報告書

DNB バンク エイ・エス・エイの年次株主総会の皆様へ

財務諸表監査に関する報告

意見

我々は、親会社及びグループの財務諸表から構成される、DNB バンク エイ・エス・エイの財務諸表を監査した。親会社の財務諸表は、2017年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書、包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び持分変動計算書並びに重要な会計方針の概要を含む、財務諸表の注記から構成される。連結財務諸表は、2017年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書、包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び持分変動計算書、並びに重要な会計方針の概要を含む、財務諸表の注記から構成される。

我々の意見では、

財務諸表は法令及び規制に従い作成されている。

すべての重要な点において、財務諸表は、ノルウェー会計法及びノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務に従い、2017年12月31日現在の親会社の財政状態及び同日に終了した年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

すべての重要な点において、連結財務諸表は、EUが採用している国際財務報告基準に従い、2017年12月31日現在のグループの財政状態及び同日に終了した年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

意見の基礎

我々は、ノルウェーの法律及び規制、並びに国際監査基準（以下「ISAs」という。）を含むノルウェーで一般に認められている監査基準及び監査実務に従い監査を実施した。これらの基準に基づく我々の責任は、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。我々は、ノルウェーにおける財務諸表監査に関連した倫理上の要件に準拠して会社及びグループから独立しており、法律及び規制で定められる我々の倫理上の責任を果たした。また、我々は、これらの要件に準拠して他の倫理上の責任も果たしている。我々は意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な事項

監査上の主要な事項とは、我々の職業的専門家としての判断において、2017年度の財務諸表監査で最も重要であると判断された事項のことをいう。監査上の主要な事項は、財務諸表全体に対する監査の実施過程及び監査意見の形成において検討した事項であり、我々は監査意見と別にこれらの個別の事項に対して意見を表明しない。以下では各事項について我々がどのように対応したかについて記載している。

我々はこれらの事項に関連する責任を含め、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている責任を果たした。したがって、我々の監査には、財務諸表における重要な虚偽表示リスクの評価に対応して策定された監査手続の実施が含まれている。下記の事項に対応するために実施された手続を含め、我々の監査手続の結果は、財務諸表に関する我々の監査意見の基礎を提供している。

貸出金の減損

顧客向貸出金は1,531,345百万ノルウェー・クローネであり、グループの資産合計の65%を占めている。親会社の顧客向貸出金は730,782百万ノルウェー・クローネであり、親会社の資産合計の36%を占めている。貸出金の減損は、減損の客観的な証拠がある場合、個別に重要な貸出金については個別に算定され、個別に評価されずかつ減損の客観的な証拠がポートフォリオ単位で特定される貸出金グループについては、集散的に評価される。減損の特定及び算定は、さまざまな仮定に加え、取引相手方の財政状態、期待将来キャッシュ・フロー、観察可能な市場価格、予想正味売却価格などを含む要素について、判断が関わるプロセスである。異なるモデル技法や仮定が用いられた場合には、貸出金の減損の見積りの結果は大きく異なる可能性がある。油田関連事業、オフショア及び石油・ガス分野の事業については、過去数年間にわたる原油価格の低下や関連市場の一般的な景気下降の影響により、依

然として不確実性の影響を受ける傾向にある。貸出金の減損が多額であることと、見積りに関する不確実性があることから、我々は、貸出金の減損を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、貸出金の個別減損と集散的減損に係る内部統制の整備状況の評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。個別に重要な貸出金に対する我々の手続には、損失事象の識別の評価、予想将来キャッシュ・フローや原担保の評価見積りなど、モデルで使用された仮定のテストが含まれる。我々は、モデルの数学的正確性もテストした。集散的に算定される貸出金の減損については、モデルに入力する主要変数や仮定を評価したうえで、必要に応じ、データと仮定を外部のベンチマークと比較した。我々はモデルの数学的正確性もテストした。

詳細については、連結財務諸表の注記 5、6、7、8、9、10、11を参照されたい。

金融商品の評価

公正価値で測定されている非上場または流動性がない金融商品は、市場で観察可能ではない仮定を用いたモデルで評価されている。したがって、これらの金融商品の評価は誤謬のリスクが高くなっている。かかる金融商品は、連結貸借対照表において公正価値で測定され、公正価値ヒエラルキーのレベル3に分類されている、58,391百万ノルウェー・クローネの資産及び1,749百万ノルウェー・クローネの負債から構成されている。親会社で公正価値ヒエラルキーのレベル3に分類されているものは、15,246百万ノルウェー・クローネの資産及び1,749百万ノルウェー・クローネの負債である。非上場又は流動性がない金融商品の重要性に加え、誤謬のリスクが高いことから、我々は、これらの金融商品の評価を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、モデルベースの算定に用いられた仮定と技法に関する経営者の決定と承認、内部の専門家が行った評価に対する経営者の検証を含め、評価プロセスに係る内部統制の整備状況の評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。また我々は、プライシングモデルの技法を業界慣行や評価ガイドラインに照らし評価した。我々是一部の金融商品に関して独立検証を行い、可能な場合には外部のデータを利用した。また我々の評価結果をグループの評価と比較した。

貸借対照表において公正価値で計上されているレベル3の金融商品については、連結財務諸表の注記28で開示されている。

ヘッジ会計 発行済長期負債証券に係る金利リスク

デリバティブ商品は、外貨建てで発行された長期負債証券に関連した金利リスクに対するエクスポージャーを管理するために用いられている。当初認識時にヘッジ関係に指定されたデリバティブと借入金、公正価値ヘッジとして会計処理されている。ヘッジ関係の有効性は関連期間の期首と期末に評価されている。ヘッジ会計の適用とヘッジの有効性の確認は、判断に基づく可能性があり、経営者による緊密なモニタリングが求められている。ヘッジ関係の重要性を踏まえ、発行済長期負債証券に係る金利リスクのヘッジ会計を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、ヘッジの有効性のテストを含め、ヘッジ関係の指定と継続的な管理に係る内部統制の整備状況の評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。我々はヘッジ文書を査閲し、文書が会計基準に基づく要求事項に準拠しているかどうかを検証した。我々は、ヘッジの有効性に関する数学的正確性と計算のテストを含め、元となるソースシステムと、ヘッジ関係を管理し文書化するために使用されている文書との整合性をテストした。

詳細については、連結財務諸表の注記 20を参照されたい。

その他の情報

その他の情報は会社の年次報告書に記載されている情報から構成されているが、財務諸表及び我々の監査報告書を含まない。取締役会及びグループ最高責任者（経営者）には、その他の情報に関する責任がある。財務諸表に対する我々の意見はその他の情報を対象としておらず、それに関していかなる形でも保証の結論は表明しない。

財務諸表に関する我々の監査に関連して、我々の責任は、その他の情報を通読し、それによりその他の情報が財務諸表又は我々が監査を通じて入手した知見等と著しく不整合である、又は著しく誤って表示されているように見えるかどうかを検討することである。我々が実施した作業に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけた場合には、我々にはその事実を報告することが求められている。これに関し、我々が報告すべき事項はなかった。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者には、親会社の財務諸表に関してはノルウェー会計法及びノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務、グループの財務諸表に関してはEUが採用した国際財務報告基準に準拠して、真実かつ公正な概観を示す財務諸表を作成し、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成するために経営者が必要と判断する内部統制を整備する責任がある。

財務諸表を作成するにあたって、経営者には、会社が継続企業として存続する能力を評価し、継続企業の前提に関する事項を必要に応じて開示し、経営者が会社を清算若しくは営業を停止する意図がある場合、又はそれ以外に現実的な選択肢がない場合を除いて、継続企業を前提とした会計処理を行う責任がある。

財務諸表監査に対する監査人の責任

我々の目的は、財務諸表に全体として不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得たうえで、我々の意見を含めた監査報告書を発行することである。合理的な保証とは、相当に高い程度の心証であるが、ISAsに準拠して実施された監査により、重要な虚偽表示が存在する場合に常に発見されることを保証するものではない。虚偽表示は不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計して、財務諸表を基礎としてなされる利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ノルウェーの法律及び規制、並びにISAsを含むノルウェーで一般に認められている監査原則に準拠した監査の一環として、我々は監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する。また我々は以下の事項を実施する。

不正又は誤謬のいずれによるかを問わず、財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し評価すること、それらのリスクに対応するための監査手続を策定し実施すること、及び意見表明の基礎を提供するための十分かつ適切な監査証拠を入手すること。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、偽造、意図的な脱漏、虚偽の言明又は内部統制の無効化を伴う可能性があることによる。

状況に応じて適切な監査手続を策定するために、監査に関連する内部統制を理解すること。ただし、これは会社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。

使用された会計方針の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価すること。

経営者が継続企業を前提とした会計処理を行っていることの適切性について結論を下すこと。また、入手した監査証拠に基づいて会社の継続企業として存続する能力に重大な疑義を生じさせる可能性がある事象や状況に関連して、重大な不確実性が存在するか否かについて結論を下すこと。我々は、重大な不確実性が存在するという結論を下した場合、我々の監査報告書において、財務諸表の関連開示に注意を向けさせること、又は当該開示が不十分である場合は、無限定適正意見ではない意見を表明することが求められている。我々の結論は、我々の監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況が原因で会社が継続企業としての存続を中止することもあり得る。

開示を含め、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表しているかどうかを評価すること。

連結財務諸表に関する意見を表明するために、グループ内の事業体又は事業活動に関する財務情報について、十分かつ適切な監査証拠を入手すること。我々には、グループ監査の指示、監督及び実施について責任がある。我々は、我々の監査意見に単独で責任を負っている。

我々はガバナンスに関する責任者に対し、特に監査の過程で識別した内部統制の重要な不備を含め、計画した監査の範囲とその実施時期、及び監査上の重要な発見事項を伝達する。

また、我々はガバナンスに関する責任者に、独立性についての職業倫理に関する規定を遵守している旨を書面で伝達するほか、独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、また、該当する場合には関連するセーフガードについても報告する。

我々は、ガバナンスに関する責任者と協議した事項の中から、監査人の職業専門家としての判断において、当事業年度の財務諸表監査で最も重要な事項を監査上の主要な事項と決定する。我々はこれらの事項を我々の監査報告書に記載する。ただし、法令によって当該事項を開示することが禁止されている場合や、極めて稀な状況において、監査報告書においてコミュニケーションを行うことによる負の影響が当該コミュニケーションにより得られる公共の利益を上回ると合理的に予想されるため、監査人が当該事項についてのコミュニケーションを行うべきでないと判断した場合には記載しない。

その他の法的及び規制上の要件に関する報告

取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査に基づき、財務諸表、継続企業の前提及び利益分配案に関する取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに記載された情報は、財務諸表と整合しており、かつ法律及び規制を遵守している。

記録及び文書化に関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査及び国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去の財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に従って我々が必要とみなした手続に基づき、会社の会計情報が、ノルウェーの法律及びノルウェーで一般に認められている簿記の基準および実務で求められる通り、適切に記録、文書化されることを保証するという義務を経営者は遂行している。

オスロ、2018年3月7日

アーンスト・アンド・ヤング エイ・エス

Anders Gøbel
公認会計士 (ノルウェー)

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

To the Annual Shareholders' Meeting of DNB Bank ASA

Report on the audit of the financial statements

Opinion

We have audited the financial statements of DNB Bank ASA comprising the financial statements of the parent company and the Group. The financial statements of the parent company comprise the balance sheet as at 31 December 2017, the income statement, statements of comprehensive income, cash flows and changes in equity for the year then ended and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies. The consolidated financial statements comprise the balance sheet as at 31 December 2017, the income statement, statements of comprehensive income, cash flows and changes in equity for the year then ended and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion,

the financial statements are prepared in accordance with the law and regulations;

the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the parent company as at 31 December 2017, and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway;

the consolidated financial statements present fairly, in all material respects the financial position of the Group as at 31 December 2017 and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with International Financial Reporting Standards as adopted by the EU.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with laws, regulations, and auditing standards and practices generally accepted in Norway, including International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report. We are independent of the Company and the Group in accordance with the ethical requirements that are relevant to our audit of the financial statements in Norway, and we have fulfilled our ethical responsibilities as required by law and regulations. We have also complied with our other ethical obligations in accordance with these requirements. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Key audit matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgment, were of most significance in our audit of the financial statements for 2017. These matters were addressed in the context of our audit of the financial statements as a whole, and in forming our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters. For each matter below, our description of how our audit addressed the matter is provided in that context.

We have fulfilled the responsibilities described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report, including in relation to these matters. Accordingly, our audit included the performance of procedures designed to respond to our assessment of the risks of material misstatement of the financial statements. The results of our audit procedures, including the procedures performed to address the matters below, provide the basis for our audit opinion on the financial statements.

Impairment of loans

Loans to customers represent NOK 1 531 345 million (65 % per cent) of total assets for the Group. Corresponding figures for the parent company are NOK 730 782 million (36 % per cent) of total assets for the parent company. Impairment of loans are calculated individually, for individually significant loans where objective evidence of impairment is identified, or collectively for groups of loans which are not assessed individually, and for which objective evidence of impairment is identified on a portfolio basis. The identification and calculation of impairment are processes involving judgement about various assumptions and factors including the financial condition of the counter party, expected future cash flows, observable market prices and expected net selling prices. The use of different modelling techniques and assumptions could produce significantly different estimates of impairment of loans. The oilfield services, offshore and oil & gas sectors are still subject to uncertainty due to the effects of a reduced oil price and a general downturn in related markets over the past years. Since the related impairments of loans are material, and subject to estimation uncertainty, we have assessed impairment of loans as a key audit matter.

We have assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over individual and collective impairments of loans. For individually significant loans our procedures included assessing the identification of loss events and testing of assumptions used in the models, including the forecasted future cash flows and the estimated value of underlying collaterals. We also tested the mathematical accuracy of the models. For impairment of loans calculated on a collective basis, we evaluated the key input variables and assumptions to the models, and where relevant, compared data and assumptions to external benchmarks. We also tested the mathematical accuracy of the models.

See note 5, 6, 7, 8, 9, 10 and 11 in the consolidated financial statements for further information.

Valuation of Financial Instruments

Unlisted or illiquid financial instruments measured at fair value are valued based on models that use assumptions that are not observable in the market place. The valuation of these instruments therefore have a higher risk of errors. Such instruments comprise assets of NOK 58 391 million and liabilities of NOK 1 749 million measured at fair value in the consolidated balance sheet and classified as level 3 instruments within the fair value hierarchy. Corresponding figures for the parent company are assets of NOK 15 246 million and liabilities of NOK 1 749 million. Due to the materiality of the unlisted or illiquid instruments, and the increased risk of errors, we considered the valuation of these instruments a key audit matter.

We assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over the valuation process including management's determination and approval of assumptions and methodologies used in model-based calculations as well as management's review of valuations provided by internal experts. We also assessed pricing model methodologies against industry practice and valuation guidelines. We performed independent valuations for selected instruments and used external source data where available. We compared results of our valuations to the Group's valuations.

Level 3 instruments which are presented at fair value on the balance sheet are disclosed in note 28 in the consolidated financial statements.

Hedge accounting - Interest rate risk on long-term debt securities issued

Derivative instruments are used to manage exposure to interest rate risk related to long-term debt securities issued in foreign currencies. Derivatives and borrowings designated at initial recognition as hedging relationships, are accounted for as fair value hedges. The effectiveness of the hedging relationships are assessed at the beginning and end of the relevant period. The application of hedge accounting and ensuring hedge effectiveness can be judgmental and requires close monitoring from

management. Due to the materiality of the hedging relationships, we considered hedge accounting of interest rate risk on long-term debt securities issued a key audit matter.

We assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over the designation and ongoing management of hedge accounting relationships, including testing of hedge effectiveness. We examined hedge documentation to assess whether the documentation complied with the requirements of the accounting standards. We tested reconciliations between underlying source systems and documents used to manage and document hedging relationships, including testing the mathematical accuracy and calculation of hedge effectiveness.

See note 20 in the consolidated financial statements for further information.

Other information

Other information consists of the information included in the Company's annual report other than the financial statements and our auditor's report thereon. The Board of Directors and Group Chief Executive Officer (management) are responsible for the other information. Our opinion on the financial statements does not cover the other information, and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information, and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit, or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of management for the financial statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of these financial statements in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway for the financial statements of the parent company and International Financial Reporting Standards as adopted by the EU for the financial statements of the Group, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting, unless management either intends to liquidate the Company or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with law, regulations and generally accepted auditing principles in Norway, including ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.

obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control

evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.

conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.

evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Group to express an opinion on the consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the group audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

We also provide those charged with governance with a statement that we have complied with relevant ethical requirements regarding independence, and communicate with them all relationships and other matters that may reasonably be thought to bear on our independence, and where applicable, related safeguards.

From the matters communicated with those charged with governance, we determine those matters that were of most significance in the audit of the financial statements of the current period and are therefore the key audit matters. We describe these matters in our auditor's report unless law or regulation precludes public disclosure about the matter or when, in extremely rare circumstances, we determine that a matter should not be communicated in our report because the adverse consequences of doing so would reasonably be expected to outweigh the public interest benefits of such communication.

Report on other legal and regulatory requirements

Opinion on the Board of Directors' report and on the statements on corporate governance and corporate social responsibility

Based on our audit of the financial statements as described above, it is our opinion that the information presented in the Board of Directors' report and in the statements on corporate governance and corporate social responsibility concerning the financial statements, the going concern assumption and proposal for the allocation of the result is consistent with the financial statements and complies with the law and regulations.

Opinion on registration and documentation

Based on our audit of the financial statements as described above, and control procedures we have considered necessary in accordance with the International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000, «Assurance Engagements Other than Audits or Reviews of Historical Financial Information», it is our opinion that management has fulfilled its duty to ensure that the Company's accounting information is properly recorded and documented as required by law and bookkeeping standards and practices accepted in Norway.

Oslo, 7 March 2018
Ernst & Young AS

Anders Gøbel
State Authorised Public Accountant (Norway)